

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由				
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(3/9)					表1 防護対象設備一覧 (3/27)					表1 防護対象設備一覧 (3/35)					<p>【大飯】 記載方針の相違</p> <p>【女川・大飯】 記載方針の相違</p> <p>・ 治では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである</p> <p>「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・ 設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違</p> <p>安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>				
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ <sup>※</sup> E.L. + [m]	床上[m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. <sup>①</sup> [m]	機能 <sup>②</sup>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ <sup>③</sup> [m]	個別測定高さ <sup>④</sup> [m]	設定箇所	安全機能
原子炉補機冷却系	3A, 3B原子炉補機冷却水冷却器	制御建屋	7.0	-	-	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却水供給管	0-43F-2	原子炉補機冷却系	1.375 <sup>⑤</sup>	⑤	化学体積制御系統	体積制御タンク出口第2止め弁 (3LCV-121C)	3AB-G-5	原子炉補助建屋	0.67	1.02	基本	②
原子炉補機冷却系	3A, 3B, 3C, 3D原子炉補機冷却水ポンプ	制御建屋	7.0	9.10	2.10	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却水供給管	0-43F-3	原子炉補機冷却系	1.345 <sup>⑤</sup>	⑤	化学体積制御系統	充てんポンプ入口燃料取替用水ピット制入口弁A (3LCV-121D)	3AB-G-5	原子炉補助建屋	0.56	0.91	基本	②
原子炉補機冷却系	3A, 3B, 3C, 3D原子炉補機冷却水ポンプ現場操作箱 (3LB-20, 21, 22, 23)	制御建屋	7.0	9.90	2.90	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却水供給管	0-43F-4	原子炉補機冷却系	1.375 <sup>⑤</sup>	⑤	化学体積制御系統	充てんポンプ入口燃料取替用水ピット制入口弁B (3LCV-121E)	3AB-G-5	原子炉補助建屋	0.56	0.91	基本	②
原子炉補機冷却系	3A・C, 3B・C原子炉補機冷却水戻り母管連絡弁 (3V-CC-043A, B)	制御建屋	7.0	9.29	2.29	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却水供給管	0-43F-1	原子炉補機冷却系	0.365	⑤	化学体積制御系統	充てんラインC/V外側止め弁 (3V-CS-175)	3BB-E-2	原子炉建屋	0.60	0.97	基本	②
原子炉補機冷却系	3A・C, 3B・C原子炉補機冷却水供給母管連絡弁 (3V-CC-056A, B)	制御建屋	7.0	9.28	2.28	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却水供給管	0-43F-1	原子炉補機冷却系	1.160	⑤⑥	化学体積制御系統	充てんラインC/V外側隔離弁 (3V-CS-177)	3BB-E-2	原子炉建屋	0.60	0.97	基本	②③
原子炉補機冷却系	34廃棄物処理建屋冷却水供給ライン第1, 2止め弁 (3号機側) (34V-CC-600, 601)	原子炉周辺建屋	17.1	18.09	0.99	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却水供給管	0-43F-1	原子炉補機冷却系	0.405	⑤⑥	化学体積制御系統	A-ほう機ポンプ (3CSP2A)	3AB-F-21	原子炉補助建屋	0.43	0.59	基本	②
原子炉補機冷却系	3A, 3B格納容器スプレイ冷却器冷却水止め弁 (3V-CC-178A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.89	1.89	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却水供給管	0-43F-1	原子炉補機冷却系	1.165	⑤⑥	化学体積制御系統	B-ほう機ポンプ (3CSP2B)	3AB-F-20	原子炉補助建屋	0.43	0.59	基本	②
原子炉補機冷却系	3-1次冷却材ポンプ冷却水供給ライン格納容器隔離弁 (3V-CC-403)	原子炉周辺建屋	17.1	22.41	5.31	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却水供給管	0-43F-1	原子炉補機冷却系	1.155	⑤⑥	化学体積制御系統	緊急ほう機注入弁 (3V-CS-541)	3AB-G-5	原子炉補助建屋	0.50	0.75	基本	②
原子炉補機冷却系	3-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第2隔離弁 (3V-CC-429)	原子炉周辺建屋	17.1	22.42	5.32	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却水供給管	0-43F-1	原子炉補機冷却系	1.155	⑤⑥	化学体積制御系統	A-ほう機タンク水位 (I) (3LT-206)	3AB-F-1	原子炉補助建屋	1.03	1.00	個別	②⑦
原子炉補機冷却系	3-CRM冷却ユニット・余剰抽出冷却器冷却水供給ラインCV隔離弁 (3V-CC-342)	原子炉周辺建屋	17.1	22.12	5.02	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却水供給管	0-43F-1	原子炉補機冷却系	0.925	⑤	化学体積制御系統	B-ほう機タンク水位 (II) (3LT-208)	3AB-F-1	原子炉補助建屋	1.03	0.99	個別	②⑦
原子炉補機冷却系	3-CRM冷却ユニット・余剰抽出冷却器冷却水供給ラインCV隔離弁 (3V-CC-365)	原子炉周辺建屋	17.1	22.13	5.03	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却水供給管	0-43F-1	原子炉補機冷却系	0.955	⑤	化学体積制御系統	1次冷却材ポンプ対水戻りラインC/V外側隔離弁 (3V-CS-255)	3BB-E-2	原子炉建屋	0.86	0.89	基本	⑤
原子炉補機冷却系	3A・D, 3B・C 格納容器再循環ユニット冷却水供給ライン格納容器隔離弁 (3V-CC-189A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	21.22	4.12	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却水供給管	0-43F-4	原子炉補機冷却系	0.960	⑤⑥	余熱除去系統	A-余熱除去ポンプ (3BHP1A)	3AB-L-6	原子炉補助建屋	0.75	0.83	基本	③④
原子炉補機冷却系	3A, 3B, 3C, 3D 格納容器再循環ユニット冷却水戻りライン格納容器隔離弁 (3V-CC-198A, B, C, D)	原子炉周辺建屋	17.1	21.12	4.02	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却水供給管	0-43F-4	原子炉補機冷却系	0.945	③④⑤⑥	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ ※3：緊急時停止機能 ※4：未臨界維持機能 ※5：制御室外からの安全停止機能 ※6：炉心冷却機能 ※7：放射性物質の閉じ込め機能							
原子炉補機冷却系	3A, 3B原子炉補機冷却水冷却器海水止め弁 (3V-SW-570A, B)	制御建屋	7.0	9.70	2.70	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却水供給管	0-43F-1	原子炉補機冷却系	0.415	⑤	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ ※3：緊急時停止機能 ※4：未臨界維持機能 ※5：制御室外からの安全停止機能 ※6：炉心冷却機能 ※7：放射性物質の閉じ込め機能							
原子炉補機冷却系	3海水ポンプ出口3A, 3B, 3C, 3D海水ストレーナ (3S-SW-01A, B, C, D)	海水ポンプエリア	1.0	-	-	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却水供給管	0-43F-1	原子炉補機冷却系	0.465	⑤⑥	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ ※3：緊急時停止機能 ※4：未臨界維持機能 ※5：制御室外からの安全停止機能 ※6：炉心冷却機能 ※7：放射性物質の閉じ込め機能							
原子炉補機冷却系	3A, 3B, 3C海水ポンプ	海水ポンプエリア	2.5	4.65	2.15	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却水供給管	0-43F-4	原子炉補機冷却系	0.990	⑤⑥⑦	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ ※3：緊急時停止機能 ※4：未臨界維持機能 ※5：制御室外からの安全停止機能 ※6：炉心冷却機能 ※7：放射性物質の閉じ込め機能							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（4/9）						表1 防護対象設備一覧（4/27）						表1 防護対象設備一覧（4/35）						【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違 ・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである 「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様） ・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違 【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「正める」「冷やす」「閉じ込める」「ビット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ <sup>※</sup> E.L. + [m]	床上[m]	系統	設備	設置建屋	E.L. <sup>※1</sup> [m]	機能 <sup>※2</sup>	系統	設備	設置建屋	高さ <sup>※1</sup> [m]	個別測定 高さ <sup>※2</sup> [m]	設定 箇所	安全 機能	
原子炉補助冷却系	3A, 3B1, 3B2, 3C海水ポンプ現場操作箱 (3LB-26, 27, 28, 29)	海水ポンプブエリア	2.5	6.50	4.00	原子炉補助冷却系	3B-12-11 原子炉補助冷却ポンプ	原子炉補助冷却建屋	9.400	③④⑤⑥	余熱除去系統	B-余熱除去ポンプ (3BHP1B)	3AB-L-5 原子炉補助建屋	0.75	0.83	基本	③④	
電気盤	3主盤 (原子炉盤) (3MCB)	制御建屋	21.8	21.96	0.16	原子炉補助冷却系	3B-12-11 原子炉補助冷却ポンプ	原子炉補助冷却建屋	9.360	③④⑤⑥	余熱除去系統	A-余熱除去ポンプミニフロー弁 (3PCV-601)	3AB-K-21 建屋	2.95	3.25	基本	③④	
電気盤	3原子炉補助盤 (3RAB)	制御建屋	21.8	21.98	0.18	原子炉補助冷却系	3B-12-11 原子炉補助冷却ポンプ	原子炉補助冷却建屋	4.190	③④⑤⑥	余熱除去系統	B-余熱除去ポンプミニフロー弁 (3PCV-611)	3AB-K-13 建屋	2.95	3.23	基本	③④	
電気盤	3原子炉安全保護計装盤 I, II, III, IV (3BPR-I, II, III, IV)	制御建屋	21.8	21.96	0.16	原子炉補助冷却系	3B-12-11 原子炉補助冷却ポンプ	原子炉補助冷却建屋	4.190	③④⑤⑥	余熱除去系統	A-余熱除去ポンプ出口流量 (I) (3FT-601)	3AB-K-4 建屋	1.03	1.01	個別	③④	
電気盤	3A, 3B, 3C, 3D原子炉安全保護ロジック盤 (3RPL-A, B, C, D)	制御建屋	21.8	21.95	0.15	原子炉補助冷却系	3B-12-11 原子炉補助冷却ポンプ	原子炉補助冷却建屋	11.200	③④⑤⑥	余熱除去系統	B-余熱除去ポンプ出口流量 (II) (3FT-611)	3AB-K-4 建屋	1.03	1.00	個別	③④	
電気盤	3安全保護シーケンス盤 AG1, AG2, BG1, BG2 (3SFS-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	21.8	22.00	0.20	原子炉補助冷却系	3B-12-11 原子炉補助冷却ポンプ	原子炉補助冷却建屋	9.800	③④⑤⑥	余熱除去系統	A-余熱除去ポンプRWSP側入口弁 (3V-RH-051A)	3AB-K-21 建屋	0.70	1.75	個別	④	
電気盤	3所内盤 (3HS)	制御建屋	21.8	21.90	0.10	原子炉補助冷却系	3B-12-11 原子炉補助冷却ポンプ	原子炉補助冷却建屋	11.200	③④⑤⑥	余熱除去系統	B-余熱除去ポンプRWSP側入口弁 (3V-RH-051B)	3AB-K-13 建屋	0.70	1.78	個別	④	
電気盤	事故時放射線監視盤 3RMS (3PRMS-III, IV)	制御建屋	21.8	21.87	0.07	原子炉補助冷却系	3B-12-11 原子炉補助冷却ポンプ	原子炉補助冷却建屋	1.100	③④⑤⑥	余熱除去系統	A-余熱除去ポンプ再循環サンプル側入口弁 (3V-RH-055A)	3AB-K-21 建屋	0.70	1.77	個別	④	
電気盤	3原子炉トリップ遮断器盤 (3RTS)	原子炉周辺建屋	17.1	17.14	0.04	原子炉補助冷却系	3B-12-11 原子炉補助冷却ポンプ	原子炉補助冷却建屋	9.610	③④	余熱除去系統	B-余熱除去ポンプ再循環サンプル側入口弁 (3V-RH-055B)	3AB-K-13 建屋	0.70	1.78	個別	④	
電気盤	3A1, 3A2, 3A3, 3A4, 3B1, 3B2, 3B3, 3B4ソレノイド分電盤 (3SD-A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4)	制御建屋	15.8	16.09	0.29	原子炉補助冷却系	3B-12-11 原子炉補助冷却ポンプ	原子炉補助冷却建屋	9.610	③④	余熱除去系統	A-余熱除去ポンプ再循環サンプル側入口弁 (3V-RH-058A)	3BD-J-2 原子炉建屋	2.90	4.08	基本	④⑤	
電気盤	3A, 3Bドロップ盤 (3BCP-A-DRP, 3BCP-B-DRP)	制御建屋	15.8	15.92	0.12	原子炉補助冷却系	3B-12-11 原子炉補助冷却ポンプ	原子炉補助冷却建屋	9.800	③④	余熱除去系統	B-余熱除去ポンプ再循環サンプル側入口弁 (3V-RH-058B)	3BD-J-1 原子炉建屋	2.90	3.85	個別	④⑤	
電気盤	3A, 3B直流充電機 (3DMP-A, B)	制御建屋	15.8	15.92	0.12	原子炉補助冷却系	3B-12-11 原子炉補助冷却ポンプ	原子炉補助冷却建屋	9.520	③④	制御用空気系統 (3LAE1A)	A-制御用空気圧縮機	3RB-H-22 原子炉建屋	0.40	0.44	基本	⑥	
電気盤	3A, 3B直流分電盤 (3DDP-A, B)	制御建屋	15.8	16.28	0.48	原子炉補助冷却系	3B-12-11 原子炉補助冷却ポンプ	原子炉補助冷却建屋	9.300	③④	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：溢水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な阻害機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ビット冷却機能 ⑩ビット給水機能							
電気盤	3A, 3B蓄電池	制御建屋	15.8	16.60	0.80	原子炉補助冷却系	3B-12-11 原子炉補助冷却ポンプ	原子炉補助冷却建屋	9.300	③④	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：溢水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な阻害機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ビット冷却機能 ⑩ビット給水機能							
電気盤	3A, 3B充電器盤 (3BCP-A, B)	制御建屋	15.8	15.92	0.12	原子炉補助冷却系	3B-12-11 原子炉補助冷却ポンプ	原子炉補助冷却建屋	9.800	③④	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：溢水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な阻害機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ビット冷却機能 ⑩ビット給水機能							
電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2メタルクラッドスイッチギア (3MC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	15.95	0.15	原子炉補助冷却系	3B-12-11 原子炉補助冷却ポンプ	原子炉補助冷却建屋	1.900	③④	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：溢水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な阻害機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ビット冷却機能 ⑩ビット給水機能							
電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2パワーセンタ (3PC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	15.86	0.06	原子炉補助冷却系	3B-12-11 原子炉補助冷却ポンプ	原子炉補助冷却建屋	1.000	③④	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：溢水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な阻害機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ビット冷却機能 ⑩ビット給水機能							
電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2原子炉コントローラセンタ (3RCC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	16.01	0.21	原子炉補助冷却系	3B-12-11 原子炉補助冷却ポンプ	原子炉補助冷却建屋	2.300	③④	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：溢水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な阻害機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ビット冷却機能 ⑩ビット給水機能							
電気盤	3A, 3B, 3C, 3D計装用電源盤 (1) ~ (3) (3IBC-A, B, C, D)	制御建屋	15.8	15.90	0.10	原子炉補助冷却系	3B-12-11 原子炉補助冷却ポンプ	原子炉補助冷却建屋	1.900	③④	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：溢水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な阻害機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ビット冷却機能 ⑩ビット給水機能							
電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2, 3C1, 3C2, 3D1, 3D2計装用分電盤 (3IFD-A1, A2, B1, B2, C1, C2, D1, D2)	制御建屋	15.8	16.09	0.29	原子炉補助冷却系	3B-12-11 原子炉補助冷却ポンプ	原子炉補助冷却建屋	1.000	③④	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：溢水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な阻害機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ビット冷却機能 ⑩ビット給水機能							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由			
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（5/9）						表1 防護対象設備一覧（5/27）						表1 防護対象設備一覧（5/35）						【大飯】 記載方針の相違 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違 ・治では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである 「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様） ・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違 【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「正める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。			
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ* E.L. + [m]	床上[m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ <sup>①</sup> (m)	個別測定高さ <sup>②</sup> (m)	設定箇所	安全機能	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ <sup>①</sup> (m)	個別測定高さ <sup>②</sup> (m)	設定箇所	安全機能
電気盤	3A, 3B, 3C, 3D計装用交流電源切替盤 (31SP-A, B, C, D)	制御建屋	15.8	16.13	0.33	高圧炉心スプレイス	炉心スプレイス (322-4000)	0-001-10	原子炉建屋	0.545	0.545	基本	④	制御用空気系統	B-制御用空気圧縮機 (31AE1B)	3RB-H-N3	原子炉建屋	0.40	0.45	基本	⑥
電気盤	3AC, 3BD計装用後備分電盤 (31BD-AC, BD)	制御建屋	15.8	16.09	0.29	高圧炉心スプレイス	炉心スプレイス (322-4000)	0-002-10	原子炉建屋	0.575	0.575	基本	④	制御用空気系統	A-制御用空気Cヘッダ供給弁 (3V-1A-501A)	3RB-H-N2	原子炉建屋	0.50	0.80	基本	⑥
非常用電源系	3A, 3Bディーゼル発電機コントロールセンター (3GCC-A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	10.24	0.24	高圧炉心スプレイス	炉心スプレイス (322-4010)	0-003-10	原子炉建屋	0.633	0.633	基本	④	制御用空気系統	B-制御用空気Cヘッダ供給弁 (3V-1A-501B)	3RB-H-N2	原子炉建屋	0.50	0.80	基本	⑥
非常用電源系	3A, 3Bディーゼル機関	原子炉周辺建屋	3.5 (本体は10.0)	3.91	0.41	高圧炉心スプレイス	炉心スプレイス (322-4010)	0-003-10	原子炉建屋	0.633	0.633	基本	④	制御用空気系統	A-制御用空気主蒸気逃がし弁供給弁 (3V-1A-505A)	3RB-H-N3	原子炉建屋	0.50	0.78	基本	⑥
非常用電源系	3A, 3Bディーゼル発電機	原子炉周辺建屋	3.5 (本体は10.0)	3.84	0.34	高圧炉心スプレイス	炉心スプレイス (322-4010)	0-003-10	原子炉建屋	0.633	0.633	基本	④	制御用空気系統	B-制御用空気主蒸気逃がし弁供給弁 (3V-1A-505B)	3RB-H-N3	原子炉建屋	0.50	0.77	基本	⑥
非常用電源系	3A, 3Bディーゼル発電機制御盤 (31GC-A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	10.10	0.10	高圧炉心スプレイス	炉心スプレイス (322-4010)	0-003-10	原子炉建屋	0.633	0.633	基本	④	制御用空気系統	A-制御用空気ヘッダ圧力 (Ⅱ) (3PT-1800)	3RB-F-2	原子炉建屋	1.03	1.02	個別	⑥
格納容器スプレイス	3A, 3B格納容器スプレイス冷却器	原子炉周辺建屋	10.0	-	-	高圧炉心スプレイス	炉心スプレイス (322-4010)	0-003-10	原子炉建屋	0.633	0.633	基本	④	制御用空気系統	B-制御用空気ヘッダ圧力 (Ⅳ) (3PT-1810)	3RB-F-2	原子炉建屋	1.03	1.01	個別	⑥
格納容器スプレイス	3よう素除去薬品タンク	原子炉周辺建屋	17.1	-	-	高圧炉心スプレイス	炉心スプレイス (322-4010)	0-003-10	原子炉建屋	0.633	0.633	基本	④	関連設備	制御用空気圧縮機盤 (31APA)	3RB-H-N2	原子炉建屋	0.30	0.30	基本	⑥
格納容器スプレイス	3格納容器圧力 (広域) I, II, III, IV (3PT-950, 951, 952, 953)	原子炉周辺建屋	17.1	22.08	4.98	高圧炉心スプレイス	炉心スプレイス (322-4010)	0-003-10	原子炉建屋	0.633	0.633	基本	④	関連設備	B-制御用空気圧縮機盤 (31APB)	3RB-H-N3	原子炉建屋	0.30	0.30	基本	⑥
格納容器スプレイス	3A, 3B格納容器スプレイスポンプ	原子炉周辺建屋	3.5	4.31	0.81	注5 取水注入系	注5取水注入系ポンプ (A) (3A1-0001A)	0-2P-3-1	原子炉建屋	0.125	0.125	基本	⑥	関連設備	A-制御用空気圧縮機容量調節盤 (31AWA)	3RB-H-N2	原子炉建屋	0.80	0.79	個別	⑥
格納容器スプレイス	3A, 3B格納容器スプレイスポンプ現場操作箱 (3LB-18, 19)	原子炉周辺建屋	3.5	4.70	1.20	注5 取水注入系	注5取水注入系ポンプ (B) (3A1-0001B)	0-2P-3-1	原子炉建屋	0.125	0.125	基本	⑥	関連設備	B-制御用空気圧縮機容量調節盤 (31AWB)	3RB-H-N3	原子炉建屋	0.80	0.80	基本	⑥
格納容器スプレイス	3A, 3B格納容器スプレイスポンプ燃料取替用水ピット側入口止め弁 (3V-CP-001A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.95	1.95	注5 取水注入系	注5取水注入系ポンプ (A) (3A1-0001A)	0-2P-3-1	原子炉建屋	0.125	0.125	基本	⑥	制御用空気系統	A-制御用空気C/A外相間隔離弁 (3V-1A-510A)	3RB-F-2	原子炉建屋	0.75	0.75	基本	⑥⑧
格納容器スプレイス	3A, 3B格納容器スプレイスポンプ再循環サブ側入口格納容器隔離弁 (3V-CP-003A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	12.08	2.08	注5 取水注入系	注5取水注入系ポンプ (B) (3A1-0001B)	0-2P-3-1	原子炉建屋	0.125	0.125	基本	⑥	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：溢水により機能喪失する床面からの高さ ①安全上特に重要な関連機能 ②緊急時停止機能 ③緊急時維持機能 ④原子炉停止後の除熱機能 ⑤炉心冷却機能 ⑥放射線物質の閉じ込め機能							
格納容器スプレイス	3A, 3B格納容器スプレイスヘッダ冷却器出口格納容器隔離弁 (3V-CP-024A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	18.97	1.87	注5 取水注入系	注5取水注入系ポンプ (A) (3A1-0001A)	0-2P-3-1	原子炉建屋	0.125	0.125	基本	⑥	注3：島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様							
格納容器スプレイス	3A, 3Bよう素除去薬品注入ライン第1止め弁 (3V-CP-054A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	17.65	0.55	注5 取水注入系	注5取水注入系ポンプ (B) (3A1-0001B)	0-2P-3-1	原子炉建屋	0.125	0.125	基本	⑥	注4：設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違							
格納容器スプレイス	3A, 3Bよう素除去薬品注入ライン第2止め弁 (3V-CP-056A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	17.65	0.55	注5 取水注入系	注5取水注入系ポンプ (A) (3A1-0001A)	0-2P-3-1	原子炉建屋	0.125	0.125	基本	⑥	【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「正める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。							
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプ	原子炉周辺建屋	3.5	4.00	0.50	注5 取水注入系	注5取水注入系ポンプ (B) (3A1-0001B)	0-2P-3-1	原子炉建屋	0.125	0.125	基本	⑥								
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプ現場操作箱 (3LB-12, 13)	原子炉周辺建屋	3.5	4.70	1.20	注5 取水注入系	注5取水注入系ポンプ (A) (3A1-0001A)	0-2P-3-1	原子炉建屋	0.125	0.125	基本	⑥								
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプ燃料取替用水ピット側入口弁 (3V-SI-002A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.93	1.93	注5 取水注入系	注5取水注入系ポンプ (B) (3A1-0001B)	0-2P-3-1	原子炉建屋	0.125	0.125	基本	⑥								
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプミニマムフローライン第1止め弁 (3V-SI-015A, B)	原子炉周辺建屋	6.6	7.38	0.78	注5 取水注入系	注5取水注入系ポンプ (A) (3A1-0001A)	0-2P-3-1	原子炉建屋	0.125	0.125	基本	⑥								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由				
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(6/9)					表1 防護対象設備一覧 (6/27)					表1 防護対象設備一覧 (6/35)					【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違 ・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである 「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様） ・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違 【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。				
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ* E.L. + [m] 床上[m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. [m]	機能* 地上[m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ* 高さ[m]	個別測定高さ* 高さ[m]	設定箇所	安全機能	
安全注入系	3A, 3B 38kV 注入ポンプミニマムフローライン第2止め弁 (3V-SI-016A, B)	原子炉周辺建屋	6.6	7.38	0.78	ほう動水注入系 (B) 標準機作箱 (3D-7000)	3-2P-3-1	原子炉建屋	原子炉建屋	1.065	②	新併用空気系統	B-新併用空気C/A外側隔離弁 (3V-1A-510B)	3RB-F-2	原子炉建屋	0.75	0.75	基本	④⑤
安全注入系	3A, 3B 38kV 注入ポンプ格納容器再循環サンプル側入口格納容器隔離弁 (3V-SI-093A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.82	1.82	原子炉格納容器隔離弁 (3V-SI-093)	3-41P-3-1	原子炉建屋	原子炉建屋	9.570	①	原子炉補機冷却水系統	A-原子炉補機冷却水ポンプ (3CCPIA)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.80	2.87	基本	⑥
安全注入系	3A, 3B 38kV 除去ポンプRWSピット及び再循環サンプル側入口弁 (3V-SI-096A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.93	1.93	原子炉格納容器隔離弁 (3V-SI-096)	3-41P-10	原子炉建屋	原子炉建屋	11.216	①	原子炉補機冷却水系統	B-原子炉補機冷却水ポンプ (3CCPIB)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.80	2.87	基本	⑥
安全注入系	3A 38kV 注入流量 (I), 3B 38kV 注入流量 (II) (3PT-962, 963)	原子炉周辺建屋	10.0	11.10	1.10	原子炉格納容器隔離弁 (3V-SI-096)	3-41P-15	原子炉建屋	原子炉建屋	9.903	①	原子炉補機冷却水系統	C-原子炉補機冷却水ポンプ (3CCPIC)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.80	2.88	基本	⑥
安全注入系	3燃料取替用水ピット水位 I, II, III, IV (3LT-1400, 1401, 1402, 1403)	原子炉周辺建屋	17.1	18.18	1.08	原子炉格納容器隔離弁 (3V-SI-096)	3-41P-18	原子炉建屋	原子炉建屋	9.903	①	原子炉補機冷却水系統	D-原子炉補機冷却水ポンプ (3CCPID)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.80	2.87	基本	⑥
安全注入系、燃料取替用水系	3燃料取替用水ピット	原子炉周辺建屋	18.5	-	-	燃料取替用水配管表 (3B-0305A)	3-2P-3-2	原子炉建屋	原子炉建屋	9.900	①	原子炉補機冷却水系統	原子炉補機冷却水戻り母管A側連絡弁 (3V-CC-014A)	3RB-K-N1	原子炉建屋	1.30	2.65	基本	⑥
燃料取替用水系	3A, 3B 燃料取替用水ポンプ	原子炉周辺建屋	17.1	17.57	0.47	燃料取替用水配管表 (3B-0305B)	3-2P-3-3	原子炉建屋	原子炉建屋	9.465	①	原子炉補機冷却水系統	原子炉補機冷却水戻り母管B側連絡弁 (3V-CC-014B)	3RB-K-N1	原子炉建屋	1.30	2.66	基本	⑥
燃料取替用水系	3A, 3B 燃料取替用水ポンプ現場操作箱 (3LB-33, 34)	原子炉周辺建屋	17.1	18.30	1.20	燃料取替用水配管表 (3B-0305C)	3-2P-3-4	原子炉建屋	原子炉建屋	9.145	①	原子炉補機冷却水系統	原子炉補機冷却水供給母管A側連絡弁 (3V-CC-055A)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.65	3.99	基本	⑥
燃料ピット冷却浄化系	3A, 3B 使用済燃料ピット冷却器	原子炉周辺建屋	10.0	-	-	燃料取替用水配管表 (3B-0305D)	3-2P-3-5	原子炉建屋	原子炉建屋	9.135	①	原子炉補機冷却水系統	原子炉補機冷却水供給母管B側連絡弁 (3V-CC-055B)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.65	4.00	基本	⑥
燃料ピット冷却浄化系	3A, 3B 使用済燃料ピットポンプ	原子炉周辺建屋	33.6	-	-	燃料取替用水配管表 (3B-0305E)	3-2P-3-6	原子炉建屋	原子炉建屋	1.230	①	注1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ 注2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能						
燃料ピット冷却浄化系	3A, 3B 使用済燃料ピットポンプ現場操作箱 (3LB-24, 25)	原子炉周辺建屋	10.0	10.71	0.71	燃料取替用水配管表 (3B-0305F)	3-2P-3-7	原子炉建屋	原子炉建屋	1.230	①	注1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ 注2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能						
燃料ピット冷却浄化系	3A, 3B, 3C, 3D 主蒸気透かし弁 (3PCV-3610, 3620, 3630, 3640)	原子炉周辺建屋	26.0	37.37	11.37	燃料取替用水配管表 (3B-0305G)	3-2P-3-8	原子炉建屋	原子炉建屋	3.430	①	注1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ 注2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能						
主蒸気系	I, II, III, IV, 3A, 3B, 3C, 3D 主蒸気圧力 (3PT-465, 466, 467, 468, 475, 476, 477, 478, 485, 486, 487, 488, 495, 496, 497, 498)	原子炉周辺建屋	29.0	30.00	1.00	燃料取替用水配管表 (3B-0305H)	3-2P-3-9	原子炉建屋	原子炉建屋	1.445	①	注1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ 注2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能						
主蒸気系	3A, 3B, 3C, 3D 主蒸気隔離弁 (3V-MS-533A, B, C, D)	原子炉周辺建屋	33.6	36.78	3.18	燃料取替用水配管表 (3B-0305I)	3-2P-3-10	原子炉建屋	原子炉建屋	1.495	①	注1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ 注2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能						
主蒸気系	3A, 3B, 3C, 3D 主蒸気隔離弁 (3V-MS-533A, B, C, D 付属バルブ)	原子炉周辺建屋	29.0	29.52	0.52	燃料取替用水配管表 (3B-0305J)	3-2P-3-11	原子炉建屋	原子炉建屋	1.475	①	注1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ 注2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能						
冷水系	3A, 3B, 3C, 3D 空調用冷凍機	制御建屋	10.0	10.59	0.59	燃料取替用水配管表 (3B-0305K)	3-2P-3-12	原子炉建屋	原子炉建屋	1.545	①	注1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ 注2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能						
冷水系	3A, 3B, 3C, 3D 空調用冷水ポンプ	制御建屋	10.0	10.54	0.54	燃料取替用水配管表 (3B-0305L)	3-2P-3-13	原子炉建屋	原子炉建屋	1.200	①	注1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ 注2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能						
冷水系	3A, 3B, 3C, 3D 空調用冷水ポンプ現場操作箱 (3LB-102, 104, 105, 106)	制御建屋	10.0	11.20	1.20	燃料取替用水配管表 (3B-0305M)	3-2P-3-14	原子炉建屋	原子炉建屋	1.200	①	注1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ 注2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由		
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（7/9）						表1 防護対象設備一覧（7/27）						表1 防護対象設備一覧（7/35）						<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川・大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである</p> <p>「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>		
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L.+[m]	機能喪失高さ <sup>※</sup> E.L.+[m]	床高[m]	系統	設備	設置番号	設置建屋	E.L. <sup>①</sup> [m]	機能 <sup>②</sup>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ <sup>③</sup> [m]	個別測定高さ <sup>④</sup> [m]	設定箇所	安全機能	
冷水系	3空調用冷水Nヘッダ供給、戻りライン止め弁（3V-CI-032, 033）	制御建屋	10.0	11.21	1.21	原子炉格納容器	空気取集装置(A)電気ヒータ入口扉扉	0-2P-1-1	原子炉建屋	1.900	⑤	原子炉格納容器	A-余熱除去冷却器補機冷却水出口弁（3V-CC-117A）	3AB-K-4	原子炉補助建屋	0.60	1.28	基本	⑥①	
冷水系	3A,3B中央制御室空調ユニット冷水温度制御弁（3TCV-2878, 2879）	制御建屋	26.1	27.32	1.22	原子炉格納容器	空気取集装置(B)電気ヒータ入口扉扉	0-2P-1-1	原子炉建屋	1.940	⑤	原子炉格納容器	B-余熱除去冷却器補機冷却水出口弁（3V-CC-117B）	3AB-K-4	原子炉補助建屋	0.60	1.29	基本	⑥①	
冷水系	34C,34D安全補機閉閉器室空調ユニット冷水温度制御弁（34TCV-2800, 2801）	制御建屋	26.1	27.58	1.48	原子炉格納容器	フィルタ設置チャコールエアフィルタ入口扉扉	0-2P-1-1	原子炉建屋	1.215	⑤	原子炉格納容器	A-格納容器スプレイ冷却器補機冷却水出口弁（3V-CC-177A）	3AB-K-4	原子炉補助建屋	0.60	1.27	基本	⑥	
換気空調系	3換気空調装置（3VB）	制御建屋	21.8	21.97	0.17	原子炉格納容器	フィルタ設置チャコールエアフィルタ入口扉扉	0-2P-1-1	原子炉建屋	1.265	⑤	原子炉格納容器	B-格納容器スプレイ冷却器補機冷却水出口弁（3V-CC-177B）	3AB-K-4	原子炉補助建屋	0.60	1.30	基本	⑥	
換気空調系	3A,3B中央制御室空調ファン	制御建屋	26.1	27.35	1.25	原子炉格納容器	フィルタ設置チャコールエアフィルタ出口扉扉	0-2P-1-1	原子炉建屋	1.900	⑤	原子炉格納容器	A-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水入口弁（3V-CC-151A）	3BB-B-4	原子炉建屋	0.55	1.10	基本	⑥	
換気空調系	3A,3B中央制御室空調ファン現場操作箱（3LB-101, 102）	制御建屋	26.1	27.30	1.20	原子炉格納容器	フィルタ設置チャコールエアフィルタ出口扉扉	0-2P-1-1	原子炉建屋	0.330	⑤	原子炉格納容器	B-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水入口弁（3V-CC-151B）	3BB-B-4	原子炉建屋	0.55	1.10	基本	⑥	
換気空調系	3A,3B中央制御室空調ファン出口ダンパ（3D-VS-603A,B）	制御建屋	26.1	30.03	3.93	可溶性ガス濃度制御弁(A)	①圧力ヒータ(A)流量調整弁（34T-2800A）	0-2P-2-1	原子炉建屋	0.145	⑤	可溶性ガス濃度制御弁(A)	A-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水出口弁（3V-CC-159A）	3BB-B-4	原子炉建屋	0.55	1.10	基本	⑥	
換気空調系	3A,3B中央制御室空調ファン出口流量（3FS-2910, 2911）	制御建屋	26.1	27.42	1.32	可溶性ガス濃度制御弁(B)	②格納容器濃度制御弁内組設置加熱器(A)（電気ヒータ）（34F-8000A）	0-2P-2-2	原子炉建屋	0.115	⑤	可溶性ガス濃度制御弁(B)	B-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水出口弁（3V-CC-159B）	3BB-B-4	原子炉建屋	0.55	1.10	基本	⑥	
換気空調系	3中央制御室温度(1),(2)（3TS-2908, 2909）	制御建屋	21.8	23.21	1.41	可溶性ガス濃度制御弁(C)	③A入口流量調整弁（34B-0001A）	0-2P-2-3	原子炉建屋	0.800	⑤	可溶性ガス濃度制御弁(C)	BA,WD及びVDエバ補機冷却水戻りライン第1止め弁（3V-CC-351）	3AB-F-1	原子炉補助建屋	0.62	1.02	基本	⑥	
換気空調系	3A,3B中央制御室循環ファン	制御建屋	26.1	26.34	0.24	可溶性ガス濃度制御弁(D)	④A入口流量調整弁（34B-0001B）	0-2P-2-4	原子炉建屋	0.810	⑤	可溶性ガス濃度制御弁(D)								
換気空調系	3A,3B中央制御室循環ファン現場操作箱（3LB-95, 96）	制御建屋	26.1	27.30	1.20	可溶性ガス濃度制御弁(E)	⑤A入口流量調整弁（34B-0001C）	0-2P-2-5	原子炉建屋	0.810	⑤	可溶性ガス濃度制御弁(E)								
換気空調系	3A,3B中央制御室循環ファン入口ダンパ（3D-VS-604A,B）	制御建屋	26.1	27.53	1.43	可溶性ガス濃度制御弁(F)	⑥A入口流量調整弁（34B-0001D）	0-2P-2-6	原子炉建屋	0.810	⑤	可溶性ガス濃度制御弁(F)								
換気空調系	3A,3B中央制御室循環流量調節ダンパ（3HCD-2885, 2886）	制御建屋	26.1	27.52	1.42	可溶性ガス濃度制御弁(G)	⑦A入口流量調整弁（34B-0001E）	0-2P-2-7	原子炉建屋	0.810	⑤	可溶性ガス濃度制御弁(G)								
換気空調系	3A,3B中央制御室循環ダンパ流量設定（3HC-2885, 2886）	制御建屋	26.1	27.85	1.75	可溶性ガス濃度制御弁(H)	⑧A入口流量調整弁（34B-0001F）	0-2P-2-8	原子炉建屋	0.810	⑤	可溶性ガス濃度制御弁(H)								
換気空調系	34A,34B安全補機閉閉器室空調ファン	制御建屋	26.1	27.88	1.78	可溶性ガス濃度制御弁(I)	⑨A入口流量調整弁（34B-0001G）	0-2P-2-9	原子炉建屋	0.810	⑤	可溶性ガス濃度制御弁(I)								
換気空調系	34C,34D安全補機閉閉器室空調ファン	制御建屋	26.1	27.88	1.78	可溶性ガス濃度制御弁(J)	⑩A入口流量調整弁（34B-0001H）	0-2P-2-10	原子炉建屋	0.810	⑤	可溶性ガス濃度制御弁(J)								
換気空調系	34A,34B,34C,34D安全補機閉閉器室空調ファン現場操作箱（34LE-13, 14, 20, 21）	制御建屋	26.1	27.33	1.23	可溶性ガス濃度制御弁(K)	⑪A入口流量調整弁（34B-0001I）	0-2P-2-11	原子炉建屋	0.810	⑤	可溶性ガス濃度制御弁(K)								
換気空調系	3安全系電気盤室給気止めダンパA,B（3D-VS-532, 533）	制御建屋	26.1	29.36	3.26	可溶性ガス濃度制御弁(L)	⑫A入口流量調整弁（34B-0001J）	0-2P-2-12	原子炉建屋	0.810	⑤	可溶性ガス濃度制御弁(L)								
換気空調系	3安全系電気盤室排気止めダンパA（3D-VS-536）	制御建屋	28.7	30.96	2.26	可溶性ガス濃度制御弁(M)	⑬A入口流量調整弁（34B-0001K）	0-2P-2-13	原子炉建屋	0.810	⑤	可溶性ガス濃度制御弁(M)								
換気空調系	3安全系電気盤室排気止めダンパB（3D-VS-537）	制御建屋	26.1	29.50	3.40	可溶性ガス濃度制御弁(N)	⑭A入口流量調整弁（34B-0001L）	0-2P-2-14	原子炉建屋	0.810	⑤	可溶性ガス濃度制御弁(N)								
換気空調系	3A,3B安全補機閉閉器室温度（3TS-2817, 2818）	制御建屋	15.8	17.20	1.40	可溶性ガス濃度制御弁(O)	⑮A入口流量調整弁（34B-0001M）	0-2P-2-15	原子炉建屋	0.810	⑤	可溶性ガス濃度制御弁(O)								
換気空調系	3A,3B制御用空気圧縮機室給気ファン	原子炉周辺建屋	17.1	17.40	0.30	可溶性ガス濃度制御弁(P)	⑯A入口流量調整弁（34B-0001N）	0-2P-2-16	原子炉建屋	0.810	⑤	可溶性ガス濃度制御弁(P)								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由						
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(8/9)				表1 防護対象設備一覧 (8/27)				表1 防護対象設備一覧 (8/35)				<p>【大飯】 記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川・大飯】 記載方針の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである</p> <p>「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違</p> <p>安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>						
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ <sup>※</sup> E.L. + [m]	床高[m]	系統	設備	設置建屋	E.L. <sup>※</sup> [m]	機能 <sup>※</sup>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ <sup>※1</sup> 高さ <sup>※2</sup> (m)	個別測定高さ <sup>※2</sup> 高さ <sup>※2</sup> (m)	設定箇所	安全機能
換気空調系	3A, 3B制御用空気圧縮機室給気ファン現場操作箱 (3LB-90, 91)	原子炉周辺建屋	17.1	18.30	1.20	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVゾナ (A) 入口圧力監視器 (149-470040)	原子炉建屋	9.115	⑤	原子炉	BA, WD及びD-CP補機冷却水戻りライン第2止め弁 (3W-CC-352)	3AB-F-1	原子炉補助建屋	0.62	1.01	基本	④
換気空調系	3制御用空気圧縮機室排気ダンパA, B (3D-VS-431A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	21.65	4.55	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVゾナ (A) 入口圧力監視器 (149-470040)	原子炉建屋	9.115	⑤	原子炉	原子炉補機冷却水サージタンク水位 (III) (3LT-1200)	3RD-A-R2	原子炉建屋	1.03	1.02	個別	④
換気空調系	3制御用空気圧縮機室温度 (1), (2), (3), (4) (3TS-2771, 2772, 2773, 2774)	原子炉周辺建屋	17.1	18.50	1.40	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVゾナ (A) 入口温度監視器 (149-31004-1)	原子炉建屋	9.145	⑤	原子炉	原子炉補機冷却水サージタンク水位 (IV) (3LT-1201)	3RD-A-N2	原子炉建屋	1.03	1.00	個別	④
換気空調系	3A, 3B電動補助給水ポンプ室給気ファン	原子炉周辺建屋	17.1	17.43	0.33	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVゾナ (A) 入口温度監視器 (149-31004-2)	原子炉建屋	9.145	⑤	原子炉	A, B-C/V再循環ユニット補機冷却水入口DC/V外側隔離弁 (3W-CC-203A)	3RD-D-2	原子炉建屋	1.00	1.18	基本	④
換気空調系	3A, 3B電動補助給水ポンプ室給気ファン現場操作箱 (3LB-86, 87)	原子炉周辺建屋	17.1	18.30	1.20	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVゾナ (A) 入口温度監視器 (149-31004-1)	原子炉建屋	9.145	⑤	原子炉	C, D-C/V再循環ユニット補機冷却水入口DC/V外側隔離弁 (3W-CC-203B)	3RD-D-3	原子炉建屋	1.20	1.39	基本	④
換気空調系	3電動補助給水ポンプ室排気ダンパA, B (3D-VS-411A, B)	原子炉周辺建屋	21.3	23.30	2.00	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVゾナ (A) 入口温度監視器 (149-31004-2)	原子炉建屋	9.145	⑤	原子炉	A-C/V再循環ユニット補機冷却水出口DC/V外側隔離弁 (3W-CC-208A)	3RD-D-2	原子炉建屋	3.94	4.00	基本	④
換気空調系	3A, 3B電動補助給水ポンプ室温度 (1), (2) (3TS-2741, 2742, 2743, 2744)	原子炉周辺建屋	10.0	11.40	1.40	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVゾナ (A) 入口温度監視器 (149-31004-1)	原子炉建屋	9.145	⑤	原子炉	B-C/V再循環ユニット補機冷却水出口DC/V外側隔離弁 (3W-CC-208B)	3RD-D-2	原子炉建屋	3.94	4.00	基本	④
換気空調系	3A1, 3A2, 3B1, 3B2ディーゼル発電機室給気ファン	原子炉周辺建屋	33.6	33.91	0.31	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVゾナ (A) 入口温度監視器 (149-31004-2)	原子炉建屋	9.145	⑤	原子炉	C-C/V再循環ユニット補機冷却水出口DC/V外側隔離弁 (3W-CC-208C)	3RD-D-3	原子炉建屋	3.94	4.00	基本	④
換気空調系	3A1-A2, 3B1-B2ディーゼル発電機室給気ファン現場操作箱 (3LB-84, 85)	原子炉周辺建屋	33.6	34.82	1.22	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVゾナ (A) 入口温度監視器 (149-31004-1)	原子炉建屋	9.115	⑤	原子炉	D-C/V再循環ユニット補機冷却水出口DC/V外側隔離弁 (3W-CC-208D)	3RD-D-3	原子炉建屋	3.94	4.04	基本	④
換気空調系	3ディーゼル発電機室排気ダンパA1, A2, B1, B2 (3D-VS-401A, B, 403A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	13.59	3.59	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVゾナ (A) 入口温度監視器 (149-31004-2)	原子炉建屋	9.145	⑤	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ							
換気空調系	3A, 3Bディーゼル発電機室温度 (1), (2), (3), (4) (3TS-2701, 2702, 2703, 2704, 2711, 2712, 2713, 2714)	原子炉周辺建屋	10.0	11.18	1.18	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVゾナ (A) 入口温度監視器 (149-31004-1)	原子炉建屋	9.145	⑤	①緊急停止機能 ②未燃暴発抑制機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性質物質の閉じ込め機能							
換気空調系	3A, 3B安全補機室冷却ファン	原子炉周辺建屋	17.1	17.93	0.83	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVゾナ (A) 入口温度監視器 (149-31004-2)	原子炉建屋	9.145	⑤	⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ビット給水機能							
換気空調系	3A, 3B安全補機室冷却ファン現場操作箱 (3LB-82, 83)	原子炉周辺建屋	17.1	18.30	1.20	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVゾナ (A) 入口温度監視器 (149-31004-1)	原子炉建屋	9.145	⑤								
換気空調系	3A, 3B安全補機室温度 (1), (2) (3TS-2680, 2681, 2690, 2691)	原子炉周辺建屋	10.0	11.28	1.28	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV 圧力監視器 (149-49002)	原子炉建屋	9.444	⑤								
換気空調系	3A, 3B安全補機室排気ダンパ (3D-VS-105A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	22.61	5.51	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV 圧力監視器 (149-49002)	原子炉建屋	9.422	⑤								
換気空調系	3A, 3Bほう酸ポンプ室空調ファン	原子炉周辺建屋	10.0	10.59	0.59	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV 圧力監視器 (149-49002)	原子炉建屋	9.266	⑤								
換気空調系	3A, 3Bほう酸ポンプ室空調ファン現場操作箱 (3LB-77, 78)	原子炉周辺建屋	10.0	11.20	1.20	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV 圧力監視器 (149-49002)	原子炉建屋	9.105	⑤								
換気空調系	3A, 3Bほう酸ポンプ室空調ファン給気加熱コイル	原子炉周辺建屋	10.0	10.46	0.46	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV 圧力監視器 (149-49002)	原子炉建屋	9.105	⑤								
換気空調系	3A, 3Bほう酸ポンプ室温度調節計 (3TC-2601, 2611)	原子炉周辺建屋	10.0	10.70	0.70	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV 圧力監視器 (149-49002)	原子炉建屋	9.105	⑤								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由							
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く） (9/9)				表1 防護対象設備一覧 (9/27)				表1 防護対象設備一覧 (9/35)				【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違 ・ 泊では評価ガイド下の要求に則り、機能喪失高さは、保守的にある「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（鳥根2号炉、相崎6,7号炉と同様） ・ 設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違 【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。							
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ <sup>※</sup> E.L. + [m]	床高[m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. <sup>※1</sup> [m]	機能 <sup>※2</sup>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ <sup>※1</sup> 高さ <sup>※2</sup> (m)	個別測定高さ <sup>※3</sup> 高さ <sup>※4</sup> (m)	設定箇所	安全機能
換気空調系	3号炉酸タンク室温度(1),(2),(3),(4) (3TS-2602, 2603, 2612, 2613)	原子炉周辺建屋	10.0	11.29	1.29	可視性ガス濃度制御系(注)	PCS 3号炉内循環系温度調節弁 (T49-3000-60)	E-02-03	原子炉建屋 原子炉棟	6.105	①	原子炉	余熱抽出冷却器等補機冷却水	3BB-E-1	原子炉建屋	1.38	1.45	基本	⑤
換気空調系	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン	制御建屋	29.3	29.90	0.60	可視性ガス濃度制御系(注)	PCS 3号炉入口流量調節弁(注) (T49-3000-2)	E-02-03	原子炉建屋 原子炉棟	6.105	①	原子炉	余熱抽出冷却器等補機冷却水	3BB-E-1	原子炉建屋	0.88	0.90	基本	⑤
換気空調系	3A, B中央制御室非常用循環ファン現場操作箱 (3LB-97, 98)	制御建屋	29.3	30.50	1.20	可視性ガス濃度制御系(注)	PCS 3号炉入口流量調節弁(注) (T49-3000-2)	E-02-03	原子炉建屋 原子炉棟	6.105	①	原子炉	1次冷却材ポンプ補機冷却水	3BB-E-1	原子炉建屋	1.12	1.27	基本	⑥
換気空調系	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ (3D-VS-602A, B)	制御建屋	29.3	29.66	0.36	可視性ガス濃度制御系(注)	PCS 3号炉入口流量調節弁(注) (T49-3000-2)	E-02-03	原子炉建屋 原子炉棟	6.145	①	原子炉	1次冷却材ポンプ補機冷却水	3BB-E-1	原子炉建屋	1.12	1.28	基本	⑤
換気空調系	3A, 3B中央制御室外気取入流量調節ダンパ (3HC-D-2874, 2875)	制御建屋	29.3	30.76	1.46	可視性ガス濃度制御系(注)	PCS 3号炉入口流量調節弁(注) (T49-3000-2)	E-02-03	原子炉建屋 原子炉棟	6.145	①	原子炉	1次冷却材ポンプ補機冷却水	3BB-E-1	原子炉建屋	1.12	1.25	基本	⑤
換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時外気取入流量調節ダンパ (3HC-D-2889, 2890)	制御建屋	29.3	29.67	0.37	可視性ガス濃度制御系(注)	PCS 3号炉入口流量調節弁(注) (T49-3000-2)	E-02-03	原子炉建屋 原子炉棟	6.145	①	原子炉	1次冷却材ポンプ補機冷却水	3BB-E-1	原子炉建屋	1.12	1.25	基本	⑤
換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時外気取入流量調節ダンパ (3HC-D-2891, 2892)	制御建屋	29.3	31.29	1.99	可視性ガス濃度制御系(注)	PCS 3号炉入口流量調節弁(注) (T49-3000-2)	E-02-03	原子炉建屋 原子炉棟	6.145	①	原子炉	1次冷却材ポンプ補機冷却水	3BB-E-1	原子炉建屋	1.12	1.25	基本	⑤
換気空調系	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン出口流量調節ダンパ (3FS-2904, 2905)	制御建屋	26.1	27.44	1.34	可視性ガス濃度制御系(注)	PCS 3号炉入口流量調節弁(注) (T49-3000-2)	E-02-03	原子炉建屋 原子炉棟	6.145	①	原子炉	1次冷却材ポンプ補機冷却水	3BB-E-1	原子炉建屋	1.12	1.25	基本	⑤
換気空調系	3A, 3B中央制御室外気取入調節ダンパ流量設定 (3HC-2874, 2875)	制御建屋	29.3	30.90	1.60	可視性ガス濃度制御系(注)	PCS 3号炉入口流量調節弁(注) (T49-3000-2)	E-02-03	原子炉建屋 原子炉棟	6.105	①	原子炉	A-充電器盤 (3CFA)	3AB-H-36	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑥
換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時外気取入調節ダンパ流量設定 (3HC-2889, 2890)	制御建屋	29.3	30.49	1.19	可視性ガス濃度制御系(注)	PCS 3号炉入口流量調節弁(注) (T49-3000-2)	E-02-03	原子炉建屋 原子炉棟	6.145	①	原子炉	B-充電器盤 (3CFB)	3AB-H-31	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑥
換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時循環ダンパ流量設定 (3HC-2891, 2892)	制御建屋	29.3	31.45	2.15	可視性ガス濃度制御系(注)	PCS 3号炉入口流量調節弁(注) (T49-3000-2)	E-02-03	原子炉建屋 原子炉棟	6.145	①	原子炉	運転コンソール (3MCS)	3AB-F-NS	原子炉補助建屋	0.20	0.20	基本	⑥
換気空調系	3A, 3Bアニュラス空気浄化ファン (3VSP9A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	21.47	0.57	事故時監視計器(注)	原子炉出力計 (3E1-3700-10)	E-02-0	原子炉建屋 原子炉棟	6.600	⑤	原子炉	共通要因故障対策自動操作盤 (3OCPLP)						⑥
換気空調系	3A, 3Bアニュラス空気浄化ファン現場操作箱 (3LB-52, 53)	原子炉周辺建屋	20.9	22.10	1.20	事故時監視計器(注)	原子炉出力計 (3E2-3700-10)	E-02-0	原子炉建屋 原子炉棟	6.600	⑤	原子炉	A-共通要因故障対策操作盤 (3OCFPA)	3AB-F-38	原子炉補助建屋	0.37	0.33	個別	⑥
換気空調系	3A, 3Bアニュラス排気ダンパ (3D-VS-101A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	21.37	0.47	事故時監視計器(注)	原子炉出力計 (3E3-3700-10)	E-02-0	原子炉建屋 原子炉棟	1.700	⑤	原子炉	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ ④安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能						
換気空調系	3A, 3Bアニュラス戻りダンパ (3D-VS-104A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	19.24	2.14	事故時監視計器(注)	原子炉出力計 (3E4-3700-10)	E-02-0	原子炉建屋 原子炉棟	6.900	⑤	原子炉	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ ④安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能						
換気空調系	3A, 3Bアニュラス全量排気弁 (3V-YS-102A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	22.97	2.07	事故時監視計器(注)	原子炉出力計 (3E5-3700-10)	E-02-0	原子炉建屋 原子炉棟	6.900	⑤	原子炉	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ ④安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能						
換気空調系	3A, 3Bアニュラス少量排気弁 (3V-YS-103A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	23.25	2.35	事故時監視計器(注)	原子炉出力計 (3E6-3700-10)	E-02-0	原子炉建屋 原子炉棟	6.900	⑤	原子炉	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ ④安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能						
※ 没水しても機能喪失しない設備は、機能喪失高さを「-」とする。												※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ（床上面から0.05mを考慮） ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ（床上面から0.05mを考慮） ①緊急停止機能 ②緊急停止機能 ③緊急停止機能 ④緊急停止機能 ⑤緊急停止機能 ⑥緊急停止機能 ⑦緊急停止機能 ⑧緊急停止機能 ⑨緊急停止機能 ⑩緊急停止機能 ⑪緊急停止機能 ⑫緊急停止機能 ⑬緊急停止機能 ⑭緊急停止機能 ⑮緊急停止機能 ⑯緊急停止機能 ⑰緊急停止機能 ⑱緊急停止機能 ⑲緊急停止機能 ⑳緊急停止機能 ㉑緊急停止機能 ㉒緊急停止機能 ㉓緊急停止機能 ㉔緊急停止機能 ㉕緊急停止機能 ㉖緊急停止機能 ㉗緊急停止機能 ㉘緊急停止機能 ㉙緊急停止機能 ㉚緊急停止機能 ㉛緊急停止機能 ㉜緊急停止機能 ㉝緊急停止機能 ㉞緊急停止機能 ㉟緊急停止機能 ㊱緊急停止機能 ㊲緊急停止機能 ㊳緊急停止機能 ㊴緊急停止機能 ㊵緊急停止機能 ㊶緊急停止機能 ㊷緊急停止機能 ㊸緊急停止機能 ㊹緊急停止機能 ㊺緊急停止機能 ㊻緊急停止機能 ㊼緊急停止機能 ㊽緊急停止機能 ㊾緊急停止機能 ㊿緊急停止機能							
												■ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉							女川原子力発電所2号炉							泊発電所3号炉							相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く） (1/9)							表1 防護対象設備一覧 (10/27)							表1 防護対象設備一覧 (10/35)							<b>【大飯】</b> 記載方針の相違 女川審査実績の反映 <b>【女川・大飯】</b> 記載方針の相違 設計方針の相違 ・ 泊では評価ガイド下の要求に則り、機能喪失高さは、保守的にある「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（鳥根2号炉、相崎6,7号炉と同様） ・ 設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違 <b>【女川】</b> 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>設置建屋</th> <th>設置高さ E.L. + [m]</th> <th>機能喪失高さ<sup>※</sup> E.L. + [m]</th> <th>床土[m]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>補助給水系</td><td>4A, 4B電動補助給水ポンプ</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>10.0</td><td>10.60</td><td>0.60</td></tr> <tr><td>補助給水系</td><td>4タービン動補助給水ポンプ</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>3.5</td><td>4.16</td><td>0.66</td></tr> <tr><td>補助給水系</td><td>4タービン動補助給水ポンプ起動弁A, B (4V-MS-570A, B)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>33.6</td><td>34.75</td><td>1.15</td></tr> <tr><td>補助給水系</td><td>4タービン動補助給水ポンプ起動弁A, B (4TDF-A, B)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>10.0</td><td>10.26</td><td>0.26</td></tr> <tr><td>補助給水系</td><td>4A, 4B, 4C, 4D蒸気発生器補助給水流量 (4FT-3716, 3726, 3736, 3746)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>17.1</td><td>18.21</td><td>1.11</td></tr> <tr><td>補助給水系</td><td>4復水ビット水位Ⅲ, IV (4LT-3760, 3761)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>26.0</td><td>26.45</td><td>0.45</td></tr> <tr><td>補助給水系</td><td>4復水ビット</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>26.0</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4A, 4B充てんポンプ</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>10.0</td><td>10.65</td><td>0.65</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4C充てんポンプ</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>10.0</td><td>10.29</td><td>0.29</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4C充てんポンプ速度制御盤 (4CSC)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>10.0</td><td>11.00</td><td>1.00</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4C充てんポンプ速度制御補助盤 (4CSAC)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>10.0</td><td>10.80</td><td>0.80</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4A, 4B, 4C1, 4C2充てんポンプ現場操作箱 (4LB-5, 6, 7, 8)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>10.0</td><td>11.20</td><td>1.20</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4充てんポンプ入口燃料取替用水ビット側補助弁A, B (4LCV-121D, E)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>10.0</td><td>11.19</td><td>1.19</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4A, 4Bほう酸ポンプ</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>10.0</td><td>10.62</td><td>0.62</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4A, 4Bほう酸ポンプ現場操作箱 (4LB-9, 10)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>10.0</td><td>11.20</td><td>1.20</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4充てんライン止め弁 (4V-CS-155)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>10.0</td><td>11.03</td><td>1.03</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4体積制御タンク出口第1止め弁 (4LCV-121B)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>17.1</td><td>18.26</td><td>1.16</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4体積制御タンク出口第2止め弁 (4LCV-121C)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>17.1</td><td>18.27</td><td>1.17</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4緊急ほう酸注入ライン補助弁 (4V-CS-573)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>17.1</td><td>21.57</td><td>4.47</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4充てんライン格納容器隔離弁 (4V-CS-157)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>17.1</td><td>22.14</td><td>5.04</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4-1次冷却材ポンプ封水戻りライン格納容器第2隔離弁 (4V-CS-312)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>17.1</td><td>22.00</td><td>4.90</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4封水冷却器</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>17.1</td><td>-</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>	系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ <sup>※</sup> E.L. + [m]	床土[m]	補助給水系	4A, 4B電動補助給水ポンプ	原子炉周辺建屋	10.0	10.60	0.60	補助給水系	4タービン動補助給水ポンプ	原子炉周辺建屋	3.5	4.16	0.66	補助給水系	4タービン動補助給水ポンプ起動弁A, B (4V-MS-570A, B)		原子炉周辺建屋	33.6	34.75	1.15	補助給水系	4タービン動補助給水ポンプ起動弁A, B (4TDF-A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	10.26	0.26	補助給水系	4A, 4B, 4C, 4D蒸気発生器補助給水流量 (4FT-3716, 3726, 3736, 3746)	原子炉周辺建屋	17.1	18.21	1.11	補助給水系	4復水ビット水位Ⅲ, IV (4LT-3760, 3761)	原子炉周辺建屋	26.0	26.45	0.45	補助給水系	4復水ビット	原子炉周辺建屋	26.0	-	-	化学体積制御系	4A, 4B充てんポンプ	原子炉周辺建屋	10.0	10.65	0.65	化学体積制御系	4C充てんポンプ	原子炉周辺建屋	10.0	10.29	0.29	化学体積制御系	4C充てんポンプ速度制御盤 (4CSC)	原子炉周辺建屋	10.0	11.00	1.00	化学体積制御系	4C充てんポンプ速度制御補助盤 (4CSAC)	原子炉周辺建屋	10.0	10.80	0.80	化学体積制御系	4A, 4B, 4C1, 4C2充てんポンプ現場操作箱 (4LB-5, 6, 7, 8)	原子炉周辺建屋	10.0	11.20	1.20	化学体積制御系	4充てんポンプ入口燃料取替用水ビット側補助弁A, B (4LCV-121D, E)	原子炉周辺建屋	10.0	11.19	1.19	化学体積制御系	4A, 4Bほう酸ポンプ	原子炉周辺建屋	10.0	10.62	0.62	化学体積制御系	4A, 4Bほう酸ポンプ現場操作箱 (4LB-9, 10)	原子炉周辺建屋	10.0	11.20	1.20	化学体積制御系	4充てんライン止め弁 (4V-CS-155)	原子炉周辺建屋	10.0	11.03	1.03	化学体積制御系	4体積制御タンク出口第1止め弁 (4LCV-121B)	原子炉周辺建屋	17.1	18.26	1.16	化学体積制御系	4体積制御タンク出口第2止め弁 (4LCV-121C)	原子炉周辺建屋	17.1	18.27	1.17	化学体積制御系	4緊急ほう酸注入ライン補助弁 (4V-CS-573)	原子炉周辺建屋	17.1	21.57	4.47	化学体積制御系	4充てんライン格納容器隔離弁 (4V-CS-157)	原子炉周辺建屋	17.1	22.14	5.04	化学体積制御系	4-1次冷却材ポンプ封水戻りライン格納容器第2隔離弁 (4V-CS-312)	原子炉周辺建屋	17.1	22.00	4.90	化学体積制御系	4封水冷却器	原子炉周辺建屋	17.1	-	-	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>E.L. [m]</th> <th>機能<sup>※</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>緊急時電源計器 (EM)</td><td>原子炉水没 (1号機) (S)</td><td>E-101-1</td><td>原子炉建屋</td><td>9.360</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時電源計器 (EM)</td><td>3号機電源 (ランプA) (緊急時) (S)</td><td>E-101-5</td><td>原子炉建屋</td><td>9.360</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時電源計器 (EM)</td><td>3号機電源 (ランプB) (緊急時) (S)</td><td>E-101-6</td><td>原子炉建屋</td><td>1.560</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時電源計器 (EM)</td><td>3号機電源 (ランプA) (緊急時) (S)</td><td>E-101-5</td><td>原子炉建屋</td><td>1.510</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時電源計器 (EM)</td><td>3号機電源 (ランプA) (緊急時) (S)</td><td>E-101-5</td><td>原子炉建屋</td><td>9.420</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時電源計器 (EM)</td><td>3号機電源 (ランプA) (緊急時) (S)</td><td>E-101-5</td><td>原子炉建屋</td><td>1.300</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時電源計器 (EM)</td><td>3号機電源 (ランプA) (緊急時) (S)</td><td>E-101-5</td><td>原子炉建屋</td><td>1.360</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時電源計器 (EM)</td><td>3号機電源 (ランプA) (緊急時) (S)</td><td>E-101-5</td><td>原子炉建屋</td><td>9.370</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時電源計器 (EM)</td><td>3号機電源 (ランプA) (緊急時) (S)</td><td>E-101-5</td><td>原子炉建屋</td><td>9.420</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時電源計器 (EM)</td><td>3号機電源 (FAS) (緊急時) (S)</td><td>E-101-5</td><td>原子炉建屋</td><td>2.920</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時電源計器 (EM)</td><td>3号機電源 (FAS) (緊急時) (S)</td><td>E-101-5</td><td>原子炉建屋</td><td>2.160</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時電源計器 (EM)</td><td>3号機電源 (FAS) (緊急時) (S)</td><td>E-101-5</td><td>原子炉建屋</td><td>2.490</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時電源計器 (EM)</td><td>3号機電源 (FAS) (緊急時) (S)</td><td>E-101-5</td><td>原子炉建屋</td><td>2.490</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時電源計器 (EM)</td><td>3号機電源 (FAS) (緊急時) (S)</td><td>E-101-5</td><td>原子炉建屋</td><td>9.360</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時電源計器 (EM)</td><td>3号機電源 (FAS) (緊急時) (S)</td><td>E-101-5</td><td>原子炉建屋</td><td>9.360</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時電源計器 (EM)</td><td>3号機電源 (FAS) (緊急時) (S)</td><td>E-101-5</td><td>原子炉建屋</td><td>9.440</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時電源計器 (EM)</td><td>3号機電源 (FAS) (緊急時) (S)</td><td>E-101-5</td><td>原子炉建屋</td><td>7.860</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時電源計器 (EM)</td><td>3号機電源 (FAS) (緊急時) (S)</td><td>E-101-5</td><td>原子炉建屋</td><td>9.440</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時電源計器 (EM)</td><td>3号機電源 (FAS) (緊急時) (S)</td><td>E-101-5</td><td>原子炉建屋</td><td>2.160</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時電源計器 (EM)</td><td>3号機電源 (FAS) (緊急時) (S)</td><td>E-101-5</td><td>原子炉建屋</td><td>9.320</td><td>①</td></tr> </tbody> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. [m]	機能 <sup>※</sup>	緊急時電源計器 (EM)	原子炉水没 (1号機) (S)	E-101-1	原子炉建屋	9.360	①	緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (ランプA) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	9.360	①	緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (ランプB) (緊急時) (S)	E-101-6	原子炉建屋	1.560	①	緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (ランプA) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	1.510	①	緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (ランプA) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	9.420	①	緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (ランプA) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	1.300	①	緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (ランプA) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	1.360	①	緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (ランプA) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	9.370	①	緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (ランプA) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	9.420	①	緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (FAS) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	2.920	①	緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (FAS) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	2.160	①	緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (FAS) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	2.490	①	緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (FAS) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	2.490	①	緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (FAS) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	9.360	①	緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (FAS) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	9.360	①	緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (FAS) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	9.440	①	緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (FAS) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	7.860	①	緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (FAS) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	9.440	①	緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (FAS) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	2.160	①	緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (FAS) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	9.320	①	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ<sup>※1</sup> (m)</th> <th>個別測定高さ<sup>※2</sup> (m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>関連設備</td><td>B-1共通要因故障対策操作盤 (3CNFB)</td><td>3AB-予-38</td><td>原子炉補助建屋</td><td>0.37</td><td>0.33</td><td>個別</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>A-1中央制御室外原子炉停止盤 (3EPA)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>⑤</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>B-1中央制御室外原子炉停止盤 (3EPB)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>⑤</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>A-1換気空調系集中現場盤 (3LVA)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>⑤</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>B-1換気空調系集中現場盤 (3LVB)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>⑤</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>工学的安全施設作動盤 (トレンA) (3EFA)</td><td>3AB-予-N13</td><td>原子炉補助建屋</td><td>0.04</td><td>0.04</td><td>基本</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>工学的安全施設作動盤 (トレンB) (3EFB)</td><td>3AB-予-N2</td><td>原子炉補助建屋</td><td>0.04</td><td>0.04</td><td>基本</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>A-1次冷却材ポンプ母線計調整 (3BDA)</td><td>3RB-H-N5</td><td>原子炉建屋</td><td>0.04</td><td>0.04</td><td>個別</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>B-1次冷却材ポンプ母線計調整 (3RDB)</td><td>3RB-H-N5</td><td>原子炉建屋</td><td>0.04</td><td>0.04</td><td>個別</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>C-1次冷却材ポンプ母線計調整 (3RDC)</td><td>3RB-H-N5</td><td>原子炉建屋</td><td>0.04</td><td>0.04</td><td>個別</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネル1) (3RT1)</td><td>3RB-予-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>0.06</td><td>0.06</td><td>個別</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルII) (3RTII)</td><td>3RB-予-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>0.06</td><td>0.06</td><td>個別</td><td>⑤</td></tr> </tbody> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ <sup>※1</sup> (m)	個別測定高さ <sup>※2</sup> (m)	設定箇所	安全機能	関連設備	B-1共通要因故障対策操作盤 (3CNFB)	3AB-予-38	原子炉補助建屋	0.37	0.33	個別	⑤	関連設備	A-1中央制御室外原子炉停止盤 (3EPA)						⑤	関連設備	B-1中央制御室外原子炉停止盤 (3EPB)						⑤	関連設備	A-1換気空調系集中現場盤 (3LVA)						⑤	関連設備	B-1換気空調系集中現場盤 (3LVB)						⑤	関連設備	工学的安全施設作動盤 (トレンA) (3EFA)	3AB-予-N13	原子炉補助建屋	0.04	0.04	基本	⑤	関連設備	工学的安全施設作動盤 (トレンB) (3EFB)	3AB-予-N2	原子炉補助建屋	0.04	0.04	基本	⑤	関連設備	A-1次冷却材ポンプ母線計調整 (3BDA)	3RB-H-N5	原子炉建屋	0.04	0.04	個別	⑤	関連設備	B-1次冷却材ポンプ母線計調整 (3RDB)	3RB-H-N5	原子炉建屋	0.04	0.04	個別	⑤	関連設備	C-1次冷却材ポンプ母線計調整 (3RDC)	3RB-H-N5	原子炉建屋	0.04	0.04	個別	⑤	関連設備	原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネル1) (3RT1)	3RB-予-N3	原子炉建屋	0.06	0.06	個別	⑤	関連設備	原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルII) (3RTII)	3RB-予-N3	原子炉建屋	0.06	0.06	個別
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ <sup>※</sup> E.L. + [m]	床土[m]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
補助給水系	4A, 4B電動補助給水ポンプ	原子炉周辺建屋	10.0	10.60	0.60																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
補助給水系	4タービン動補助給水ポンプ	原子炉周辺建屋	3.5	4.16	0.66																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
補助給水系	4タービン動補助給水ポンプ起動弁A, B (4V-MS-570A, B)	原子炉周辺建屋	33.6	34.75	1.15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
補助給水系	4タービン動補助給水ポンプ起動弁A, B (4TDF-A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	10.26	0.26																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
補助給水系	4A, 4B, 4C, 4D蒸気発生器補助給水流量 (4FT-3716, 3726, 3736, 3746)	原子炉周辺建屋	17.1	18.21	1.11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
補助給水系	4復水ビット水位Ⅲ, IV (4LT-3760, 3761)	原子炉周辺建屋	26.0	26.45	0.45																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
補助給水系	4復水ビット	原子炉周辺建屋	26.0	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
化学体積制御系	4A, 4B充てんポンプ	原子炉周辺建屋	10.0	10.65	0.65																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
化学体積制御系	4C充てんポンプ	原子炉周辺建屋	10.0	10.29	0.29																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
化学体積制御系	4C充てんポンプ速度制御盤 (4CSC)	原子炉周辺建屋	10.0	11.00	1.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
化学体積制御系	4C充てんポンプ速度制御補助盤 (4CSAC)	原子炉周辺建屋	10.0	10.80	0.80																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
化学体積制御系	4A, 4B, 4C1, 4C2充てんポンプ現場操作箱 (4LB-5, 6, 7, 8)	原子炉周辺建屋	10.0	11.20	1.20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
化学体積制御系	4充てんポンプ入口燃料取替用水ビット側補助弁A, B (4LCV-121D, E)	原子炉周辺建屋	10.0	11.19	1.19																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
化学体積制御系	4A, 4Bほう酸ポンプ	原子炉周辺建屋	10.0	10.62	0.62																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
化学体積制御系	4A, 4Bほう酸ポンプ現場操作箱 (4LB-9, 10)	原子炉周辺建屋	10.0	11.20	1.20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
化学体積制御系	4充てんライン止め弁 (4V-CS-155)	原子炉周辺建屋	10.0	11.03	1.03																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
化学体積制御系	4体積制御タンク出口第1止め弁 (4LCV-121B)	原子炉周辺建屋	17.1	18.26	1.16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
化学体積制御系	4体積制御タンク出口第2止め弁 (4LCV-121C)	原子炉周辺建屋	17.1	18.27	1.17																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
化学体積制御系	4緊急ほう酸注入ライン補助弁 (4V-CS-573)	原子炉周辺建屋	17.1	21.57	4.47																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
化学体積制御系	4充てんライン格納容器隔離弁 (4V-CS-157)	原子炉周辺建屋	17.1	22.14	5.04																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
化学体積制御系	4-1次冷却材ポンプ封水戻りライン格納容器第2隔離弁 (4V-CS-312)	原子炉周辺建屋	17.1	22.00	4.90																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
化学体積制御系	4封水冷却器	原子炉周辺建屋	17.1	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. [m]	機能 <sup>※</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
緊急時電源計器 (EM)	原子炉水没 (1号機) (S)	E-101-1	原子炉建屋	9.360	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (ランプA) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	9.360	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (ランプB) (緊急時) (S)	E-101-6	原子炉建屋	1.560	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (ランプA) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	1.510	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (ランプA) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	9.420	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (ランプA) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	1.300	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (ランプA) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	1.360	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (ランプA) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	9.370	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (ランプA) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	9.420	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (FAS) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	2.920	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (FAS) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	2.160	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (FAS) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	2.490	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (FAS) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	2.490	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (FAS) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	9.360	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (FAS) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	9.360	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (FAS) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	9.440	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (FAS) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	7.860	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (FAS) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	9.440	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (FAS) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	2.160	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
緊急時電源計器 (EM)	3号機電源 (FAS) (緊急時) (S)	E-101-5	原子炉建屋	9.320	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ <sup>※1</sup> (m)	個別測定高さ <sup>※2</sup> (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
関連設備	B-1共通要因故障対策操作盤 (3CNFB)	3AB-予-38	原子炉補助建屋	0.37	0.33	個別	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
関連設備	A-1中央制御室外原子炉停止盤 (3EPA)						⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
関連設備	B-1中央制御室外原子炉停止盤 (3EPB)						⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
関連設備	A-1換気空調系集中現場盤 (3LVA)						⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
関連設備	B-1換気空調系集中現場盤 (3LVB)						⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
関連設備	工学的安全施設作動盤 (トレンA) (3EFA)	3AB-予-N13	原子炉補助建屋	0.04	0.04	基本	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
関連設備	工学的安全施設作動盤 (トレンB) (3EFB)	3AB-予-N2	原子炉補助建屋	0.04	0.04	基本	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
関連設備	A-1次冷却材ポンプ母線計調整 (3BDA)	3RB-H-N5	原子炉建屋	0.04	0.04	個別	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
関連設備	B-1次冷却材ポンプ母線計調整 (3RDB)	3RB-H-N5	原子炉建屋	0.04	0.04	個別	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
関連設備	C-1次冷却材ポンプ母線計調整 (3RDC)	3RB-H-N5	原子炉建屋	0.04	0.04	個別	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
関連設備	原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネル1) (3RT1)	3RB-予-N3	原子炉建屋	0.06	0.06	個別	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
関連設備	原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルII) (3RTII)	3RB-予-N3	原子炉建屋	0.06	0.06	個別	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											

※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ  
 ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ  
 ①緊急停止機能  
 ②未臨界維持機能  
 ③原子炉停止後の除熱機能  
 ④原子炉冷却機能  
 ⑤放射性物質の閉じ込め機能  
 ※3：安全上特に重要な関連機能  
 ※4：事故時のプラント状態の把握機能  
 ※5：制御室外からの安全停止機能  
 ※6：ピット冷却機能  
 ※7：ピット給水機能

枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉							女川原子力発電所2号炉							泊発電所3号炉							相違理由
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（2/9）							表1 防護対象設備一覧（11/27）							表1 防護対象設備一覧（11/35）							【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違 ・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである 「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様） ・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違 【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ <sup>※</sup> E.L. + [m] 床上[m]			系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. <sup>※</sup> [m]	機能 <sup>※</sup>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ <sup>※</sup> 高さ <sup>※</sup> (a) [m]	個別測定高さ <sup>※</sup> 高さ <sup>※</sup> (b) [m]	設定箇所	安全機能	
化学体積制御系	4A, 4B封水注入フィルタ	原子炉周辺建屋	26.0	-	-	-	原子炉補機冷却系	4B封水注入フィルタ (323-500.0A)	0-1F-6	原子炉補機冷却系	2.945	⑥	関連設備	原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルIII) (3RTIII)	3RB-F-N3	原子炉建屋	0.06	0.06	個別	⑥	
化学体積制御系	4封水ストレーナ	原子炉周辺建屋	17.1	-	-	-	原子炉補機冷却系	4B封水注入フィルタ (323-500.0B)	0-1F-6	原子炉補機冷却系	3.000	⑥	関連設備	原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルIV) (3RTIV)	3RB-F-N3	原子炉建屋	0.06	0.06	個別	⑥	
化学体積制御系	4体積制御タンク	原子炉周辺建屋	17.1	-	-	-	原子炉補機冷却系	4B封水注入フィルタ (323-500.0C)	0-1F-6	原子炉補機冷却系	7.695	⑥	関連設備	原子炉安全保護盤 (チャンネルI) (3PI)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑥	
化学体積制御系	4A, 4Bほう酸タンク水位 (4LT-206, 208)	原子炉周辺建屋	17.1	18.18	1.08	-	原子炉補機冷却系	4B封水注入フィルタ (323-500.0D)	0-1F-6	原子炉補機冷却系	1.795	⑥	関連設備	原子炉安全保護盤 (チャンネルII) (3PII)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑥	
化学体積制御系	4A, 4Bほう酸タンク	原子炉周辺建屋	10.0	-	-	-	原子炉補機冷却系	4B封水注入フィルタ (323-500.0E)	0-1F-6	原子炉補機冷却系	4.500	⑥	関連設備	原子炉安全保護盤 (チャンネルIII) (3PIII)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑥	
化学体積制御系	4ほう酸フィルタ	原子炉周辺建屋	10.0	-	-	-	原子炉補機冷却系	4B封水注入フィルタ (323-500.0F)	0-1F-6	原子炉補機冷却系	3.445	⑥	関連設備	原子炉安全保護盤 (チャンネルIV) (3PIV)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑥	
余熱除去系	4A, 4B余熱除去ポンプ	原子炉周辺建屋	3.5	4.31	0.81	-	原子炉補機冷却系	4B封水注入フィルタ (323-500.0G)	0-1F-6	原子炉補機冷却系	3.445	⑥	関連設備	安全系FDPプロセッサ盤 (SFPMA)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑥	
余熱除去系	4A, 4B余熱除去ポンプ現場操作箱 (4IB-14, 15)	原子炉周辺建屋	3.5	4.70	1.20	-	原子炉補機冷却系	4B封水注入フィルタ (323-500.0H)	0-1F-6	原子炉補機冷却系	10.245	⑥	関連設備	安全系FDPプロセッサ盤 (SFPMB)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑥	
余熱除去系	4A, 4B余熱除去ポンプ出口流量 (4FT-601, 611)	原子炉周辺建屋	3.5	4.61	1.11	-	原子炉補機冷却系	4B封水注入フィルタ (323-500.0I)	0-1F-6	原子炉補機冷却系	10.245	⑥	関連設備	安全系FDPプロセッサ盤 (SFP0A)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	0.05	0.05	個別	⑥	
余熱除去系	4A, 4B余熱除去ポンプ最小ムフローライン止め弁 (4FCV-601, 611)	原子炉周辺建屋	17.1	17.98	0.88	-	原子炉補機冷却系	4B封水注入フィルタ (323-500.0J)	0-1F-6	原子炉補機冷却系	3.910	⑥	関連設備	安全系マルチプレクサ (トレンA) (3SWCA)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑥	
余熱除去系	4A, 4B余熱除去冷却器	原子炉周辺建屋	10.0	-	-	-	原子炉補機冷却系	4B封水注入フィルタ (323-500.0K)	0-1F-6	原子炉補機冷却系	3.235	⑥	関連設備	安全系マルチプレクサ (トレンB) (3SWCB)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑥	
制御用空気系	4A, 4B制御用空気圧縮機制御盤 (4IAC-A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	17.54	0.44	-	原子炉補機冷却系	4B封水注入フィルタ (323-500.0L)	0-1F-6	原子炉補機冷却系	1.055	⑥	注1: 保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ 注2: 没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②木曜昇降機機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性情質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能								
制御用空気系	4A, 4B制御用空気圧縮機	原子炉周辺建屋	17.1	17.72	0.62	-	原子炉補機冷却系	4B封水注入フィルタ (323-500.0M)	0-1F-6	原子炉補機冷却系	2.161	⑥									
制御用空気系	4A, 4B制御用空気乾燥器 (4IAHA, B)	原子炉周辺建屋	17.1	-	-	-	原子炉補機冷却系	4B封水注入フィルタ (323-500.0N)	0-1F-6	原子炉補機冷却系	0.000	⑥									
制御用空気系	4A, 4B制御用空気ため (4IATA, B)	原子炉周辺建屋	17.1	-	-	-	原子炉補機冷却系	4B封水注入フィルタ (323-500.0O)	0-1F-6	原子炉補機冷却系	0.000	⑥									
制御用空気系	4A-C, 4B-C制御用空気母管連絡弁 (4V-1A-501A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	17.78	0.68	-	原子炉補機冷却系	4B封水注入フィルタ (323-500.0P)	0-1F-6	原子炉補機冷却系	0.000	⑥									
制御用空気系	4A, 4B制御用空気主蒸気蒸がし弁等供給ライン止め弁 (4V-1A-505A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	17.76	0.66	-	原子炉補機冷却系	4B封水注入フィルタ (323-500.0Q)	0-1F-6	原子炉補機冷却系	0.000	⑥									
制御用空気系	4A, 4B 制御用空気格納容器隔離弁 (4V-1A-508A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	17.88	0.78	-	原子炉補機冷却系	4B封水注入フィルタ (323-500.0R)	0-1F-6	原子炉補機冷却系	0.000	⑥									
制御用空気系	4A, 4B制御用空気供給母管圧力 (4PT-1800, 1810)	原子炉周辺建屋	17.1	18.20	1.10	-	原子炉補機冷却系	4B封水注入フィルタ (323-500.0S)	0-1F-6	原子炉補機冷却系	0.000	⑥									
原子炉補機冷却系	4A, 4B余熱除去冷却器冷却水止め弁 (4V-CC-114A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.69	1.69	-	原子炉補機冷却系	4B封水注入フィルタ (323-500.0T)	0-1F-6	原子炉補機冷却系	0.000	⑥									
原子炉補機冷却系	4原子炉補機冷却水サージタンク水位III, IV (4LT-1200, 1201)	原子炉周辺建屋	39.0	39.99	0.99	-	原子炉補機冷却系	4B封水注入フィルタ (323-500.0U)	0-1F-6	原子炉補機冷却系	0.000	⑥									
原子炉補機冷却系	4原子炉補機冷却水サージタンク	原子炉周辺建屋	42.0	-	-	-															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由					
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(3/9)					表1 防護対象設備一覧 (12/27)					表1 防護対象設備一覧 (12/35)					【大飯】 記載方針の相違 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違 ・浴では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである 「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様） ・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違 【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。					
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L.+[m]	機能喪失高さ <sup>※</sup> E.L.+[m] 床[ <sup>※</sup> m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. <sup>※</sup> [m]	機能 <sup>※</sup>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ <sup>※1</sup> (m)	個別測定高さ <sup>※2</sup> (m)	設定箇所	安全機能		
原子炉補機冷却系	4A, 4B原子炉補機冷却水冷却器	制御建屋	7.0	-	原子炉補機冷却系	冷却器	302-3001B	原子炉補機冷却系	0.000	◎	関連設備	安全系現場制御監視盤（トレンAグループ1）（3SLCA1）	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	◎		
原子炉補機冷却系	4A, 4B, 4C, 4D原子炉補機冷却水ポンプ	制御建屋	7.0	9.08	原子炉補機冷却系	冷却器	302-3002-1	原子炉補機冷却系	0.000	◎	関連設備	安全系現場制御監視盤（トレンAグループ2）（3SLCA2）	3AB-F-N13	建屋	0.04	0.04	個別	◎		
原子炉補機冷却系	4A, 4B, 4C, 4D原子炉補機冷却水ポンプ現場操作箱（4LB-20, 21, 22, 23）	制御建屋	7.0	9.90	原子炉補機冷却系	冷却器	302-3003	制御建屋	0.000	◎	関連設備	安全系現場制御監視盤（トレンAグループ3）（3SLCA3）	3AB-F-N13	建屋	0.04	0.04	個別	◎		
原子炉補機冷却系	4A・C, 4B・C原子炉補機冷却水戻り母管連絡弁（4V-CC-043A, B）	制御建屋	7.0	9.33	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0001A）	原子炉補機冷却系	0.115	◎	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0001B）	原子炉補機冷却系	0.115	◎	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0001C）	原子炉補機冷却系	0.115	◎	
原子炉補機冷却系	4A・C, 4B・C原子炉補機冷却水供給母管連絡弁（4V-CC-056A, B）	制御建屋	7.0	9.33	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0002）	原子炉補機冷却系	0.402	◎	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0003）	原子炉補機冷却系	0.402	◎	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0004）	原子炉補機冷却系	0.402	◎	
原子炉補機冷却系	4廃棄物処理建屋冷却水供給ライン第1, 2止め弁（4号機側）（4V-CC-605, 606）	原子炉周辺建屋	17.1	17.97	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0005）	原子炉補機冷却系	0.400	◎	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0006）	原子炉補機冷却系	0.400	◎	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0007）	原子炉補機冷却系	0.400	◎	
原子炉補機冷却系	4A, 4B格納容器スプレイ冷却器冷却水止め弁（4V-CC-178A, B）	原子炉周辺建屋	10.0	11.85	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0008）	原子炉補機冷却系	0.375	◎	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0009）	原子炉補機冷却系	0.375	◎	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0010）	原子炉補機冷却系	0.375	◎	
原子炉補機冷却系	4-1次冷却材ポンプ冷却水供給ライン格納容器隔離弁（4V-CC-403）	原子炉周辺建屋	17.1	22.40	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0011）	原子炉補機冷却系	0.900	◎	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0012）	原子炉補機冷却系	0.900	◎	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0013）	原子炉補機冷却系	0.900	◎	
原子炉補機冷却系	4-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第2隔離弁（4V-CC-429）	原子炉周辺建屋	17.1	22.40	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0014）	原子炉補機冷却系	0.375	◎	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0015）	原子炉補機冷却系	0.375	◎	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0016）	原子炉補機冷却系	0.375	◎	
原子炉補機冷却系	4 CRDM冷却ユニット・余剰抽出冷却器冷却水供給ラインCV隔離弁（4V-CC-342）	原子炉周辺建屋	17.1	22.11	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0017）	原子炉補機冷却系	1.900	◎	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0018）	原子炉補機冷却系	1.900	◎	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0019）	原子炉補機冷却系	1.900	◎	
原子炉補機冷却系	4 CRDM冷却ユニット・余剰抽出冷却器冷却水戻りラインCV隔離弁（4V-CC-365）	原子炉周辺建屋	17.1	22.13	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0020）	原子炉補機冷却系	0.300	◎	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0021）	原子炉補機冷却系	0.300	◎	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0022）	原子炉補機冷却系	0.300	◎	
原子炉補機冷却系	4A・D, 4B・C 格納容器再循環ユニット冷却水供給ライン格納容器隔離弁（4V-CC-189A, B）	原子炉周辺建屋	17.1	22.20	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0023）	原子炉補機冷却系	0.300	◎	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0024）	原子炉補機冷却系	0.300	◎	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0025）	原子炉補機冷却系	0.300	◎	
原子炉補機冷却系	4A, 4B, 4C, 4D 格納容器再循環ユニット冷却水戻りライン格納容器隔離弁（4V-CC-198A, B, C, D）	原子炉周辺建屋	17.1	22.08	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0026）	原子炉補機冷却系	1.030	◎	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0027）	原子炉補機冷却系	1.030	◎	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0028）	原子炉補機冷却系	1.030	◎	
原子炉補機冷却系	4A, 4B原子炉補機冷却水冷却器海水止め弁（4V-SW-570A, B）	制御建屋	7.0	9.69	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0029）	原子炉補機冷却系	0.000	◎◎◎◎◎	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0030）	原子炉補機冷却系	0.000	◎◎◎◎◎	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0031）	原子炉補機冷却系	0.000	◎◎◎◎◎	
原子炉補機冷却系	4海水ポンプ出口4A, 4B, 4C, 4D海水ストレーナ（4S-SW-01A, B, C, D）	海水ポンプエリア	1.0	-	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0032）	原子炉補機冷却系	0.000	◎◎◎◎◎	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0033）	原子炉補機冷却系	0.000	◎◎◎◎◎	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0034）	原子炉補機冷却系	0.000	◎◎◎◎◎	
原子炉補機冷却系	4A, 4B, 4C海水ポンプ	海水ポンプエリア	2.5	4.65	2.15	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0035）	原子炉補機冷却系	0.000	◎◎◎◎◎	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0036）	原子炉補機冷却系	0.000	◎◎◎◎◎	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ（304-0037）	原子炉補機冷却系	0.000	◎◎◎◎◎

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由	
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（4/9）						表1 防護対象設備一覧（13/27）						表1 防護対象設備一覧（13/35）						<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違</p> <p>・浴では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである</p> <p>「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ビット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>	
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ <sup>※</sup> E.L. + [m] 床 [m]		系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. [m]	機能 <sup>※</sup>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ <sup>※1</sup> [m]	個別測定高さ <sup>※2</sup> [m]		設定箇所
原子炉補助機冷却系	4A, 4B1, 4B2, 4C海水ポンプ現場操作箱 (4LB-26, 27, 28, 29)	海水ポンプエリア	2.5	6.40	3.90	電気空調系	原子炉補機(3)冷却水クーリング(1)	B-2F-1	原子炉補機付建屋	6.000	②③④⑤⑥	関連設備	B 1-計装用交流分電盤 (31DFB1)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.21	0.20	個別	⑥
電気盤	4主盤（原子炉盤）(4MCB)	制御建屋	21.8	21.96	0.16	電気空調系	中央制御室前室クーリング(2)	C-1B2-1	制御建屋	6.000	③	関連設備	B 2-計装用交流分電盤 (31DFP2)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.21	0.21	基本	⑥
電気盤	4原子炉補助盤 (4RAB)	制御建屋	21.8	21.98	0.18	電気空調系	中央制御室前室クーリング(3)	C-1B2-1	制御建屋	6.000	③	関連設備	C 1-計装用交流分電盤 (31DFPC1)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.21	0.22	基本	⑥
電気盤	4原子炉安全保護計装盤 I, II, III, IV (4RPR-I, II, III, IV)	制御建屋	21.8	21.97	0.17	電気空調系	中央制御室前室クーリング(4)	C-1B2-1	制御建屋	6.000	③	関連設備	C 2-計装用交流分電盤 (31DFPC2)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.21	0.22	基本	⑥
電気盤	4A, 4B, 4C, 4D原子炉安全保護ロジック盤 (4RPL-A, B, C, D)	制御建屋	21.8	21.98	0.18	電気空調系	31DCクーリング(4)東空調機 (31D-001)	B-1B2-1	原子炉補機付建屋	6.100	②	関連設備	D 1-計装用交流分電盤 (31DFD1)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.21	0.20	個別	⑥
電気盤	4安全保護シーケンス盤 AG1, AG2, BG1, BG2 (4SFS-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	21.8	21.97	0.17	電気空調系	31DFクーリング(4)東空調機 (31D-002)	B-1B2-1	原子炉補機付建屋	6.120	②③④⑤⑥	関連設備	D 2-計装用交流分電盤 (31DFD2)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.21	0.20	個別	⑥
電気盤	4所内盤 (4HSB)	制御建屋	21.8	21.90	0.10	電気空調系	31DFクーリング(4)東空調機 (31D-003)	B-1B2-1	原子炉補機付建屋	6.120	②	関連設備	A-計装用交流電源切替器盤 (31SPA)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.34	0.35	基本	⑥
電気盤	事故時放射線監視盤 4RMS (4PRMS-III, IV)	制御建屋	21.8	21.86	0.06	電気空調系	31DFクーリング(4)東空調機 (31D-004)	B-1B2-1	原子炉補機付建屋	6.120	②④	関連設備	B-1計装用交流電源切替器盤 (31SPB)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.34	0.33	個別	⑥
電気盤	4原子炉トリップ遮断器盤 (4RTS)	原子炉周辺建屋	17.1	17.15	0.05	電気空調系	31DFクーリング(4)東空調機 (31D-005)	B-1B2-1	原子炉補機付建屋	6.120	②④	関連設備	C-計装用交流電源切替器盤 (31SPC)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.34	0.35	基本	⑥
電気盤	4A1, 4A2, 4A3, 4A4, 4B1, 4B2, 4B3, 4B4ノゾノイド分電盤 (4SD-A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4)	制御建屋	15.8	16.09	0.29	電気空調系	31DCクーリング(4)東空調機 (31D-010)	B-1F-3	原子炉補機付建屋	6.100	②	関連設備	D-計装用交流電源切替器盤 (31SPD)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.34	0.33	個別	⑥
電気盤	4A, 4Bドロップ盤 (4BCP-A-DRP, 4BCP-B-DRP)	制御建屋	15.8	15.89	0.09	電気空調系	31DC(4)東空調機 (31D-011)	B-1F-3	原子炉補機付建屋	6.100	②	関連設備	A-補助建屋直流分電盤 (3BDPA)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.22	0.23	基本	⑥
電気盤	4A, 4B直流分電盤 (4DMP-A, B)	制御建屋	15.8	15.89	0.09	電気空調系	31DC(4)東空調機 (31D-012)	B-1F-3	原子炉補機付建屋	6.120	②	関連設備	B-補助建屋直流分電盤 (3BDPB)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.22	0.22	基本	⑥
電気盤	4A, 4B直流分電盤 (4DDP-A, B)	制御建屋	15.8	16.28	0.48	電気空調系	31DC(4)東空調機 (31D-013)	B-1F-3	原子炉補機付建屋	6.120	②	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ							
電気盤	4A, 4B蓄電池	制御建屋	15.8	16.60	0.80	電気空調系	31DC(4)東空調機 (31D-014)	B-1F-3	原子炉補機付建屋	6.120	②	④安全上特に重要な閉塞機能 ⑤事故時のプラント状態の把握機能 ⑥制御室外からの安全停止機能 ⑦ビット冷却機能 ⑧ビット排水機能							
電気盤	4A, 4B充電器盤 (4BCP-A, B)	制御建屋	15.8	15.89	0.09	電気空調系	31DC(4)東空調機 (31D-015)	B-1F-3	原子炉補機付建屋	6.060	②	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ							
電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2メタルクランプスイッチギア (4MC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	15.95	0.15	電気空調系	31DC(4)東空調機 (31D-016)	B-1F-3	原子炉補機付建屋	6.100	②	①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射物質量の閉じ込め機能							
電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2パワーセンタ (4PC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	15.86	0.06	電気空調系	原子炉補機(4)東空調機(4) (311-001A)	B-2F-4	原子炉補機付建屋	6.120	②③④⑤⑥	①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射物質量の閉じ込め機能							
電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2原子炉コントロールセンタ (4RCC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	16.01	0.21	電気空調系	原子炉補機(4)東空調機(4) (311-001B)	B-2F-4	原子炉補機付建屋	6.120	②③④⑤⑥	①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射物質量の閉じ込め機能							
電気盤	4A, 4B, 4C, 4D計装用電源盤 (1) ~ (3) (41BC-A, B, C, D)	制御建屋	15.8	15.90	0.10	電気空調系	原子炉補機(4)東空調機(4) (311-002A)	B-2F-1	原子炉補機付建屋	6.120	②③④⑤⑥	①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射物質量の閉じ込め機能							
電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2, 4C1, 4C2, 4D1, 4D2計装用分電盤 (41PD-A1, A2, B1, B2, C1, C2, B1, B2)	制御建屋	15.8	16.09	0.29	電気空調系	原子炉補機(4)東空調機(4) (311-002B)	B-2F-1	原子炉補機付建屋	6.120	②③④⑤⑥	①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射物質量の閉じ込め機能							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由				
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（5 / 9）					表1 防護対象設備一覧（14/27）					表1 防護対象設備一覧（14/35）					<p>【大飯】                      記載方針の相違                      女川審査実績の反映                      【女川・大飯】                      記載方針の相違                      設計方針の相違                      ・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである                      「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。                      上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）                      ・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違                      【女川】                      設計方針の相違                      安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「正める」「冷やす」「閉じ込める」「ビット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>				
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L.+[m]	機能喪失高さ <sup>※</sup> E.L.+[m] 床上[m]	系統	設備	設置番号	設置建屋	E.L.[m]	機能 <sup>※</sup>	系統	設備	区画番号	設置建屋		基本設定高さ <sup>※1</sup> 高さ[m]	個別測定高さ <sup>※2</sup> 高さ[m]	設定箇所	安全機能
電気盤	4A, 4B, 4C, 4D計装用交流電源切替盤 (4TSP-A, B, C, D)	制御建屋	15.8	16.13	0.33	電気注満機	原子炉注満機(A)東送機機組 (T11-0002)	0-02-04	原子炉注満機	0.140	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲	関連設備	ゾレノイド分電盤トレン A 1 (3SDA1)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.19	0.20	個別	⑥
電気盤	4AC, 4BD計装用後備分電盤 (41BD-AC, BD)	制御建屋	15.8	16.09	0.29	電気注満機	原子炉注満機(B)東送機機組 (T11-0004)	0-02-13	原子炉注満機	0.115	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲	関連設備	ゾレノイド分電盤トレン A 2 (3SDA2)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.19	0.20	個別	⑥
非常用電源系	4A, 4Bディーゼル発電機コントロールセンター (4GCC-A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	10.26	0.26	電気注満機	原子炉注満機(C)東送機機組 (T11-0003)	0-02-13	原子炉注満機	0.130	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲	関連設備	ゾレノイド分電盤トレン A 3 (3SDA3)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.19	0.20	個別	⑥
非常用電源系	4A, 4Bディーゼル機関	原子炉周辺建屋	3.5 (本体10.0)	3.91	0.41	電気注満機	原子炉注満機(D)東送機機組 (T11-0104)	0-02-14	原子炉注満機	0.110	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲	関連設備	ゾレノイド分電盤トレン A 4 (3SDA4)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.19	0.20	個別	⑥
非常用電源系	4A, 4Bディーゼル発電機	原子炉周辺建屋	3.5 (本体10.0)	3.83	0.33	電気注満機	原子炉注満機(E)東送機機組 (T11-0104)	0-02-14	原子炉注満機	0.110	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲	関連設備	ゾレノイド分電盤トレン B 1 (3SDB1)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.19	0.18	個別	⑥
非常用電源系	4A, 4Bディーゼル発電機制御盤 (4DGC-A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	10.10	0.10	電気注満機	原子炉注満機(F)東送機機組 (T11-2002)	0-02-04	原子炉注満機	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲	関連設備	ゾレノイド分電盤トレン B 2 (3SDB2)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.19	0.19	個別	⑥
格納容器スプレイ系	4A, 4B格納容器スプレイ冷却器	原子炉周辺建屋	10.0	-	-	電気注満機	原子炉注満機(G)東送機機組 (T11-2004)	0-02-13	原子炉注満機	1.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲	関連設備	ゾレノイド分電盤トレン B 3 (3SDB3)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.19	0.19	個別	⑥
格納容器スプレイ系	4よう素除去薬品タンク	原子炉周辺建屋	17.1	-	-	電気注満機	原子炉注満機(H)東送機機組 (T11-2005)	0-02-04	原子炉注満機	0.115	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲	関連設備	ゾレノイド分電盤トレン B 4 (3SDB4)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.19	0.18	個別	⑥
格納容器スプレイ系	4格納容器圧力 (広域) I, II, III, IV (4PT-950, 951, 952, 953)	原子炉周辺建屋	17.1	22.09	4.99	電気注満機	原子炉注満機(I)東送機機組 (T11-0005)	0-02-04	原子炉注満機	0.120	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲	関連設備	A-直流コントロールセンタ (3DCB)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑥
格納容器スプレイ系	4A, 4B格納容器スプレイポンプ	原子炉周辺建屋	3.5	4.33	0.83	電気注満機	原子炉注満機(J)東送機機組 (T11-0005)	0-02-04	原子炉注満機	0.120	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲	関連設備	B-直流コントロールセンタ (3DCB)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑥
格納容器スプレイ系	4A, 4B格納容器スプレイポンプ現場操作箱 (4LB-18, 19)	原子炉周辺建屋	3.5	4.70	1.20	電気注満機	原子炉注満機(K)東送機機組 (T11-0005)	0-02-04	原子炉注満機	0.120	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲	関連設備	A 1-原子炉コントロールセンタ (3RCC-A1)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑥
格納容器スプレイ系	4A, 4B格納容器スプレイポンプ燃料取替用水ビット側入口止め弁 (4V-CP-001A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.91	1.91	電気注満機	原子炉注満機(L)東送機機組 (T11-0005)	0-02-13	原子炉注満機	0.120	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲	関連設備	A 2-原子炉コントロールセンタ (3RCC-A2)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑥
格納容器スプレイ系	4A, 4B格納容器スプレイポンプ再循環サンプル側入口格納容器隔離弁 (4V-CP-003A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	12.06	2.06	電気注満機	原子炉注満機(M)東送機機組 (T11-0005)	0-02-13	原子炉注満機	0.115	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲	注1: 保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ 注2: 溢水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②緊急時停止機能 ③緊急時停止機能 ④原子炉停止後の除熱機能 ⑤炉心冷却機能 ⑥放射性物質の閉じ込め機能							
格納容器スプレイ系	4A, 4B格納容器スプレイヘッド冷却器出口格納容器隔離弁 (4V-CP-024A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	18.96	1.86	電気注満機	原子炉注満機(N)東送機機組 (T11-0005)	0-02-14	原子炉注満機	0.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲								
格納容器スプレイ系	4A, 4Bよう素除去薬品注入ライン第1止め弁 (4V-CP-054A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	17.64	0.54	電気注満機	原子炉注満機(O)東送機機組 (T11-2002)	0-02-04	原子炉注満機	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲								
格納容器スプレイ系	4A, 4Bよう素除去薬品注入ライン第2止め弁 (4V-CP-056A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	17.62	0.52	電気注満機	原子炉注満機(P)東送機機組 (T11-2004)	0-02-14	原子炉注満機	1.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲								
安全注入系	4A, 4B高圧注入ポンプ	原子炉周辺建屋	3.5	4.00	0.50	電気注満機	原子炉注満機(Q)東送機機組 (T11-0004)	0-02-04	原子炉注満機	0.110	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲								
安全注入系	4A, 4B高圧注入ポンプ現場操作箱 (4LB-12, 13)	原子炉周辺建屋	3.5	4.70	1.20	電気注満機	原子炉注満機(R)東送機機組 (T11-0004)	0-02-04	原子炉注満機	0.110	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲								
安全注入系	4A, 4B高圧注入ポンプ燃料取替用水ビット側入口弁 (4V-S1-002A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.94	1.94	電気注満機	原子炉注満機(S)東送機機組 (T11-2004)	0-02-14	原子炉注満機	1.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲								
安全注入系	4A, 4B高圧注入ポンプミニマムフローライン第1止め弁 (4V-S1-015A, B)	原子炉周辺建屋	6.6	7.38	0.78	電気注満機	原子炉注満機(T)東送機機組 (T11-0004)	0-02-04	原子炉注満機	0.120	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3 / 4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由				
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(6/9)						表1 防護対象設備一覧 (15/27)						表1 防護対象設備一覧 (15/35)						【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大阪】 記載方針の相違 設計方針の相違 ・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである 「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様） ・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違 【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。				
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ <sup>※</sup> E.L. + [m] 床上[m]		系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ <sup>※1</sup> (m)	個別測定高さ <sup>※2</sup> (m)	設定箇所	安全機能	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ <sup>※1</sup> (m)	個別測定高さ <sup>※2</sup> (m)	設定箇所	安全機能	
安全注入系	4A,4B高圧注入ポンプミニマムフローライン第2止め弁 (4V-SI-016A,B)	原子炉周辺建屋	6.6	7.38	0.78	電気空調系	原子炉補機(RPCC)駆動機(0) (13C-0000)	B-02-1	原子炉補助建屋	5.120	③④⑤	④	④	関連設備	B1-原子炉コントロールセンター (3RCC-B1)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	④	④
安全注入系	4A,4B高圧注入ポンプ格納容器再循環サンプ側入口格納容器隔離弁 (4V-SI-093A,B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.83	1.83	電気空調系	原子炉補機(RPCC)駆動機(1) (13C-0000)	B-02-2	原子炉補助建屋	5.140	③④⑤	④	④	関連設備	B2-原子炉コントロールセンター (3RCC-B2)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	④	④
安全注入系	4A,4B余熱除去ポンプRWSビット及び再循環サンプ側入口弁 (4V-SI-096A,B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.99	1.99	電気空調系	原子炉補機(RPCC)駆動機(2) (13C-0000)	B-02-14-1	原子炉補助建屋	5.120	③④⑤	④	④	関連設備	A1-ババワコントロールセンター (3PCC-A1)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.06	0.06	個別	④	④
安全注入系	4A高圧注入流量(T),4B高圧注入流量(II) (4PT-062,963)	原子炉周辺建屋	10.0	11.08	1.08	電気空調系	原子炉補機(RPCC)駆動機(3) (13C-0000)	B-02-14-2	原子炉補助建屋	5.120	③④⑤	④	④	関連設備	A2-ババワコントロールセンター (3PCC-A2)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.06	0.06	個別	④	④
安全注入系	4燃料取替用水ビット水位 I, II, III, IV (4LT-1400, 1401, 1402, 1403)	原子炉周辺建屋	17.1	18.10	1.00	電気空調系	原子炉補機(RPCC)駆動機(4) (13C-0000)	B-02-7	原子炉補助建屋	5.000	③④⑤	④	④	関連設備	A2-ババワコントロールセンター (3PCC-A2)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.06	0.06	個別	④	④
安全注入系、燃料取替用水系	4燃料取替用水ビット	原子炉周辺建屋	18.5	-	-	電気空調系	原子炉補機(RPCC)駆動機(5) (13C-0000)	B-02-10	原子炉補助建屋	5.000	③④⑤	④	④	関連設備	B1-ババワコントロールセンター (3PCC-B1)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.06	0.06	個別	④	④
燃料取替用水系	4A,4B燃料取替用水ポンプ	原子炉周辺建屋	17.1	17.57	0.47	電気空調系	中央制御室空調機(A) (13C-0000)	C-021-1	制御室	5.110	④	④	④	関連設備	B2-ババワコントロールセンター (3PCC-B2)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.06	0.06	個別	④	④
燃料取替用水系	4A,4B燃料取替用水ポンプ現場操作箱 (4LB-33,34)	原子炉周辺建屋	17.1	18.30	1.20	電気空調系	中央制御室空調機(B) (13C-0000)	C-021-2	制御室	5.100	④	④	④	関連設備	A-6.6kVメタラ (3MC-A)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.15	0.15	個別	④	④
燃料ビット冷却浄化系	4A,4B使用済燃料ビット冷却器	原子炉周辺建屋	10.0	-	-	電気空調系	中央制御室空調機(C) (13C-0000)	C-021-3	制御室	5.120	④	④	④	関連設備	B-6.6kVメタラ (3MC-B)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.15	0.15	個別	④	④
燃料ビット冷却浄化系	4A,4B使用済燃料ビット	原子炉周辺建屋	33.6	-	-	電気空調系	中央制御室空調機(D) (13C-0000)	C-021-4	制御室	5.060	④	④	④	原子炉補機冷却海水系統	A-原子炉補機冷却海水ポンプ (SSAP1A)	3CPW-B-N01	循環水ポンプ建屋	0.20	1.50	個別	④	④
燃料ビット冷却浄化系	4A,4B使用済燃料ビットポンプ	原子炉周辺建屋	10.0	10.72	0.72	電気空調系	中央制御室空調機(E) (13C-0000)	C-021-5	制御室	5.060	④	④	④	原子炉補機冷却海水系統	B-原子炉補機冷却海水ポンプ (SSAP1B)	3CPW-B-N01	循環水ポンプ建屋	0.20	1.50	個別	④	④
燃料ビット冷却浄化系	4A,4B使用済燃料ビットポンプ現場操作箱 (4LB-24,25)	原子炉周辺建屋	10.0	11.20	1.20	電気空調系	中央制御室空調機(F) (13C-0000)	C-021-6	制御室	5.060	④	④	④	原子炉補機冷却海水系統	C-原子炉補機冷却海水ポンプ (SSAP1C)	3CPW-B-N02	循環水ポンプ建屋	0.20	1.50	個別	④	④
主蒸気系	4A,4B,4C,4D主蒸気逃がし弁 (4PCV-3610,3620,3630,3640)	原子炉周辺建屋	26.0	37.33	11.33	電気空調系	中央制御室空調機(G) (13C-0000)	C-021-7	制御室	5.120	④	④	④	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能								
主蒸気系	I, II, III, IV, 4A, 4B, 4C, 4D主蒸気圧力(4PT-465, 466, 467, 468, 475, 476, 477, 478, 485, 486, 487, 488, 495, 496, 497, 498)	原子炉周辺建屋	29.0	30.00	1.00	電気空調系	中央制御室空調機(H) (13C-0000)	C-021-8	制御室	5.060	④	④	④									
主蒸気系	4A,4B,4C,4D主蒸気隔離弁 (4V-MS-533A,B,C,D)	原子炉周辺建屋	33.6	36.78	3.18	電気空調系	中央制御室空調機(I) (13C-0000)	C-021-9	制御室	5.700	④	④	④									
主蒸気系	4A,4B,4C,4D主蒸気隔離弁 (4V-MS-533A,B,C,D付属パネル)	原子炉周辺建屋	29.0	29.40	0.40	電気空調系	中央制御室空調機(J) (13C-0000)	C-021-10	制御室	5.060	④	④	④									
冷水系	4A,4B,4C,4D空調用冷凍機	制御建屋	10.0	10.59	0.59	電気空調系	中央制御室空調機(K) (13C-0000)	C-021-11	制御室	5.060	④	④	④									
冷水系	4A,4B,4C,4D空調用冷水ポンプ	制御建屋	10.0	10.55	0.55	電気空調系	中央制御室空調機(L) (13C-0000)	C-021-12	制御室	5.060	④	④	④									



赤字: 設備、運用又は体制の相違(設計方針の相違)  
青字: 記載箇所又は記載内容の相違(記載方針の相違)  
緑字: 記載表現、設備名称の相違(実質的な相違なし)

Table with 4 columns: 大飯発電所3/4号炉, 女川原子力発電所2号炉, 泊発電所3号炉, 相違理由. Each column contains detailed equipment lists and comparison notes.

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由			
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(9/9)					表1 防護対象設備一覧（18/27）					表1 防護対象設備一覧（18/35）					【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違 ・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである 「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様） ・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違 【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。			
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ <sup>※</sup> E.L. + [m] 床上[m]	系統	設備	設置建屋	E.L. [m]	機能 <sup>※</sup>	系統	設備	設置建屋	基本設定高さ <sup>※1)</sup> [m]	個別測定高さ <sup>※2)</sup> [m]	設定箇所	安全機能		
換気空調系	4A, 4Bほう酸ポンプ室温度調節計 (4TC-2601, 2611)	原子炉周辺建屋	10.0	10.70	0.70	原子炉格納容器圧力系 (I)	格納容器圧力調整弁 (I) (I4C-1903)	原子炉建屋	0.83	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器	B-格納容器スプレー冷却器			基本	⑤		
換気空調系	4ほう酸タンク室温度(1), (2), (3), (4) (4TS-2602, 2603, 2612, 2613)	原子炉周辺建屋	10.0	11.30	1.30	原子炉格納容器圧力系 (II)	格納容器圧力調整弁 (II) (I4C-1904)	原子炉建屋	0.71	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器スプレーシステム	出口C/A外側隔離弁 (3V-CP-013B)	3RB-E-2	原子炉建屋	1.12	1.44	基本	⑤
換気空調系	4A, 4B中央制御室非常用循環ファン	制御建屋	29.3	29.93	0.63	原子炉格納容器圧力系 (III)	格納容器圧力調整弁 (III) (I4C-1905)	原子炉建屋	0.86	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器	よう裏除去薬品タンク注入ライン止め弁 (3V-CP-054A)	3AB-H-1	原子炉補助建屋	0.52	0.42	個別	⑤
換気空調系	4A, 4B中央制御室非常用循環ファン現場操作箱 (4LB-97, 98)	制御建屋	29.3	30.50	1.20	原子炉格納容器圧力系 (IV)	格納容器圧力調整弁 (IV) (I4C-1906)	原子炉建屋	0.86	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器	よう裏除去薬品タンク注入ライン止め弁 (3V-CP-054B)	3AB-H-1	原子炉補助建屋	0.51	0.42	個別	⑤
換気空調系	4A, 4B中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ (4D-VS-602A, B)	制御建屋	29.3	29.65	0.35	原子炉格納容器圧力系 (V)	格納容器圧力調整弁 (V) (I4C-1907)	原子炉建屋	0.86	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器	格納容器圧力 (I) (3PT-590)	3RB-F-2	原子炉建屋	0.85	1.15	基本	⑤⑦
換気空調系	4A, 4B中央制御室外気取入流量調節ダンパ (4HCD-2874, 2875)	制御建屋	29.3	30.79	1.49	原子炉格納容器圧力系 (VI)	格納容器圧力調整弁 (VI) (I4C-1908)	原子炉建屋	0.86	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器	格納容器圧力 (II) (3PT-591)	3RB-F-2	原子炉建屋	0.85	1.14	基本	⑤⑦
換気空調系	4A, 4B中央制御室事故時外気取入流量調節ダンパ (4HCD-2889, 2890)	制御建屋	29.3	29.68	0.38	原子炉格納容器圧力系 (VII)	格納容器圧力調整弁 (VII) (I4C-1909)	原子炉建屋	0.86	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器	格納容器圧力 (III) (3PT-592)	3RB-F-2	原子炉建屋	0.85	1.12	基本	⑤⑦
換気空調系	4A, 4B中央制御室事故時循環流量調節ダンパ (4HCD-2891, 2892)	制御建屋	29.3	31.28	1.98	原子炉格納容器圧力系 (VIII)	格納容器圧力調整弁 (VIII) (I4C-1910)	原子炉建屋	0.86	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器	系統						
換気空調系	4A, 4B中央制御室非常用循環ファン出口流量 (4FS-2904, 2905)	制御建屋	26.1	27.42	1.32	原子炉格納容器圧力系 (IX)	格納容器圧力調整弁 (IX) (I4C-1911)	原子炉建屋	0.86	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器	系統						
換気空調系	4A, 4B中央制御室外気取入調節ダンパ流量設定 (4HC-2874, 2875)	制御建屋	29.3	30.91	1.61	原子炉格納容器圧力系 (X)	格納容器圧力調整弁 (X) (I4C-1912)	原子炉建屋	0.86	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器	系統						
換気空調系	4A, 4B中央制御室事故時外気取入調節ダンパ流量設定 (4HC-2889, 2890)	制御建屋	29.3	30.51	1.21	原子炉格納容器圧力系 (XI)	格納容器圧力調整弁 (XI) (I4C-1913)	原子炉建屋	0.86	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器	系統						
換気空調系	4A, 4B中央制御室事故時循環ダンパ流量設定 (4HC-2891, 2892)	制御建屋	29.3	31.31	2.01	原子炉格納容器圧力系 (XII)	格納容器圧力調整弁 (XII) (I4C-1914)	原子炉建屋	0.86	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器	系統						
換気空調系	4A, 4Bアニュラス空気浄化ファン (4VSA, B)	原子炉周辺建屋	20.9	21.46	0.56	原子炉格納容器圧力系 (XIII)	格納容器圧力調整弁 (XIII) (I4C-1915)	原子炉建屋	0.86	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器	系統						
換気空調系	4A, 4Bアニュラス空気浄化ファン現場操作箱 (4LB-52, 53)	原子炉周辺建屋	20.9	22.10	1.20	原子炉格納容器圧力系 (XIV)	格納容器圧力調整弁 (XIV) (I4C-1916)	原子炉建屋	0.86	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器	系統						
換気空調系	4A, 4Bアニュラス排気ダンパ (4D-VS-101A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	21.35	0.45	原子炉格納容器圧力系 (XV)	格納容器圧力調整弁 (XV) (I4C-1917)	原子炉建屋	0.86	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器	系統						
換気空調系	4A, 4Bアニュラス展りダンパ (4D-VS-104A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	19.21	2.11	原子炉格納容器圧力系 (XVI)	格納容器圧力調整弁 (XVI) (I4C-1918)	原子炉建屋	0.86	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器	系統						
換気空調系	4A, 4Bアニュラス全量排気弁 (4V-VS-102A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	22.98	2.08	原子炉格納容器圧力系 (XVII)	格納容器圧力調整弁 (XVII) (I4C-1919)	原子炉建屋	0.86	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器	系統						
換気空調系	4A, 4Bアニュラス少量排気弁 (4V-VS-103A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	23.27	2.37	原子炉格納容器圧力系 (XVIII)	格納容器圧力調整弁 (XVIII) (I4C-1920)	原子炉建屋	0.86	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器	系統						
※ 没水しても機能喪失しない設備は、機能喪失高さを「-」とする。					※1： 基本より機能喪失する床面からの高さ（床上面より0.55mを考慮） ※2： 緊急停止機能 ① 緊急停止機能 ② 事故時のプラント状態の把握機能 ③ 制御室外からの安全停止機能 ④ ピット冷却機能 ⑤ ヒット給水機能 ⑥ 放射線物質の閉じ込め機能 ⑦ 安全上特に重要な関連機能 ⑧ 事故時のプラント状態の把握機能 ⑨ 制御室外からの安全停止機能 ⑩ ピット冷却機能 ⑪ ヒット給水機能					※1： 保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2： 没水により機能喪失する床面からの高さ ① 緊急停止機能 ② 事故時のプラント状態の把握機能 ③ 制御室外からの安全停止機能 ④ ピット冷却機能 ⑤ ヒット給水機能 ⑥ 放射線物質の閉じ込め機能 ⑦ 安全上特に重要な関連機能 ⑧ 事故時のプラント状態の把握機能 ⑨ 制御室外からの安全停止機能 ⑩ ピット冷却機能 ⑪ ヒット給水機能								



泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																								
	<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (19/27)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置棟層</th> <th>基本設定高さ<sup>※1</sup>(m)</th> <th>機能<sup>※2</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水</td> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(3000)</td> <td>30-12-5</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>4.070</td> <td>②③④⑤</td> </tr> <tr> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水</td> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(4200)</td> <td>30-12-5</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>6.110<sup>※</sup></td> <td>②③④⑤</td> </tr> <tr> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水</td> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(5000)</td> <td>30-12-4</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>0.000</td> <td>②③④⑤</td> </tr> <tr> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水</td> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7000)</td> <td>30-12-4</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>0.385</td> <td>②③④⑤</td> </tr> <tr> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水</td> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)</td> <td>30-12-4</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>0.000</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水</td> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)</td> <td>30-12-4</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>0.000</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水</td> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)</td> <td>30-12-4</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>0.115</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水</td> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)</td> <td>30-12-4</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>0.115</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水</td> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)</td> <td>30-12-4</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>0.220</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水</td> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)</td> <td>30-12-4</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>0.205</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水</td> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)</td> <td>30-12-4</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>0.505</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水</td> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)</td> <td>30-12-4</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>0.305</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水</td> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)</td> <td>30-12-4</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>0.445</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水</td> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)</td> <td>30-12-4</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>0.490</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水</td> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)</td> <td>30-12-4</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>1.475</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水</td> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)</td> <td>30-12-4</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>0.000</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水</td> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)</td> <td>30-12-4</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>0.000</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水</td> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)</td> <td>30-12-4</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>0.125</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水</td> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)</td> <td>30-12-4</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>0.115</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水</td> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)</td> <td>30-12-4</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>0.220</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水</td> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)</td> <td>30-12-4</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>0.220</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水</td> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)</td> <td>30-12-4</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>0.505</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水</td> <td>原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)</td> <td>30-12-4</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>0.425</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> </tbody> </table>	系統	設備	区画番号	設置棟層	基本設定高さ <sup>※1</sup> (m)	機能 <sup>※2</sup>	原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(3000)	30-12-5	原子炉建屋 原子炉棟	4.070	②③④⑤	原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(4200)	30-12-5	原子炉建屋 原子炉棟	6.110 <sup>※</sup>	②③④⑤	原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(5000)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.000	②③④⑤	原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7000)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.385	②③④⑤	原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.115	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.115	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.220	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.205	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.505	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.305	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.445	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.490	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	1.475	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.125	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.115	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.220	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.220	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.505	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.425	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (19/35)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置棟層</th> <th>基本設定高さ<sup>※1</sup>(m)</th> <th>個別測定高さ<sup>※2</sup>(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉格納容器スプレィ</td> <td>格納容器圧力(RV) (SPT-503)</td> <td>30B-11-2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.85</td> <td>1.12</td> <td>基本</td> <td>⑤⑦</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット水浄化冷却系統</td> <td>A-使用済燃料ピットポンプ (SSP1A)</td> <td>30B-11-7</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.69</td> <td>0.75</td> <td>基本</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット水浄化冷却系統</td> <td>B-使用済燃料ピットポンプ (SSP1B)</td> <td>30B-11-7</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.69</td> <td>0.76</td> <td>基本</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系統</td> <td>A-高圧注入ポンプ (3S1PIA)</td> <td>30B-L-8 (30B-L-9)</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.33</td> <td>0.32</td> <td>個別</td> <td>②④</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系統</td> <td>B-高圧注入ポンプ (3S1PIB)</td> <td>30B-L-2 (30B-L-3)</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.33</td> <td>0.32</td> <td>個別</td> <td>②④</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系統</td> <td>A-高圧注入ポンプ燃料取扱用ピット側入口弁 (3V-S1-002A)</td> <td>30B-11-9</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.80</td> <td>1.84</td> <td>個別</td> <td>②④⑤</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系統</td> <td>B-高圧注入ポンプ燃料取扱用ピット側入口弁 (3V-S1-002B)</td> <td>30B-11-2</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.80</td> <td>1.84</td> <td>個別</td> <td>②④⑤</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系統</td> <td>A-高圧注入ポンプ第1ミニローヤ (3V-S1-014A)</td> <td>30B-K-22</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.72</td> <td>0.72</td> <td>基本</td> <td>②④</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ          ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ          ①緊急時停止機能          ②未臨界維持機能          ③原子炉停止後の除熱機能          ④炉心冷却機能          ⑤放射性物質の閉じ込め機能          ⑥安全上特に重要な関連機能          ⑦事故時のプラント状態の把握機能          ⑧制御室からの安全停止機能          ⑨ピット冷却機能          ⑩ピット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置棟層	基本設定高さ <sup>※1</sup> (m)	個別測定高さ <sup>※2</sup> (m)	設定箇所	安全機能	原子炉格納容器スプレィ	格納容器圧力(RV) (SPT-503)	30B-11-2	原子炉建屋	0.85	1.12	基本	⑤⑦	使用済燃料ピット水浄化冷却系統	A-使用済燃料ピットポンプ (SSP1A)	30B-11-7	原子炉建屋	0.69	0.75	基本	⑤	使用済燃料ピット水浄化冷却系統	B-使用済燃料ピットポンプ (SSP1B)	30B-11-7	原子炉建屋	0.69	0.76	基本	⑤	高圧注入系統	A-高圧注入ポンプ (3S1PIA)	30B-L-8 (30B-L-9)	原子炉補助建屋	0.33	0.32	個別	②④	高圧注入系統	B-高圧注入ポンプ (3S1PIB)	30B-L-2 (30B-L-3)	原子炉補助建屋	0.33	0.32	個別	②④	高圧注入系統	A-高圧注入ポンプ燃料取扱用ピット側入口弁 (3V-S1-002A)	30B-11-9	原子炉補助建屋	0.80	1.84	個別	②④⑤	高圧注入系統	B-高圧注入ポンプ燃料取扱用ピット側入口弁 (3V-S1-002B)	30B-11-2	原子炉補助建屋	0.80	1.84	個別	②④⑤	高圧注入系統	A-高圧注入ポンプ第1ミニローヤ (3V-S1-014A)	30B-K-22	原子炉補助建屋	0.72	0.72	基本	②④	<p>【女川】          記載方針の相違          設計方針の相違          ・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである          「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。          上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6、7号炉と同様）          ・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違          ・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置棟層	基本設定高さ <sup>※1</sup> (m)	機能 <sup>※2</sup>																																																																																																																																																																																																																						
原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(3000)	30-12-5	原子炉建屋 原子炉棟	4.070	②③④⑤																																																																																																																																																																																																																						
原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(4200)	30-12-5	原子炉建屋 原子炉棟	6.110 <sup>※</sup>	②③④⑤																																																																																																																																																																																																																						
原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(5000)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.000	②③④⑤																																																																																																																																																																																																																						
原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7000)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.385	②③④⑤																																																																																																																																																																																																																						
原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																						
原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																						
原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.115	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																						
原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.115	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																						
原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.220	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																						
原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.205	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																						
原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.505	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																						
原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.305	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																						
原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.445	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																						
原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.490	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																						
原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	1.475	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																						
原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																						
原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																						
原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.125	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																						
原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.115	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																						
原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.220	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																						
原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.220	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																						
原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.505	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																						
原子炉心スプレィ補機内圧水	原子炉心スプレィ補機内圧水ポンプ(7500)	30-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.425	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																						
系統	設備	区画番号	設置棟層	基本設定高さ <sup>※1</sup> (m)	個別測定高さ <sup>※2</sup> (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																																				
原子炉格納容器スプレィ	格納容器圧力(RV) (SPT-503)	30B-11-2	原子炉建屋	0.85	1.12	基本	⑤⑦																																																																																																																																																																																																																				
使用済燃料ピット水浄化冷却系統	A-使用済燃料ピットポンプ (SSP1A)	30B-11-7	原子炉建屋	0.69	0.75	基本	⑤																																																																																																																																																																																																																				
使用済燃料ピット水浄化冷却系統	B-使用済燃料ピットポンプ (SSP1B)	30B-11-7	原子炉建屋	0.69	0.76	基本	⑤																																																																																																																																																																																																																				
高圧注入系統	A-高圧注入ポンプ (3S1PIA)	30B-L-8 (30B-L-9)	原子炉補助建屋	0.33	0.32	個別	②④																																																																																																																																																																																																																				
高圧注入系統	B-高圧注入ポンプ (3S1PIB)	30B-L-2 (30B-L-3)	原子炉補助建屋	0.33	0.32	個別	②④																																																																																																																																																																																																																				
高圧注入系統	A-高圧注入ポンプ燃料取扱用ピット側入口弁 (3V-S1-002A)	30B-11-9	原子炉補助建屋	0.80	1.84	個別	②④⑤																																																																																																																																																																																																																				
高圧注入系統	B-高圧注入ポンプ燃料取扱用ピット側入口弁 (3V-S1-002B)	30B-11-2	原子炉補助建屋	0.80	1.84	個別	②④⑤																																																																																																																																																																																																																				
高圧注入系統	A-高圧注入ポンプ第1ミニローヤ (3V-S1-014A)	30B-K-22	原子炉補助建屋	0.72	0.72	基本	②④																																																																																																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																
	<p>表1 防護対象設備一覧 (20/27)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>設置番号</th> <th>設置種類</th> <th>E.L.<sup>9)</sup>(m)</th> <th>機能<sup>1)</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機界空調機用冷却水配水系統</td> <td>機界空調機用冷却水出口高差 (320-F2002)</td> <td>B-2F-4</td> <td>原子炉建屋 付属機</td> <td>0.600</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>機界空調機用冷却水配水系統</td> <td>機界空調機用冷却水出口高差 (320-F10002)</td> <td>B-2F-4</td> <td>原子炉建屋 付属機</td> <td>0.600</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>機界空調機用冷却水配水系統</td> <td>機界空調機用冷却水温度 (320-F10002)</td> <td>B-2F-4</td> <td>原子炉建屋 付属機</td> <td>1.175</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>中水制御系制御盤</td> <td>中水制御系制御盤 (321)</td> <td>C-2F-1</td> <td>制御盤機</td> <td>0.000</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>中水制御系原子炉</td> <td>中水制御系原子炉 (321)</td> <td>C-2F-1</td> <td>制御盤機</td> <td>0.200</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>中水制御系原子炉</td> <td>中水制御系原子炉 (321)</td> <td>C-2F-2</td> <td>制御盤機</td> <td>0.200</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>中水制御系原子炉</td> <td>中水制御系原子炉 (321)</td> <td>C-2F-4</td> <td>制御盤機</td> <td>0.200</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>中水制御系原子炉停止装置</td> <td>中水制御系原子炉停止装置 (321)</td> <td>C-2F-4-1</td> <td>制御盤機</td> <td>0.000</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(A)</td> <td>水漏り オブザーブ 4-2C (322-F101)</td> <td>B-3F-4</td> <td>原子炉建屋 付属機</td> <td>0.000</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(A)</td> <td>400V F/C 4-2C (322-F101)</td> <td>B-3F-4</td> <td>原子炉建屋 付属機</td> <td>0.000</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(A)</td> <td>水漏り 400V M/C 2C-1 (322-F101)</td> <td>B-3F-4</td> <td>原子炉建屋 付属機</td> <td>0.000</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(A)</td> <td>水漏り 400V M/C 2C-2 (322-F101)</td> <td>B-3F-4</td> <td>原子炉建屋 付属機</td> <td>0.000</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(A)</td> <td>水漏り 400V M/C 2C-3 (322-F101)</td> <td>B-3F-4</td> <td>原子炉建屋 付属機</td> <td>0.000</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(A)</td> <td>水漏り 400V M/C 2C-4 (322-F101)</td> <td>B-3F-4</td> <td>原子炉建屋 付属機</td> <td>0.000</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(A)</td> <td>水漏り 400V M/C 2C-5 (322-F101)</td> <td>B-3F-4</td> <td>原子炉建屋 付属機</td> <td>0.000</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(A)</td> <td>水漏り 400V M/C 2C-1 (322-F101)</td> <td>C-3F-3</td> <td>制御盤機</td> <td>0.000</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(A)</td> <td>水漏り 400V M/C 2C-3 (322-F101)</td> <td>C-3F-3</td> <td>制御盤機</td> <td>0.000</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(A)</td> <td>加温機(4) 貯蓄圧露 (324-F0001)</td> <td>C-3F-3</td> <td>制御盤機</td> <td>0.075</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(A)</td> <td>水漏り 400V 文庫電機制御盤2C (322-F101)</td> <td>B-3F-4</td> <td>制御盤機(付属機)</td> <td>0.000</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(A)</td> <td>水漏り オブザーブ 4-2D (322-F101)</td> <td>B-3F-4</td> <td>原子炉建屋 付属機</td> <td>0.000</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(A)</td> <td>400V F/C 4-2D (322-F101)</td> <td>B-3F-4</td> <td>原子炉建屋 付属機</td> <td>0.000</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(A)</td> <td>水漏り 400V M/C 2D-1 (322-F101)</td> <td>B-3F-4</td> <td>原子炉建屋 付属機</td> <td>0.000</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(A)</td> <td>水漏り 400V M/C 2D-2 (322-F101)</td> <td>B-3F-4</td> <td>原子炉建屋 付属機</td> <td>0.000</td> <td>②</td> </tr> </tbody> </table>	系統	設備	設置番号	設置種類	E.L. <sup>9)</sup> (m)	機能 <sup>1)</sup>	機界空調機用冷却水配水系統	機界空調機用冷却水出口高差 (320-F2002)	B-2F-4	原子炉建屋 付属機	0.600	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	機界空調機用冷却水配水系統	機界空調機用冷却水出口高差 (320-F10002)	B-2F-4	原子炉建屋 付属機	0.600	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	機界空調機用冷却水配水系統	機界空調機用冷却水温度 (320-F10002)	B-2F-4	原子炉建屋 付属機	1.175	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	中水制御系制御盤	中水制御系制御盤 (321)	C-2F-1	制御盤機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	中水制御系原子炉	中水制御系原子炉 (321)	C-2F-1	制御盤機	0.200	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	中水制御系原子炉	中水制御系原子炉 (321)	C-2F-2	制御盤機	0.200	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	中水制御系原子炉	中水制御系原子炉 (321)	C-2F-4	制御盤機	0.200	②	中水制御系原子炉停止装置	中水制御系原子炉停止装置 (321)	C-2F-4-1	制御盤機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	貯蓄機(A)	水漏り オブザーブ 4-2C (322-F101)	B-3F-4	原子炉建屋 付属機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	貯蓄機(A)	400V F/C 4-2C (322-F101)	B-3F-4	原子炉建屋 付属機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	貯蓄機(A)	水漏り 400V M/C 2C-1 (322-F101)	B-3F-4	原子炉建屋 付属機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	貯蓄機(A)	水漏り 400V M/C 2C-2 (322-F101)	B-3F-4	原子炉建屋 付属機	0.000	②	貯蓄機(A)	水漏り 400V M/C 2C-3 (322-F101)	B-3F-4	原子炉建屋 付属機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	貯蓄機(A)	水漏り 400V M/C 2C-4 (322-F101)	B-3F-4	原子炉建屋 付属機	0.000	②	貯蓄機(A)	水漏り 400V M/C 2C-5 (322-F101)	B-3F-4	原子炉建屋 付属機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	貯蓄機(A)	水漏り 400V M/C 2C-1 (322-F101)	C-3F-3	制御盤機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	貯蓄機(A)	水漏り 400V M/C 2C-3 (322-F101)	C-3F-3	制御盤機	0.000	②	貯蓄機(A)	加温機(4) 貯蓄圧露 (324-F0001)	C-3F-3	制御盤機	0.075	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	貯蓄機(A)	水漏り 400V 文庫電機制御盤2C (322-F101)	B-3F-4	制御盤機(付属機)	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	貯蓄機(A)	水漏り オブザーブ 4-2D (322-F101)	B-3F-4	原子炉建屋 付属機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	貯蓄機(A)	400V F/C 4-2D (322-F101)	B-3F-4	原子炉建屋 付属機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	貯蓄機(A)	水漏り 400V M/C 2D-1 (322-F101)	B-3F-4	原子炉建屋 付属機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	貯蓄機(A)	水漏り 400V M/C 2D-2 (322-F101)	B-3F-4	原子炉建屋 付属機	0.000	②	<p>表1 防護対象設備一覧 (20/35)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ<sup>9)</sup>(m)</th> <th>個別測定高さ<sup>9)</sup>(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高圧注入系統</td> <td>A-高圧注入ポンプ第2ミニブロー弁 (3V-SI-015A)</td> <td>3AB-K-22</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.72</td> <td>0.72</td> <td>基本</td> <td>②④</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系統</td> <td>B-高圧注入ポンプ第1ミニブロー弁 (3V-SI-014B)</td> <td>3AB-K-12</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.72</td> <td>0.73</td> <td>基本</td> <td>②④</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系統</td> <td>B-高圧注入ポンプ第2ミニブロー弁 (3V-SI-015B)</td> <td>3AB-K-12</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.72</td> <td>0.73</td> <td>基本</td> <td>②④</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系統</td> <td>A-高圧注入ポンプ出口C/V外側逆止弁 (3V-SI-020A)</td> <td>3AB-K-21</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.93</td> <td>1.01</td> <td>個別</td> <td>②④</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系統</td> <td>B-高圧注入ポンプ出口C/V外側逆止弁 (3V-SI-020B)</td> <td>3AB-K-13</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.93</td> <td>1.00</td> <td>個別</td> <td>②④</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系統</td> <td>ほう酸注入タンク入口弁A (3V-SI-032A)</td> <td>3AB-F-23</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.89</td> <td>0.98</td> <td>基本</td> <td>②④</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系統</td> <td>ほう酸注入タンク入口弁B (3V-SI-032B)</td> <td>3AB-F-23</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.89</td> <td>0.98</td> <td>基本</td> <td>②④</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系統</td> <td>ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁A (3V-SI-036A)</td> <td>3BD-E-2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.60</td> <td>1.10</td> <td>基本</td> <td>②④⑤</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系統</td> <td>ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁B (3V-SI-036B)</td> <td>3BD-E-2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.60</td> <td>1.09</td> <td>基本</td> <td>②④⑤</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系統</td> <td>補助高圧注入ラインC/V外側隔離弁 (3V-SI-051)</td> <td>3BD-E-2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.60</td> <td>1.10</td> <td>基本</td> <td>①⑤</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系統</td> <td>A-安全注入ポンプ再循環サブ側入口C/V外側隔離弁 (3V-SI-084A)</td> <td>3BD-J-2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.90</td> <td>3.86</td> <td>基本</td> <td>①⑤</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系統</td> <td>B-安全注入ポンプ再循環サブ側入口C/V外側隔離弁 (3V-SI-084B)</td> <td>3BD-J-1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.90</td> <td>4.07</td> <td>個別</td> <td>①⑤</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水系統</td> <td>A-燃料取替用水ポンプ (3RFP1A)</td> <td>3BD-D-1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.51</td> <td>0.53</td> <td>基本</td> <td>②</td> </tr> </tbody> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ <sup>9)</sup> (m)	個別測定高さ <sup>9)</sup> (m)	設定箇所	安全機能	高圧注入系統	A-高圧注入ポンプ第2ミニブロー弁 (3V-SI-015A)	3AB-K-22	原子炉補助建屋	0.72	0.72	基本	②④	高圧注入系統	B-高圧注入ポンプ第1ミニブロー弁 (3V-SI-014B)	3AB-K-12	原子炉補助建屋	0.72	0.73	基本	②④	高圧注入系統	B-高圧注入ポンプ第2ミニブロー弁 (3V-SI-015B)	3AB-K-12	原子炉補助建屋	0.72	0.73	基本	②④	高圧注入系統	A-高圧注入ポンプ出口C/V外側逆止弁 (3V-SI-020A)	3AB-K-21	原子炉補助建屋	0.93	1.01	個別	②④	高圧注入系統	B-高圧注入ポンプ出口C/V外側逆止弁 (3V-SI-020B)	3AB-K-13	原子炉補助建屋	0.93	1.00	個別	②④	高圧注入系統	ほう酸注入タンク入口弁A (3V-SI-032A)	3AB-F-23	原子炉補助建屋	0.89	0.98	基本	②④	高圧注入系統	ほう酸注入タンク入口弁B (3V-SI-032B)	3AB-F-23	原子炉補助建屋	0.89	0.98	基本	②④	高圧注入系統	ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁A (3V-SI-036A)	3BD-E-2	原子炉建屋	0.60	1.10	基本	②④⑤	高圧注入系統	ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁B (3V-SI-036B)	3BD-E-2	原子炉建屋	0.60	1.09	基本	②④⑤	高圧注入系統	補助高圧注入ラインC/V外側隔離弁 (3V-SI-051)	3BD-E-2	原子炉建屋	0.60	1.10	基本	①⑤	高圧注入系統	A-安全注入ポンプ再循環サブ側入口C/V外側隔離弁 (3V-SI-084A)	3BD-J-2	原子炉建屋	2.90	3.86	基本	①⑤	高圧注入系統	B-安全注入ポンプ再循環サブ側入口C/V外側隔離弁 (3V-SI-084B)	3BD-J-1	原子炉建屋	2.90	4.07	個別	①⑤	燃料取替用水系統	A-燃料取替用水ポンプ (3RFP1A)	3BD-D-1	原子炉建屋	0.51	0.53	基本	②	<p>【女川】          記載方針の相違          設計方針の相違          ・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである          「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。          上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6、7号炉と同様）          ・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違          ・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	設置番号	設置種類	E.L. <sup>9)</sup> (m)	機能 <sup>1)</sup>																																																																																																																																																																																																																																																														
機界空調機用冷却水配水系統	機界空調機用冷却水出口高差 (320-F2002)	B-2F-4	原子炉建屋 付属機	0.600	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
機界空調機用冷却水配水系統	機界空調機用冷却水出口高差 (320-F10002)	B-2F-4	原子炉建屋 付属機	0.600	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
機界空調機用冷却水配水系統	機界空調機用冷却水温度 (320-F10002)	B-2F-4	原子炉建屋 付属機	1.175	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
中水制御系制御盤	中水制御系制御盤 (321)	C-2F-1	制御盤機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
中水制御系原子炉	中水制御系原子炉 (321)	C-2F-1	制御盤機	0.200	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
中水制御系原子炉	中水制御系原子炉 (321)	C-2F-2	制御盤機	0.200	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
中水制御系原子炉	中水制御系原子炉 (321)	C-2F-4	制御盤機	0.200	②																																																																																																																																																																																																																																																														
中水制御系原子炉停止装置	中水制御系原子炉停止装置 (321)	C-2F-4-1	制御盤機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
貯蓄機(A)	水漏り オブザーブ 4-2C (322-F101)	B-3F-4	原子炉建屋 付属機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
貯蓄機(A)	400V F/C 4-2C (322-F101)	B-3F-4	原子炉建屋 付属機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
貯蓄機(A)	水漏り 400V M/C 2C-1 (322-F101)	B-3F-4	原子炉建屋 付属機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
貯蓄機(A)	水漏り 400V M/C 2C-2 (322-F101)	B-3F-4	原子炉建屋 付属機	0.000	②																																																																																																																																																																																																																																																														
貯蓄機(A)	水漏り 400V M/C 2C-3 (322-F101)	B-3F-4	原子炉建屋 付属機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
貯蓄機(A)	水漏り 400V M/C 2C-4 (322-F101)	B-3F-4	原子炉建屋 付属機	0.000	②																																																																																																																																																																																																																																																														
貯蓄機(A)	水漏り 400V M/C 2C-5 (322-F101)	B-3F-4	原子炉建屋 付属機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
貯蓄機(A)	水漏り 400V M/C 2C-1 (322-F101)	C-3F-3	制御盤機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
貯蓄機(A)	水漏り 400V M/C 2C-3 (322-F101)	C-3F-3	制御盤機	0.000	②																																																																																																																																																																																																																																																														
貯蓄機(A)	加温機(4) 貯蓄圧露 (324-F0001)	C-3F-3	制御盤機	0.075	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
貯蓄機(A)	水漏り 400V 文庫電機制御盤2C (322-F101)	B-3F-4	制御盤機(付属機)	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
貯蓄機(A)	水漏り オブザーブ 4-2D (322-F101)	B-3F-4	原子炉建屋 付属機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
貯蓄機(A)	400V F/C 4-2D (322-F101)	B-3F-4	原子炉建屋 付属機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
貯蓄機(A)	水漏り 400V M/C 2D-1 (322-F101)	B-3F-4	原子炉建屋 付属機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
貯蓄機(A)	水漏り 400V M/C 2D-2 (322-F101)	B-3F-4	原子炉建屋 付属機	0.000	②																																																																																																																																																																																																																																																														
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ <sup>9)</sup> (m)	個別測定高さ <sup>9)</sup> (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																																																																												
高圧注入系統	A-高圧注入ポンプ第2ミニブロー弁 (3V-SI-015A)	3AB-K-22	原子炉補助建屋	0.72	0.72	基本	②④																																																																																																																																																																																																																																																												
高圧注入系統	B-高圧注入ポンプ第1ミニブロー弁 (3V-SI-014B)	3AB-K-12	原子炉補助建屋	0.72	0.73	基本	②④																																																																																																																																																																																																																																																												
高圧注入系統	B-高圧注入ポンプ第2ミニブロー弁 (3V-SI-015B)	3AB-K-12	原子炉補助建屋	0.72	0.73	基本	②④																																																																																																																																																																																																																																																												
高圧注入系統	A-高圧注入ポンプ出口C/V外側逆止弁 (3V-SI-020A)	3AB-K-21	原子炉補助建屋	0.93	1.01	個別	②④																																																																																																																																																																																																																																																												
高圧注入系統	B-高圧注入ポンプ出口C/V外側逆止弁 (3V-SI-020B)	3AB-K-13	原子炉補助建屋	0.93	1.00	個別	②④																																																																																																																																																																																																																																																												
高圧注入系統	ほう酸注入タンク入口弁A (3V-SI-032A)	3AB-F-23	原子炉補助建屋	0.89	0.98	基本	②④																																																																																																																																																																																																																																																												
高圧注入系統	ほう酸注入タンク入口弁B (3V-SI-032B)	3AB-F-23	原子炉補助建屋	0.89	0.98	基本	②④																																																																																																																																																																																																																																																												
高圧注入系統	ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁A (3V-SI-036A)	3BD-E-2	原子炉建屋	0.60	1.10	基本	②④⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
高圧注入系統	ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁B (3V-SI-036B)	3BD-E-2	原子炉建屋	0.60	1.09	基本	②④⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
高圧注入系統	補助高圧注入ラインC/V外側隔離弁 (3V-SI-051)	3BD-E-2	原子炉建屋	0.60	1.10	基本	①⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
高圧注入系統	A-安全注入ポンプ再循環サブ側入口C/V外側隔離弁 (3V-SI-084A)	3BD-J-2	原子炉建屋	2.90	3.86	基本	①⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
高圧注入系統	B-安全注入ポンプ再循環サブ側入口C/V外側隔離弁 (3V-SI-084B)	3BD-J-1	原子炉建屋	2.90	4.07	個別	①⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
燃料取替用水系統	A-燃料取替用水ポンプ (3RFP1A)	3BD-D-1	原子炉建屋	0.51	0.53	基本	②																																																																																																																																																																																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

Table with 4 columns: 大飯発電所3/4号炉, 女川原子力発電所2号炉, 泊発電所3号炉, 相違理由. Contains detailed equipment comparison tables for protection objects at different power plants.



泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																										
	<p>表1 防護対象設備一覧 (23/27)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置階層</th> <th>とんがり高さ(m)</th> <th>機能*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備(A)</td><td>非常用ディーゼル発電機2A 900kW (3D-V220A)</td><td>0-02-F</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>9.000</td><td>①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備(A)</td><td>非常用ディーゼル発電機2A ICT機</td><td>0-02-F</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>9.000</td><td>①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備(A)</td><td>非常用ディーゼル発電機2A IPT機</td><td>0-02-F</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>9.000</td><td>①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備(A)</td><td>非常用ディーゼル発電機2A FT-C機</td><td>0-02-F</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>9.000</td><td>①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備(A)</td><td>海水加熱器(A)</td><td>0-03-F</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>9.125</td><td>①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備(A)</td><td>機器冷却器(A)</td><td>0-03-F</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>9.125</td><td>①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備(A)</td><td>非常用ディーゼル発電機(A)</td><td>0-12-F</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>9.125</td><td>①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備(A)</td><td>非常用ディーゼル発電機(A)</td><td>0-12-F</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>9.125</td><td>①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備(A)</td><td>海水加熱器ポンプ(A)</td><td>0-03-F</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>9.125</td><td>①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備(A)</td><td>機器冷却ポンプ(A)</td><td>0-03-F</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>9.125</td><td>①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備(A)</td><td>燃料冷却ポンプ(A)</td><td>100-F</td><td>軽油貯蔵所</td><td>9.440</td><td>①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備(A)</td><td>燃料ディゾット装置</td><td>0-02-F</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>9.145</td><td>①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備(A)</td><td>機関自動車ポンプ(A)出口圧力スイッチ</td><td>0-12-F</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>1.950</td><td>①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備(A)</td><td>機関油流量(A)ロジックスイッチ</td><td>0-12-F</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>9.920</td><td>①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備(A)</td><td>燃料ポンプ停止位置(S)ロジックスイッチ</td><td>0-12-F</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>9.920</td><td>①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備(A)</td><td>機関排水ポンプ(A)出口圧力スイッチ</td><td>0-12-F</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>1.600</td><td>①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備(A)</td><td>機関排水ポンプ(A)出口圧力スイッチ</td><td>0-12-F</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>1.600</td><td>①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備(A)</td><td>機関(A)入口潤滑油圧力スイッチ</td><td>0-12-F</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>1.950</td><td>①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備(A)</td><td>機関(A)入口潤滑油圧力スイッチ</td><td>0-12-F</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>1.950</td><td>①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備(A)</td><td>非常用海水(A)流量検出器</td><td>0-12-F</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>9.100</td><td>①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備(A)</td><td>海水(A)第一検知器</td><td>0-12-F</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>9.720</td><td>①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備(A)</td><td>海水(A)第二検知器</td><td>0-12-F</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>9.720</td><td>①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫</td></tr> </tbody> </table> <p>※1：洪水により機能喪失する床面からの高さ（床面高さ9.000mを基準）          ※2：安全機能          ※3：緊急停止機能          ※4：運転監視機能          ※5：減速停止機能          ※6：原子炉建屋内外機能          ※7：自動閉鎖機能          ※8：遠隔操作機能          ※9：閉じ込め機能          ※10：電機機能          ※11：非常用燃料プール内容機能          ※12：非常用燃料プール水位機能          ※13：非常用海水流量検出器機能          ※14：非常用海水流量検出器機能          ※15：非常用海水流量検出器機能          ※16：非常用海水流量検出器機能          ※17：非常用海水流量検出器機能          ※18：非常用海水流量検出器機能          ※19：非常用海水流量検出器機能</p>	系統	設備	区画番号	設置階層	とんがり高さ(m)	機能*	非常用ディーゼル発電設備(A)	非常用ディーゼル発電機2A 900kW (3D-V220A)	0-02-F	原子炉建屋 行機構	9.000	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備(A)	非常用ディーゼル発電機2A ICT機	0-02-F	原子炉建屋 行機構	9.000	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備(A)	非常用ディーゼル発電機2A IPT機	0-02-F	原子炉建屋 行機構	9.000	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備(A)	非常用ディーゼル発電機2A FT-C機	0-02-F	原子炉建屋 行機構	9.000	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備(A)	海水加熱器(A)	0-03-F	原子炉建屋 行機構	9.125	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備(A)	機器冷却器(A)	0-03-F	原子炉建屋 行機構	9.125	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備(A)	非常用ディーゼル発電機(A)	0-12-F	原子炉建屋 行機構	9.125	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備(A)	非常用ディーゼル発電機(A)	0-12-F	原子炉建屋 行機構	9.125	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備(A)	海水加熱器ポンプ(A)	0-03-F	原子炉建屋 行機構	9.125	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備(A)	機器冷却ポンプ(A)	0-03-F	原子炉建屋 行機構	9.125	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備(A)	燃料冷却ポンプ(A)	100-F	軽油貯蔵所	9.440	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備(A)	燃料ディゾット装置	0-02-F	原子炉建屋 行機構	9.145	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備(A)	機関自動車ポンプ(A)出口圧力スイッチ	0-12-F	原子炉建屋 行機構	1.950	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備(A)	機関油流量(A)ロジックスイッチ	0-12-F	原子炉建屋 行機構	9.920	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備(A)	燃料ポンプ停止位置(S)ロジックスイッチ	0-12-F	原子炉建屋 行機構	9.920	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備(A)	機関排水ポンプ(A)出口圧力スイッチ	0-12-F	原子炉建屋 行機構	1.600	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備(A)	機関排水ポンプ(A)出口圧力スイッチ	0-12-F	原子炉建屋 行機構	1.600	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備(A)	機関(A)入口潤滑油圧力スイッチ	0-12-F	原子炉建屋 行機構	1.950	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備(A)	機関(A)入口潤滑油圧力スイッチ	0-12-F	原子炉建屋 行機構	1.950	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備(A)	非常用海水(A)流量検出器	0-12-F	原子炉建屋 行機構	9.100	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備(A)	海水(A)第一検知器	0-12-F	原子炉建屋 行機構	9.720	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備(A)	海水(A)第二検知器	0-12-F	原子炉建屋 行機構	9.720	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫	<p>表1 防護対象設備一覧 (23/35)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置階層</th> <th>基本設定高さ<sup>①</sup>(m)</th> <th>個別測定高さ<sup>②</sup>(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>主蒸気系統</td><td>C-主蒸気ライン圧力(I)</td><td>3RB-C-N</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>①②</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>C-主蒸気ライン圧力(II)</td><td>3RB-C-N</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>①②</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>C-主蒸気ライン圧力(III)</td><td>3RB-C-N</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>①②</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>C-主蒸気ライン圧力(IV)</td><td>3RB-C-N</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>①②</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>A-アニュラス空気浄化ファン</td><td>3RB-C-2</td><td>原子炉建屋</td><td>0.15</td><td>1.10</td><td>基本</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>B-アニュラス空気浄化ファン</td><td>3RB-C-2</td><td>原子炉建屋</td><td>0.15</td><td>1.10</td><td>基本</td><td>④</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>A-アニュラス排気ダンパ</td><td>3RB-C-2</td><td>原子炉建屋</td><td>4.55</td><td>4.02</td><td>個別</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>B-アニュラス排気ダンパ</td><td>3RB-C-2</td><td>原子炉建屋</td><td>4.55</td><td>4.02</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>A-アニュラス戻りダンパ</td><td>3RB-B-3</td><td>原子炉建屋</td><td>5.40</td><td>4.86</td><td>個別</td><td>⑦</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>B-アニュラス戻りダンパ</td><td>3RB-B-3</td><td>原子炉建屋</td><td>5.40</td><td>4.86</td><td>個別</td><td>⑧</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>A-アニュラス戻りダンパ流量設定器</td><td>3RB-B-2</td><td>原子炉建屋</td><td>1.44</td><td>1.44</td><td>基本</td><td>⑨</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>B-アニュラス戻りダンパ流量設定器</td><td>3RB-B-2</td><td>原子炉建屋</td><td>1.44</td><td>1.44</td><td>基本</td><td>⑩</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>A-アニュラス全量排気弁</td><td>3RB-B-4</td><td>原子炉建屋</td><td>4.17</td><td>4.16</td><td>個別</td><td>⑪</td></tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ          ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ          ①安全上特に重要な関連機能          ②未臨界維持機能          ③原子炉停止後の除熱機能          ④炉心冷却機能          ⑤放射性物質の閉じ込め機能          ⑥事故時のプラント状態の把握機能          ⑦制振室外からの安全停止機能          ⑧ピット冷却機能          ⑨ピット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置階層	基本設定高さ <sup>①</sup> (m)	個別測定高さ <sup>②</sup> (m)	設定箇所	安全機能	主蒸気系統	C-主蒸気ライン圧力(I)	3RB-C-N	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	①②	主蒸気系統	C-主蒸気ライン圧力(II)	3RB-C-N	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	①②	主蒸気系統	C-主蒸気ライン圧力(III)	3RB-C-N	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	①②	主蒸気系統	C-主蒸気ライン圧力(IV)	3RB-C-N	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	①②	換気空調系統	A-アニュラス空気浄化ファン	3RB-C-2	原子炉建屋	0.15	1.10	基本	③	換気空調系統	B-アニュラス空気浄化ファン	3RB-C-2	原子炉建屋	0.15	1.10	基本	④	換気空調系統	A-アニュラス排気ダンパ	3RB-C-2	原子炉建屋	4.55	4.02	個別	⑤	換気空調系統	B-アニュラス排気ダンパ	3RB-C-2	原子炉建屋	4.55	4.02	個別	⑥	換気空調系統	A-アニュラス戻りダンパ	3RB-B-3	原子炉建屋	5.40	4.86	個別	⑦	換気空調系統	B-アニュラス戻りダンパ	3RB-B-3	原子炉建屋	5.40	4.86	個別	⑧	換気空調系統	A-アニュラス戻りダンパ流量設定器	3RB-B-2	原子炉建屋	1.44	1.44	基本	⑨	換気空調系統	B-アニュラス戻りダンパ流量設定器	3RB-B-2	原子炉建屋	1.44	1.44	基本	⑩	換気空調系統	A-アニュラス全量排気弁	3RB-B-4	原子炉建屋	4.17	4.16	個別	⑪	<p>【女川】          記載方針の相違          設計方針の相違          ・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。          上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6、7号炉と同様）          ・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違          ・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置階層	とんがり高さ(m)	機能*																																																																																																																																																																																																																																																								
非常用ディーゼル発電設備(A)	非常用ディーゼル発電機2A 900kW (3D-V220A)	0-02-F	原子炉建屋 行機構	9.000	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																								
非常用ディーゼル発電設備(A)	非常用ディーゼル発電機2A ICT機	0-02-F	原子炉建屋 行機構	9.000	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																								
非常用ディーゼル発電設備(A)	非常用ディーゼル発電機2A IPT機	0-02-F	原子炉建屋 行機構	9.000	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																								
非常用ディーゼル発電設備(A)	非常用ディーゼル発電機2A FT-C機	0-02-F	原子炉建屋 行機構	9.000	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																								
非常用ディーゼル発電設備(A)	海水加熱器(A)	0-03-F	原子炉建屋 行機構	9.125	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																								
非常用ディーゼル発電設備(A)	機器冷却器(A)	0-03-F	原子炉建屋 行機構	9.125	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																								
非常用ディーゼル発電設備(A)	非常用ディーゼル発電機(A)	0-12-F	原子炉建屋 行機構	9.125	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																								
非常用ディーゼル発電設備(A)	非常用ディーゼル発電機(A)	0-12-F	原子炉建屋 行機構	9.125	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																								
非常用ディーゼル発電設備(A)	海水加熱器ポンプ(A)	0-03-F	原子炉建屋 行機構	9.125	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																								
非常用ディーゼル発電設備(A)	機器冷却ポンプ(A)	0-03-F	原子炉建屋 行機構	9.125	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																								
非常用ディーゼル発電設備(A)	燃料冷却ポンプ(A)	100-F	軽油貯蔵所	9.440	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																								
非常用ディーゼル発電設備(A)	燃料ディゾット装置	0-02-F	原子炉建屋 行機構	9.145	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																								
非常用ディーゼル発電設備(A)	機関自動車ポンプ(A)出口圧力スイッチ	0-12-F	原子炉建屋 行機構	1.950	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																								
非常用ディーゼル発電設備(A)	機関油流量(A)ロジックスイッチ	0-12-F	原子炉建屋 行機構	9.920	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																								
非常用ディーゼル発電設備(A)	燃料ポンプ停止位置(S)ロジックスイッチ	0-12-F	原子炉建屋 行機構	9.920	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																								
非常用ディーゼル発電設備(A)	機関排水ポンプ(A)出口圧力スイッチ	0-12-F	原子炉建屋 行機構	1.600	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																								
非常用ディーゼル発電設備(A)	機関排水ポンプ(A)出口圧力スイッチ	0-12-F	原子炉建屋 行機構	1.600	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																								
非常用ディーゼル発電設備(A)	機関(A)入口潤滑油圧力スイッチ	0-12-F	原子炉建屋 行機構	1.950	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																								
非常用ディーゼル発電設備(A)	機関(A)入口潤滑油圧力スイッチ	0-12-F	原子炉建屋 行機構	1.950	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																								
非常用ディーゼル発電設備(A)	非常用海水(A)流量検出器	0-12-F	原子炉建屋 行機構	9.100	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																								
非常用ディーゼル発電設備(A)	海水(A)第一検知器	0-12-F	原子炉建屋 行機構	9.720	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																								
非常用ディーゼル発電設備(A)	海水(A)第二検知器	0-12-F	原子炉建屋 行機構	9.720	①②④⑤⑦ ⑨⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																								
系統	設備	区画番号	設置階層	基本設定高さ <sup>①</sup> (m)	個別測定高さ <sup>②</sup> (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																																																																						
主蒸気系統	C-主蒸気ライン圧力(I)	3RB-C-N	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	①②																																																																																																																																																																																																																																																						
主蒸気系統	C-主蒸気ライン圧力(II)	3RB-C-N	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	①②																																																																																																																																																																																																																																																						
主蒸気系統	C-主蒸気ライン圧力(III)	3RB-C-N	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	①②																																																																																																																																																																																																																																																						
主蒸気系統	C-主蒸気ライン圧力(IV)	3RB-C-N	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	①②																																																																																																																																																																																																																																																						
換気空調系統	A-アニュラス空気浄化ファン	3RB-C-2	原子炉建屋	0.15	1.10	基本	③																																																																																																																																																																																																																																																						
換気空調系統	B-アニュラス空気浄化ファン	3RB-C-2	原子炉建屋	0.15	1.10	基本	④																																																																																																																																																																																																																																																						
換気空調系統	A-アニュラス排気ダンパ	3RB-C-2	原子炉建屋	4.55	4.02	個別	⑤																																																																																																																																																																																																																																																						
換気空調系統	B-アニュラス排気ダンパ	3RB-C-2	原子炉建屋	4.55	4.02	個別	⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
換気空調系統	A-アニュラス戻りダンパ	3RB-B-3	原子炉建屋	5.40	4.86	個別	⑦																																																																																																																																																																																																																																																						
換気空調系統	B-アニュラス戻りダンパ	3RB-B-3	原子炉建屋	5.40	4.86	個別	⑧																																																																																																																																																																																																																																																						
換気空調系統	A-アニュラス戻りダンパ流量設定器	3RB-B-2	原子炉建屋	1.44	1.44	基本	⑨																																																																																																																																																																																																																																																						
換気空調系統	B-アニュラス戻りダンパ流量設定器	3RB-B-2	原子炉建屋	1.44	1.44	基本	⑩																																																																																																																																																																																																																																																						
換気空調系統	A-アニュラス全量排気弁	3RB-B-4	原子炉建屋	4.17	4.16	個別	⑪																																																																																																																																																																																																																																																						



泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

第9条 溢水による損傷の防止等 (別添1添付資料4)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																						
	<p>表1 防護対象設備一覧 (25/27)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>計画番号</th> <th>設置時期</th> <th>E.L<sup>1)</sup>(m)</th> <th>機能<sup>2)</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (3)</td> <td>機関連動装置 (3) ボジションスイッチ (3K3-F0200)</td> <td>0-07-16</td> <td>原子力発電所 行機構</td> <td>0.820</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (3)</td> <td>燃料ハンドレボルト機 (3) ボジションスイッチ (3K3-F0200)</td> <td>0-07-16</td> <td>原子力発電所 行機構</td> <td>0.820</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (3)</td> <td>機関付積込ポンプ (3) 出口圧力スイッチ (3K3-F0500-1)</td> <td>0-07-16</td> <td>原子力発電所 行機構</td> <td>1.605</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (3)</td> <td>機関付積込ポンプ (3) 出口圧力スイッチ (3K3-F0500-2)</td> <td>0-07-16</td> <td>原子力発電所 行機構</td> <td>1.605</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (3)</td> <td>機関 (3) A12 潤滑油圧力スイッチ (3K3-F1070-1)</td> <td>0-07-16</td> <td>原子力発電所 行機構</td> <td>1.025</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (3)</td> <td>機関 (3) A12 潤滑油圧力スイッチ (3K3-F1070-2)</td> <td>0-07-16</td> <td>原子力発電所 行機構</td> <td>1.025</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (3)</td> <td>非常用 (3) A12 過負荷検出装置 (3K3-F2300)</td> <td>0-07-16</td> <td>原子力発電所 行機構</td> <td>0.810</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (3)</td> <td>非 (3) 第一起動弁 (3K3-00-F0900)</td> <td>0-07-16</td> <td>原子力発電所 行機構</td> <td>0.735</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (3)</td> <td>非 (3) 第二起動弁 (3K3-00-F1000)</td> <td>0-07-16</td> <td>原子力発電所 行機構</td> <td>0.735</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (3)</td> <td>非 (3) 第一停止弁 (3K3-00-F0100)</td> <td>0-07-16</td> <td>原子力発電所 行機構</td> <td>0.225</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (3)</td> <td>非 (3) 第二停止弁 (3K3-00-F0200)</td> <td>0-07-16</td> <td>原子力発電所 行機構</td> <td>0.225</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (3)</td> <td>機関 (3) (3)12 ディーゼル油母油温度スイッチ (3K3-F0900)</td> <td>0-07-16</td> <td>原子力発電所 行機構</td> <td>1.605</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (3)</td> <td>機関付積込ポンプ (3) 出口圧力スイッチ (3K3-F0510)</td> <td>0-07-16</td> <td>原子力発電所 行機構</td> <td>1.605</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (3)</td> <td>非 (3) 非常用ディーゼル発電機 燃料調整装置 (3K3-F250)</td> <td>0-14-15</td> <td>原子力発電所 行機構</td> <td>0.900</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (3)</td> <td>非 (3) 非常用ディーゼル発電機 燃料調整装置 (3K3-F251)</td> <td>0-14-15</td> <td>原子力発電所 行機構</td> <td>0.900</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (3)</td> <td>非 (3) 非常用ディーゼル発電機 燃料調整装置 (3K3-F252)</td> <td>0-14-15</td> <td>原子力発電所 行機構</td> <td>0.900</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (3)</td> <td>非 (3) 非常用ディーゼル発電機 燃料調整装置 (3K3-F253)</td> <td>0-14-15</td> <td>原子力発電所 行機構</td> <td>0.900</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (3)</td> <td>非 (3) 非常用ディーゼル発電機 燃料調整装置 (3K3-F254)</td> <td>0-14-15</td> <td>原子力発電所 行機構</td> <td>0.900</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (3)</td> <td>非 (3) 非常用ディーゼル発電機 No.6 調整装置 (3K3-F255)</td> <td>0-02-F-4</td> <td>原子力発電所 行機構</td> <td>0.900</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (3)</td> <td>非 (3) 非常用ディーゼル発電機 No.7 調整装置 (3K3-F256)</td> <td>0-02-F-4</td> <td>原子力発電所 行機構</td> <td>0.900</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (3)</td> <td>非 (3) 非常用ディーゼル発電機 No.8 調整装置 (3K3-F257)</td> <td>0-02-F-4</td> <td>原子力発電所 行機構</td> <td>0.900</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (3)</td> <td>非 (3) 非常用ディーゼル発電機 No.9 調整装置 (3K3-F258)</td> <td>0-02-F-4</td> <td>原子力発電所 行機構</td> <td>0.900</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (3)</td> <td>非 (3) 非常用ディーゼル発電機 No.10 調整装置 (3K3-F259)</td> <td>0-02-F-4</td> <td>原子力発電所 行機構</td> <td>0.900</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (3)</td> <td>排水加熱器 (3K4-0001)</td> <td>0-07-16</td> <td>原子力発電所 行機構</td> <td>0.805</td> <td>①②③④⑤</td> </tr> </tbody> </table> <p>             ① 1. 基本により機能喪失する床面からの高さ (床上面より 0.05m を考慮)              ② 1. 緊急停止機能              ③ 1. 燃料供給停止機能              ④ 1. 燃料供給停止機能              ⑤ 1. 燃料供給停止機能              ⑥ 1. 燃料供給停止機能              ⑦ 1. 燃料供給停止機能              ⑧ 1. 燃料供給停止機能              ⑨ 1. 燃料供給停止機能              ⑩ 1. 燃料供給停止機能              ⑪ 1. 燃料供給停止機能              ⑫ 1. 燃料供給停止機能              ⑬ 1. 燃料供給停止機能              ⑭ 1. 燃料供給停止機能              ⑮ 1. 燃料供給停止機能              ⑯ 1. 燃料供給停止機能              ⑰ 1. 燃料供給停止機能              ⑱ 1. 燃料供給停止機能              ⑲ 1. 燃料供給停止機能              ⑳ 1. 燃料供給停止機能              ㉑ 1. 燃料供給停止機能              ㉒ 1. 燃料供給停止機能              ㉓ 1. 燃料供給停止機能              ㉔ 1. 燃料供給停止機能              ㉕ 1. 燃料供給停止機能              ㉖ 1. 燃料供給停止機能              ㉗ 1. 燃料供給停止機能              ㉘ 1. 燃料供給停止機能              ㉙ 1. 燃料供給停止機能              ㉚ 1. 燃料供給停止機能              ㉛ 1. 燃料供給停止機能              ㉜ 1. 燃料供給停止機能              ㉝ 1. 燃料供給停止機能              ㉞ 1. 燃料供給停止機能              ㉟ 1. 燃料供給停止機能              ㊱ 1. 燃料供給停止機能              ㊲ 1. 燃料供給停止機能              ㊳ 1. 燃料供給停止機能              ㊴ 1. 燃料供給停止機能              ㊵ 1. 燃料供給停止機能              ㊶ 1. 燃料供給停止機能              ㊷ 1. 燃料供給停止機能              ㊸ 1. 燃料供給停止機能              ㊹ 1. 燃料供給停止機能              ㊺ 1. 燃料供給停止機能              ㊻ 1. 燃料供給停止機能              ㊼ 1. 燃料供給停止機能              ㊽ 1. 燃料供給停止機能              ㊾ 1. 燃料供給停止機能              ㊿ 1. 燃料供給停止機能         </p>	系統	設備	計画番号	設置時期	E.L <sup>1)</sup> (m)	機能 <sup>2)</sup>	非常用ディーゼル発電設備 (3)	機関連動装置 (3) ボジションスイッチ (3K3-F0200)	0-07-16	原子力発電所 行機構	0.820	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (3)	燃料ハンドレボルト機 (3) ボジションスイッチ (3K3-F0200)	0-07-16	原子力発電所 行機構	0.820	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (3)	機関付積込ポンプ (3) 出口圧力スイッチ (3K3-F0500-1)	0-07-16	原子力発電所 行機構	1.605	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (3)	機関付積込ポンプ (3) 出口圧力スイッチ (3K3-F0500-2)	0-07-16	原子力発電所 行機構	1.605	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (3)	機関 (3) A12 潤滑油圧力スイッチ (3K3-F1070-1)	0-07-16	原子力発電所 行機構	1.025	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (3)	機関 (3) A12 潤滑油圧力スイッチ (3K3-F1070-2)	0-07-16	原子力発電所 行機構	1.025	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (3)	非常用 (3) A12 過負荷検出装置 (3K3-F2300)	0-07-16	原子力発電所 行機構	0.810	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (3)	非 (3) 第一起動弁 (3K3-00-F0900)	0-07-16	原子力発電所 行機構	0.735	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (3)	非 (3) 第二起動弁 (3K3-00-F1000)	0-07-16	原子力発電所 行機構	0.735	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (3)	非 (3) 第一停止弁 (3K3-00-F0100)	0-07-16	原子力発電所 行機構	0.225	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (3)	非 (3) 第二停止弁 (3K3-00-F0200)	0-07-16	原子力発電所 行機構	0.225	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (3)	機関 (3) (3)12 ディーゼル油母油温度スイッチ (3K3-F0900)	0-07-16	原子力発電所 行機構	1.605	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (3)	機関付積込ポンプ (3) 出口圧力スイッチ (3K3-F0510)	0-07-16	原子力発電所 行機構	1.605	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (3)	非 (3) 非常用ディーゼル発電機 燃料調整装置 (3K3-F250)	0-14-15	原子力発電所 行機構	0.900	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (3)	非 (3) 非常用ディーゼル発電機 燃料調整装置 (3K3-F251)	0-14-15	原子力発電所 行機構	0.900	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (3)	非 (3) 非常用ディーゼル発電機 燃料調整装置 (3K3-F252)	0-14-15	原子力発電所 行機構	0.900	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (3)	非 (3) 非常用ディーゼル発電機 燃料調整装置 (3K3-F253)	0-14-15	原子力発電所 行機構	0.900	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (3)	非 (3) 非常用ディーゼル発電機 燃料調整装置 (3K3-F254)	0-14-15	原子力発電所 行機構	0.900	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (3)	非 (3) 非常用ディーゼル発電機 No.6 調整装置 (3K3-F255)	0-02-F-4	原子力発電所 行機構	0.900	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (3)	非 (3) 非常用ディーゼル発電機 No.7 調整装置 (3K3-F256)	0-02-F-4	原子力発電所 行機構	0.900	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (3)	非 (3) 非常用ディーゼル発電機 No.8 調整装置 (3K3-F257)	0-02-F-4	原子力発電所 行機構	0.900	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (3)	非 (3) 非常用ディーゼル発電機 No.9 調整装置 (3K3-F258)	0-02-F-4	原子力発電所 行機構	0.900	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (3)	非 (3) 非常用ディーゼル発電機 No.10 調整装置 (3K3-F259)	0-02-F-4	原子力発電所 行機構	0.900	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (3)	排水加熱器 (3K4-0001)	0-07-16	原子力発電所 行機構	0.805	①②③④⑤	<p>表1 防護対象設備一覧 (25/35)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置時期</th> <th>基本設定高さ<sup>※1)</sup>(m)</th> <th>個別測定高さ<sup>※2)</sup>(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調</td> <td>A-ディーゼル発電機室給気ファン (3VSF30A)</td> <td>30G-F-N10</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.20</td> <td>0.19</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調</td> <td>B-ディーゼル発電機室給気ファン (3VSF30B)</td> <td>30G-F-N10</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.20</td> <td>0.19</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調</td> <td>C-ディーゼル発電機室給気ファン (3VSF30C)</td> <td>30G-F-N8</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.20</td> <td>0.19</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調</td> <td>D-ディーゼル発電機室給気ファン (3VSF30D)</td> <td>30G-F-N8</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.20</td> <td>0.19</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調</td> <td>A-ディーゼル発電機室外気取入風量調節ダンパ (3HKD-2741)</td> <td>30G-F-N10</td> <td>原子炉建屋</td> <td>5.07</td> <td>4.11</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調</td> <td>B-ディーゼル発電機室外気取入風量調節ダンパ (3HKD-2742)</td> <td>30G-F-N8</td> <td>原子炉建屋</td> <td>5.07</td> <td>4.11</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調</td> <td>A-ディーゼル発電機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HK-2741)</td> <td>30G-F-N10</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.44</td> <td>1.44</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調</td> <td>B-ディーゼル発電機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HK-2742)</td> <td>30G-F-N8</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.44</td> <td>1.44</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調</td> <td>A-ディーゼル発電機室室内空気温度 (1) (3TS-2747)</td> <td>30G-H-N2</td> <td>ディーゼル発電機建屋</td> <td>1.67</td> <td>5.80</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調</td> <td>A-ディーゼル発電機室室内空気温度 (2) (3TS-2748)</td> <td>30G-H-N2</td> <td>ディーゼル発電機建屋</td> <td>1.67</td> <td>5.79</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調</td> <td>A-ディーゼル発電機室室内空気温度 (3) (3TS-2751)</td> <td>30G-H-N2</td> <td>ディーゼル発電機建屋</td> <td>1.17</td> <td>5.21</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調</td> <td>A-ディーゼル発電機室室内空気温度 (4) (3TS-2752)</td> <td>30G-H-N2</td> <td>ディーゼル発電機建屋</td> <td>1.17</td> <td>5.21</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調</td> <td>B-ディーゼル発電機室室内空気温度 (1) (3TS-2749)</td> <td>30G-H-N1</td> <td>ディーゼル発電機建屋</td> <td>1.67</td> <td>5.16</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table> <p>             ※1: 保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ              ※2: 没水により機能喪失する床面からの高さ              ①緊急時停止機能              ②未臨界維持機能              ③原子炉停止後の除熱機能              ④炉心冷却機能              ⑤放射性物質の閉じ込め機能              ⑥安全上特に重要な関連機能              ⑦事故時のプラント状態の把握機能              ⑧制御室からの安全停止機能              ⑨ピット冷却機能              ⑩ピット給水機能         </p>	系統	設備	区画番号	設置時期	基本設定高さ <sup>※1)</sup> (m)	個別測定高さ <sup>※2)</sup> (m)	設定箇所	安全機能	換気空調	A-ディーゼル発電機室給気ファン (3VSF30A)	30G-F-N10	原子炉建屋	0.20	0.19	個別	⑥	換気空調	B-ディーゼル発電機室給気ファン (3VSF30B)	30G-F-N10	原子炉建屋	0.20	0.19	個別	⑥	換気空調	C-ディーゼル発電機室給気ファン (3VSF30C)	30G-F-N8	原子炉建屋	0.20	0.19	個別	⑥	換気空調	D-ディーゼル発電機室給気ファン (3VSF30D)	30G-F-N8	原子炉建屋	0.20	0.19	個別	⑥	換気空調	A-ディーゼル発電機室外気取入風量調節ダンパ (3HKD-2741)	30G-F-N10	原子炉建屋	5.07	4.11	個別	⑥	換気空調	B-ディーゼル発電機室外気取入風量調節ダンパ (3HKD-2742)	30G-F-N8	原子炉建屋	5.07	4.11	個別	⑥	換気空調	A-ディーゼル発電機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HK-2741)	30G-F-N10	原子炉建屋	1.44	1.44	基本	⑥	換気空調	B-ディーゼル発電機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HK-2742)	30G-F-N8	原子炉建屋	1.44	1.44	基本	⑥	換気空調	A-ディーゼル発電機室室内空気温度 (1) (3TS-2747)	30G-H-N2	ディーゼル発電機建屋	1.67	5.80	基本	⑥	換気空調	A-ディーゼル発電機室室内空気温度 (2) (3TS-2748)	30G-H-N2	ディーゼル発電機建屋	1.67	5.79	基本	⑥	換気空調	A-ディーゼル発電機室室内空気温度 (3) (3TS-2751)	30G-H-N2	ディーゼル発電機建屋	1.17	5.21	基本	⑥	換気空調	A-ディーゼル発電機室室内空気温度 (4) (3TS-2752)	30G-H-N2	ディーゼル発電機建屋	1.17	5.21	基本	⑥	換気空調	B-ディーゼル発電機室室内空気温度 (1) (3TS-2749)	30G-H-N1	ディーゼル発電機建屋	1.67	5.16	基本	⑥	<p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関しては、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	計画番号	設置時期	E.L <sup>1)</sup> (m)	機能 <sup>2)</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																				
非常用ディーゼル発電設備 (3)	機関連動装置 (3) ボジションスイッチ (3K3-F0200)	0-07-16	原子力発電所 行機構	0.820	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																				
非常用ディーゼル発電設備 (3)	燃料ハンドレボルト機 (3) ボジションスイッチ (3K3-F0200)	0-07-16	原子力発電所 行機構	0.820	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																				
非常用ディーゼル発電設備 (3)	機関付積込ポンプ (3) 出口圧力スイッチ (3K3-F0500-1)	0-07-16	原子力発電所 行機構	1.605	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																				
非常用ディーゼル発電設備 (3)	機関付積込ポンプ (3) 出口圧力スイッチ (3K3-F0500-2)	0-07-16	原子力発電所 行機構	1.605	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																				
非常用ディーゼル発電設備 (3)	機関 (3) A12 潤滑油圧力スイッチ (3K3-F1070-1)	0-07-16	原子力発電所 行機構	1.025	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																				
非常用ディーゼル発電設備 (3)	機関 (3) A12 潤滑油圧力スイッチ (3K3-F1070-2)	0-07-16	原子力発電所 行機構	1.025	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																				
非常用ディーゼル発電設備 (3)	非常用 (3) A12 過負荷検出装置 (3K3-F2300)	0-07-16	原子力発電所 行機構	0.810	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																				
非常用ディーゼル発電設備 (3)	非 (3) 第一起動弁 (3K3-00-F0900)	0-07-16	原子力発電所 行機構	0.735	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																				
非常用ディーゼル発電設備 (3)	非 (3) 第二起動弁 (3K3-00-F1000)	0-07-16	原子力発電所 行機構	0.735	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																				
非常用ディーゼル発電設備 (3)	非 (3) 第一停止弁 (3K3-00-F0100)	0-07-16	原子力発電所 行機構	0.225	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																				
非常用ディーゼル発電設備 (3)	非 (3) 第二停止弁 (3K3-00-F0200)	0-07-16	原子力発電所 行機構	0.225	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																				
非常用ディーゼル発電設備 (3)	機関 (3) (3)12 ディーゼル油母油温度スイッチ (3K3-F0900)	0-07-16	原子力発電所 行機構	1.605	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																				
非常用ディーゼル発電設備 (3)	機関付積込ポンプ (3) 出口圧力スイッチ (3K3-F0510)	0-07-16	原子力発電所 行機構	1.605	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																				
非常用ディーゼル発電設備 (3)	非 (3) 非常用ディーゼル発電機 燃料調整装置 (3K3-F250)	0-14-15	原子力発電所 行機構	0.900	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																				
非常用ディーゼル発電設備 (3)	非 (3) 非常用ディーゼル発電機 燃料調整装置 (3K3-F251)	0-14-15	原子力発電所 行機構	0.900	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																				
非常用ディーゼル発電設備 (3)	非 (3) 非常用ディーゼル発電機 燃料調整装置 (3K3-F252)	0-14-15	原子力発電所 行機構	0.900	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																				
非常用ディーゼル発電設備 (3)	非 (3) 非常用ディーゼル発電機 燃料調整装置 (3K3-F253)	0-14-15	原子力発電所 行機構	0.900	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																				
非常用ディーゼル発電設備 (3)	非 (3) 非常用ディーゼル発電機 燃料調整装置 (3K3-F254)	0-14-15	原子力発電所 行機構	0.900	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																				
非常用ディーゼル発電設備 (3)	非 (3) 非常用ディーゼル発電機 No.6 調整装置 (3K3-F255)	0-02-F-4	原子力発電所 行機構	0.900	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																				
非常用ディーゼル発電設備 (3)	非 (3) 非常用ディーゼル発電機 No.7 調整装置 (3K3-F256)	0-02-F-4	原子力発電所 行機構	0.900	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																				
非常用ディーゼル発電設備 (3)	非 (3) 非常用ディーゼル発電機 No.8 調整装置 (3K3-F257)	0-02-F-4	原子力発電所 行機構	0.900	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																				
非常用ディーゼル発電設備 (3)	非 (3) 非常用ディーゼル発電機 No.9 調整装置 (3K3-F258)	0-02-F-4	原子力発電所 行機構	0.900	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																				
非常用ディーゼル発電設備 (3)	非 (3) 非常用ディーゼル発電機 No.10 調整装置 (3K3-F259)	0-02-F-4	原子力発電所 行機構	0.900	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																				
非常用ディーゼル発電設備 (3)	排水加熱器 (3K4-0001)	0-07-16	原子力発電所 行機構	0.805	①②③④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																				
系統	設備	区画番号	設置時期	基本設定高さ <sup>※1)</sup> (m)	個別測定高さ <sup>※2)</sup> (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																																																																																		
換気空調	A-ディーゼル発電機室給気ファン (3VSF30A)	30G-F-N10	原子炉建屋	0.20	0.19	個別	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																		
換気空調	B-ディーゼル発電機室給気ファン (3VSF30B)	30G-F-N10	原子炉建屋	0.20	0.19	個別	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																		
換気空調	C-ディーゼル発電機室給気ファン (3VSF30C)	30G-F-N8	原子炉建屋	0.20	0.19	個別	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																		
換気空調	D-ディーゼル発電機室給気ファン (3VSF30D)	30G-F-N8	原子炉建屋	0.20	0.19	個別	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																		
換気空調	A-ディーゼル発電機室外気取入風量調節ダンパ (3HKD-2741)	30G-F-N10	原子炉建屋	5.07	4.11	個別	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																		
換気空調	B-ディーゼル発電機室外気取入風量調節ダンパ (3HKD-2742)	30G-F-N8	原子炉建屋	5.07	4.11	個別	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																		
換気空調	A-ディーゼル発電機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HK-2741)	30G-F-N10	原子炉建屋	1.44	1.44	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																		
換気空調	B-ディーゼル発電機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HK-2742)	30G-F-N8	原子炉建屋	1.44	1.44	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																		
換気空調	A-ディーゼル発電機室室内空気温度 (1) (3TS-2747)	30G-H-N2	ディーゼル発電機建屋	1.67	5.80	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																		
換気空調	A-ディーゼル発電機室室内空気温度 (2) (3TS-2748)	30G-H-N2	ディーゼル発電機建屋	1.67	5.79	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																		
換気空調	A-ディーゼル発電機室室内空気温度 (3) (3TS-2751)	30G-H-N2	ディーゼル発電機建屋	1.17	5.21	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																		
換気空調	A-ディーゼル発電機室室内空気温度 (4) (3TS-2752)	30G-H-N2	ディーゼル発電機建屋	1.17	5.21	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																		
換気空調	B-ディーゼル発電機室室内空気温度 (1) (3TS-2749)	30G-H-N1	ディーゼル発電機建屋	1.67	5.16	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																								
	<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (26/27)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>設備番号</th> <th>設置棟屋</th> <th>E.L<sup>(1)</sup>(m)</th> <th>機能<sup>(2)</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>潤滑油加熱器 (344-4003)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 1階</td><td>0.940</td><td>③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>高圧中心スプレイドディーゼル発電機 (344-0001)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 1階</td><td>1.245</td><td>③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>高圧中心スプレイドディーゼル発電機 (344-0002)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 1階</td><td>0.965</td><td>③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>高圧中心スプレイドディーゼル発電機 (344-0003)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 1階</td><td>0.905</td><td>③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>潤滑油冷却ポンプ (344-4100)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 1階</td><td>0.940</td><td>③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>潤滑油冷却ポンプ (344-4101)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 1階</td><td>0.370</td><td>③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>燃料移送ポンプ (344-0200)</td><td>107-2</td><td>燃料107F</td><td>0.445</td><td>③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>オイルパン 燃料スロッチ (344-43300)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 1階</td><td>0.910</td><td>③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>潤滑油補助ポンプ 潤滑スロッチ (344-43310)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 1階</td><td>0.145</td><td>③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>燃料スロッチ 潤滑 (344-43320)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 1階</td><td>0.145</td><td>③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>潤滑油速度モニター スロッチ (344-96200)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 1階</td><td>0.927</td><td>③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>燃料ポンプ停止位置モニター スロッチ (344-96201)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 1階</td><td>0.910</td><td>③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>潤滑油ポンプ出口圧力モニター (344-9502-1)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 1階</td><td>2.455</td><td>③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>潤滑油ポンプ出口圧力モニター (344-9502-2)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 1階</td><td>2.455</td><td>③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>潤滑油圧力モニター (344-95114-1)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 1階</td><td>1.485</td><td>③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>潤滑油圧力モニター (344-95114-2)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 1階</td><td>1.485</td><td>③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>潤滑油圧力モニター (344-95341)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 1階</td><td>0.145</td><td>③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>3DCS圧力検出器 (344-90-F300)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 1階</td><td>0.745</td><td>③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>3DCS圧力検出器 (344-90-F311)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 1階</td><td>0.745</td><td>③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>3DCS圧力検出器 (344-90-F312)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 1階</td><td>0.230</td><td>③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>3DCS圧力検出器 (344-90-F313)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 1階</td><td>0.230</td><td>③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>潤滑油ポンプ出口圧力モニター (344-9502)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 1階</td><td>2.455</td><td>③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>潤滑油ポンプ出口圧力モニター (344-9510)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 1階</td><td>1.485</td><td>③④⑤⑥</td></tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">             ① 1：溢水により機能喪失する床面からの高さ（床上面より0.95mを基準）              ② 1：緊急停止機能              ③ 1：緊急停止機能              ④ 1：緊急停止機能              ⑤ 1：緊急停止機能              ⑥ 1：緊急停止機能              ⑦ 1：緊急停止機能              ⑧ 1：緊急停止機能              ⑨ 1：緊急停止機能              ⑩ 1：緊急停止機能              ⑪ 1：緊急停止機能              ⑫ 1：緊急停止機能              ⑬ 1：緊急停止機能              ⑭ 1：緊急停止機能              ⑮ 1：緊急停止機能              ⑯ 1：緊急停止機能              ⑰ 1：緊急停止機能              ⑱ 1：緊急停止機能              ⑲ 1：緊急停止機能              ⑳ 1：緊急停止機能              ㉑ 1：緊急停止機能              ㉒ 1：緊急停止機能              ㉓ 1：緊急停止機能              ㉔ 1：緊急停止機能              ㉕ 1：緊急停止機能              ㉖ 1：緊急停止機能              ㉗ 1：緊急停止機能              ㉘ 1：緊急停止機能              ㉙ 1：緊急停止機能              ㉚ 1：緊急停止機能              ㉛ 1：緊急停止機能              ㉜ 1：緊急停止機能              ㉝ 1：緊急停止機能              ㉞ 1：緊急停止機能              ㉟ 1：緊急停止機能              ㊱ 1：緊急停止機能              ㊲ 1：緊急停止機能              ㊳ 1：緊急停止機能              ㊴ 1：緊急停止機能              ㊵ 1：緊急停止機能              ㊶ 1：緊急停止機能              ㊷ 1：緊急停止機能              ㊸ 1：緊急停止機能              ㊹ 1：緊急停止機能              ㊺ 1：緊急停止機能              ㊻ 1：緊急停止機能              ㊼ 1：緊急停止機能              ㊽ 1：緊急停止機能              ㊾ 1：緊急停止機能              ㊿ 1：緊急停止機能              ㉑ 1：緊急停止機能              ㉒ 1：緊急停止機能              ㉓ 1：緊急停止機能              ㉔ 1：緊急停止機能              ㉕ 1：緊急停止機能              ㉖ 1：緊急停止機能              ㉗ 1：緊急停止機能              ㉘ 1：緊急停止機能              ㉙ 1：緊急停止機能              ㉚ 1：緊急停止機能              ㉛ 1：緊急停止機能              ㉜ 1：緊急停止機能              ㉝ 1：緊急停止機能              ㉞ 1：緊急停止機能              ㉟ 1：緊急停止機能              ㊱ 1：緊急停止機能              ㊲ 1：緊急停止機能              ㊳ 1：緊急停止機能              ㊴ 1：緊急停止機能              ㊵ 1：緊急停止機能              ㊶ 1：緊急停止機能              ㊷ 1：緊急停止機能              ㊸ 1：緊急停止機能              ㊹ 1：緊急停止機能              ㊺ 1：緊急停止機能              ㊻ 1：緊急停止機能              ㊼ 1：緊急停止機能              ㊽ 1：緊急停止機能              ㊾ 1：緊急停止機能              ㊿ 1：緊急停止機能         </p>	系統	設備	設備番号	設置棟屋	E.L <sup>(1)</sup> (m)	機能 <sup>(2)</sup>	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油加熱器 (344-4003)	0-07-13	原子炉建屋 1階	0.940	③④⑤⑥	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	高圧中心スプレイドディーゼル発電機 (344-0001)	0-07-13	原子炉建屋 1階	1.245	③④⑤⑥	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	高圧中心スプレイドディーゼル発電機 (344-0002)	0-07-13	原子炉建屋 1階	0.965	③④⑤⑥	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	高圧中心スプレイドディーゼル発電機 (344-0003)	0-07-13	原子炉建屋 1階	0.905	③④⑤⑥	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油冷却ポンプ (344-4100)	0-07-13	原子炉建屋 1階	0.940	③④⑤⑥	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油冷却ポンプ (344-4101)	0-07-13	原子炉建屋 1階	0.370	③④⑤⑥	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	燃料移送ポンプ (344-0200)	107-2	燃料107F	0.445	③④⑤⑥	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	オイルパン 燃料スロッチ (344-43300)	0-07-13	原子炉建屋 1階	0.910	③④⑤⑥	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油補助ポンプ 潤滑スロッチ (344-43310)	0-07-13	原子炉建屋 1階	0.145	③④⑤⑥	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	燃料スロッチ 潤滑 (344-43320)	0-07-13	原子炉建屋 1階	0.145	③④⑤⑥	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油速度モニター スロッチ (344-96200)	0-07-13	原子炉建屋 1階	0.927	③④⑤⑥	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	燃料ポンプ停止位置モニター スロッチ (344-96201)	0-07-13	原子炉建屋 1階	0.910	③④⑤⑥	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油ポンプ出口圧力モニター (344-9502-1)	0-07-13	原子炉建屋 1階	2.455	③④⑤⑥	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油ポンプ出口圧力モニター (344-9502-2)	0-07-13	原子炉建屋 1階	2.455	③④⑤⑥	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油圧力モニター (344-95114-1)	0-07-13	原子炉建屋 1階	1.485	③④⑤⑥	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油圧力モニター (344-95114-2)	0-07-13	原子炉建屋 1階	1.485	③④⑤⑥	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油圧力モニター (344-95341)	0-07-13	原子炉建屋 1階	0.145	③④⑤⑥	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	3DCS圧力検出器 (344-90-F300)	0-07-13	原子炉建屋 1階	0.745	③④⑤⑥	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	3DCS圧力検出器 (344-90-F311)	0-07-13	原子炉建屋 1階	0.745	③④⑤⑥	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	3DCS圧力検出器 (344-90-F312)	0-07-13	原子炉建屋 1階	0.230	③④⑤⑥	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	3DCS圧力検出器 (344-90-F313)	0-07-13	原子炉建屋 1階	0.230	③④⑤⑥	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油ポンプ出口圧力モニター (344-9502)	0-07-13	原子炉建屋 1階	2.455	③④⑤⑥	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油ポンプ出口圧力モニター (344-9510)	0-07-13	原子炉建屋 1階	1.485	③④⑤⑥	<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (26/35)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置棟屋</th> <th>基本設定高さ<sup>(1)</sup>(m)</th> <th>個別測定高さ<sup>(2)</sup>(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>換気空調系統</td><td>B-ディーゼル発電機室内空気温度 (2) (3TS-2750)</td><td>30G-H-N1</td><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>1.67</td><td>5.16</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>B-ディーゼル発電機室内空気温度 (3) (3TS-2753)</td><td>30G-H-N1</td><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>0.92</td><td>4.41</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>B-ディーゼル発電機室内空気温度 (4) (3TS-2754)</td><td>30G-H-N1</td><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>0.92</td><td>4.42</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>A-電動補助給水ポンプ室給気ファン (3VSP40A)</td><td>30B-H-N6</td><td>原子炉建屋</td><td>4.4</td><td>4.55</td><td>基本</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>B-電動補助給水ポンプ室給気ファン (3VSP40B)</td><td>30B-H-N7</td><td>原子炉建屋</td><td>4.4</td><td>4.54</td><td>基本</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ (3HCD-2670)</td><td>30B-H-N6</td><td>原子炉建屋</td><td>4.90</td><td>4.53</td><td>個別</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ (3HCD-2680)</td><td>30B-H-N7</td><td>原子炉建屋</td><td>4.90</td><td>4.54</td><td>個別</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2670)</td><td>30B-H-N6</td><td>原子炉建屋</td><td>5.44</td><td>5.44</td><td>基本</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2680)</td><td>30B-H-N7</td><td>原子炉建屋</td><td>5.44</td><td>5.45</td><td>基本</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>A-電動補助給水ポンプ室内空気温度 (1) (3TS-2671)</td><td>30B-H-N6</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>5.39</td><td>基本</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>A-電動補助給水ポンプ室内空気温度 (2) (3TS-2672)</td><td>30B-H-N6</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>5.40</td><td>基本</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>B-電動補助給水ポンプ室内空気温度 (1) (3TS-2681)</td><td>30B-H-N7</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>5.40</td><td>基本</td><td>③</td></tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ          ※2：設水により機能喪失する床面からの高さ</p> <p style="font-size: small;">             ①安全上特に重要な関連機能              ②事故時のプラント状態の把握機能              ③制御室外からの安全停止機能              ④ピット冷却機能              ⑤ピット給水機能         </p>	系統	設備	区画番号	設置棟屋	基本設定高さ <sup>(1)</sup> (m)	個別測定高さ <sup>(2)</sup> (m)	設定箇所	安全機能	換気空調系統	B-ディーゼル発電機室内空気温度 (2) (3TS-2750)	30G-H-N1	ディーゼル発電機建屋	1.67	5.16	基本	⑥	換気空調系統	B-ディーゼル発電機室内空気温度 (3) (3TS-2753)	30G-H-N1	ディーゼル発電機建屋	0.92	4.41	基本	⑥	換気空調系統	B-ディーゼル発電機室内空気温度 (4) (3TS-2754)	30G-H-N1	ディーゼル発電機建屋	0.92	4.42	基本	⑥	換気空調系統	A-電動補助給水ポンプ室給気ファン (3VSP40A)	30B-H-N6	原子炉建屋	4.4	4.55	基本	③	換気空調系統	B-電動補助給水ポンプ室給気ファン (3VSP40B)	30B-H-N7	原子炉建屋	4.4	4.54	基本	③	換気空調系統	A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ (3HCD-2670)	30B-H-N6	原子炉建屋	4.90	4.53	個別	③	換気空調系統	B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ (3HCD-2680)	30B-H-N7	原子炉建屋	4.90	4.54	個別	③	換気空調系統	A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2670)	30B-H-N6	原子炉建屋	5.44	5.44	基本	③	換気空調系統	B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2680)	30B-H-N7	原子炉建屋	5.44	5.45	基本	③	換気空調系統	A-電動補助給水ポンプ室内空気温度 (1) (3TS-2671)	30B-H-N6	原子炉建屋	1.42	5.39	基本	③	換気空調系統	A-電動補助給水ポンプ室内空気温度 (2) (3TS-2672)	30B-H-N6	原子炉建屋	1.42	5.40	基本	③	換気空調系統	B-電動補助給水ポンプ室内空気温度 (1) (3TS-2681)	30B-H-N7	原子炉建屋	1.42	5.40	基本	③	<p>【女川】</p> <p>記載方針の相違          設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである</p> <p>「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	設備番号	設置棟屋	E.L <sup>(1)</sup> (m)	機能 <sup>(2)</sup>																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油加熱器 (344-4003)	0-07-13	原子炉建屋 1階	0.940	③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	高圧中心スプレイドディーゼル発電機 (344-0001)	0-07-13	原子炉建屋 1階	1.245	③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	高圧中心スプレイドディーゼル発電機 (344-0002)	0-07-13	原子炉建屋 1階	0.965	③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	高圧中心スプレイドディーゼル発電機 (344-0003)	0-07-13	原子炉建屋 1階	0.905	③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油冷却ポンプ (344-4100)	0-07-13	原子炉建屋 1階	0.940	③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油冷却ポンプ (344-4101)	0-07-13	原子炉建屋 1階	0.370	③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	燃料移送ポンプ (344-0200)	107-2	燃料107F	0.445	③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	オイルパン 燃料スロッチ (344-43300)	0-07-13	原子炉建屋 1階	0.910	③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油補助ポンプ 潤滑スロッチ (344-43310)	0-07-13	原子炉建屋 1階	0.145	③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	燃料スロッチ 潤滑 (344-43320)	0-07-13	原子炉建屋 1階	0.145	③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油速度モニター スロッチ (344-96200)	0-07-13	原子炉建屋 1階	0.927	③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	燃料ポンプ停止位置モニター スロッチ (344-96201)	0-07-13	原子炉建屋 1階	0.910	③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油ポンプ出口圧力モニター (344-9502-1)	0-07-13	原子炉建屋 1階	2.455	③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油ポンプ出口圧力モニター (344-9502-2)	0-07-13	原子炉建屋 1階	2.455	③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油圧力モニター (344-95114-1)	0-07-13	原子炉建屋 1階	1.485	③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油圧力モニター (344-95114-2)	0-07-13	原子炉建屋 1階	1.485	③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油圧力モニター (344-95341)	0-07-13	原子炉建屋 1階	0.145	③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	3DCS圧力検出器 (344-90-F300)	0-07-13	原子炉建屋 1階	0.745	③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	3DCS圧力検出器 (344-90-F311)	0-07-13	原子炉建屋 1階	0.745	③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	3DCS圧力検出器 (344-90-F312)	0-07-13	原子炉建屋 1階	0.230	③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	3DCS圧力検出器 (344-90-F313)	0-07-13	原子炉建屋 1階	0.230	③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油ポンプ出口圧力モニター (344-9502)	0-07-13	原子炉建屋 1階	2.455	③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油ポンプ出口圧力モニター (344-9510)	0-07-13	原子炉建屋 1階	1.485	③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
系統	設備	区画番号	設置棟屋	基本設定高さ <sup>(1)</sup> (m)	個別測定高さ <sup>(2)</sup> (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系統	B-ディーゼル発電機室内空気温度 (2) (3TS-2750)	30G-H-N1	ディーゼル発電機建屋	1.67	5.16	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系統	B-ディーゼル発電機室内空気温度 (3) (3TS-2753)	30G-H-N1	ディーゼル発電機建屋	0.92	4.41	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系統	B-ディーゼル発電機室内空気温度 (4) (3TS-2754)	30G-H-N1	ディーゼル発電機建屋	0.92	4.42	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系統	A-電動補助給水ポンプ室給気ファン (3VSP40A)	30B-H-N6	原子炉建屋	4.4	4.55	基本	③																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系統	B-電動補助給水ポンプ室給気ファン (3VSP40B)	30B-H-N7	原子炉建屋	4.4	4.54	基本	③																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系統	A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ (3HCD-2670)	30B-H-N6	原子炉建屋	4.90	4.53	個別	③																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系統	B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ (3HCD-2680)	30B-H-N7	原子炉建屋	4.90	4.54	個別	③																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系統	A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2670)	30B-H-N6	原子炉建屋	5.44	5.44	基本	③																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系統	B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2680)	30B-H-N7	原子炉建屋	5.44	5.45	基本	③																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系統	A-電動補助給水ポンプ室内空気温度 (1) (3TS-2671)	30B-H-N6	原子炉建屋	1.42	5.39	基本	③																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系統	A-電動補助給水ポンプ室内空気温度 (2) (3TS-2672)	30B-H-N6	原子炉建屋	1.42	5.40	基本	③																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系統	B-電動補助給水ポンプ室内空気温度 (1) (3TS-2681)	30B-H-N7	原子炉建屋	1.42	5.40	基本	③																																																																																																																																																																																																																																																				



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																		
	<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (27/27)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置場所</th> <th>E.L<sup>2)</sup>(m)</th> <th>機能<sup>3)</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプラム入口監視系(1)40-47(3)</td><td>0-17-0</td><td>原子炉格納箱 原子炉棟</td><td>3.244</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプラム入り監視系(1)40-47(3)</td><td>0-17-0</td><td>原子炉格納箱 原子炉棟</td><td>3.050</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプラム入り監視系(1)40-47(3)</td><td>0-17-0</td><td>原子炉格納箱 原子炉棟</td><td>3.230</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプラム入り監視系(1)40-47(3)</td><td>0-17-0</td><td>原子炉格納箱 原子炉棟</td><td>3.494</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプラム入り監視系(1)40-47(4)</td><td>0-102-10</td><td>原子炉格納箱 原子炉棟</td><td>3.976</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプラム入り監視系(1)40-47(4)</td><td>0-102-10</td><td>原子炉格納箱 原子炉棟</td><td>3.976</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプラム入り監視系(1)40-47(4)</td><td>0-102-10</td><td>原子炉格納箱 原子炉棟</td><td>6.449</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプラム入り監視系(1)40-47(4)</td><td>0-102-10</td><td>原子炉格納箱 原子炉棟</td><td>3.973</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプラム入り監視系(1)40-47(4)</td><td>0-102-10</td><td>原子炉格納箱 原子炉棟</td><td>3.974</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプラム入り監視系(1)40-47(4)</td><td>0-102-10</td><td>原子炉格納箱 原子炉棟</td><td>6.449</td><td>⑤</td></tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">             注1：図面により機能喪失する床面からの高さ（床上面より0.95mを考慮）              注2：安全機能              ①緊急停止機能              ②未臨界燃料機能              ③減速停止機能              ④原子炉格納箱排水機能              ⑤冷却水機能              ⑥閉じ込め機能              ⑦緊急停止機能              ⑧原子炉格納箱排水機能              ⑨冷却水機能              ⑩緊急停止機能              ⑪未臨界燃料機能              ⑫減速停止機能              ⑬原子炉格納箱排水機能              ⑭冷却水機能              ⑮緊急停止機能              ⑯原子炉格納箱排水機能              ⑰冷却水機能         </p>	系統	設備	区画番号	設置場所	E.L <sup>2)</sup> (m)	機能 <sup>3)</sup>	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプラム入口監視系(1)40-47(3)	0-17-0	原子炉格納箱 原子炉棟	3.244	⑤	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプラム入り監視系(1)40-47(3)	0-17-0	原子炉格納箱 原子炉棟	3.050	⑤	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプラム入り監視系(1)40-47(3)	0-17-0	原子炉格納箱 原子炉棟	3.230	⑤	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプラム入り監視系(1)40-47(3)	0-17-0	原子炉格納箱 原子炉棟	3.494	⑤	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプラム入り監視系(1)40-47(4)	0-102-10	原子炉格納箱 原子炉棟	3.976	⑤	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプラム入り監視系(1)40-47(4)	0-102-10	原子炉格納箱 原子炉棟	3.976	⑤	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプラム入り監視系(1)40-47(4)	0-102-10	原子炉格納箱 原子炉棟	6.449	⑤	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプラム入り監視系(1)40-47(4)	0-102-10	原子炉格納箱 原子炉棟	3.973	⑤	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプラム入り監視系(1)40-47(4)	0-102-10	原子炉格納箱 原子炉棟	3.974	⑤	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプラム入り監視系(1)40-47(4)	0-102-10	原子炉格納箱 原子炉棟	6.449	⑤	<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (27/35)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置場所</th> <th>基本設定高さ<sup>※1)</sup>(m)</th> <th>個別測定高さ<sup>※2)</sup>(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>換気空調系統</td><td>B-電動補助給水ポンプ室内空気温度(2)(3TS-2082)</td><td>3B0-H-N7</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>5.41</td><td>基本</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>A-副射用空気圧縮機室給気ファン(5YSP42A)</td><td>3B0-H-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>4.50</td><td>4.64</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>B-副射用空気圧縮機室給気ファン(3VSP42B)</td><td>3B0-H-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>4.50</td><td>4.64</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>A-副射用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ(3HC-D-2701)</td><td>3B0-H-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>5.00</td><td>4.64</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>B-副射用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ(3HC-D-2711)</td><td>3B0-H-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>5.00</td><td>4.63</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>A-副射用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3HC-2701)</td><td>3B0-H-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>5.74</td><td>5.76</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>B-副射用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3HC-2711)</td><td>3B0-H-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>5.74</td><td>5.75</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>A-副射用空気圧縮機室内空気温度(1)(3TS-2702)</td><td>3B0-H-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>1.39</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>A-副射用空気圧縮機室内空気温度(2)(3TS-2703)</td><td>3B0-H-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>1.39</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>B-副射用空気圧縮機室内空気温度(1)(3TS-2712)</td><td>3B0-H-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>1.39</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>B-副射用空気圧縮機室内空気温度(2)(3TS-2713)</td><td>3B0-H-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>1.40</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>A-安全補機閉器室給気ファン(3VSP27A)</td><td>3AB-D-N1</td><td>原子炉補助建屋</td><td>0.15</td><td>2.16</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>B-安全補機閉器室給気ファン(3VSP27B)</td><td>3AB-D-N1</td><td>原子炉補助建屋</td><td>0.15</td><td>2.16</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">             注1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ              注2：図面により機能喪失する床面からの高さ              ①緊急停止機能              ②未臨界燃料機能              ③原子炉停止後の除熱機能              ④炉心冷却機能              ⑤放射性物質の閉じ込め機能              ⑥安全上特に重要な関連機能              ⑦事故時のプラント状態の把握機能              ⑧制御室外からの安全停止機能              ⑨ピット冷却機能              ⑩ピット給水機能         </p>	系統	設備	区画番号	設置場所	基本設定高さ <sup>※1)</sup> (m)	個別測定高さ <sup>※2)</sup> (m)	設定箇所	安全機能	換気空調系統	B-電動補助給水ポンプ室内空気温度(2)(3TS-2082)	3B0-H-N7	原子炉建屋	1.42	5.41	基本	③	換気空調系統	A-副射用空気圧縮機室給気ファン(5YSP42A)	3B0-H-N2	原子炉建屋	4.50	4.64	基本	⑥	換気空調系統	B-副射用空気圧縮機室給気ファン(3VSP42B)	3B0-H-N3	原子炉建屋	4.50	4.64	基本	⑥	換気空調系統	A-副射用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ(3HC-D-2701)	3B0-H-N2	原子炉建屋	5.00	4.64	個別	⑥	換気空調系統	B-副射用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ(3HC-D-2711)	3B0-H-N3	原子炉建屋	5.00	4.63	個別	⑥	換気空調系統	A-副射用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3HC-2701)	3B0-H-N2	原子炉建屋	5.74	5.76	基本	⑥	換気空調系統	B-副射用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3HC-2711)	3B0-H-N3	原子炉建屋	5.74	5.75	基本	⑥	換気空調系統	A-副射用空気圧縮機室内空気温度(1)(3TS-2702)	3B0-H-N2	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑥	換気空調系統	A-副射用空気圧縮機室内空気温度(2)(3TS-2703)	3B0-H-N2	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑥	換気空調系統	B-副射用空気圧縮機室内空気温度(1)(3TS-2712)	3B0-H-N3	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑥	換気空調系統	B-副射用空気圧縮機室内空気温度(2)(3TS-2713)	3B0-H-N3	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	⑥	換気空調系統	A-安全補機閉器室給気ファン(3VSP27A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	2.16	基本	⑥	換気空調系統	B-安全補機閉器室給気ファン(3VSP27B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	2.16	基本	⑥	<p>【女川】</p> <p>記載方針の相違          設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置場所	E.L <sup>2)</sup> (m)	機能 <sup>3)</sup>																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプラム入口監視系(1)40-47(3)	0-17-0	原子炉格納箱 原子炉棟	3.244	⑤																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプラム入り監視系(1)40-47(3)	0-17-0	原子炉格納箱 原子炉棟	3.050	⑤																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプラム入り監視系(1)40-47(3)	0-17-0	原子炉格納箱 原子炉棟	3.230	⑤																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプラム入り監視系(1)40-47(3)	0-17-0	原子炉格納箱 原子炉棟	3.494	⑤																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプラム入り監視系(1)40-47(4)	0-102-10	原子炉格納箱 原子炉棟	3.976	⑤																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプラム入り監視系(1)40-47(4)	0-102-10	原子炉格納箱 原子炉棟	3.976	⑤																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプラム入り監視系(1)40-47(4)	0-102-10	原子炉格納箱 原子炉棟	6.449	⑤																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプラム入り監視系(1)40-47(4)	0-102-10	原子炉格納箱 原子炉棟	3.973	⑤																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプラム入り監視系(1)40-47(4)	0-102-10	原子炉格納箱 原子炉棟	3.974	⑤																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプラム入り監視系(1)40-47(4)	0-102-10	原子炉格納箱 原子炉棟	6.449	⑤																																																																																																																																																																																
系統	設備	区画番号	設置場所	基本設定高さ <sup>※1)</sup> (m)	個別測定高さ <sup>※2)</sup> (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																														
換気空調系統	B-電動補助給水ポンプ室内空気温度(2)(3TS-2082)	3B0-H-N7	原子炉建屋	1.42	5.41	基本	③																																																																																																																																																																														
換気空調系統	A-副射用空気圧縮機室給気ファン(5YSP42A)	3B0-H-N2	原子炉建屋	4.50	4.64	基本	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系統	B-副射用空気圧縮機室給気ファン(3VSP42B)	3B0-H-N3	原子炉建屋	4.50	4.64	基本	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系統	A-副射用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ(3HC-D-2701)	3B0-H-N2	原子炉建屋	5.00	4.64	個別	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系統	B-副射用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ(3HC-D-2711)	3B0-H-N3	原子炉建屋	5.00	4.63	個別	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系統	A-副射用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3HC-2701)	3B0-H-N2	原子炉建屋	5.74	5.76	基本	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系統	B-副射用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3HC-2711)	3B0-H-N3	原子炉建屋	5.74	5.75	基本	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系統	A-副射用空気圧縮機室内空気温度(1)(3TS-2702)	3B0-H-N2	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系統	A-副射用空気圧縮機室内空気温度(2)(3TS-2703)	3B0-H-N2	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系統	B-副射用空気圧縮機室内空気温度(1)(3TS-2712)	3B0-H-N3	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系統	B-副射用空気圧縮機室内空気温度(2)(3TS-2713)	3B0-H-N3	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系統	A-安全補機閉器室給気ファン(3VSP27A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	2.16	基本	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系統	B-安全補機閉器室給気ファン(3VSP27B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	2.16	基本	⑥																																																																																																																																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																		
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (28/35)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ<sup>※1</sup>(m)</th> <th>個別測定高さ<sup>※2</sup>(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-安全系計装機室内空気温度 (3TS-2790)</td> <td>3AB-F-N13</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.30</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-安全系計装機室内空気温度 (3TS-2791)</td> <td>3AB-F-N2</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.30</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-蓄電池室排気ファン (3VSP31A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.52</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-蓄電池室排気ファン (3VSP31B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.51</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-中央制御室循環ファン (3VSP20A)</td> <td>3AB-D-N52</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.15</td> <td>0.17</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-中央制御室循環ファン (3VSP20B)</td> <td>3AB-D-N52</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.15</td> <td>0.18</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-中央制御室給気ファン (3VSP21A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.15</td> <td>1.12</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-中央制御室給気ファン (3VSP21B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.15</td> <td>1.13</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-中央制御室給気ファン出口ダンパ (3D-VS-603A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>3.79</td> <td>3.83</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-中央制御室給気ファン出口ダンパ (3D-VS-603B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>3.79</td> <td>3.83</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-中央制御室循環ファン入口ダンパ (3D-VS-604A)</td> <td>3AB-D-N52</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.80</td> <td>0.25</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-中央制御室循環ファン入口ダンパ (3D-VS-604B)</td> <td>3AB-D-N52</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.80</td> <td>0.26</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-中央制御室循環風量調節ダンパ (3BCD-2836)</td> <td>3AB-D-N52</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.80</td> <td>0.25</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ          ※2：設水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top;">                 ①緊急時停止機能                  ②未臨界維持機能                  ③原子炉停止後の除熱機能                  ④炉心冷却機能                  ⑤放射性物質の閉じ込め機能             </td> <td style="vertical-align: top;">                 ⑥安全上特に重要な関連機能                  ⑦事故時のプラント状態の把握機能                  ⑧制御室外からの安全停止機能                  ⑨ヒット冷却機能                  ⑩ヒット給水機能             </td> </tr> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ <sup>※1</sup> (m)	個別測定高さ <sup>※2</sup> (m)	設定箇所	安全機能	換気空調系統	A-安全系計装機室内空気温度 (3TS-2790)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	㊸	換気空調系統	B-安全系計装機室内空気温度 (3TS-2791)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	㊸	換気空調系統	A-蓄電池室排気ファン (3VSP31A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.92	1.52	個別	㊸	換気空調系統	B-蓄電池室排気ファン (3VSP31B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.92	1.51	個別	㊸	換気空調系統	A-中央制御室循環ファン (3VSP20A)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.15	0.17	基本	㊸	換気空調系統	B-中央制御室循環ファン (3VSP20B)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.15	0.18	基本	㊸	換気空調系統	A-中央制御室給気ファン (3VSP21A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	1.12	基本	㊸	換気空調系統	B-中央制御室給気ファン (3VSP21B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	1.13	基本	㊸	換気空調系統	A-中央制御室給気ファン出口ダンパ (3D-VS-603A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	3.79	3.83	基本	㊸	換気空調系統	B-中央制御室給気ファン出口ダンパ (3D-VS-603B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	3.79	3.83	基本	㊸	換気空調系統	A-中央制御室循環ファン入口ダンパ (3D-VS-604A)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	㊸	換気空調系統	B-中央制御室循環ファン入口ダンパ (3D-VS-604B)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.80	0.26	個別	㊸	換気空調系統	A-中央制御室循環風量調節ダンパ (3BCD-2836)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	㊸	①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ヒット冷却機能 ⑩ヒット給水機能	<p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6、7号炉と同様）</p> <p>・炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ヒット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ <sup>※1</sup> (m)	個別測定高さ <sup>※2</sup> (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																														
換気空調系統	A-安全系計装機室内空気温度 (3TS-2790)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	㊸																																																																																																														
換気空調系統	B-安全系計装機室内空気温度 (3TS-2791)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	㊸																																																																																																														
換気空調系統	A-蓄電池室排気ファン (3VSP31A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.92	1.52	個別	㊸																																																																																																														
換気空調系統	B-蓄電池室排気ファン (3VSP31B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.92	1.51	個別	㊸																																																																																																														
換気空調系統	A-中央制御室循環ファン (3VSP20A)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.15	0.17	基本	㊸																																																																																																														
換気空調系統	B-中央制御室循環ファン (3VSP20B)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.15	0.18	基本	㊸																																																																																																														
換気空調系統	A-中央制御室給気ファン (3VSP21A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	1.12	基本	㊸																																																																																																														
換気空調系統	B-中央制御室給気ファン (3VSP21B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	1.13	基本	㊸																																																																																																														
換気空調系統	A-中央制御室給気ファン出口ダンパ (3D-VS-603A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	3.79	3.83	基本	㊸																																																																																																														
換気空調系統	B-中央制御室給気ファン出口ダンパ (3D-VS-603B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	3.79	3.83	基本	㊸																																																																																																														
換気空調系統	A-中央制御室循環ファン入口ダンパ (3D-VS-604A)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	㊸																																																																																																														
換気空調系統	B-中央制御室循環ファン入口ダンパ (3D-VS-604B)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.80	0.26	個別	㊸																																																																																																														
換気空調系統	A-中央制御室循環風量調節ダンパ (3BCD-2836)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	㊸																																																																																																														
①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ヒット冷却機能 ⑩ヒット給水機能																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																										
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (29/35)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設 備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ<sup>※1</sup>(m)</th> <th>個別測定高さ<sup>※2</sup>(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-中央制御室循環風量調節ダンパ (3HKD-2837)</td> <td>3AB-D-N52</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.80</td> <td>0.25</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-中央制御室循環風量調節ダンパ流量設定器 (OHC 2836)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.14</td> <td>1.15</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-中央制御室循環風量調節ダンパ流量設定器 (OHC-2837)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.14</td> <td>1.15</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>中央制御室内空気温度 (2) (3TS-2846)</td> <td>3AB-F-N8</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.30</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>中央制御室内空気温度 (3) (3TS-2847)</td> <td>3AB-F-N8</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.30</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-中央制御室非常用循環ファン (3VSP22A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.15</td> <td>0.54</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-中央制御室非常用循環ファン (3VSP22B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.15</td> <td>0.54</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-中央制御室非常用循環ファン出口空気流量 (3FS-2867)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.35</td> <td>1.34</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-中央制御室非常用循環ファン出口空気流量 (3FS-2868)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.35</td> <td>1.34</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ (3D-VS-602A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.70</td> <td>0.36</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ (3D-VS-602B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.70</td> <td>0.38</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-中央制御室外気取入風量調節ダンパ (3HKD-2823)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>5.34</td> <td>5.31</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ          ※2：設本により機能喪失すると仮定した床面からの高さ</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top;">                 ①緊急時停止機能                  ②未稼働維持機能                  ③原子炉停止後の除熱機能                  ④炉心冷却機能                  ⑤放射性物質の閉じ込め機能             </td> <td style="vertical-align: top;">                 ⑥安全上特に重要な関連機能                  ⑦事故時のプラント状態の把握機能                  ⑧制御室外からの安全停止機能                  ⑨ピット冷却機能                  ⑩ピット給水機能             </td> </tr> </table>	系統	設 備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ <sup>※1</sup> (m)	個別測定高さ <sup>※2</sup> (m)	設定箇所	安全機能	換気空調系統	B-中央制御室循環風量調節ダンパ (3HKD-2837)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	㊸	換気空調系統	A-中央制御室循環風量調節ダンパ流量設定器 (OHC 2836)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	㊸	換気空調系統	B-中央制御室循環風量調節ダンパ流量設定器 (OHC-2837)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	㊸	換気空調系統	中央制御室内空気温度 (2) (3TS-2846)	3AB-F-N8	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	㊸	換気空調系統	中央制御室内空気温度 (3) (3TS-2847)	3AB-F-N8	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	㊸	換気空調系統	A-中央制御室非常用循環ファン (3VSP22A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	0.54	基本	㊸	換気空調系統	B-中央制御室非常用循環ファン (3VSP22B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	0.54	基本	㊸	換気空調系統	A-中央制御室非常用循環ファン出口空気流量 (3FS-2867)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.35	1.34	個別	㊸	換気空調系統	B-中央制御室非常用循環ファン出口空気流量 (3FS-2868)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.35	1.34	個別	㊸	換気空調系統	A-中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ (3D-VS-602A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.70	0.36	個別	㊸	換気空調系統	B-中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ (3D-VS-602B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.70	0.38	個別	㊸	換気空調系統	A-中央制御室外気取入風量調節ダンパ (3HKD-2823)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	5.34	5.31	個別	㊸	①緊急時停止機能 ②未稼働維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能	<p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・設では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである</p> <p>「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設 備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ <sup>※1</sup> (m)	個別測定高さ <sup>※2</sup> (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																						
換気空調系統	B-中央制御室循環風量調節ダンパ (3HKD-2837)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	㊸																																																																																																						
換気空調系統	A-中央制御室循環風量調節ダンパ流量設定器 (OHC 2836)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	㊸																																																																																																						
換気空調系統	B-中央制御室循環風量調節ダンパ流量設定器 (OHC-2837)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	㊸																																																																																																						
換気空調系統	中央制御室内空気温度 (2) (3TS-2846)	3AB-F-N8	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	㊸																																																																																																						
換気空調系統	中央制御室内空気温度 (3) (3TS-2847)	3AB-F-N8	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	㊸																																																																																																						
換気空調系統	A-中央制御室非常用循環ファン (3VSP22A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	0.54	基本	㊸																																																																																																						
換気空調系統	B-中央制御室非常用循環ファン (3VSP22B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	0.54	基本	㊸																																																																																																						
換気空調系統	A-中央制御室非常用循環ファン出口空気流量 (3FS-2867)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.35	1.34	個別	㊸																																																																																																						
換気空調系統	B-中央制御室非常用循環ファン出口空気流量 (3FS-2868)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.35	1.34	個別	㊸																																																																																																						
換気空調系統	A-中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ (3D-VS-602A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.70	0.36	個別	㊸																																																																																																						
換気空調系統	B-中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ (3D-VS-602B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.70	0.38	個別	㊸																																																																																																						
換気空調系統	A-中央制御室外気取入風量調節ダンパ (3HKD-2823)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	5.34	5.31	個別	㊸																																																																																																						
①緊急時停止機能 ②未稼働維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能																																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																		
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (30/35)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ<sup>※1</sup> (m)</th> <th>個別測定高さ<sup>※2</sup> (m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ (3HC-D-2824)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>5.34</td> <td>5.31</td> <td>個別</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-中央制御室外気取入風量調節ダンパ+流量設定器 (3HC-D-2823)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.64</td> <td>1.65</td> <td>基本</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ+流量設定器 (3HC-D-2824)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.64</td> <td>1.65</td> <td>基本</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ (3HC-D-2850)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>4.94</td> <td>4.62</td> <td>個別</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ (3HC-D-2851)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>4.94</td> <td>5.00</td> <td>基本</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ+流量設定器 (3HC-D-2850)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.14</td> <td>1.15</td> <td>基本</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ+流量設定器 (3HC-D-2851)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.14</td> <td>1.15</td> <td>基本</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>試料採取室排気隔離ダンパ (3D-VS-653)</td> <td>3AB-B-1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>4.15</td> <td>3.29</td> <td>個別</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>試料採取室排気風量制御ダンパ (3FC-D-2905)</td> <td>3AB-B-1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>4.15</td> <td>3.61</td> <td>個別</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-原子炉補機冷却水サーージタンク室電気ヒータ (3VSE3A)</td> <td>3BD-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.50</td> <td>2.49</td> <td>個別</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-原子炉補機冷却水サーージタンク室電気ヒータ (3VSE3B)</td> <td>3BD-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.50</td> <td>2.49</td> <td>個別</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>2.50</td> <td>2.53</td> <td>基本</td> <td>④</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ          ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table style="width: 100%; font-size: small;"> <tr> <td>①緊急時停止機能</td> <td>②未断層維持機能</td> <td>③原子炉停止後の除熱機能</td> <td>④炉心冷却機能</td> <td>⑤放射性物質の閉じ込め機能</td> </tr> <tr> <td>⑥女全上時に重要な関連機能</td> <td>⑦事故時のプラント状態の把握機能</td> <td>⑧制御室外からの安全停止機能</td> <td>⑨ピット冷却機能</td> <td>⑩ピット給水機能</td> </tr> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ <sup>※1</sup> (m)	個別測定高さ <sup>※2</sup> (m)	設定箇所	安全機能	換気空調系統	B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ (3HC-D-2824)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	5.34	5.31	個別	④	換気空調系統	A-中央制御室外気取入風量調節ダンパ+流量設定器 (3HC-D-2823)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.64	1.65	基本	④	換気空調系統	B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ+流量設定器 (3HC-D-2824)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.64	1.65	基本	④	換気空調系統	A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ (3HC-D-2850)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	4.94	4.62	個別	④	換気空調系統	B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ (3HC-D-2851)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	4.94	5.00	基本	④	換気空調系統	A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ+流量設定器 (3HC-D-2850)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	④	換気空調系統	B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ+流量設定器 (3HC-D-2851)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	④	換気空調系統	試料採取室排気隔離ダンパ (3D-VS-653)	3AB-B-1	原子炉補助建屋	4.15	3.29	個別	④	換気空調系統	試料採取室排気風量制御ダンパ (3FC-D-2905)	3AB-B-1	原子炉補助建屋	4.15	3.61	個別	④	換気空調系統	A-原子炉補機冷却水サーージタンク室電気ヒータ (3VSE3A)	3BD-A-N2	原子炉建屋	2.50	2.49	個別	④	換気空調系統	B-原子炉補機冷却水サーージタンク室電気ヒータ (3VSE3B)	3BD-A-N2	原子炉建屋	2.50	2.49	個別	④	換気空調系統	A-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.50	2.53	基本	④	①緊急時停止機能	②未断層維持機能	③原子炉停止後の除熱機能	④炉心冷却機能	⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑥女全上時に重要な関連機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能	⑧制御室外からの安全停止機能	⑨ピット冷却機能	⑩ピット給水機能	<p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6、7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ <sup>※1</sup> (m)	個別測定高さ <sup>※2</sup> (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																														
換気空調系統	B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ (3HC-D-2824)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	5.34	5.31	個別	④																																																																																																														
換気空調系統	A-中央制御室外気取入風量調節ダンパ+流量設定器 (3HC-D-2823)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.64	1.65	基本	④																																																																																																														
換気空調系統	B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ+流量設定器 (3HC-D-2824)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.64	1.65	基本	④																																																																																																														
換気空調系統	A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ (3HC-D-2850)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	4.94	4.62	個別	④																																																																																																														
換気空調系統	B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ (3HC-D-2851)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	4.94	5.00	基本	④																																																																																																														
換気空調系統	A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ+流量設定器 (3HC-D-2850)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	④																																																																																																														
換気空調系統	B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ+流量設定器 (3HC-D-2851)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	④																																																																																																														
換気空調系統	試料採取室排気隔離ダンパ (3D-VS-653)	3AB-B-1	原子炉補助建屋	4.15	3.29	個別	④																																																																																																														
換気空調系統	試料採取室排気風量制御ダンパ (3FC-D-2905)	3AB-B-1	原子炉補助建屋	4.15	3.61	個別	④																																																																																																														
換気空調系統	A-原子炉補機冷却水サーージタンク室電気ヒータ (3VSE3A)	3BD-A-N2	原子炉建屋	2.50	2.49	個別	④																																																																																																														
換気空調系統	B-原子炉補機冷却水サーージタンク室電気ヒータ (3VSE3B)	3BD-A-N2	原子炉建屋	2.50	2.49	個別	④																																																																																																														
換気空調系統	A-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.50	2.53	基本	④																																																																																																														
①緊急時停止機能	②未断層維持機能	③原子炉停止後の除熱機能	④炉心冷却機能	⑤放射性物質の閉じ込め機能																																																																																																																	
⑥女全上時に重要な関連機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能	⑧制御室外からの安全停止機能	⑨ピット冷却機能	⑩ピット給水機能																																																																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																										
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (31/35)</p> <table border="1" data-bbox="1281 256 1854 759"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ<sup>※1</sup> (m)</th> <th>個別測定高さ<sup>※2</sup> (m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-非管理区域空調機器室電気ヒータ (JNSE2B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>2.57</td> <td>2.58</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>C-非管理区域空調機器室電気ヒータ (JNSE2C)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>2.50</td> <td>2.51</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>D-非管理区域空調機器室電気ヒータ (JNSE2D)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>2.57</td> <td>2.58</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (JNSE1A)</td> <td>3B8-H-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.80</td> <td>2.80</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (JNSE1B)</td> <td>3B8-H-N3</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.80</td> <td>2.79</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-原子炉補機冷却水サージタンク実室内空気温度 (1) (3TS-2970)</td> <td>3B8-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-原子炉補機冷却水サージタンク実室内空気温度 (2) (3TS-2971)</td> <td>3B8-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-原子炉補機冷却水サージタンク実室内空気温度 (1) (3TS-2980)</td> <td>3B8-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.41</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-原子炉補機冷却水サージタンク実室内空気温度 (2) (3TS-2981)</td> <td>3B8-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.41</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ          ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table border="0" data-bbox="1281 794 1854 874"> <tr> <td>①緊急時停止機能</td> <td>⑥安全上特に重要な関連機能</td> </tr> <tr> <td>②未臨界維持機能</td> <td>⑦事故時のプラント状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>③原子炉停止後の除熱機能</td> <td>⑧制御室外からの安全停止機能</td> </tr> <tr> <td>④炉心冷却機能</td> <td>⑨ピット冷却機能</td> </tr> <tr> <td>⑤放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>⑩ピット給水機能</td> </tr> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ <sup>※1</sup> (m)	個別測定高さ <sup>※2</sup> (m)	設定箇所	安全機能	換気空調系統	B-非管理区域空調機器室電気ヒータ (JNSE2B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.57	2.58	基本	⑥	換気空調系統	C-非管理区域空調機器室電気ヒータ (JNSE2C)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.50	2.51	基本	⑥	換気空調系統	D-非管理区域空調機器室電気ヒータ (JNSE2D)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.57	2.58	基本	⑥	換気空調系統	A-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (JNSE1A)	3B8-H-N2	原子炉建屋	2.80	2.80	基本	⑥	換気空調系統	B-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (JNSE1B)	3B8-H-N3	原子炉建屋	2.80	2.79	個別	⑥	換気空調系統	A-原子炉補機冷却水サージタンク実室内空気温度 (1) (3TS-2970)	3B8-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.42	基本	⑥	換気空調系統	A-原子炉補機冷却水サージタンク実室内空気温度 (2) (3TS-2971)	3B8-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.42	基本	⑥	換気空調系統	B-原子炉補機冷却水サージタンク実室内空気温度 (1) (3TS-2980)	3B8-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.41	個別	⑥	換気空調系統	B-原子炉補機冷却水サージタンク実室内空気温度 (2) (3TS-2981)	3B8-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.41	個別	⑥	①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能	②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能	③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能	④炉心冷却機能	⑨ピット冷却機能	⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ピット給水機能	<p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6、7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ <sup>※1</sup> (m)	個別測定高さ <sup>※2</sup> (m)	設定箇所	安全機能																																																																																						
換気空調系統	B-非管理区域空調機器室電気ヒータ (JNSE2B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.57	2.58	基本	⑥																																																																																						
換気空調系統	C-非管理区域空調機器室電気ヒータ (JNSE2C)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.50	2.51	基本	⑥																																																																																						
換気空調系統	D-非管理区域空調機器室電気ヒータ (JNSE2D)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.57	2.58	基本	⑥																																																																																						
換気空調系統	A-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (JNSE1A)	3B8-H-N2	原子炉建屋	2.80	2.80	基本	⑥																																																																																						
換気空調系統	B-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (JNSE1B)	3B8-H-N3	原子炉建屋	2.80	2.79	個別	⑥																																																																																						
換気空調系統	A-原子炉補機冷却水サージタンク実室内空気温度 (1) (3TS-2970)	3B8-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.42	基本	⑥																																																																																						
換気空調系統	A-原子炉補機冷却水サージタンク実室内空気温度 (2) (3TS-2971)	3B8-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.42	基本	⑥																																																																																						
換気空調系統	B-原子炉補機冷却水サージタンク実室内空気温度 (1) (3TS-2980)	3B8-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.41	個別	⑥																																																																																						
換気空調系統	B-原子炉補機冷却水サージタンク実室内空気温度 (2) (3TS-2981)	3B8-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.41	個別	⑥																																																																																						
①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能																																																																																												
②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能																																																																																												
③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能																																																																																												
④炉心冷却機能	⑨ピット冷却機能																																																																																												
⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ピット給水機能																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																										
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (32/35)</p> <table border="1" data-bbox="1285 256 1854 970"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ<sup>※1</sup> (m)</th> <th>個別測定高さ<sup>※2</sup> (m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3A) 出口空気温度 (2) (3TS-2973)</td> <td>3RB-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.65</td> <td>2.58</td> <td>個別</td> <td>㊦</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3B) 出口空気温度 (2) (3TS-2983)</td> <td>3RB-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.65</td> <td>2.57</td> <td>個別</td> <td>㊦</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-非管理区域空調機器室室内空気温度 (1) (3TS-2930)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>㊦</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-非管理区域空調機器室室内空気温度 (2) (3TS-2931)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>㊦</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-非管理区域空調機器室室内空気温度 (1) (3TS-2934)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.41</td> <td>個別</td> <td>㊦</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-非管理区域空調機器室室内空気温度 (2) (3TS-2935)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>㊦</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>C-非管理区域空調機器室室内空気温度 (1) (3TS-2950)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>㊦</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>C-非管理区域空調機器室室内空気温度 (2) (3TS-2951)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>㊦</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>D-非管理区域空調機器室室内空気温度 (1) (3TS-2954)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>㊦</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>D-非管理区域空調機器室室内空気温度 (2) (3TS-2955)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.41</td> <td>個別</td> <td>㊦</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2A) 出口空気温度 (2) (3TS-2933)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>2.65</td> <td>2.53</td> <td>個別</td> <td>㊦</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ          ※2：設本により機能喪失する床面からの高さ</p> <table border="0" data-bbox="1285 901 1854 970"> <tr> <td>①緊急時停止機能</td> <td>⑥安全上特に重要な開油機能</td> </tr> <tr> <td>②未臨界維持機能</td> <td>⑦事故時のプラント状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>③原子炉停止後の除熱機能</td> <td>⑧制御室外からの安全停止機能</td> </tr> <tr> <td>④炉心冷却機能</td> <td>⑨ピット冷却機能</td> </tr> <tr> <td>⑤放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>⑩ピット貯水機能</td> </tr> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ <sup>※1</sup> (m)	個別測定高さ <sup>※2</sup> (m)	設定箇所	安全機能	換気空調系統	A-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3A) 出口空気温度 (2) (3TS-2973)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.65	2.58	個別	㊦	換気空調系統	B-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3B) 出口空気温度 (2) (3TS-2983)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.65	2.57	個別	㊦	換気空調系統	A-非管理区域空調機器室室内空気温度 (1) (3TS-2930)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	㊦	換気空調系統	A-非管理区域空調機器室室内空気温度 (2) (3TS-2931)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	㊦	換気空調系統	B-非管理区域空調機器室室内空気温度 (1) (3TS-2934)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.41	個別	㊦	換気空調系統	B-非管理区域空調機器室室内空気温度 (2) (3TS-2935)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	㊦	換気空調系統	C-非管理区域空調機器室室内空気温度 (1) (3TS-2950)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	㊦	換気空調系統	C-非管理区域空調機器室室内空気温度 (2) (3TS-2951)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	㊦	換気空調系統	D-非管理区域空調機器室室内空気温度 (1) (3TS-2954)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	㊦	換気空調系統	D-非管理区域空調機器室室内空気温度 (2) (3TS-2955)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.41	個別	㊦	換気空調系統	A-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2A) 出口空気温度 (2) (3TS-2933)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.65	2.53	個別	㊦	①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な開油機能	②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能	③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能	④炉心冷却機能	⑨ピット冷却機能	⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ピット貯水機能	<p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ <sup>※1</sup> (m)	個別測定高さ <sup>※2</sup> (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																						
換気空調系統	A-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3A) 出口空気温度 (2) (3TS-2973)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.65	2.58	個別	㊦																																																																																																						
換気空調系統	B-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3B) 出口空気温度 (2) (3TS-2983)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.65	2.57	個別	㊦																																																																																																						
換気空調系統	A-非管理区域空調機器室室内空気温度 (1) (3TS-2930)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	㊦																																																																																																						
換気空調系統	A-非管理区域空調機器室室内空気温度 (2) (3TS-2931)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	㊦																																																																																																						
換気空調系統	B-非管理区域空調機器室室内空気温度 (1) (3TS-2934)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.41	個別	㊦																																																																																																						
換気空調系統	B-非管理区域空調機器室室内空気温度 (2) (3TS-2935)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	㊦																																																																																																						
換気空調系統	C-非管理区域空調機器室室内空気温度 (1) (3TS-2950)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	㊦																																																																																																						
換気空調系統	C-非管理区域空調機器室室内空気温度 (2) (3TS-2951)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	㊦																																																																																																						
換気空調系統	D-非管理区域空調機器室室内空気温度 (1) (3TS-2954)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	㊦																																																																																																						
換気空調系統	D-非管理区域空調機器室室内空気温度 (2) (3TS-2955)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.41	個別	㊦																																																																																																						
換気空調系統	A-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2A) 出口空気温度 (2) (3TS-2933)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.65	2.53	個別	㊦																																																																																																						
①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な開油機能																																																																																																												
②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能																																																																																																												
③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能																																																																																																												
④炉心冷却機能	⑨ピット冷却機能																																																																																																												
⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ピット貯水機能																																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																		
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (33/35)</p> <table border="1" data-bbox="1288 252 1852 833"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置棟屋</th> <th>基本設定高さ<sup>①</sup>(m)</th> <th>個別測定高さ<sup>②</sup>(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2B) 出口空気温度 (2) (3TS-2937)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助棟屋</td> <td>2.72</td> <td>2.65</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>C-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2C) 出口空気温度 (2) (3TS-2953)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助棟屋</td> <td>2.65</td> <td>2.48</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>D-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2D) 出口空気温度 (2) (3TS-2957)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助棟屋</td> <td>2.72</td> <td>2.64</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-制御用空気圧縮機室室内空気温度 (5) (3TS-2914)</td> <td>3RD-E-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.40</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-制御用空気圧縮機室室内空気温度 (6) (3TS-2911)</td> <td>3RD-E-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.39</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-制御用空気圧縮機室室内空気温度 (5) (3TS-2926)</td> <td>3RD-E-N3</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.40</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-制御用空気圧縮機室室内空気温度 (6) (3TS-2921)</td> <td>3RD-E-N3</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.40</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1A) 出口空気温度 (2) (3TS-2913)</td> <td>3RD-E-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.89</td> <td>2.82</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1B) 出口空気温度 (2) (3TS-2923)</td> <td>3RD-E-N3</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.89</td> <td>2.82</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系統</td> <td>A-空調用冷水ポンプ (3CHP1A)</td> <td>3RD-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.43</td> <td>2.45</td> <td>基本</td> <td>⑤</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ          ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table border="0" data-bbox="1288 874 1852 954"> <tr> <td>①緊急時停止機能</td> <td>⑥安全上特に重要な関連機能</td> </tr> <tr> <td>②未臨界維持機能</td> <td>⑦事故時のプラント状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>③原子炉停止後の除熱機能</td> <td>⑧相評定外からの安全停止機能</td> </tr> <tr> <td>④炉心処理機能</td> <td>⑨ピット冷却機能</td> </tr> <tr> <td>⑤放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>⑩ピット給水機能</td> </tr> </table>	系統	設備	区画番号	設置棟屋	基本設定高さ <sup>①</sup> (m)	個別測定高さ <sup>②</sup> (m)	設定箇所	安全機能	換気空調系統	B-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2B) 出口空気温度 (2) (3TS-2937)	3AB-D-N1	原子炉補助棟屋	2.72	2.65	個別	⑤	換気空調系統	C-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2C) 出口空気温度 (2) (3TS-2953)	3AB-D-N1	原子炉補助棟屋	2.65	2.48	個別	⑤	換気空調系統	D-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2D) 出口空気温度 (2) (3TS-2957)	3AB-D-N1	原子炉補助棟屋	2.72	2.64	個別	⑤	換気空調系統	A-制御用空気圧縮機室室内空気温度 (5) (3TS-2914)	3RD-E-N2	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	⑤	換気空調系統	A-制御用空気圧縮機室室内空気温度 (6) (3TS-2911)	3RD-E-N2	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑤	換気空調系統	B-制御用空気圧縮機室室内空気温度 (5) (3TS-2926)	3RD-E-N3	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	⑤	換気空調系統	B-制御用空気圧縮機室室内空気温度 (6) (3TS-2921)	3RD-E-N3	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	⑤	換気空調系統	A-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1A) 出口空気温度 (2) (3TS-2913)	3RD-E-N2	原子炉建屋	2.89	2.82	個別	⑤	換気空調系統	B-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1B) 出口空気温度 (2) (3TS-2923)	3RD-E-N3	原子炉建屋	2.89	2.82	個別	⑤	空調用冷水系統	A-空調用冷水ポンプ (3CHP1A)	3RD-K-N4	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	⑤	①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能	②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能	③原子炉停止後の除熱機能	⑧相評定外からの安全停止機能	④炉心処理機能	⑨ピット冷却機能	⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ピット給水機能	<p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである</p> <p>「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置棟屋	基本設定高さ <sup>①</sup> (m)	個別測定高さ <sup>②</sup> (m)	設定箇所	安全機能																																																																																														
換気空調系統	B-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2B) 出口空気温度 (2) (3TS-2937)	3AB-D-N1	原子炉補助棟屋	2.72	2.65	個別	⑤																																																																																														
換気空調系統	C-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2C) 出口空気温度 (2) (3TS-2953)	3AB-D-N1	原子炉補助棟屋	2.65	2.48	個別	⑤																																																																																														
換気空調系統	D-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2D) 出口空気温度 (2) (3TS-2957)	3AB-D-N1	原子炉補助棟屋	2.72	2.64	個別	⑤																																																																																														
換気空調系統	A-制御用空気圧縮機室室内空気温度 (5) (3TS-2914)	3RD-E-N2	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	⑤																																																																																														
換気空調系統	A-制御用空気圧縮機室室内空気温度 (6) (3TS-2911)	3RD-E-N2	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑤																																																																																														
換気空調系統	B-制御用空気圧縮機室室内空気温度 (5) (3TS-2926)	3RD-E-N3	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	⑤																																																																																														
換気空調系統	B-制御用空気圧縮機室室内空気温度 (6) (3TS-2921)	3RD-E-N3	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	⑤																																																																																														
換気空調系統	A-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1A) 出口空気温度 (2) (3TS-2913)	3RD-E-N2	原子炉建屋	2.89	2.82	個別	⑤																																																																																														
換気空調系統	B-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1B) 出口空気温度 (2) (3TS-2923)	3RD-E-N3	原子炉建屋	2.89	2.82	個別	⑤																																																																																														
空調用冷水系統	A-空調用冷水ポンプ (3CHP1A)	3RD-K-N4	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	⑤																																																																																														
①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能																																																																																																				
②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能																																																																																																				
③原子炉停止後の除熱機能	⑧相評定外からの安全停止機能																																																																																																				
④炉心処理機能	⑨ピット冷却機能																																																																																																				
⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ピット給水機能																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (34/35)</p> <table border="1" data-bbox="1283 256 1865 981"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ<sup>※1</sup> (m)</th> <th>個別測定高さ<sup>※2</sup> (m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空調用冷水系統</td> <td>B-空調用冷水ポンプ (3CHP1B)</td> <td>3RB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.43</td> <td>2.45</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系統</td> <td>C-空調用冷水ポンプ (3CHP1C)</td> <td>3RB-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.43</td> <td>2.45</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系統</td> <td>D-空調用冷水ポンプ (3CHP1D)</td> <td>3RB-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.43</td> <td>2.45</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系統</td> <td>A-空調用冷凍機 (3CHE1A)</td> <td>3RB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.05</td> <td>2.27</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系統</td> <td>B-空調用冷凍機 (3CHE1B)</td> <td>3RB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.05</td> <td>2.27</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系統</td> <td>C-空調用冷凍機 (3CHE1C)</td> <td>3RB-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.05</td> <td>2.27</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系統</td> <td>D-空調用冷凍機 (3CHE1D)</td> <td>3RB-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.05</td> <td>2.27</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系統</td> <td>A-安全補機開閉器室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2774)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.20</td> <td>1.96</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系統</td> <td>B-安全補機開閉器室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2775)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.20</td> <td>1.97</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ          ※2：溢水により機能喪失する床面からの高さ</p> <p>①緊急時停止機能          ②未燃燃焼維持機能          ③原子炉停止後の除熱機能          ④炉心冷却機能          ⑤放射線物質の閉じ込め機能</p> <p>⑥安全上特に重要な関連機能          ⑦事故時のプラント状態の把握機能          ⑧制御室外からの安全停止機能          ⑨ピット冷却機能          ⑩ピット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ <sup>※1</sup> (m)	個別測定高さ <sup>※2</sup> (m)	設定箇所	安全機能	空調用冷水系統	B-空調用冷水ポンプ (3CHP1B)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	⑥	空調用冷水系統	C-空調用冷水ポンプ (3CHP1C)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	⑥	空調用冷水系統	D-空調用冷水ポンプ (3CHP1D)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	⑥	空調用冷水系統	A-空調用冷凍機 (3CHE1A)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	⑥	空調用冷水系統	B-空調用冷凍機 (3CHE1B)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	⑥	空調用冷水系統	C-空調用冷凍機 (3CHE1C)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	⑥	空調用冷水系統	D-空調用冷凍機 (3CHE1D)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	⑥	空調用冷水系統	A-安全補機開閉器室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2774)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.96	基本	⑥	空調用冷水系統	B-安全補機開閉器室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2775)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.97	基本	⑥	<p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである</p> <p>「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ <sup>※1</sup> (m)	個別測定高さ <sup>※2</sup> (m)	設定箇所	安全機能																																																																												
空調用冷水系統	B-空調用冷水ポンプ (3CHP1B)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	⑥																																																																												
空調用冷水系統	C-空調用冷水ポンプ (3CHP1C)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	⑥																																																																												
空調用冷水系統	D-空調用冷水ポンプ (3CHP1D)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	⑥																																																																												
空調用冷水系統	A-空調用冷凍機 (3CHE1A)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	⑥																																																																												
空調用冷水系統	B-空調用冷凍機 (3CHE1B)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	⑥																																																																												
空調用冷水系統	C-空調用冷凍機 (3CHE1C)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	⑥																																																																												
空調用冷水系統	D-空調用冷凍機 (3CHE1D)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	⑥																																																																												
空調用冷水系統	A-安全補機開閉器室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2774)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.96	基本	⑥																																																																												
空調用冷水系統	B-安全補機開閉器室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2775)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.97	基本	⑥																																																																												



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

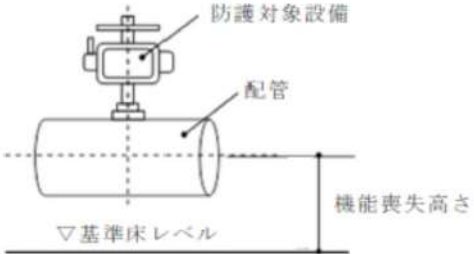
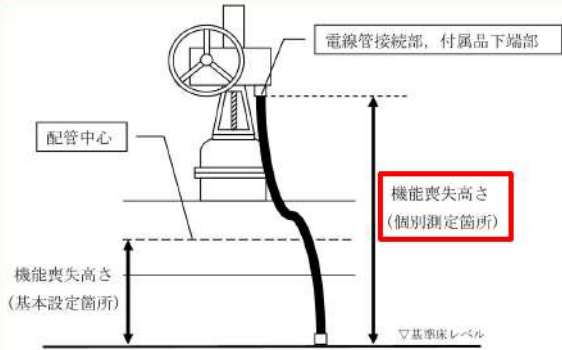
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																		
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (35/35)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ<sup>※1</sup> (m)</th> <th>個別測定高さ<sup>※2</sup> (m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空調用冷水系統</td> <td>A-中央制御室空調ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2827)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.20</td> <td>1.77</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系統</td> <td>B-中央制御室空調ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2828)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.20</td> <td>1.77</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系統</td> <td>空調用冷水A母管入口隔離弁 (3V-CH-012A)</td> <td>3BB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.55</td> <td>2.97</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系統</td> <td>空調用冷水B母管入口隔離弁 (3V-CH-012B)</td> <td>3BB-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.53</td> <td>2.97</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系統</td> <td>空調用冷水C母管入口隔離弁 (3V-CH-012C)</td> <td>3BB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.53</td> <td>2.86</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系統</td> <td>空調用冷水C母管出口隔離弁 (3V-CH-013)</td> <td>3BB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.65</td> <td>2.98</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>A-空調用冷凍機盤 (3VCPA)</td> <td>3BB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.25</td> <td>2.23</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>B-空調用冷凍機盤 (3VCPB)</td> <td>3BB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.25</td> <td>2.22</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>C-空調用冷凍機盤 (3VCPC)</td> <td>3BB-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.25</td> <td>2.23</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>D-空調用冷凍機盤 (3VCPD)</td> <td>3BB-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.25</td> <td>2.23</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ                  ※2：溢水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table style="width: 100%; font-size: small;"> <tr> <td>①緊急時停止機能</td> <td>⑦安全上特に重要な関連機能</td> </tr> <tr> <td>②本廠界維持機能</td> <td>⑧事故時のプラント状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>③原子炉停止後の除熱機能</td> <td>⑨制御室外からの安全停止機能</td> </tr> <tr> <td>④炉心冷却機能</td> <td>⑩ピット冷却機能</td> </tr> <tr> <td>⑤放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>⑪ピット給水機能</td> </tr> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ <sup>※1</sup> (m)	個別測定高さ <sup>※2</sup> (m)	設定箇所	安全機能	空調用冷水系統	A-中央制御室空調ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2827)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.77	基本	⑥	空調用冷水系統	B-中央制御室空調ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2828)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.77	基本	⑥	空調用冷水系統	空調用冷水A母管入口隔離弁 (3V-CH-012A)	3BB-K-N4	原子炉建屋	2.55	2.97	基本	⑥	空調用冷水系統	空調用冷水B母管入口隔離弁 (3V-CH-012B)	3BB-K-N1	原子炉建屋	2.53	2.97	基本	⑥	空調用冷水系統	空調用冷水C母管入口隔離弁 (3V-CH-012C)	3BB-K-N4	原子炉建屋	2.53	2.86	基本	⑥	空調用冷水系統	空調用冷水C母管出口隔離弁 (3V-CH-013)	3BB-K-N4	原子炉建屋	2.65	2.98	基本	⑥	関連設備	A-空調用冷凍機盤 (3VCPA)	3BB-K-N4	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	⑥	関連設備	B-空調用冷凍機盤 (3VCPB)	3BB-K-N4	原子炉建屋	2.25	2.22	個別	⑥	関連設備	C-空調用冷凍機盤 (3VCPC)	3BB-K-N1	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	⑥	関連設備	D-空調用冷凍機盤 (3VCPD)	3BB-K-N1	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	⑥	①緊急時停止機能	⑦安全上特に重要な関連機能	②本廠界維持機能	⑧事故時のプラント状態の把握機能	③原子炉停止後の除熱機能	⑨制御室外からの安全停止機能	④炉心冷却機能	⑩ピット冷却機能	⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑪ピット給水機能	<p>【女川】</p> <p>記載方針の相違                  設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ <sup>※1</sup> (m)	個別測定高さ <sup>※2</sup> (m)	設定箇所	安全機能																																																																																														
空調用冷水系統	A-中央制御室空調ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2827)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.77	基本	⑥																																																																																														
空調用冷水系統	B-中央制御室空調ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2828)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.77	基本	⑥																																																																																														
空調用冷水系統	空調用冷水A母管入口隔離弁 (3V-CH-012A)	3BB-K-N4	原子炉建屋	2.55	2.97	基本	⑥																																																																																														
空調用冷水系統	空調用冷水B母管入口隔離弁 (3V-CH-012B)	3BB-K-N1	原子炉建屋	2.53	2.97	基本	⑥																																																																																														
空調用冷水系統	空調用冷水C母管入口隔離弁 (3V-CH-012C)	3BB-K-N4	原子炉建屋	2.53	2.86	基本	⑥																																																																																														
空調用冷水系統	空調用冷水C母管出口隔離弁 (3V-CH-013)	3BB-K-N4	原子炉建屋	2.65	2.98	基本	⑥																																																																																														
関連設備	A-空調用冷凍機盤 (3VCPA)	3BB-K-N4	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	⑥																																																																																														
関連設備	B-空調用冷凍機盤 (3VCPB)	3BB-K-N4	原子炉建屋	2.25	2.22	個別	⑥																																																																																														
関連設備	C-空調用冷凍機盤 (3VCPC)	3BB-K-N1	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	⑥																																																																																														
関連設備	D-空調用冷凍機盤 (3VCPD)	3BB-K-N1	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	⑥																																																																																														
①緊急時停止機能	⑦安全上特に重要な関連機能																																																																																																				
②本廠界維持機能	⑧事故時のプラント状態の把握機能																																																																																																				
③原子炉停止後の除熱機能	⑨制御室外からの安全停止機能																																																																																																				
④炉心冷却機能	⑩ピット冷却機能																																																																																																				
⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑪ピット給水機能																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>添付資料 1.2-2</p> <p>3. 機能喪失高さ</p> <p>各機器における機能喪失高さの考え方を表1にまとめるとともに図2にポンプの例を示す。</p>	<p>添付資料 5</p> <p>機能喪失高さの考え方</p> <p>弁類、ポンプ類、ファン類、電気盤類、計器関係における機能喪失高さ設定の考え方を表1及び図1～図5にそれぞれ示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【島根2号炉】</b></p> <p>まとめ資料 p9条-別添1-添付1-1より抜粋</p> <p>1.1 機能喪失高さ</p> <p>機能喪失高さは「基本設定箇所」を基本とし、溢水水位に応じて機能喪失高さの実力値である「個別設定箇所」に見直す。</p> </div>	<p>添付資料 5</p> <p>機能喪失高さの考え方</p> <p>弁類、ポンプ類、ファン類、電気盤類、計器関係における機能喪失高さ設定の考え方を表1及び図1～図5にそれぞれ示す。</p> <p>機能喪失高さは「基本設定箇所」を基本とし、溢水水位に応じて機能喪失高さの実力値である「個別測定箇所」に見直す。</p>	<p><b>【女川】</b></p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>・上記の機能喪失高さの設定方針は、先行審査プラントである島根2号炉及び相崎6、7号炉で実績があり、女川2号炉においても、溢水水位に対して防護対象設備の機能喪失高さの裕度が小さい場合には、実際の機能喪失高さを実測することで実際には十分な裕度が確保されていることを確認している。</p> <p><b>【島根】</b></p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p>泊は資料間で「個別測定箇所」と記載統一している。</p> <p><b>【大阪】</b></p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>女川審査実績の反映</p>

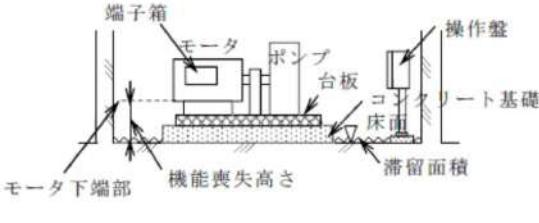
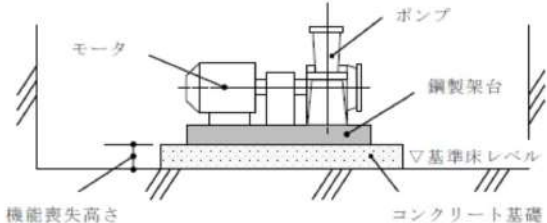
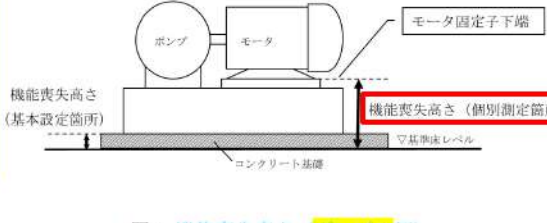

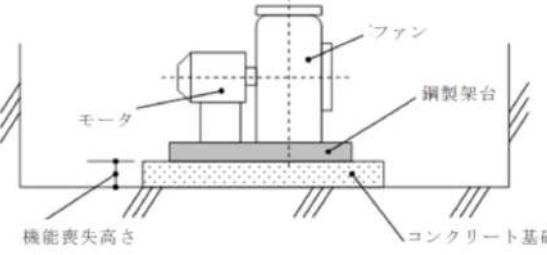
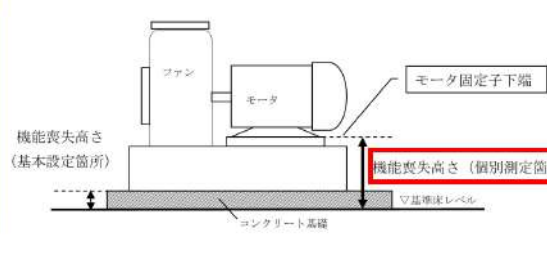
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料5）


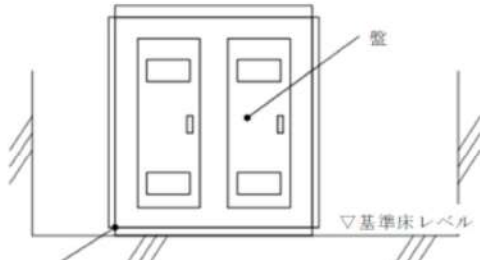
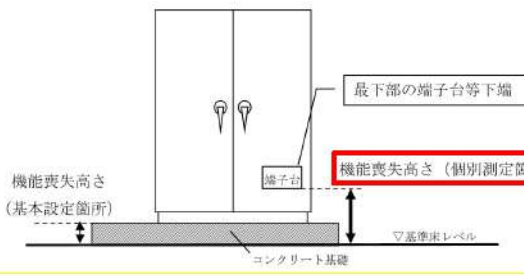

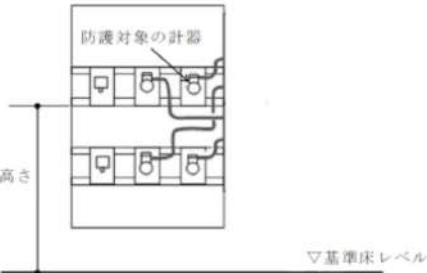
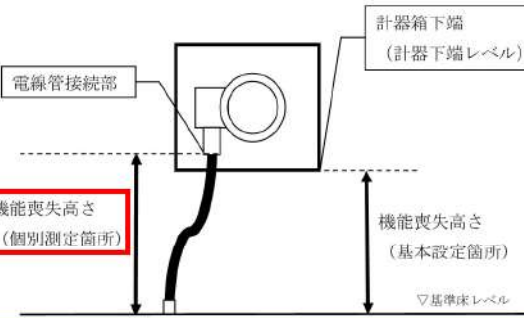
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																															
<p>表1 各設備の機能喪失高さの考え方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>機能喪失高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弁</td> <td>①電動弁：電動弁駆動装置下端部 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部</td> </tr> <tr> <td>ダンパ</td> <td>各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部</td> </tr> <tr> <td>ポンプ（操作盤含む）</td> <td>①ポンプ又はモータの低い方 ②ポンプは軸貫通部下端又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い方</td> </tr> <tr> <td>ファン</td> <td>モータは下端部又は端子箱下端の低い方</td> </tr> <tr> <td>盤</td> <td>盤内の最低高さの計器類の下端部</td> </tr> <tr> <td>計器</td> <td>計器本体下端又は伝送器下端の低い方</td> </tr> </tbody> </table>	機器	機能喪失高さ	弁	①電動弁：電動弁駆動装置下端部 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部	ダンパ	各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部	ポンプ（操作盤含む）	①ポンプ又はモータの低い方 ②ポンプは軸貫通部下端又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い方	ファン	モータは下端部又は端子箱下端の低い方	盤	盤内の最低高さの計器類の下端部	計器	計器本体下端又は伝送器下端の低い方	<p>表1 機能喪失高さ設定の考え方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>機能喪失高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弁類</td> <td>弁が設置される配管の中心レベル</td> </tr> <tr> <td>ポンプ類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> </tr> <tr> <td>ファン類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> </tr> <tr> <td>電気盤類</td> <td>対象機器の設置レベル</td> </tr> <tr> <td>計器関係</td> <td>計器下端レベル</td> </tr> </tbody> </table> <p>【島根2号炉】          まとめ資料 p9条-別添1-添付1-1より抜粋</p> <p>表1-1 溢水防護対象設備の機能喪失高さの考え方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備</th> <th colspan="2">機能喪失高さ</th> </tr> <tr> <th>基本設定箇所*</th> <th>個別設定箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポンプ/電動機</td> <td>・ポンプベース高さ</td> <td>・電動機下端部 ・電線管接続部下端部</td> </tr> <tr> <td>空気作動弁/電動弁</td> <td>・取付け配管中心高さ</td> <td>・制御ボックス下端部 ・電線管接続部下端部</td> </tr> <tr> <td>盤</td> <td>・盤ベース高さ</td> <td>・開口部下端部 ・計器下端部 ・電線管接続部下端部</td> </tr> <tr> <td>計器ラック</td> <td>・計器ドレン弁高さ</td> <td>・計器下端部 ・電線管接続部下端部 ・端子箱下端部</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 保守的に機能喪失すると仮定した部位</p>	機器	機能喪失高さ	弁類	弁が設置される配管の中心レベル	ポンプ類	コンクリート基礎の高さ	ファン類	コンクリート基礎の高さ	電気盤類	対象機器の設置レベル	計器関係	計器下端レベル	設備	機能喪失高さ		基本設定箇所*	個別設定箇所	ポンプ/電動機	・ポンプベース高さ	・電動機下端部 ・電線管接続部下端部	空気作動弁/電動弁	・取付け配管中心高さ	・制御ボックス下端部 ・電線管接続部下端部	盤	・盤ベース高さ	・開口部下端部 ・計器下端部 ・電線管接続部下端部	計器ラック	・計器ドレン弁高さ	・計器下端部 ・電線管接続部下端部 ・端子箱下端部	<p>表1 機能喪失高さ設定の考え方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機器</th> <th colspan="2">機能喪失高さ</th> </tr> <tr> <th>基本設定箇所*</th> <th>個別測定箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弁類</td> <td>弁が設置される配管の中心レベル</td> <td>①電動弁：電動弁駆動装置の電線管接続部下端 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ等）のうち、最低高さの付属品の下端部</td> </tr> <tr> <td>ポンプ類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> <td>ポンプあるいは電動機のいづれか低い箇所 ①ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ②電動機は下端部</td> </tr> <tr> <td>ファン類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> <td>電動機の下端部又は端子箱下端の低い方</td> </tr> <tr> <td>電気盤類（操作盤含む）</td> <td>対象機器の設置レベル</td> <td>盤内機器（端子台、リレー、変圧器、しゃ断器等）の最下部</td> </tr> <tr> <td>計器関係</td> <td>計器下端レベル（計器箱に収納されているものは箱の下端レベル）</td> <td>計器本体の電線管接続部下端又は伝送器下端の低い方</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 保守的に機能喪失すると仮定した部位</p>	機器	機能喪失高さ		基本設定箇所*	個別測定箇所	弁類	弁が設置される配管の中心レベル	①電動弁：電動弁駆動装置の電線管接続部下端 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ等）のうち、最低高さの付属品の下端部	ポンプ類	コンクリート基礎の高さ	ポンプあるいは電動機のいづれか低い箇所 ①ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ②電動機は下端部	ファン類	コンクリート基礎の高さ	電動機の下端部又は端子箱下端の低い方	電気盤類（操作盤含む）	対象機器の設置レベル	盤内機器（端子台、リレー、変圧器、しゃ断器等）の最下部	計器関係	計器下端レベル（計器箱に収納されているものは箱の下端レベル）	計器本体の電線管接続部下端又は伝送器下端の低い方	<p>【女川】          設計方針の相違          泊は基本設定箇所と個別測定箇所を適用している。          （島根2号炉と同様）</p> <p>【大飯】          記載方針の相違          女川審査実績の反映</p>
機器	機能喪失高さ																																																																	
弁	①電動弁：電動弁駆動装置下端部 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部																																																																	
ダンパ	各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部																																																																	
ポンプ（操作盤含む）	①ポンプ又はモータの低い方 ②ポンプは軸貫通部下端又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い方																																																																	
ファン	モータは下端部又は端子箱下端の低い方																																																																	
盤	盤内の最低高さの計器類の下端部																																																																	
計器	計器本体下端又は伝送器下端の低い方																																																																	
機器	機能喪失高さ																																																																	
弁類	弁が設置される配管の中心レベル																																																																	
ポンプ類	コンクリート基礎の高さ																																																																	
ファン類	コンクリート基礎の高さ																																																																	
電気盤類	対象機器の設置レベル																																																																	
計器関係	計器下端レベル																																																																	
設備	機能喪失高さ																																																																	
	基本設定箇所*	個別設定箇所																																																																
ポンプ/電動機	・ポンプベース高さ	・電動機下端部 ・電線管接続部下端部																																																																
空気作動弁/電動弁	・取付け配管中心高さ	・制御ボックス下端部 ・電線管接続部下端部																																																																
盤	・盤ベース高さ	・開口部下端部 ・計器下端部 ・電線管接続部下端部																																																																
計器ラック	・計器ドレン弁高さ	・計器下端部 ・電線管接続部下端部 ・端子箱下端部																																																																
機器	機能喪失高さ																																																																	
	基本設定箇所*	個別測定箇所																																																																
弁類	弁が設置される配管の中心レベル	①電動弁：電動弁駆動装置の電線管接続部下端 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ等）のうち、最低高さの付属品の下端部																																																																
ポンプ類	コンクリート基礎の高さ	ポンプあるいは電動機のいづれか低い箇所 ①ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ②電動機は下端部																																																																
ファン類	コンクリート基礎の高さ	電動機の下端部又は端子箱下端の低い方																																																																
電気盤類（操作盤含む）	対象機器の設置レベル	盤内機器（端子台、リレー、変圧器、しゃ断器等）の最下部																																																																
計器関係	計器下端レベル（計器箱に収納されているものは箱の下端レベル）	計器本体の電線管接続部下端又は伝送器下端の低い方																																																																
<p>【島根2号炉】          まとめ資料 p9条-別添1-添付1-2より抜粋</p>  <p>図1-2 機能喪失高さ（電動弁の例）</p> <p>※ 本資料のうち、緑色の内容は機能に関する事項のため公開できません。</p>	 <p>図1 機能喪失高さ（電動弁の例）</p>	<p>【女川】          設計方針の相違          泊は基本設定箇所と個別測定箇所を適用している。          （島根2号炉と同様）</p> <p>【女川】          記載方針の相違          泊は機能喪失高さの個別測定箇所として、防護対象設備の構成部位のうち最も低い位置にある部位を選定していることから、図中の個別測定箇所の部位は一例として示している。具体的な個別測定箇所の位置は表1に示している。          （島根2号炉と同様）</p>																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料5）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>端子箱 モータ ポンプ 台板 操作盤 コンクリート基礎 モータ下端部 機能喪失高さ 滞留面積</p> <p>図2 ポンプにおける機能喪失高さ</p>	 <p>モータ ポンプ 鋼製架台 ▽基準床レベル 機能喪失高さ コンクリート基礎</p> <p>図2 ポンプにおける機能喪失高さ</p>	 <p>ポンプ モータ モータ固定子下端 機能喪失高さ（基本設定箇所） 機能喪失高さ（個別測定箇所） ▽基準床レベル コンクリート基礎</p> <p>図2 機能喪失高さ（ポンプの例）</p>	<p>【女川】 設計方針の相違 泊は基本設定箇所と個別測定箇所を適用している。 (高根2号炉と同様)</p> <p>【女川・大飯】 記載方針の相違 泊は機能喪失高さの個別測定箇所として、防護対象設備の構成部位のうち最も低い位置にある部位を選定していることから、図中の個別測定箇所の部位は一例として示している。具体的な個別測定箇所の位置は表1に示している。 (島根2号炉と同様)</p>
<p>【島根2号炉】 まとめ資料 p9条-別添1-添付1-2より抜粋</p>  <p>図1-1 機能喪失高さ（ポンプの例）</p> <p>本資料のうち、詳細な内容は機密に係る事項のため公開できません。</p>			
	 <p>モータ ファン 鋼製架台 機能喪失高さ コンクリート基礎</p> <p>図3 ファンにおける機能喪失高さ</p>	 <p>ファン モータ モータ固定子下端 機能喪失高さ（基本設定箇所） 機能喪失高さ（個別測定箇所） ▽基準床レベル コンクリート基礎</p> <p>図3 機能喪失高さ（ファンの例）</p>	<p>【女川】 設計方針の相違 泊は基本設定箇所と個別測定箇所を適用している。 (高根2号炉と同様)</p> <p>【女川】 記載方針の相違 泊は機能喪失高さの個別測定箇所として、防護対象設備の構成部位のうち最も低い位置にある部位を選定していることから、図中の個別測定箇所の部位は一例として示している。具体的な個別測定箇所の位置は表1に示している。 (島根2号炉と同様)</p>

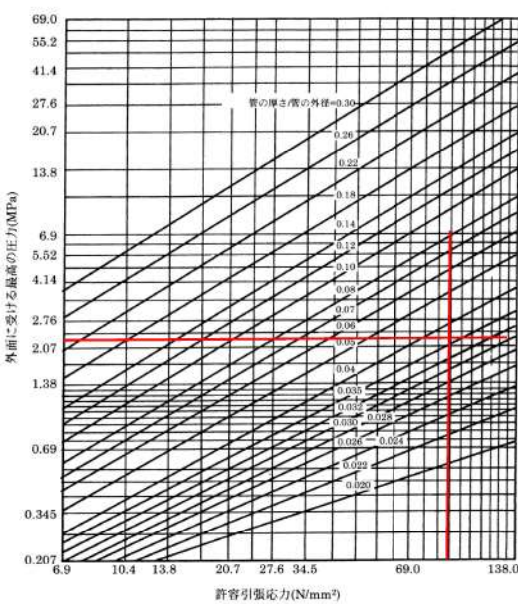
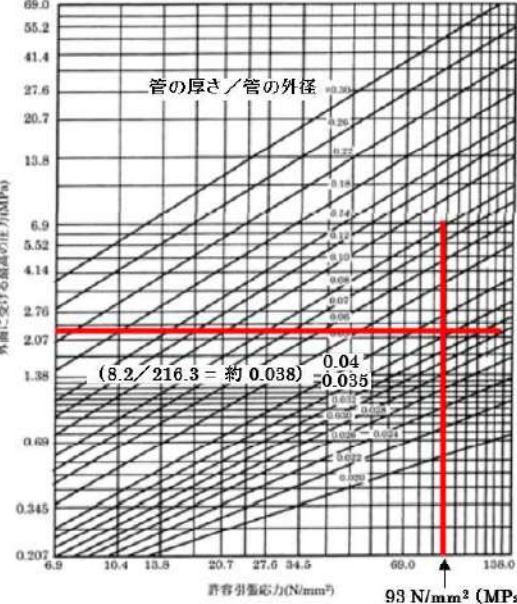
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【島根2号炉】                      まとめ資料 p9条-別添1-添付1-3より抜粋</p>  <p>図 1-3 機能喪失高さ（盤の例）</p> <p>本資料のうち、枠囲みの内容は機能に関する事項のため公開できません。</p>	 <p>図 4 電気盤における機能喪失高さ</p>	 <p>図 4 機能喪失高さ（盤の例）</p>	<p>【女川】                      設計方針の相違                      泊は基本設定箇所と個別測定箇所を適用している。                      （島根2号炉と同様）</p> <p>【女川】                      記載方針の相違                      泊は機能喪失高さの個別測定箇所として、防護対象設備の構成部位のうち最も低い位置にある部位を選定していることから、図中の個別測定箇所の部位は一例として示している。具体的な個別測定箇所の位置は表1に示している。                      （島根2号炉と同様）</p>
<p>【島根2号炉】                      まとめ資料 p9条-別添1-添付1-4より抜粋</p>  <p>図 1-5 機能喪失高さ（計器の例）</p> <p>本資料のうち、枠囲みの内容は機能に関する事項のため公開できません。</p>	 <p>図 5 計器における機能喪失高さ</p>	 <p>図 5 機能喪失高さ（計器の例）</p>	<p>【女川】                      設計方針の相違                      泊は基本設定箇所と個別測定箇所を適用している。                      （島根2号炉と同様）</p> <p>【女川】                      記載方針の相違                      泊は機能喪失高さの個別測定箇所として、防護対象設備の構成部位のうち最も低い位置にある部位を選定していることから、図中の個別測定箇所の部位は一例として示している。具体的な個別測定箇所の位置は表1に示している。                      （島根2号炉と同様）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: center;">添付資料6</p> <p style="text-align: center;">溢水影響評価の対象外とした設備について</p> <p>1. 溢水影響評価から対象外とした設備                      別添1-3の図3-1に示した選定フローにより溢水影響評価対象外とした設備について、系統、設備名及び対象外の理由をリストとしてまとめた。結果を表2に示す。                      また、図3-1の選定フローにおける①～④の対象外理由について以下に示す。</p> <p>(1) ①「溢水により機能を喪失しない」について                      容器、熱交換器、安全弁、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器は、外部からの電源供給等が不要であることから、溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失はしないため、溢水影響がないとし溢水影響評価対象外とした。</p> <p>a. 配管・弁                      例として、配管（材質 STPG370、口径 200A、公称肉厚 sch40（管の外径 216.3mm、管の厚さ 8.2mm）、許容引張応力 S=93MPa（常温））を設計・建設規格 PPD-3411（2）に基づき評価すると、2MPa以上の外圧に対して健全性が確保されるため、内部溢水影響評価上考慮する水頭に対しては十分な余裕がある（図1参照）。（図1参照）                      弁は配管に対して肉厚であるため、同様に内部溢水影響評価上考慮する水頭に対して十分余裕がある。                      また、弁の軸封部は、スタフィンボックス内に挿入したグランドパッキンを、押さえ金具で締め付ける構造であり、締め付けによって発生する面圧で、内部流体が外部に漏れ出ないようシールするものであるため、溢水によって弁グランドパッキンから内部への溢水の流入及びそれに伴う影響はない。</p>	<p style="text-align: center;">添付資料6</p> <p style="text-align: center;">溢水影響評価の対象外とした設備について</p> <p>1. 溢水影響評価から対象外とした設備                      別添1-3の図3-1に示した選定フローにより溢水影響評価対象外とした設備について、系統、設備名及び対象外の理由をリストとしてまとめた。結果を表2に示す。                      また、図3-1の選定フローにおける①～④の対象外理由について以下に示す。</p> <p>(1) ①「溢水により機能を喪失しない」について                      容器、熱交換器、安全弁、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器は、外部からの電源供給等が不要であることから、溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失はしないため、溢水影響がないとし溢水影響評価対象外とした。</p> <p>a. 配管・弁                      例として、配管（材質 STPG370、口径 200A、公称肉厚 sch40（管の外径 216.3mm、管の厚さ 8.2mm）、許容引張応力 S=93MPa（常温））を設計・建設規格 PPD-3411（2）に基づき評価すると、2MPa以上の外圧に対して健全性が確保されるため、内部溢水影響評価上考慮する水頭に対しては十分な余裕がある。（図1参照）                      弁は配管に対して肉厚であるため、同様に内部溢水影響評価上考慮する水頭に対して十分余裕がある。                      また、弁の軸封部は、スタフィンボックス内に挿入したグランドパッキンを、押さえ金具で締め付ける構造であり、締め付けによって発生する面圧で、内部流体が外部に漏れ出ないようシールするものであるため、溢水によって弁グランドパッキンから内部への溢水の流入及びそれに伴う影響はない。</p>	<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>(備考) 中間の値は、比例法によって計算する。</p> <p>図1 配管の外圧評価例（日本機械学会「発電用原子力設備規格設計建設規格」（JSME S NC1-2012）PPD-3411(2)より抜粋）</p> <p>b. 容器・熱交換器                      容器及び熱交換器について、機器ごとに個別に構造及び設置の状況、設置区画における溢水の状況に基づき、図面及び現場調査により溢水による機能喪失の可能性について評価を行い、除外する判断が妥当であることを確認した。結果を表1に示す。</p>	 <p>(備考) 中間の値は、比例法によって計算する。</p> <p>図1 配管の外圧評価例（日本機械学会「発電用原子力設備規格設計建設規格」（JSME S NC1-2012）PPD-3411(2)より抜粋）</p> <p>b. 容器・熱交換器                      容器及び熱交換器について、機器ごとに個別に構造及び設置の状況、設置区画における溢水の状況に基づき、図面及び現場調査により溢水による機能喪失の可能性について評価を行い、除外する判断が妥当であることを確認した。結果を表1に示す。</p>	<p>【大飯】                      記載方針の相違                      女川審査実績の反映</p> <p>【女川】                      記載方針の相違                      泊は、配管の材質から許容引張応力（93MPa）が決まり、管の厚さ/管の外径（8.2/216.3 = 約 0.038）の直線と許容引張応力（93MPa）が交わる点のy軸の値が健全性を確保できる最高外圧（2MPa以上）となることを読み取り易くするための情報を記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																				
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(1/6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>防護区画番号</th> <th>機器</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R-B1F-1</td> <td>CRD アキムレーター CRD 薬素容器</td> <td>○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td>R-1F-13, R-1F-16</td> <td>清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油サンプタンク 空気だめ</td> <td>○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td>R-B1F-7, R-B1F-11</td> <td>清水冷却器 潤滑油冷却器</td> <td>○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水の高さしない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。 ○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号	機器	評価	R-B1F-1	CRD アキムレーター CRD 薬素容器	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる他の要因が無いことを確認した。	R-1F-13, R-1F-16	清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油サンプタンク 空気だめ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる他の要因が無いことを確認した。	R-B1F-7, R-B1F-11	清水冷却器 潤滑油冷却器	○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水の高さしない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。 ○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる他の要因が無いことを確認した。	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価エリア番号</th> <th>機器</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>34E-F-23</td> <td>ほう殿注入タンク</td> <td>同一区画内に溢水液となりうる機器・配管はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-1</td> <td>よう殿除去薬品タンク</td> <td>タンク開放部であるベント管より溢水が流入しないことを確認した。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-4E</td> <td>原子炉補給冷却水サージタンク</td> <td>常時管理されていることか、溢水による機械的損傷を生じることはない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-4E</td> <td>空調用冷水膨張タンク</td> <td>溢水により機器に損傷を生ずるおそれはない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-4E</td> <td>A、B-原子炉補給冷却水冷却器</td> <td>コンクリートに埋め込まれているため、溢水により機器に損傷が生じない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-4E</td> <td>C、D-原子炉補給冷却水冷却器</td> <td>溢水により機器に損傷を生ずるおそれはない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-4E</td> <td>34E-F-24</td> <td>体積膨張タンク</td> <td>溢水により機器に損傷を生ずるおそれはない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-18</td> <td>ほう殿タンク</td> <td>溢水により機器に損傷を生ずるおそれはない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-1E</td> <td>貯水冷却器</td> <td>溢水により機器に損傷を生ずるおそれはない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-18</td> <td>B-余熱除去冷却器</td> <td>溢水により機器に損傷を生ずるおそれはない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-20</td> <td>A-余熱除去冷却器</td> <td>溢水により機器に損傷を生ずるおそれはない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-1E</td> <td>B-餘熱管線スプレイ冷却器</td> <td>溢水により機器に損傷を生ずるおそれはない。</td> </tr> </tbody> </table>	評価エリア番号	機器	評価	34E-F-23	ほう殿注入タンク	同一区画内に溢水液となりうる機器・配管はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。	34E-F-1	よう殿除去薬品タンク	タンク開放部であるベント管より溢水が流入しないことを確認した。	34E-F-4E	原子炉補給冷却水サージタンク	常時管理されていることか、溢水による機械的損傷を生じることはない。	34E-F-4E	空調用冷水膨張タンク	溢水により機器に損傷を生ずるおそれはない。	34E-F-4E	A、B-原子炉補給冷却水冷却器	コンクリートに埋め込まれているため、溢水により機器に損傷が生じない。	34E-F-4E	C、D-原子炉補給冷却水冷却器	溢水により機器に損傷を生ずるおそれはない。	34E-F-4E	34E-F-24	体積膨張タンク	溢水により機器に損傷を生ずるおそれはない。	34E-F-18	ほう殿タンク	溢水により機器に損傷を生ずるおそれはない。	34E-F-1E	貯水冷却器	溢水により機器に損傷を生ずるおそれはない。	34E-F-18	B-余熱除去冷却器	溢水により機器に損傷を生ずるおそれはない。	34E-F-20	A-余熱除去冷却器	溢水により機器に損傷を生ずるおそれはない。	34E-F-1E	B-餘熱管線スプレイ冷却器	溢水により機器に損傷を生ずるおそれはない。	<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 記載方針の相違 泊では評価結果を横軸とした呈取表形式で整理している。評価判定の考え方については女川と泊で相違は無い。 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>
防護区画番号	機器	評価																																																					
R-B1F-1	CRD アキムレーター CRD 薬素容器	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる他の要因が無いことを確認した。																																																					
R-1F-13, R-1F-16	清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油サンプタンク 空気だめ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる他の要因が無いことを確認した。																																																					
R-B1F-7, R-B1F-11	清水冷却器 潤滑油冷却器	○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水の高さしない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。 ○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる他の要因が無いことを確認した。																																																					
評価エリア番号	機器	評価																																																					
34E-F-23	ほう殿注入タンク	同一区画内に溢水液となりうる機器・配管はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。																																																					
34E-F-1	よう殿除去薬品タンク	タンク開放部であるベント管より溢水が流入しないことを確認した。																																																					
34E-F-4E	原子炉補給冷却水サージタンク	常時管理されていることか、溢水による機械的損傷を生じることはない。																																																					
34E-F-4E	空調用冷水膨張タンク	溢水により機器に損傷を生ずるおそれはない。																																																					
34E-F-4E	A、B-原子炉補給冷却水冷却器	コンクリートに埋め込まれているため、溢水により機器に損傷が生じない。																																																					
34E-F-4E	C、D-原子炉補給冷却水冷却器	溢水により機器に損傷を生ずるおそれはない。																																																					
34E-F-4E	34E-F-24	体積膨張タンク	溢水により機器に損傷を生ずるおそれはない。																																																				
34E-F-18	ほう殿タンク	溢水により機器に損傷を生ずるおそれはない。																																																					
34E-F-1E	貯水冷却器	溢水により機器に損傷を生ずるおそれはない。																																																					
34E-F-18	B-余熱除去冷却器	溢水により機器に損傷を生ずるおそれはない。																																																					
34E-F-20	A-余熱除去冷却器	溢水により機器に損傷を生ずるおそれはない。																																																					
34E-F-1E	B-餘熱管線スプレイ冷却器	溢水により機器に損傷を生ずるおそれはない。																																																					



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																														
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(2/6)</p> <table border="1" data-bbox="703 256 1265 1182"> <thead> <tr> <th data-bbox="703 1043 1265 1182">防護区画番号</th> <th data-bbox="703 772 1265 1038">機器</th> <th data-bbox="703 256 1265 767">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="703 1043 1265 1182">R-2F-17, R-2F-18, R-2F-19</td> <td data-bbox="703 772 1265 1038">燃料ダイタング</td> <td data-bbox="703 256 1265 767">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分のダイタング油面計の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="703 1043 1265 1182">-(軽油タンクピット内)</td> <td data-bbox="703 772 1265 1038">軽油タンク</td> <td data-bbox="703 256 1265 767">○ピット内には配水源となりうる機器・配管はなく、また、ピット上部はハッチにより溢水の浸入防止が図られているため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="703 1043 1265 1182">R-2F-2-2, R-2F-2-3</td> <td data-bbox="703 772 1265 1038">FGS 再結合物 FGS 存留器 FGS 気水分離器</td> <td data-bbox="703 256 1265 767">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の可燃性ガス濃度制御系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="703 1043 1265 1182">R-3F-1</td> <td data-bbox="703 772 1265 1038">スキマサージタンク</td> <td data-bbox="703 256 1265 767">○コンクリートへの埋込式タンクであるため溢水により機器の機能が喪失することはない。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="703 1043 1265 1182">R-1F-4</td> <td data-bbox="703 772 1265 1038">燃料プールの冷却浄化系熱交換器</td> <td data-bbox="703 256 1265 767">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号	機器	評価	R-2F-17, R-2F-18, R-2F-19	燃料ダイタング	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分のダイタング油面計の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	-(軽油タンクピット内)	軽油タンク	○ピット内には配水源となりうる機器・配管はなく、また、ピット上部はハッチにより溢水の浸入防止が図られているため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-2F-2-2, R-2F-2-3	FGS 再結合物 FGS 存留器 FGS 気水分離器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の可燃性ガス濃度制御系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-3F-1	スキマサージタンク	○コンクリートへの埋込式タンクであるため溢水により機器の機能が喪失することはない。	R-1F-4	燃料プールの冷却浄化系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(2/2)</p> <table border="1" data-bbox="1352 256 1787 1182"> <thead> <tr> <th data-bbox="1352 1043 1787 1182">評価</th> <th data-bbox="1352 852 1787 1038">同一区画内に溢水した場合の影響</th> <th data-bbox="1352 660 1787 847">タンク周囲部であるピットより面水が浸入しないことを確認した。</th> <th data-bbox="1352 469 1787 655">常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることがない。</th> <th data-bbox="1352 277 1787 464">コンクリートに埋込式であり、溢水により機械的損傷が生じることがない。</th> <th data-bbox="1352 86 1787 272">溢水により機能喪失するようなその他の要因がない。</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1352 1043 1787 1182">詳細エリア番号</td> <td data-bbox="1352 852 1787 1038">機器</td> <td data-bbox="1352 660 1787 847"></td> <td data-bbox="1352 469 1787 655"></td> <td data-bbox="1352 277 1787 464"></td> <td data-bbox="1352 86 1787 272"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 1043 1787 1182">30B-K-22</td> <td data-bbox="1352 852 1787 1038">A-格納容器スプレイ冷却器</td> <td data-bbox="1352 660 1787 847">○</td> <td data-bbox="1352 469 1787 655">○</td> <td data-bbox="1352 277 1787 464">-</td> <td data-bbox="1352 86 1787 272">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 1043 1787 1182">30B-H-6</td> <td data-bbox="1352 852 1787 1038">A、B-使用済燃料ピット冷却器</td> <td data-bbox="1352 660 1787 847">○</td> <td data-bbox="1352 469 1787 655">○</td> <td data-bbox="1352 277 1787 464">-</td> <td data-bbox="1352 86 1787 272">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 1043 1787 1182">30B-D-1</td> <td data-bbox="1352 852 1787 1038">燃料冷却器用冷却器</td> <td data-bbox="1352 660 1787 847">○</td> <td data-bbox="1352 469 1787 655">○</td> <td data-bbox="1352 277 1787 464">-</td> <td data-bbox="1352 86 1787 272">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 1043 1787 1182">30B-F-N7</td> <td data-bbox="1352 852 1787 1038">A、B-ディーゼル発電機</td> <td data-bbox="1352 660 1787 847">-</td> <td data-bbox="1352 469 1787 655">○</td> <td data-bbox="1352 277 1787 464">-</td> <td data-bbox="1352 86 1787 272">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 1043 1787 1182">30B-F-309</td> <td data-bbox="1352 852 1787 1038">燃料冷却器ピットタンク</td> <td data-bbox="1352 660 1787 847">○</td> <td data-bbox="1352 469 1787 655">○</td> <td data-bbox="1352 277 1787 464">-</td> <td data-bbox="1352 86 1787 272">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 1043 1787 1182">C/F 内</td> <td data-bbox="1352 852 1787 1038">西本熱交換器</td> <td data-bbox="1352 660 1787 847">○</td> <td data-bbox="1352 469 1787 655">○</td> <td data-bbox="1352 277 1787 464">-</td> <td data-bbox="1352 86 1787 272">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 1043 1787 1182">C/F 内</td> <td data-bbox="1352 852 1787 1038">蓄圧タンク</td> <td data-bbox="1352 660 1787 847">○</td> <td data-bbox="1352 469 1787 655">○</td> <td data-bbox="1352 277 1787 464">-</td> <td data-bbox="1352 86 1787 272">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 1043 1787 1182">別添</td> <td data-bbox="1352 852 1787 1038">B-ディーゼル発電機燃料油冷却器</td> <td data-bbox="1352 660 1787 847">-</td> <td data-bbox="1352 469 1787 655">-</td> <td data-bbox="1352 277 1787 464">○</td> <td data-bbox="1352 86 1787 272">○</td> </tr> </tbody> </table>	評価	同一区画内に溢水した場合の影響	タンク周囲部であるピットより面水が浸入しないことを確認した。	常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることがない。	コンクリートに埋込式であり、溢水により機械的損傷が生じることがない。	溢水により機能喪失するようなその他の要因がない。	詳細エリア番号	機器					30B-K-22	A-格納容器スプレイ冷却器	○	○	-	○	30B-H-6	A、B-使用済燃料ピット冷却器	○	○	-	○	30B-D-1	燃料冷却器用冷却器	○	○	-	○	30B-F-N7	A、B-ディーゼル発電機	-	○	-	○	30B-F-309	燃料冷却器ピットタンク	○	○	-	○	C/F 内	西本熱交換器	○	○	-	○	C/F 内	蓄圧タンク	○	○	-	○	別添	B-ディーゼル発電機燃料油冷却器	-	-	○	○	<p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>          女川審査実績の反映</p> <p>【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">記載方針の相違</a>          泊では評価結果を横軸とした呈取表形式で整理している。評価判定の考え方については女川と泊で相違は無い。  <a href="#">設計方針の相違</a>          プラント設計の違いによる相違</p>
防護区画番号	機器	評価																																																																															
R-2F-17, R-2F-18, R-2F-19	燃料ダイタング	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分のダイタング油面計の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。																																																																															
-(軽油タンクピット内)	軽油タンク	○ピット内には配水源となりうる機器・配管はなく、また、ピット上部はハッチにより溢水の浸入防止が図られているため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。																																																																															
R-2F-2-2, R-2F-2-3	FGS 再結合物 FGS 存留器 FGS 気水分離器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の可燃性ガス濃度制御系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。																																																																															
R-3F-1	スキマサージタンク	○コンクリートへの埋込式タンクであるため溢水により機器の機能が喪失することはない。																																																																															
R-1F-4	燃料プールの冷却浄化系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。																																																																															
評価	同一区画内に溢水した場合の影響	タンク周囲部であるピットより面水が浸入しないことを確認した。	常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることがない。	コンクリートに埋込式であり、溢水により機械的損傷が生じることがない。	溢水により機能喪失するようなその他の要因がない。																																																																												
詳細エリア番号	機器																																																																																
30B-K-22	A-格納容器スプレイ冷却器	○	○	-	○																																																																												
30B-H-6	A、B-使用済燃料ピット冷却器	○	○	-	○																																																																												
30B-D-1	燃料冷却器用冷却器	○	○	-	○																																																																												
30B-F-N7	A、B-ディーゼル発電機	-	○	-	○																																																																												
30B-F-309	燃料冷却器ピットタンク	○	○	-	○																																																																												
C/F 内	西本熱交換器	○	○	-	○																																																																												
C/F 内	蓄圧タンク	○	○	-	○																																																																												
別添	B-ディーゼル発電機燃料油冷却器	-	-	○	○																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由									
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(3/6)</p> <table border="1" data-bbox="705 263 1249 1340"> <thead> <tr> <th data-bbox="705 1181 974 1340">防護区画番号</th> <th data-bbox="705 853 974 1173">機器</th> <th data-bbox="705 263 974 845">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="981 1181 1249 1340">R-3F-1</td> <td data-bbox="981 853 1249 1173">換気空調補機非常用冷却水系 サージタンク</td> <td data-bbox="981 263 1249 845">○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低い ため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因 が無いことを確認した。 ○換気空調補機非常用冷却水系サージタンクは開放タンクであり り上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開 放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認し た。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸 水深が低いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="981 1181 1249 1340">R-1F-15</td> <td data-bbox="981 853 1249 1173">清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油補給タンク 発電機軸受潤滑油冷却器 空気だめ</td> <td data-bbox="981 263 1249 845">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内 に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も 低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損 傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因 が無いことを確認した。 ○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、 図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入 しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さ より、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。</td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号	機器	評価	R-3F-1	換気空調補機非常用冷却水系 サージタンク	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低い ため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因 が無いことを確認した。 ○換気空調補機非常用冷却水系サージタンクは開放タンクであり り上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開 放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認し た。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸 水深が低いことを確認した。	R-1F-15	清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油補給タンク 発電機軸受潤滑油冷却器 空気だめ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内 に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も 低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損 傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因 が無いことを確認した。 ○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、 図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入 しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さ より、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。		<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 記載方針の相違 泊では評価結果を横軸とした星取 表形式で整理している。評価判定 の考え方については女川と泊で相 違は無い。 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>
防護区画番号	機器	評価										
R-3F-1	換気空調補機非常用冷却水系 サージタンク	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低い ため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因 が無いことを確認した。 ○換気空調補機非常用冷却水系サージタンクは開放タンクであり り上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開 放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認し た。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸 水深が低いことを確認した。										
R-1F-15	清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油補給タンク 発電機軸受潤滑油冷却器 空気だめ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内 に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も 低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損 傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因 が無いことを確認した。 ○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、 図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入 しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さ より、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

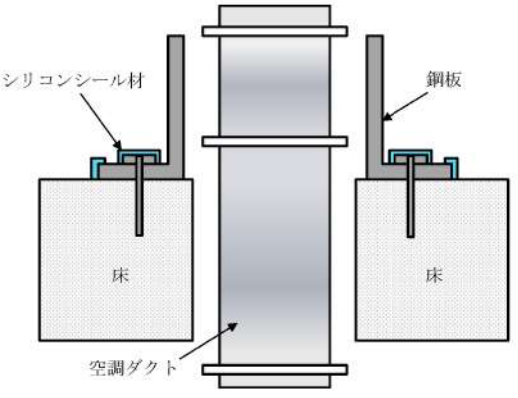
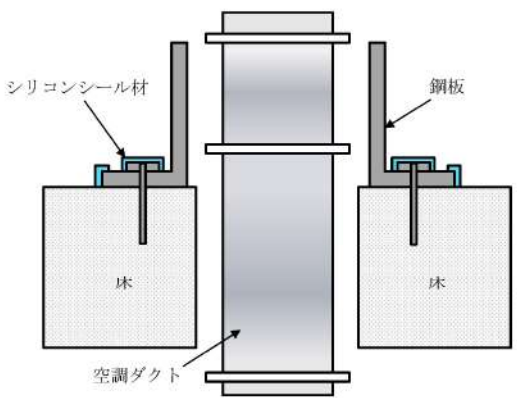
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(4/6)</p> <table border="1" data-bbox="703 268 1272 1359"> <thead> <tr> <th data-bbox="703 1197 981 1359">防護区画番号</th> <th data-bbox="703 869 981 1192">機器</th> <th data-bbox="703 268 981 865">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="981 1197 1137 1359">R-2F-3</td> <td data-bbox="981 869 1137 1192">高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンク</td> <td data-bbox="981 268 1137 865">○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低い。ため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1137 1197 1279 1359">R-B3F-13</td> <td data-bbox="1137 869 1279 1192">高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器</td> <td data-bbox="1137 268 1279 865">○高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1279 1197 1435 1359">R-M3F-3-1</td> <td data-bbox="1279 869 1435 1192">原子炉棟給気隔離弁用アキュムレータ</td> <td data-bbox="1279 268 1435 865">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の高圧炉心スプレイ補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号	機器	評価	R-2F-3	高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンク	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低い。ため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-B3F-13	高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器	○高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。	R-M3F-3-1	原子炉棟給気隔離弁用アキュムレータ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の高圧炉心スプレイ補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。		<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 記載方針の相違 泊では評価結果を横軸とした呈取表形式で整理している。評価判定の考え方については女川と泊で相違は無い。 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>
防護区画番号	機器	評価													
R-2F-3	高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンク	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低い。ため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。													
R-B3F-13	高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器	○高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。													
R-M3F-3-1	原子炉棟給気隔離弁用アキュムレータ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の高圧炉心スプレイ補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由									
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価結果(5/6)</p> <table border="1" data-bbox="703 256 1272 1382"> <thead> <tr> <th data-bbox="703 1214 898 1382">防護区画番号 -(PCV内)</th> <th data-bbox="703 874 898 1209">機器</th> <th data-bbox="703 256 898 869">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="904 1214 1010 1382">R-B1F-3-2</td> <td data-bbox="904 874 1010 1209">主蒸気逃し安全弁用アキユムレータ 主蒸気逃し安全弁アキユムレータ(ADS) 主蒸気第一隔離弁用アキユムレータ</td> <td data-bbox="904 256 1010 869">○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いかを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1016 1214 1039 1382">R-3F-1</td> <td data-bbox="1016 874 1039 1209">原子炉補機冷却水サージタンク</td> <td data-bbox="1016 256 1272 869">○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いかを確認した。 ○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いかを確認した。 ○原子炉補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進まない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。</td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号 -(PCV内)	機器	評価	R-B1F-3-2	主蒸気逃し安全弁用アキユムレータ 主蒸気逃し安全弁アキユムレータ(ADS) 主蒸気第一隔離弁用アキユムレータ	○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いかを確認した。	R-3F-1	原子炉補機冷却水サージタンク	○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いかを確認した。 ○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いかを確認した。 ○原子炉補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進まない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。		<p>【大飯】  <a href="#">記載方針の相違</a>  <a href="#">女川審査実績の反映</a></p> <p>【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">記載方針の相違</a>                      泊では評価結果を横軸とした星取表形式で整理している。評価判定の考え方については女川と泊で相違は無い。  <a href="#">設計方針の相違</a>  <a href="#">プラント設計の違いによる相違</a></p>
防護区画番号 -(PCV内)	機器	評価										
R-B1F-3-2	主蒸気逃し安全弁用アキユムレータ 主蒸気逃し安全弁アキユムレータ(ADS) 主蒸気第一隔離弁用アキユムレータ	○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いかを確認した。										
R-3F-1	原子炉補機冷却水サージタンク	○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いかを確認した。 ○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いかを確認した。 ○原子炉補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進まない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(6/6)</p> <table border="1" data-bbox="698 263 1270 1212"> <thead> <tr> <th data-bbox="698 1069 869 1212">防護区画番号</th> <th data-bbox="698 790 869 1069">機器</th> <th data-bbox="698 263 869 790">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="698 1069 869 1212">R-B3F-11, R-B3F-14</td> <td data-bbox="698 790 869 1069">原子炉補機冷却水系熱交換器</td> <td data-bbox="698 263 869 790">○当該機器の機能が求められる区画の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の原子炉補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="869 1069 1008 1212">R-1F-1, R-1F-11</td> <td data-bbox="869 790 1008 1069">残留熱除去系熱交換器</td> <td data-bbox="869 263 1008 790">○当該機器の機能が求められる区画の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の残留熱除去系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1008 1069 1270 1212">R-2F-3-1</td> <td data-bbox="1008 790 1270 1069">ほう酸水注入系貯蔵タンク ほう酸水注入系アキュムレーター</td> <td data-bbox="1008 263 1270 790">○当該機器の機能が求められる区画の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されているほう酸水注入系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○ほう酸水注入系貯蔵タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。</td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号	機器	評価	R-B3F-11, R-B3F-14	原子炉補機冷却水系熱交換器	○当該機器の機能が求められる区画の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の原子炉補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-1F-1, R-1F-11	残留熱除去系熱交換器	○当該機器の機能が求められる区画の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の残留熱除去系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-2F-3-1	ほう酸水注入系貯蔵タンク ほう酸水注入系アキュムレーター	○当該機器の機能が求められる区画の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されているほう酸水注入系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○ほう酸水注入系貯蔵タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。		<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 記載方針の相違 泊では評価結果を横軸とした星取表形式で整理している。評価判定の考え方については女川と泊で相違は無い。 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>
防護区画番号	機器	評価													
R-B3F-11, R-B3F-14	原子炉補機冷却水系熱交換器	○当該機器の機能が求められる区画の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の原子炉補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。													
R-1F-1, R-1F-11	残留熱除去系熱交換器	○当該機器の機能が求められる区画の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の残留熱除去系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。													
R-2F-3-1	ほう酸水注入系貯蔵タンク ほう酸水注入系アキュムレーター	○当該機器の機能が求められる区画の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されているほう酸水注入系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○ほう酸水注入系貯蔵タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。													

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>c. ダクト</p> <p>換気空調系のダクトは構造部材ではないことから、水圧に対して機械的損傷が否定できないダクトについては図2に例示するような対策を講ずることとする。</p> <p>なお、例示のように、床を貫通するダクトに対して堰等の防護対策を施す場合には、現場調査の結果に基づき溢水の滴下による堰内への水の流入の可能性を検討し、必要に応じて流入防止のための配慮を行う。</p>  <p>図2 ダクトに対する溢水対策</p>	<p>c. ダクト</p> <p>換気空調系のダクトは構造部材ではないことから、水圧に対して機械的損傷が否定できないダクトについては図2に例示するような対策を講ずることとする。</p> <p>なお、例示のように、床を貫通するダクトに対して堰等の防護対策を施す場合には、現場調査の結果に基づき溢水の滴下による堰内への水の流入の可能性を検討し、必要に応じて流入防止のための配慮を行う。</p>  <p>図2 ダクトに対する溢水対策</p>	<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(4-2 原子炉格納容器内防護対象設備の溢水影響について より抜粋)</p> <p>3. 原子炉格納容器内防護対象設備の溢水影響評価について                  耐環境性仕様である原子炉格納容器内防護対象設備については、LOCA時の原子炉格納容器内環境に対して機能維持が図れるよう、以下のことを確認している。確認結果の一覧は別表に示す。</p> <p>(1)被水影響                  LOCAに伴い原子炉格納容器内圧力が上昇すると、格納容器スプレイが動作し、スプレイ水により防護対象設備が被水する。原子炉格納容器内防護対象設備は、スプレイ水に対しても機能維持が図れることを、1. に述べた環境試験により確認している。</p> <p>(2)没水影響                  LOCAに伴う炉心注入及び格納容器スプレイにより、燃料取替用水ピット及び蓄圧タンクの保有水が原子炉格納容器内に注水される。LOCA時に機能要求のある防護対象設備は、1次冷却系の漏えい水の他、これらの保有水全量が原子炉格納容器内にたまった場合においても、没水しない高さに設置している。</p>	<p>(2)②「PCV内耐環境仕様の設備」について                  原子炉格納容器内設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、以下に示すように、設計基準事故において最も環境が過酷な原子炉冷却材喪失事故時の原子炉格納容器内の状態（温度・圧力条件及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様で設計（設計条件、圧力0.427MPa[gage]、温度：171℃、湿度：100%（蒸気））されているため、溢水影響評価において対象外としている。</p> <p>a. 被水による影響評価                  設計基準事故時にドライウエル内が蒸気で満たされた場合、格納容器スプレイの蒸気凝縮効果によって原子炉格納容器を効果的に減圧することができる。格納容器スプレイ水はドライウエル内に一様に噴霧されるため、事故時に動作が必要となる設備については格納容器スプレイ時（被水時）にもその動作が保障されなければならない。そのため原子炉格納容器内に設置されており、事故時に動作が必要となる設備は、設計基準事故時の雰囲気下で機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>b. 没水影響評価                  原子炉冷却材喪失事故時に原子炉格納容器内に発生する破断口からの溢水、及び格納容器スプレイ水は、原子炉格納容器内のドライウエル下部に溜まった後、ドライウエル下部にあるベント管を通り、サブプレッションチェンバへ流れ込む設計となっている。                  高圧炉心スプレイ系の初期水源は復水貯蔵タンクであるが、サブプレッションチェンバ水位高（O.P.-3800）又は復水貯蔵タンク水位低で、水源はサブプレッションチェンバに切り替わることから、原子炉冷却材喪失事故時にサブプレッションチェンバ水位高（O.P.-3800）よりも高水位まで原子炉格納容器が溢水することは無い。                  原子炉格納容器内の防護対象設備は上述したサブプレッションチェンバ水位高（O.P.-3800）以上の高さに設置されていることから、没水により機能喪失することはない。</p>	<p>(2)②「原子炉格納容器内耐環境仕様の設備」について                  原子炉格納容器内設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、以下に示すように、設計基準事故において最も環境が過酷な原子炉冷却材喪失事故時の原子炉格納容器内の状態（温度・圧力条件及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様で設計（設計条件、圧力0.283MPa [gage]、温度：132℃、湿度：100%（蒸気））されているため、溢水影響評価において対象外としている。</p> <p>a. 被水による影響評価                  設計基準事故時に原子炉格納容器内が蒸気で満たされた場合、格納容器スプレイの蒸気凝縮効果によって原子炉格納容器を効果的に減圧することができる。格納容器スプレイ水は原子炉格納容器内に一様に噴霧されるため、事故時に動作が必要となる設備については格納容器スプレイ時（被水時）にもその動作が保障されなければならない。そのため原子炉格納容器内に設置されており、事故時に動作が必要となる設備は、設計基準事故時の雰囲気下で機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>b. 没水影響評価                  原子炉冷却材喪失事故時に原子炉格納容器内に発生する破断口からの溢水、及び格納容器スプレイ水は、原子炉格納容器最下階まで流下した後、原子炉格納容器再循環サンプへ流れ込む設計となっている。                  原子炉冷却材喪失事故に伴う炉心注入及び原子炉格納容器スプレイにより、燃料取替用水ピット及び蓄圧タンクの保有水が原子炉格納容器内に注水され、燃料取替用水ピット水位低となり、原子炉格納容器再循環に切り替わる。                  原子炉冷却材喪失事故による漏えい水も含めた水の全量が格納容器内に溜まった場合の水位はT.P. 15.1mであり、原子炉格納容器内の防護対象設備はT.P. 15.1mより高い位置に設置されていることから、没水により機能喪失することはない。</p>	<p>【女川】                  設備名称の相違</p> <p>【大飯】                  記載方針の相違                  女川審査実績の反映</p> <p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違により、原子炉格納容器内の温度・圧力条件が異なる。</p> <p>【女川】                  設備名称の相違</p> <p>【大飯】                  記載表現の相違                  記載方針の相違                  女川審査実績の反映</p> <p>【女川】                  記載表現の相違                  設計方針の相違</p> <p>PWRとBWRの原子炉格納容器の設計の相違により、原子炉格納容器内で発生する溢水水位の算出過程は異なるが、原子炉格納容器内の防護対象設備が溢水水位以上の高さに設置されており、没水によって機能喪失しない評価としていることに相違はない。</p> <p>【大飯】                  記載方針の相違                  女川審査実績の反映                  原子炉格納容器内の防護対象設備を没水しない高さに設置しているのは泊と大飯と同じ。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3)蒸気影響</p> <p>LOCAに伴い原子炉格納容器内には蒸気が充満する。原子炉格納容器内防護対象設備は、蒸気環境下においても機能維持が図れることを、1. に述べた環境試験により確認している。</p> <p>【伊方3号炉】まとめ資料 添付資料1                  9条-別添1-添1-28より抜粋</p> <p>3. 蒸気影響評価</p> <p>LOCAに伴ってフラッシュ蒸発した1次冷却材の蒸気により、C/V内は全域が高温・高圧の蒸気雰囲気となる。</p> <p>C/V内防護対象設備は、安全解析で求められた高温・高圧環境に対して機能維持が図れるよう、設計および試験を実施している。</p>  <p>図-2 LOCA時のC/V内温度、圧力変化（環境条件）</p>	<p>c. 蒸気影響評価</p> <p>原子炉冷却材喪失事故に伴ってフラッシュ蒸発した原子炉冷却材の蒸気により、原子炉格納容器内は全域が高温・高圧の蒸気雰囲気となる。</p> <p>原子炉冷却材喪失事故時に機能要求がある原子炉格納容器内防護対象設備は、安全解析で求められた高温・高圧環境に対して機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>被水及び蒸気影響を確認した確認試験は、原子炉格納容器内の再循環配管破断及び主蒸気配管破断時の環境（図3、図4参照）を包絡した条件で行っている。図5に試験条件の代表例を示す。</p>  <p>図3 原子炉格納容器圧力変化（再循環配管破断）</p>  <p>図4 原子炉格納容器温度変化（主蒸気配管破断）</p> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p>	<p>c. 蒸気影響評価</p> <p>原子炉冷却材喪失事故に伴ってフラッシュ蒸発した原子炉冷却材の蒸気により、原子炉格納容器内は全域が高温・高圧の蒸気雰囲気となる。</p> <p>原子炉冷却材喪失事故時に機能要求がある原子炉格納容器内防護対象設備は、安全解析で求められた高温・高圧環境に対して機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>被水及び蒸気影響を確認した確認試験は、原子炉格納容器内の原子炉冷却材喪失事故時の環境条件（図3参照）で行っている。図4に試験条件の代表例を示す。</p>  <p>図3 原子炉格納容器圧力変化（原子炉冷却材喪失事故時）</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>PWRとBWRの原子炉格納容器の設計の相違により、泊は原子炉格納容器内環境条件が最も厳しくなるLOCA時の環境条件として試験を行っている。</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>PWRとBWRの原子炉格納容器の設計の相違により、泊は原子炉格納容器内環境条件が最も厳しくなるLOCA時の環境条件として試験を行っている。（伊方と同様）</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【伊方】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

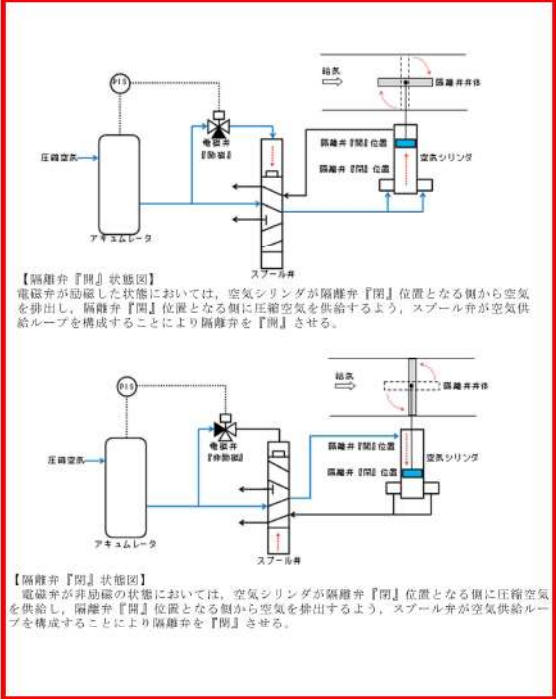
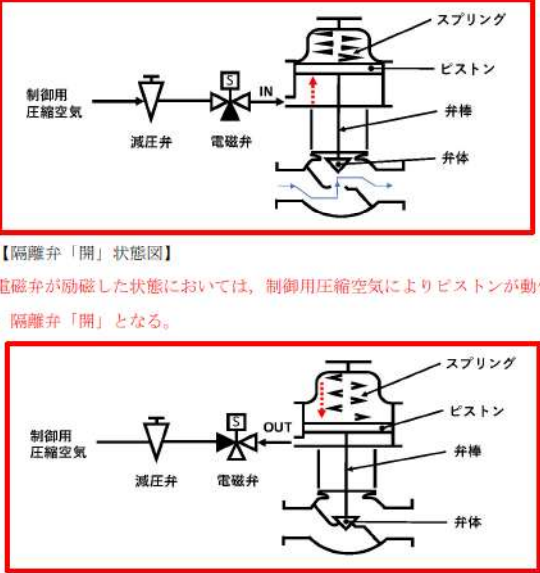
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由															
<p>4-3 原子炉格納容器内機器の耐環境性試験におけるスプレイ条件について</p> <p>1. 耐環境性試験の試験条件の考え方</p> <p>原則として、米国の民間規格 IEEE-323 を参考に、実機条件及び試験装置条件を考慮して設定する。</p> <p>なお、格納容器スプレイによる被水については、機器のシール性能が確認できれば機能への影響はないものと判断している。</p> <p>表1 実機条件と試験条件の比較</p> <table border="1" data-bbox="129 486 678 639"> <thead> <tr> <th></th> <th>試験条件 (伝送器の例)</th> <th>実機条件 (大阪3号炉、及び4号炉)</th> <th>実機条件 (高浜3号炉、及び4号炉)</th> <th>IEEE-323</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スプレイ 流量</td> <td>63.7 [L/min/m<sup>2</sup>]</td> <td>13.8 [L/min/m<sup>2</sup>]</td> <td>12.5 [L/min/m<sup>2</sup>]</td> <td>6.1 [L/min/m<sup>2</sup>]</td> </tr> <tr> <td>スプレイ 時間</td> <td>24[h]</td> <td>24[h]以上</td> <td>24[h]以上</td> <td>24[h]</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. スプレイ条件の保守性に関する考察</p> <p>格納容器スプレイは下図のとおり、LOCA後の環境温度、圧力が高い条件で24時間実施している。</p> <p>この条件でシール性能に問題のないことを確認できれば、温度、圧力が低下した24時間以降のシール性能についても問題はないと考えられ、IEEE-323にしたがったスプレイ条件は試験条件として妥当と判断している。</p> <p>図1 耐環境性試験プロファイル</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		試験条件 (伝送器の例)	実機条件 (大阪3号炉、及び4号炉)	実機条件 (高浜3号炉、及び4号炉)	IEEE-323	スプレイ 流量	63.7 [L/min/m <sup>2</sup> ]	13.8 [L/min/m <sup>2</sup> ]	12.5 [L/min/m <sup>2</sup> ]	6.1 [L/min/m <sup>2</sup> ]	スプレイ 時間	24[h]	24[h]以上	24[h]以上	24[h]	<p>原子炉格納容器内環境適合性の確認例</p> <p>図5 耐環境性試験品の試験条件（代表例）</p> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p>	<p>原子炉格納容器内環境適合性の確認例</p> <p>図4 耐環境性試験品の試験条件（代表例）</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p> <p>記載表現の相違</p>
	試験条件 (伝送器の例)	実機条件 (大阪3号炉、及び4号炉)	実機条件 (高浜3号炉、及び4号炉)	IEEE-323														
スプレイ 流量	63.7 [L/min/m <sup>2</sup> ]	13.8 [L/min/m <sup>2</sup> ]	12.5 [L/min/m <sup>2</sup> ]	6.1 [L/min/m <sup>2</sup> ]														
スプレイ 時間	24[h]	24[h]以上	24[h]以上	24[h]														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(3) ③「動作機能の喪失により安全機能に影響しない」について</p> <p>フェイル・セーフ機能により溢水影響評価対象外とした設備は空気作動のもの(A0)と電磁石によるもの(S0)に分類される。次項以降でそれぞれその構造を示す。</p> <p>なお、これらの溢水影響評価対象外とした設備については、フェイル動作後には動作要求がないことを確認した。</p> <p><b>a. 電磁弁(S0)への影響</b></p> <p>代表例として移動式炉心内校正装置パージ隔離弁の動作概要を図6に示す。当該隔離弁を開動作させる場合は電磁石を励磁させる。これにより弁閉状態を維持するばね力に打ち勝って鉄心が電磁石に吸着し、弁開となり、またその状態を保持する。溢水によって当該隔離弁の動作機能が喪失した（電磁石が非励磁になった）場合、ばね力により鉄心は電磁石から離れて弁閉になり、また閉状態が維持される。当該弁に要求される安全機能は閉じ込め機能であることから、溢水により当該弁の動作機能が喪失した場合においても安全機能に影響はない。</p> <div data-bbox="728 941 1232 1197"> </div> <p><b>弁“開”状態図</b>              電磁石が励磁すると、鉄心が電磁石に吸着し、弁体が押し下げられて、弁体はシート部より離れる。このときばねは伸ばされ、常に弁「閉」側にばね力が加わった状態となる。</p> <p><b>弁“閉”状態図</b>              電磁石が非励磁となると、鉄心は電磁石から解放され、ばねが縮みばね力にて弁体がシート部に密着する。</p> <p>図6 移動式炉心内校正装置パージ隔離弁の動作概要図</p>	<p>(3) ③「動作機能の喪失により安全機能に影響しない」について</p> <p>フェイル・セーフ機能により溢水影響評価対象外とした空気作動弁(AOV)について、次項以降でその構造を示す。</p> <p>なお、これらの溢水影響評価対象外とした設備については、フェイル動作後には動作要求がないことを確認した。</p>	<p><b>【大飯】</b>              記載方針の相違              女川審査実績の反映  <b>【女川】</b>              記載表現の相違              設計方針の相違              泊では溢水評価対象外とした電磁弁は無い。</p> <p><b>【女川】</b>              設計方針の相違              泊では溢水評価対象外とした電磁弁は無い。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>b. 空気作動弁（AO）への影響</p> <p>代表例として原子炉棟給気隔離弁の動作概要を図7に示す。当該隔離弁を開動作させる場合は、電磁弁を励磁させ、圧縮空気によりスプール弁を動作させる。これにより圧縮空気供給ループの構成が変化して隔離弁開となり、また開状態が保持される。溢水によって当該弁の動作機能が喪失した（電磁弁が非励磁となった）場合、スプール弁は通常位置に復帰する。これにより圧縮空気供給ループが変化し、隔離弁閉となり、また閉状態が維持される。当該弁に要求される安全機能は閉じ込め機能であることから、溢水により当該弁の動作機能が喪失した場合においても安全機能に影響はない。</p>  <p>【隔離弁『開』状態図】          電磁弁が励磁した状態においては、空気シリンダが隔離弁『開』位置となる側から空気を排出し、隔離弁『開』位置となる側から圧縮空気を供給するよう、スプール弁が空気供給ループを構成することにより隔離弁を『開』させる。</p> <p>【隔離弁『閉』状態図】          電磁弁が非励磁の状態においては、空気シリンダが隔離弁『閉』位置となる側に圧縮空気を供給し、隔離弁『閉』位置となる側から空気を排出するよう、スプール弁が空気供給ループを構成することにより隔離弁を『閉』させる。</p> <p>図7 原子炉棟給気隔離弁の動作概要図</p>	<p>a. 空気作動弁（AOV）への影響</p> <p>フェイルポジションが「閉」である空気作動弁（隔離弁）の動作概要を図5に示す。当該隔離弁を開動作させる場合は、電磁弁を励磁させ、制御用圧縮空気によりピストンを動作させる。これにより隔離弁開となり、また開状態が保持される。溢水によって当該弁の動作機能が喪失した（電磁弁が非励磁となった）場合、ピストンは通常位置に復帰する。これにより隔離弁閉となり、また閉状態が維持される。隔離弁に要求される安全機能は閉じ込め機能であることから、溢水により当該弁の動作機能が喪失した場合においても安全機能に影響はない。</p>  <p>【隔離弁「開」状態図】          電磁弁が励磁した状態においては、制御用圧縮空気によりピストンが動作し、隔離弁「開」となる。</p> <p>【隔離弁「閉」状態図】          電磁弁が非励磁の状態においては、ピストンは通常位置に復帰し、隔離弁「閉」となる。</p> <p>図5 空気作動弁（隔離弁）の動作概要図</p>	<p>【大飯】          記載方針の相違          女川審査実績の反映</p> <p>【女川】          記載表現の相違          記載方針の相違          泊は具体的な弁を代表例としてあげるのではなく、空気作動弁（隔離弁）の共通的な動作概要として記載している。</p> <p>【女川】          設計方針の相違          隔離弁の構造の相違により、記載が異なる。</p> <p>【女川】          記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>c. 没水によるフェイル・セイフ動作への影響</p> <p>以下に示すとおり、没水によりフェイル・セイフ機能への影響はないと考える。</p> <p>(a) 基本的には端子箱が没水した時点で電源が遮断され、電磁弁が作動し、弁のフェイル動作が完了する（電源が落ちれば誤作動はしない）。</p> <p>(b) 没水により電源が遮断されない場合は遠隔操作が可能である。</p> <p>(c) 没水により無励磁の箇所が誤って励磁される事象は考えられない。</p> <p>(d) 駆動部が没水状態となったとしても、その時点で空気排出を阻害するほどの水頭圧にならないため、空気排気・弁作動は可能である。</p> <p>(例 計装用圧縮空気系系統圧：約0.7MPa⇒水頭約70m)</p> <p>(4) ④「他の設備で代替できる」について</p> <p>他の設備により要求機能が代替できる防護対象設備は機能喪失しても安全機能に影響しないため溢水影響評価対象外とする。代替する設備はすべて逆止弁であり、またQMSに基づいた保全活動により、その機能維持を図っている。図8に系統構成例を示す。</p> <div data-bbox="703 895 1256 1417" data-label="Diagram"> </div> <p>図8 系統構成例（放射性物質の閉じ込め機能（原子炉格納容器隔離弁））</p>	<p>b. 没水によるフェイル・セイフ動作への影響</p> <p>以下に示すとおり、没水によりフェイル・セイフ機能への影響はないと考える。</p> <p>(a) 没水により電源が遮断されない場合は遠隔操作が可能である。</p> <p>(b) 没水により無励磁の箇所が誤って励磁される事象は考えられない。</p> <p>(c) 駆動部が没水状態となったとしても、その時点で空気排出を阻害するほどの水頭圧にならないため、空気排気・弁作動は可能である。</p> <p>(4) ④「他の設備で代替できる」について</p> <p>他の設備により要求機能が代替できる防護対象設備は機能喪失しても安全機能に影響しないため溢水影響評価対象外とする基準であるが、現状において、泊発電所3号炉の防護対象設備への適用実績はない。</p>	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊では溢水評価対象外とした電磁弁は無いため、記載していない。</p> <p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違</p> <p>図4に示したとおり隔離弁の開閉機構が異なるため、泊では女川のような例示は記載していない。</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊では「他の設備で代替できる」との基準を適用し、溢水評価対象外とした設備は無い。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
(2-1 防護対象設備の抽出の考え方 より抜粋)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (1/10)	表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (1/24)	表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (1/9)	【大飯】 記載表現の相違																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>番号</th> <th>溢水影響評価対象</th> <th>スクリーンアウトの考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="20">1次冷却系</td><td>3原子炉容器</td><td></td><td>×</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>3A, 3B, 3C, 3D格納気発生器</td><td></td><td>×</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ</td><td></td><td>×</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>3加圧器</td><td></td><td>×</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>3A, 3B, 3C加圧器安全弁</td><td>3V-RC-055, 056, 067</td><td>×</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>3A, 3B加圧器逃がし弁</td><td>3PCV-452A, B</td><td>×</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>3A, 3B加圧器逃がし弁前弁</td><td>3V-RC-054A, B</td><td>×</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>3加圧器逃がしタンクガス分析ライン格納容器内側隔離弁</td><td>3V-RC-077</td><td>×</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>3加圧器逃がしタンクガス分析ライン格納容器外側隔離弁</td><td>3V-RC-078</td><td>×</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>3加圧器逃がしタンク蒸気供給ライン格納容器内側隔離弁</td><td>3V-RC-084</td><td>×</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>3格納容器内層給水供給ライン格納容器内側隔離弁</td><td>3V-RC-095</td><td>×</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>3A, 3B加圧器スプレイ弁</td><td>3PCV-451A, B</td><td>×</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>3-1次冷却材圧力</td><td>3PT-420, 430</td><td>×</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>3加圧器水位</td><td>3LT-451, 452, 453, 454</td><td>×</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>3A, B, C, Dラージ1次冷却材高温側・低濃側温度 (広域)</td><td>3TE-410, 415, 420, 425, 430, 435, 440, 445</td><td>×</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>3A, B, C, Dラージ1次冷却材高温側・低濃側温度 (狭域)</td><td>3TE-411A, 411B, 411C, 411D, 421A, 421B, 421C, 421D, 431A, 431B, 431C, 431D, 441A, 441B, 441C, 441D</td><td>×</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>3加圧器圧力</td><td>3PT-451, 452, 453, 454</td><td>×</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>3A, B, C, Dラージ1次冷却材流量</td><td>3FT-412, 413, 414, 415, 422, 423, 424, 425, 432, 433, 434, 435, 442, 443, 444, 445</td><td>×</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>1次冷却材ポンプ回転数</td><td>3SE-418A, 428A, 438A, 448A</td><td>×</td><td>⑤</td></tr> <tr><td rowspan="10">化学体積制御系</td><td>3A, 3Bほう電ポンプ</td><td></td><td>○</td><td>—</td></tr> <tr><td>3A, 3B, 3C末端ポンプ</td><td></td><td>○</td><td>—</td></tr> <tr><td>3格納容器タンク</td><td></td><td>×</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>3再生熱交換器</td><td></td><td>×</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>3A, 3Bほう電タンク</td><td></td><td>×</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>3ほう電フィルタ</td><td></td><td>×</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>3封水冷却器</td><td></td><td>×</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>3A, 3B封水注入フィルタ</td><td></td><td>×</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>3封水ストレーナ</td><td></td><td>×</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>3体積制御タンク出口第1止め弁</td><td>3LCV-121B</td><td>○</td><td>—</td></tr> <tr><td>3体積制御タンク出口第2止め弁</td><td>3LCV-121C</td><td>○</td><td>—</td></tr> </tbody> </table>	系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	1次冷却系	3原子炉容器		×	⑤	3A, 3B, 3C, 3D格納気発生器		×	⑤	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ		×	⑤	3加圧器		×	⑤	3A, 3B, 3C加圧器安全弁	3V-RC-055, 056, 067	×	⑤	3A, 3B加圧器逃がし弁	3PCV-452A, B	×	⑤	3A, 3B加圧器逃がし弁前弁	3V-RC-054A, B	×	⑤	3加圧器逃がしタンクガス分析ライン格納容器内側隔離弁	3V-RC-077	×	⑤	3加圧器逃がしタンクガス分析ライン格納容器外側隔離弁	3V-RC-078	×	⑤	3加圧器逃がしタンク蒸気供給ライン格納容器内側隔離弁	3V-RC-084	×	⑤	3格納容器内層給水供給ライン格納容器内側隔離弁	3V-RC-095	×	⑤	3A, 3B加圧器スプレイ弁	3PCV-451A, B	×	⑤	3-1次冷却材圧力	3PT-420, 430	×	⑤	3加圧器水位	3LT-451, 452, 453, 454	×	⑤	3A, B, C, Dラージ1次冷却材高温側・低濃側温度 (広域)	3TE-410, 415, 420, 425, 430, 435, 440, 445	×	⑤	3A, B, C, Dラージ1次冷却材高温側・低濃側温度 (狭域)	3TE-411A, 411B, 411C, 411D, 421A, 421B, 421C, 421D, 431A, 431B, 431C, 431D, 441A, 441B, 441C, 441D	×	⑤	3加圧器圧力	3PT-451, 452, 453, 454	×	⑤	3A, B, C, Dラージ1次冷却材流量	3FT-412, 413, 414, 415, 422, 423, 424, 425, 432, 433, 434, 435, 442, 443, 444, 445	×	⑤	1次冷却材ポンプ回転数	3SE-418A, 428A, 438A, 448A	×	⑤	化学体積制御系	3A, 3Bほう電ポンプ		○	—	3A, 3B, 3C末端ポンプ		○	—	3格納容器タンク		×	⑤	3再生熱交換器		×	⑤	3A, 3Bほう電タンク		×	⑤	3ほう電フィルタ		×	⑤	3封水冷却器		×	⑤	3A, 3B封水注入フィルタ		×	⑤	3封水ストレーナ		×	⑤	3体積制御タンク出口第1止め弁	3LCV-121B	○	—	3体積制御タンク出口第2止め弁	3LCV-121C	○	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由<sup>※1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>AC</td><td>T48-F001</td><td>バージ用空気供給隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-F002</td><td>D/Wバージ用入口隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-F003</td><td>S/Cバージ用入口隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-F004</td><td>格納容器外真空逃がし逆止隔離弁 (A)</td><td>①</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-F004B</td><td>格納容器外真空逃がし逆止隔離弁 (B)</td><td>①</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-F005A</td><td>格納容器外真空逃がし隔離弁 (A)</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-F005B</td><td>格納容器外真空逃がし隔離弁 (B)</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-F010</td><td>補給用蒸気ガス供給側第二隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-F011</td><td>D/W補給用蒸気ガス供給用第一隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-F012</td><td>S/C補給用蒸気ガス供給用第一隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-F016</td><td>バージ用蒸気ガス供給側第二隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-F019</td><td>D/Wベント用出口隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-F020</td><td>ベント用SGTS側隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-F021</td><td>ベント用HVAC側隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-F022</td><td>S/Cベント用出口隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-F023</td><td>D/Wベント用出口隔離弁バイパス弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-F024</td><td>S/Cベント用出口隔離弁バイパス弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-F043</td><td>P/CV駆圧強化ベント用連絡配管隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-F708</td><td>事故後サンプリング設備戻り第二隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-F709</td><td>事故後サンプリング設備戻り第一隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-F7001</td><td>バージ用蒸気供給流量</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-F7013</td><td>圧力抑制電圧力</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-S0-F042A</td><td>真空破壊弁 (A) 計量用空気配管隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-S0-F042B</td><td>真空破壊弁 (B) 計量用空気配管隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-S0-F042C</td><td>真空破壊弁 (C) 計量用空気配管隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-S0-F042D</td><td>真空破壊弁 (D) 計量用空気配管隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-S0-F042E</td><td>真空破壊弁 (E) 計量用空気配管隔離弁</td><td>③</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 評価対象外とした理由      ① 溢水により機能を喪失しない      ② P/CV内側地域仕様の設備      ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない      ④ 他の設備で代替できる</p>	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	AC	T48-F001	バージ用空気供給隔離弁	③	AC	T48-F002	D/Wバージ用入口隔離弁	③	AC	T48-F003	S/Cバージ用入口隔離弁	③	AC	T48-F004	格納容器外真空逃がし逆止隔離弁 (A)	①	AC	T48-F004B	格納容器外真空逃がし逆止隔離弁 (B)	①	AC	T48-F005A	格納容器外真空逃がし隔離弁 (A)	③	AC	T48-F005B	格納容器外真空逃がし隔離弁 (B)	③	AC	T48-F010	補給用蒸気ガス供給側第二隔離弁	③	AC	T48-F011	D/W補給用蒸気ガス供給用第一隔離弁	③	AC	T48-F012	S/C補給用蒸気ガス供給用第一隔離弁	③	AC	T48-F016	バージ用蒸気ガス供給側第二隔離弁	③	AC	T48-F019	D/Wベント用出口隔離弁	③	AC	T48-F020	ベント用SGTS側隔離弁	③	AC	T48-F021	ベント用HVAC側隔離弁	③	AC	T48-F022	S/Cベント用出口隔離弁	③	AC	T48-F023	D/Wベント用出口隔離弁バイパス弁	③	AC	T48-F024	S/Cベント用出口隔離弁バイパス弁	③	AC	T48-F043	P/CV駆圧強化ベント用連絡配管隔離弁	③	AC	T48-F708	事故後サンプリング設備戻り第二隔離弁	③	AC	T48-F709	事故後サンプリング設備戻り第一隔離弁	③	AC	T48-F7001	バージ用蒸気供給流量	③	AC	T48-F7013	圧力抑制電圧力	③	AC	T48-S0-F042A	真空破壊弁 (A) 計量用空気配管隔離弁	③	AC	T48-S0-F042B	真空破壊弁 (B) 計量用空気配管隔離弁	③	AC	T48-S0-F042C	真空破壊弁 (C) 計量用空気配管隔離弁	③	AC	T48-S0-F042D	真空破壊弁 (D) 計量用空気配管隔離弁	③	AC	T48-S0-F042E	真空破壊弁 (E) 計量用空気配管隔離弁	③	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>機器名称</th> <th>理由<sup>※1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1次冷却系統</td><td>3PCV-452A, B</td><td>加圧器逃がし弁</td><td>②</td></tr> <tr><td>1次冷却系統</td><td>3V-RC-054A, B</td><td>加圧器逃がし弁元弁</td><td>④</td></tr> <tr><td>1次冷却系統</td><td>3V-RC-055, 056, 057</td><td>加圧器安全弁</td><td>①</td></tr> <tr><td>1次冷却系統</td><td>3LCV-451, 452</td><td>抽出ライン第1 (2) 止め弁</td><td>②</td></tr> <tr><td>1次冷却系統</td><td>3LT-451, 452, 453, 454</td><td>加圧器水位</td><td>②</td></tr> <tr><td>1次冷却系統</td><td>3PT-451, 452, 453, 454</td><td>加圧器圧力</td><td>②</td></tr> <tr><td>1次冷却系統</td><td>3PT-410, 430</td><td>1次冷却材圧力</td><td>②</td></tr> <tr><td>1次冷却系統</td><td>3TE-411A, 413A, 415A, 421A, 423A, 425A, 431A, 433A, 435A, 441A, 443A, 445A</td><td>1次冷却材高温側温度 (狭域)</td><td>②</td></tr> <tr><td>1次冷却系統</td><td>3TE-411B, 421B, 431B, 441B</td><td>1次冷却材低温側温度 (狭域)</td><td>②</td></tr> <tr><td>1次冷却系統</td><td>3TE-410, 420, 430</td><td>1次冷却材高温側温度 (広域)</td><td>②</td></tr> <tr><td>1次冷却系統</td><td>3TE-417, 427, 437</td><td>1次冷却材低温側温度 (広域)</td><td>②</td></tr> <tr><td>1次冷却系統</td><td>3PT-412, 413, 414, 415, 422, 423, 424, 425, 432, 433, 434, 435</td><td>1次冷却材流量</td><td>③</td></tr> <tr><td>1次冷却系統</td><td>3V-RC-077</td><td>加圧器逃がしタンク自動ガス分析ラインC/V内側隔離弁</td><td>②</td></tr> <tr><td>1次冷却系統</td><td>3V-RC-078</td><td>加圧器逃がしタンク自動ガス分析ラインC/V外側隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>1次冷却系統</td><td>3V-RC-084</td><td>加圧器逃がしタンク室蒸気供給ラインC/V外側隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>1次冷却系統</td><td>3V-RC-093</td><td>加圧器逃がしタンク補給水ラインC/V外側隔離弁</td><td>④</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 評価対象外とした理由      ① 溢水により機能を喪失しない      ② 原子炉格納容器内側環境仕様仕様の設備      ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない      ④ その他の設備で代替できる</p>	系統	機器番号	機器名称	理由 <sup>※1</sup>	1次冷却系統	3PCV-452A, B	加圧器逃がし弁	②	1次冷却系統	3V-RC-054A, B	加圧器逃がし弁元弁	④	1次冷却系統	3V-RC-055, 056, 057	加圧器安全弁	①	1次冷却系統	3LCV-451, 452	抽出ライン第1 (2) 止め弁	②	1次冷却系統	3LT-451, 452, 453, 454	加圧器水位	②	1次冷却系統	3PT-451, 452, 453, 454	加圧器圧力	②	1次冷却系統	3PT-410, 430	1次冷却材圧力	②	1次冷却系統	3TE-411A, 413A, 415A, 421A, 423A, 425A, 431A, 433A, 435A, 441A, 443A, 445A	1次冷却材高温側温度 (狭域)	②	1次冷却系統	3TE-411B, 421B, 431B, 441B	1次冷却材低温側温度 (狭域)	②	1次冷却系統	3TE-410, 420, 430	1次冷却材高温側温度 (広域)	②	1次冷却系統	3TE-417, 427, 437	1次冷却材低温側温度 (広域)	②	1次冷却系統	3PT-412, 413, 414, 415, 422, 423, 424, 425, 432, 433, 434, 435	1次冷却材流量	③	1次冷却系統	3V-RC-077	加圧器逃がしタンク自動ガス分析ラインC/V内側隔離弁	②	1次冷却系統	3V-RC-078	加圧器逃がしタンク自動ガス分析ラインC/V外側隔離弁	③	1次冷却系統	3V-RC-084	加圧器逃がしタンク室蒸気供給ラインC/V外側隔離弁	③	1次冷却系統	3V-RC-093	加圧器逃がしタンク補給水ラインC/V外側隔離弁	④	<p>【大飯】      記載表現の相違      女川審査実績の反映      設計方針の相違      プラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】      記載表現の相違      設計方針の相違      プラント設計の違いによる相違</p>
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
1次冷却系	3原子炉容器		×	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	3A, 3B, 3C, 3D格納気発生器		×	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ		×	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	3加圧器		×	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	3A, 3B, 3C加圧器安全弁	3V-RC-055, 056, 067	×	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	3A, 3B加圧器逃がし弁	3PCV-452A, B	×	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	3A, 3B加圧器逃がし弁前弁	3V-RC-054A, B	×	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	3加圧器逃がしタンクガス分析ライン格納容器内側隔離弁	3V-RC-077	×	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	3加圧器逃がしタンクガス分析ライン格納容器外側隔離弁	3V-RC-078	×	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	3加圧器逃がしタンク蒸気供給ライン格納容器内側隔離弁	3V-RC-084	×	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	3格納容器内層給水供給ライン格納容器内側隔離弁	3V-RC-095	×	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	3A, 3B加圧器スプレイ弁	3PCV-451A, B	×	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	3-1次冷却材圧力	3PT-420, 430	×	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	3加圧器水位	3LT-451, 452, 453, 454	×	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	3A, B, C, Dラージ1次冷却材高温側・低濃側温度 (広域)	3TE-410, 415, 420, 425, 430, 435, 440, 445	×	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	3A, B, C, Dラージ1次冷却材高温側・低濃側温度 (狭域)	3TE-411A, 411B, 411C, 411D, 421A, 421B, 421C, 421D, 431A, 431B, 431C, 431D, 441A, 441B, 441C, 441D	×	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	3加圧器圧力	3PT-451, 452, 453, 454	×	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	3A, B, C, Dラージ1次冷却材流量	3FT-412, 413, 414, 415, 422, 423, 424, 425, 432, 433, 434, 435, 442, 443, 444, 445	×	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	1次冷却材ポンプ回転数	3SE-418A, 428A, 438A, 448A	×	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	化学体積制御系	3A, 3Bほう電ポンプ		○	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
3A, 3B, 3C末端ポンプ			○	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
3格納容器タンク			×	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
3再生熱交換器			×	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
3A, 3Bほう電タンク			×	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
3ほう電フィルタ			×	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
3封水冷却器			×	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
3A, 3B封水注入フィルタ			×	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
3封水ストレーナ			×	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
3体積制御タンク出口第1止め弁		3LCV-121B	○	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
3体積制御タンク出口第2止め弁	3LCV-121C	○	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
AC	T48-F001	バージ用空気供給隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
AC	T48-F002	D/Wバージ用入口隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
AC	T48-F003	S/Cバージ用入口隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
AC	T48-F004	格納容器外真空逃がし逆止隔離弁 (A)	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
AC	T48-F004B	格納容器外真空逃がし逆止隔離弁 (B)	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
AC	T48-F005A	格納容器外真空逃がし隔離弁 (A)	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
AC	T48-F005B	格納容器外真空逃がし隔離弁 (B)	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
AC	T48-F010	補給用蒸気ガス供給側第二隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
AC	T48-F011	D/W補給用蒸気ガス供給用第一隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
AC	T48-F012	S/C補給用蒸気ガス供給用第一隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
AC	T48-F016	バージ用蒸気ガス供給側第二隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
AC	T48-F019	D/Wベント用出口隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
AC	T48-F020	ベント用SGTS側隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
AC	T48-F021	ベント用HVAC側隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
AC	T48-F022	S/Cベント用出口隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
AC	T48-F023	D/Wベント用出口隔離弁バイパス弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
AC	T48-F024	S/Cベント用出口隔離弁バイパス弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
AC	T48-F043	P/CV駆圧強化ベント用連絡配管隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
AC	T48-F708	事故後サンプリング設備戻り第二隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
AC	T48-F709	事故後サンプリング設備戻り第一隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
AC	T48-F7001	バージ用蒸気供給流量	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
AC	T48-F7013	圧力抑制電圧力	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
AC	T48-S0-F042A	真空破壊弁 (A) 計量用空気配管隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
AC	T48-S0-F042B	真空破壊弁 (B) 計量用空気配管隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
AC	T48-S0-F042C	真空破壊弁 (C) 計量用空気配管隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
AC	T48-S0-F042D	真空破壊弁 (D) 計量用空気配管隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
AC	T48-S0-F042E	真空破壊弁 (E) 計量用空気配管隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
系統	機器番号	機器名称	理由 <sup>※1</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
1次冷却系統	3PCV-452A, B	加圧器逃がし弁	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
1次冷却系統	3V-RC-054A, B	加圧器逃がし弁元弁	④																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
1次冷却系統	3V-RC-055, 056, 057	加圧器安全弁	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
1次冷却系統	3LCV-451, 452	抽出ライン第1 (2) 止め弁	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
1次冷却系統	3LT-451, 452, 453, 454	加圧器水位	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
1次冷却系統	3PT-451, 452, 453, 454	加圧器圧力	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
1次冷却系統	3PT-410, 430	1次冷却材圧力	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
1次冷却系統	3TE-411A, 413A, 415A, 421A, 423A, 425A, 431A, 433A, 435A, 441A, 443A, 445A	1次冷却材高温側温度 (狭域)	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
1次冷却系統	3TE-411B, 421B, 431B, 441B	1次冷却材低温側温度 (狭域)	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
1次冷却系統	3TE-410, 420, 430	1次冷却材高温側温度 (広域)	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
1次冷却系統	3TE-417, 427, 437	1次冷却材低温側温度 (広域)	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
1次冷却系統	3PT-412, 413, 414, 415, 422, 423, 424, 425, 432, 433, 434, 435	1次冷却材流量	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
1次冷却系統	3V-RC-077	加圧器逃がしタンク自動ガス分析ラインC/V内側隔離弁	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
1次冷却系統	3V-RC-078	加圧器逃がしタンク自動ガス分析ラインC/V外側隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
1次冷却系統	3V-RC-084	加圧器逃がしタンク室蒸気供給ラインC/V外側隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
1次冷却系統	3V-RC-093	加圧器逃がしタンク補給水ラインC/V外側隔離弁	④																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (2/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (2/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (2/9)				【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>#1</sup>	系統	機器番号	機器名称	理由 <sup>#1</sup>	
化学体積制御系	緊急ほうげん注入ライン補助弁	3V-CS-573	○	—	AC	F48-50-F042F	真空破砕弁 (F) 計装用空気配管隔離弁	③	AC	3FCV-138	充てん流量制御弁	③	
	3充てんポンプ入口燃料取扱用ホットヘッド後流弁	3LKV-1210, E	○	—	AC	F48-50-F708	L S 0 1 5 D/W 温水水位計装配管 (H) 側隔離弁	③	AC	3V-CS-167	充てんライン流量制御弁補助オリフィスバイパス弁	③	
	3充てんライン格納容器隔離弁	3V-CS-167	○	—	AC	F48-50-F710	L S 0 1 5 D/W 温水水位計装配管 (L) 側隔離弁	③	AC	3CST1	体積制御タンク	①	
	3充てんライン止め弁	3V-CS-155	○	—	AC	F48-50-F721	露点サンプリング入口第一隔離弁	③	AC	3V-CS-191	充てんライン止め弁	③	
	3充てんライン流量制御弁	3FCV-138	×	①	AC	F48-50-F722	露点サンプリング入口第二隔離弁	③	AC	3V-CS-186	加圧器補助スプレイ弁	②	
	3-1次冷却材ポンプ封水注入ライン流量制御弁	3FCV-140	×	①	AC	F48-50-F723	露点サンプリング戻り第二隔離弁	③	AC	3CSH1	再生熱交換器	①	
	3抽出ライン第1止め弁	3LKV-451	×	②	AC	F48-50-F724	露点サンプリング戻り第一隔離弁	③	AC	3CST5A, B	ほう酸タンク	①	
	3抽出ライン第2止め弁	3LKV-452	×	②	AC	F48-50-F724	露点サンプリング戻り第一隔離弁	③	AC	3CST5A, B	ほう酸タンク	①	
	3A, 3B, 3C抽出オリフィス出口格納容器第一隔離弁	3V-CS-094A, B, C	×	②	AC	F48-50-F727	漏えい検出放射線モニタ入口第一隔離弁	③	AC	3CSF4	ほう酸フィルタ	①	
	3加圧器補助スプレイ弁	3V-CS-189	×	②	AC	F48-50-F728	漏えい検出放射線モニタ入口第二隔離弁	③	AC	3V-CS-455A, B	ほう酸タンク出口弁	③	
	3冷却抽出ライン第1止め弁	3V-CS-301	×	②	AC	F48-50-F729	漏えい検出放射線モニタ戻り第二隔離弁	③	AC	3V-CS-466A, B	ほう酸ポンプ出口補給ライン切替弁	③	
	3冷却抽出ライン第2止め弁	3V-CS-301	×	②	AC	F48-50-F730	漏えい検出放射線モニタ戻り第一隔離弁	③	AC	3V-CS-473A, B	ほう酸ポンプ出口隔離ライン切替弁	③	
	3抽出ライン格納容器第二隔離弁	3V-CS-007	×	①	AC	F48-50-F772	T 4 8 - L S 0 2 5 D/W 水位計装配管 (L) 側隔離弁	③	AC	3V-CS-473A, B	ほう酸ポンプ出口隔離ライン切替弁	③	
	3充てんライン流量制御弁前止め弁	3V-CS-161	×	①	AC	F48-50-F774	T 4 8 - L S 0 2 5 D/W 水位計装配管 (H) 側隔離弁	③	CAMS	E23-0001A	校正ガスボンベサポート	①	
	3グループ充てんライン止め弁	3V-CS-163	×	①	AC	F48-50-F774	T 4 8 - L S 0 2 5 D/W 水位計装配管 (H) 側隔離弁	③	CAMS	E23-0001B	校正ガスボンベサポート	①	
	3-1次冷却材ポンプ封水注入ライン流量制御弁前止め弁	3V-CS-177	×	①	CAMS	E23-0001A	校正ガスボンベサポート	①	CRD	C12	制御棒駆動機構	①	
	3-1次冷却材ポンプ封水戻りライン格納容器第一隔離弁	3V-CS-310	×	②	CRD	C12-0001-120	方向制御弁	③	CRD	C12-0001-125	アキュムレータ	①	
	3-1次冷却材ポンプ封水戻りライン格納容器第二隔離弁	3V-CS-312	○	—	CRD	C12-0001-123	方向制御弁	③	CRD	C12-0001-126	スクラム入口弁	③	
	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ封水戻りライン止め弁	3V-CS-208A, B, C, D	×	②	CRD	C12-0001-128	要素容器	①	CRD	C12-0001-128	要素容器	①	
	3A, 3Bほう酸タンク水位	3LT-206, 208	○	—	CRD	C12-0001-132	制御棒駆動水圧系ラプチュアディスク	①	CRD	C12-0001-135	方向制御弁フィルタ	①	
	3C充てんポンプ速度制御弁	3CSC	○	—	CRD	C12-0001-136	スクラムバイロット弁	③	CRD	C12-L08129	HCUアキュムレータレベルスイッチ	③	
	3C充てんポンプ速度制御補助弁	3CSAC	○	—	CRD	C12-P131	HCUアキュムレータ圧力指示計	③	CRD	C12-P8130	HCUアキュムレータ圧力スイッチ	③	
	3A, 3B, 3C, 1, 3C2充てんポンプ駆動操作箱	3LB-9, 9, 7, 6	○	—	CRD	C12-0001-132	制御棒駆動水圧系ラプチュアディスク	①					
	3A, 3Bほう酸ポンプ駆動操作箱	3LB-9, 10	○	—									
	安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプ	○	—									
		3A, 3B, 3C, 3D高圧タンク	×	③									
		3A, 3B高圧注入ポンプミニマムフローライン第1止め弁	3V-S1-015A, B	○	—								
		3A, 3B高圧注入ポンプミニマムフローライン第2止め弁	3V-S1-015A, B	○	—								
		3A, 3B高圧注入ポンプ格納容器再循環ポンプ側入口格納容器第一隔離弁	3V-S1-092A, B	○	—								
		3A, 3B高圧注入ポンプ燃料取扱用ホットヘッド入口弁	3V-S1-092A, B	○	—								
		3A, 3B高圧注入ポンプRWSピット及びRWS隔離ポンプ側入口弁	3V-S1-095A, B	○	—								
	3A, 3B高圧注入ライン格納容器隔離弁	3V-S1-062A, B	×	①									
	3A, 3B高圧注入ポンプ出口遮断弁	3V-S1-066A, B	×	②									

※1 評価対象外とした理由  
 ①浸水により機能を喪失しない  
 ②PCVの駆動成仕様の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由	
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (3/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (3/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (3/9)				【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違	
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>*1</sup>	系統	機器番号	機器名称	理由 <sup>*1</sup>		
安全注入系	3A, 3B, 3C, 3D 高圧注入ポンプ高圧側圧入ライン止め弁	3V-SI-067A, B	×	②	E/W	G31-F002	C/UW入口ライン第一隔離弁	②	高圧注入系統	3SIT2	ほう酸注入タンク	①		
	3A, 3B, 3C, 3D 高圧注入ポンプ高圧側圧入ライン止め弁	3V-SI-132A, B, C, D	×	②		D0	R13-3001A	清水膨張タンク (A)		①	高圧注入系統	3V-SI-061A, B	高圧注入ポンプ出口 C/V 内側隔離弁	②
	3格納容器再循環サンプ系統 (狭域)・広域	3LT-976, 977, 978, 979	×	②		D0	R13-3001B	清水膨張タンク (B)		①	高圧注入系統	3V-SI-062A, B	高圧側高圧注入 (B) ライン止め弁	②
	3A, 3B, 3C, 3D 高圧注入ポンプ現場操作箱	3LB-12, 13	○	—		D0	R13-3001C	清水膨張タンク (C)		①	高圧注入系統	3V-SI-141	ほう酸注入タンク循環ライン入口止め弁	③
	3A, 3B, 3C, 3D 高圧注入流量 (I), 3B, 3C, 3D 高圧注入流量 (II)	3PT-952, 953	○	—		D0	R13-3100A	潤滑油サンプタンク (A)		①	高圧注入系統	3V-SI-145, 146	ほう酸注入タンク循環ライン出口第1 (2) 止め弁	③
	3燃料取扱用ホット水位 1, II, III, IV	3LT-1400, 1401, 1402, 1403	○	—		D0	R13-3100B	潤滑油サンプタンク (B)		①	高圧注入系統	3CT2, 3	格納容器再循環サンプ	①
	3A, 3B, 3C, 3D 余熱除去ポンプ	3PCV-601, 611	×	③		D0	R13-3100C	潤滑油サンプタンク (C)		①	高圧注入系統	3LT-620, 630	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	②
	3A, 3B, 3C, 3D 余熱除去ポンプ流量制御弁	3PCV-604, 614	×	①		D0	R13-3100D	潤滑油サンプタンク (D)		①	高圧注入系統	3LT-621, 631	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	②
	3A, 3B, 3C, 3D 余熱除去ポンプ出口流量設定弁	3PCV-603, 613	×	①		D0	R13-3101A	機関付動弁注油タンク (A)		①	高圧注入系統	3SIT1A, B, C	普圧タンク	①
	3A, 3B, 3C, 3D 余熱除去ポンプバイパス流量制御弁	3PCV-604, 614	×	①		D0	R13-3101B	機関付動弁注油タンク (B)		①	高圧注入系統	3V-SI-123A, B, C	普圧タンク出口弁	②
余熱除去系	3A, 3B, 3C, 3D 余熱除去ポンプ B, C ループ高圧側入口止め弁	3PCV-420, 430	×	②	D0	R13-3200A	軽油タンク (A)	①	高圧注入系統	3V-SI-124	普圧タンクサンプリングライン C/V 内側隔離弁	③		
	3A, 3B, 3C, 3D 余熱除去ポンプ出口格納容器隔離弁	3V-RH-002A, B	×	②	D0	R13-3200B	軽油タンク (B)	①	高圧注入系統	3V-SI-164	普圧タンク蓋蓋供給ライン C/V 外側隔離弁	③		
	3A, 3B, 3C, 3D 余熱除去ポンプ出口格納容器隔離弁	3V-RH-043A, B	×	①	D0	R13-3200C	軽油タンク (C)	①	高圧注入系統	3V-SI-184	安全注入逆止弁テストライン C/V 内側隔離弁	②		
	3A, 3B, 3C, 3D 余熱除去ポンプ出口格納容器隔離弁	3V-RH-047A, B	×	②	D0	R13-3200D	軽油タンク (D)	①	高圧注入系統	3V-SI-185	普圧タンク補給ライン C/V 外側隔離弁	③		
	3B, 3C ループ高圧側圧入ライン止め弁	3V-RH-048A, B	×	②	D0	R13-3200E	軽油タンク (E)	①	高圧注入系統	3V-SI-186	安全注入逆止弁テストライン C/V 外側隔離弁	③		
	3A, 3B, 3C, 3D 余熱除去ポンプ出口流量	3PT-601, 611	○	—	D0	R13-3200F	軽油タンク (F)	①	余熱除去系統	3RH1A, B	余熱除去冷却器	①		
	3A, 3B, 3C, 3D 余熱除去ポンプ現場操作箱	3LB-14, 15	○	—	D0	R13-3201A	燃料デایتンク (A)	①	余熱除去系統	3HCV-603, 613	余熱除去冷却器出口流量制御弁	③		
	3A, 3B, 3C, 3D 格納容器スプレイポンプ	3PCV-110, 430	×	③	D0	R13-3201B	燃料デایتンク (B)	①	余熱除去系統	3PCV-604, 614	余熱除去 (B) ライン流量制御弁	③		
	3A, 3B, 3C, 3D 格納容器スプレイポンプ冷却器	3V-CF-009A, B	○	—	D0	R13-3201C	燃料デایتンク (C)	①	余熱除去系統	3PCV-110, 430	余熱除去 (B) ライン入口止め弁	②		
	3A, 3B, 3C, 3D 格納容器スプレイポンプ冷却器	3V-CF-009A, B	○	—	D0	R13-3300A	空気だめ (自動) (A)	①	余熱除去系統	3V-RH-002A, B	余熱除去ポンプ入口 C/V 内側隔離弁	②		
格納容器スプレイ系	3A, 3B, 3C, 3D 格納容器スプレイポンプ冷却器	3V-CF-009A, B	○	—	D0	R13-3300B	空気だめ (自動) (B)	①	余熱除去系統	3V-RH-029A, B	余熱除去 (B) ライン C/V 外側隔離弁	③		
	3A, 3B, 3C, 3D 格納容器スプレイポンプ冷却器	3V-CF-009A, B	○	—	D0	R13-3001A	清水冷却器 (A)	①	余熱除去系統	3V-RH-033A, B	余熱除去冷却器出口 C/V 内側隔離弁	②		
	3A, 3B, 3C, 3D 格納容器スプレイポンプ冷却器	3V-CF-009A, B	○	—	D0	R13-3001B	清水冷却器 (B)	①	余熱除去系統	3V-RH-034A, B	高温側低圧注入ライン止め弁	②		
	3A, 3B, 3C, 3D 格納容器スプレイポンプ冷却器	3V-CF-009A, B	○	—	D0	R13-3003B-1	機関付空気冷却器 (L側)	①	主給水系統	3LT-460, 461, 462, 463, 470, 471, 472, 473, 480, 481, 482, 483	蒸気発生器水位 (狭域)	②		
	3A, 3B, 3C, 3D 格納容器スプレイポンプ冷却器	3V-CF-009A, B	○	—	D0	R13-3003B-2	機関付空気冷却器 (R側)	①	主給水系統	3LT-464, 474, 484	蒸気発生器水位 (広域)	②		
	3A, 3B, 3C, 3D 格納容器スプレイポンプ冷却器	3V-CF-009A, B	○	—	D0	R13-3003B-1	機関付空気冷却器 (L側)	①						
	3A, 3B, 3C, 3D 格納容器スプレイポンプ冷却器	3V-CF-009A, B	○	—	D0	R13-3003B-2	機関付空気冷却器 (R側)	①						
	3A, 3B, 3C, 3D 格納容器スプレイポンプ冷却器	3V-CF-009A, B	○	—	D0	R13-3100A	潤滑油冷却器 (A)	①						
	3A, 3B, 3C, 3D 格納容器スプレイポンプ冷却器	3V-CF-009A, B	○	—	D0	R13-3100B	潤滑油冷却器 (B)	①						
	3A, 3B, 3C, 3D 格納容器スプレイポンプ冷却器	3V-CF-009A, B	○	—	D0	R13-3100A	潤滑油フィルタ (A)	①						
主蒸気及び主給水系、補助給水系	3タービン補助給水ポンプ	3V-MS-570A, B	○	—	D0	R13-3100B	潤滑油フィルタ (B)	①						
	3タービン補助給水ポンプ	3V-FW-574A, B, C, D	×	③										

※1 評価対象外とした理由  
 ① 溢水により機能を喪失しない  
 ② PCV内側隔離仕様の設備  
 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④ その他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由	
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト（4/10）					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（4/24）				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（4/9）				【大飯】	
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>*)</sup>	系統	機器番号	機器名称	理由 <sup>*)</sup>		
主蒸気及び 凝縮水系 補助給水系	3A, 3B, 3C, 3D電動補助給水ライン流量調整弁	3V-FR-557A, B, C, D	×	①	① 溢水により機能を喪失しない ② PC内射撃増圧機設備 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④ 他設備で代替できる	06	R43-0200A	燃料移送ポンプ吸入ストレーナ（A）	①	主蒸気系統	3HCY-3616, 3626, 3636	主蒸気バイパス隔離弁	③	【大飯】 記載表現の相違 女川審査記録の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
	3履水ピット電動補助給水ポンプ精止め弁	3V-FR-580	×	①		06	R43-0200B	燃料移送ポンプ吸入ストレーナ（B）	①		主蒸気系統	3V-MS-521A, B, C, 522A, B, C, 523A, B, C, 524A, B, C, 525A, B, C	主蒸気安全弁	
	3履水ピットタービン駆動補助給水ポンプ精止め弁	3V-FR-581	×	①		06	R43-0201A	D/G燃料移送ポンプ出口フィルタ（A）	①	主蒸気系統		3V-MS-575A, B	タービン駆動補助給水ポンプ駆動蒸気D（C）	③
	3A, 3B, 3C, 3Dタービン補助給水ライン流量調整弁	3KCV-3715, 3725, 3735, 3745	×	①		06	R43-0201B	D/G燃料移送ポンプ出口フィルタ（B）	①		主蒸気系統	3V-MS-518A, B, C	主蒸気逃がし弁元弁	③
	3A, 3B, 3C, 3Dタービン駆動補助給水ポンプ駆動蒸気供給ライン止弁弁	3V-MS-575A, B	×	①		06	R43-0202A-1	燃料油フィルタ（A）-1	①	主蒸気系統		3V-MS-581	非常用タービン駆動プラント蒸気元弁	③
	3A, 3B, 3C, 3D主給水隔離弁	3V-FR-520A, B, C, D	×	④		06	R43-0202B-1	燃料油フィルタ（B）-1	①		主蒸気系統	3V-MS-601A, B, C	主蒸気隔離弁上流ドレンライン隔離弁	③
	3履水ピット水位Ⅲ, IV	SUT-3760, 3761	○	—		06	R43-0202B-2	燃料油フィルタ（B）-2	①	補助給水系		3FW-P	補助給水ピット	①
	3A, 3B, 3C, 3D蒸気発生器補助給水流量	3FI-3716, 3725, 3735, 3745	○	—		06	R43-0300A	始動用空気ストレーナ（A）	①		原子炉 格納容器 スプレイ系統	3CFT1	よう素除去薬品タンク	①
	3A, B, C, D蒸気発生器ドレン水位	SUT-494, 474, 484, 494	×	②		06	R43-0300B	始動用空気ストレーナ（B）	①	原子炉 格納容器 スプレイ系統		3CFT1A, B	格納容器スプレイ冷却器	①
	3A, B, C, D蒸気発生器表域水位	SUT-495, 485, 495, 475, 474, 472, 473, 480, 481, 482, 483, 490, 491, 492, 493	×	②		06	R43-0301A	始動用空気ストレーナ（A）	①		原子炉 格納容器 スプレイ系統	3V-CP-056A, B	よう素除去薬品タンク注入（B）ライン止め弁後弁	③
	3タービン駆動補助給水ポンプ駆動蒸気A, B	3TDF-A, B	○	—		06	R43-0301B	始動用空気ストレーナ（B）	①	原子炉 格納容器 スプレイ系統		3CCT1	原子炉補機冷却水サージタンク	①
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気隔離弁	3V-MS-535A, B, C, D	○	—		06	R43-04PS105A	潤滑油フィルタ差圧スイッチ	②		原子炉補機 冷却水系統	3COR1A, B, C, D	原子炉補機冷却水冷却器	①
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気隔離弁バイパス弁	3KCV-3616, 3626, 3635, 3645	×	①		06	R43-04PS105B	潤滑油フィルタ差圧スイッチ	②	原子炉補機 冷却水系統		3V-CC-054A, B, C, D	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水出口弁	③
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気逃がし弁	3KCV-3615, 3625, 3635, 3645	○	—		06	R43-04PS210A	燃料油フィルタ差圧スイッチ	②		原子炉補機 冷却水系統	3V-CC-526	1次冷却材ポンプ補機冷却水出口 C/V 内側隔離弁	②
	3A, 3B, 3C, 3D-1主蒸気安全弁	3V-MS-528A, B, C, D	×	①		06	R43-04PS210B	燃料油フィルタ差圧スイッチ	②	原子炉補機 冷却水系統		3A-SFP, 3B-SFP	使用済燃料ピット	①
	3A, 3B, 3C, 3D-2主蒸気安全弁	3V-MS-527A, B, C, D	×	①		06	R43-02Q0A	フレキシブルチューブ	①		*1 評価対象外とした理由			
	3A, 3B, 3C, 3D-3主蒸気安全弁	3V-MS-528A, B, C, D	×	①		06	R43-02Q0B	フレキシブルチューブ	①	① 溢水により機能を喪失しない				
	3A, 3B, 3C, 3D-4主蒸気安全弁	3V-MS-529A, B, C, D	×	①		06	R43-11S050A	潤滑油タンク水位指示計（検点付）	③	② 原子炉格納容器内耐震増圧機設備				
	3A, 3B, 3C, 3D-5主蒸気安全弁	3V-MS-530A, B, C, D	×	①		06	R43-11S050B	潤滑油タンク水位指示計（検点付）	③	③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない				
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気逃がし弁元弁	3V-MS-523A, B, C, D	×	①		06	R43-11S100A	潤滑油タンク油面指示計（検点付）	③	④ その他の設備で代替できる				
I, II, III, IV, 3A, 3B, 3C, 3D主蒸気圧力	3PI-495, 485, 495, 468, 475, 416, 417, 418, 485, 486, 487, 488, 495, 496, 497, 498	○	—	06	R43-11S100B	潤滑油タンク油面指示計（検点付）	③							
原子炉補機 冷却水系	3A, 3B, 3C, 3D原子炉補機冷却水ポンプ		○	—	06	R43-11S201A	軽油貯蔵タンクA液面計	③						
	3原子炉補機冷却水サージタンク		×	②	06	R43-11S201B	軽油貯蔵タンクB液面計	③						
	3A, 3B原子炉補機冷却水冷却器		×	②	06	R43-11S106A	機関付動弁注油タンク油面	③						
	3A, 3B格納容器スプレイ冷却器冷却水止め弁	3V-CC-178A, B	○	—	06	R43-11S106B	機関付動弁注油タンク油面	③						
	3A-C, 3B-C原子炉補機冷却水供給母管遮断弁	3V-CC-056A, B	○	—	06	R43-11S257A	シリンダー浸水スイッチ	③						
	3A-C, 3B-C原子炉補機冷却水戻り母管遮断弁	3V-CC-043A, B	○	—										
	3A, 3B余熱除去冷却器冷却水止め弁	3V-CC-113A, B	○	—										
	3-1次冷却材ポンプ冷却水供給ライン格納容器隔離弁	3V-CC-303	○	—										
3-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器隔離弁	3V-CC-427	×	②											



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (5/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (5/24)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (5/9)					【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>*)</sup>	系統	機器番号	機器名称	理由 <sup>*)</sup>			
原子炉補機冷却系	3-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器隔離弁	3V-CC-429	○	—	表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (5/24)	06	B43-L5257B	シリンダー浸水スイッチ	⑤	表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (5/9)	使用済燃料ピット水浄化冷却系統	3SF81A, B	使用済燃料ピット冷却器	①	
	4-3000リットルユニット・全鋼油圧冷却器冷却水供給ラインC1隔離弁	3V-CC-342	○	—		06	B43-P1052A	機関付淡水ポンプ出口圧力指示計	⑤		使用済燃料ピット水浄化冷却系統	3SF81A, B	使用済燃料ピット脱塩塔	①	
	3-3000リットルユニット・全鋼油圧冷却器冷却水戻りラインC1隔離弁	3V-CC-365	○	—		06	B43-P1052B	機関付淡水ポンプ出口圧力指示計	⑤		使用済燃料ピット水浄化冷却系統	3SF11A, B	使用済燃料ピットフィルタ	①	
	3A, 3B, 3C 格納容器再循環ユニット冷却水供給ライン格納容器隔離弁	3V-CC-189A, B	○	—		06	B43-P1191A	機関付潤滑油ポンプ出口圧力指示計	⑤		原子炉補機冷却水系統	3S-SW-01A, B, C, D	原子炉補機冷却水ポンプ出口ストレーナ	①	
	3A, 3B, 3C 30格納容器再循環ユニット冷却水供給ライン格納容器隔離弁	3V-CC-198A, B, C, D	○	—		06	B43-P1191B	機関付潤滑油ポンプ出口圧力指示計	⑤		原子炉補機冷却水系統	3S-SW-02A, B, C, D	原子炉補機冷却水冷却器海水入口ストレーナ	①	
	34廃棄物処理建屋冷却水供給ライン第1,2止め弁 (3号機側)	34V-CC-600, 601	○	—		06	B43-P1201B	機関付潤滑油ポンプ出口圧力指示計	⑤		液体廃棄物処理系統	3V-WL-005	CVDT 自動ガス分析ラインC/V内側隔離弁	②	
	4原子炉補機冷却水チージング水位皿	SLT-1200, 1201	○	—		06	B43-P1202A	燃料油ストレーナ前後圧力指示計	⑤		液体廃棄物処理系統	3V-WL-006	CVDT 自動ガス分析ラインC/V外側隔離弁	③	
	3A, 3B, 3C, 3D原子炉補機冷却水ポンプ現地操作箱	3LB-20, 21, 22, 23	○	—		06	B43-P1202B	燃料油ストレーナ前後圧力指示計	⑤		液体廃棄物処理系統	3V-WL-010	格納容器冷却材ドレンタンクベントラインC/V内側隔離弁	②	
	3A, 3B, 3C海水ポンプ	—	○	—		06	B43-P1203A	燃料移送ポンプ出口圧力指示計	⑤		液体廃棄物処理系統	3V-WL-011	格納容器冷却材ドレンタンクベントラインC/V外側隔離弁	③	
	3海水ポンプ出口3A, 3B, 3C, 3D海水ストレーナ	3S-SW-01A, B, C, D	× <sup>M</sup>	⑤		06	B43-P1203B	燃料移送ポンプ出口圧力指示計	⑤		液体廃棄物処理系統	3V-WL-017	格納容器冷却材ドレンタンク酸素供給C/V隔離弁	③	
3A, 3B, 3C海水ポンプ輸送ストレーナA, B	3S-SW-02A, B, C	×	⑤	06	B43-P1211A	機関入口燃料油圧力指示計	⑤	液体廃棄物処理系統	3V-WL-031	格納容器冷却材ドレンポンプ出口C/V内側隔離弁	②				
3A, 3B原子炉補機冷却水冷却器海水止め弁	3V-SW-03A, B, C	×	⑤	06	B43-P1211B	機関入口燃料油圧力指示計	⑤	液体廃棄物処理系統	3V-WL-032	格納容器冷却材ドレンポンプ出口C/V外側隔離弁	③				
3A, 3B, 3C海水ポンプ廃棄物操作箱	3LB-26, 27, 28, 29	○	—	06	B43-P1211C	機関入口燃料油圧力指示計	⑤	液体廃棄物処理系統	3V-WL-113	格納容器サンブポンプ出口C/V内側隔離弁	②				
3A, 3B使用済燃料ピットポンプ	—	○	—	06	B43-P1255A	機関入口吸気圧力 (L側) 指示計	⑤	液体廃棄物処理系統	3V-WL-114	格納容器サンブポンプ出口C/V外側隔離弁	③				
燃料ピット冷却浄化系	3A, 3B使用済燃料ピット	—	× <sup>M</sup>	⑤	06	B43-P1255B	機関入口吸気圧力 (R側) 指示計	⑤	液体廃棄物処理系統	3V-WL-017	格納容器冷却材ドレンタンク酸素供給C/V隔離弁	③			
	3A, 3B, 3C使用済燃料ピット冷却器	—	× <sup>M</sup>	⑤	06	B43-P1256A	機関入口吸気圧力 (R側) 指示計	⑤	液体廃棄物処理系統	3V-WL-031	格納容器冷却材ドレンポンプ出口C/V内側隔離弁	②			
	3A, 3B使用済燃料ピット脱塩塔	—	×	⑤	06	B43-P1256B	機関入口吸気圧力 (R側) 指示計	⑤	液体廃棄物処理系統	3V-WL-032	格納容器冷却材ドレンポンプ出口C/V外側隔離弁	③			
燃料取替用水系	3A, 3B使用済燃料ピットフィルタ	—	×	⑤	06	B43-P15108A	機関潤滑油圧力	⑤	液体廃棄物処理系統	3V-WL-113	格納容器サンブポンプ出口C/V内側隔離弁	②			
	3A, 3B燃料取替用水ポンプ	—	○	—	06	B43-P15108B	機関潤滑油圧力	⑤	液体廃棄物処理系統	3V-WL-114	格納容器サンブポンプ出口C/V外側隔離弁	③			
	3燃料取替用水ピット	—	× <sup>M</sup>	⑤	06	B43-P15113A	潤滑油プライミングポンプ出口圧力指示計 (検点付)	⑤	液体廃棄物処理系統	3V-WL-504	加圧路気相部サンプリングラインC/V内側隔離弁	②			
蒸気発生器プロセッサダウン系	3A, 3B燃料取替用水ポンプ廃棄物操作箱	3LB-33, 34	○	—	06	B43-P15113B	潤滑油プライミングポンプ出口圧力指示計 (検点付)	⑤	液体廃棄物処理系統	3V-WL-509	加圧路液相部サンプリングラインC/V内側隔離弁	②			
	3A, 3B, 3C, 3Dプロセッサダウンライン格納容器隔離弁	3V-RD-101A, B, C, D	×	①	06	B43-P15203A	空気だめ圧力 (自動) 指示計 (検点付)	⑤	液体廃棄物処理系統	3V-SS-504	加圧路気相部サンプリングラインC/V内側隔離弁	②			
	3A, 3B, 3C 30年気漏年量試験採取ライン格納容器隔離弁	3V-RD-110A, B, C, D	×	①	06	B43-P15203B	空気だめ圧力 (自動) 指示計 (検点付)	⑤	液体廃棄物処理系統	3V-SS-509	加圧路液相部サンプリングラインC/V内側隔離弁	②			
1次系試験採取系	3加圧路気相部試験採取ライン格納容器第1隔離弁	3V-SS-503	×	②	06	B43-Ps200A	燃料ハンドル位置異常スイッチ	⑤	06	B43-Ps200B	燃料ハンドル位置異常スイッチ	⑤			
	3加圧路液相部試験採取ライン格納容器第1隔離弁	3V-SS-505	×	②	06	B43-Ps202A	ターニングハンドル位置異常スイッチ	⑤	06	B43-Ps202B	ターニングハンドル位置異常スイッチ	⑤			
	300ルーブ高量試験採取ライン格納容器第2隔離弁	3V-SS-522	×	②	06	B43-Ps202C	ターニングハンドル位置異常スイッチ	⑤	06	B43-Ps250A	空気だめ圧力 (自動) スイッチ	⑤			
	300ルーブ高量試験採取ライン格納容器第2隔離弁	3V-SS-507	×	①	06	B43-Ps250B	空気だめ圧力 (自動) スイッチ	⑤	06	B43-Ps250B	空気だめ圧力 (自動) スイッチ	⑤			
	300ルーブ高量試験採取ライン格納容器第2隔離弁	3V-SS-525	×	②											
	300ルーブ高量試験採取ライン格納容器第2隔離弁	3V-SS-526	×	①											
	3A, 3B, 3C 30年圧力試験採取ライン格納容器第1隔離弁	3V-SS-593A, B, C, D	×	②											
	3圧力タンク試験採取ライン格納容器第2隔離弁	3V-SS-594	×	①											
	3-1次冷却材試験採取戻りライン格納容器隔離弁	3V-SS-574	×	①											
	制御用空気系	3A, 3B制御用空気圧縮機	—	○	—										

表1 評価対象外とした理由  
 ①溢水により機能を喪失しない  
 ②炉内側環境自浄の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

\*) 評価対象外とした理由  
 ①溢水により機能を喪失しない  
 ②原子炉格納容器内側環境自浄の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④その他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (6/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (6/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (6/9)				【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由※1	系統	機器番号	機器名称	理由※1	
制御用空気系	3A,3B制御用空気乾燥器	3IAT1A,B	×	①	00	R43-PS251A	空気だめ圧力（自動）スイッチ	①	00	3V-SS-514,519	B（C）ループ高圧側オンプリングラインC/V内側隔離弁	②	
	3A,3B制御用空気だめ	3IAT1A,B	×	①		R43-PS251B	空気だめ圧力（自動）スイッチ	①		3V-SS-521A	Bループ高圧側、加圧器オンプリングラインC/V外側隔離弁	③	
	3A,3B制御用空気系緊急遮断弁	3V-1A-505A,B	○	—		R43-TE331A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（U相）検出器	③		3V-SS-521B	Cループ高圧側オンプリングラインC/V内側隔離弁	③	
	3A-C,3B-C制御用空気系保護弁	3V-1A-501A,B	○	—		R43-TE331B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（U相）検出器	③		3V-SS-718	PASS1次冷却材サンプル戻りラインC/V外側隔離弁	③	
	3A,3B制御用空気系格納容器隔離弁	3V-1A-508A,B	○	—		R43-TE332A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（V相）検出器	③		3V-DP-001A,B	格納容器減圧ライン格納容器内側隔離弁	②	
	3A,3B格納容器内閉鎖ドラム制御用空気系緊急遮断弁	3V-1A-510A,B	×	②		R43-TE332B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（V相）検出器	③		3V-DP-002A,B	格納容器減圧ライン格納容器外側隔離弁	②	
	3A,3B制御用空気系供給管圧力	3PT-1800,1810	○	—		R43-TE333A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（W相）検出器	③		3V-DC-304A,B	格納容器水素バージ給気ライン格納容器外側隔離弁	③	
	3A,3B制御用空気系圧縮機調整	3IAC-A,B	○	—		R43-TE333B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（W相）検出器	③		3V-RM-001	格納容器空気サンプル取出し格納容器内側隔離弁	②	
	3A,3B格納容器冷却材ドレンタンクガス分析ライン格納容器第一隔離弁	3V-WL-078	×	②		R43-TE333C	非常用D/G（A）固定子巻線温度（U相）検出器	③		3V-RM-002	格納容器空気サンプル取出し格納容器外側隔離弁	③	
	3A,3B格納容器冷却材ドレンタンクガス分析ライン格納容器第二隔離弁	3V-WL-079	×	①		R43-TE333D	非常用D/G（B）固定子巻線温度（U相）検出器	③		3V-RM-015	格納容器空気サンプル戻り格納容器外側隔離弁	③	
廃棄物処理系	3A,3B格納容器冷却材ドレンタンクベントライン格納容器第一隔離弁	3V-WL-083	×	②	R43-TE334A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（U相）検出器	③	3V-BD-028A,B,C	ブローダウン止め弁	③			
	3A,3B格納容器冷却材ドレンタンクベントライン格納容器第二隔離弁	3V-WL-084	×	①	R43-TE334B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（U相）検出器	③	3V-BD-008A,B,C	蒸気発生器サンプルラインC/V外側隔離弁	③			
	3A,3B格納容器冷却材ドレンタンク緊急供給ライン格納容器第一隔離弁	3V-WL-084	×	①	R43-TE335A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（V相）検出器	③	3V-BD-028A,B,C	ブローダウンC/V外側隔離弁	③			
	3A,3B格納容器冷却材ドレンタンク緊急供給ライン格納容器第二隔離弁	3V-WL-084	×	②	R43-TE335B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（V相）検出器	③						
	3A,3B格納容器冷却材ドレンタンク出口格納容器第一隔離弁	3V-WL-042	×	①	R43-TE336A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（W相）検出器	③						
	3A,3B格納容器冷却材ドレンタンク出口格納容器第二隔離弁	3V-WL-043	×	①	R43-TE336B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（W相）検出器	③						
	3A,3B格納容器サンプルポンプ出口格納容器第一隔離弁	3V-WL-143	×	②	R43-TE337B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（U相）検出器	③						
	3A,3B格納容器サンプルポンプ出口格納容器第二隔離弁	3V-WL-144	×	①	R43-TE338A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（V相）検出器	③						
	3A,3B格納容器冷却材ドレンタンク出口格納容器第一隔離弁	3V-FS-502	×	①	R43-TE338B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（V相）検出器	③						
	3A,3B格納容器冷却材ドレンタンク出口格納容器第二隔離弁	3V-FS-502	×	①	R43-TE339B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（W相）検出器	③						
直火水素	3A,3B水素ライン格納容器隔離弁	3V-FS-502	×	①	R43-TE341A	非常用D/G（A）軸受温度検出器	③						
	3A,3B水素ライン格納容器隔離弁	3V-FS-502	×	①	R43-TE341B	非常用D/G（B）軸受温度検出器	③						
炉内放射線監視ガスバーフ系	3A,3B炉内放射線監視ガスバーフライン格納容器第一隔離弁	3V-1G-009	×	②	R43-TI051A	機関入口ディーゼル冷却水温度指示計	④						
	3A,3B炉内放射線監視ガスバーフライン格納容器第二隔離弁	3V-1G-008	×	①	R43-TI051B	機関入口ディーゼル冷却水温度指示計	④						
—	手動弁一式		×	⑤	R43-TI054A	機関出口ディーゼル冷却水温度指示計（接点付）	④						
	遮断弁一式		×	⑤	R43-TI054B	機関出口ディーゼル冷却水温度指示計（接点付）	④						
換気調整系	3換気空調機	3VF	○	—	R43-TI059A	機関入口潤滑油温度指示計（接点付）	④						
	3A,3B中央制御室空調ファン		○	—									
	3A,3B中央制御室循環ファン		○	—									
	3A,3B中央制御室非常用循環ファン	3VF22A,B	○	—									
	3A,3B中央制御室外気取入止めダンパ	3D-VS-601A,B	×	①									
	3A,3B中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ	3D-VS-602A,B	○	—									
	3A,3B中央制御室空調ファン出口ダンパ	3D-VS-603A,B	○	—									
	3A,3B中央制御室循環ファン入口ダンパ	3D-VS-604A,B	○	—									
	3A,3B中央制御室外気取入流量調節ダンパ	3HD-2874,2875	○	—									
	3A,3B中央制御室循環流量調節ダンパ	3HD-2885,2886	○	—									
3A,3B中央制御室前大気放出流量調節ダンパ	3HD-2887,2888	×	①										
3A,3B中央制御室事故時外気取入流量調節ダンパ	3HD-2889,2890	○	—										

※1 評価対象外とした理由  
 ①溢水により機能を喪失しない  
 ②炉内放射線監視用の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

※1 評価対象外とした理由  
 ①溢水により機能を喪失しない  
 ②原子力格納容器内側環境付帯の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④その他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由	
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト（7/10）					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（7/24）				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（7/9）				【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違	
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	系統	機器番号	機器名称	理由 <sup>※1</sup>		
換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時前扉式風量調節ダンパ	3BCD-2891, 2892	○	—	00	R43-TIS109B	機関入口潤滑油温度指示計（接点付）	④	燃料取替用水系統	3RF-P	燃料取替用水ビット	①		
	3B中央制御室湿度(1), (2)	3TS-2908, 2909	○	—	00	R43-TIS343A	非常用D/G(A) 軸受温度指示計（接点付）	④	燃料取替用水系統	3RFH1	燃料取替用水加熱器	①		
	3A, 3B中央制御室非常用前扉ファン出口流量	3FS-2904, 2905	○	—	06	R43-TIS343B	非常用D/G(B) 軸受温度指示計（接点付）	④	制御用空気系統	3V-1A-514A, B	制御用空気原子炉格納容器内供給弁	②		
	3A, 3B中央制御室空調ファン出口流量	3FS-2910, 2911	○	—	06	R43-TS112A	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④	換気空調設備系統	3D-VS-291A, B	燃料取扱機事故時排気ライン隔離ダンパ	③		
	34キックン排気扇1, 2隔障ダンパ	34B-VS-605, 606	×	①	06	R43-TS112B	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④	換気空調設備系統	3VSA7A, B	アニュラス空気浄化フィルタユニット	①		
	3A, 3B中央制御室外気取入調節ダンパ流量設定	30C-2874, 2875	○	—	PCS	T49-A001A	FCS再結合器(A)	①	換気空調設備系統	—	排気筒	①		
	3A, 3B中央制御室前扉ダンパ流量設定	30C-2885, 2886	○	—	PCS	T49-A001B	FCS再結合器(B)	①	換気空調設備系統	3V-VS-055	格納容器給気ライン格納容器外側隔離弁	③		
	A, B中央制御室外気取入調節ダンパ流量設定	30C-2897, 2898	×	①	PCS	T49-B001B	FCS冷却器(B)	①	換気空調設備系統	3V-VS-056	格納容器給気ライン格納容器内側隔離弁	②		
	3A, 3B中央制御室事故時外気取入調節ダンパ流量設定	30C-2899, 2890	○	—	PCS	T49-D001A	FCS気水分離器(A)	①	換気空調設備系統	3V-VS-061	格納容器排気ライン格納容器内側隔離弁	②		
	3A, 3B中央制御室事故時前扉ダンパ流量設定	30C-2891, 2892	○	—	PCS	T49-T001A	FCS(A) 入口ガス温度検出器	③	換気空調設備系統	3V-VS-062	格納容器排気ライン格納容器外側隔離弁	③		
	34A, 3部安全補機閉閉器室空調ファン	—	—	○	—	PCS	T49-T001B	FCS(B) 入口ガス温度検出器	③	換気空調設備系統	3VSA18A, B	安全補機室冷却ユニット	①	
	34C, 3部安全補機閉閉器室空調ファン	—	—	○	—	PCS	T49-T009A-1	FCS再結合器(A) 内ガス温度検出器	③	換気空調設備系統	3D-VS-301A, B	安全補機室給気第1隔離ダンパ	③	
	3安全系電気配管給気止めダンパA, B	3D-VS-532, 533	○	—	PCS	T49-T009B-1	FCS再結合器(B) 内ガス温度検出器	③	換気空調設備系統	3D-VS-302A, B	安全補機室給気第2隔離ダンパ	③		
	3安全系電気配管排気止めダンパA, B	3D-VS-536, 537	○	—	PCS	T49-T009B-2	FCS再結合器(B) 内ガス温度検出器	③	換気空調設備系統	3D-VS-303A, B	安全補機室排気第1隔離ダンパ	③		
	3A, 3B安全補機閉閉器室湿度	3TS-2817, 2818	○	—	PCS	T49-T009B-2	FCS再結合器(B) 内ガス温度検出器	③	換気空調設備系統	3D-VS-304A, B	安全補機室排気第2隔離ダンパ	③		
	3A, 3B制御用空気圧縮機室給気ファン	—	—	○	—	FDW	B21-F052A	F/DW第二隔離弁(A)	③	換気空調設備系統	3D-VS-402A, B, C, D	ディーゼル発電機室排気ダンパ	③	
	3制御用空気圧縮機室湿度(1), (2), (3), (4)	3TS-2771, 2772, 2773, 2774	○	—	FDW	B21-F052B	F/DW第二隔離弁(B)	③	換気空調設備系統	3VSO2A, B	原子炉建屋給気ガラリ	①		
	3制御用空気圧縮機室排気ダンパA, B	3D-VS-431A, B	○	—	FPV	FS1	使用済燃料プール	①	換気空調設備系統	3VSA6A, B	安全補機閉閉器室給気ユニット	①		
	3A, 3B電動補助給水ポンプ室給気ファン	—	—	○	—	FPV	641-A001A	スキマオーグティング	①	換気空調設備系統	—	—	—	
	3A, 3B電動補助給水ポンプ室湿度(1), (2)	3TS-2741, 2742, 2743, 2744	○	—	FPV	641-A001B	スキマオーグティング	①	換気空調設備系統	—	—	—	—	
	3電動補助給水ポンプ室排気ダンパA, B	3D-VS-411A, B	○	—	FPV	641-B001B	燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)	①	換気空調設備系統	—	—	—	—	
	3A1, 3A2, 3B1, 3B2ディーゼル発電機室給気ファン	—	—	○	—	FPV	641-D006A	ブール浄化水戻りデフューザ	①	換気空調設備系統	—	—	—	—
	3A, 3Bディーゼル発電機室湿度(1), (2), (3), (4)	3TS-2701, 2702, 2703, 2704, 2711, 2712, 2713, 2714	○	—	FPV	641-D006B	ブール浄化水戻りデフューザ	①	換気空調設備系統	—	—	—	—	—
	3ディーゼル発電機室排気ダンパA1, A2, B1, B2	3D-VS-401A, B, 402A, B	○	—	FPV	641-F012	F/P/Cろ過機設置出口弁	③	換気空調設備系統	—	—	—	—	—
	3A, 3B安全補機室冷却ファン	—	—	○	—									
	3A, 3B安全補機室湿度(1), (2)	3TS-2890, 2891, 2899, 2899	○	—										
	3A, 3B1号酸ポンプ室空調ファン	—	—	○	—									
	3A, 3B1号酸ポンプ室空調ファン給気加熱コイル	—	—	○	—									
	3A, 3B1号酸ポンプ室湿度調節弁	3TS-2901, 2911	○	—										
	3C1号酸タンク室湿度(1), (2), (3), (4)	3TS-2902, 2909, 2912, 2913	○	—										
	3A, 3Bアニュラス空気浄化ファン	3VSO2A, B	○	—										
	アニュラス空気浄化フィルタユニット電気加熱コイル	3VSO18A, B	×	①										
	3A, 3Bアニュラス排気ダンパ	3D-VS-101A, B	○	—										

※1 評価対象外とした理由  
①溢水により機能を喪失しない  
②P/C内側環境仕様の設備  
③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
④他の設備で代替できる

※1 評価対象外とした理由  
①溢水により機能を喪失しない  
②原子炉格納容器内側環境仕様の設備  
③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
④その他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (8/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (8/24)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (8/9)					【大飯】 記載表現の相違 女川審査其の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	系統	機器番号	機器名称	理由 <sup>※1</sup>			
換気空調系	3A, 3Bアニュラス戻りダンパ	3B-VS-104A, B	○	—	FPC	641-TS016	燃料貯蔵プール水位スイッチ	③	換気空調設備 系統	3VSA4A, B	中央制御室給気ユニット	①			
	3A, 3Bアニュラス全量排気弁	3V-VS-102A, B	○	—	FPC	641-P1006	F P Cポンプ入口圧力指示計	③	換気空調設備 系統	3D-VS-601A, B	中央制御室外気取入ダンパ	⑤			
	3A, 3Bアニュラス少量排気弁	3V-VS-103A, B	○	—	FPC	641-TB001	F P Cポンプ入口温度検出器	③	換気空調設備 系統	3D-VS-611, 612	中央制御室排気第1 (2) 隔離ダンパ	⑤			
	3A, 3Bアニュラス圧力制御弁	3PT-2022, 2542	×	①	FPC	641-TB014A	F P C熱交換器 (A) 出口温度検出器	③	換気空調設備 系統	3KCD-2838, 2839	中央制御室排気風量調節ダンパ	③			
	3A, 3B格納容器排気ファン出口ダンパ	3B-VS-060A, B	×	①	FPC	641-TB014B	F P C熱交換器 (B) 出口温度検出器	③	換気空調設備 系統	3VSR	中央制御室非常用蓄電フィルタユニット	①			
	3格納容器排気止めダンパ	3B-VS-061	×	①	FPC	641-TB015	燃料貯蔵プール水位感	③	換気空調設備 系統	3D-VS-053	格納容器給気気密ダンパ	③			
	3補助建屋排気風量調節ダンパ	3KCD-2500	×	①	FPMU	P15-P1001	F P M U Wポンプ入口圧力	③	換気空調設備 系統	3D-VS-064	格納容器排気気密ダンパ	⑤			
	3補助建屋排気止めダンパ	3B-VS-351	×	①	FPMU	P15-P1004	F P M U Wポンプ出口圧力	③	換気空調設備 系統	3D-VS-065A, B	格納容器排気ファン出口ダンパ	③			
	3放射線管理室排気風量調節ダンパ	34PCD-2976	×	①	HCK	P25-4002A	換気空調補機非常用冷却水系サージタンク (A)	①	換気空調設備 系統	3D-VS-232	補助建屋排気隔離ダンパ	⑤			
	3放射線管理室排気止めダンパ	34B-VS-658	×	①	HCK	P25-4002B	換気空調補機非常用冷却水系サージタンク (B)	①	換気空調設備 系統	3ECD-2526	補助建屋排気風量調節ダンパ	③			
	3A, 3B安全補機室排気ダンパ	3B-VS-105A, B	○	—	HCK	P25-P007A	中央制御室給気冷却コイル (A) 温度調節弁	③	換気空調設備 系統	3CHT1	空調用冷水影響タンク	①			
	3安全補機室排気第1, 2隔離ダンパ	3B-VS-301, 302	×	①	HCK	P25-P007B	中央制御室給気冷却コイル (B) 温度調節弁	③	空調用冷水 設備系統	3V-FS-504	消火水C/V 外側隔離弁	③			
	3安全補機室排気第1, 2隔離ダンパ	3B-VS-303, 304	×	①	HCK	P25-P018A	計測制御電源 (A) 室給気冷却コイル温度調節弁	③	1次系建屋 水消火系統	3V-IG-008	炉内核計装装置 置ガスバージ 設備系統	③			
	3アニュラス給気第1, 2隔離ダンパ	3B-VS-052, 053	×	①	HCK	P25-P018B	計測制御電源 (B) 室給気冷却コイル温度調節弁	③	炉内核計装 置ガスバージ 設備系統	3V-IG-009	炉内核計装装置 置ガスバージ 設備系統	②			
	3アニュラス排気第1, 2隔離ダンパ	3B-VS-058, 059	×	①	HCK	P25-P024A	原子炉補機 (A) 室給気冷却コイル温度調節弁	③	原子炉格納容 器真空逃がし 装置系統	3V-VR-001A, B	真空逃がし装置 C/V 外側隔離弁	③			
	3格納容器給気第1隔離弁	3V-VS-054	×	①	HCK	P25-P024B	原子炉補機 (B) 室給気冷却コイル温度調節弁	③	非常用電源系	3DGT1A, B	ディーゼル発電機燃料油貯槽	①			
	3格納容器給気第1隔離弁	3V-VS-055	×	②	HCK	P25-LS011A	HE C Wサージタンク (A) 水位スイッチ	③	非常用電源系	3DGT2A, B	ディーゼル発電機燃料油サービスタンク	①			
	3格納容器排気第1隔離弁	3V-VS-056	×	②	HCK	P25-LS011B	HE C Wサージタンク (B) 水位スイッチ	③							
	3格納容器排気第2隔離弁	3V-VS-057	×	①	HCK	P25-LS011C	HE C W冷水ポンプ (A) 出口圧力	③							
	3A, 3B安全補機室冷却ファン現場操作箱	3LB-82, 85	○	—	HCK	P25-P1001A	HE C W冷水ポンプ (A) 出口圧力	③							
	3A1/A2, 3B1/B2ディーゼル発電機室給気ファン現場操作箱	3LB-84, 86	○	—	HCK	P25-P1001B	HE C W冷水ポンプ (B) 出口圧力	③							
	3A, 3B電機補助給水ポンプ室給気ファン現場操作箱	3LB-86, 87	○	—	HCK	P25-P1001C	HE C W冷水ポンプ (C) 出口圧力	③							
	3A, 3B南側用空圧圧縮機室給気ファン現場操作箱	3LB-90, 91	○	—	HCK	P25-P1001D	HE C W冷水ポンプ (D) 出口圧力	③							
	3A, 3B中央制御室循環ファン現場操作箱	3LB-93, 95	○	—	HCK	P25-P1007A	HE C W冷水ポンプ (A) 入口圧力	③							
	3A, 3B中央制御室空調ファン現場操作箱	3LB-101, 102	○	—	HCK	P25-P1007B	HE C W冷水ポンプ (B) 入口圧力	③							
	3A, 3B3号炉, 3B4号炉安全補機室閉鎖室空調ファン現場操作箱	34LB-13, 14, 20, 21	○	—	HCK	P25-P1007C	HE C W冷水ポンプ (C) 入口圧力	③							
	3A, 3B3号炉, 3B4号炉安全補機室空調ファン現場操作箱	34LB-77, 78	○	—	HCK	P25-P1007D	HE C W冷水ポンプ (D) 入口圧力	③							
3A, 3Bアニュラス空気浄化ファン現場操作箱	3LB-82, 83	○	—												
3A, 3B中央制御室非常用蓄電ファン現場操作箱	3LB-97, 98	○	—												
3空調用冷水貯蔵タンク		×	⑤												
3A, 3B, 3C, 3D空調用冷水槽		○	—												
3A, 3B, 3C, 3D空調用冷水ポンプ		○	—												
3A, 3B, 3C, 3D安全補機室閉鎖室空調ユニット冷水温度調節弁	34TCV-2900, 2901	○	—												
3A, 3B中央制御室空調ユニット冷水温度調節弁	3TCV-2878, 2879	○	—												

※1 評価対象外とした理由  
 ① 溢水により機能を喪失しない  
 ② 炉内耐環境仕様設備  
 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④ 他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (9/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (9/24)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (9/9)					【大飯】 記載表現の相違 女川審査其後の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	系統	機器番号	機器名称	理由 <sup>※1</sup>			
冷水系	3号炉用冷水Nヘッダ供給、戻りライン止の弁	3V-CI-002, 003	○	—	※1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない。 ②炉内貯留環境仕様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない。 ④他の設備で代替できる	HPCW	F24-F302	HNCW供給ライン第二隔離弁	④	関連設備	3NE41A, B, 3NE42A, B, 3NE43A, B, 3NE44A, B	出力領域検出器	②		
	3号炉排気管冷却水ユニット冷水入口、出口格納容器隔離弁	3V-CI-003, 007	×	①		HPCW	F24-F307	HNCW戻りライン第一隔離弁	②		関連設備	3NE31, 32	中性子領域検出器	②	
	3A, 3B, 3C, 3D空調用冷水ポンプ現場格納弁	3V-LF-103, 104, 105, 106	○	—		HPCS	E22-0010	高圧炉心スプレーストレーナ	①			関連設備	3RE-91A, 92A	格納容器高レンジエアモニタ（低レンジ）	②
格納容器減圧系及び水素制御設備	3A, 3B格納容器減圧装置排気ライン格納容器隔離1設備弁	3V-DF-001A, B	×	②		HPCS	E22-0706	HPCSノズル高圧伝送器	③	関連設備		3RE-91B, 92B	格納容器高レンジエアモニタ（高レンジ）	②	
	3A, 3B格納容器減圧装置排気ライン格納容器隔離2設備弁	3V-DF-002A, B	×	①		HPCS	E22-F010	HPCS S/C類試験用調整弁	③	—	—	—	①		
	3A, 3B格納容器減圧装置排気ライン格納容器隔離3設備弁	3V-DC-000A, B	×	③		HPCS	E22-F021	HPCS注入ライン試験可能逆止弁格納弁	②	—	—	—	①		
	3A, 3B格納容器減圧装置排気ライン格納容器隔離4設備弁	3V-DC-005A, B	×	①		HPCS	E22-F065B	HPCSポンプ出口流量差機器	③	—	—	—	①		
放射線監視設備 空気サンプリング系	3格納容器サンプル取り出しライン格納容器隔離1設備弁	3V-RI-001	×	②		HPCS	E22-P001	HPCSポンプ入口圧力	③	※1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない。 ②炉内貯留環境仕様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない。 ④他の設備で代替できる	—	—	—	①	
	3格納容器サンプル取り出しライン格納容器隔離2設備弁	3V-RI-002	×	①		HPCS	E22-P1004	HPCSポンプ出口圧力	③		—	—	—	①	
	3格納容器サンプル取り出しライン格納容器隔離3設備弁	3V-RI-013	×	①		HPCS	E22-P001A	HPCSポンプ入口圧力伝送器	③		HPCSDG	R44-A001	排水貯留タンク	①	
電気室	3主盤（原子炉盤）	3RBC	○	—		HPCSDG	R44-A002	潤滑油補給タンク	①		HPCSDG	R44-A200	軽油タンク（G）	①	
	3原子炉補助盤	3RAD	○	—		HPCSDG	R44-A201	燃料デイトンク	①		HPCSDG	R44-A300	空気だめ（自動）	①	
	3原子炉安全保護計装盤1, II, III, IV	3RPF-1, II, III, IV	○	—		HPCSDG	R44-B001	排水冷却器	①		HPCSDG	R44-B003	機関付空気冷却器	①	
	3A, 3B, 3C, 3D原子炉安全保護ロジック盤	3RPL-A, B, C, D	○	—		HPCSDG	R44-B100	潤滑油冷却器	①		HPCSDG	R44-B302	発電機冷却潤滑油冷却器	①	
	3安全保護シーケンス盤601, 602, 601, 602	3SPS-A1, A2, B1, B2	○	—		HPCSDG	R44-D100	機関付潤滑油フィルタ	①		HPCSDG	R44-D000	燃料移送ポンプ入口ストレーナ	①	
	3A1, 3A2, 3A3, 3B1, 3B2, 3B3, 3B4ゾレノイド分電盤	3SD-A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	○	—		HPCSDG	R44-D001	HPCS D/G燃料移送ポンプ出口フィルタ	①		HPCSDG	R44-D002-1	燃料油フィルタ-1	①	
	3原子炉トリップ遮断器盤	3RTS	○	—		HPCSDG	R44-D002-2	燃料油フィルタ-2	①		HPCSDG	R44-D000	始動用空気Y型ストレーナ	①	
	3A, 3Bドロップ盤	3RCP-A-DRP, 3RCP-B-DRP	○	—		HPCSDG	R44-D0011	始動用空気Y型ストレーナ	①		HPCSDG	R44-0S112	機関付潤滑油フィルタ差圧	③	
	3A, 3B直流き電盤	3RDP-A, B	○	—											
	3A, 3B直流分電盤	3RDP-A, B	○	—											
	3A, 3B蓄電池	—	○	—											
	3A, 3B充電機	3RCP-A, B	○	—											
	3A1, 3A2, 3B1, 3B2メタルクラッドスイッチギア	3RC-A1, A2, B1, B2	○	—											
	3A1, 3A2, 3B1, 3B2パワーセンタ	3PC-A1, A2, B1, B2	○	—											
	3A1, 3A2, 3B1, 3B2原子炉コントロールセンタ	3RCC-A1, A2, B1, B2	○	—											
	3A, 3B, 3C, 3D計装用電解盤(1)~(3)	3IBC-A, B, C, D	○	—											
	3A1, 3A2, 3B1, 3B2, 3C1, 3C2, 3D1, 3D2計装用分電盤	3IFP-A1, A2, B1, B2, C1, C2, B1, B2	○	—											
	3A, 3B, 3C, 3D計装用交流電圧制御盤	3ISP-A, B, C, D	○	—											
	3所内盤	3ISR	○	—											
	3AC, 3BD計装用後備分電盤	3IBP-AC, BD	○	—											
	3事故時放射線監視盤	3PRMS-III, IV	○	—											
	計器	3出力領域中性子束	3V-41, 42, 43, 44	×	②										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉	相違理由	
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (10/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (10/24)						
系統	設 置	番 号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設 備	理由 <sup>※1</sup>			
計器	中性子源領域中性子束	3N-31,32	×	②	BPVSDG	R44-4PS210	燃料油フィルタ差圧スイッチ	③		<p><b>【大飯】</b></p> <p>記載表現の相違                      女川審査実績の反映                      設計方針の相違                      プラント設計の違いによる相違</p> <p><b>【女川】</b></p> <p>記載表現の相違                      設計方針の相違                      プラント設計の違いによる相違</p>	
	3相誘導電動機レンジリアコンタクト(レンジ) ・(高レンジ)	3BE-91A, 91B, 92A, 92B	×	②	BPVSDG	R44-6200	ブレーキシムルチューブ	①			
	3A, 3Bディーゼル機関		○	—	BPVSDG	R44-L1S050	排水影響タンク水位指示計 (接点付)	④			
非常用電源系	3A, 3Bディーゼル発電機		○	—	BPVSDG	R44-LS257	シリンダー浸水スイッチ	④			
	3A, 3Bディーゼル発電機種コントロールセン サ	3BCC-A, B	○	—	BPVSDG	R44-P1082	機関付清水ポンプ出口圧力	③			
	3A, 3Bディーゼル発電機制御装置	3BCC-A, B	○	—	BPVSDG	R44-P1102	機関付潤滑油ポンプ出口圧力指示計	③			
スクリーンアウトの考え方 ①プラント停止操作時に動作要求のない電動弁及び動作機能喪失により フェイルポジションとなる空気制御弁並びに完全弁は機能喪失しても、 安全機能に影響しない（動作要求のない電子制御弁等機器の格納容 器隔離弁を含む）。 ②原子炉格納容器内の防護対象設備は温度、圧力条件及び溢水影響を考 慮した留置状態であるため機能喪失しない。又は、溢水事故が発生 した場合のプラント停止操作において必ずしも必要でないもの。 ③タンク、熱交換器、逆止弁、手動弁等の静的機器は溢水により機能喪失し ない。 ④他の設備で代替できる。											
＜溢水影響評価対象外の注記＞ ※1 静的機器は溢水により機能喪失しないが、プラント停止の対応設備 を明確にするために防護対象設備リストに追加した。一方、機能喪 失高さは「—」として溢水影響評価の対象外とした。											
					BPVSDG R44-P1202 燃料油ストレーナ前後圧力指示計 ③						
					BPVSDG R44-P1203 燃料移送ポンプ出口圧力指示計 ③						
					BPVSDG R44-P1211 機関入口燃料油圧力指示計 ①						
					BPVSDG R44-P1256 機関入口吸気圧力指示計 ③						
					BPVSDG R44-P1S108 潤滑油プライミングポンプ出口圧力指示計 (接点付) ④						
					BPVSDG R44-P1S113 機関入口潤滑油圧力 ④						
					BPVSDG R44-P1S253 空気だめ圧力 (自動) 指示計 (接点付) ③						
					BPVSDG R44-P6S260 燃料ハンドル位置異常スイッチ ③						
					BPVSDG R44-P6S262 ターニングハンドル位置異常スイッチ ③						
					BPVSDG R44-P8S250 空気だめ圧力 (自動) スイッチ ③						
					BPVSDG R44-PS251 空気だめ圧力 (自動) スイッチ ③						
					BPVSDG R44-TE301H H P C S D / G 固定子巻線温度 (U相) 検出器 ③						
					BPVSDG R44-TE302H H P C S D / G 固定子巻線温度 (V相) 検出器 ③						
					BPVSDG R44-TE303H H P C S D / G 固定子巻線温度 (W相) 検出器 ③						
					BPVSDG R44-TE304H H P C S D / G 固定子巻線温度 (U相) 検出器 ③						
					BPVSDG R44-TE305H H P C S D / G 固定子巻線温度 (V相) 検出器 ③						
					BPVSDG R44-TE306H H P C S D / G 固定子巻線温度 (W相) 検出器 ③						
					BPVSDG R44-TE307H H P C S D / G 固定子巻線温度 (U相予備) 検出器 ③						
					BPVSDG R44-TE308H H P C S D / G 固定子巻線温度 (V相予備) 検出器 ③						
					BPVSDG R44-TE309H H P C S D / G 固定子巻線温度 (W相予備) 検出器 ③						
					BPVSDG R44-TE341H H P C S D / G 反直結倒轉受温度検出器 ④						
					※1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②PCV内耐震増設仕様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④他の設備で代替できる						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由	
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (1/10)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (11/24)								<p>【大飯】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる相違</p>	
系統	設備	番号	根本影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>					
1次冷却材系	4号炉容器		×	②	HP/SDG	R44-TS342H	H P C S D / G 直結側軸受温度検出器	④					
	4A, 4B, 4C, 4D 蒸気発生器		×	⑤	HP/SDG	R44-T1051	機関入口グリース冷却水温度指示計	⑤					
	4A, 4B, 4C, 4D-1 冷却材ポンプ		×	①	HP/SDG	R44-T1103	機関出口潤滑油温度指示計	⑤					
	4加圧器		×	②	HP/SDG	R44-TS3054	機関出口グリース冷却水温度指示計（接点付）	④					
	4A, 4B, 4C, 4D 圧器安全弁	4F-BC-055, 056, 057		×	③	HP/SDG	R44-T25111	機関潤滑油温度	⑤				
	4A, 4B 加圧器過剰し弁弁弁	4F-BC-054A, B		×	①	HP/SDG	R44-TS343H	H P C S D / G 直結側軸受温度指示計（接点付）	④				
	4加圧器過剰しタンクガス分析ライン格納装置系（直結系）	4F-BC-077		×	②	HP/SDG	R44-TS344H	H P C S D / G 直結側軸受温度指示計（接点付）	④				
	4加圧器過剰しタンクガス分析ライン格納装置系（直結系）	4F-BC-078		×	①	HP/SDG	R44-TS107	潤滑油グライミングポンプ入口温度スイッチ	⑤				
	4加圧器過剰しタンク蒸気戻流ライン格納装置系（直結系）	4F-BC-084		×	①	HP/SDG	R44-TS107	潤滑油グライミングポンプ入口温度スイッチ	⑤				
	4格納装置内潤滑水供給ライン格納装置過剰弁	4F-BC-095		×	①	HP/PCW	P47-8001	高圧炉心スプレイト補機冷却水サージタンク	①				
	4A, 4B 加圧器スプレイト弁	4F-CV-451A, B		×	①	HP/PCW	P47-8001	高圧炉心スプレイト補機冷却水系熱交換器	①				
	4-1 冷却材圧力	4FT-429, 430		×	②	HP/PCW	P47-L1007	H P C W サージタンク水位	④				
	4加圧器水位	4L1-451, 452, 453, 454		×	②	HP/PCW	P47-P1001	H P C W ポンプ出口圧力	④				
	4A, B, C, D/A-1 次冷却材高温側・低流量異常（広域）	41E-410, 415, 420, 425 430, 435, 440, 445		×	②	HP/PCW	P47-P1005	H P C W ポンプ入口圧力	④				
	4A, B, C, D/A-1 次冷却材高温側・低流量異常（狭域）	41E-411A, 411B, 411C, 411D, 421A, 421B, 421C, 421D, 431A, 431B, 431C, 431D, 441A, 441B, 441C, 441D		×	②	HP/PCW	P47-P1004	H P C W 冷却水供給圧力伝送器	④				
	4加圧器圧力	4FT-451, 452, 453, 454		×	②	HP/PCW	P47-T3003	H P C W 冷却水供給温度検出器	④				
	4A, B, C, D/A-1 次冷却材流量	421-412, 413, 414, 415 422, 423, 424, 425 432, 433, 434, 435 442, 443, 444, 445		×	②	HP/SW	P48-D001A	高圧炉心スプレイト補機冷却水系ストレーナ（A）	①				
	1次冷却材ポンプ回転数	43E-4185, 425A 430B, 448A		×	②	HP/SW	P48-D001B	高圧炉心スプレイト補機冷却水系ストレーナ（B）	①				
	化学体積制御系	4A, 4B 加圧器ポンプ		○	—	HP/SW	P48-4P1003	H P S W 熱交換器側差圧指示計	④				
		4A, 4B, 4C 充てんポンプ		○	—	HP/SW	P48-P1001	H P S W ポンプ出口圧力	④				
		4圧縮機タンク		×	⑤	HP/SW	P48-P1001	H P S W ポンプ出口圧力伝送器	④				
		4再生熱交換器		×	⑤	-	-	排気筒	①				
		4A, 4B 加圧器タンク		×	⑤	BVAC	V10-T201A	C A M S (A) 窒非常用給気隔離ダンパ	④				
加圧器スプレイト弁			×	⑤	BVAC	V10-T201B	C A M S (B) 窒非常用給気隔離ダンパ	④					
4排水冷却器			×	⑤	BVAC	V10-T202A	C A M S (A) 窒非常用排気隔離ダンパ	④					
4A, 4B 排水注入フィルタ			×	⑤	BVAC	V10-T202B	C A M S (B) 窒非常用排気隔離ダンパ	④					
4排水ストレーナ			×	⑤	BVAC	V10-T203	D C - M C C 2 A 窒非常用給気隔離ダンパ	④					
4体積制御タンク出口第1止め弁		4LCV-121B		○	—								
4体積制御タンク出口第2止め弁	4LCV-121C		○	—									
4緊急加圧器注入ライン補弁	4F-CV-573		○	—									

※1 評価対象外とした理由  
 ① 溢水により機能を喪失しない  
 ② 炉内耐漏域仕様の設備  
 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④ 他の設備で代替される





赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉						女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (3/10)						表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (13/24)						
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方		系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>			
安全注入系	IA, IB, IC, 4号炉圧タンク出口弁	4V-S1-322A, B, C, D	×	㊟		HVAC	V12-B001	原子炉補機 (B) 空給気冷却コイル	㊟			
	4号炉納容器前高圧ポンプ水位(検知) (注1)	4LT-903, 971 1972, 973	×	㊟		HVAC	V12-B002	原子炉補機 (B) 空給気加熱コイル	㊟			
	IA, 48高圧注入ポンプ現場操作箱	4LB-12, 13	○	—		HVAC	V12-D001	原子炉補機 (B) 空給気バッグエアフィルタ	㊟			
	燃料取扱用排水ピット水位 I, II, III, IV	4LT-1400, 1401 1402, 1403	○	—		HVAC	V12-D002	D/G (B) 空給気バッグエアフィルタ	㊟			
	48高圧注入流量 (I), 48高圧注入流量 (II)	4FT-962, 963	○	—		HVAC	V12-2PT001	原子炉補機 (B) 空給気バッグエアフィルタ差圧指示計	㊟			
	IA, 48余熱除去ポンプ		○	—		HVAC	V12-2PT003	D/G (B) 空給気バッグエアフィルタ差圧指示計	㊟			
余熱除去系	IA, 48余熱除去冷却器		×	㊟		HVAC	V12-3001	原子炉補機 (B) 空給気ループ	㊟			
	IA, 48余熱除去ポンプスリムマフローライン止め弁	4PCV-601, 611	○	—		HVAC	V12-3002	原子炉補機 (B) 空給気ループ	㊟			
	IA, 48余熱除去冷却器出口流量測定弁	4BCV-603, 613	×	㊟		HVAC	V12-3003	原子炉補機 (B) 空給気ループ (A)	㊟			
	IA, 48余熱除去冷却器バイパス流量測定弁	4PCV-604, 614	×	㊟		HVAC	V12-3004	D/G (B) 空給気ループ	㊟			
	IA, 48余熱除去ポンプ出口格納容器隔離弁	4PCV-420, 430	×	㊟		HVAC	V12-3004A	D/G (B) 空給気ループ (A)	㊟			
	IA, 48余熱除去ポンプ入口格納容器隔離弁	4V-8H-002A, B	×	㊟		HVAC	V12-3004B	D/G (B) 空給気ループ (B)	㊟			
	IA, 48余熱除去冷却器出口格納容器隔離弁	4V-8H-043A, B	×	㊟		HVAC	V13-B001A	原子炉補機 (H P C S) 空給気加熱コイル (A)	㊟			
	IA, 48余熱除去冷却器出口連流弁	4V-8H-047A, B	×	㊟		HVAC	V13-B001B	原子炉補機 (H P C S) 空給気加熱コイル (B)	㊟			
	IB, 4ループ高圧調整圧注入ライン止め弁	4V-8H-048A, B	×	㊟		HVAC	V13-D001	原子炉補機 (H P C S) 空給気バッグエアフィルタ	㊟			
	IA, 48余熱除去ポンプ出口流量	4FT-601, 611	○	—		HVAC	V13-D002	D/G (H P C S) 空給気バッグエアフィルタ	㊟			
	IA, 48余熱除去ポンプ現場操作箱	4LB-14, 15	○	—		HVAC	V13-2PT001	原子炉補機 (H P C S) 空給気バッグエアフィルタ差圧	㊟			
	格納容器スプレイ系	IA, 48格納容器スプレイポンプ		○	—		HVAC	V13-2PT003	D/G (H P C S) 空給気バッグエアフィルタ差圧指示計	㊟		
IA, 48格納容器スプレイ冷却器			×	㊟		HVAC	V13-3001	原子炉補機 (H P C S) 空給気ループ	㊟			
4より蒸除去薬品タンク			×	㊟		HVAC	V13-3002	原子炉補機 (H P C S) 空給気ループ	㊟			
4PI調整剤タンク			×	㊟		HVAC	V13-3003	D/G (H P C S) 空給気ループ	㊟			
IA, 48より蒸除去薬品注入ライン第1止め弁		4V-CP-054A, B	○	—		HVAC	V13-3004	D/G (H P C S) 空給気ループ	㊟			
IA, 48より蒸除去薬品注入ライン第2止め弁		4V-CP-056A, B	○	—		HVAC	V30-B001A	中央制御室空給気冷却コイル (A)	㊟			
IA, 48格納容器スプレイポンプ燃料取扱用ピットへ戻入口止め弁		4V-CP-001A, B	○	—		HVAC	V30-B001B	中央制御室空給気冷却コイル (B)	㊟			
IA, 48格納容器スプレイポンプ前高圧ポンプ戻入口格納容器隔離弁		4V-CP-003A, B	○	—		HVAC	V30-B001C	中央制御室空給気冷却コイル (C)	㊟			
IA, 48格納容器スプレイ冷却器出口格納容器隔離弁		4V-CP-024A, B	○	—		HVAC	V30-B001D	中央制御室空給気冷却コイル (D)	㊟			
48格納容器圧力 (点検) I, II, III, IV		4PT-960, 961 962, 963	○	—		HVAC	V30-B001E	中央制御室空給気冷却コイル (E)	㊟			
主蒸気及び 主給水系、 補助給水系	IA, 48格納容器スプレイポンプ現場操作箱	4LB-16, 19	○	—		HVAC	V30-B001F	中央制御室空給気冷却コイル (F)	㊟			
	4タービン駆動補助給水ポンプ		○	—								
	IA, 48電動補助給水ポンプ		○	—								
	4復水ピット		×	㊟								
	4タービン駆動補助給水ポンプ起動弁A, B	4V-8S-570A, B	○	—								
	IA, IB, IC, 4号炉中給水隔離弁	4V-7F-574A, B, C, D	×	㊟								
IA, IB, IC, 4号炉補助給水タンク流量測定弁	4V-7F-557A, B, C, D	×	㊟									

【大飯】  
 記載表現の相違  
 女川審査実績の反映  
 設計方針の相違  
 プラント設計の違いによる相違

【女川】  
 記載表現の相違  
 設計方針の相違  
 プラント設計の違いによる相違

※1 評価対象外とした理由  
 ①溢水により機能を喪失しない  
 ②PIPI耐腐蝕仕様の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④単一の設備で代替される

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由		
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (4/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (14/24)										【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違		
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>					
主蒸気及び予給水系、補助給水系	4号炉ピット電動補助給水ポンプ停止弁	4V-F9-580	×	①	HVAC	V30-B002A	中央制御室給気加熱コイル (A)	①	HVAC	V30-B002A	中央制御室給気加熱コイル (A)	①	HVAC	V30-B002A	中央制御室給気加熱コイル (A)	①	
	4号炉ピットタービン補助給水ポンプ停止弁	4V-F9-581	×	①		V30-B002B	中央制御室給気加熱コイル (B)	①		V30-B002B	中央制御室給気加熱コイル (B)	①		V30-B002B	中央制御室給気加熱コイル (B)	①	
	4A, 4B, 4C, 4Dタービン補助給水ライン流量調整弁	4B-V-3715, 3725, 3735, 3745	×	①		V30-B002C	中央制御室給気加熱コイル (C)	①		V30-B002C	中央制御室給気加熱コイル (C)	①		V30-B002C	中央制御室給気加熱コイル (C)	①	
	4A, 4Bタービン補助給水ポンプ駆動蒸気供給ライン止弁	4V-M5-575A, B	×	①		V30-B002D	中央制御室給気加熱コイル (D)	①		V30-B002D	中央制御室給気加熱コイル (D)	①		V30-B002D	中央制御室給気加熱コイル (D)	①	
	4A, 4B, 4C, 4D主給水隔離弁	4V-F9-520A, B, C, D	×	②		V30-B002E	中央制御室給気加熱コイル (E)	①		V30-B002E	中央制御室給気加熱コイル (E)	①		V30-B002E	中央制御室給気加熱コイル (E)	①	
	4号炉ピット水位Ⅲ, IV	4L-F-3700, 3761	○	—		V30-B002F	中央制御室給気加熱コイル (F)	①		V30-B002F	中央制御室給気加熱コイル (F)	①		V30-B002F	中央制御室給気加熱コイル (F)	①	
	4A, 4B, 4C, 4D蒸気発生器補助給水流量調整弁	4FT-3710, 3720, 3730, 3740	○	—		V30-B002G	中央制御室給気加熱コイル (G)	①		V30-B002G	中央制御室給気加熱コイル (G)	①		V30-B002G	中央制御室給気加熱コイル (G)	①	
	4A, B, C, D蒸気発生器広域水位	4L-T-191, 174, 181, 191	×	②		V30-B002H	中央制御室給気加熱コイル (H)	①		V30-B002H	中央制御室給気加熱コイル (H)	①		V30-B002H	中央制御室給気加熱コイル (H)	①	
	4A, B, C, D蒸気発生器狭域水位	4L-T-480, 481, 492, 493, 470, 471, 472, 473, 480, 481, 482, 483, 490, 491, 492, 493	×	②		V30-B002I	中央制御室給気加熱コイル (I)	①		V30-B002I	中央制御室給気加熱コイル (I)	①		V30-B002I	中央制御室給気加熱コイル (I)	①	
	タービン補助給水ポンプ駆動機A, B	4TDP-A, B	○	—		V30-B001	中央制御室再循環中性化エアフィルタ	①		V30-B001	中央制御室再循環中性化エアフィルタ	①		V30-B001	中央制御室再循環中性化エアフィルタ	①	
	4A, 4B, 4C, 4D主蒸気隔離弁	4V-M5-533A, B, C, D	○	—		V30-B002A	中央制御室再循環高性能エアフィルタ (A)	①		V30-B002A	中央制御室再循環高性能エアフィルタ (A)	①		V30-B002A	中央制御室再循環高性能エアフィルタ (A)	①	
	4A, 4B, 4C, 4D主蒸気隔離弁バイパス弁	4B-V-3615, 3625, 3635, 3645	×	①		V30-B002B	中央制御室再循環高性能エアフィルタ (B)	①		V30-B002B	中央制御室再循環高性能エアフィルタ (B)	①		V30-B002B	中央制御室再循環高性能エアフィルタ (B)	①	
	4A, 4B, 4C, 4D主蒸気過し弁	4B-V-3610, 3620, 3630, 3640	○	—		V30-B003	中央制御室再循環チャコールエアフィルタ	①		V30-B003	中央制御室再循環チャコールエアフィルタ	①		V30-B003	中央制御室再循環チャコールエアフィルタ	①	
	4A, 4B, 4C, 4D-1主蒸気安全弁	4V-M5-528A, B, C, D	×	①		V30-B004A	MC R給気バッグフィルタ (A)	①		V30-B004A	MC R給気バッグフィルタ (A)	①		V30-B004A	MC R給気バッグフィルタ (A)	①	
	4A, 4B, 4C, 4D-2主蒸気安全弁	4V-M5-527A, B, C, D	×	①		V30-B004B	MC R給気バッグフィルタ (B)	①		V30-B004B	MC R給気バッグフィルタ (B)	①		V30-B004B	MC R給気バッグフィルタ (B)	①	
	4A, 4B, 4C, 4D-3主蒸気安全弁	4V-M5-528A, B, C, D	×	①		V30-B005A	中央制御室加温器 (A)	③		V30-B005A	中央制御室加温器 (A)	③		V30-B005A	中央制御室加温器 (A)	③	
	4A, 4B, 4C, 4D-4主蒸気安全弁	4V-M5-529A, B, C, D	×	①		V30-B005B	中央制御室加温器 (B)	③		V30-B005B	中央制御室加温器 (B)	③		V30-B005B	中央制御室加温器 (B)	③	
	4A, 4B, 4C, 4D-5主蒸気安全弁	4V-M5-530A, B, C, D	×	①		V30-B006C	中央制御室加温器 (C)	③		V30-B006C	中央制御室加温器 (C)	③		V30-B006C	中央制御室加温器 (C)	③	
	4A, 4B, 4C, 4D主蒸気隔離弁上流ドレンライン止弁	4V-M5-585A, B, C, D	×	①		V30-B005D	中央制御室加温器 (D)	③		V30-B005D	中央制御室加温器 (D)	③		V30-B005D	中央制御室加温器 (D)	③	
	4A, 4B, 4C, 4D主蒸気過し弁元弁	4V-M5-523A, B, C, D	×	①		V30-4PT001A	中央制御室給気バッグエアフィルタ (A) 差圧指示計	③		V30-4PT001A	中央制御室給気バッグエアフィルタ (A) 差圧指示計	③		V30-4PT001A	中央制御室給気バッグエアフィルタ (A) 差圧指示計	③	
	I, II, III, IV, 4A, 4B, 4C, 4D主蒸気圧力	4PT-465, 466, 467, 468, 475, 476, 477, 478, 485, 486, 487, 488, 495, 496, 497, 498	○	—		V30-4PT001B	中央制御室給気バッグエアフィルタ (B) 差圧指示計	③		V30-4PT001B	中央制御室給気バッグエアフィルタ (B) 差圧指示計	③		V30-4PT001B	中央制御室給気バッグエアフィルタ (B) 差圧指示計	③	
	原子炉補機冷却系	4A, 4B, 4C, 4D原子炉補機冷却水ポンプ		○		—	V30-4PT005	中央制御室再循環中性化エアフィルタ差圧指示計		③	V30-4PT005	中央制御室再循環中性化エアフィルタ差圧指示計		③	V30-4PT005	中央制御室再循環中性化エアフィルタ差圧指示計	③
		4原子炉補機冷却水サージタンク		×		②	V30-4PT006	中央制御室再循環高性能エアフィルタ (A) 差圧指示計		③	V30-4PT006	中央制御室再循環高性能エアフィルタ (A) 差圧指示計		③	V30-4PT006	中央制御室再循環高性能エアフィルタ (A) 差圧指示計	③
4A, 4B原子炉補機冷却水冷却器			×	②	V30-4PT007	中央制御室再循環チャコールエアフィルタ差圧指示計	③	V30-4PT007	中央制御室再循環チャコールエアフィルタ差圧指示計	③	V30-4PT007	中央制御室再循環チャコールエアフィルタ差圧指示計	③				
4A, 4B格納容器スプレイ冷却器冷却水止弁		4V-CC-128A, B	○	—	V30-4PT008	中央制御室再循環高性能エアフィルタ (B) 差圧指示計	③	V30-4PT008	中央制御室再循環高性能エアフィルタ (B) 差圧指示計	③	V30-4PT008	中央制御室再循環高性能エアフィルタ (B) 差圧指示計	③				
4A-C, 4B-C原子炉補機冷却水供給管逆止弁		4V-CC-056A, B	○	—	V30-ME1003A	中央制御室還気湿度 (A) 検出器 (変換器付)	③	V30-ME1003A	中央制御室還気湿度 (A) 検出器 (変換器付)	③	V30-ME1003A	中央制御室還気湿度 (A) 検出器 (変換器付)	③				
4A-C, 4B-C原子炉補機冷却水戻り管逆止弁		4V-CC-043A, B	○	—	V30-ME1003B	中央制御室還気湿度 (B) 検出器 (変換器付)	③	V30-ME1003B	中央制御室還気湿度 (B) 検出器 (変換器付)	③	V30-ME1003B	中央制御室還気湿度 (B) 検出器 (変換器付)	③				
4A, 4B冷却除去冷却器冷却水止弁		4V-CC-114A, B	○	—	V30-3001	MC R給気ルーバ	①	V30-3001	MC R給気ルーバ	①	V30-3001	MC R給気ルーバ	①				
4A, 4B冷却器冷却水ポンプ冷却器冷却水戻り管逆止弁		4V-CC-403	○	—													
4A, 4B冷却器冷却水ポンプ冷却器冷却水戻り管逆止弁		4V-CC-427	×	②													
4A, 4B冷却器冷却水ポンプ冷却器冷却水戻り管逆止弁		4V-CC-429	○	—													

※1 評価対象外とした理由  
 ① 設計より機能を喪失しない  
 ② PCT内前掲機仕様上の設備  
 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④ 他設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (5/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (15/24)						
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>			
原子炉補給冷却系	4号炉補給冷却ユニット・蒸餾抽出冷却器冷却水配管ライン(4号機)等	4V-CC-342	○	—	BYAC	V30-X002	MCR 排気ルーバ	①			【大飯】 記載表現の相違 女川審査其後の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
	4号炉補給冷却ユニット・蒸餾抽出冷却器冷却水配管ライン(4号機)等	4V-CC-365	○	—	BYAC	V31-B001	計測制御電源 (A) 室給気冷却コイル	①			
	4A, 4B, 4C 格納容器再循環ユニット冷却水配管ライン(格納容器隔離弁)	4V-CC-180A, B	○	—	BYAC	V31-B002	計測制御電源 (A) 室給気加熱コイル	①			
	4A, 4B, 4C 格納容器再循環ユニット冷却水配管ライン(格納容器隔離弁)	4V-CC-198A, B, C, D	○	—	BYAC	V31-B001	計測制御電源 (A) 室給気バッグフィルタ	①			
	4号炉予備格納冷却水タンク未汲出し止め弁(4号機)	4V-CC-605, 606	○	—	BYAC	V31-4P1001	計測制御電源 (A) 室給気バッグエアフィルタ差圧指示計	③			
	4号炉予備格納冷却水タンク未汲出し止め弁	4LT-1200, 1201	○	—	BYAC	V31-X001	計測制御電源 (A) 室給気ルーバ	①			
	4A, 4B, 4C, 4D 原子炉補給冷却水ポンプ駆動機作前	4LB-20, 21, 22, 23	○	—	BYAC	V31-X002	計測制御電源 (A) 室給気ルーバ	①			
	4A, 4B, 4C 取水ポンプ	—	○	—	BYAC	V32-B001	計測制御電源 (B) 室給気冷却コイル	①			
	4号炉排水出口 4A, 4B, 4C, 4D 取水ポンプ	4S-S9-01A, B, C, D	※1	③	BYAC	V32-B002	計測制御電源 (B) 室給気加熱コイル	①			
	4A, 4B, 4C 取水ポンプ軸流ストレーナ, B	4S-S9-02A, B, C 4S-S9-03A, B, C	×	③	BYAC	V32-0001	計測制御電源 (B) 室給気バッグフィルタ	①			
	4A, 4B 原子炉補給冷却水冷却器取水止め弁	4V-S9-570A, B	○	—	BYAC	V32-0002	計測制御電源 (B) 室給気加熱コイル	①			
	4A, 4B1, 4B2, 4C 取水ポンプ駆動機作前	4LB-25, 27, 28, 29	○	—	BYAC	V32-0001	計測制御電源 (B) 室給気バッグフィルタ	①			
	4A, 4B 使用済燃料ピットポンプ	—	○	—	BYAC	V32-4P1001	計測制御電源 (B) 室給気バッグエアフィルタ差圧指示計	③			
	4A, 4B 使用済燃料ピット	—	※1	③	BYAC	V32-X001	計測制御電源 (B) 室給気ルーバ	①			
	燃料ピット冷却浄化系	4A, 4B, 4C 使用済燃料ピット冷却器	—	※1	③	BYAC	V32-X002	計測制御電源 (B) 室給気ルーバ	①		
4A, 4B 使用済燃料ピット配風扇		—	×	③	IA/HPIN	P52-P111	I A 第二隔離弁	②			
4A, 4B 使用済燃料ピットフィルタ		—	×	③	IA/HPIN	P54-P015	H P I N 非常用第二隔離弁	④			
4A, 4B 使用済燃料ピットポンプ駆動機作前		4LB-24, 25	○	—	IA/HPIN	P54-P068A	H P I N 非常用第二隔離弁 (A)	⑤			
燃料取替用水系	4A, 4B 燃料取替用水ポンプ	—	○	—	IA/HPIN	P54-P068B	H P I N 非常用第二隔離弁 (B)	⑤			
	4A, 4B 燃料取替用水ポンプ駆動機作前	4LB-33, 34	○	—	LPCS	E21-B001	低圧炉心スプレイ系統ストレーナ	①			
蒸気発生器ブローダウンス系	4A, 4B, 4C, 4D ブローダウンスライン格納容器隔離弁	4V-B0-101A, B, C, D	×	①	LPCS	E21-P006	L P C S 試験用調整弁	③			
	4A, 4B, 4C, 4D 蒸気発生器燃料採取ライン格納容器隔離弁	4V-B0-010A, B, C, D	×	①	LPCS	E21-P016	L P C S 注入ライン試験可能逆止弁	②			
1次系燃料採取系	4号炉蒸気発生器燃料採取ライン格納容器第1隔離弁	4V-S5-503	×	②	LPCS	E21-P1001	L P C S ボンプ入口圧力	③			
	4号炉蒸気発生器燃料採取ライン格納容器第2隔離弁	4V-S5-505	×	②	LPCS	E21-P1004	L P C S ボンプ出口圧力	③			
	4号炉蒸気発生器燃料採取ライン格納容器第1隔離弁	4V-S5-522	×	②	LPCS	E21-P1005	L P C S ボンプ出口圧力	③			
	4号炉蒸気発生器燃料採取ライン格納容器第2隔離弁	4V-S5-507	×	①	MS	B21	主蒸気速がし安全弁排気管 T-タークエンチャ (A)	①			
	4号炉蒸気発生器燃料採取ライン格納容器第1隔離弁	4V-S5-525	×	②	MS	B21	主蒸気速がし安全弁排気管 T-タークエンチャ (B)	①			
	4号炉蒸気発生器燃料採取ライン格納容器第2隔離弁	4V-S5-525	×	①	MS	B21	主蒸気速がし安全弁排気管 T-タークエンチャ (C)	①			
	4A, 4B, 4C, 4D 蒸気発生器燃料採取ライン格納容器第1隔離弁	4V-S5-525	×	①	MS	B21	主蒸気速がし安全弁排気管 T-タークエンチャ (D)	①			
	4号炉蒸気発生器燃料採取ライン格納容器第2隔離弁	4V-S5-594	×	①							
制御用空気系	4号炉冷却材採取ライン格納容器隔離弁	4V-S5-574	×	①							
	4A, 4B 制御用空気圧縮機	—	○	—							
	4A, 4B 制御用空気乾燥器	4IAHA, B	※1	③							

※1 評価対象外とした理由  
 ① 漏水により機能を喪失しない  
 ② PCV内耐震仕様様の設備  
 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④ 他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (6/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (16/24)								
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	
制御用空気系	4A, 4B制御用空気だめ	4A1A1A, B	× <sup>①</sup>	②	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチヤ (E)	①	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチヤ (E)	①	【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
	4A, 4B制御用空気主蒸気逃がし弁等体積アップ止め弁	4V-1A-506A, B	○	—	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチヤ (F)	①	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチヤ (G)	①	
	4A, 4B制御用空気体積管連通弁	4V-1A-501A, B	○	—	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチヤ (H)	①	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチヤ (I)	①	
	4A, 4B制御用空気体積管連通弁	4V-1A-508A, B	○	—	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチヤ (J)	①	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチヤ (K)	①	
	4A, 4B格納容器内前扉Kクラス制御用空気体積管連通弁	4V-1A-510A, B	×	②	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチヤ (L)	①	MS	B21-000JA	主蒸気逃し安全弁 (A) 逃し弁機能用アキュムレータ	①	
	4A, 4B制御用空気体積管管圧力	4PT-180G, 181G	○	—	MS	B21-000JB	主蒸気逃し安全弁 (B) 逃し弁機能用アキュムレータ	①	MS	B21-000JC	主蒸気逃し安全弁 (C) 逃し弁機能用アキュムレータ	①	
	4A, 4B制御用空気圧縮機排気	4JAC-A, B	○	—	MS	B21-000JD	主蒸気逃し安全弁 (D) 逃し弁機能用アキュムレータ	①	MS	B21-000JE	主蒸気逃し安全弁 (E) 逃し弁機能用アキュムレータ	①	
	4格納容器常時格納ドレンタンクガス分新ライン格納容器第1隔離弁	4V-9L-07B	×	②	MS	B21-000JF	主蒸気逃し安全弁 (F) 逃し弁機能用アキュムレータ	①	MS	B21-000JG	主蒸気逃し安全弁 (G) 逃し弁機能用アキュムレータ	①	
	4格納容器常時格納ドレンタンクガス分新ライン格納容器第2隔離弁	4V-9L-07B	×	①	MS	B21-000JH	主蒸気逃し安全弁 (H) 逃し弁機能用アキュムレータ	①	MS	B21-000JI	主蒸気逃し安全弁 (I) 逃し弁機能用アキュムレータ	①	
	4格納容器常時格納ドレンタンクベントライン格納容器第1隔離弁	4V-9L-08G	×	②	MS	B21-000JJ	主蒸気逃し安全弁 (J) 逃し弁機能用アキュムレータ	①	MS	B21-000JK	主蒸気逃し安全弁 (K) 逃し弁機能用アキュムレータ	①	
廃棄物処理系	4格納容器常時格納ドレンタンクベントライン格納容器第2隔離弁	4V-9L-08G	×	①	MS	B21-000JL	主蒸気逃し安全弁 (L) 逃し弁機能用アキュムレータ	①	MS	B21-0002A	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (A) ADS	①	
	4格納容器常時格納ドレンタンク放射体積アップ格納容器第1隔離弁	4V-9L-09A	×	①	MS	B21-0002C	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (C) ADS	①	MS	B21-0002E	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (E) ADS	①	
	4格納容器常時格納ドレンタンク放射体積アップ格納容器第2隔離弁	4V-9L-09A	×	①	MS	B21-0002G	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (G) ADS	①	MS	B21-0002I	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (I) ADS	①	
	4格納容器常時格納ドレンタンク出口格納容器第1隔離弁	4V-9L-09Z	×	②	MS	B21-0002J	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (J) ADS	①	MS	B21-0002L	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (L) ADS	①	
	4格納容器常時格納ドレンタンク出口格納容器第2隔離弁	4V-9L-09Z	×	①	MS	B21-0002M	主蒸気第一隔離弁 (A) 用アキュムレータ	①	MS	B21-0003B	主蒸気第一隔離弁 (B) 用アキュムレータ	①	
	4格納容器常時格納ドレンタンク出口格納容器第3隔離弁	4V-9L-143	×	①	MS	B21-0003A	主蒸気第一隔離弁 (A) 用アキュムレータ	①	MS	B21-0003C	主蒸気第一隔離弁 (C) 用アキュムレータ	①	
	4格納容器常時格納ドレンタンク出口格納容器第4隔離弁	4V-9L-143	×	①									
	4格納容器常時格納ドレンタンク出口格納容器第5隔離弁	4V-9L-144	×	①									
	4格納容器常時格納ドレンタンク出口格納容器第6隔離弁	4V-9L-144	×	①									
	4格納容器常時格納ドレンタンク出口格納容器第7隔離弁	4V-9L-144	×	①									
四大水系	4注火水ライン格納容器隔離弁	4V-FS-50Z	×	①									
炉内核計測装置	4炉内核計測装置ガスバーンライン格納容器第1隔離弁	4V-1G-00B	×	①									
	4炉内核計測装置ガスバーンライン格納容器第2隔離弁	4V-1G-00B	×	①									
換気空調系	手動弁 一式		×	②									
	逆止弁 一式		○	③									
	4換気空調機	4V8	×	④									
	4A, 4B中央制御室空調ファン		○	—									
	4A, 4B中央制御室集塵ファン		○	—									
	4A, 4B中央制御室非常用蓄積ファン	4VSP22A, B	○	—									
	4A, 4B中央制御室非常用蓄積ファン	4VSP22A, B	○	—									
	4A, 4B中央制御室外気取入止めダンパ	4D-YS-601A, B	×	②									
	4A, 4B中央制御室非常用蓄積ファン入口ダンパ	4D-YS-602A, B	○	—									
	4A, 4B中央制御室空調ファン出口ダンパ	4D-YS-603A, B	○	—									
4A, 4B中央制御室集塵ファン入口ダンパ	4D-YS-604A, B	○	—										
4A, 4B中央制御室外気取入流量調節ダンパ	4BCT-2874, 2875	○	—										
4A, 4B中央制御室集塵流量調節ダンパ	4BCT-2886, 2886	○	—										
4A, 4B中央制御室大気放出流量調節ダンパ	4BCT-2887, 2888	×	①										
4A, 4B中央制御室事故時外気取入流量調節ダンパ	4BCT-2888, 2890	○	—										
4A, 4B中央制御室事故時蓄積流量調節ダンパ	4BCT-2891, 2892	○	—										

※1 評価対象外とした理由  
 ① 溢水により機能を喪失しない  
 ② IVC内耐震機仕様の設備  
 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④ 他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (7/10)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (17/24)						
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由※1		
換気空調系	48中央制御室温度(1), (2)	4FS-2908, 2909	○	—	MS	B21-A0030	主蒸気第一隔離弁 (D) 用アキュムレータ	①	<b>【大飯】</b> <a href="#">記載表現の相違</a> <a href="#">女川審査実績の反映</a> <a href="#">設計方針の相違</a> <a href="#">プラント設計の違いによる相違</a> <b>【女川】</b> <a href="#">記載表現の相違</a> <a href="#">設計方針の相違</a> <a href="#">プラント設計の違いによる相違</a>	
	48, 48P中央制御室非常用循環ファン出口流量	4FS-2904, 2906	○	—		B21-A004A	主蒸気第二隔離弁 (A) 用アキュムレータ	①		
	48, 48P中央制御室空調ファン出口流量	4FS-2910, 2911	○	—		B21-A004B	主蒸気第二隔離弁 (B) 用アキュムレータ	①		
	34キッティング排気第1, 2隔離ダンパ	34D-VS-606, 606	×	①		B21-A004C	主蒸気第二隔離弁 (C) 用アキュムレータ	①		
	48, 48P中央制御室外気取入調節ダンパ流量設定	48C-2874, 2878	○	—		B21-A004D	主蒸気第二隔離弁 (D) 用アキュムレータ	①		
	48, 48P中央制御室排気ダンパ流量設定	48C-2885, 2886	○	—		B21-F001A	主蒸気遮り安全弁 (A)	②		
	48, 48P中央制御室外気排気ダンパ流量設定	48C-2887, 2888	×	①		B21-F001B	主蒸気遮り安全弁 (B)	②		
	48, 48P中央制御室事故時排気取入調節ダンパ流量設定	48C-2889, 2890	○	—		B21-F001C	主蒸気遮り安全弁 (C)	②		
	48, 48P中央制御室事故時循環ファン流量設定	48C-2891, 2892	○	—		B21-F001D	主蒸気遮り安全弁 (D)	②		
	24A, 34B安全補機間閉扉室空調ファン	○	—	—		B21-F001E	主蒸気遮り安全弁 (E)	②		
	24C, 34D安全補機間閉扉室空調ファン	○	—	—		B21-F001F	主蒸気遮り安全弁 (F)	②		
	48安全系電気遮断給気止めダンパA, B	48-VS-532, 533	○	—		B21-F001G	主蒸気遮り安全弁 (G)	②		
	48安全系電気遮断排気止めダンパA, B	48-VS-536, 537	○	—		B21-F001H	主蒸気遮り安全弁 (H)	②		
	48, 48安全補機間閉扉室温度	4FS-2817, 2818	○	—		B21-F001I	主蒸気遮り安全弁 (I)	②		
	48, 48制御用空気圧縮機室給気ファン	○	—	—		B21-F001J	主蒸気遮り安全弁 (J)	②		
	48制御用空気圧縮機室排気ダンパA, B	48-VS-431A, B	○	—		B21-F001K	主蒸気遮り安全弁 (K)	②		
	48制御用空気圧縮機室温度	4FS-2771, 2772 2773, 2774	○	—		B21-F001L	主蒸気遮り安全弁 (L)	②		
	48, 48電動補助給水ポンプ室給気ファン	○	—	—		B21-F002A	主蒸気第一隔離弁 (A)	②		
	48電動補助給水ポンプ室排気ダンパA, B	48-VS-411A, B	○	—		B21-F002B	主蒸気第一隔離弁 (B)	②		
	48, 48電動補助給水ポンプ室温度(1), (2)	4FS-2741, 2742 2743, 2744	○	—		B21-F002C	主蒸気第一隔離弁 (C)	②		
	48A1, 48A2, 48B1, 48B2ディーゼル発電機陸上給気ファン	○	—	—		B21-F002D	主蒸気第一隔離弁 (D)	②		
	27ディーゼル発電機室排気ダンパA1, A2, B1, B2	48-VS-401A, B 403A, B	○	—		B21-F003A	主蒸気第二隔離弁 (A)	③		
	48, 48ディーゼル発電機室温度(1), (2), (3), (4)	4FS-2701, 2702 2703, 2704, 2711 2712, 2713, 2714	○	—		B21-F003B	主蒸気第二隔離弁 (B)	③		
	48, 48安全補機室冷却ファン	○	—	—		B21-F003C	主蒸気第二隔離弁 (C)	③		
	48, 48安全補機室温度(1), (2)	4FS-2680, 2681 2690, 2691	○	—		B21-F003D	主蒸気第二隔離弁 (D)	③		
	48, 485号機ポンプ室空調ファン	○	—	—		B21-F003E	主蒸気第二隔離弁 (E)	③		
	48, 485号機ポンプ室空調ファン給気加熱コイル	○	—	—		B21-F003F	主蒸気第二隔離弁 (F)	③		
	48, 485号機ポンプ室温度調節計	4FS-2601, 2611	○	—		B21-F004	主蒸気ドレンライン第一隔離弁	②		
	485号機タンク室温度(1), (2), (3), (4)	4FS-2602, 2603 2612, 2613	○	—		B21-F045	主蒸気第二隔離弁リークオフライン隔離弁	①		
	48, 48アニュラス空気浄化ファン	4FSF9A, B	○	—		B21-F061	事故後が水サンプリング第一隔離弁	②		
	アニュラス空気浄化フィルタユニット電気加熱ユニット	48SH18A, B	×	①						
	48, 48アニュラス排気ダンパ	48-VS-101A, B	○	—						
	48, 48アニュラス戻りダンパ	48-VS-104A, B	○	—						
	48, 48アニュラス全量排気弁	48-VS-102A, B	○	—						

※1 評価対象外とした理由  
 ① 溢水により機能を喪失しない  
 ② FCI有線電機仕様の設備  
 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④ 他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由	
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (8/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (18/24)							
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>				
換気空調系	4A, 4Bアニューラス少量排気弁	4A-4S-103A, B	○	—	MS	B21-F062	事故時炉水サンプリング第二隔離弁	㊸	【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違			
	4A, 4Bアニューラス圧力制御器	4PT-2522, 2542	×	㊸	PLR	B02-F002A	原子炉再循環ポンプ(A) 吐出弁	㊸				
	4A, 4B格納容器排気ファン出口ダンパ	4FV-060A, B	×	㊸	PLR	B02-F002B	原子炉再循環ポンプ(B) 吐出弁	㊸				
	4格納容器排気止めダンパ	4FV-051	×	㊸	PLR	B02-F013	P.L.R.サンプリングライン第一隔離弁	㊸				
	4補助地層排気流量調整ダンパ	4RCP-2590	×	㊸	PLR	B02-F014	P.L.R.サンプリングライン第二隔離弁	㊸				
	4補助地層排気止めダンパ	4FV-051	×	㊸	BCIC	E51-B004	原子炉隔離時冷却系ストレータ	㊸				
	34放射線管理系排気流量制御ダンパ	34PCD-2975	×	㊸	BCIC	E51-B005	スパーージャ	㊸				
	34放射線管理系排気止めダンパ	34FV-058	×	㊸	BCIC	E51-F007	R.C.I.C.タービン入口蒸気ライン第一隔離弁	㊸				
	4A, 4B安全補機密排気ダンパ	4FV-4S-105A, B	○	—	BCIC	E51-F027	R.C.I.C.タービン入口蒸気ライン継機弁	㊸				
	4安全補機密排気第1,2隔離ダンパ	4FV-301, 302	×	㊸	BCIC	E51-F1001	R.C.I.C.ポンプ入口圧力指示計	㊸				
	4安全補機密排気第1,2隔離ダンパ	4FV-303, 304	×	㊸	BCIC	E51-F1003	R.C.I.C.ポンプ出口圧力指示計	㊸				
	4アニューラス排気第1,2隔離ダンパ	4FV-052, 053	×	㊸	BCIC	E51-F1007	R.C.I.C.ポンプ駆動用タービン入口蒸気圧力指示計	㊸				
	4アニューラス排気第1,2隔離ダンパ	4FV-058, 059	×	㊸	BCIC	E51-F1009	R.C.I.C.タービン排気圧力指示計	㊸				
	4格納容器給気第2隔離弁	4FV-054	×	㊸	BCIC	E51-P1001A	R.C.I.C.ポンプ入口圧力伝感器	㊸				
	4格納容器給気第1隔離弁	4FV-055	×	㊸	BCW	P42-A001A	原子炉補機冷却水サージタンク(A)	㊸				
	4格納容器排気第1隔離弁	4FV-056	×	㊸	BCW	P42-A002B	原子炉補機冷却水サージタンク(B)	㊸				
	4格納容器排気第2隔離弁	4FV-057	×	㊸	BCW	P42-B001A	原子炉補機冷却水系統交換器(A)	㊸				
	4A, 4B安全補機密排気ファン駆動機作箱	4LB-82, 83	○	—	BCW	P42-B001B	原子炉補機冷却水系統交換器(B)	㊸				
	4A1, 4B1, 4B2ワイヤードリル電機室給気ファン駆動機作箱	4LB-84, 85	○	—	BCW	P42-B001C	原子炉補機冷却水系統交換器(C)	㊸				
	4A, 4B電機室給気給水ポンプ給気ファン駆動機作箱	4LB-86, 87	○	—	BCW	P42-B001D	原子炉補機冷却水系統交換器(D)	㊸				
	4A, 4B排煙用空気圧縮機室給気ファン駆動機作箱	4LB-90, 91	○	—	BCW	P42-F006A	R.C.W.冷却水供給温度熱交換器(A) 制御弁	㊸				
	4A, 4B中央制御室送風ファン駆動機作箱	4LB-95, 96	○	—	BCW	P42-F006B	R.C.W.冷却水供給温度熱交換器(B) 制御弁	㊸				
	4A, 4B中央制御室空調ファン駆動機作箱	4LB-101, 102	○	—	BCW	P42-F010A	R.C.W.冷却水供給温度ポンプ(A) 側調節弁	㊸				
	34A, 34B, 34C, 34D安全補機密排気室空調ファン駆動機作箱	34LB-13, 14, 20, 21	○	—	BCW	P42-F010B	R.C.W.冷却水供給温度ポンプ(B) 側調節弁	㊸				
	4A, 4B3ヶ所送風ファン空調ファン駆動機作箱	4LB-77, 78	○	—	BCW	P42-F089A	R.C.W.常用冷却水緊急シャ断弁(A)	㊸				
	4A, 4Bアニューラス空気浄化ファン駆動機作箱	4LB-52, 53	○	—	BCW	P42-F089B	R.C.W.常用冷却水緊急シャ断弁(B)	㊸				
	4A, 4B中央制御室非常用送風ファン駆動機作箱	4LB-97, 98	○	—	BCW	P42-F089C	R.C.W.常用冷却水緊急シャ断弁(C)	㊸				
	4空調用冷水貯水タンク			×	㊸							
	4A, 4B, 4C, 4D空調用冷凍機			○	—							
	4A, 4B, 4C, 4D空調用冷水ポンプ			○	—							
	4A, 4B中央制御室空調ユニット冷水温度制御弁	4TCV-2878, 2879	○	—								
	34A, 34B安全補機密排気室空調ユニット冷水温度制御弁	34TCV-2796, 2799	○	—								
	4空調用冷水N-ヘッダ供給、戻りライン止め弁	4V-CM-032, 033	○	—								
	4制御室給気室空調ユニット冷水入口、出口排出装置隔離弁	4V-CM-163, 167	×	㊸								
	4A, 4B, 4C, 4D空調用冷水ポンプ駆動機作箱	4LB-103, 104, 105, 106	○	—								

※1 評価対象外とした理由  
 ①溢水により機能を喪失しない  
 ②CV内新環境仕様設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由	
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (9/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (19/24)							【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由※1			【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違	
格納容器減圧 及び水素補給 装置	4A, 4B格納容器減圧装置排気ライン格納容器 側第1防護弁	4V-0P-002A, B	×	㊟	RCW	P42-F065D	R C W 常用冷却水緊急しゃ断弁 (D)	㊟				
	4A, 4B格納容器減圧装置排気ライン格納容 器側第2防護弁	4V-0P-002B, B	×	㊟	RCW	P42-F112A	R C W 供給側第二隔離弁 (A)	㊟				
	4A, 4B格納容器水素パーブダ排気ライン格納 容器側第1防護弁	4V-0C-304A, B	×	㊟	RCW	P42-F112B	R C W 供給側第二隔離弁 (B)	㊟				
	4A, 4B格納容器水素パーブダ排気ライン格納 容器側第2防護弁	4V-0C-305A, B	×	㊟	RCW	P42-F115A	R C W 戻り側第一隔離弁 (A)	㊟				
	4A, 4B格納容器サンプル取り出しライン格納容 器側第1防護弁	4V-0H-001	×	㊟	RCW	P42-F115B	R C W 戻り側第一隔離弁 (B)	㊟				
放射線監視設備 空気サンプリン グ系	4格納容器サンプル取り出しライン格納容 器側第1防護弁	4V-0H-002	×	㊟	RCW	P42-F1006A	R C W A 系系統流量発信器	㊟				
	4格納容器サンプル取り出しライン格納容 器側第2防護弁	4V-0H-003	×	㊟	RCW	P42-F1006B	R C W B 系系統流量発信器	㊟				
	4格納容器サンプル取り出しライン格納容 器側第3防護弁	4V-0H-013	×	㊟	RCW	P42-F1014A	R C W A 系常用系入口流量発信器	㊟				
	4格納容器サンプル取り出しライン格納容 器側第4防護弁	4V-0H-013	×	㊟	RCW	P42-F1014B	R C W B 系常用系入口流量発信器	㊟				
電気盤	4主盤 (原子炉盤)	4RCR	○	—	RCW	P42-F1036A	R H R 熱交換器 (A) 冷却水入口流量発信器	㊟				
	4原子炉補助盤	4RAR	○	—	RCW	P42-F1036B	R H R 熱交換器 (B) 冷却水入口流量発信器	㊟				
	4原子炉安全保護計装盤 I, II, III, IV	4RPF-I, II, III, IV	○	—	RCW	P42-L1009A	R C W サージタンク (A) 水位	㊟				
	4A, 4B, 4C, 4D原子炉安全保護ロジック盤	4RPL-A, B, C, D	○	—	RCW	P42-L1009B	R C W サージタンク (B) 水位	㊟				
電気盤	4安全保護シークス盤A1, A2, B1, B2	4SFS-A1, A2, B1, B2	○	—	RCW	P42-L1010A	R C W サージタンク (A) 水位発信器	㊟				
	4A1, 4A2, 4A3, 4A4, 4B1, 4B2, 4B3, 4B4シフト 分電盤	4SFP-A1, A2, A3, A4 , B1, B2, B3, B4	○	—	RCW	P42-L1010B	R C W サージタンク (B) 水位発信器	㊟				
	4原子炉トリップ遮断盤	4RTS	○	—	RCW	P42-P1001A	R C W ボンプ (A) 出口圧力	㊟				
	4A, 4Bドロップ盤	4DCP-A, B , 4DCP-C, 4DCP	○	—	RCW	P42-P1001B	R C W ボンプ (B) 出口圧力	㊟				
	4A, 4B直流充電盤	4DDP-A, B	○	—	RCW	P42-P1001C	R C W ボンプ (C) 出口圧力	㊟				
	4A, 4B直流分電盤	4DDP-A, B	○	—	RCW	P42-P1001D	R C W ボンプ (D) 出口圧力	㊟				
	4A, 4B蓄電池	○	○	—	RCW	P42-P1007A	R C W ボンプ (A) 入口圧力	㊟				
	4A, 4B充電経路	4DCP-A, B	○	—	RCW	P42-P1007B	R C W ボンプ (B) 入口圧力	㊟				
	4A1, 4A2, 4B1, 4B2メタルラッドスイッチ ボックス	4MC-A1, A2, B1, B2	○	—	RCW	P42-P1007C	R C W ボンプ (C) 入口圧力	㊟				
	4A1, 4A2, 4B1, 4B2パワーセンタ	4PC-A1, A2, B1, B2	○	—	RCW	P42-P1007D	R C W ボンプ (D) 入口圧力	㊟				
	4A1, 4A2, 4B1, 4B2原子炉コントロールセ ンタ	4RCC-A1, A2, B1, B2	○	—	RCW	P42-TE005A	R C W A 系冷却水供給温度検出器	㊟				
	4A, 4B, 4C, 4D計装用電源盤 (1) ~ (3)	4DPC-A, B, C, D	○	—	RCW	P42-TE005B	R C W B 系冷却水供給温度検出器	㊟				
	4A1, 4A2, 4B1, 4B2, 4C1, 4C2, 4D1, 4D2計装用 分電盤	4TFP-A1, A2, B1, B2, C1, C2, D1, D2	○	—	RCW	P42-TE017A	R H R 熱交換器 (A) 冷却水出口温度検出器	㊟				
	4A, 4B, 4C, 4D計装用交流電源切替盤	4ISP-A, B, C, D	○	—	RCW	P42-TE017B	R H R 熱交換器 (B) 冷却水出口温度検出器	㊟				
	4所内盤	4HSR	○	—								
	4AC, 4B計装用後備分電盤	4IBD-AC, BD	○	—								
	4事故時燃料監視機能	4FRMS-III, IV	○	—								
計器	4出力領域中性子束	4N-41, 42, 43, 44	×	㊟								
	4中性子領域中性子束	4N-51, 52	×	㊟								
	4格納容器高レベルアラームコタ (低レン ジ・高レンジ)	4RR-91A, 91B , 92A, 92B	×	㊟								

※1 評価対象外とした理由  
 ①溢水により機能を喪失しない  
 ②炉内貯留燃料格納装置の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																						
<p>大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (10/10)</p> <table border="1" data-bbox="134 215 672 343"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>番号</th> <th>溢水影響評価対象</th> <th>スクリーンアウトの考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">非常用電源系</td> <td>HA, 4Bディーゼル機関</td> <td></td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>HA, 4Bディーゼル発電機</td> <td></td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>HA, 4Bディーゼル発電機コントロールセンサ</td> <td>400C-A, B</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>HA, 4Bディーゼル発電機制御盤</td> <td>400C-A, B</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>スクリーンアウトの考え方                  ①プラント停止時に動作要求のない電動弁及び動作機能喪失によりフェイルポジションとなる空気動作弁並びに安全弁は機能喪失しても安全機能に影響ない（動作要求のない原子炉格納容器外設置の格納容器隔離弁を含む）。                  ②原子炉格納容器内の防護対象設備は温度、圧力条件及び溢水影響を考慮した耐震設計であるため機能喪失しない。又は、溢水事故が発生した場合のプラント停止操作において必ずしも必要でないもの。                  ③タンク、熱交換器、圧力弁、手動弁等の静的機器は溢水により機能喪失しない。                  ④他の設備で代替できる。</p> <p>＜溢水影響評価対象外の注記＞                  *1 静的機器は溢水により機能喪失しないが、プラント停止の対時設備を相違にするために防護対象設備リストに通知した。一方、機能喪失高さは「—」として溢水影響評価の対象外とした。</p>	系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	非常用電源系	HA, 4Bディーゼル機関		○	—	HA, 4Bディーゼル発電機		○	—	HA, 4Bディーゼル発電機コントロールセンサ	400C-A, B	○	—	HA, 4Bディーゼル発電機制御盤	400C-A, B	○	—	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (20/24)</p> <table border="1" data-bbox="705 231 1270 989"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由*1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RO</td> <td>R11-F003</td> <td>D/W LCWサンブ第一隔離弁</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>RO</td> <td>R11-F103</td> <td>D/W HCWサンブ第一隔離弁</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>RR</td> <td>E11-D001A</td> <td>残留熱除去系熱交換器（A）</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>RR</td> <td>E11-D001B</td> <td>残留熱除去系熱交換器（B）</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>RR</td> <td>E11-D001A</td> <td>残留熱除去系A系ストレーナ</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>RR</td> <td>E11-D001B</td> <td>残留熱除去系B系ストレーナ</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>RR</td> <td>E11-D001C</td> <td>残留熱除去系C系ストレーナ</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>RR</td> <td>E11-dPT009A</td> <td>L P C I系A/L P C S注入ライン差圧伝感器</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>RR</td> <td>E11-dPT009B</td> <td>L P C I系B・C注入ライン差圧伝感器</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>RR</td> <td>E11-F012A</td> <td>R H R A系試験用調整弁</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>RR</td> <td>E11-F012B</td> <td>R H R B系試験用調整弁</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>RR</td> <td>E11-F012C</td> <td>R H R C系試験用調整弁</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>RR</td> <td>E11-F014A</td> <td>R H R A系停止時冷却吸込元弁</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>RR</td> <td>E11-F014B</td> <td>R H R B系停止時冷却吸込元弁</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>RR</td> <td>E11-F015A</td> <td>R H R A系停止時冷却吸込第一隔離弁</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>RR</td> <td>E11-F015B</td> <td>R H R B系停止時冷却吸込第一隔離弁</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>RR</td> <td>E11-F021</td> <td>R H R ヘッドスプレイ注入隔離弁</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>RR</td> <td>E11-F044A</td> <td>R H R A系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>RR</td> <td>E11-F044B</td> <td>R H R B系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>RR</td> <td>E11-F044C</td> <td>R H R C系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>RR</td> <td>E11-F045A</td> <td>R H R A系RW連絡第一弁</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>RR</td> <td>E11-F045B</td> <td>R H R B系RW連絡第一弁</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>RR</td> <td>E11-F049A</td> <td>R H R A系系統破機弁</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>RR</td> <td>E11-F049B</td> <td>R H R B系系統破機弁</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>RR</td> <td>E11-F058A</td> <td>R H R A系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>RR</td> <td>E11-F058B</td> <td>R H R B系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>RR</td> <td>E11-F014</td> <td>原子炉ヘッドスプレイ流量変換器</td> <td>④</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1 評価対象外とした理由                  ①溢水により機能を喪失しない                  ②PCV耐震破壊仕様の設備                  ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない                  ④他の設備で代替できる</p>	系統	機器番号	設備	理由*1	RO	R11-F003	D/W LCWサンブ第一隔離弁	②	RO	R11-F103	D/W HCWサンブ第一隔離弁	②	RR	E11-D001A	残留熱除去系熱交換器（A）	①	RR	E11-D001B	残留熱除去系熱交換器（B）	①	RR	E11-D001A	残留熱除去系A系ストレーナ	①	RR	E11-D001B	残留熱除去系B系ストレーナ	①	RR	E11-D001C	残留熱除去系C系ストレーナ	①	RR	E11-dPT009A	L P C I系A/L P C S注入ライン差圧伝感器	③	RR	E11-dPT009B	L P C I系B・C注入ライン差圧伝感器	③	RR	E11-F012A	R H R A系試験用調整弁	③	RR	E11-F012B	R H R B系試験用調整弁	③	RR	E11-F012C	R H R C系試験用調整弁	③	RR	E11-F014A	R H R A系停止時冷却吸込元弁	①	RR	E11-F014B	R H R B系停止時冷却吸込元弁	①	RR	E11-F015A	R H R A系停止時冷却吸込第一隔離弁	②	RR	E11-F015B	R H R B系停止時冷却吸込第一隔離弁	②	RR	E11-F021	R H R ヘッドスプレイ注入隔離弁	④	RR	E11-F044A	R H R A系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②	RR	E11-F044B	R H R B系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②	RR	E11-F044C	R H R C系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②	RR	E11-F045A	R H R A系RW連絡第一弁	③	RR	E11-F045B	R H R B系RW連絡第一弁	③	RR	E11-F049A	R H R A系系統破機弁	④	RR	E11-F049B	R H R B系系統破機弁	④	RR	E11-F058A	R H R A系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁	②	RR	E11-F058B	R H R B系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁	②	RR	E11-F014	原子炉ヘッドスプレイ流量変換器	④		<p>【大飯】                  記載表現の相違                  女川審査実績の反映                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】                  記載表現の相違                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる相違</p>
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方																																																																																																																																					
非常用電源系	HA, 4Bディーゼル機関		○	—																																																																																																																																					
	HA, 4Bディーゼル発電機		○	—																																																																																																																																					
	HA, 4Bディーゼル発電機コントロールセンサ	400C-A, B	○	—																																																																																																																																					
	HA, 4Bディーゼル発電機制御盤	400C-A, B	○	—																																																																																																																																					
系統	機器番号	設備	理由*1																																																																																																																																						
RO	R11-F003	D/W LCWサンブ第一隔離弁	②																																																																																																																																						
RO	R11-F103	D/W HCWサンブ第一隔離弁	②																																																																																																																																						
RR	E11-D001A	残留熱除去系熱交換器（A）	①																																																																																																																																						
RR	E11-D001B	残留熱除去系熱交換器（B）	①																																																																																																																																						
RR	E11-D001A	残留熱除去系A系ストレーナ	①																																																																																																																																						
RR	E11-D001B	残留熱除去系B系ストレーナ	①																																																																																																																																						
RR	E11-D001C	残留熱除去系C系ストレーナ	①																																																																																																																																						
RR	E11-dPT009A	L P C I系A/L P C S注入ライン差圧伝感器	③																																																																																																																																						
RR	E11-dPT009B	L P C I系B・C注入ライン差圧伝感器	③																																																																																																																																						
RR	E11-F012A	R H R A系試験用調整弁	③																																																																																																																																						
RR	E11-F012B	R H R B系試験用調整弁	③																																																																																																																																						
RR	E11-F012C	R H R C系試験用調整弁	③																																																																																																																																						
RR	E11-F014A	R H R A系停止時冷却吸込元弁	①																																																																																																																																						
RR	E11-F014B	R H R B系停止時冷却吸込元弁	①																																																																																																																																						
RR	E11-F015A	R H R A系停止時冷却吸込第一隔離弁	②																																																																																																																																						
RR	E11-F015B	R H R B系停止時冷却吸込第一隔離弁	②																																																																																																																																						
RR	E11-F021	R H R ヘッドスプレイ注入隔離弁	④																																																																																																																																						
RR	E11-F044A	R H R A系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②																																																																																																																																						
RR	E11-F044B	R H R B系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②																																																																																																																																						
RR	E11-F044C	R H R C系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②																																																																																																																																						
RR	E11-F045A	R H R A系RW連絡第一弁	③																																																																																																																																						
RR	E11-F045B	R H R B系RW連絡第一弁	③																																																																																																																																						
RR	E11-F049A	R H R A系系統破機弁	④																																																																																																																																						
RR	E11-F049B	R H R B系系統破機弁	④																																																																																																																																						
RR	E11-F058A	R H R A系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁	②																																																																																																																																						
RR	E11-F058B	R H R B系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁	②																																																																																																																																						
RR	E11-F014	原子炉ヘッドスプレイ流量変換器	④																																																																																																																																						



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (21/24)</p> <table border="1" data-bbox="698 212 1281 981"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由<sup>※1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>圧縮</td><td>E11-P1001A</td><td>RHRポンプ(A) 入口圧力</td><td>③</td></tr> <tr><td>圧縮</td><td>E11-P1001B</td><td>RHRポンプ(B) 入口圧力</td><td>③</td></tr> <tr><td>圧縮</td><td>E11-P1001C</td><td>RHRポンプ(C) 入口圧力</td><td>③</td></tr> <tr><td>圧縮</td><td>E11-P1004A</td><td>RHRポンプ(A) 出口圧力</td><td>③</td></tr> <tr><td>圧縮</td><td>E11-P1004B</td><td>RHRポンプ(B) 出口圧力</td><td>③</td></tr> <tr><td>圧縮</td><td>E11-P1004C</td><td>RHRポンプ(C) 出口圧力</td><td>③</td></tr> <tr><td>圧縮</td><td>E11-P1005A</td><td>RHRポンプ(A) 出口圧力伝送器</td><td>③</td></tr> <tr><td>圧縮</td><td>E11-P1005B</td><td>RHRポンプ(B) 出口圧力伝送器</td><td>③</td></tr> <tr><td>圧縮</td><td>E11-P1005C</td><td>RHRポンプ(C) 出口圧力伝送器</td><td>③</td></tr> <tr><td>圧縮</td><td>E11-PT013A</td><td>RHR A系入口圧力伝送器</td><td>③</td></tr> <tr><td>圧縮</td><td>E11-PT013B</td><td>RHR B系入口圧力伝送器</td><td>③</td></tr> <tr><td>圧縮</td><td>E11-TE007A</td><td>RHR熱交換器(A) 出口温度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>圧縮</td><td>E11-TE007B</td><td>RHR熱交換器(B) 出口温度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>圧縮</td><td>E11-TE010A</td><td>RHR熱交換器(A) 入口温度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>圧縮</td><td>E11-TE010B</td><td>RHR熱交換器(B) 入口温度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-D001A</td><td>原子炉補機冷却海水系ストレータ(A)</td><td>①</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-D001B</td><td>原子炉補機冷却海水系ストレータ(B)</td><td>①</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-D001C</td><td>原子炉補機冷却海水系ストレータ(C)</td><td>①</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-D001D</td><td>原子炉補機冷却海水系ストレータ(D)</td><td>①</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-4P1003A</td><td>R C W熱交換器(A) 管側圧力指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-4P1003B</td><td>R C W熱交換器(B) 管側圧力指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-4P1003C</td><td>R C W熱交換器(C) 管側圧力指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-4P1003D</td><td>R C W熱交換器(D) 管側圧力指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-P1001A</td><td>R S Wポンプ(A) 出口圧力指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-P1001B</td><td>R S Wポンプ(B) 出口圧力指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-P1001C</td><td>R S Wポンプ(C) 出口圧力指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-P1001D</td><td>R S Wポンプ(D) 出口圧力指示計</td><td>③</td></tr> </tbody> </table> <p data-bbox="698 1045 963 1109">                     ※1 評価対象外とした理由                      ①溢水により機能を喪失しない                      ②PCV内射撃増仕様の設備                      ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない                      ④別の設備で代替できる                 </p>	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	圧縮	E11-P1001A	RHRポンプ(A) 入口圧力	③	圧縮	E11-P1001B	RHRポンプ(B) 入口圧力	③	圧縮	E11-P1001C	RHRポンプ(C) 入口圧力	③	圧縮	E11-P1004A	RHRポンプ(A) 出口圧力	③	圧縮	E11-P1004B	RHRポンプ(B) 出口圧力	③	圧縮	E11-P1004C	RHRポンプ(C) 出口圧力	③	圧縮	E11-P1005A	RHRポンプ(A) 出口圧力伝送器	③	圧縮	E11-P1005B	RHRポンプ(B) 出口圧力伝送器	③	圧縮	E11-P1005C	RHRポンプ(C) 出口圧力伝送器	③	圧縮	E11-PT013A	RHR A系入口圧力伝送器	③	圧縮	E11-PT013B	RHR B系入口圧力伝送器	③	圧縮	E11-TE007A	RHR熱交換器(A) 出口温度検出器	③	圧縮	E11-TE007B	RHR熱交換器(B) 出口温度検出器	③	圧縮	E11-TE010A	RHR熱交換器(A) 入口温度検出器	③	圧縮	E11-TE010B	RHR熱交換器(B) 入口温度検出器	③	RSW	P45-D001A	原子炉補機冷却海水系ストレータ(A)	①	RSW	P45-D001B	原子炉補機冷却海水系ストレータ(B)	①	RSW	P45-D001C	原子炉補機冷却海水系ストレータ(C)	①	RSW	P45-D001D	原子炉補機冷却海水系ストレータ(D)	①	RSW	P45-4P1003A	R C W熱交換器(A) 管側圧力指示計	③	RSW	P45-4P1003B	R C W熱交換器(B) 管側圧力指示計	③	RSW	P45-4P1003C	R C W熱交換器(C) 管側圧力指示計	③	RSW	P45-4P1003D	R C W熱交換器(D) 管側圧力指示計	③	RSW	P45-P1001A	R S Wポンプ(A) 出口圧力指示計	③	RSW	P45-P1001B	R S Wポンプ(B) 出口圧力指示計	③	RSW	P45-P1001C	R S Wポンプ(C) 出口圧力指示計	③	RSW	P45-P1001D	R S Wポンプ(D) 出口圧力指示計	③		<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる相違</p>
系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>																																																																																																																
圧縮	E11-P1001A	RHRポンプ(A) 入口圧力	③																																																																																																																
圧縮	E11-P1001B	RHRポンプ(B) 入口圧力	③																																																																																																																
圧縮	E11-P1001C	RHRポンプ(C) 入口圧力	③																																																																																																																
圧縮	E11-P1004A	RHRポンプ(A) 出口圧力	③																																																																																																																
圧縮	E11-P1004B	RHRポンプ(B) 出口圧力	③																																																																																																																
圧縮	E11-P1004C	RHRポンプ(C) 出口圧力	③																																																																																																																
圧縮	E11-P1005A	RHRポンプ(A) 出口圧力伝送器	③																																																																																																																
圧縮	E11-P1005B	RHRポンプ(B) 出口圧力伝送器	③																																																																																																																
圧縮	E11-P1005C	RHRポンプ(C) 出口圧力伝送器	③																																																																																																																
圧縮	E11-PT013A	RHR A系入口圧力伝送器	③																																																																																																																
圧縮	E11-PT013B	RHR B系入口圧力伝送器	③																																																																																																																
圧縮	E11-TE007A	RHR熱交換器(A) 出口温度検出器	③																																																																																																																
圧縮	E11-TE007B	RHR熱交換器(B) 出口温度検出器	③																																																																																																																
圧縮	E11-TE010A	RHR熱交換器(A) 入口温度検出器	③																																																																																																																
圧縮	E11-TE010B	RHR熱交換器(B) 入口温度検出器	③																																																																																																																
RSW	P45-D001A	原子炉補機冷却海水系ストレータ(A)	①																																																																																																																
RSW	P45-D001B	原子炉補機冷却海水系ストレータ(B)	①																																																																																																																
RSW	P45-D001C	原子炉補機冷却海水系ストレータ(C)	①																																																																																																																
RSW	P45-D001D	原子炉補機冷却海水系ストレータ(D)	①																																																																																																																
RSW	P45-4P1003A	R C W熱交換器(A) 管側圧力指示計	③																																																																																																																
RSW	P45-4P1003B	R C W熱交換器(B) 管側圧力指示計	③																																																																																																																
RSW	P45-4P1003C	R C W熱交換器(C) 管側圧力指示計	③																																																																																																																
RSW	P45-4P1003D	R C W熱交換器(D) 管側圧力指示計	③																																																																																																																
RSW	P45-P1001A	R S Wポンプ(A) 出口圧力指示計	③																																																																																																																
RSW	P45-P1001B	R S Wポンプ(B) 出口圧力指示計	③																																																																																																																
RSW	P45-P1001C	R S Wポンプ(C) 出口圧力指示計	③																																																																																																																
RSW	P45-P1001D	R S Wポンプ(D) 出口圧力指示計	③																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (22/24)</p> <table border="1" data-bbox="698 213 1272 986"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由<sup>※1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ESW</td><td>P45-P1001A</td><td>R S Wポンプ（A）出口圧力伝送器</td><td>③</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>P45-P1001B</td><td>R S Wポンプ（B）出口圧力伝送器</td><td>③</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>P45-P1001C</td><td>R S Wポンプ（C）出口圧力伝送器</td><td>③</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>P45-P1001D</td><td>R S Wポンプ（D）出口圧力伝送器</td><td>③</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>P45-T1004A</td><td>R C W熱交換器（A）海水出口風度</td><td>③</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>P45-T1004B</td><td>R C W熱交換器（B）海水出口風度</td><td>③</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>P45-T1004C</td><td>R C W熱交換器（C）海水出口風度</td><td>③</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>P45-T1004D</td><td>R C W熱交換器（D）海水出口風度</td><td>③</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-dP1002A</td><td>空気乾燥装置（A）デミスタ差圧指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-dP1002B</td><td>空気乾燥装置（B）デミスタ差圧指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-dP1004</td><td>フィルタ装置中性能エアフィルタ差圧指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-dP1005</td><td>フィルタ装置前高性能エアフィルタ差圧指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-dP1010</td><td>フィルタ装置チャコールエアフィルタ差圧指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-dP1013</td><td>フィルタ装置後高性能エアフィルタ差圧指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-F001A</td><td>非常用ガス処理系入口弁（A）</td><td>③</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-F001B</td><td>非常用ガス処理系入口弁（B）</td><td>③</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41</td><td>ほう酸水注入系ポンプ潤滑油ガソフィルタ</td><td>①</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-A001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク</td><td>①</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-A003A</td><td>ほう酸水注入系アキュムレータ（A）</td><td>①</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-A003B</td><td>ほう酸水注入系アキュムレータ（B）</td><td>①</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-B001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク加熱用ヒータ</td><td>②</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-B002</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク保温用ヒータ</td><td>③</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-L001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク水位検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-L1001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク水位指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-L1001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク水位伝送器</td><td>③</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-P1010A</td><td>ほう酸水注入系ポンプ（A）潤滑油圧力指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-P1010B</td><td>ほう酸水注入系ポンプ（B）潤滑油圧力指示計</td><td>③</td></tr> </tbody> </table> <p data-bbox="698 1050 963 1117">                     ※1 評価対象外とした理由                      ①形式より機能を喪失しない                      ②DCV内耐震構造仕様の設備                      ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない                      ④他の設備で代替できる                 </p>	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	ESW	P45-P1001A	R S Wポンプ（A）出口圧力伝送器	③	ESW	P45-P1001B	R S Wポンプ（B）出口圧力伝送器	③	ESW	P45-P1001C	R S Wポンプ（C）出口圧力伝送器	③	ESW	P45-P1001D	R S Wポンプ（D）出口圧力伝送器	③	ESW	P45-T1004A	R C W熱交換器（A）海水出口風度	③	ESW	P45-T1004B	R C W熱交換器（B）海水出口風度	③	ESW	P45-T1004C	R C W熱交換器（C）海水出口風度	③	ESW	P45-T1004D	R C W熱交換器（D）海水出口風度	③	SGTS	T46-dP1002A	空気乾燥装置（A）デミスタ差圧指示計	③	SGTS	T46-dP1002B	空気乾燥装置（B）デミスタ差圧指示計	③	SGTS	T46-dP1004	フィルタ装置中性能エアフィルタ差圧指示計	③	SGTS	T46-dP1005	フィルタ装置前高性能エアフィルタ差圧指示計	③	SGTS	T46-dP1010	フィルタ装置チャコールエアフィルタ差圧指示計	③	SGTS	T46-dP1013	フィルタ装置後高性能エアフィルタ差圧指示計	③	SGTS	T46-F001A	非常用ガス処理系入口弁（A）	③	SGTS	T46-F001B	非常用ガス処理系入口弁（B）	③	SLC	E41	ほう酸水注入系ポンプ潤滑油ガソフィルタ	①	SLC	E41-A001	ほう酸水注入系貯蔵タンク	①	SLC	E41-A003A	ほう酸水注入系アキュムレータ（A）	①	SLC	E41-A003B	ほう酸水注入系アキュムレータ（B）	①	SLC	E41-B001	ほう酸水注入系貯蔵タンク加熱用ヒータ	②	SLC	E41-B002	ほう酸水注入系貯蔵タンク保温用ヒータ	③	SLC	E41-L001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位検出器	③	SLC	E41-L1001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位指示計	③	SLC	E41-L1001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位伝送器	③	SLC	E41-P1010A	ほう酸水注入系ポンプ（A）潤滑油圧力指示計	③	SLC	E41-P1010B	ほう酸水注入系ポンプ（B）潤滑油圧力指示計	③		<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる相違</p>
系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>																																																																																																																
ESW	P45-P1001A	R S Wポンプ（A）出口圧力伝送器	③																																																																																																																
ESW	P45-P1001B	R S Wポンプ（B）出口圧力伝送器	③																																																																																																																
ESW	P45-P1001C	R S Wポンプ（C）出口圧力伝送器	③																																																																																																																
ESW	P45-P1001D	R S Wポンプ（D）出口圧力伝送器	③																																																																																																																
ESW	P45-T1004A	R C W熱交換器（A）海水出口風度	③																																																																																																																
ESW	P45-T1004B	R C W熱交換器（B）海水出口風度	③																																																																																																																
ESW	P45-T1004C	R C W熱交換器（C）海水出口風度	③																																																																																																																
ESW	P45-T1004D	R C W熱交換器（D）海水出口風度	③																																																																																																																
SGTS	T46-dP1002A	空気乾燥装置（A）デミスタ差圧指示計	③																																																																																																																
SGTS	T46-dP1002B	空気乾燥装置（B）デミスタ差圧指示計	③																																																																																																																
SGTS	T46-dP1004	フィルタ装置中性能エアフィルタ差圧指示計	③																																																																																																																
SGTS	T46-dP1005	フィルタ装置前高性能エアフィルタ差圧指示計	③																																																																																																																
SGTS	T46-dP1010	フィルタ装置チャコールエアフィルタ差圧指示計	③																																																																																																																
SGTS	T46-dP1013	フィルタ装置後高性能エアフィルタ差圧指示計	③																																																																																																																
SGTS	T46-F001A	非常用ガス処理系入口弁（A）	③																																																																																																																
SGTS	T46-F001B	非常用ガス処理系入口弁（B）	③																																																																																																																
SLC	E41	ほう酸水注入系ポンプ潤滑油ガソフィルタ	①																																																																																																																
SLC	E41-A001	ほう酸水注入系貯蔵タンク	①																																																																																																																
SLC	E41-A003A	ほう酸水注入系アキュムレータ（A）	①																																																																																																																
SLC	E41-A003B	ほう酸水注入系アキュムレータ（B）	①																																																																																																																
SLC	E41-B001	ほう酸水注入系貯蔵タンク加熱用ヒータ	②																																																																																																																
SLC	E41-B002	ほう酸水注入系貯蔵タンク保温用ヒータ	③																																																																																																																
SLC	E41-L001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位検出器	③																																																																																																																
SLC	E41-L1001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位指示計	③																																																																																																																
SLC	E41-L1001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位伝送器	③																																																																																																																
SLC	E41-P1010A	ほう酸水注入系ポンプ（A）潤滑油圧力指示計	③																																																																																																																
SLC	E41-P1010B	ほう酸水注入系ポンプ（B）潤滑油圧力指示計	③																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

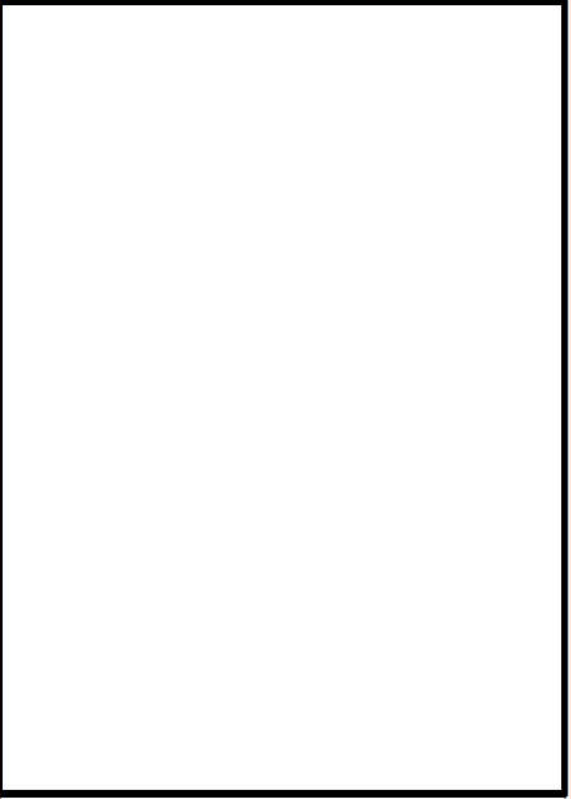
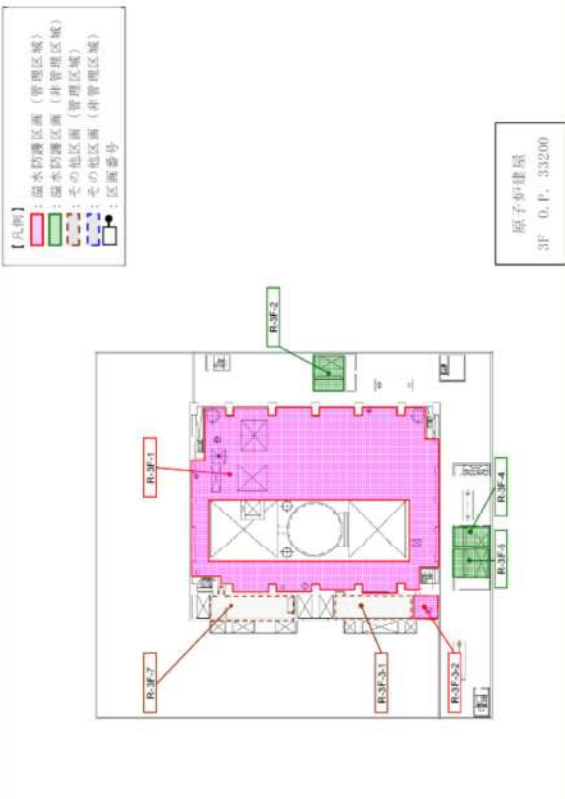
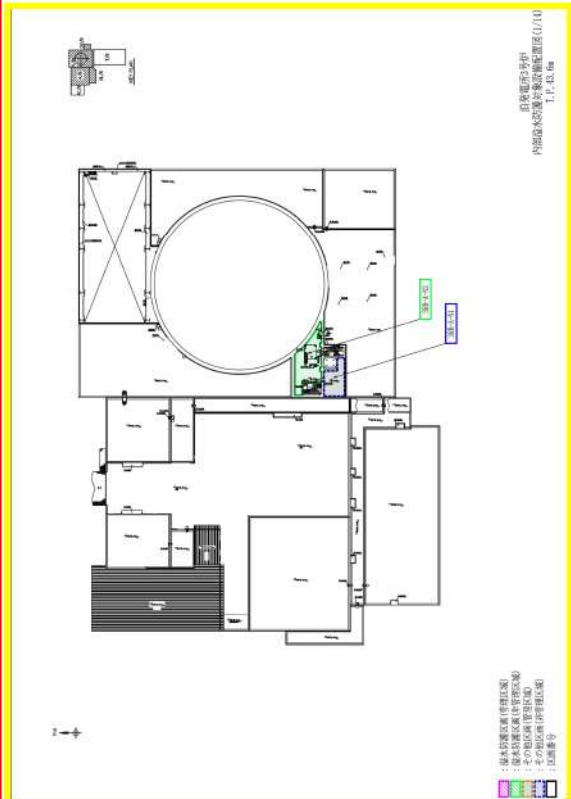
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (23/24)</p> <table border="1" data-bbox="698 213 1272 986"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由<sup>※1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>SLC</td><td>041-TE002</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>041-TE003</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>041-TE004</td><td>S.L.C貯蔵タンク保潔用ヒータシース表面温度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>041-TIS002</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）</td><td>③</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>041-TIS003</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）</td><td>③</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>041-TIS004</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク保潔用ヒータシース表面温度</td><td>③</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE001A</td><td>サブプレッションプール水温度（1.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE001B</td><td>サブプレッションプール水温度（1.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE002A</td><td>サブプレッションプール水温度（3.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE002B</td><td>サブプレッションプール水温度（3.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE003A</td><td>サブプレッションプール水温度（5.6°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE003B</td><td>サブプレッションプール水温度（5.6°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE004A</td><td>サブプレッションプール水温度（7.9°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE004B</td><td>サブプレッションプール水温度（7.9°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE005A</td><td>サブプレッションプール水温度（10.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE005B</td><td>サブプレッションプール水温度（10.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE006A</td><td>サブプレッションプール水温度（12.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE006B</td><td>サブプレッションプール水温度（12.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE007A</td><td>サブプレッションプール水温度（14.6°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE007B</td><td>サブプレッションプール水温度（14.6°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE008A</td><td>サブプレッションプール水温度（16.9°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE008B</td><td>サブプレッションプール水温度（16.9°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE009A</td><td>サブプレッションプール水温度（19.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE009B</td><td>サブプレッションプール水温度（19.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE010A</td><td>サブプレッションプール水温度（21.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE010B</td><td>サブプレッションプール水温度（21.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE011A</td><td>サブプレッションプール水温度（23.6°）</td><td>②</td></tr> </tbody> </table> <p data-bbox="698 1050 963 1117">                     ※1 評価対象外とした理由                      ① 溢水により機能を喪失しない                      ② PCの制御領域仕様の設備                      ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない                      ④ 他の設備で代替される                 </p>	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	SLC	041-TE002	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	③	SLC	041-TE003	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	③	SLC	041-TE004	S.L.C貯蔵タンク保潔用ヒータシース表面温度検出器	③	SLC	041-TIS002	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）	③	SLC	041-TIS003	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）	③	SLC	041-TIS004	ほう酸水注入系貯蔵タンク保潔用ヒータシース表面温度	③	SPTM	T11-TE001A	サブプレッションプール水温度（1.1°）	②	SPTM	T11-TE001B	サブプレッションプール水温度（1.1°）	②	SPTM	T11-TE002A	サブプレッションプール水温度（3.4°）	②	SPTM	T11-TE002B	サブプレッションプール水温度（3.4°）	②	SPTM	T11-TE003A	サブプレッションプール水温度（5.6°）	②	SPTM	T11-TE003B	サブプレッションプール水温度（5.6°）	②	SPTM	T11-TE004A	サブプレッションプール水温度（7.9°）	②	SPTM	T11-TE004B	サブプレッションプール水温度（7.9°）	②	SPTM	T11-TE005A	サブプレッションプール水温度（10.1°）	②	SPTM	T11-TE005B	サブプレッションプール水温度（10.1°）	②	SPTM	T11-TE006A	サブプレッションプール水温度（12.4°）	②	SPTM	T11-TE006B	サブプレッションプール水温度（12.4°）	②	SPTM	T11-TE007A	サブプレッションプール水温度（14.6°）	②	SPTM	T11-TE007B	サブプレッションプール水温度（14.6°）	②	SPTM	T11-TE008A	サブプレッションプール水温度（16.9°）	②	SPTM	T11-TE008B	サブプレッションプール水温度（16.9°）	②	SPTM	T11-TE009A	サブプレッションプール水温度（19.1°）	②	SPTM	T11-TE009B	サブプレッションプール水温度（19.1°）	②	SPTM	T11-TE010A	サブプレッションプール水温度（21.4°）	②	SPTM	T11-TE010B	サブプレッションプール水温度（21.4°）	②	SPTM	T11-TE011A	サブプレッションプール水温度（23.6°）	②		<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる相違</p>
系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>																																																																																																																
SLC	041-TE002	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	③																																																																																																																
SLC	041-TE003	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	③																																																																																																																
SLC	041-TE004	S.L.C貯蔵タンク保潔用ヒータシース表面温度検出器	③																																																																																																																
SLC	041-TIS002	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）	③																																																																																																																
SLC	041-TIS003	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）	③																																																																																																																
SLC	041-TIS004	ほう酸水注入系貯蔵タンク保潔用ヒータシース表面温度	③																																																																																																																
SPTM	T11-TE001A	サブプレッションプール水温度（1.1°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-TE001B	サブプレッションプール水温度（1.1°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-TE002A	サブプレッションプール水温度（3.4°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-TE002B	サブプレッションプール水温度（3.4°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-TE003A	サブプレッションプール水温度（5.6°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-TE003B	サブプレッションプール水温度（5.6°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-TE004A	サブプレッションプール水温度（7.9°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-TE004B	サブプレッションプール水温度（7.9°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-TE005A	サブプレッションプール水温度（10.1°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-TE005B	サブプレッションプール水温度（10.1°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-TE006A	サブプレッションプール水温度（12.4°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-TE006B	サブプレッションプール水温度（12.4°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-TE007A	サブプレッションプール水温度（14.6°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-TE007B	サブプレッションプール水温度（14.6°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-TE008A	サブプレッションプール水温度（16.9°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-TE008B	サブプレッションプール水温度（16.9°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-TE009A	サブプレッションプール水温度（19.1°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-TE009B	サブプレッションプール水温度（19.1°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-TE010A	サブプレッションプール水温度（21.4°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-TE010B	サブプレッションプール水温度（21.4°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-TE011A	サブプレッションプール水温度（23.6°）	②																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																
	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (24/24)</p> <table border="1" data-bbox="698 213 1281 769"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由<sup>※1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE011B</td><td>サブプレッションプール水温度 (23.6°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE012A</td><td>サブプレッションプール水温度 (25.9°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE012B</td><td>サブプレッションプール水温度 (25.9°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE013A</td><td>サブプレッションプール水温度 (28.1°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE013B</td><td>サブプレッションプール水温度 (28.1°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE014A</td><td>サブプレッションプール水温度 (30.4°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE014B</td><td>サブプレッションプール水温度 (30.4°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE015A</td><td>サブプレッションプール水温度 (32.6°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE015B</td><td>サブプレッションプール水温度 (32.6°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE016A</td><td>サブプレッションプール水温度 (34.9°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE016B</td><td>サブプレッションプール水温度 (34.9°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>CS1-F081A</td><td>T1Pバルブアセンブリ (ボール弁A・爆発弁A)</td><td>③</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>CS1-F081B</td><td>T1Pバルブアセンブリ (ボール弁B・爆発弁B)</td><td>③</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>CS1-F081C</td><td>T1Pバルブアセンブリ (ボール弁C・爆発弁C)</td><td>③</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>CS1-F081D</td><td>T1Pバルブアセンブリ (ボール弁D・爆発弁D)</td><td>③</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>CS1-F083</td><td>T1Pバージョイント弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>その他</td><td>-</td><td>手動弁一式</td><td>①</td></tr> <tr><td>その他</td><td>-</td><td>遮止弁一式</td><td>①</td></tr> <tr><td>その他</td><td>-</td><td>配管一式</td><td>①</td></tr> </tbody> </table> <p data-bbox="698 1050 963 1117">                     ※1 評価対象外とした理由                      ① 溢水により機能を喪失しない                      ② 炉内耐漏壊仕様の設備                      ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない                      ④ 他の設備で代替できる                 </p>	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	SPTM	T11-TE011B	サブプレッションプール水温度 (23.6°)	②	SPTM	T11-TE012A	サブプレッションプール水温度 (25.9°)	②	SPTM	T11-TE012B	サブプレッションプール水温度 (25.9°)	②	SPTM	T11-TE013A	サブプレッションプール水温度 (28.1°)	②	SPTM	T11-TE013B	サブプレッションプール水温度 (28.1°)	②	SPTM	T11-TE014A	サブプレッションプール水温度 (30.4°)	②	SPTM	T11-TE014B	サブプレッションプール水温度 (30.4°)	②	SPTM	T11-TE015A	サブプレッションプール水温度 (32.6°)	②	SPTM	T11-TE015B	サブプレッションプール水温度 (32.6°)	②	SPTM	T11-TE016A	サブプレッションプール水温度 (34.9°)	②	SPTM	T11-TE016B	サブプレッションプール水温度 (34.9°)	②	TIP	CS1-F081A	T1Pバルブアセンブリ (ボール弁A・爆発弁A)	③	TIP	CS1-F081B	T1Pバルブアセンブリ (ボール弁B・爆発弁B)	③	TIP	CS1-F081C	T1Pバルブアセンブリ (ボール弁C・爆発弁C)	③	TIP	CS1-F081D	T1Pバルブアセンブリ (ボール弁D・爆発弁D)	③	TIP	CS1-F083	T1Pバージョイント弁	③	その他	-	手動弁一式	①	その他	-	遮止弁一式	①	その他	-	配管一式	①		<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる相違</p>
系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>																																																																																
SPTM	T11-TE011B	サブプレッションプール水温度 (23.6°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE012A	サブプレッションプール水温度 (25.9°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE012B	サブプレッションプール水温度 (25.9°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE013A	サブプレッションプール水温度 (28.1°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE013B	サブプレッションプール水温度 (28.1°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE014A	サブプレッションプール水温度 (30.4°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE014B	サブプレッションプール水温度 (30.4°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE015A	サブプレッションプール水温度 (32.6°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE015B	サブプレッションプール水温度 (32.6°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE016A	サブプレッションプール水温度 (34.9°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE016B	サブプレッションプール水温度 (34.9°)	②																																																																																
TIP	CS1-F081A	T1Pバルブアセンブリ (ボール弁A・爆発弁A)	③																																																																																
TIP	CS1-F081B	T1Pバルブアセンブリ (ボール弁B・爆発弁B)	③																																																																																
TIP	CS1-F081C	T1Pバルブアセンブリ (ボール弁C・爆発弁C)	③																																																																																
TIP	CS1-F081D	T1Pバルブアセンブリ (ボール弁D・爆発弁D)	③																																																																																
TIP	CS1-F083	T1Pバージョイント弁	③																																																																																
その他	-	手動弁一式	①																																																																																
その他	-	遮止弁一式	①																																																																																
その他	-	配管一式	①																																																																																

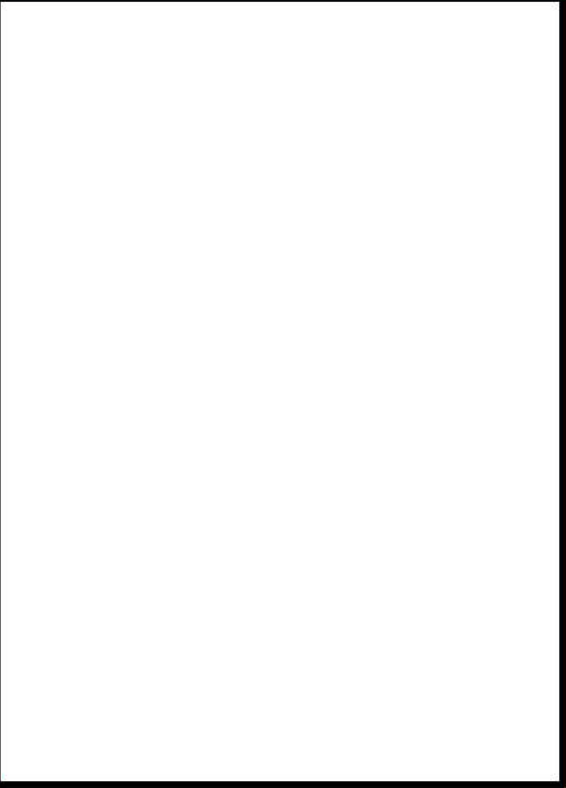
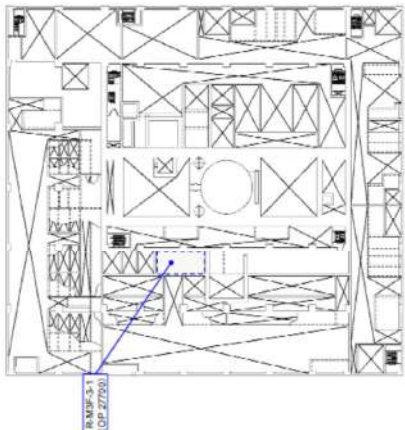
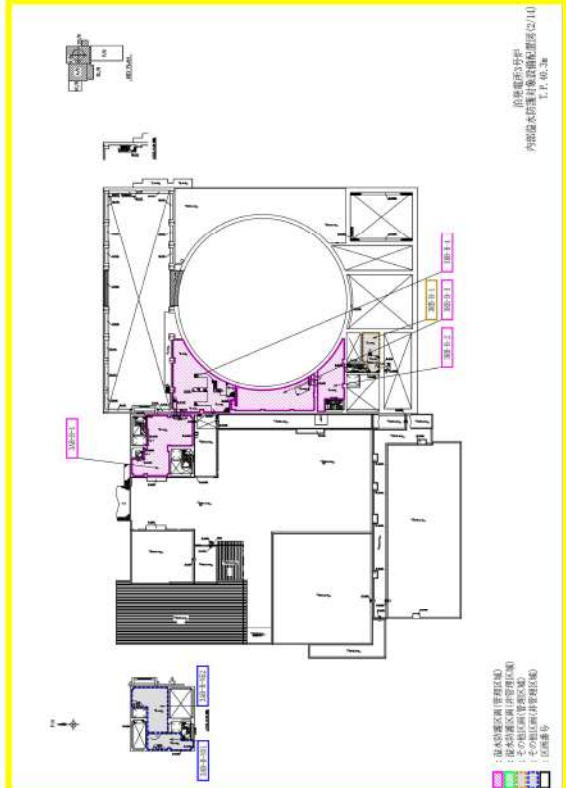
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料7）

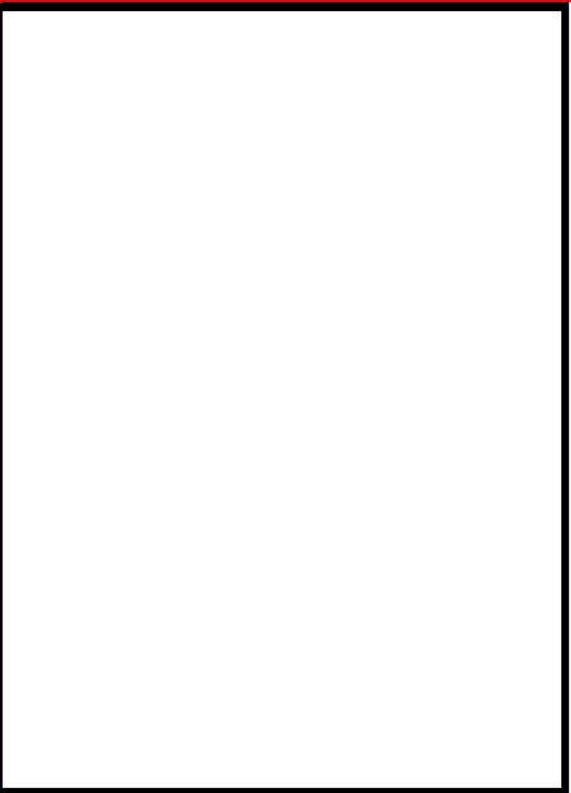
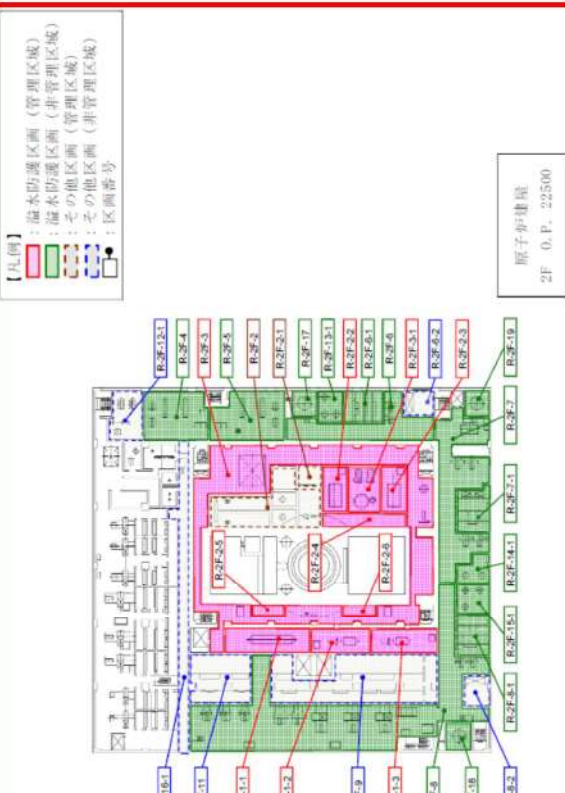
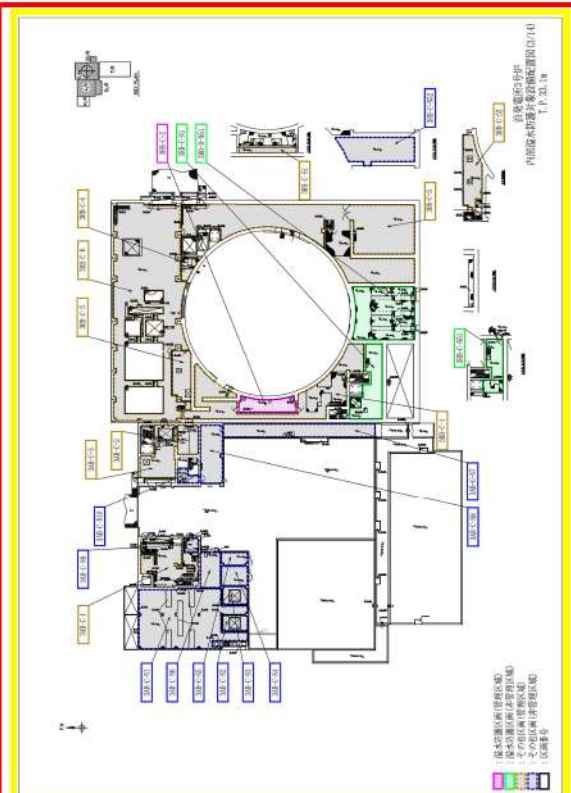
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
添付資料 1.3-1	添付資料 7	添付資料 7	
溢水防護区画の設定	溢水防護区画図	溢水防護区画図	
 <p data-bbox="264 1061 676 1086">特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			<p data-bbox="1874 180 1937 201">【大飯】</p> <p data-bbox="1874 213 1995 234">記載表現の相違</p> <p data-bbox="1874 247 1995 268">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1874 280 1995 301">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 314 2130 335">プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

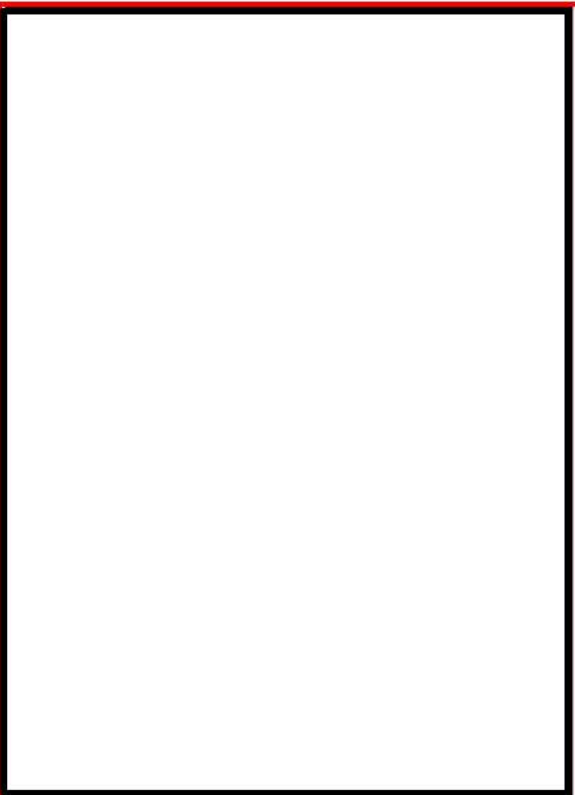
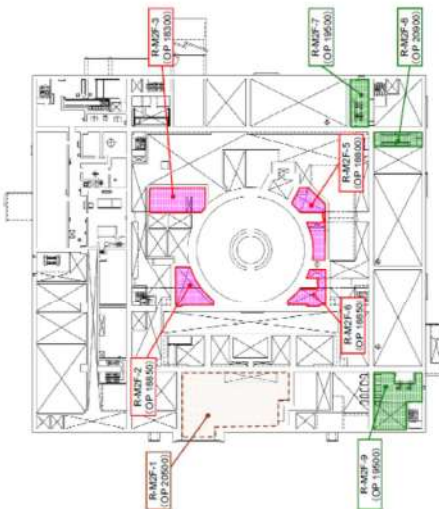
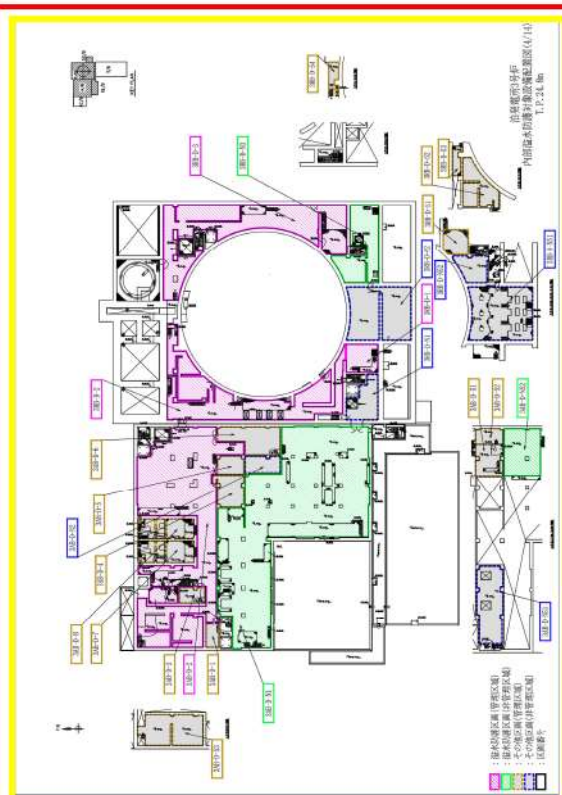
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料7）

大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="116 992 680 1024">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p data-bbox="707 185 1263 466"> <b>【凡例】</b>                      赤：溢水防護区画（管理区画）                      青：溢水防護区画（非管理区画）                      緑：その他区画（管理区画）                      黄：その他区画（非管理区画）                      白：区画番号                 </p> <p data-bbox="1191 322 1263 466">原子力発電所 M3F</p>  <p data-bbox="855 912 900 976">RAMP-5-1 OP-27200</p>	 <p data-bbox="1796 185 1854 338">                     赤：溢水防護区画（管理区画）                      青：溢水防護区画（非管理区画）                      緑：その他区画（管理区画）                      黄：その他区画（非管理区画）                      白：区画番号                 </p> <p data-bbox="1796 849 1854 976">                     赤：溢水防護区画（管理区画）                      青：溢水防護区画（非管理区画）                      緑：その他区画（管理区画）                      黄：その他区画（非管理区画）                      白：区画番号                 </p> <p data-bbox="1796 185 1854 338">                     赤：溢水防護区画（管理区画）                      青：溢水防護区画（非管理区画）                      緑：その他区画（管理区画）                      黄：その他区画（非管理区画）                      白：区画番号                 </p>	<p data-bbox="1872 185 2134 268"> <b>【女川・大飯】</b>                      設計方針の相違                      プラント構成及び機器配置の相違                 </p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

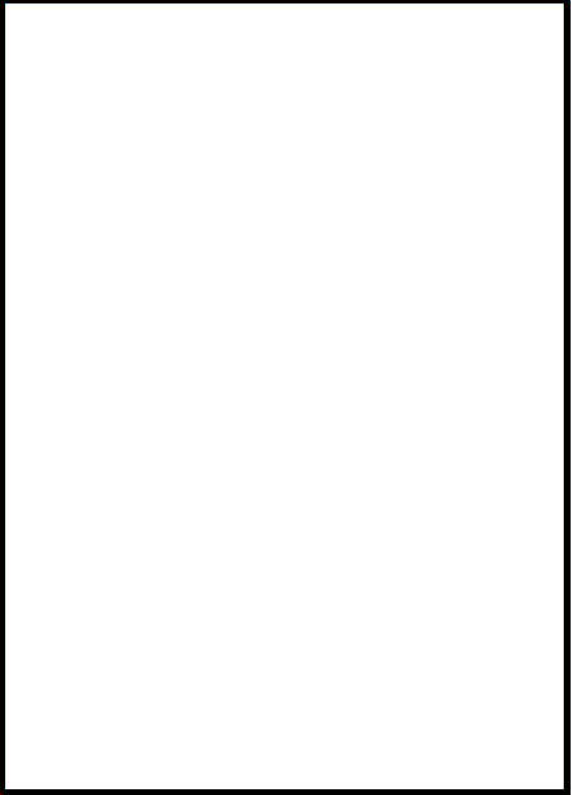
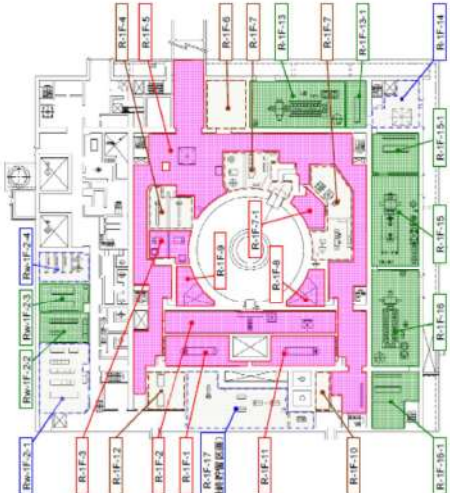
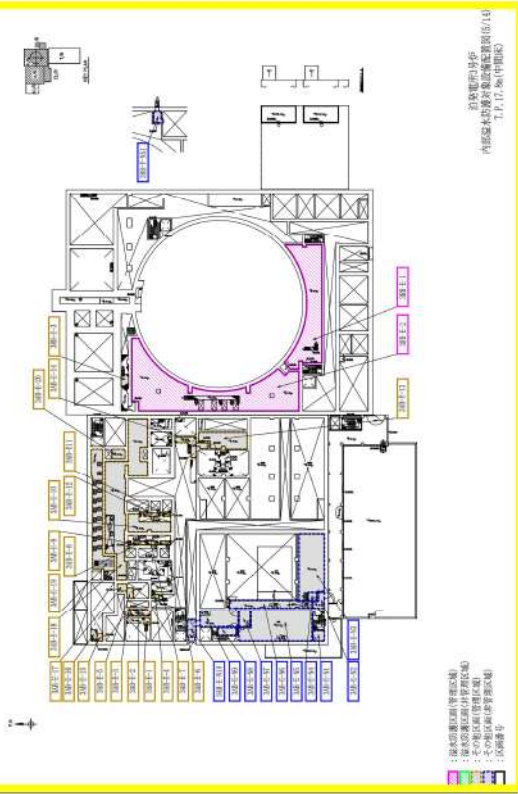
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="257 989 672 1021">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="703 183 817 470">【丸例】                  赤：溢水防護区画 (管理区画)                  緑：溢水防護区画 (非管理区画)                  青：その他区画 (管理区画)                  黄：その他区画 (非管理区画)                  白：区画番号</p> <p data-bbox="1198 335 1265 470">原子炉建屋 2F 0.F. 22500</p>	 <p data-bbox="1769 183 1836 343">泊発電所3号炉 内部配水設備対象設備設置図(2F) 1.F. 22.10</p> <p data-bbox="1769 845 1836 973">赤：溢水防護区画 (管理区画)                  緑：溢水防護区画 (非管理区画)                  青：その他区画 (管理区画)                  黄：その他区画 (非管理区画)                  白：区画番号</p>	<p data-bbox="1874 175 1982 199">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1874 215 1982 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 247 2116 271">プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="264 989 672 1013">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p data-bbox="705 199 817 470">【凡例】                  ■：溢水防護区域（管理区域）                  ■：溢水防護区域（非管理区域）                  ■：その他区域（管理区域）                  ■：その他区域（非管理区域）                  ■：区域番号</p>  <p data-bbox="1198 335 1265 470">原子炉建屋 M2F</p>	 <p data-bbox="1769 199 1836 343">泊発電所3号炉 内部溢水防護区域(管理区域) 1F、2F、3F</p> <p data-bbox="1769 845 1836 981">溢水防護区域(管理区域) 溢水防護区域(非管理区域) その他区域(管理区域) その他区域(非管理区域) 区域番号</p>	<p data-bbox="1877 175 1982 199">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1877 215 1982 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 247 2128 271">プラント構成及び機器配置の相違</p>

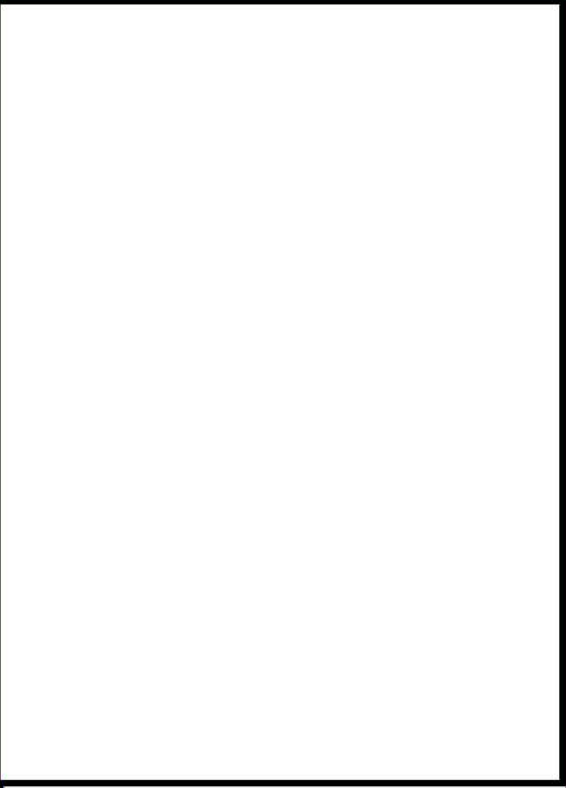
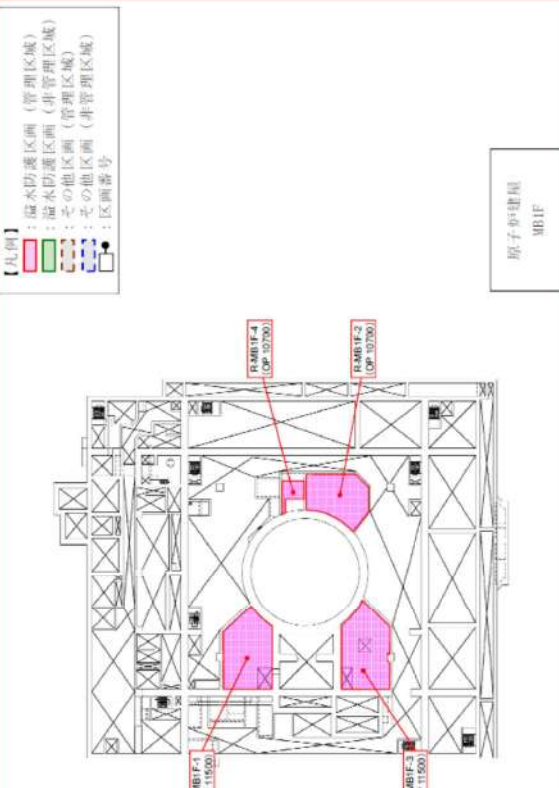
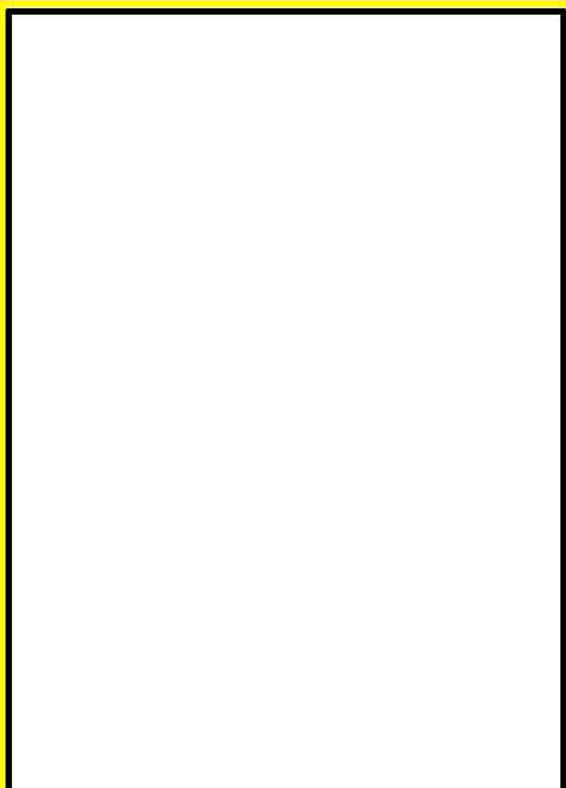


赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

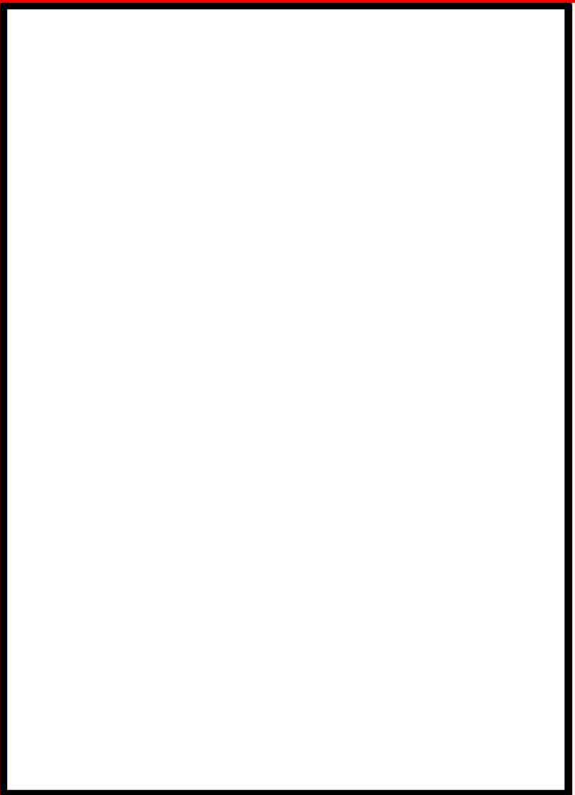
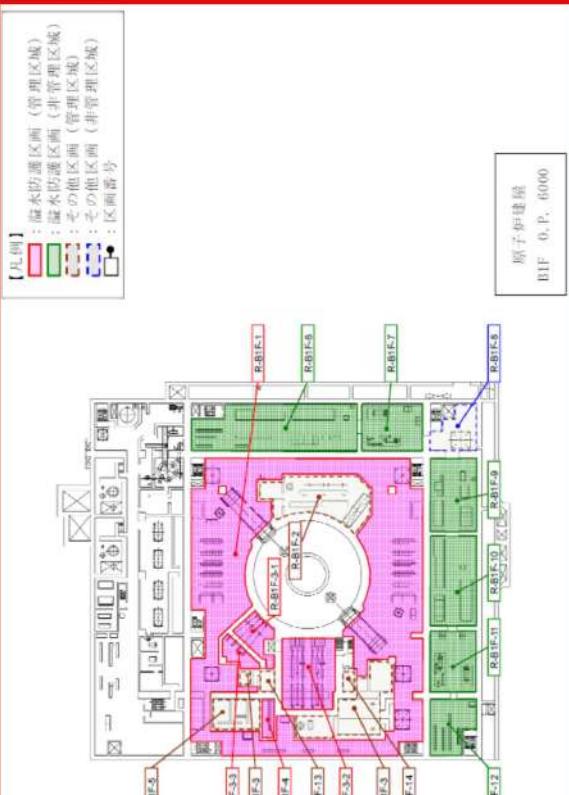
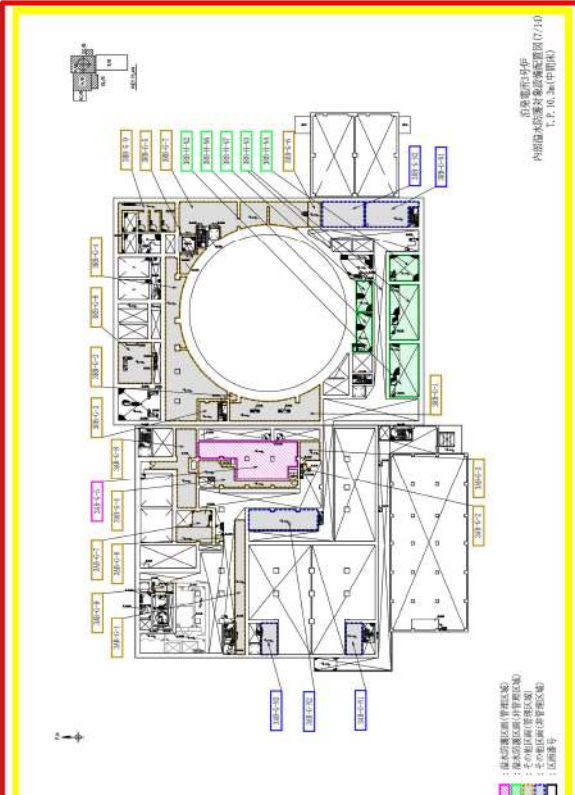
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 986 181 1018">↑</p> <p data-bbox="264 995 674 1018">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p data-bbox="705 199 817 470">【凡例】                  赤：溢水防護区域 (管理区域)                  青：溢水防護区域 (非管理区域)                  緑：その他区域 (管理区域)                  黄：その他区域 (非管理区域)                  白：区域番号</p>  <p data-bbox="1198 343 1254 470">原子炉建屋 1F 0. P. 15000</p>	 <p data-bbox="1769 845 1848 965">溢水防護区域 (管理区域)                  溢水防護区域 (非管理区域)                  その他区域 (管理区域)                  その他区域 (非管理区域)                  区域番号</p> <p data-bbox="1803 183 1848 343">泊発電所3号炉 内部基本防護対策施設配置図 (1F) 1.1.17. 8a (中間版)</p>	<p data-bbox="1877 183 1982 207">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1877 215 1982 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 247 2128 271">プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）


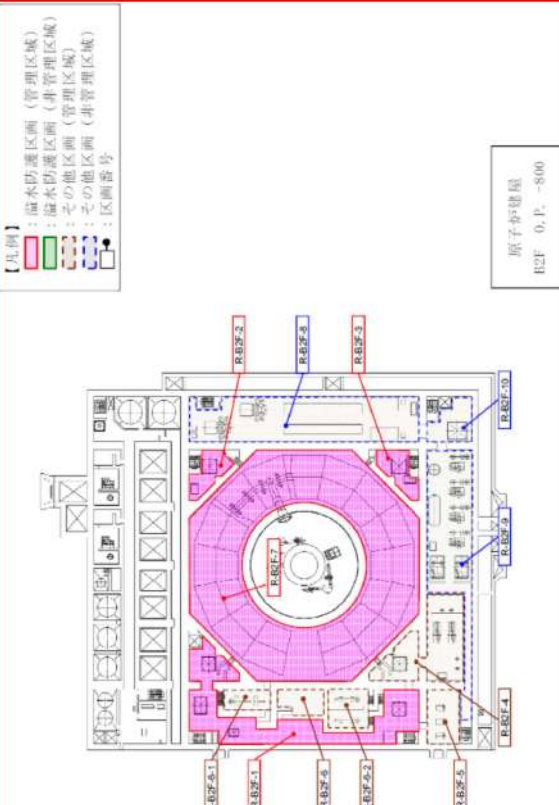
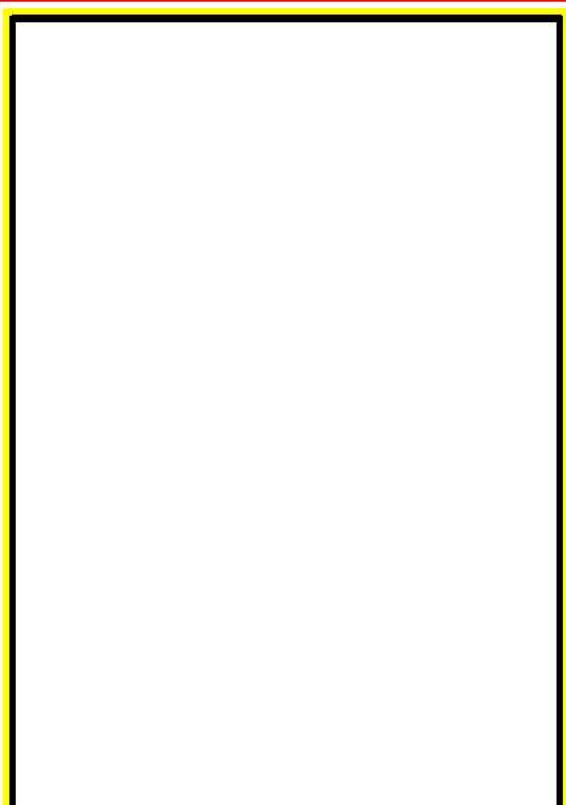
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料7）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="116 992 680 1024">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="707 992 1263 1024">枠組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	 <p data-bbox="1290 992 1854 1024">枠組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p data-bbox="1872 185 2134 217">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1872 223 2134 255">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1872 261 2134 293">プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

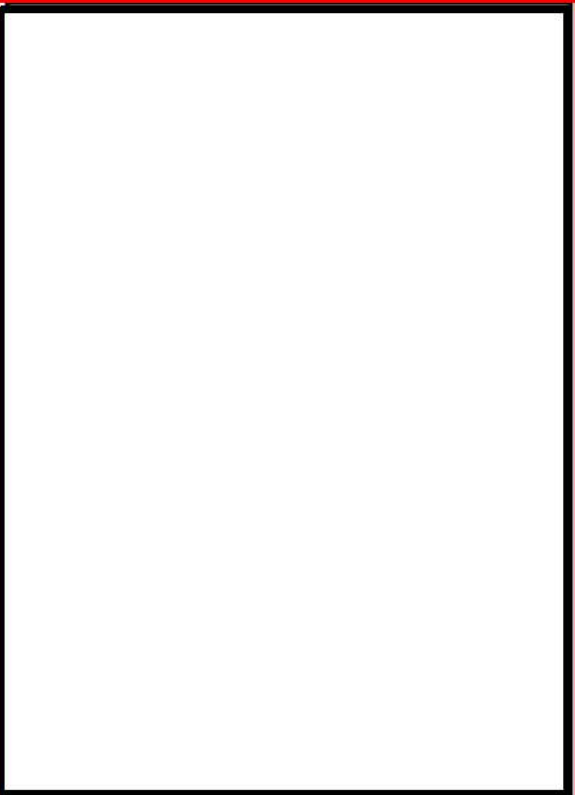

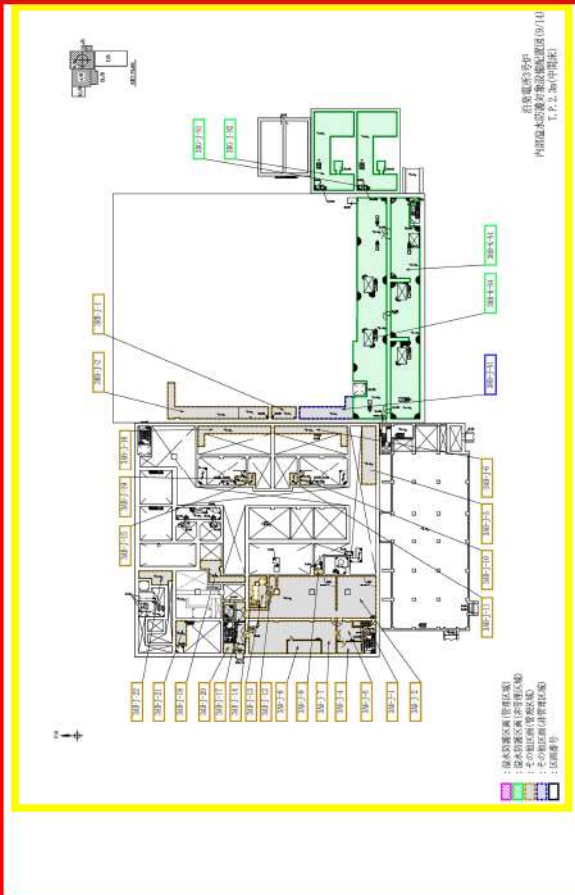
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="264 989 672 1013">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="701 406 817 462">【凡例】                  ■：溢水防護区域 (管理区域)                  ■：溢水防護区域 (非管理区域)                  ■：その他区域 (管理区域)                  ■：その他区域 (非管理区域)                  ■：区域番号</p> <p data-bbox="1198 335 1254 462">原子炉建屋 B1F 0.P. 6000</p>	 <p data-bbox="1780 183 1836 343">泊発電所3号炉 内部防本防護対策設備配置図(7/10 4.2.10.3a(中間版))</p> <p data-bbox="1780 853 1836 973">■：基本防護区域 (管理区域)                  ■：基本防護区域 (非管理区域)                  ■：その他区域 (管理区域)                  ■：その他区域 (非管理区域)                  ■：区域番号</p>	<p data-bbox="1872 175 1982 199">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1872 215 1982 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1872 247 2116 271">プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="116 1005 680 1037">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="707 1005 1263 1037">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	 <p data-bbox="1290 1005 1854 1037">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p data-bbox="1872 180 2134 207">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1872 213 2134 240">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1872 247 2134 274">プラント構成及び機器配置の相違</p>


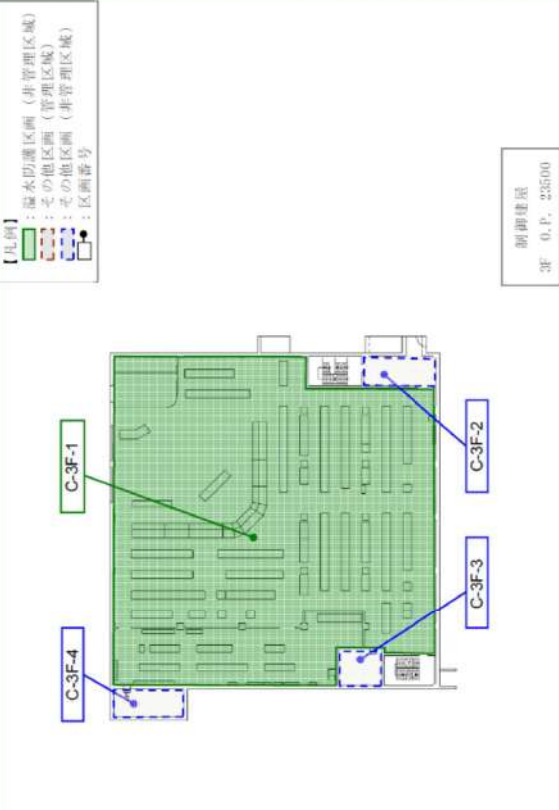
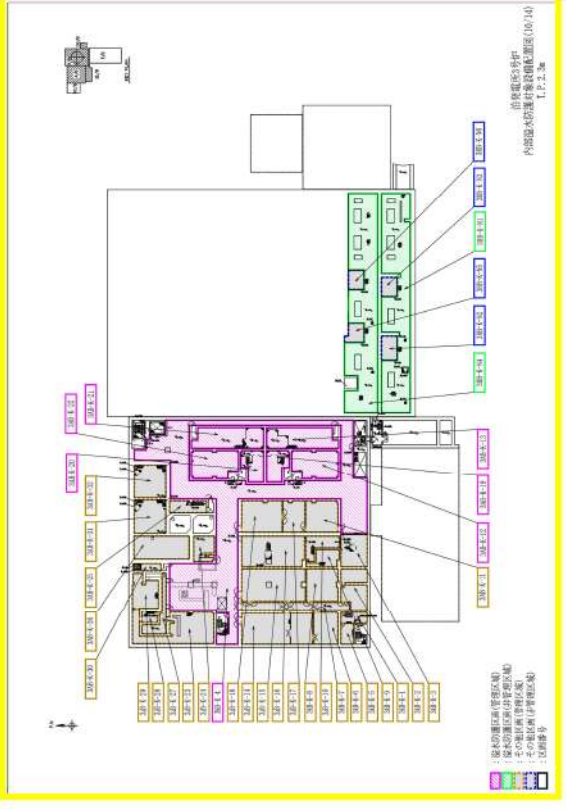
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料7）

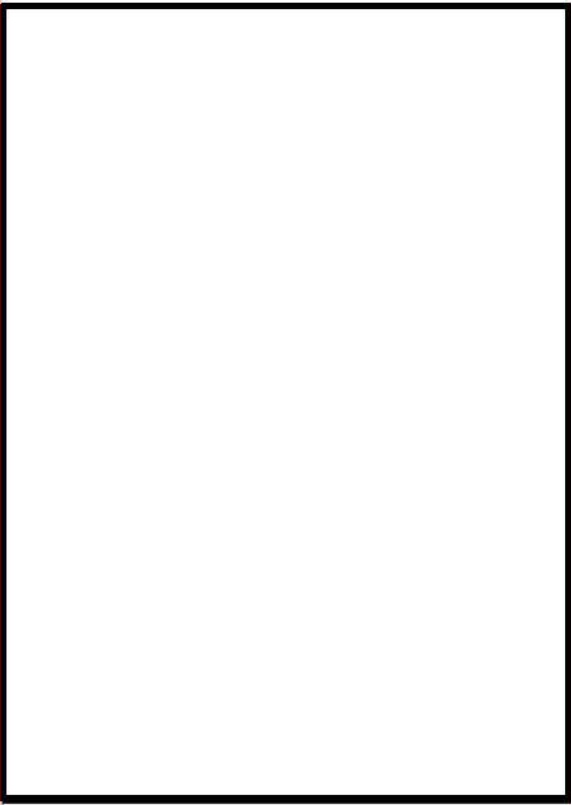

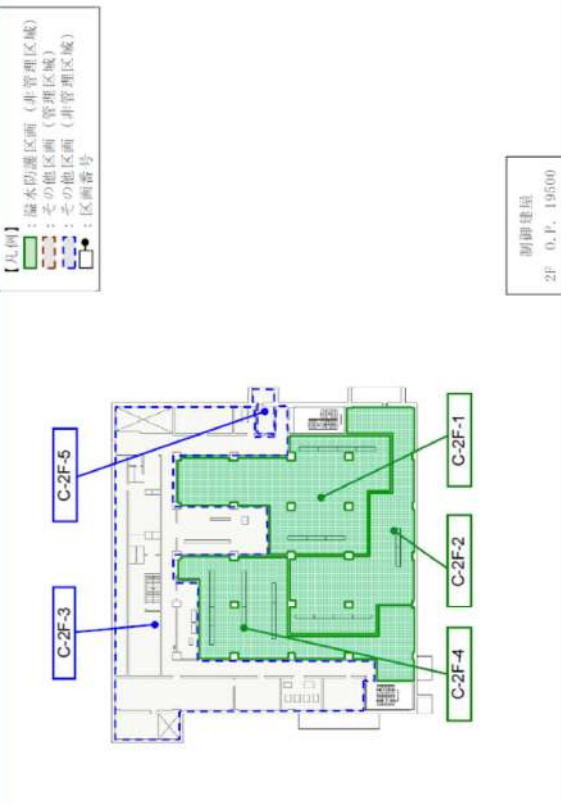
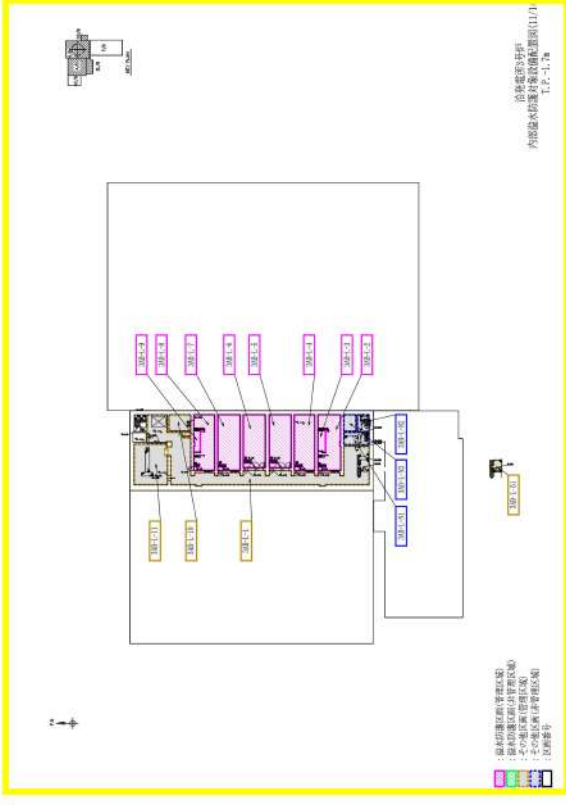
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="264 989 672 1013">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			<p data-bbox="1872 175 1989 199">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1872 215 1989 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1872 247 2132 271">プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料7）

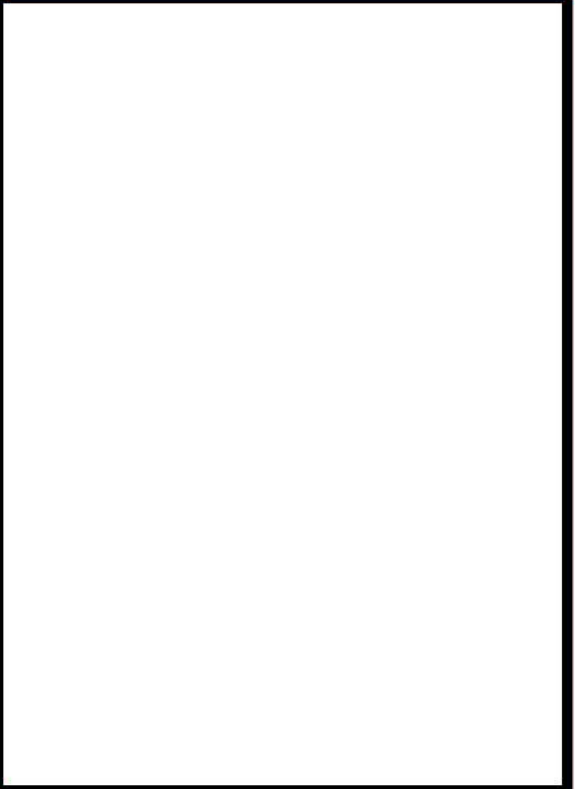
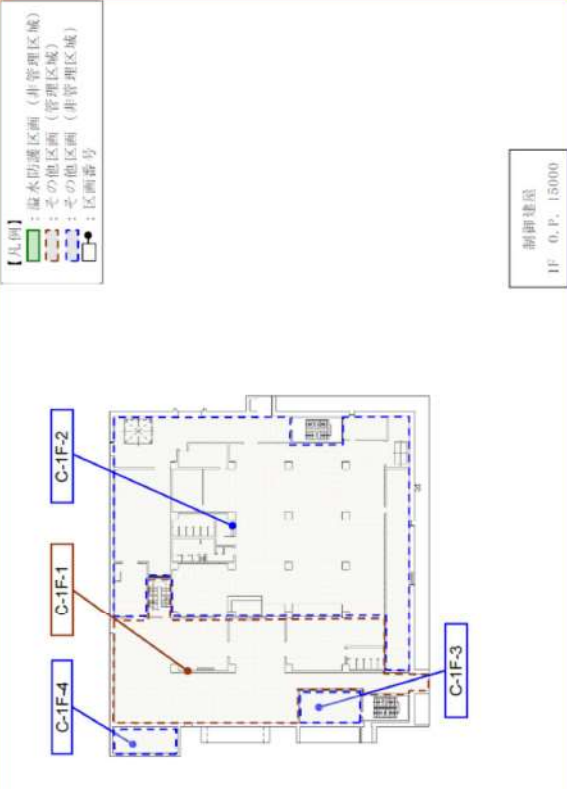
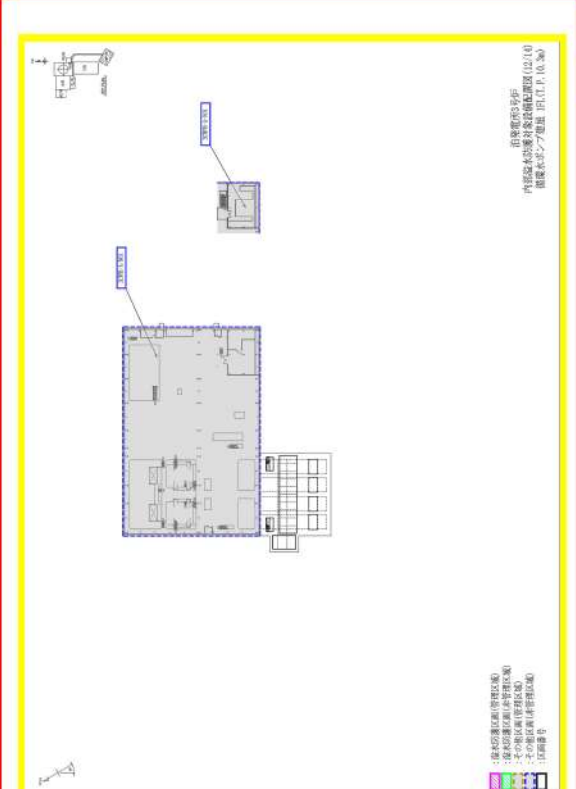
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="116 1005 680 1037">                     枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。                 </p>	 <p data-bbox="707 183 1263 215"> <b>【凡例】</b>                      ■：溢水防護区域（非管理区域）                      ■：その他区域（管理区域）                      ■：その他区域（非管理区域）                      ○：区域番号                 </p> <p data-bbox="1209 335 1263 462">                     制御建屋                      3F O.P. 22500                 </p>	 <p data-bbox="1290 183 1854 215"> <b>【凡例】</b>                      ■：溢水防護区域（非管理区域）                      ■：その他区域（管理区域）                      ■：その他区域（非管理区域）                      ○：区域番号                 </p> <p data-bbox="1792 183 1854 343">                     総機室及び炉                      内部溢水防護対策設備設置箇所(00104)                      L.P.2.3a                 </p>	<p data-bbox="1872 183 2134 215"> <b>【女川・大飯】</b> </p> <p data-bbox="1872 215 2134 247"> <u>設計方針の相違</u> </p> <p data-bbox="1872 247 2134 279"> <u>プラント構成及び機器配置の相違</u> </p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 1005 683 1077">  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</span> </p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: #90EE90; border: 1px solid black; margin-right: 5px;"></span>：溢水防護区域（非管理区域）</li> <li><span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: #FFD700; border: 1px solid black; margin-right: 5px;"></span>：その他区域（管理区域）</li> <li><span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: #ADD8E6; border: 1px solid black; margin-right: 5px;"></span>：その他区域（非管理区域）</li> <li><span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; border: 1px solid black; margin-right: 5px;"></span>：区域番号</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">                 明脚建屋                  2F O.P. 19500             </div> 	 <p data-bbox="1288 188 1852 343" style="font-size: small;">                 活体機器並びに                  内部設備の良好な稼働配置を図り                  T.F. 1.7.7.             </p> <p data-bbox="1288 845 1852 997" style="font-size: small;">                 溢水防護区域(管理区域)                  その他区域(管理区域)                  その他区域(非管理区域)                  区域番号             </p>	<p>【女川・大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント構成及び機器配置の相違</p>


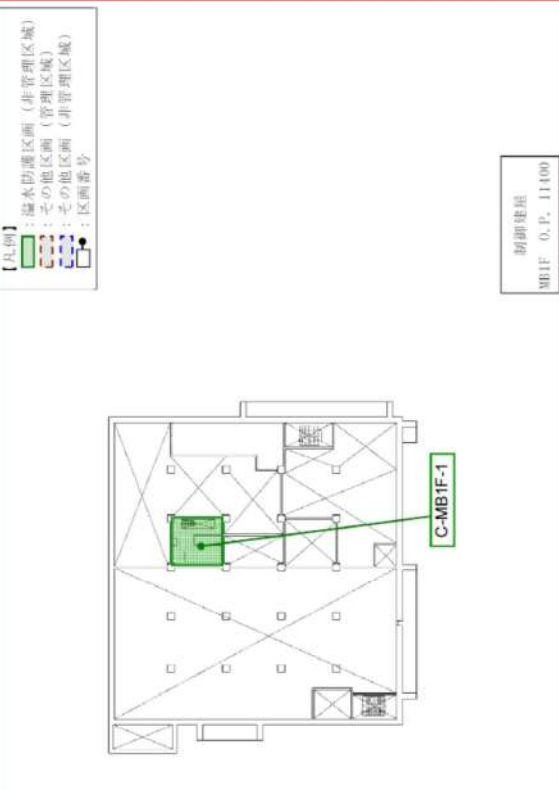
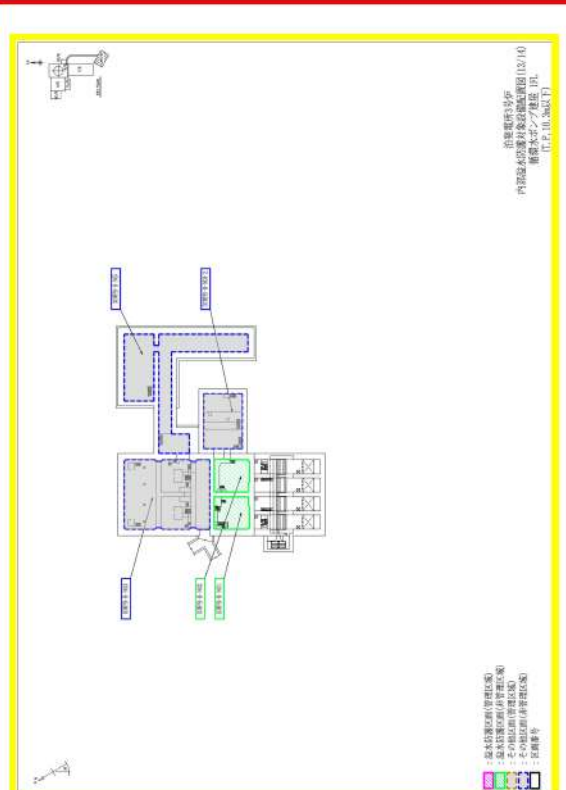
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料7）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="112 989 685 1021">                     特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。                 </p>	 <p data-bbox="703 181 801 462"> <b>【凡例】</b>                      ■：洪水防護区域（非管理区域）                      ■：その他区域（管理区域）                      ■：その他区域（非管理区域）                      ■：区域番号                 </p> <p data-bbox="1205 331 1267 462">                     制御 building                      IF 0. P. 15000                 </p>	 <p data-bbox="1765 223 1850 379">                     泊発電所3号炉                      内部保安対策計画策定区域図(02.1.0)                      備蓄系サブ建屋 15F(1F, 15.30)                 </p> <p data-bbox="1765 852 1850 973">                     洪水防護区域(非管理区域)                      洪水防護区域(管理区域)                      その他区域(管理区域)                      その他区域(非管理区域)                      区域番号                 </p>	<p data-bbox="1877 181 1993 204">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1877 213 1993 236">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 245 2130 268">プラント構成及び機器配置の相違</p>

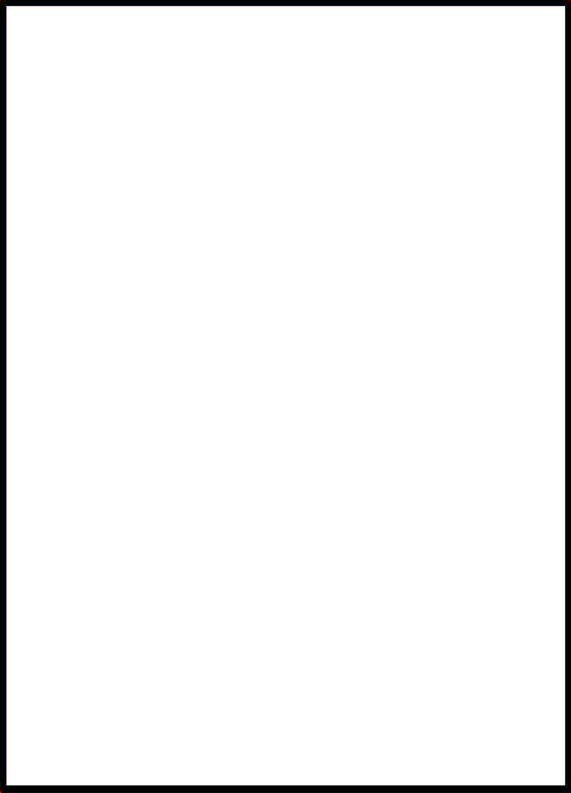

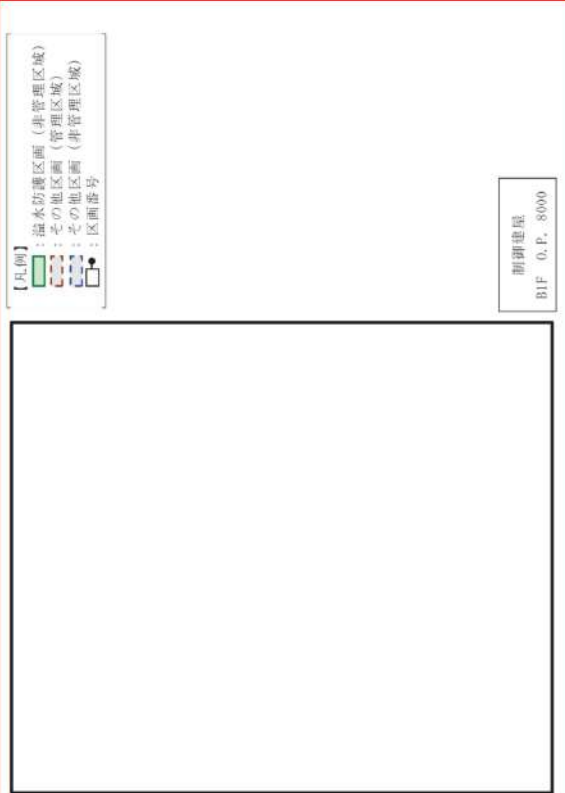
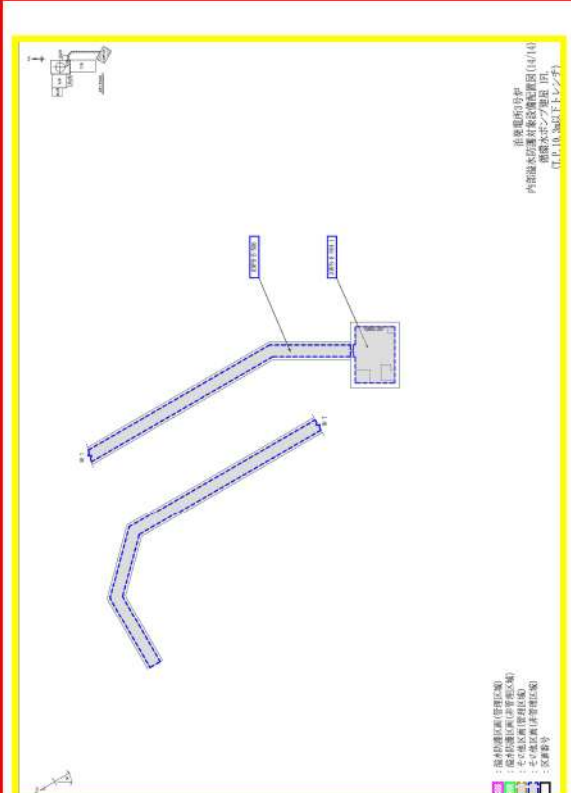


赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

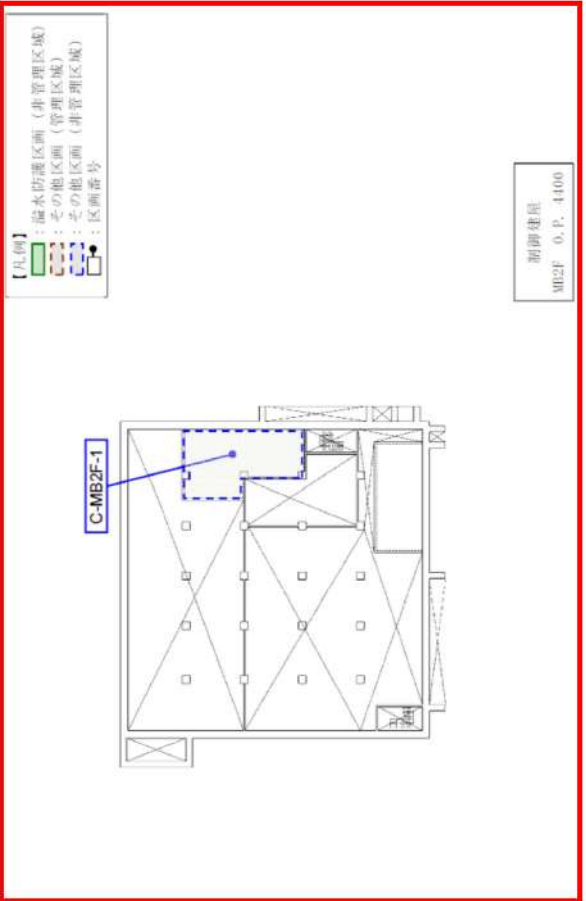
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="264 997 672 1018">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="707 406 728 454">【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■：基本防護区域（非管理区域）</li> <li>■：その他区域（管理区域）</li> <li>■：その他区域（非管理区域）</li> <li>○：区域番号</li> </ul> <p data-bbox="1220 343 1254 470">印刷建屋 MB1F 0. P. 11,400</p>	 <p data-bbox="1780 231 1825 343">泊発電所3号炉 内部図4号炉（非管理区域）(02/10) 基本設計（P.11） (T.P.10.36517)</p> <p data-bbox="1780 853 1825 965">基本防護区域（管理区域） 基本防護区域（非管理区域） その他区域（管理区域） その他区域（非管理区域） 区域番号</p>	<p data-bbox="1872 180 1982 199">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1872 215 1982 234">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1872 247 2116 266">プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

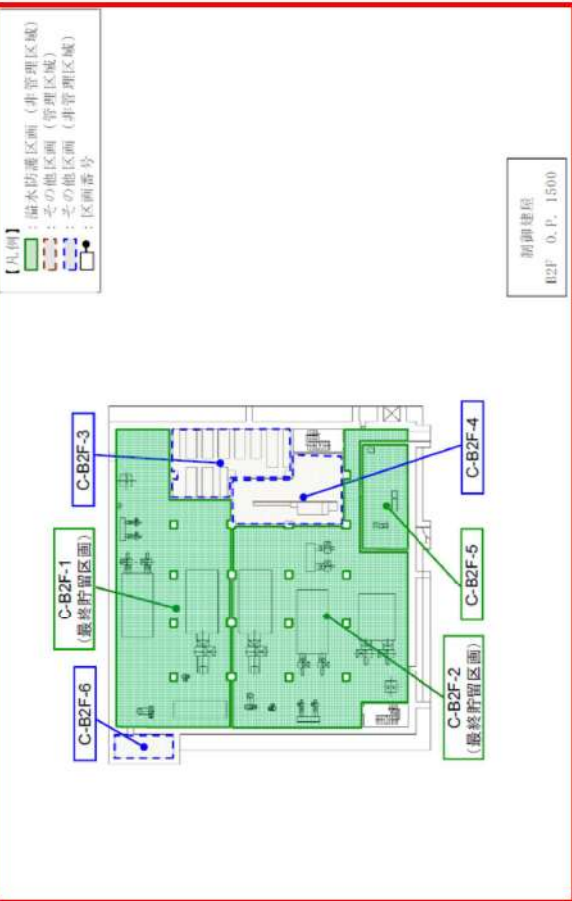
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料7）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 981 683 1021">  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</span> </p>	 <p data-bbox="703 981 1265 1021"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</span> </p>	 <p data-bbox="1285 981 1854 1021"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</span> </p>	<p data-bbox="1868 177 2136 199">【女川・大阪】</p> <p data-bbox="1868 215 2136 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1868 247 2136 271">プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント構成及び機器配置の相違</p>

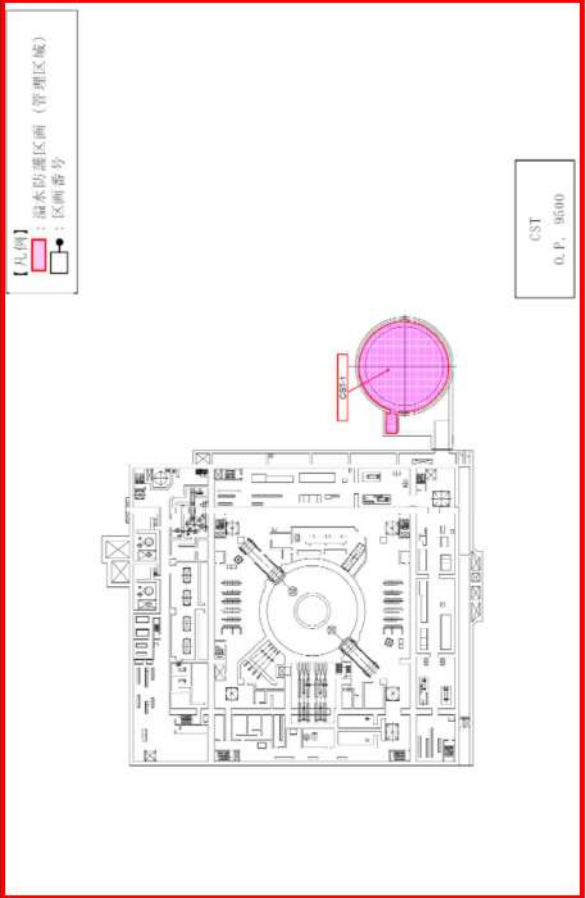
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>緑：漏水防護区画（非管理区画）</li> <li>青：その他区画（管理区画）</li> <li>赤：その他区画（非管理区画）</li> <li>黒：区画番号</li> </ul> <p>新脚建屋 B2F 0. P. 1500</p> <p>C-B2F-1 (最終貯留区画) C-B2F-2 (最終貯留区画) C-B2F-3 C-B2F-4 C-B2F-5 C-B2F-6</p>		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント構成及び機器配置の相違</p>

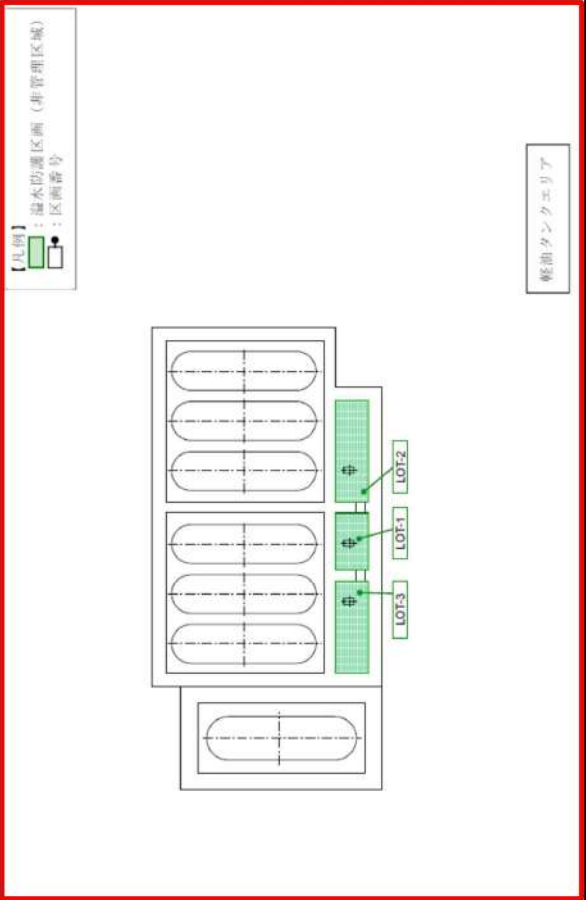
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="705 199 795 478" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■：溢水防護区画（非管理区域）</li> <li>■：その他区画（非管理区域）</li> <li>●：区画番号</li> </ul> </div> <div data-bbox="1227 347 1261 478" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;"> <p>海水ポンプ室</p> </div> <div data-bbox="705 494 1261 981" style="border: 1px solid black; height: 300px; margin-top: 10px;"> </div> <div data-bbox="772 997 1261 1029" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <p>枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。</p> </div>		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント構成及び機器配置の相違</p>

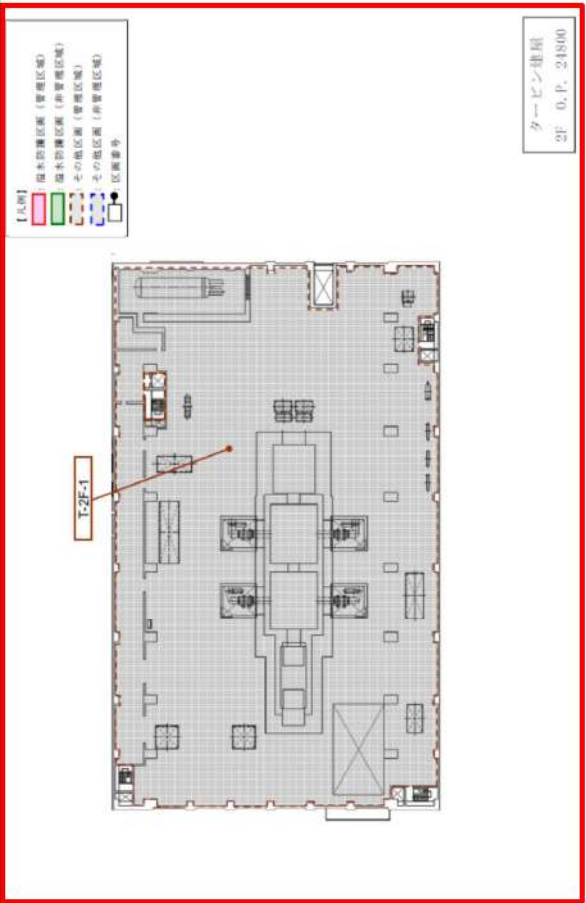
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

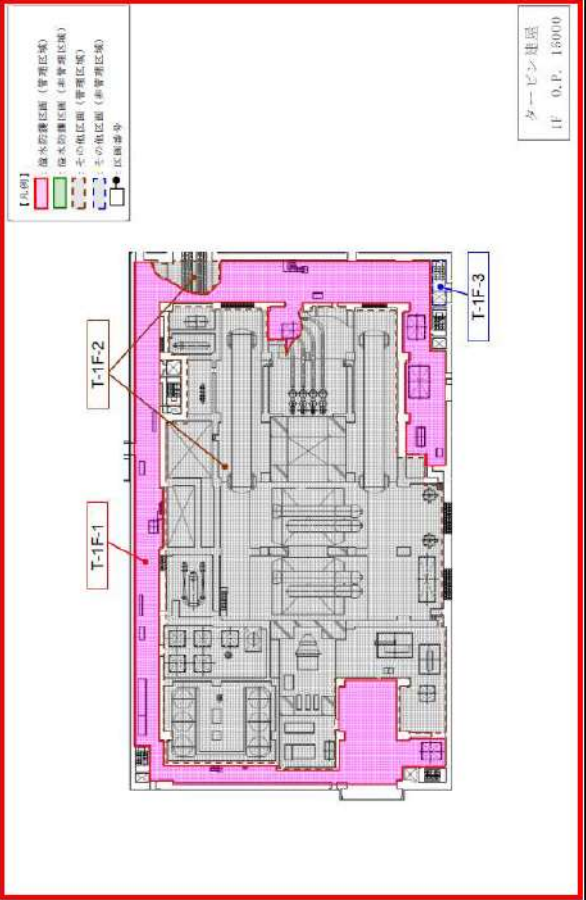
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

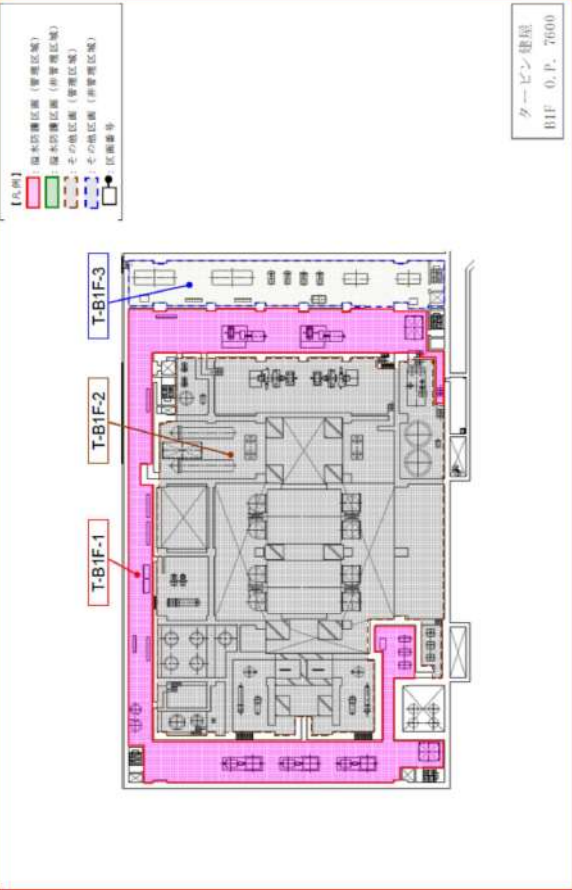
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント構成及び機器配置の相違</p>



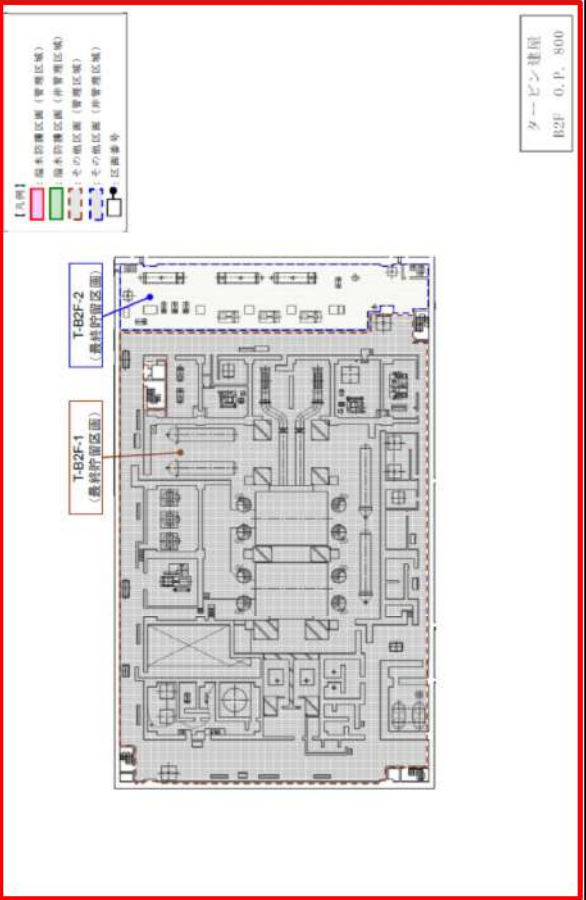
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料8）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
<p>17 滞留面積の精緻化に伴う没水影響評価について</p> <p>1. はじめに</p> <p>前回の現場調査以降、火災防護設備、重大事故等対処設備、多様性拡張設備等の追加設置に伴い没水影響評価に用いる滞留面積の減少があることから、今回、滞留面積の精緻化を図り没水影響評価について再評価を実施した。</p> <p>2. 没水影響評価</p> <p>没水影響評価に用いる滞留面積の精緻化に伴う没水影響評価の変更については、ゆらぎも含め溢水水位の上昇はわずかであり、防護対象設備が機能喪失しないことを確認した。</p> <p>没水評価結果の例を表1に示す。</p> <p>表1 滞留面積を精緻化の伴う没水影響評価について（例）</p> <table border="1" data-bbox="129 726 656 949"> <thead> <tr> <th colspan="8">原子炉周辺建屋 E.L.+10.0m 非管理区域 3EB-N12A 自動スプリンクラー</th> </tr> <tr> <th></th> <th>① 溢水量 [m<sup>3</sup>]</th> <th>② 滞留面積 [m<sup>2</sup>]</th> <th>床勾配 [m]</th> <th>③ 溢水水位 [m]</th> <th>防護対象設備</th> <th>④ 機能喪失高さ [m]</th> <th>⑤ 影響評価</th> <th>⑥ 判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>変更前</td> <td rowspan="2">21.6</td> <td>165.7</td> <td rowspan="2">0.00</td> <td rowspan="2">0.131</td> <td rowspan="2">3A、3B 制御用空気圧縮機制御盤 (3IAC-A、B)</td> <td rowspan="2">0.44</td> <td rowspan="2">③&lt;④</td> <td rowspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>変更後</td> <td>71.8</td> </tr> </tbody> </table>	原子炉周辺建屋 E.L.+10.0m 非管理区域 3EB-N12A 自動スプリンクラー									① 溢水量 [m <sup>3</sup> ]	② 滞留面積 [m <sup>2</sup> ]	床勾配 [m]	③ 溢水水位 [m]	防護対象設備	④ 機能喪失高さ [m]	⑤ 影響評価	⑥ 判定	変更前	21.6	165.7	0.00	0.131	3A、3B 制御用空気圧縮機制御盤 (3IAC-A、B)	0.44	③<④	○	変更後	71.8	<p>添付資料8</p> <p>滞留面積の算出について</p> <p>1. 滞留面積の算出要領</p> <p>滞留面積については、没水影響評価結果に与える影響が大きいため、以下のような条件にて算出することを<b>基本</b>とし、評価における保守性を確保する。</p>	<p>添付資料8</p> <p>滞留面積の算出について</p> <p>1. 滞留面積の算出要領</p> <p>滞留面積については、没水影響評価結果に与える影響が大きいため、以下のような条件にて算出することとし、評価における保守性を確保する。</p> <p>(1) 算出方法</p> <p>a. 滞留面積の算出エリアを設定し、その内側の面積を算出する。(以下「<b>全面積</b>」という)</p> <p>b. エリア内側にあるコンクリート基礎、柱、ビット、スロープ、床開口等、欠損となるコンクリート構造物の面積を算出する。(以下「<b>基礎等欠損面積</b>」という)</p> <p>c. 常設機器、現場資機材、床貫通部等、滞留面積の欠損となるものの面積を現場調査により算出する。(以下「<b>現場調査欠損面積</b>」という)</p> <p>d. 上記 a. で算出した面積より、b. 及び c. の欠損面積を差し引く。この結果を没水評価に用いる滞留面積とする。</p>	<p>【大飯】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>大飯は没水評価実施後に追加設置した設備等による滞留面積の減少分を精緻化して没水評価の再評価を実施していることを説明しているが、滞留面積の算出方法は泊と同様であり、欠損面積を現場実測している。</p> <p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は全エリアに対して同様の算出方法としていることから「<b>基本</b>」という記載はしていない。</p> <p>【女川・大飯】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>泊は滞留面積の算出過程が明確となるよう、最初に算出方法を記載する構成としている。</p> <p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は滞留面積の算出エリアの面積及びエリア内にある基礎等のコンクリート構造物は建築図面より算出し、評価に用いる滞留面積が現場の実態に即した精緻なものとなるよう、常設機器等の欠損面積を現場実測により算出している。</p> <p>(大飯3/4号炉、美浜3号炉、高浜1/2/3/4号炉と同様)</p>
原子炉周辺建屋 E.L.+10.0m 非管理区域 3EB-N12A 自動スプリンクラー																															
	① 溢水量 [m <sup>3</sup> ]	② 滞留面積 [m <sup>2</sup> ]	床勾配 [m]	③ 溢水水位 [m]	防護対象設備	④ 機能喪失高さ [m]	⑤ 影響評価	⑥ 判定																							
変更前	21.6	165.7	0.00	0.131	3A、3B 制御用空気圧縮機制御盤 (3IAC-A、B)	0.44	③<④	○																							
変更後		71.8																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

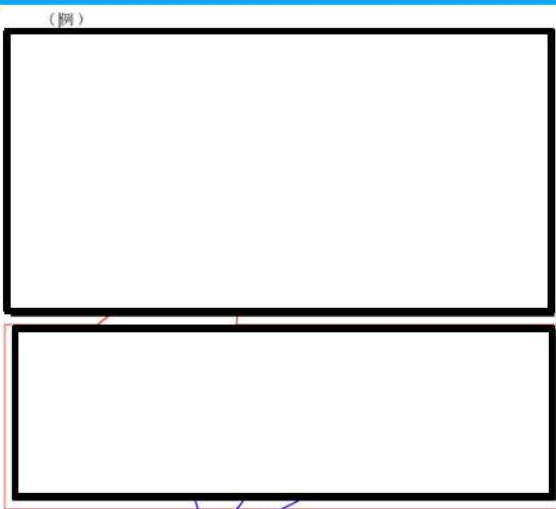
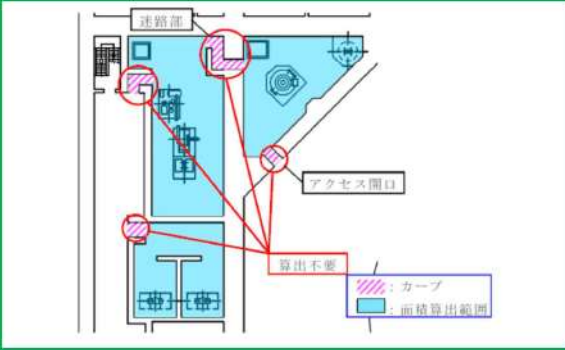
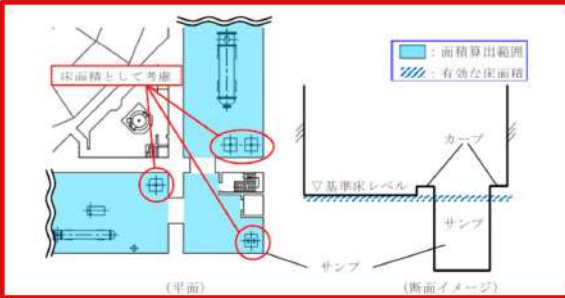
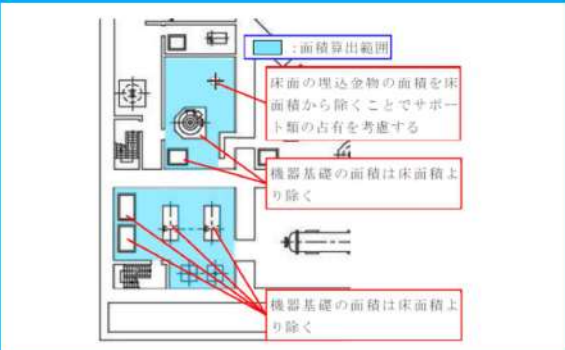
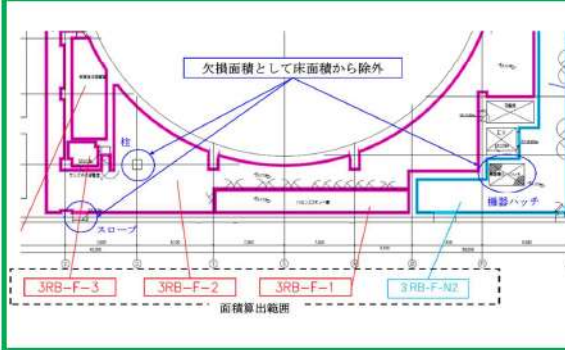
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(1) インプット</p> <p>a. 原則として、床躯体図を用いて躯体寸法を読み取り、手計算にて床面積を算出する。</p> <p>b. 一部形状が複雑なエリアは計算が繁雑となることから、CADデータを使用し床面積を算出する。</p> <p>(2) 算出範囲</p> <p>a. 壁、柱等で囲まれた範囲を単位区画として面積を算出する。(図1参照)</p> <p>b. アクセス開口及び迷路部等は床面積から除く。(図1参照)</p> <p>c. サンプ等、基準床面より掘り込んでいる部分については、有効な床面積として算出する。(図2参照)</p>	<p>(1) インプット</p> <p>a. 原則として、床躯体図を用いて躯体寸法を読み取り、手計算にて床面積を算出する。</p> <p>b. 一部形状が複雑なエリアは計算が繁雑となることから、CADデータを使用し床面積を算出する。</p> <p>(2) 算出範囲</p> <p>a. 壁、柱等で囲まれた範囲を単位区画として面積を算出する。(図1参照)</p> <p>b. コンクリート基礎、柱、ピット、スロープ、床開口は床面積から除く。(図1参照)</p>	<p>(2) インプット</p> <p>a. 全面積及び基礎等欠損面積は、建築図（コンクリート形状図）を用いて躯体寸法を読み取り、手計算にて床面積を算出する。</p> <p>b. 現場調査欠損面積は、現場調査により対象となる機器等の寸法を実測し、欠損面積を算出する。</p> <p>(3) 算出範囲</p> <p>a. 壁、柱等で囲まれた範囲を単位区画として面積を算出する。(図1参照)</p> <p>b. コンクリート基礎、柱、ピット、スロープ、床開口は床面積から除く。(図1参照)</p>	<p>【女川】                  設計方針の相違                  泊は全エリアに対して同様の算出方法としていることから「原則」という記載はしていない。                  記載表現の相違</p> <p>【女川】                  設計方針の相違                  泊は滞留面積の算出エリアの面積及びエリア内にある基礎等のコンクリート構造物は建築図面より算出し、評価に用いる滞留面積が現場の実態に即した精緻なものとなるよう、常設機器等の欠損面積を現場実測により算出している。                  (大飯3/4号炉、美浜3号炉、高浜1/2/3/4号炉と同様)</p> <p>【女川】                  記載表現の相違                  設計方針の相違                  ・泊では迷路部も床面積として算出している。(大飯3/4号炉、美浜3号炉、高浜1/2/3/4号炉と同様)                  ・また、ピットは欠損面積として扱っており、有効な床面積として含んでいない。(大飯3/4号炉、美浜3号炉、高浜1/2/3/4号炉と同様)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																								
	<p>(3) 通常評価</p> <p>没水評価を実施する際は、原則として、算出した床面積の値に0.7倍した値を使用する。基準床面より盛り上がっている部分（機器基礎、床ハッチ、スロープ、ランプ周りのカーブ、サポート類等）は0.7の係数に含まれるものとする。ただし、床面積に対して機器基礎の占有率が30%以上となる区画は、占有率に応じた係数を使用する。機器基礎の占有率に応じた係数使用区画について表1に示す。</p> <p style="text-align: center;">表1 機器基礎の占有率に応じた係数使用区画</p> <table border="1" data-bbox="696 518 1272 906"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>区画番号</th> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>床面積 [㎡]</th> <th>機器基礎面積 [㎡]</th> <th>機器基礎の占有率 [%]</th> <th>使用する係数</th> <th>エリア名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>R-B1F-12</td><td>R/B</td><td>B1F</td><td>102.6</td><td>33.5</td><td>33.0</td><td>0.65</td><td>区分B非常用MCC室</td></tr> <tr><td>2</td><td>R-1F-15</td><td>R/B</td><td>1F</td><td>200.9</td><td>65.2</td><td>33.0</td><td>0.65</td><td>D/G (BPCS) 室</td></tr> <tr><td>3</td><td>R-2F-2-2</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>50.4</td><td>15.7</td><td>32.0</td><td>0.65</td><td>FCS 再結合装置 (A) 室</td></tr> <tr><td>4</td><td>R-2F-2-3</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>50.4</td><td>15.7</td><td>32.0</td><td>0.65</td><td>FCS 再結合装置 (B) 室</td></tr> <tr><td>5</td><td>R-2F-2-5</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>14.5</td><td>5.3</td><td>37.0</td><td>0.6</td><td>CAMS ラック (A) 室</td></tr> <tr><td>6</td><td>R-2F-2-6</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>14.5</td><td>5.3</td><td>37.0</td><td>0.6</td><td>CAMS ラック (B) 室</td></tr> <tr><td>7</td><td>R-2F-13-1</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>33.1</td><td>11.6</td><td>36.0</td><td>0.6</td><td>D/G (A) 非常用送風機室</td></tr> <tr><td>8</td><td>R-2F-17</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>27.4</td><td>10.2</td><td>38.0</td><td>0.6</td><td>燃料デイトンク (A) 室</td></tr> <tr><td>9</td><td>R-2F-18</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>32.1</td><td>10.2</td><td>32.0</td><td>0.65</td><td>燃料デイトンク (B) 室</td></tr> <tr><td>10</td><td>R-2F-19</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>27.7</td><td>9.1</td><td>33.0</td><td>0.65</td><td>燃料デイトンク (BPCS) 室</td></tr> <tr><td>11</td><td>C-B2F-3</td><td>C/B</td><td>B2F</td><td>113.7</td><td>57.9</td><td>51.0</td><td>0.45</td><td>DC250V バッテリー室</td></tr> <tr><td>12</td><td>C-B1F-2</td><td>C/B</td><td>B1F</td><td>44.4</td><td>13.7</td><td>31.0</td><td>0.65</td><td>DC125V バッテリー室 (A)</td></tr> <tr><td>13</td><td>C-B1F-4</td><td>C/B</td><td>B1F</td><td>70.3</td><td>28.0</td><td>40.0</td><td>0.55</td><td>DC125V バッテリー室 (B)</td></tr> <tr><td>14</td><td>C-B1F-5</td><td>C/B</td><td>B1F</td><td>211.8</td><td>62.1</td><td>30.0</td><td>0.65</td><td>計測制御電装室 (B)</td></tr> <tr><td>15</td><td>C-B1F-6-1</td><td>C/B</td><td>B1F</td><td>32.5</td><td>10.1</td><td>32.0</td><td>0.65</td><td>ISS 盤室</td></tr> </tbody> </table> <p>(4) 詳細評価</p> <p>最終的な溢水の滞留先となる最地下階の共通エリアや、復水器室等の機器の占有率が大きいエリアについては、詳細に算出した面積を使用する。(図3参照)</p> <p>対象とする区画は表2のとおり。</p> <p style="text-align: center;">表2 詳細に面積を算出した区画</p> <table border="1" data-bbox="696 1201 1272 1385"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>区画番号</th> <th>床面積 [㎡]</th> <th>機器基礎面積 [㎡]</th> <th>理込全物面積 [㎡]</th> <th>合計面積 [㎡]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>R-B3F-1</td><td>156.7</td><td>0.4</td><td>1.0</td><td>156.3</td></tr> <tr><td>2</td><td>R-B3F-12</td><td>70.8</td><td>0</td><td>0</td><td>70.8</td></tr> <tr><td>3</td><td>復水器室*</td><td>1621.5</td><td>286.0</td><td>73.0</td><td>1262.5</td></tr> </tbody> </table> <p>※ 復水器室は T-B2F-1 の面積に含め、没水評価で使用している。</p>	No.	区画番号	建屋	フロア	床面積 [㎡]	機器基礎面積 [㎡]	機器基礎の占有率 [%]	使用する係数	エリア名称	1	R-B1F-12	R/B	B1F	102.6	33.5	33.0	0.65	区分B非常用MCC室	2	R-1F-15	R/B	1F	200.9	65.2	33.0	0.65	D/G (BPCS) 室	3	R-2F-2-2	R/B	2F	50.4	15.7	32.0	0.65	FCS 再結合装置 (A) 室	4	R-2F-2-3	R/B	2F	50.4	15.7	32.0	0.65	FCS 再結合装置 (B) 室	5	R-2F-2-5	R/B	2F	14.5	5.3	37.0	0.6	CAMS ラック (A) 室	6	R-2F-2-6	R/B	2F	14.5	5.3	37.0	0.6	CAMS ラック (B) 室	7	R-2F-13-1	R/B	2F	33.1	11.6	36.0	0.6	D/G (A) 非常用送風機室	8	R-2F-17	R/B	2F	27.4	10.2	38.0	0.6	燃料デイトンク (A) 室	9	R-2F-18	R/B	2F	32.1	10.2	32.0	0.65	燃料デイトンク (B) 室	10	R-2F-19	R/B	2F	27.7	9.1	33.0	0.65	燃料デイトンク (BPCS) 室	11	C-B2F-3	C/B	B2F	113.7	57.9	51.0	0.45	DC250V バッテリー室	12	C-B1F-2	C/B	B1F	44.4	13.7	31.0	0.65	DC125V バッテリー室 (A)	13	C-B1F-4	C/B	B1F	70.3	28.0	40.0	0.55	DC125V バッテリー室 (B)	14	C-B1F-5	C/B	B1F	211.8	62.1	30.0	0.65	計測制御電装室 (B)	15	C-B1F-6-1	C/B	B1F	32.5	10.1	32.0	0.65	ISS 盤室	No.	区画番号	床面積 [㎡]	機器基礎面積 [㎡]	理込全物面積 [㎡]	合計面積 [㎡]	1	R-B3F-1	156.7	0.4	1.0	156.3	2	R-B3F-12	70.8	0	0	70.8	3	復水器室*	1621.5	286.0	73.0	1262.5	<p>(4) 現場調査欠損面積の算出</p> <p>現場調査欠損面積は、現場実測により算出した欠損面積に対し、すべてのエリアにおいて一律に25%の割り増しを行う。現場調査による欠損面積の対象外とした0.01㎡未満の機器は割り増しに含まれるものとする。</p> <p>現場調査欠損面積の現場実測の例を図2に示す。</p>	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違          設計方針の相違</p> <p>・女川は床面積に対する機器等の占有率に応じて通常評価又は詳細評価を実施しているのに対し、泊は全エリアに対して同様の算出方法としている。</p> <p>・また、女川は滞留面積の算出時に係数を乗じることで保守性を確保しているのに対し、泊は全区画の欠損面積を一律に25%割り増しすることで保守性を確保している。</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違          同上</p>
No.	区画番号	建屋	フロア	床面積 [㎡]	機器基礎面積 [㎡]	機器基礎の占有率 [%]	使用する係数	エリア名称																																																																																																																																																																			
1	R-B1F-12	R/B	B1F	102.6	33.5	33.0	0.65	区分B非常用MCC室																																																																																																																																																																			
2	R-1F-15	R/B	1F	200.9	65.2	33.0	0.65	D/G (BPCS) 室																																																																																																																																																																			
3	R-2F-2-2	R/B	2F	50.4	15.7	32.0	0.65	FCS 再結合装置 (A) 室																																																																																																																																																																			
4	R-2F-2-3	R/B	2F	50.4	15.7	32.0	0.65	FCS 再結合装置 (B) 室																																																																																																																																																																			
5	R-2F-2-5	R/B	2F	14.5	5.3	37.0	0.6	CAMS ラック (A) 室																																																																																																																																																																			
6	R-2F-2-6	R/B	2F	14.5	5.3	37.0	0.6	CAMS ラック (B) 室																																																																																																																																																																			
7	R-2F-13-1	R/B	2F	33.1	11.6	36.0	0.6	D/G (A) 非常用送風機室																																																																																																																																																																			
8	R-2F-17	R/B	2F	27.4	10.2	38.0	0.6	燃料デイトンク (A) 室																																																																																																																																																																			
9	R-2F-18	R/B	2F	32.1	10.2	32.0	0.65	燃料デイトンク (B) 室																																																																																																																																																																			
10	R-2F-19	R/B	2F	27.7	9.1	33.0	0.65	燃料デイトンク (BPCS) 室																																																																																																																																																																			
11	C-B2F-3	C/B	B2F	113.7	57.9	51.0	0.45	DC250V バッテリー室																																																																																																																																																																			
12	C-B1F-2	C/B	B1F	44.4	13.7	31.0	0.65	DC125V バッテリー室 (A)																																																																																																																																																																			
13	C-B1F-4	C/B	B1F	70.3	28.0	40.0	0.55	DC125V バッテリー室 (B)																																																																																																																																																																			
14	C-B1F-5	C/B	B1F	211.8	62.1	30.0	0.65	計測制御電装室 (B)																																																																																																																																																																			
15	C-B1F-6-1	C/B	B1F	32.5	10.1	32.0	0.65	ISS 盤室																																																																																																																																																																			
No.	区画番号	床面積 [㎡]	機器基礎面積 [㎡]	理込全物面積 [㎡]	合計面積 [㎡]																																																																																																																																																																						
1	R-B3F-1	156.7	0.4	1.0	156.3																																																																																																																																																																						
2	R-B3F-12	70.8	0	0	70.8																																																																																																																																																																						
3	復水器室*	1621.5	286.0	73.0	1262.5																																																																																																																																																																						

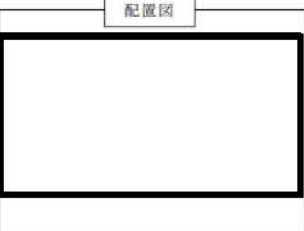

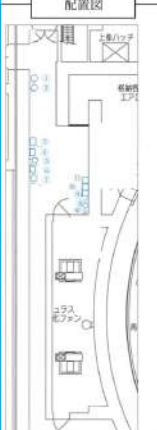

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料8）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>9 スロープ部の滞留面積の考え方について</p> <p>大阪発電所の現場にあるスロープ部の考え方については、図1のとおり、スロープ部全面及びフロアレベルよりも高い床面は、滞留面積から除いて評価している。</p>  <p>（例）</p> <p>3号炉 E.L.+26.0m 北側通路部には、勾配が76cmのスロープがあるため、スロープ部全面及びフロアレベルよりも高い床面は、滞留面積から除いている。</p> <p>図1 スロープ部の滞留面積の考え方</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項のため、公開できません。</p>	<p>（5）数値処理</p> <p>面積の算出は「㎡」単位で行い、小数第2位を切り捨てる。<b>（床面積算出後に切り捨てを実施し、更に0.7倍後に切り捨てる。）</b></p>  <p>図1 面積算出範囲</p>  <p>図2 掘り込み部の扱い （例：最地下階サンプ）</p>  <p>図3 詳細に床面積を算出する場合の算出範囲（例）</p>	<p>（5）数値処理</p> <p>面積の算出は「㎡」単位で行い、小数第2位を切り捨てる。</p>  <p>図1 面積算出範囲</p>	<p>【女川】 設計方針の相違 泊では最終的な滞留面積算出時に切り捨て処理を行っている。</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 建屋構成の違いによる</p> <p>【女川】 設計方針の相違 泊ではピットは欠損面積として扱っており、有効な床面積として含んでいない。</p> <p>【女川】 記載方針の相違 泊ではすべてのエリアに対して同様の算出方法により滞留面積を算出していることから、女川のように「通常評価」と「詳細評価」の区別は無いが、機器基礎を床面積から除外していることは同様である。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料8）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																												
<p>(17 滞留面積の精緻化に伴う没水影響評価について)</p> <p>(例) 火災防護設備(盤)</p> <p>大飯3号炉 床面積精緻化に伴う対象物の調査結果</p> <table border="1" data-bbox="156 359 672 582"> <caption>管理表</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">番号</th> <th rowspan="2">対象物 種類</th> <th colspan="2">測定寸法(mm)</th> <th rowspan="2">欠損面積 (m<sup>2</sup>)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>縦</th> <th>横</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>033</td> <td>① 土台</td> <td>850mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m<sup>2</sup></td> <td>盤1個</td> </tr> <tr> <td>033</td> <td>② 土台</td> <td>850mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m<sup>2</sup></td> <td>盤1個</td> </tr> <tr> <td>033</td> <td>③ 土台</td> <td>850mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m<sup>2</sup></td> <td>盤1個</td> </tr> <tr> <td>033</td> <td>④ 土台</td> <td>850mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m<sup>2</sup></td> <td>盤1個</td> </tr> <tr> <td>034</td> <td>① 土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m<sup>2</sup></td> <td>盤1個</td> </tr> <tr> <td>034</td> <td>② 土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m<sup>2</sup></td> <td>盤1個</td> </tr> </tbody> </table> <p>配置図</p>  <p>写真</p>  <p>No. 33①～④</p> <p>No. 34①～②</p>	番号	対象物 種類	測定寸法(mm)		欠損面積 (m <sup>2</sup> )	備考	縦	横	033	① 土台	850mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1個	033	② 土台	850mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1個	033	③ 土台	850mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1個	033	④ 土台	850mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1個	034	① 土台	650mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1個	034	② 土台	650mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1個		<p>(例) 原子炉建屋 33.1m 3RB-C-1_通路, エアロック室①</p> <table border="1" data-bbox="1288 263 1848 550"> <caption>管理表</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">No.</th> <th rowspan="2">設備名称</th> <th colspan="2">高さ(m)</th> <th colspan="2">内径(m)</th> <th colspan="2">水中設置寸法(m)</th> <th colspan="2">水中設置高さ(m)</th> </tr> <tr> <th>前</th> <th>後</th> <th>直径</th> <th>管径</th> <th>設置高</th> <th>設置高</th> <th>Y</th> <th>Z</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>常設監視盤</td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>常設監視盤</td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>作業員監視盤(2009-1)</td> <td>600</td> <td>300</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>800</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>2009-2監視盤(2009-2)</td> <td>600</td> <td>300</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>700</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>常設監視盤</td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>2009-3監視盤(2009-3)</td> <td>600</td> <td>300</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>常設監視盤</td> <td></td> <td></td> <td>110</td> <td>0.11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>常設監視盤</td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>2009-4監視盤</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>2009-5監視盤</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>2009-6監視盤</td> <td>300</td> <td>300</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>配置図</p>  <p>写真</p>  <p>No. 1, 2</p> <p>No. 3</p> <p>No. 4</p> <p>No. 5</p> <p>No. 6</p> <p>No. 7</p>	No.	設備名称	高さ(m)		内径(m)		水中設置寸法(m)		水中設置高さ(m)		前	後	直径	管径	設置高	設置高	Y	Z	1	常設監視盤			300	0.103					2	常設監視盤			300	0.103					3	作業員監視盤(2009-1)	600	300	0.103				800	1000	4	2009-2監視盤(2009-2)	600	300	0.103				700	1000	5	常設監視盤			300	0.103					6	2009-3監視盤(2009-3)	600	300	0.103						7	常設監視盤			110	0.11					8	常設監視盤			300	0.103					9	2009-4監視盤	200	200	0.103						10	2009-5監視盤	200	200	0.103						11	2009-6監視盤	300	300	0.103						<p>【女川】          記載方針の相違          泊では常設機器等の欠損面積を現場実測により算出していることから、現場実測の例を図2に示している。</p> <p>【大飯】          記載表現の相違</p>
番号			対象物 種類	測定寸法(mm)			欠損面積 (m <sup>2</sup> )	備考																																																																																																																																																																							
	縦	横																																																																																																																																																																													
033	① 土台	850mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1個																																																																																																																																																																										
033	② 土台	850mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1個																																																																																																																																																																										
033	③ 土台	850mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1個																																																																																																																																																																										
033	④ 土台	850mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1個																																																																																																																																																																										
034	① 土台	650mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1個																																																																																																																																																																										
034	② 土台	650mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1個																																																																																																																																																																										
No.	設備名称	高さ(m)		内径(m)		水中設置寸法(m)		水中設置高さ(m)																																																																																																																																																																							
		前	後	直径	管径	設置高	設置高	Y	Z																																																																																																																																																																						
1	常設監視盤			300	0.103																																																																																																																																																																										
2	常設監視盤			300	0.103																																																																																																																																																																										
3	作業員監視盤(2009-1)	600	300	0.103				800	1000																																																																																																																																																																						
4	2009-2監視盤(2009-2)	600	300	0.103				700	1000																																																																																																																																																																						
5	常設監視盤			300	0.103																																																																																																																																																																										
6	2009-3監視盤(2009-3)	600	300	0.103																																																																																																																																																																											
7	常設監視盤			110	0.11																																																																																																																																																																										
8	常設監視盤			300	0.103																																																																																																																																																																										
9	2009-4監視盤	200	200	0.103																																																																																																																																																																											
10	2009-5監視盤	200	200	0.103																																																																																																																																																																											
11	2009-6監視盤	300	300	0.103																																																																																																																																																																											
<p>図1 滞留面積精緻化に伴う資料について</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項のため、公開できません。</p>		<p>図2 床面積欠損対象物の測定結果例</p>																																																																																																																																																																													



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料9）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由							
添付資料 1.3-3						添付資料 9						添付資料 9						【大阪】 記載表現の相違 ・女川審査表の反映により表の名称が異なる。 ・また、表中の記載表現も一部異なるが、「号炉」以外の記載情報は差はない。 【女川】 記載表現の相違 設備名称の相違							
溢水影響評価で止水を期待できる設備 表1 止水を期待できる設備						表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(1/5)						表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備 (1/2)													
号炉	設置場所	設置高さ	対象		新設 既設	箇所数	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分		箇所数						
3号炉	原子炉 周辺建屋 (管理区域)	E.L. + 3.5m	逆流 防止 弁	機器ドレン 逆止弁	既設	2	原子炉建屋 原子炉棟	B3F	RCTC タービンポンプ室 (R-B3F-2)	水密扉	既設 (改造)	1	原子炉建屋	T.P. 2. 3m	3V-WB-500 (3-T/D AFWPT 排気管温水ピ ット行きドレン管逆止弁) (-)	逆止弁	新設	1							
				ペント逆止弁	新設	1			3V-WB-501 (3-T/D AFWPT リーク管温水 ピット行きドレン管逆止弁) (-)	逆止弁	新設	1													
			サンプタンク*	目皿逆止弁	新設	11			3V-WB-502 (3-R/B 非管理区域ドレン管 定流ピット行きドレン管逆止弁) (-)	逆止弁	新設	1													
				目皿逆止弁	新設	1			3V-WB-503 (3-主蒸気管室ドレン管定流 ピット行きドレン管逆止弁) (-)	逆止弁	新設	1													
		E.L. + 10.0m	逆流 防止 弁	機器ドレン 逆止弁	既設	3			RHR ポンプ(B)室 (R-B3F-6)	水密扉	既設	1			T.P. 10. 3m	水密扉 No. 69 (3RB-K-N4)	水密扉	新設	1	原子炉建屋	T.P. 10. 3m	水密扉 No. 93 (3RB-H-N1)	水密扉	新設	1
				目皿逆止弁	新設	14			HPCS ポンプ室 (R-B3F-5)	水密扉	既設	1				水密扉 No. 154 (3RB-H-N1)	水密扉	新設	1						
	水密扉	新設	1	LPCS ポンプ室 (R-B3F-4)	水密扉	既設		1	止水板 No. A (3RB-H-N5)	止水板	新設	1													
	E.L. + 17.1m	堰		新設	1	RHR ポンプ(A)室 (R-B3F-3)		水密扉	既設	1	止水板 DG-A (3RB-H-N11)	止水板		新設		1	止水板 DG-B (3RB-H-N10)	止水板	新設			1			
	E.L. + 26.0m	堰		新設	2	CUW 配管・バルブ室 (R-B2F-6)		堰	新設	1	DG-A 出入り口堰 (3DG-H-N2)	堰		既設		1	DG-B 出入り口堰 (3DG-H-N1)	堰	既設			1			
		堰		新設	2	MURC ポンプ室 (R-B2F-5)		堰	新設	1	水密扉 No. 140 (3RB-F-N2)	水密扉		新設		1	T.P. 17. 8m	水密扉 No. 155 (3RB-F-N2)	水密扉			新設	1		
	4号炉	原子炉 周辺建屋 (管理区域)	E.L. + 3.5m	逆流 防止 弁	機器ドレン 逆止弁	既設		2	原子炉建屋 原子炉棟	B2F	共通エリア・ハッチ (HR-207) (R-B2F-1)	堰		新設	1	T.P. 24. 8m	T.P. 24. 8m	水密扉 No. 146 (3RB-B-N3)	水密扉	新設	1				
					目皿逆止弁	新設		11			MS トンネル室 (R-B1F-3-2)	堰		新設	1			水密扉 No. 156 (3RB-D-N3)	水密扉	新設	1				
サンプタンク*				既設	1	共通エリア・ハッチ (HR-307) (R-B1F-1)	堰	新設			1	水密扉 No. 158 (3RB-C-N51)	水密扉	新設	1										
水密扉			新設	1	共通エリア・ハッチ (HR-311) (R-B1F-1)	堰	新設	1			33.1m (区画境界②) 堰 (-)	堰	既設	1											
E.L. + 10.0m		水密扉		新設	1	B1F	RCTC MCC 室 (R-B1F-4)	堰		新設	1	T.P. 33. 1m	T.P. 33. 1m	33.1m (区画境界③) 堰 (-)	堰	既設	1								
E.L. + 17.1m		堰		新設	1		(R-01)北西階段室	堰		新設	1			33.1m (区画境界④) 堰 (-)	堰	既設	1								
E.L. + 22.0m		堰		新設	1		MS トンネル室 (R-B1F-3-2)	堰		新設	1			T.P. 40. 3m	T.P. 40. 3m	水密扉 No. 147 (3RB-B-1)	水密扉	新設	1						
E.L. + 26.0m		堰		新設	2		(R-02)北東階段室	堰		新設	1														
※サンプタンクについては、水頭圧にて強度評価を実施した。																									

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料9）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																
	<p>表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(2/5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>フロア</th> <th>対象 (区画番号)</th> <th>種類</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="18">原子炉建屋 原子炉棟</td> <td rowspan="9">1F</td> <td>(R-02)北東階段室</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>バルブ室(A) (R-1F-9)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>バルブ室(B) (R-1F-8)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R/B 大物搬入用小屋</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T/B 連絡通路(東側)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T/B 連絡通路(西側)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R/B 大物搬入用扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>SGTS ヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>(R-01)北西階段室</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="9">2F</td> <td>CAMS ラック(A)室 (R-2F-2-5)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>CAMS ラック(B)室 (R-2F-2-6)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>SGTS ヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>SGTS ヒータユニット(B)室 (R-2F-1-3)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>(R-02)北東階段室</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>SGTS フィルタユニット室 (R-2F-1-1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>FCS 再結合装置(A)室 (R-2F-2-2)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>FCS 再結合装置(B)室 (R-2F-2-3)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>(R-02)北東階段室</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉建屋 付属棟</td> <td rowspan="3">B3F</td> <td>RCW 熱交換器(A)(C)室 (R-B3F-11)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>RCW 熱交換器(B)(D)室 (R-B3F-14)</td> <td>水密扉</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>HPCW 熱交換器室 (R-B3F-13)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数	原子炉建屋 原子炉棟	1F	(R-02)北東階段室	堰	新設	1	バルブ室(A) (R-1F-9)	堰	新設	1	バルブ室(B) (R-1F-8)	堰	新設	1	R/B 大物搬入用小屋	水密扉	新設	1	T/B 連絡通路(東側)	水密扉	新設	1	T/B 連絡通路(西側)	水密扉	新設	1	R/B 大物搬入用扉	水密扉	新設	1	SGTS ヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)	水密扉	新設	1	(R-01)北西階段室	堰	新設	1	2F	CAMS ラック(A)室 (R-2F-2-5)	堰	新設	1	CAMS ラック(B)室 (R-2F-2-6)	堰	新設	1	SGTS ヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)	堰	新設	1	SGTS ヒータユニット(B)室 (R-2F-1-3)	堰	新設	1	(R-02)北東階段室	堰	新設	1	SGTS フィルタユニット室 (R-2F-1-1)	堰	新設	1	FCS 再結合装置(A)室 (R-2F-2-2)	堰	新設	1	FCS 再結合装置(B)室 (R-2F-2-3)	堰	新設	1	(R-02)北東階段室	堰	新設	1	原子炉建屋 付属棟	B3F	RCW 熱交換器(A)(C)室 (R-B3F-11)	水密扉	既設 (改造)	1	RCW 熱交換器(B)(D)室 (R-B3F-14)	水密扉	既設	1	HPCW 熱交換器室 (R-B3F-13)	水密扉	既設 (改造)	1	<p>表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>フロア</th> <th>対象(区画番号)</th> <th>種類</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="18">原子炉補助 建屋</td> <td rowspan="6">T.P.-1.7m</td> <td>A-高圧注入ポンプ用止水板No.1 (3AB-1-9)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>A-高圧注入ポンプ用止水板No.2 (3AB-1-9)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B-高圧注入ポンプ用止水板No.1 (3AB-1-3)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B-高圧注入ポンプ用止水板No.2 (3AB-1-3)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">T.P. 2.8m</td> <td>水密扉 No.68 (-)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No.73 (3AB-K-4)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">T.P. 10.3m</td> <td>止水板 2.8-A (-)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No.77 (3AB-H-1)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No.78 (3AB-H-4)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No.87 (-)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No.85 (3AB-H-N2)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>管理区域出入り口堰 (-)</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>10.3m (A-D階段前機器ハッチ廻り) 堰 (3AB-K-4)</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>止水板 No.80 (3AB-H-N6)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>止水板 No.81 (3AB-H-N6)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>止水板 No.82 (3AB-H-N1)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">T.P. 17.8m</td> <td>水密扉 No.141 (3AB-F-N7)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No.142 (-)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No.143 (3AB-F-N7)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No.144 (3AB-F-N7)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>A-安全系計装盤室(西側) 通路(仮称) (3AB-F-N13)</td> <td>水密扉<sup>※1</sup></td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>A-安全系計装盤室(東側) 通路(仮称) (3AB-F-N13)</td> <td>水密扉<sup>※1</sup></td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">T.P. 33.1m</td> <td>B-安全系計装盤室(西側) 通路(仮称) (3AB-F-N2)</td> <td>水密扉<sup>※1</sup></td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B-安全系計装盤室(東側) 通路(仮称) (3AB-F-N2)</td> <td>水密扉<sup>※1</sup></td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T.P. 33.1m</td> <td>33.5m(区画境界) 堰 (-)</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 水密扉を今後設置予定</p>	設置エリア	フロア	対象(区画番号)	種類	区分	箇所数	原子炉補助 建屋	T.P.-1.7m	A-高圧注入ポンプ用止水板No.1 (3AB-1-9)	止水板	新設	1	A-高圧注入ポンプ用止水板No.2 (3AB-1-9)	止水板	新設	1	B-高圧注入ポンプ用止水板No.1 (3AB-1-3)	止水板	新設	1	B-高圧注入ポンプ用止水板No.2 (3AB-1-3)	止水板	新設	1	T.P. 2.8m	水密扉 No.68 (-)	水密扉	新設	1	水密扉 No.73 (3AB-K-4)	水密扉	新設	1	T.P. 10.3m	止水板 2.8-A (-)	止水板	新設	1	水密扉 No.77 (3AB-H-1)	水密扉	新設	1	水密扉 No.78 (3AB-H-4)	水密扉	新設	1	水密扉 No.87 (-)	水密扉	新設	1	水密扉 No.85 (3AB-H-N2)	水密扉	新設	1	管理区域出入り口堰 (-)	堰	既設	1	10.3m (A-D階段前機器ハッチ廻り) 堰 (3AB-K-4)	堰	既設	1	止水板 No.80 (3AB-H-N6)	止水板	新設	1	止水板 No.81 (3AB-H-N6)	止水板	新設	1	止水板 No.82 (3AB-H-N1)	止水板	新設	1	T.P. 17.8m	水密扉 No.141 (3AB-F-N7)	水密扉	新設	1	水密扉 No.142 (-)	水密扉	新設	1	水密扉 No.143 (3AB-F-N7)	水密扉	新設	1	水密扉 No.144 (3AB-F-N7)	水密扉	新設	1	A-安全系計装盤室(西側) 通路(仮称) (3AB-F-N13)	水密扉 <sup>※1</sup>	新設	1	A-安全系計装盤室(東側) 通路(仮称) (3AB-F-N13)	水密扉 <sup>※1</sup>	新設	1	T.P. 33.1m	B-安全系計装盤室(西側) 通路(仮称) (3AB-F-N2)	水密扉 <sup>※1</sup>	新設	1	B-安全系計装盤室(東側) 通路(仮称) (3AB-F-N2)	水密扉 <sup>※1</sup>	新設	1	T.P. 33.1m	33.5m(区画境界) 堰 (-)	堰	既設	1	<p>【女川】  <span style="color: green;">設備名称の相違</span>  <span style="color: green;">記載表現の相違</span></p>
設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数																																																																																																																																																																																																														
原子炉建屋 原子炉棟	1F	(R-02)北東階段室	堰	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		バルブ室(A) (R-1F-9)	堰	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		バルブ室(B) (R-1F-8)	堰	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		R/B 大物搬入用小屋	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		T/B 連絡通路(東側)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		T/B 連絡通路(西側)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		R/B 大物搬入用扉	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		SGTS ヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		(R-01)北西階段室	堰	新設	1																																																																																																																																																																																																														
	2F	CAMS ラック(A)室 (R-2F-2-5)	堰	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		CAMS ラック(B)室 (R-2F-2-6)	堰	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		SGTS ヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)	堰	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		SGTS ヒータユニット(B)室 (R-2F-1-3)	堰	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		(R-02)北東階段室	堰	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		SGTS フィルタユニット室 (R-2F-1-1)	堰	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		FCS 再結合装置(A)室 (R-2F-2-2)	堰	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		FCS 再結合装置(B)室 (R-2F-2-3)	堰	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		(R-02)北東階段室	堰	新設	1																																																																																																																																																																																																														
原子炉建屋 付属棟	B3F	RCW 熱交換器(A)(C)室 (R-B3F-11)	水密扉	既設 (改造)	1																																																																																																																																																																																																														
		RCW 熱交換器(B)(D)室 (R-B3F-14)	水密扉	既設	1																																																																																																																																																																																																														
		HPCW 熱交換器室 (R-B3F-13)	水密扉	既設 (改造)	1																																																																																																																																																																																																														
設置エリア	フロア	対象(区画番号)	種類	区分	箇所数																																																																																																																																																																																																														
原子炉補助 建屋	T.P.-1.7m	A-高圧注入ポンプ用止水板No.1 (3AB-1-9)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		A-高圧注入ポンプ用止水板No.2 (3AB-1-9)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		B-高圧注入ポンプ用止水板No.1 (3AB-1-3)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		B-高圧注入ポンプ用止水板No.2 (3AB-1-3)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		T.P. 2.8m	水密扉 No.68 (-)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																																																													
			水密扉 No.73 (3AB-K-4)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																																																													
	T.P. 10.3m	止水板 2.8-A (-)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		水密扉 No.77 (3AB-H-1)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		水密扉 No.78 (3AB-H-4)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		水密扉 No.87 (-)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		水密扉 No.85 (3AB-H-N2)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		管理区域出入り口堰 (-)	堰	既設	1																																																																																																																																																																																																														
		10.3m (A-D階段前機器ハッチ廻り) 堰 (3AB-K-4)	堰	既設	1																																																																																																																																																																																																														
		止水板 No.80 (3AB-H-N6)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		止水板 No.81 (3AB-H-N6)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		止水板 No.82 (3AB-H-N1)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		T.P. 17.8m	水密扉 No.141 (3AB-F-N7)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																																																													
			水密扉 No.142 (-)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																																																													
水密扉 No.143 (3AB-F-N7)	水密扉		新設	1																																																																																																																																																																																																															
水密扉 No.144 (3AB-F-N7)	水密扉		新設	1																																																																																																																																																																																																															
A-安全系計装盤室(西側) 通路(仮称) (3AB-F-N13)	水密扉 <sup>※1</sup>		新設	1																																																																																																																																																																																																															
A-安全系計装盤室(東側) 通路(仮称) (3AB-F-N13)	水密扉 <sup>※1</sup>		新設	1																																																																																																																																																																																																															
T.P. 33.1m	B-安全系計装盤室(西側) 通路(仮称) (3AB-F-N2)	水密扉 <sup>※1</sup>	新設	1																																																																																																																																																																																																															
	B-安全系計装盤室(東側) 通路(仮称) (3AB-F-N2)	水密扉 <sup>※1</sup>	新設	1																																																																																																																																																																																																															
T.P. 33.1m	33.5m(区画境界) 堰 (-)	堰	既設	1																																																																																																																																																																																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料9）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																
表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(3/5)																																																																																																								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th data-bbox="707 220 797 252">設置エリア</th> <th data-bbox="806 220 851 252">フロア</th> <th data-bbox="860 220 1066 252">対象 (区画番号)</th> <th data-bbox="1075 220 1120 252">種類</th> <th data-bbox="1128 220 1173 252">区分</th> <th data-bbox="1182 220 1272 252">箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="707 258 797 810" rowspan="12">原子炉建屋 付属棟</td> <td data-bbox="806 258 851 338" rowspan="2">B2F</td> <td data-bbox="860 258 1066 306">静止型PLRポンプ電源装置室 (R-B2F-8)</td> <td data-bbox="1075 258 1120 306">堰</td> <td data-bbox="1128 258 1173 306">新設</td> <td data-bbox="1182 258 1272 306">1</td> </tr> <tr> <td data-bbox="860 312 1066 360">IA, SA室及び通路 (R-B2F-9)</td> <td data-bbox="1075 312 1120 360">堰</td> <td data-bbox="1128 312 1173 360">新設</td> <td data-bbox="1182 312 1272 360">1</td> </tr> <tr> <td data-bbox="806 344 851 466" rowspan="3">B1F</td> <td data-bbox="860 344 1066 392">区分II非常用電気品室 (R-B1F-10)</td> <td data-bbox="1075 344 1120 392">水密扉</td> <td data-bbox="1128 344 1173 392">新設</td> <td data-bbox="1182 344 1272 392">1</td> </tr> <tr> <td data-bbox="860 399 1066 446">D/G補機(A)室 (R-B1F-7)</td> <td data-bbox="1075 399 1120 446">堰</td> <td data-bbox="1128 399 1173 446">新設</td> <td data-bbox="1182 399 1272 446">1</td> </tr> <tr> <td data-bbox="860 453 1066 501">区分IIIHPCS電気品室 (R-B1F-9)</td> <td data-bbox="1075 453 1120 501">堰</td> <td data-bbox="1128 453 1173 501">新設</td> <td data-bbox="1182 453 1272 501">1</td> </tr> <tr> <td data-bbox="806 472 851 625" rowspan="4">1F</td> <td data-bbox="860 472 1066 520">D/G(HPCS)室 (R-1F-15)</td> <td data-bbox="1075 472 1120 520">水密扉</td> <td data-bbox="1128 472 1173 520">新設</td> <td data-bbox="1182 472 1272 520">1</td> </tr> <tr> <td data-bbox="860 526 1066 574">区分I非常用D/G制御室 (R-1F-13-1)</td> <td data-bbox="1075 526 1120 574">堰</td> <td data-bbox="1128 526 1173 574">新設</td> <td data-bbox="1182 526 1272 574">1</td> </tr> <tr> <td data-bbox="860 580 1066 628">区分III非常用D/G制御室 (R-1F-15-1)</td> <td data-bbox="1075 580 1120 628">堰</td> <td data-bbox="1128 580 1173 628">新設</td> <td data-bbox="1182 580 1272 628">1</td> </tr> <tr> <td data-bbox="860 635 1066 683">HWH熱交換器・ポンプ室 (R-1F-17)</td> <td data-bbox="1075 635 1120 683">水密扉</td> <td data-bbox="1128 635 1173 683">新設</td> <td data-bbox="1182 635 1272 683">1</td> </tr> <tr> <td data-bbox="806 644 851 810" rowspan="3">2F</td> <td data-bbox="860 644 1066 692">HECW冷凍機(B)(D)室 (R-2F-4)</td> <td data-bbox="1075 644 1120 692">水密扉</td> <td data-bbox="1128 644 1173 692">新設</td> <td data-bbox="1182 644 1272 692">1</td> </tr> <tr> <td data-bbox="860 699 1066 746">2F通路(O.P.23600) (R-2F-16-1)</td> <td data-bbox="1075 699 1120 746">水密扉</td> <td data-bbox="1128 699 1173 746">新設</td> <td data-bbox="1182 699 1272 746">1</td> </tr> <tr> <td data-bbox="860 753 1066 801">原子炉補機(A)室送風機室 (R-2F-6)</td> <td data-bbox="1075 753 1120 801">堰</td> <td data-bbox="1128 753 1173 801">新設</td> <td data-bbox="1182 753 1272 801">1</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td data-bbox="860 807 1066 855">原子炉補機(B)室 送風機室及び送風機エリア (R-2F-8)</td> <td data-bbox="1075 807 1120 855">堰</td> <td data-bbox="1128 807 1173 855">新設</td> <td data-bbox="1182 807 1272 855">2</td> </tr> <tr> <td data-bbox="707 817 797 1015" rowspan="5">原子炉建屋 付属棟 (廃棄物処 理エリア)</td> <td data-bbox="806 817 851 833">B3F</td> <td data-bbox="860 817 1066 833">2T-1トレンチ</td> <td data-bbox="1075 817 1120 833">水密扉</td> <td data-bbox="1128 817 1173 833">新設</td> <td data-bbox="1182 817 1272 833">1</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td data-bbox="860 839 1066 855">主排気ダクト連絡トレンチ</td> <td data-bbox="1075 839 1120 855">水密扉</td> <td data-bbox="1128 839 1173 855">新設</td> <td data-bbox="1182 839 1272 855">1</td> </tr> <tr> <td data-bbox="806 861 851 1015" rowspan="3">1F</td> <td data-bbox="860 861 1066 877">1F共通エリア(大物搬入用扉)</td> <td data-bbox="1075 861 1120 877">水密扉</td> <td data-bbox="1128 861 1173 877">新設</td> <td data-bbox="1182 861 1272 877">1</td> </tr> <tr> <td data-bbox="860 884 1066 900">1F共通エリア (Rw-1F-1)</td> <td data-bbox="1075 884 1120 900">水密扉</td> <td data-bbox="1128 884 1173 900">新設</td> <td data-bbox="1182 884 1272 900">1</td> </tr> <tr> <td data-bbox="860 906 1066 922">Rv制御室扉</td> <td data-bbox="1075 906 1120 922">水密扉</td> <td data-bbox="1128 906 1173 922">新設</td> <td data-bbox="1182 906 1272 922">1</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td data-bbox="860 928 1066 944">Rv制御室送風機室 (Rw-1F-2-4)</td> <td data-bbox="1075 928 1120 944">水密扉</td> <td data-bbox="1128 928 1173 944">新設</td> <td data-bbox="1182 928 1272 944">1</td> </tr> </tbody> </table>								設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数	原子炉建屋 付属棟	B2F	静止型PLRポンプ電源装置室 (R-B2F-8)	堰	新設	1	IA, SA室及び通路 (R-B2F-9)	堰	新設	1	B1F	区分II非常用電気品室 (R-B1F-10)	水密扉	新設	1	D/G補機(A)室 (R-B1F-7)	堰	新設	1	区分IIIHPCS電気品室 (R-B1F-9)	堰	新設	1	1F	D/G(HPCS)室 (R-1F-15)	水密扉	新設	1	区分I非常用D/G制御室 (R-1F-13-1)	堰	新設	1	区分III非常用D/G制御室 (R-1F-15-1)	堰	新設	1	HWH熱交換器・ポンプ室 (R-1F-17)	水密扉	新設	1	2F	HECW冷凍機(B)(D)室 (R-2F-4)	水密扉	新設	1	2F通路(O.P.23600) (R-2F-16-1)	水密扉	新設	1	原子炉補機(A)室送風機室 (R-2F-6)	堰	新設	1			原子炉補機(B)室 送風機室及び送風機エリア (R-2F-8)	堰	新設	2	原子炉建屋 付属棟 (廃棄物処 理エリア)	B3F	2T-1トレンチ	水密扉	新設	1			主排気ダクト連絡トレンチ	水密扉	新設	1	1F	1F共通エリア(大物搬入用扉)	水密扉	新設	1	1F共通エリア (Rw-1F-1)	水密扉	新設	1	Rv制御室扉	水密扉	新設	1			Rv制御室送風機室 (Rw-1F-2-4)	水密扉	新設	1	<p>【女川】</p> <p>設備名称の相違</p> <p>記載表現の相違</p>
設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数																																																																																																			
原子炉建屋 付属棟	B2F	静止型PLRポンプ電源装置室 (R-B2F-8)	堰	新設	1																																																																																																			
		IA, SA室及び通路 (R-B2F-9)	堰	新設	1																																																																																																			
	B1F	区分II非常用電気品室 (R-B1F-10)	水密扉	新設	1																																																																																																			
		D/G補機(A)室 (R-B1F-7)	堰	新設	1																																																																																																			
		区分IIIHPCS電気品室 (R-B1F-9)	堰	新設	1																																																																																																			
	1F	D/G(HPCS)室 (R-1F-15)	水密扉	新設	1																																																																																																			
		区分I非常用D/G制御室 (R-1F-13-1)	堰	新設	1																																																																																																			
		区分III非常用D/G制御室 (R-1F-15-1)	堰	新設	1																																																																																																			
		HWH熱交換器・ポンプ室 (R-1F-17)	水密扉	新設	1																																																																																																			
	2F	HECW冷凍機(B)(D)室 (R-2F-4)	水密扉	新設	1																																																																																																			
		2F通路(O.P.23600) (R-2F-16-1)	水密扉	新設	1																																																																																																			
		原子炉補機(A)室送風機室 (R-2F-6)	堰	新設	1																																																																																																			
		原子炉補機(B)室 送風機室及び送風機エリア (R-2F-8)	堰	新設	2																																																																																																			
原子炉建屋 付属棟 (廃棄物処 理エリア)	B3F	2T-1トレンチ	水密扉	新設	1																																																																																																			
			主排気ダクト連絡トレンチ	水密扉	新設	1																																																																																																		
	1F	1F共通エリア(大物搬入用扉)	水密扉	新設	1																																																																																																			
		1F共通エリア (Rw-1F-1)	水密扉	新設	1																																																																																																			
		Rv制御室扉	水密扉	新設	1																																																																																																			
		Rv制御室送風機室 (Rw-1F-2-4)	水密扉	新設	1																																																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉	相違理由																																																																																						
	表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(4/5)						<p>【女川】</p> <p>設備名称の相違</p> <p>記載表現の相違</p>																																																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>フロア</th> <th>対象 (区画番号)</th> <th>種類</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="18">制御建屋</td> <td rowspan="5">B2F</td> <td>制御建屋空調機械(B)室南側 (C-B2F-2)</td> <td>水密扉</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>制御建屋空調機械(B)室北側 (C-B2F-2)</td> <td>水密扉</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>制御建屋空調機械(B)室 【250V 直流主母線盤室境界】 (C-B2F-2)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T/B 連絡通路扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1号 C/B 連絡通路</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1S1 室 (C-B2F-5)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">B1F</td> <td>計測制御電源室(A) 【計測制御電源室(B)境界】 (C-B1F-3)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計測制御電源室(A) 【常用及び共通M/C、P/C室境界】 (C-B1F-3)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>常用及び共通M/C、P/C室 【RSS 盤室境界】 (C-B1F-1)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計測制御電源室(B) (C-B1F-5)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T/B 連絡通路扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">1F</td> <td>T/B 連絡通路扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1F 入退域エリア (管理区域) (C-1F-1)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1F 入退域エリア (管理区域ヘルメット置場) (C-1F-1)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1号 C/B 連絡通路</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2F</td> <td>補助ボイラー建屋連絡通路</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1号 C/B 連絡通路</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>区分-1 ケーブル処理室 (C-2F-1)</td> <td>扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3F</td> <td>常用系ケーブル処理室 (C-2F-4)</td> <td>扉</td> <td>新設</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>1号 MCR 境界</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分		箇所数	制御建屋	B2F	制御建屋空調機械(B)室南側 (C-B2F-2)	水密扉	既設	1	制御建屋空調機械(B)室北側 (C-B2F-2)	水密扉	既設	1	制御建屋空調機械(B)室 【250V 直流主母線盤室境界】 (C-B2F-2)	水密扉	既設 (改造)	1	T/B 連絡通路扉	水密扉	新設	1	1号 C/B 連絡通路	水密扉	新設	1	1S1 室 (C-B2F-5)	水密扉	新設	1	B1F	計測制御電源室(A) 【計測制御電源室(B)境界】 (C-B1F-3)	水密扉	新設	1	計測制御電源室(A) 【常用及び共通M/C、P/C室境界】 (C-B1F-3)	水密扉	新設	1	常用及び共通M/C、P/C室 【RSS 盤室境界】 (C-B1F-1)	水密扉	新設	1	計測制御電源室(B) (C-B1F-5)	水密扉	新設	1	T/B 連絡通路扉	水密扉	新設	1	1F	T/B 連絡通路扉	水密扉	新設	1	1F 入退域エリア (管理区域) (C-1F-1)	水密扉	新設	1	1F 入退域エリア (管理区域ヘルメット置場) (C-1F-1)	水密扉	新設	1	1号 C/B 連絡通路	水密扉	新設	2	2F	補助ボイラー建屋連絡通路	水密扉	新設	1	1号 C/B 連絡通路	水密扉	新設	1	区分-1 ケーブル処理室 (C-2F-1)	扉	新設	1	3F	常用系ケーブル処理室 (C-2F-4)	扉	新設	2	1号 MCR 境界	水密扉	新設
設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数																																																																																								
制御建屋	B2F	制御建屋空調機械(B)室南側 (C-B2F-2)	水密扉	既設	1																																																																																								
		制御建屋空調機械(B)室北側 (C-B2F-2)	水密扉	既設	1																																																																																								
		制御建屋空調機械(B)室 【250V 直流主母線盤室境界】 (C-B2F-2)	水密扉	既設 (改造)	1																																																																																								
		T/B 連絡通路扉	水密扉	新設	1																																																																																								
		1号 C/B 連絡通路	水密扉	新設	1																																																																																								
	1S1 室 (C-B2F-5)	水密扉	新設	1																																																																																									
	B1F	計測制御電源室(A) 【計測制御電源室(B)境界】 (C-B1F-3)	水密扉	新設	1																																																																																								
		計測制御電源室(A) 【常用及び共通M/C、P/C室境界】 (C-B1F-3)	水密扉	新設	1																																																																																								
		常用及び共通M/C、P/C室 【RSS 盤室境界】 (C-B1F-1)	水密扉	新設	1																																																																																								
		計測制御電源室(B) (C-B1F-5)	水密扉	新設	1																																																																																								
		T/B 連絡通路扉	水密扉	新設	1																																																																																								
	1F	T/B 連絡通路扉	水密扉	新設	1																																																																																								
		1F 入退域エリア (管理区域) (C-1F-1)	水密扉	新設	1																																																																																								
		1F 入退域エリア (管理区域ヘルメット置場) (C-1F-1)	水密扉	新設	1																																																																																								
		1号 C/B 連絡通路	水密扉	新設	2																																																																																								
	2F	補助ボイラー建屋連絡通路	水密扉	新設	1																																																																																								
		1号 C/B 連絡通路	水密扉	新設	1																																																																																								
		区分-1 ケーブル処理室 (C-2F-1)	扉	新設	1																																																																																								
3F	常用系ケーブル処理室 (C-2F-4)	扉	新設	2																																																																																									
	1号 MCR 境界	水密扉	新設	1																																																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																									
	<p>表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(5/5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>フロア</th> <th>対象 (区画番号)</th> <th>種類</th> <th>区分</th> <th>箇所 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">タービン 建屋</td> <td>B2F</td> <td>B2F エリア (T-B2F-1)</td> <td>止水壁</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B1F</td> <td>B1F エリア (T-B1F-1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">1F</td> <td>大物搬入用扉</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>大物搬入用横扉</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>共通エリア【東側】(No.1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>共通エリア【東側】(No.2)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">海水ポンプ 室</td> <td>—</td> <td>RSW ポンプ(A) (C)室 (SW-1F-2)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>RSW ポンプ(B) (D)室 (SW-1F-5)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>HPSW ポンプ室 (SW-1F-4)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">軽油タンク エリア</td> <td>—</td> <td>燃料移送ポンプ(A)エリア (LOT-1)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>燃料移送ポンプ(B)エリア (LOT-2)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>燃料移送ポンプ室アクセス用 ハッチ</td> <td>ハッチ</td> <td>新設</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>燃料移送ポンプ室機器搬出入 用ハッチ</td> <td>ハッチ</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所 数	タービン 建屋	B2F	B2F エリア (T-B2F-1)	止水壁	既設 (改造)	1	B1F	B1F エリア (T-B1F-1)	堰	新設	1	1F	大物搬入用扉	堰	新設	1	大物搬入用横扉	堰	新設	1	共通エリア【東側】(No.1)	堰	新設	1			共通エリア【東側】(No.2)	堰	新設	1	海水ポンプ 室	—	RSW ポンプ(A) (C)室 (SW-1F-2)	水密扉	既設 (改造)	1	—	RSW ポンプ(B) (D)室 (SW-1F-5)	水密扉	既設 (改造)	1	—	HPSW ポンプ室 (SW-1F-4)	水密扉	既設 (改造)	1	軽油タンク エリア	—	燃料移送ポンプ(A)エリア (LOT-1)	水密扉	新設	1	—	燃料移送ポンプ(B)エリア (LOT-2)	水密扉	新設	1	—	燃料移送ポンプ室アクセス用 ハッチ	ハッチ	新設	2	—	燃料移送ポンプ室機器搬出入 用ハッチ	ハッチ	新設	1		<p>【女川】  <span style="color: green;">設備名称の相違</span>  <span style="color: green;">記載表現の相違</span></p>
設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所 数																																																																							
タービン 建屋	B2F	B2F エリア (T-B2F-1)	止水壁	既設 (改造)	1																																																																							
	B1F	B1F エリア (T-B1F-1)	堰	新設	1																																																																							
	1F	大物搬入用扉	堰	新設	1																																																																							
		大物搬入用横扉	堰	新設	1																																																																							
		共通エリア【東側】(No.1)	堰	新設	1																																																																							
		共通エリア【東側】(No.2)	堰	新設	1																																																																							
海水ポンプ 室	—	RSW ポンプ(A) (C)室 (SW-1F-2)	水密扉	既設 (改造)	1																																																																							
	—	RSW ポンプ(B) (D)室 (SW-1F-5)	水密扉	既設 (改造)	1																																																																							
	—	HPSW ポンプ室 (SW-1F-4)	水密扉	既設 (改造)	1																																																																							
軽油タンク エリア	—	燃料移送ポンプ(A)エリア (LOT-1)	水密扉	新設	1																																																																							
	—	燃料移送ポンプ(B)エリア (LOT-2)	水密扉	新設	1																																																																							
	—	燃料移送ポンプ室アクセス用 ハッチ	ハッチ	新設	2																																																																							
	—	燃料移送ポンプ室機器搬出入 用ハッチ	ハッチ	新設	1																																																																							
<p>【参考】伊方発電所3号炉</p> <p>添付資料1-3 水密区画について</p> <p>1. 概要</p> <p>水密区画は、耐水性のある塗装を施した壁、堰で囲まれた区画となっており、区画内のタンクおよび付属配管からの漏水を全量区画内にとどめることが可能な設計となっている。</p> <p>また、水密区画を構成する壁については、耐震壁または学協会規格・基準の要件を満たす鉄筋コンクリート造の壁であり、地震時においても健全性は維持できる。</p> <p>2. 水密区画内設置として溢水源から除外した機器</p> <p>伊方3号機における溢水源となりうる機器より、水密区画内設置として溢水源から対象外とした機器の一覧を表-1に示す。</p>		<p>水密区画について</p> <p>1. 概要</p> <p>水密区画は、耐水性のある塗装を施した壁、堰で囲まれた区画となっており、区画内のタンク及び付属配管からの漏水を全量区画内にとどめることが可能な設計となっている。</p> <p>また、水密区画を構成する壁については、耐震壁又は「鉄筋コンクリート構造計算標準・同解説（日本建築学会）」の標準上の耐震壁と同等な壁であり、地震時においても健全性は維持できる。</p> <p>2. 水密区画内設置として溢水源から除外した機器</p> <p>泊発電所3号炉における溢水源となりうる機器より、水密区画内設置として溢水源から対象外とした機器の一覧を表1に示す。</p>	<p>【女川】  <span style="color: red;">設計方針の相違</span></p> <p>別紙1          泊は閉鎖区画内に設置されたタンク類が多数あり、これらの区画境界の止水性を確保することで水密区画としている。水密区画内のタンク類から生じた溢水は区画内に留まるため、溢水源として想定しないことを明記している。本資料にて水密区画である水密コンパートメントの詳細を記載した。記載に際し、先行審査実績のある伊方3号炉を掲載する。          （泊欄の赤色は女川との相違を示しており、以下同様である。）</p> <p>【伊方】  <span style="color: green;">記載表現の相違</span></p>																																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料9）

大飯発電所3号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																										
<p>【参考】伊方発電所3号炉</p>																																																																																																																																																													
<p>表-1 伊方3号機における水密区画内設置機器一覧</p>		<p>表1 泊発電所3号炉における水密区画内設置機器一覧</p>																																																																																																																																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>水密区画内設置機器</th> <th>設置位置</th> <th>貯容量 (t)</th> <th>室面積 (㎡)</th> <th>溢水高さ (cm)</th> <th>耐水塗装高さ (cm)</th> <th>出入口高さ (cm)</th> <th>区画壁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>冷却材貯蔵タンクA</td> <td>A/B EL. 3.3m</td> <td rowspan="2">304t基</td> <td rowspan="2">150</td> <td rowspan="2">3.96<sup>※1</sup></td> <td rowspan="2">3.7</td> <td rowspan="2">3.7</td> <td rowspan="2">耐震壁 ①</td> </tr> <tr> <td>冷却材貯蔵タンクB</td> <td>A/B EL. 3.3m</td> </tr> <tr> <td>使用済樹脂貯蔵タンクA</td> <td>A/B EL. 3.3m</td> <td>77</td> <td>35</td> <td>2.2</td> <td>2.4</td> <td>8.45</td> <td>耐震壁 ①</td> </tr> <tr> <td>使用済樹脂貯蔵タンクB</td> <td>A/B EL. 3.3m</td> <td>77</td> <td>35</td> <td>2.2</td> <td>2.4</td> <td>8.45</td> <td>耐震壁 ①</td> </tr> <tr> <td>使用済樹脂タンク</td> <td>A/B EL. 3.3m</td> <td>5.3</td> <td>16</td> <td>0.4</td> <td>2.1</td> <td>3.3</td> <td>耐震壁 ①、②</td> </tr> <tr> <td>廃液貯蔵タンクA</td> <td>A/B EL. 3.3m</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>1.0</td> <td>2.1</td> <td>1.6</td> <td>耐震壁 ①</td> </tr> <tr> <td>廃液貯蔵タンクB</td> <td>A/B EL. 3.3m</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>1.0</td> <td>2.1</td> <td>1.6</td> <td>耐震壁 ①</td> </tr> <tr> <td>一次系純水タンク</td> <td>R/B EL. 10.0m</td> <td>510</td> <td>170</td> <td>3.0</td> <td>4.0</td> <td>7.1</td> <td>耐震壁 ①</td> </tr> <tr> <td>濃縮廃液受入タンクA</td> <td>A/B EL. 10.0m</td> <td>38</td> <td>32</td> <td>1.2</td> <td>2.1</td> <td>3.6</td> <td>耐震壁 ①、②</td> </tr> <tr> <td>濃縮廃液受入タンクB</td> <td>A/B EL. 10.0m</td> <td>38</td> <td>32</td> <td>1.2</td> <td>2.1</td> <td>3.6</td> <td>耐震壁 ①、②</td> </tr> <tr> <td>予備濃縮液タンク</td> <td>A/B EL. 10.0m</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>0.8</td> <td>2.1</td> <td>1.4</td> <td>耐震壁 ①、②</td> </tr> <tr> <td>洗浄排水濃縮液受入タンク</td> <td>A/B EL. 10.0m</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>1.1</td> <td>2.1</td> <td>1.4</td> <td>耐震壁 ①、②</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：冷却材貯蔵タンクは2基で100%（304t）以上の受入余裕を確保するよう、マニピュルで規定されているが、溢水高さの算出においては99%容量（受入率インターロック防止水位）×2基の水量（304t）を適用した。（冷却材貯蔵タンク受入、B期は普通空で運用）</p> <p>※2：区画壁①、「①耐震設計上考慮している耐震壁」、耐震設計上考慮していない「②文字指定規格・基準の要件を満たす耐震壁」に分類する。なお、「字指定規格・基準の要件を満たす耐震壁」は、原子力施設鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説（日本建築学会、2005年）「19章 耐震壁の断面算定」第5項の記載（壁厚の厚さ、壁厚のせん断補強筋比、壁筋の規格配筋、壁筋の径と間隔等）を満たす壁とする。</p>	水密区画内設置機器	設置位置	貯容量 (t)	室面積 (㎡)	溢水高さ (cm)	耐水塗装高さ (cm)	出入口高さ (cm)	区画壁	冷却材貯蔵タンクA	A/B EL. 3.3m	304t基	150	3.96 <sup>※1</sup>	3.7	3.7	耐震壁 ①	冷却材貯蔵タンクB	A/B EL. 3.3m	使用済樹脂貯蔵タンクA	A/B EL. 3.3m	77	35	2.2	2.4	8.45	耐震壁 ①	使用済樹脂貯蔵タンクB	A/B EL. 3.3m	77	35	2.2	2.4	8.45	耐震壁 ①	使用済樹脂タンク	A/B EL. 3.3m	5.3	16	0.4	2.1	3.3	耐震壁 ①、②	廃液貯蔵タンクA	A/B EL. 3.3m	60	65	1.0	2.1	1.6	耐震壁 ①	廃液貯蔵タンクB	A/B EL. 3.3m	60	65	1.0	2.1	1.6	耐震壁 ①	一次系純水タンク	R/B EL. 10.0m	510	170	3.0	4.0	7.1	耐震壁 ①	濃縮廃液受入タンクA	A/B EL. 10.0m	38	32	1.2	2.1	3.6	耐震壁 ①、②	濃縮廃液受入タンクB	A/B EL. 10.0m	38	32	1.2	2.1	3.6	耐震壁 ①、②	予備濃縮液タンク	A/B EL. 10.0m	12	16	0.8	2.1	1.4	耐震壁 ①、②	洗浄排水濃縮液受入タンク	A/B EL. 10.0m	12	11	1.1	2.1	1.4	耐震壁 ①、②		<table border="1"> <thead> <tr> <th>水密区画内設置機器</th> <th>設置場所</th> <th>タンク容量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>室面積 (m<sup>2</sup>)</th> <th>溢水高さ (cm)</th> <th>耐水塗装高さ (cm)</th> <th>出入口高さ (cm)</th> <th>区画壁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A-濃縮廃液タンク</td> <td rowspan="2">原子炉補助建屋</td> <td>25</td> <td rowspan="2">37.1</td> <td rowspan="2">134.8</td> <td rowspan="2">160</td> <td rowspan="2">280</td> <td rowspan="2">①、②</td> </tr> <tr> <td>B-濃縮廃液タンク</td> <td>T.P. 17.8m</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>A-冷却材貯蔵タンク</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>360</td> <td>64.46</td> <td>558.5</td> <td>561</td> <td>740</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>B-冷却材貯蔵タンク</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>360</td> <td>64.46</td> <td>558.5</td> <td>561</td> <td>740</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>A-使用済樹脂貯蔵タンク</td> <td rowspan="3">原子炉補助建屋</td> <td>70</td> <td rowspan="3">72.17</td> <td rowspan="3">291</td> <td rowspan="3">295</td> <td rowspan="3">810</td> <td rowspan="3">①</td> </tr> <tr> <td>B-使用済樹脂貯蔵タンク</td> <td>T.P. 2.8m</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>C-使用済樹脂貯蔵タンク</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>一次系純水タンク</td> <td>原子炉建屋</td> <td>365</td> <td>92.48</td> <td>394.7</td> <td>395</td> <td>690</td> <td>①</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 区画壁は、「①耐震設計上考慮している耐震壁」、          「②鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説（日本建築学会）の規準上の耐震壁と同等な耐震壁」に分類する。</p>	水密区画内設置機器	設置場所	タンク容量 (m <sup>3</sup> )	室面積 (m <sup>2</sup> )	溢水高さ (cm)	耐水塗装高さ (cm)	出入口高さ (cm)	区画壁	A-濃縮廃液タンク	原子炉補助建屋	25	37.1	134.8	160	280	①、②	B-濃縮廃液タンク	T.P. 17.8m	25	A-冷却材貯蔵タンク	原子炉補助建屋	360	64.46	558.5	561	740	①	B-冷却材貯蔵タンク	原子炉補助建屋	360	64.46	558.5	561	740	①	A-使用済樹脂貯蔵タンク	原子炉補助建屋	70	72.17	291	295	810	①	B-使用済樹脂貯蔵タンク	T.P. 2.8m	70	C-使用済樹脂貯蔵タンク	70	一次系純水タンク	原子炉建屋	365	92.48	394.7	395	690	①	<p>【伊方】  <u>設計方針の相違</u>          伊方ではタンク容量をインターロックによって設定される水位（全容量の90%）で評価しているが、泊は設計上のタンク全容量で設定し評価している。</p> <p>【伊方】  <u>設備名称の相違</u>  <u>記載表現の相違</u></p>
水密区画内設置機器	設置位置	貯容量 (t)	室面積 (㎡)	溢水高さ (cm)	耐水塗装高さ (cm)	出入口高さ (cm)	区画壁																																																																																																																																																						
冷却材貯蔵タンクA	A/B EL. 3.3m	304t基	150	3.96 <sup>※1</sup>	3.7	3.7	耐震壁 ①																																																																																																																																																						
冷却材貯蔵タンクB	A/B EL. 3.3m																																																																																																																																																												
使用済樹脂貯蔵タンクA	A/B EL. 3.3m	77	35	2.2	2.4	8.45	耐震壁 ①																																																																																																																																																						
使用済樹脂貯蔵タンクB	A/B EL. 3.3m	77	35	2.2	2.4	8.45	耐震壁 ①																																																																																																																																																						
使用済樹脂タンク	A/B EL. 3.3m	5.3	16	0.4	2.1	3.3	耐震壁 ①、②																																																																																																																																																						
廃液貯蔵タンクA	A/B EL. 3.3m	60	65	1.0	2.1	1.6	耐震壁 ①																																																																																																																																																						
廃液貯蔵タンクB	A/B EL. 3.3m	60	65	1.0	2.1	1.6	耐震壁 ①																																																																																																																																																						
一次系純水タンク	R/B EL. 10.0m	510	170	3.0	4.0	7.1	耐震壁 ①																																																																																																																																																						
濃縮廃液受入タンクA	A/B EL. 10.0m	38	32	1.2	2.1	3.6	耐震壁 ①、②																																																																																																																																																						
濃縮廃液受入タンクB	A/B EL. 10.0m	38	32	1.2	2.1	3.6	耐震壁 ①、②																																																																																																																																																						
予備濃縮液タンク	A/B EL. 10.0m	12	16	0.8	2.1	1.4	耐震壁 ①、②																																																																																																																																																						
洗浄排水濃縮液受入タンク	A/B EL. 10.0m	12	11	1.1	2.1	1.4	耐震壁 ①、②																																																																																																																																																						
水密区画内設置機器	設置場所	タンク容量 (m <sup>3</sup> )	室面積 (m <sup>2</sup> )	溢水高さ (cm)	耐水塗装高さ (cm)	出入口高さ (cm)	区画壁																																																																																																																																																						
A-濃縮廃液タンク	原子炉補助建屋	25	37.1	134.8	160	280	①、②																																																																																																																																																						
B-濃縮廃液タンク		T.P. 17.8m						25																																																																																																																																																					
A-冷却材貯蔵タンク	原子炉補助建屋	360	64.46	558.5	561	740	①																																																																																																																																																						
B-冷却材貯蔵タンク	原子炉補助建屋	360	64.46	558.5	561	740	①																																																																																																																																																						
A-使用済樹脂貯蔵タンク	原子炉補助建屋	70	72.17	291	295	810	①																																																																																																																																																						
B-使用済樹脂貯蔵タンク		T.P. 2.8m						70																																																																																																																																																					
C-使用済樹脂貯蔵タンク		70																																																																																																																																																											
一次系純水タンク	原子炉建屋	365	92.48	394.7	395	690	①																																																																																																																																																						
<p>3. 水密区画の構造</p> <p>水密区画は下記に示す設計としており、溢水した保有水が区画外へ漏えいしない構造となっている。図-1に水密区画の概要図を示す。</p> <p>①区画壁は鉄筋コンクリート造の壁であり地震時に倒壊、損傷しない強度を有するとともに、耐水性のあるエポキシ樹脂系塗料にて塗装が施されている</p> <p>②区画入口は溢水高さ以上に設置されている。</p> <p>③溢水高さ以下の壁貫通部は、シール施工をしており、外部へ漏洩しない設計としている。また貫通配管は貫通部前後でサポート固定されており、貫通部シールに大きな荷重がかからないよう配慮されている。</p> <p>④床ドレンラインの隔離弁は通常施錠閉としており、漏洩検知設備を設置。</p>		<p>3. 水密区画の構造</p> <p>水密区画は下記に示す設計としており、溢水した保有水が区画外へ漏えいしない構造となっている。図1に水密区画の概要図を示す。</p> <p>①区画壁は鉄筋コンクリート造の壁であり地震時に倒壊、損傷しない強度を有するとともに、耐水性のあるエポキシ樹脂系塗料にて塗装が施している。</p> <p>②区画入口は溢水高さ以上に設置している。</p> <p>③溢水高さ以下の壁貫通部は、シール施工をしており、外部へ漏えいしない設計としている。また貫通配管は貫通部前後でサポート固定されており、貫通部シールに大きな荷重がかからないよう配慮している。</p> <p>④床ドレン配管の隔離弁は常時閉運用としており、水密区画内の漏水が検知できる設備を設置する。</p>	<p>【伊方】  <u>記載表現の相違</u>          【伊方】  <u>記載方針の相違</u>          泊は漏えい検知器もしくは水位計の低警報によって漏えいが検知できる（システム検知）。</p>																																																																																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料9）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【参考】伊方発電所3号炉</p>			<p>【伊方】                  記載表現の相違                  ・伊方は一例として1次系純水タンクを記載しているのに対し、泊は水密区画にあるタンクすべての概要図を記載し、設計が異なるものではないことを明示している。                  ・水密区画の貫通部シール施工概要図及び普通部シール施工例写真を図2及び図3として記載した（伊方は図-1の図中に記載）。</p>
<p>図-1 水密区画概要図（1次系純水タンクの例）</p>		<p>図1 水密区画内設置機器概要図</p>	
		<p>(a) 止水板等による漏えい防止図（前面部、後面部）                  (b) ブレードによる漏えい防止図（後面部、前面部）</p>	
		<p>図2 貫通部シール施工概要図</p>	
		<p>&lt;現地施工状況例&gt;</p> <p>一次系純水タンクの水密コンパートメント貫通部シール状況例                  使用済燃料貯蔵タンクの水密コンパートメント貫通部シール状況例                  冷却材貯蔵タンクの水密コンパートメント貫通部シール状況例                  普通部タンクの水密コンパートメント貫通部シール状況例</p>	
		<p>図3 貫通部シール施工例</p>	

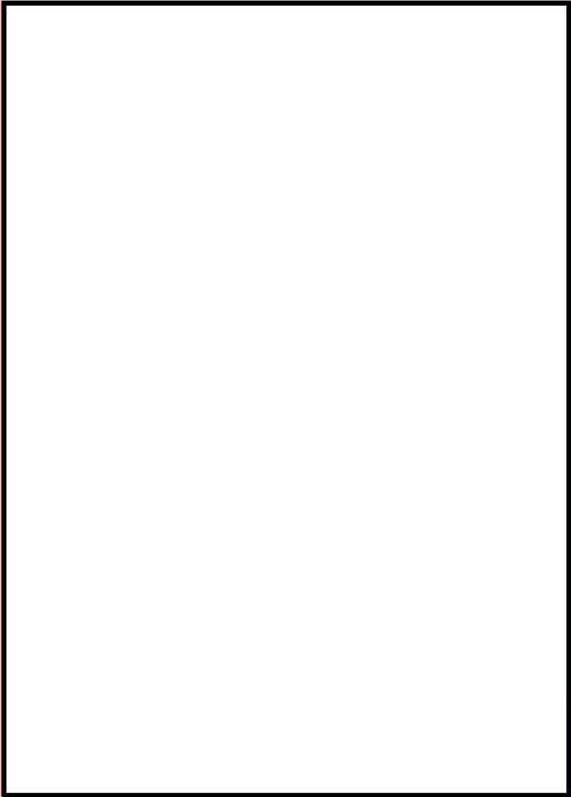
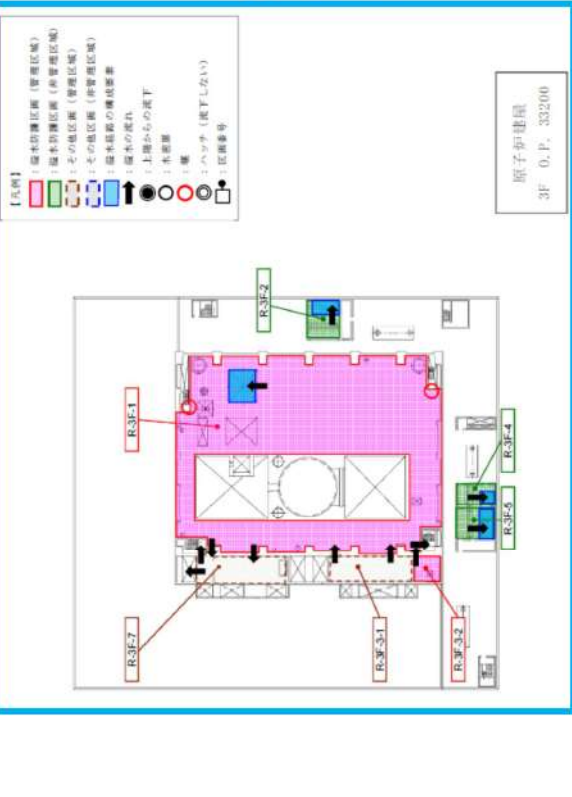
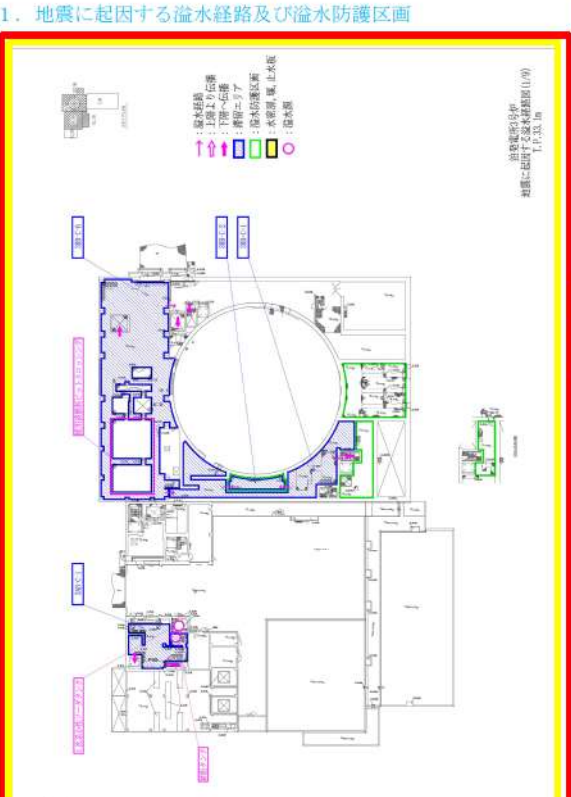
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p><b>【参考】伊方発電所3号炉</b></p> <p>4. 鉄筋コンクリート壁の水密性について                  水密区画の隔壁はマッシュな鉄筋コンクリートであるが、基準地震動 <math>S_s</math> による最大せん断ひずみがせん断力-せん断ひずみ線図上の第一折れ点を上回る層もあり、ひび割れの発生による漏水を否定できないため、ひび割れによる漏水量について検討を実施した。別紙3に検討結果を示す。</p>		<p>4. 鉄筋コンクリート壁の水密性について                  水密区画の隔壁は耐震壁又は「鉄筋コンクリート構造計算規                  準・同解説（日本建築学会）」の規準上の耐震壁と同等な壁であ                  るが、基準地震動による最大せん断ひずみがせん断力-せん断ひ                  ずみ線図上の第一折れ点を上回る層もあり、ひび割れの発生によ                  る漏水を否定できないため、ひび割れによる漏水量について検討                  を実施した。補足説明資料29「内部溢水評価における耐震壁等                  の確認について」に検討結果を示す。</p>	<p><b>【伊方】</b>                  記載表現の相違                  記載方針の相違                  ・伊方は対象の隔壁を総称してマッシュな鉄筋コンクリートと表現しているが、泊は耐震壁及び規準上の耐震壁と同等な壁として分類し、記載している。（補足説明資料29）                  ・検討結果より、最終貯留区画の耐震壁及び規準上の耐震壁と同等な壁において、ひび割れによる漏水が極めて少量であり、溢水影響評価へ影響しないことを確認した。</p>

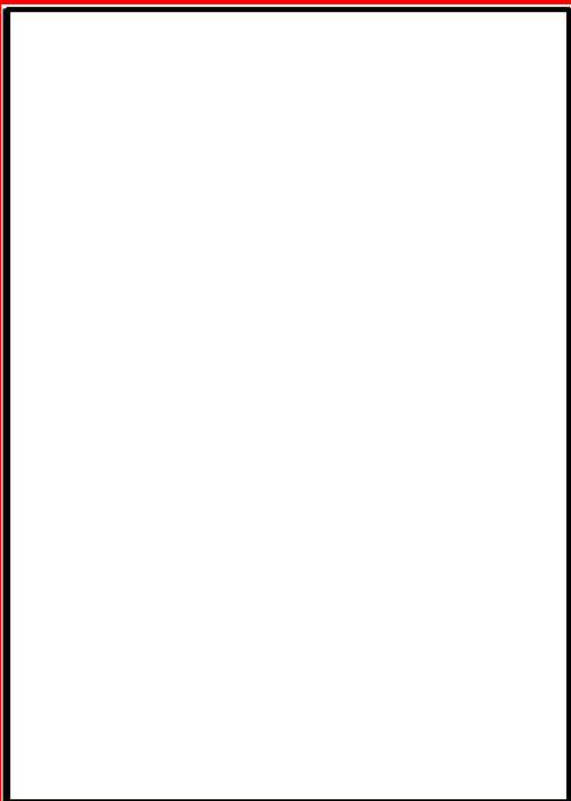
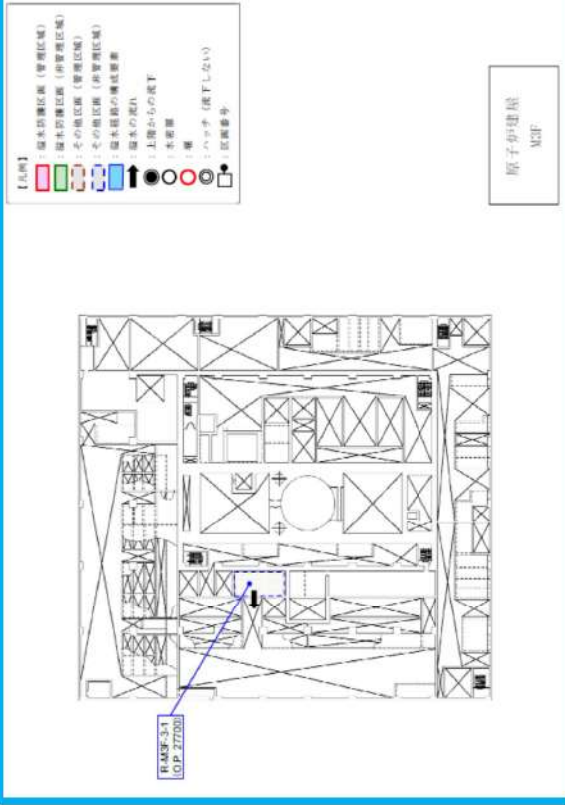
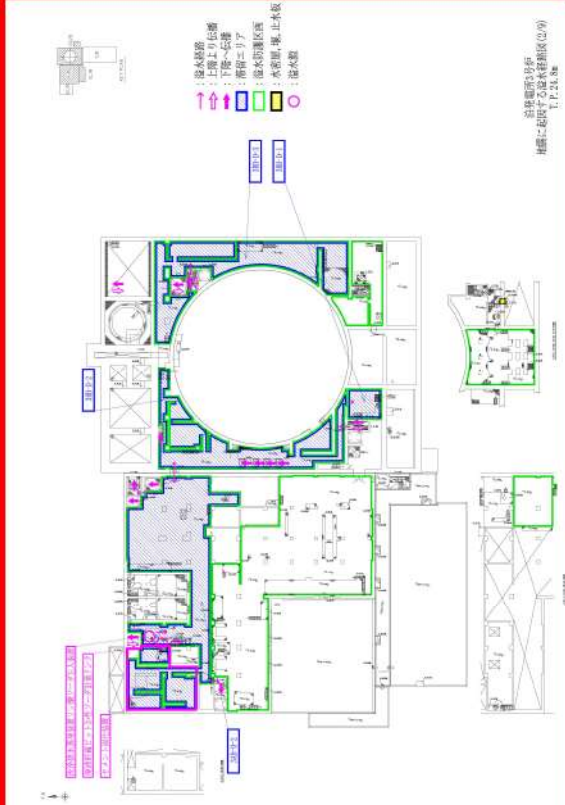


赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料10）

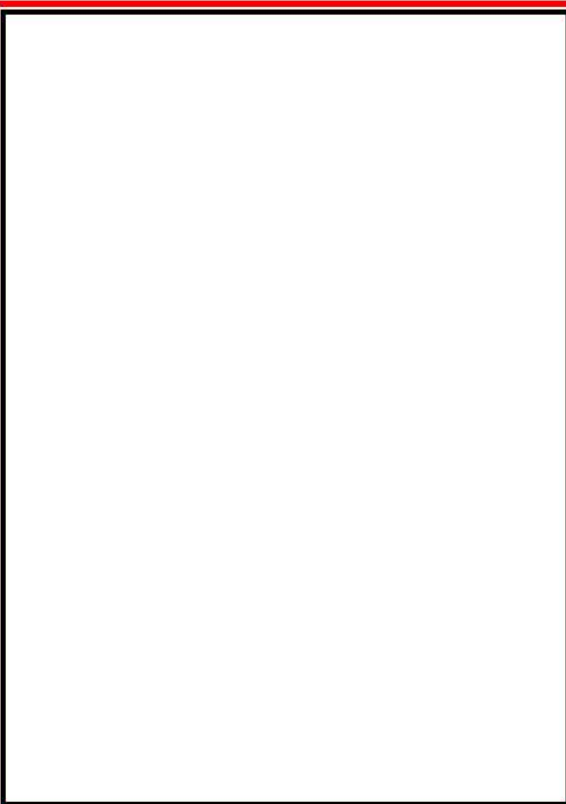
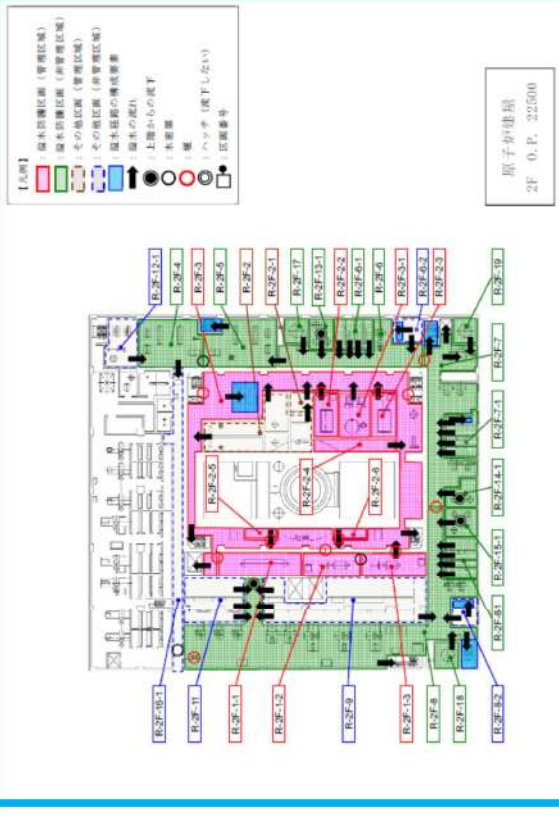
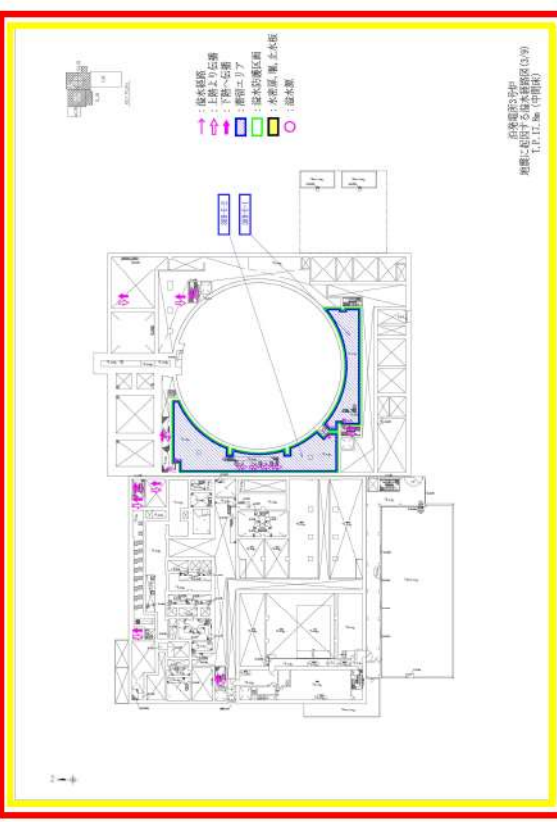
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
添付資料 1.4.3-3	添付資料 10	添付資料 10	
	<p>溢水伝播経路図（平面図）</p> 	<p>溢水伝播経路図（平面図）</p> <p>1. 地震に起因する溢水経路及び溢水防護区画</p> 	<p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載方針の相違 女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)


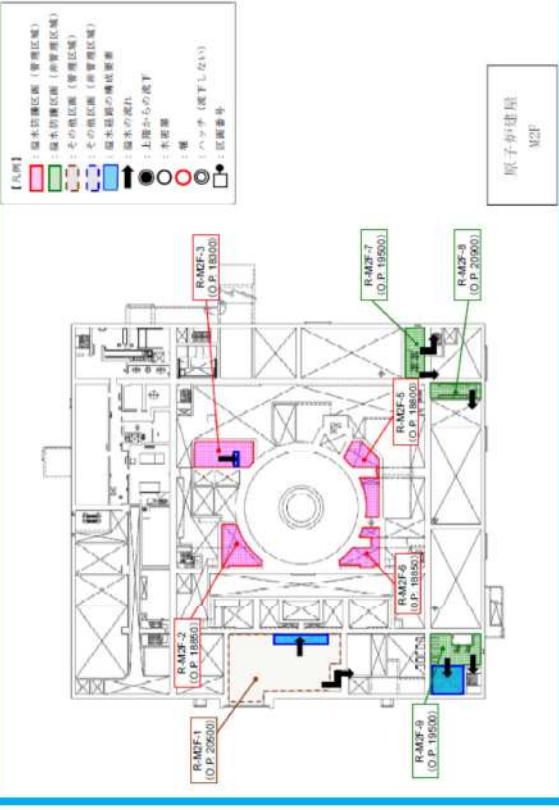
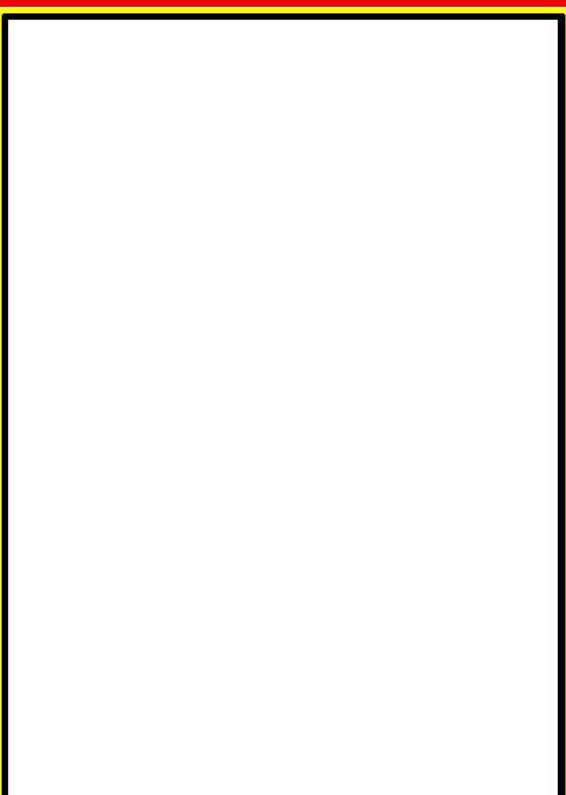
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p><b>【女川】</b>  <u>記載方針の相違</u>                  女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、油は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。(大飯と同様)</p> <p><b>【大飯】</b>  <u>設計方針の相違</u>  <u>プラント設計の相違</u></p>
<p>特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

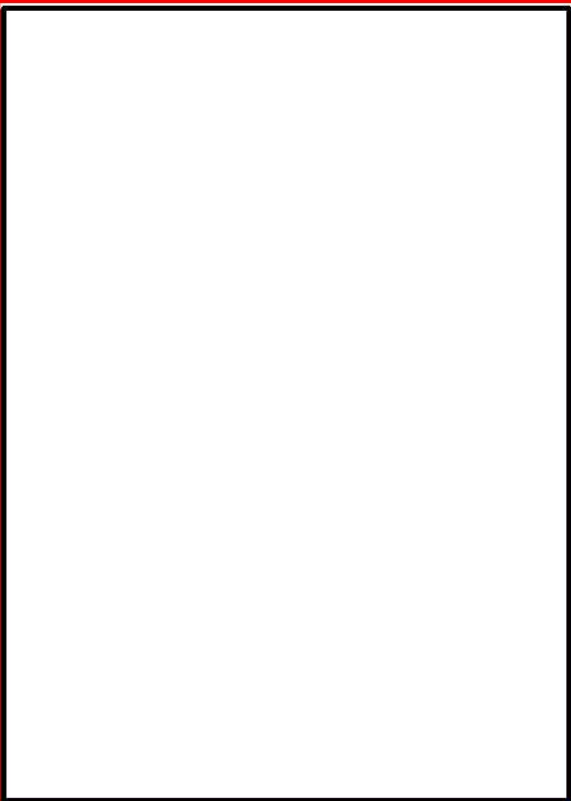
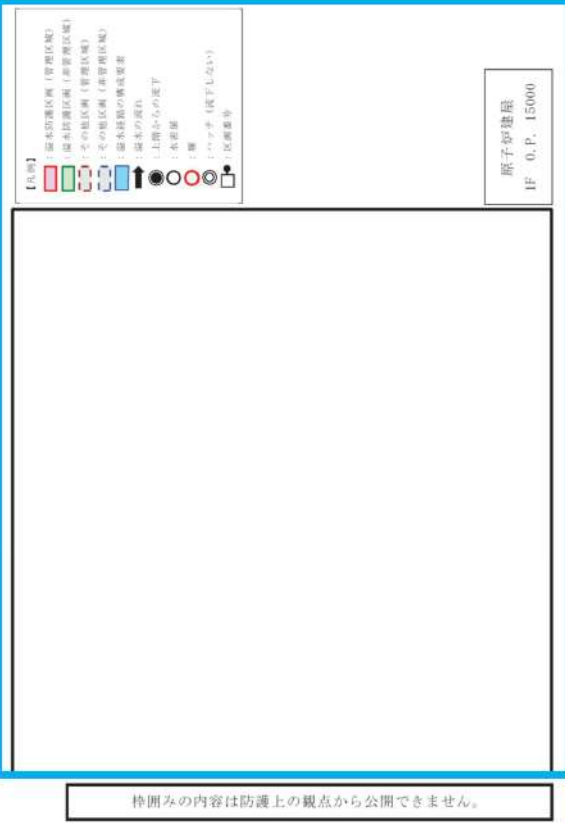
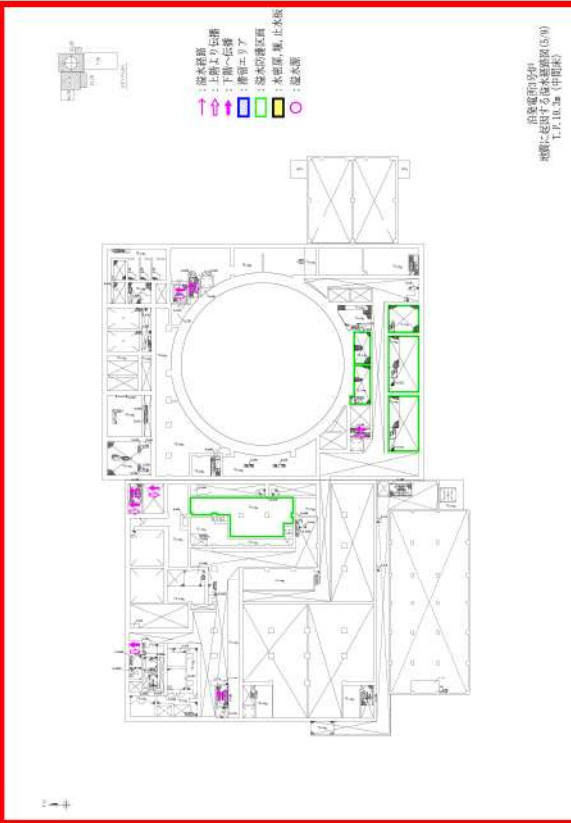
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>原子炉建屋 2F O.P. 22500</p>		<p>【女川】                  記載方針の相違                  女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

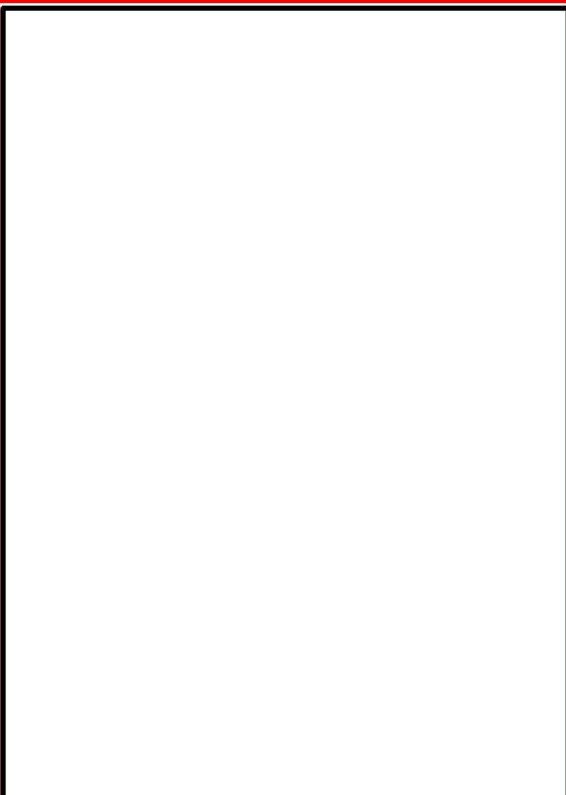
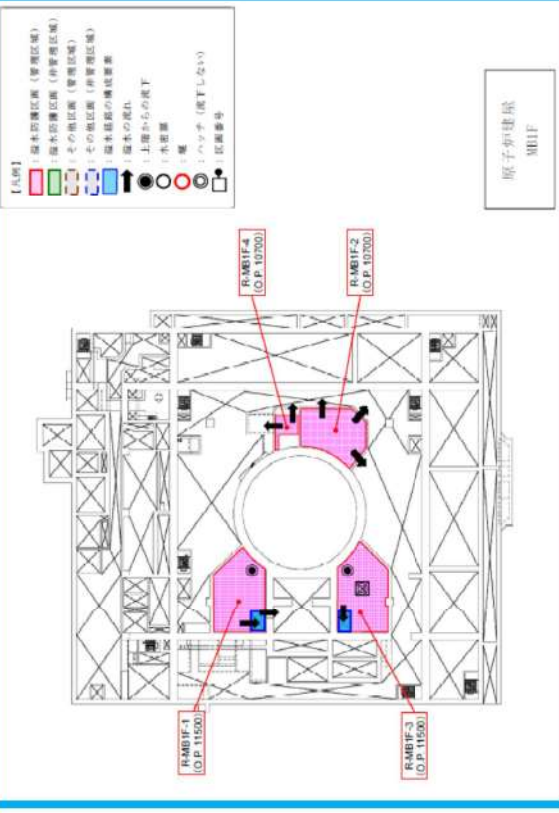
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  記載方針の相違                  女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、油は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>枠組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	



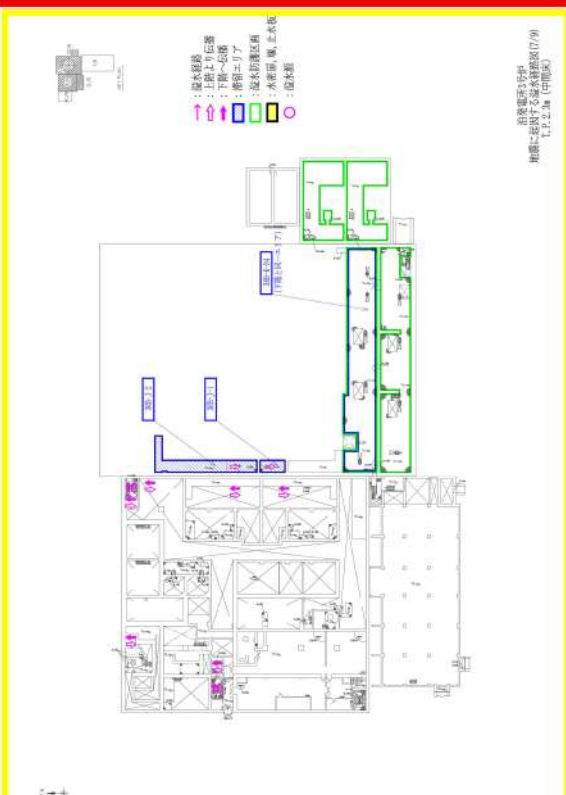
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  記載方針の相違                  女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、油は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。(大飯と同様)</p> <p>【大飯】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>	<p>2-4</p>	

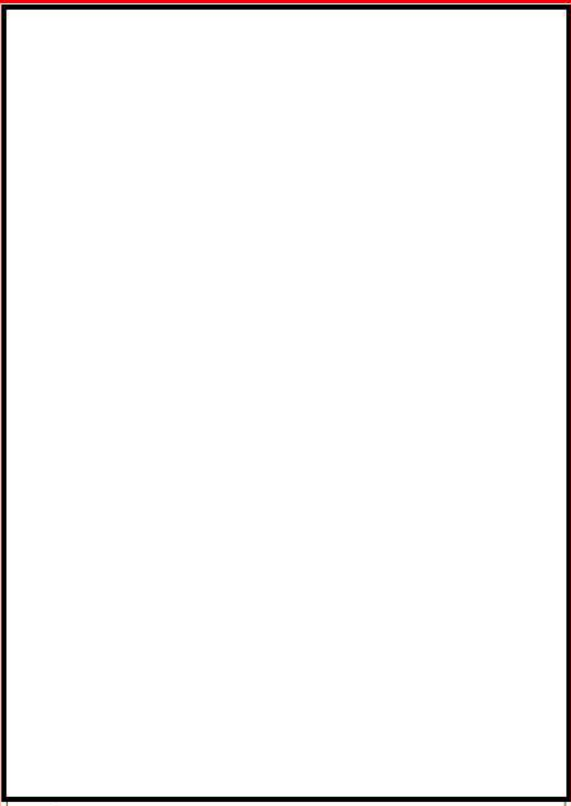
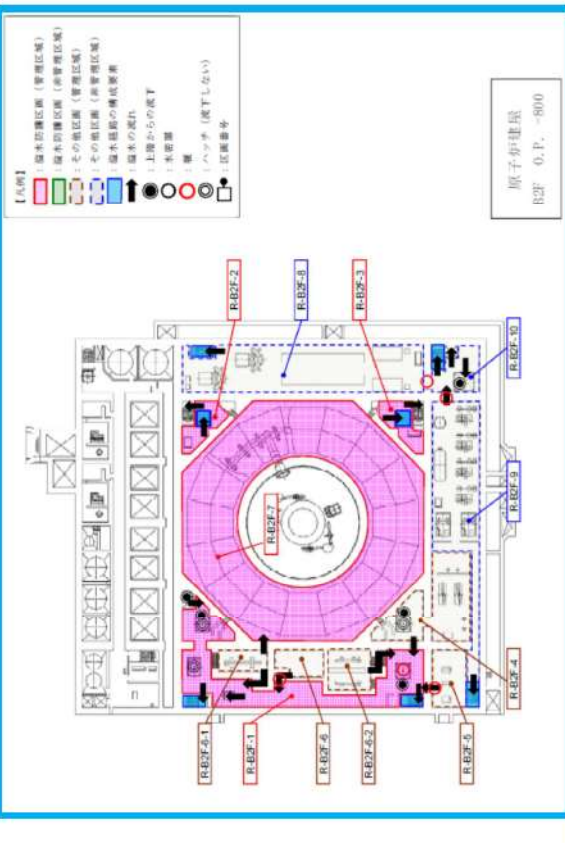
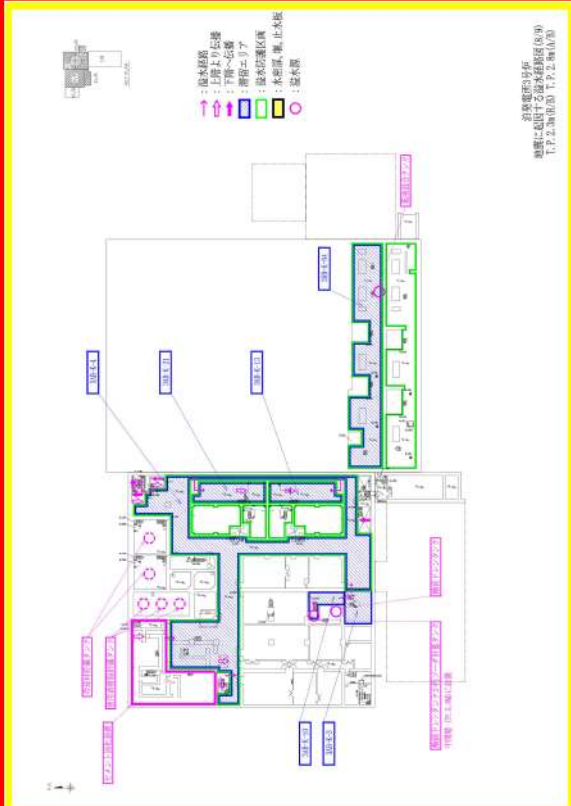
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  記載方針の相違                  女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、油は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>枠組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

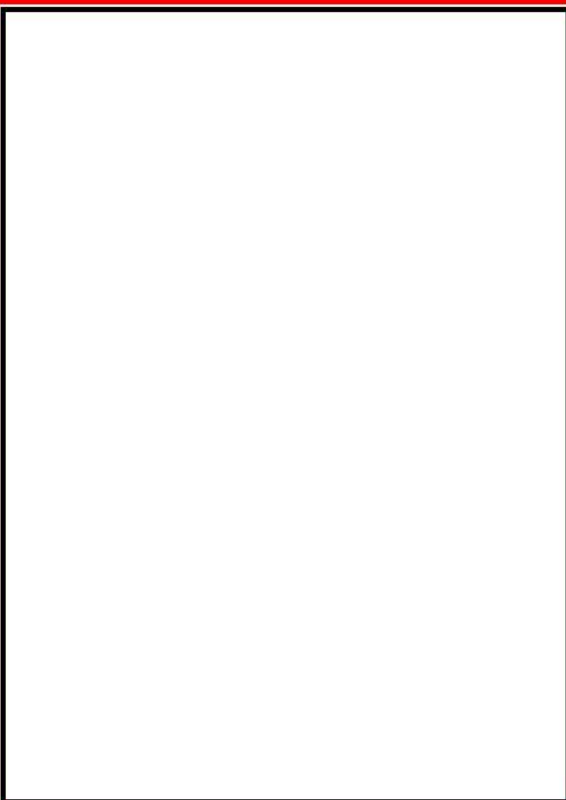
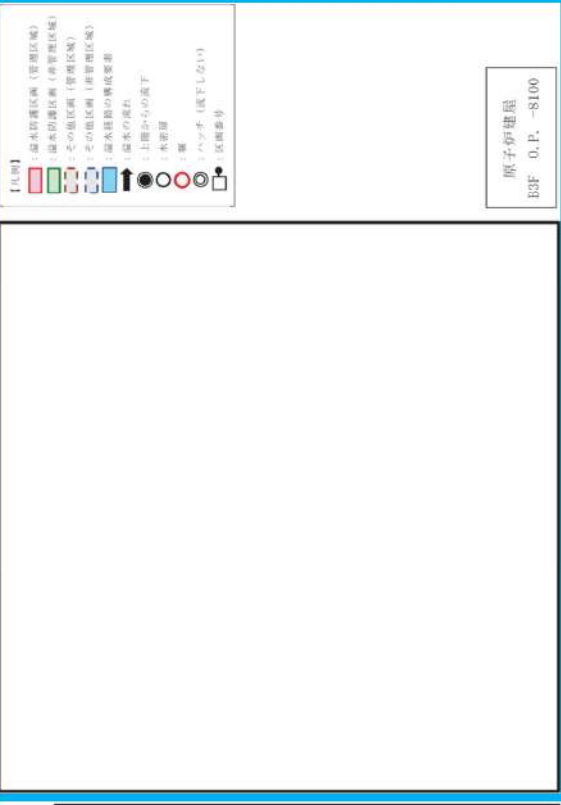
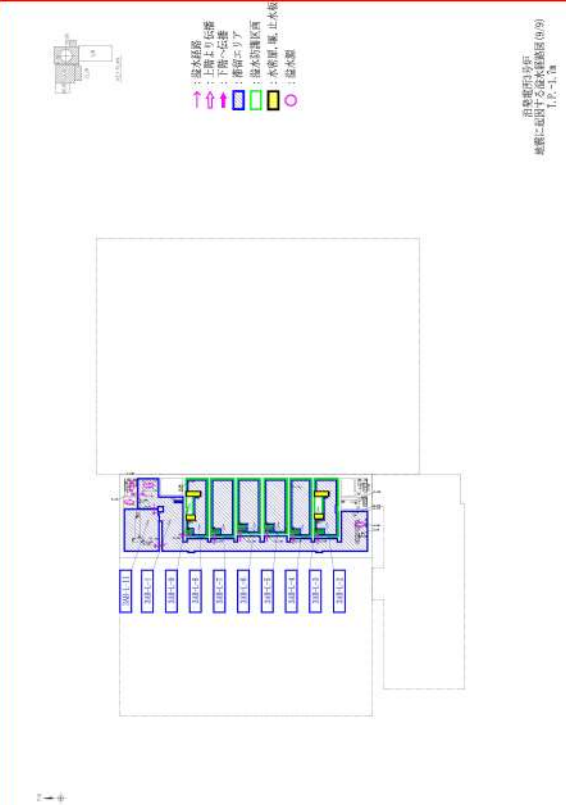
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>原子炉建屋 BIF O.P. 6000</p>		<p>【女川】                  記載方針の相違                  女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、油は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>種組みの範囲に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  記載方針の相違                  女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。(大飯と同様)</p> <p>【大飯】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

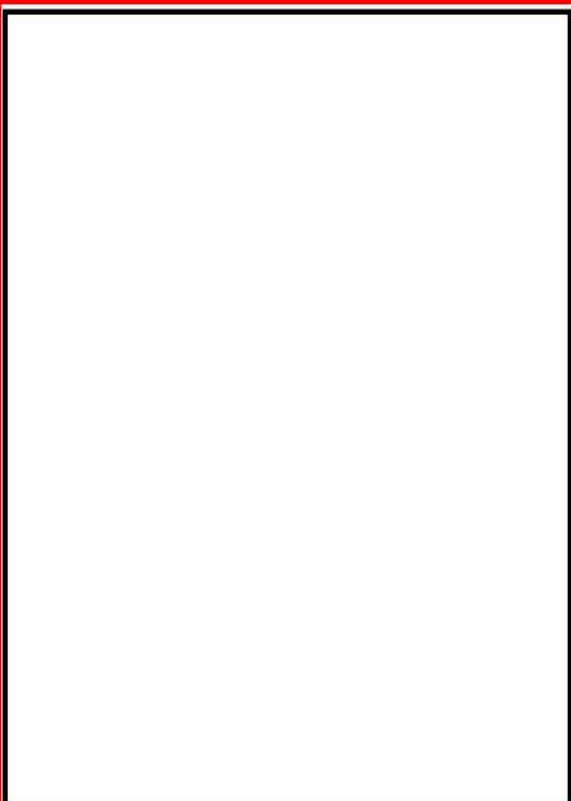
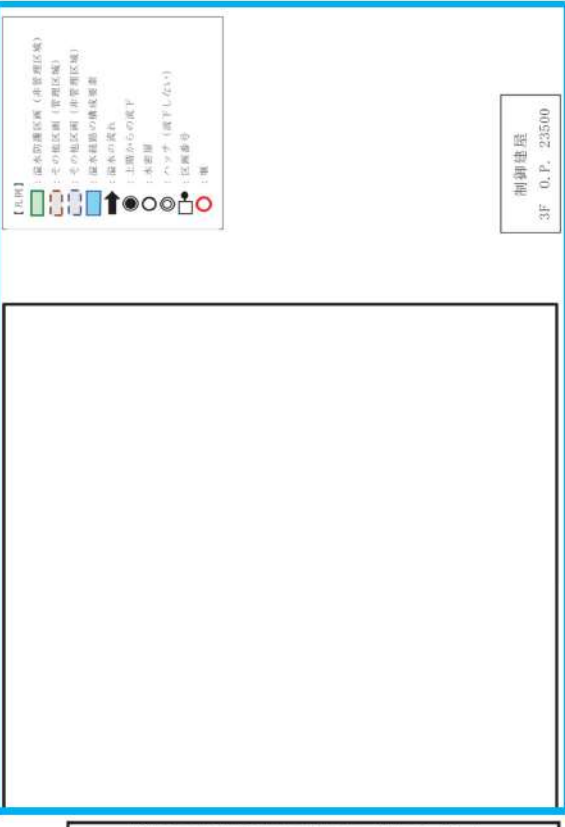



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

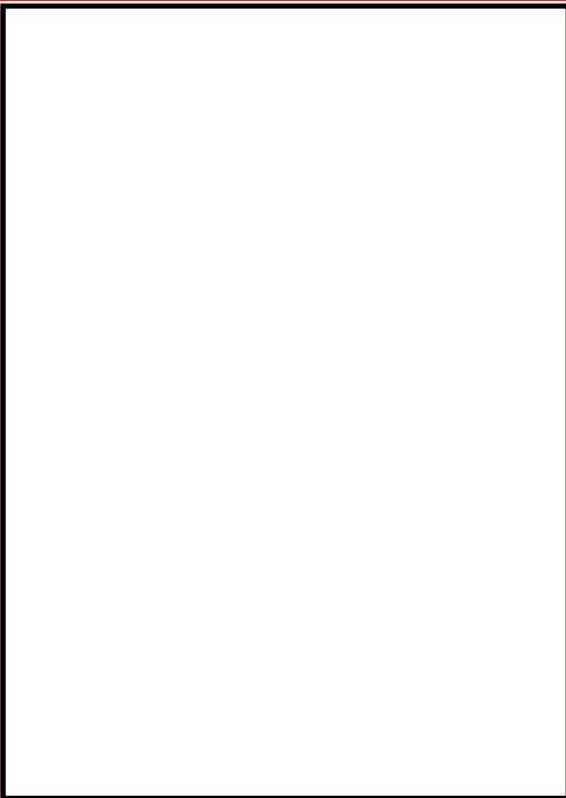
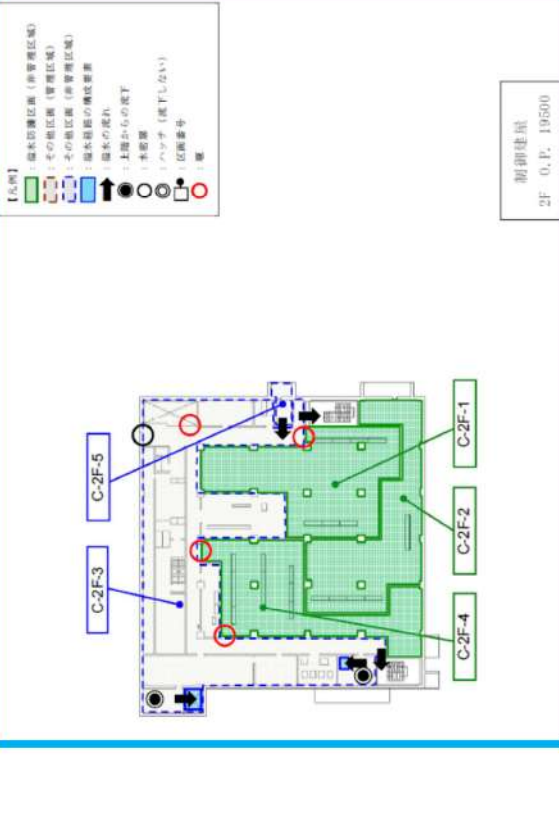
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  記載方針の相違                  女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、油は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。(大飯と同様)</p> <p>【大飯】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

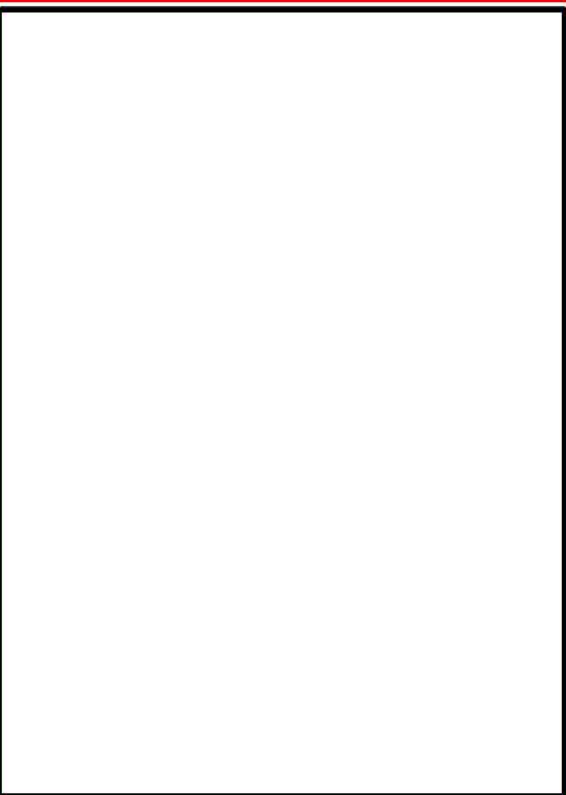
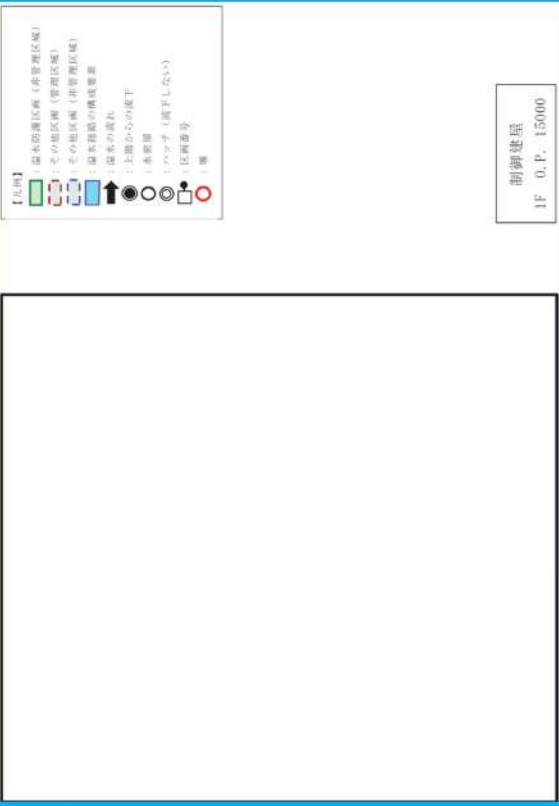
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  記載方針の相違                  女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、油は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
	<p>枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）


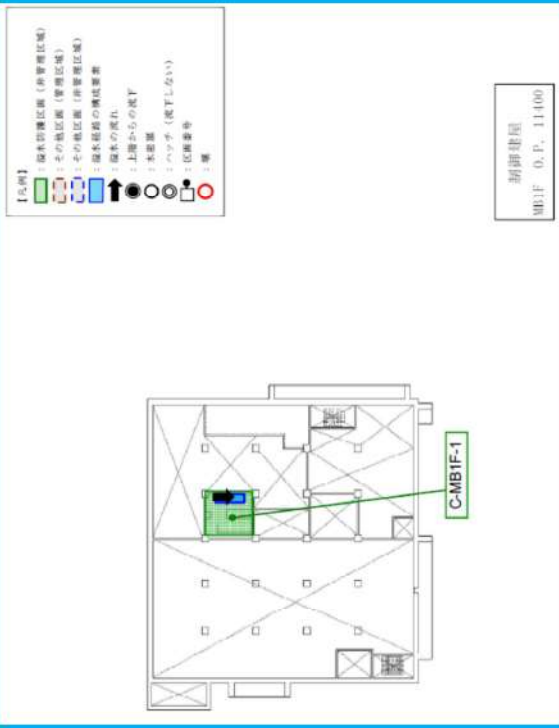
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  記載方針の相違                  女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、油は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

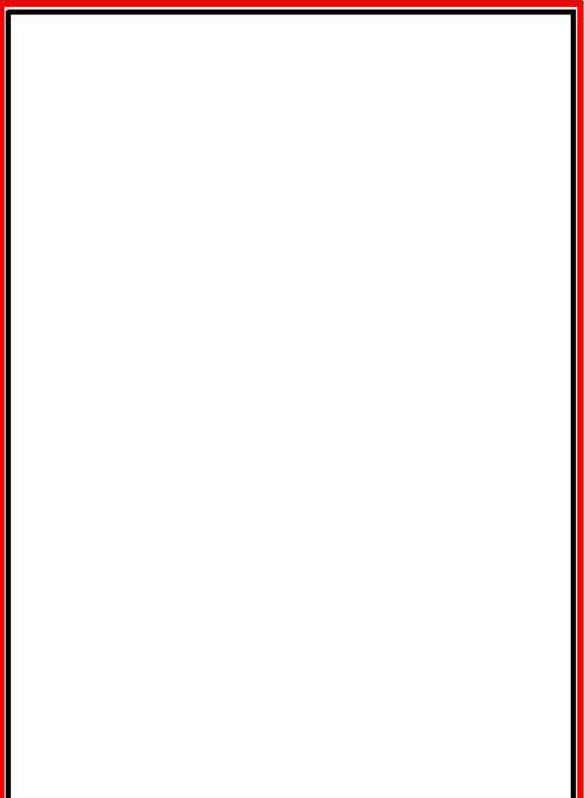

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="116 1018 680 1050">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="779 1008 1263 1034">枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>		<p data-bbox="1872 178 2134 443">【女川】 記載方針の相違 女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、油は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p data-bbox="1872 453 2134 542">【大阪】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）


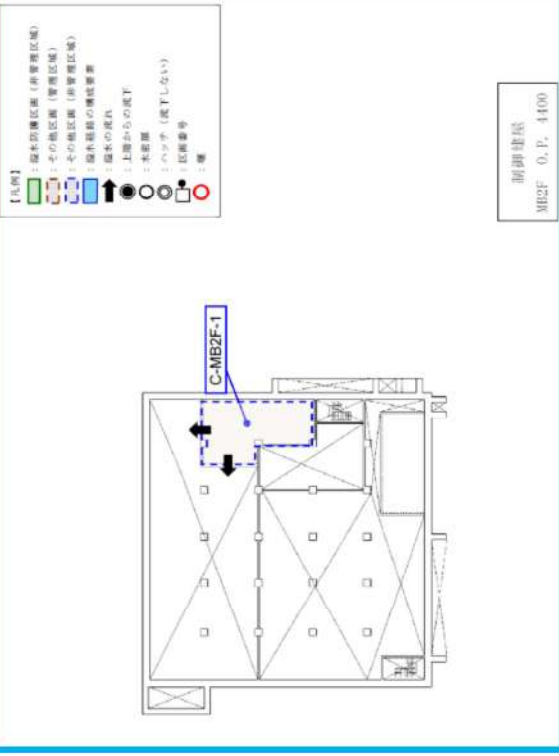
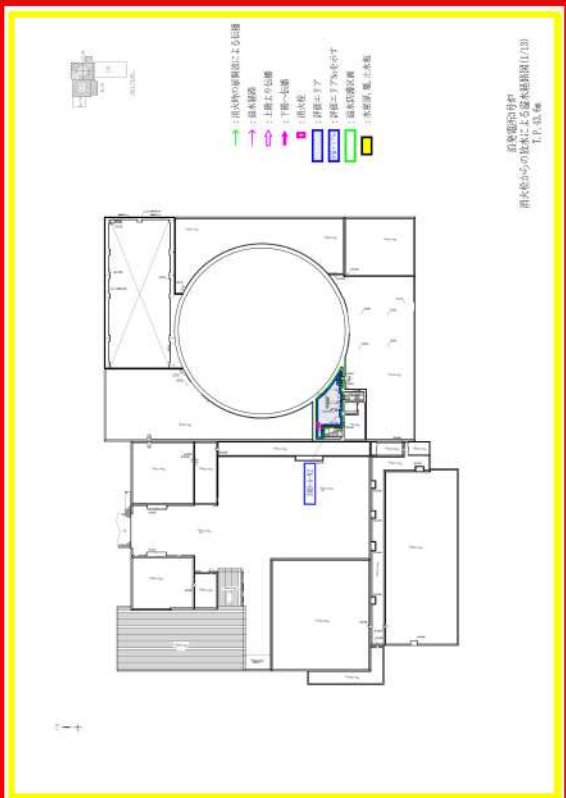
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  記載方針の相違                  女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、油は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

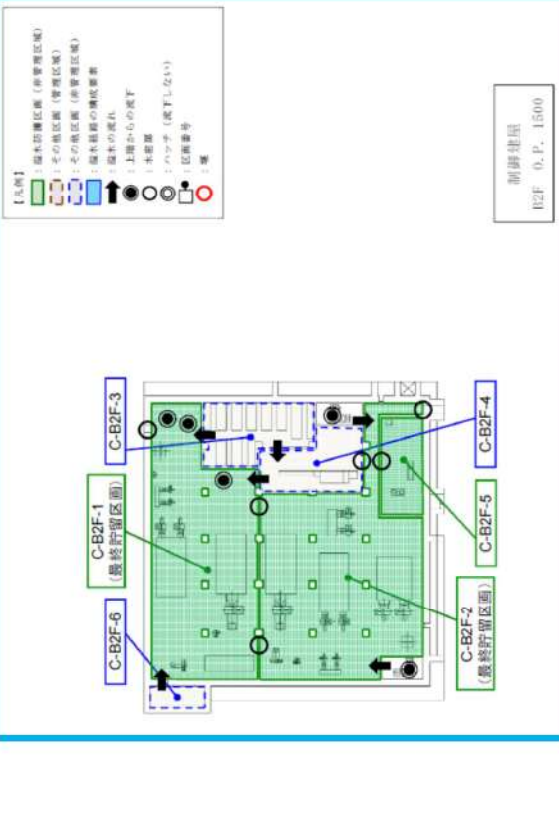
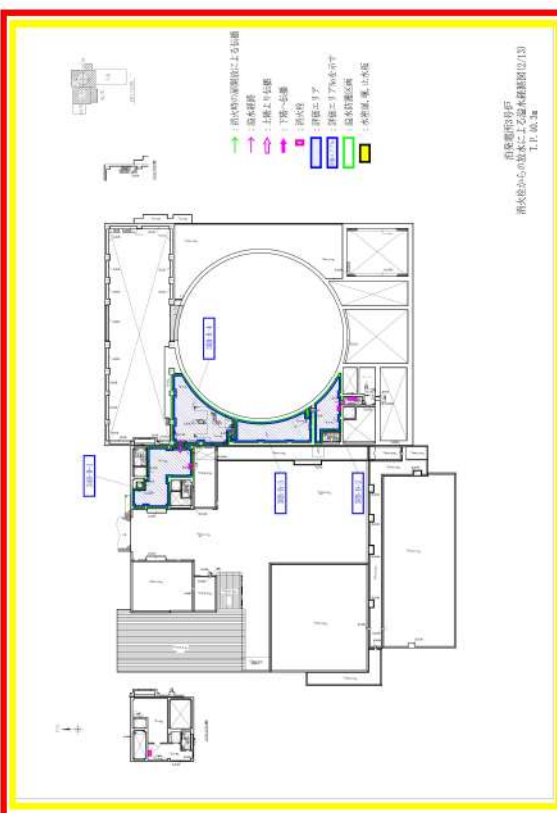
大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  記載方針の相違                  女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、油は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>添付資料 1.4.2-3</p> 	<p>前脚建屋 MB2F O.P. 4400</p> 	<p>2. 消火栓からの放水による溢水経路及び溢水防護区画</p> 	<p><b>【女川】</b>                  記載方針の相違                  女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p><b>【大飯】</b>                  設計方針の相違                  プラント設計の相違                  記載表現の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

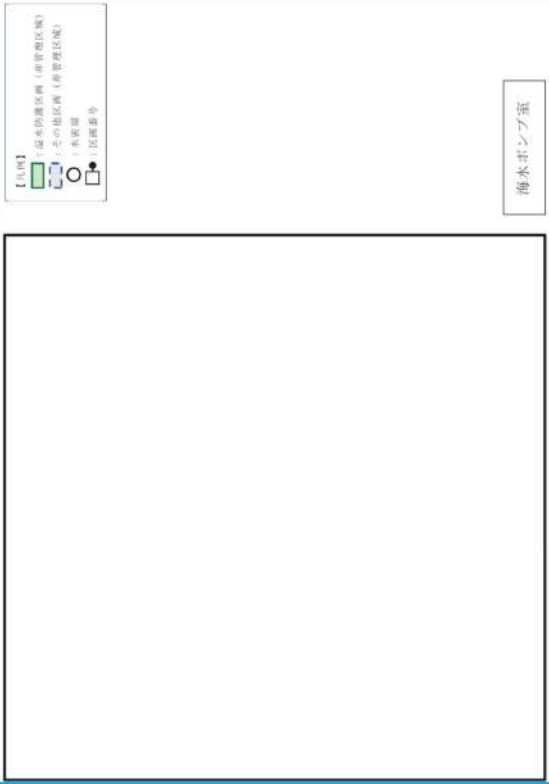
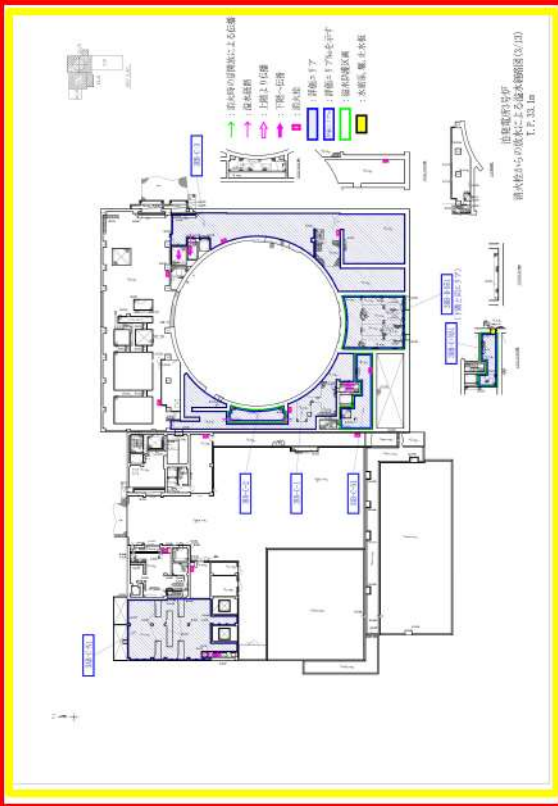
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

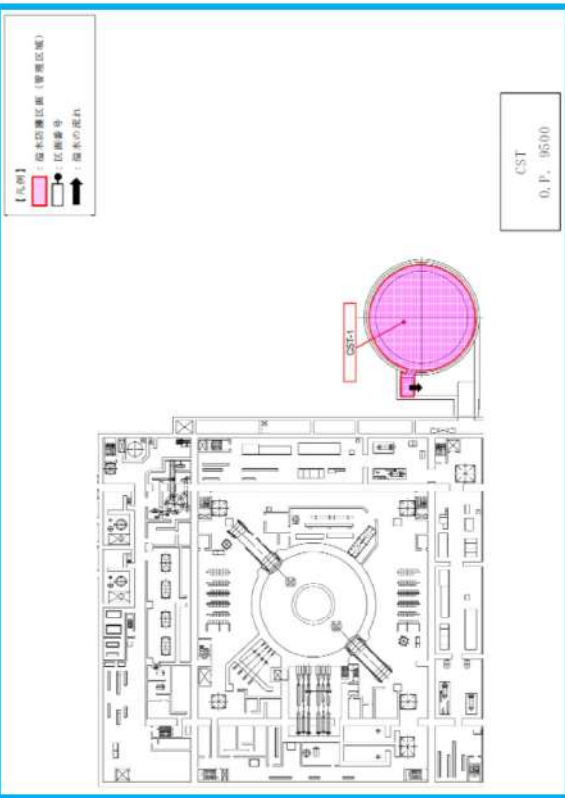
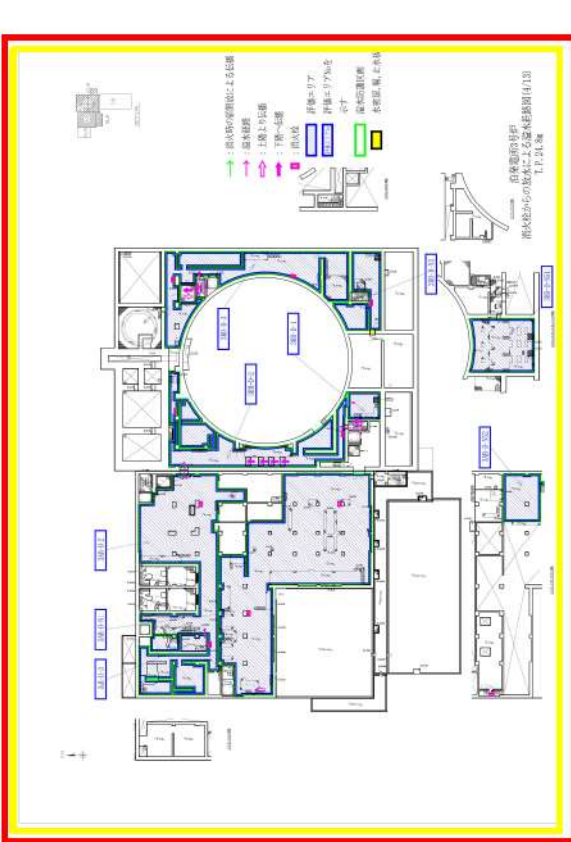
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 溢水防護区域（非常時区域）</li> <li>■ その他の区域（管理区域）</li> <li>■ その他の区域（非常時区域）</li> <li>■ 溢水防護の開放箇所</li> <li>● 溢水の流路</li> <li>↑ 上層からの流下</li> <li>○ 弁設置</li> <li>○ パンチ（穴下しなし）</li> <li>○ 区画番号</li> <li>○ 壁</li> </ul> <p>制御建屋 B2F 0.P. 1500</p>	 <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>↑ 溢水の流路による設備</li> <li>↑ 溢水防護</li> <li>↑ 上層からの流下</li> <li>↑ 下層からの流下</li> <li>○ 弁設置</li> <li>○ 区画番号</li> <li>○ パンチ（穴下しなし）</li> <li>○ 区画番号</li> <li>○ 壁</li> </ul> <p>新設機組 B2F 0.P. 1500</p>	<p>【女川】                  記載方針の相違                  女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、油は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			



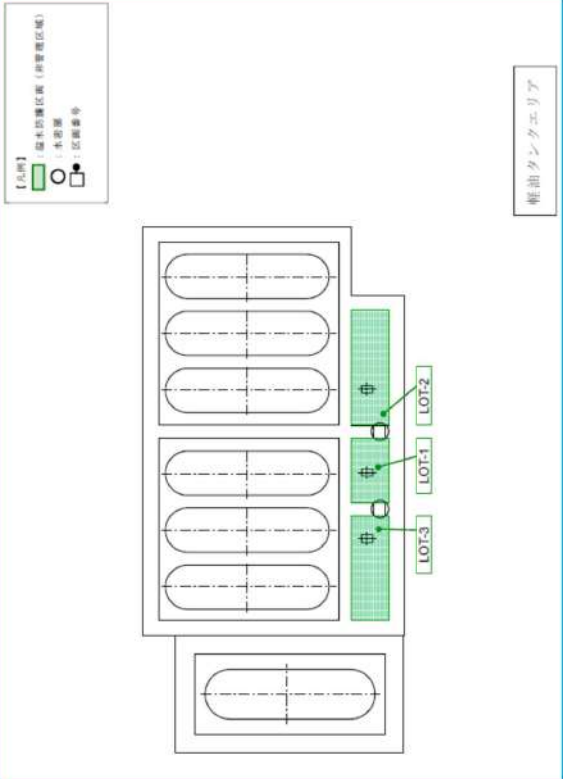
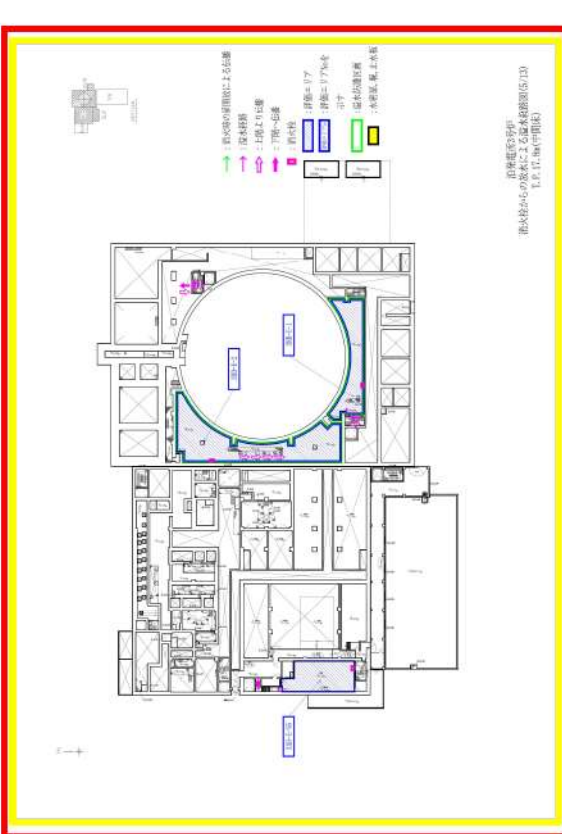
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="772 981 1249 1008">枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>		<p data-bbox="1877 178 1937 199">【女川】</p> <p data-bbox="1877 215 1993 236">記載方針の相違</p> <p data-bbox="1877 247 2128 438">女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p data-bbox="1877 454 1937 475">【大飯】</p> <p data-bbox="1877 486 1993 507">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 518 2027 539">プラント設計の相違</p>

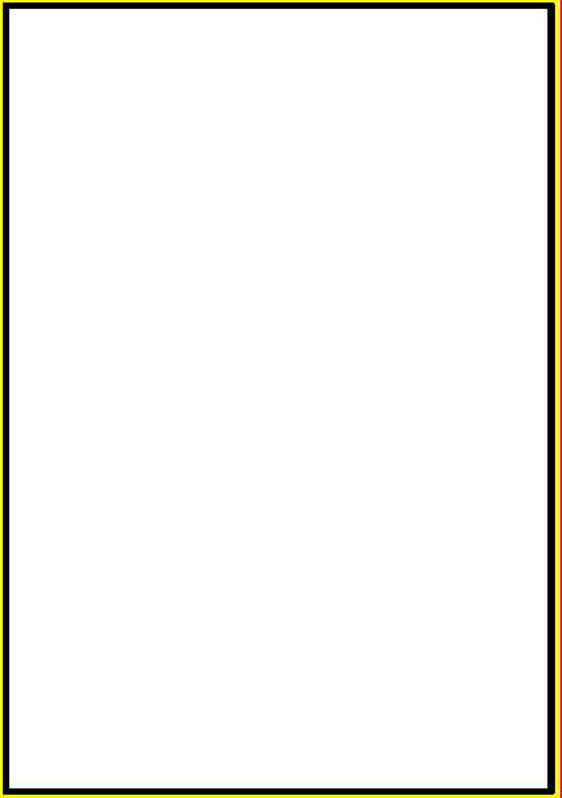
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p><b>【女川】</b>  <u>記載方針の相違</u>                  女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。(大飯と同様)</p> <p><b>【大飯】</b>  <u>設計方針の相違</u>  <u>プラント設計の相違</u></p>

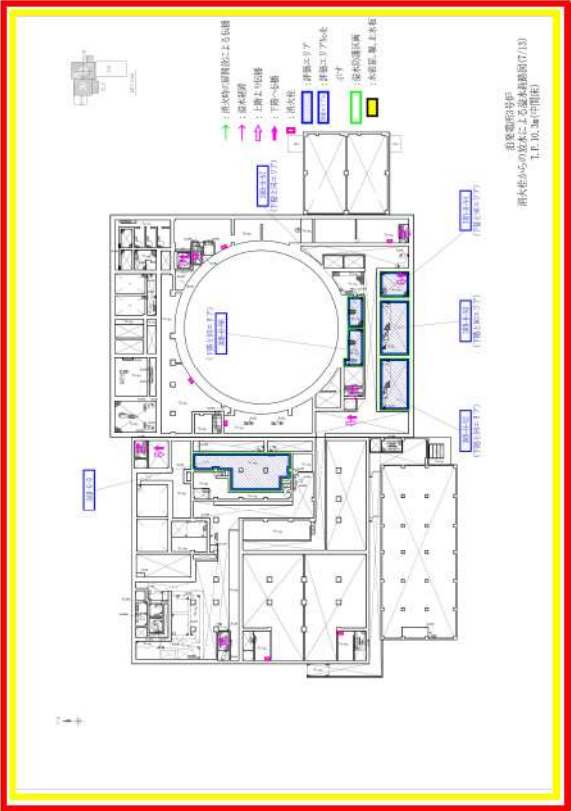
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  記載方針の相違                  女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。(大飯と同様)</p> <p>【大飯】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<div style="border: 2px solid red; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-bottom: 5px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <span style="background-color: black; color: black;">[REDACTED]</span> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </div>	<p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>

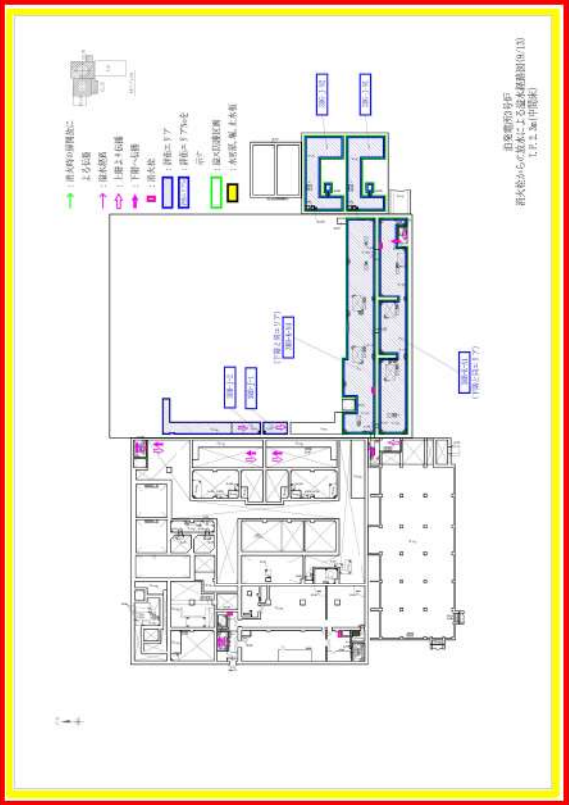
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>図面内容の相違による相違          赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)          青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)          緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)</p> <p>図面内容の相違による相違          赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)          青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)          緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)</p> <p>図面内容の相違による相違          赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)          青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)          緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)</p>	<p>【大阪】          設計方針の相違          プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <!-- Empty content for comparison --> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <span style="background-color: black; color: white; padding: 2px;"> </span> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </div>	<p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>ブランド設計の相違</p>

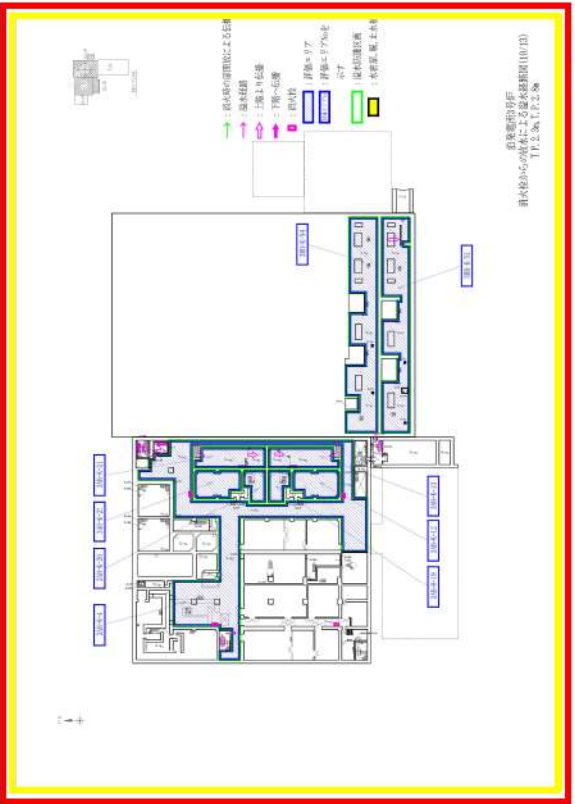
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>

泊発電所 3号炉 DB基準適合性 比較表

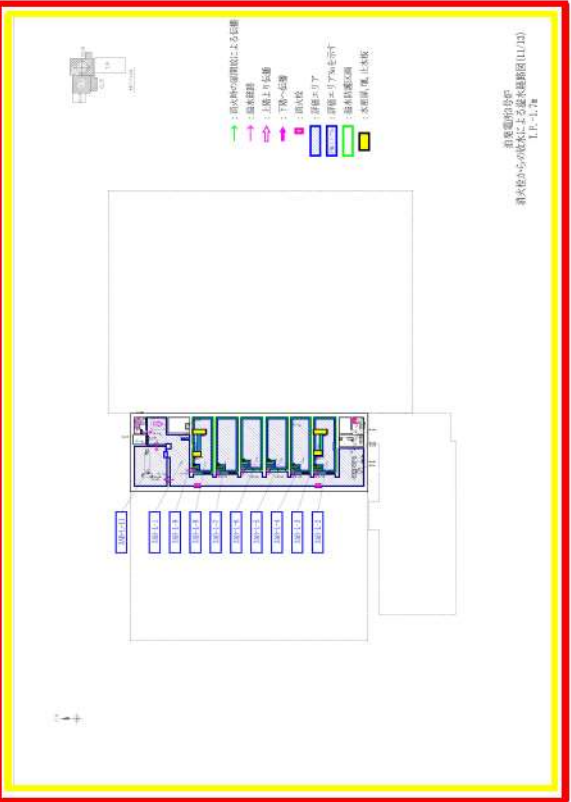
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

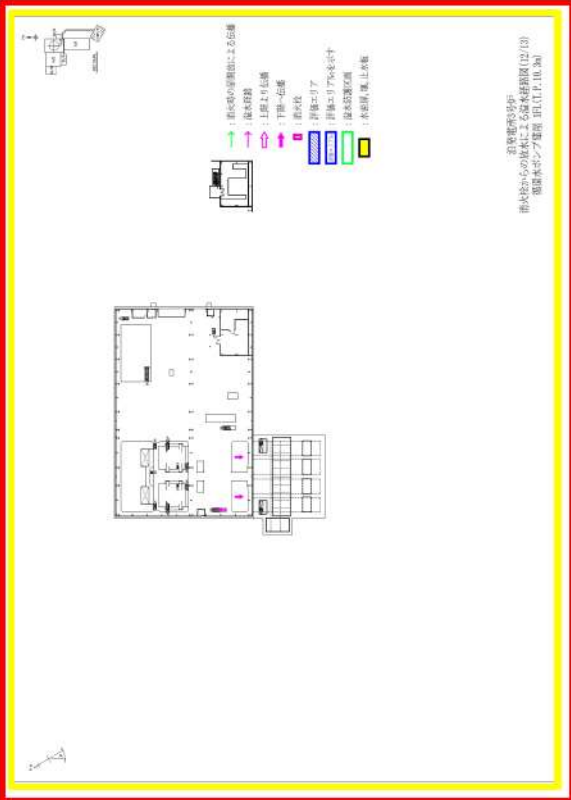
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>



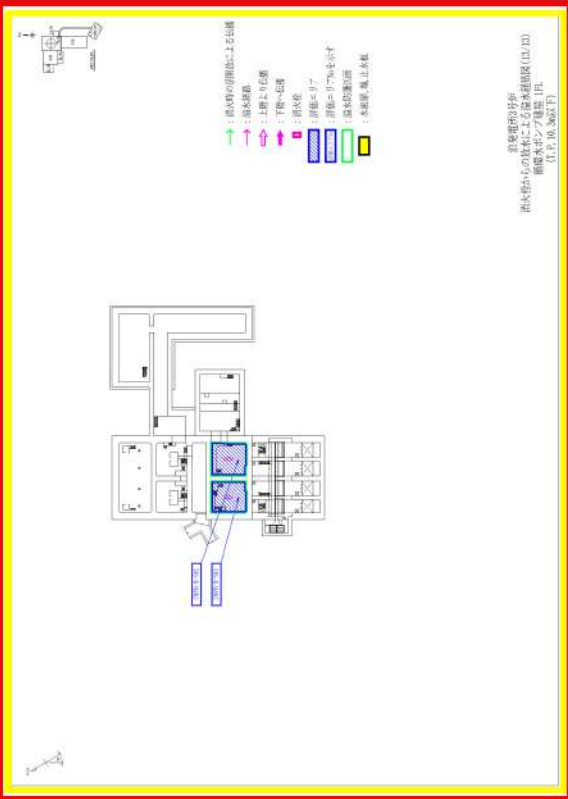
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

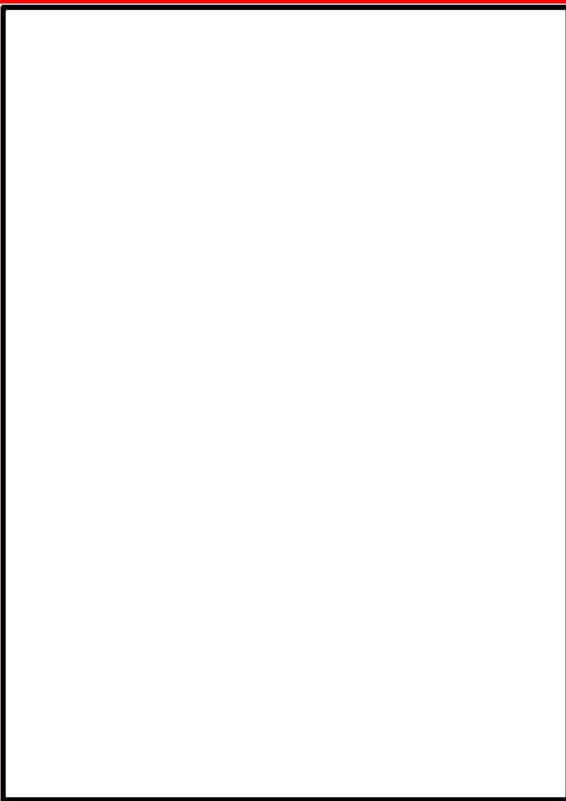
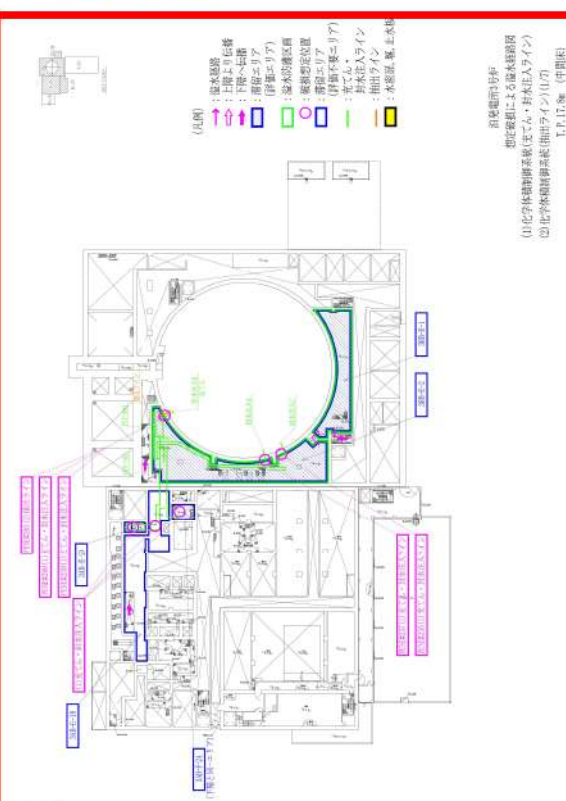
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>泊発電所3号炉              事故後からの取替による除水設備区(101-10)              階層区分の相違(101)              図10-10-26(27)</p>	<p>【大飯】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

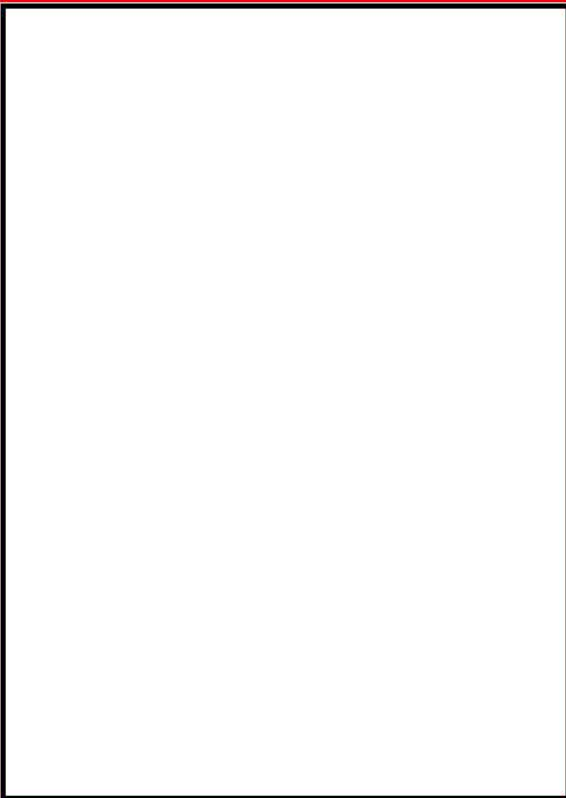

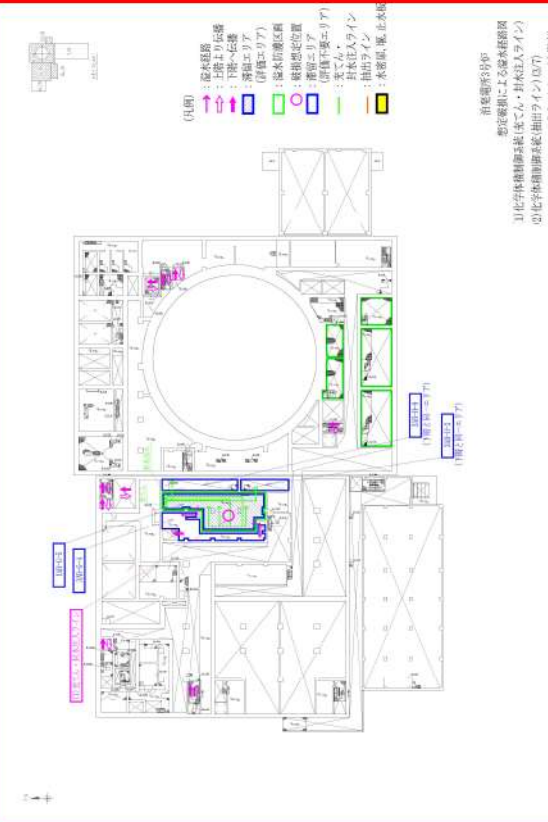
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>3. 想定破損による溢水経路及び溢水防護区画                  (1) 化学体積制御系統</p>	<p>3. 想定破損による溢水経路及び溢水防護区画                  (1) 化学体積制御系統</p>  <p>泊発電所3号炉                  想定破損による溢水経路図                  (1)化学体積制御系統(主・副水注入ライン)                  (2)化学体積制御系統(用排水ライン)(注)                  T.P.は海（中間区）</p>	<p>【女川】                  記載方針の相違</p> <p>女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>←+ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

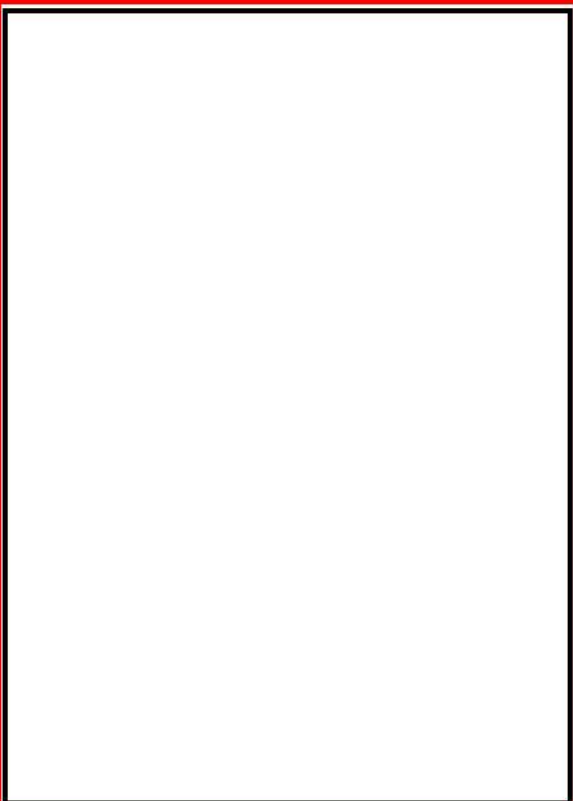
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>		<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>	<p>【大飯】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>←+ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>□ 枠組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>
<p>←+</p> <p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

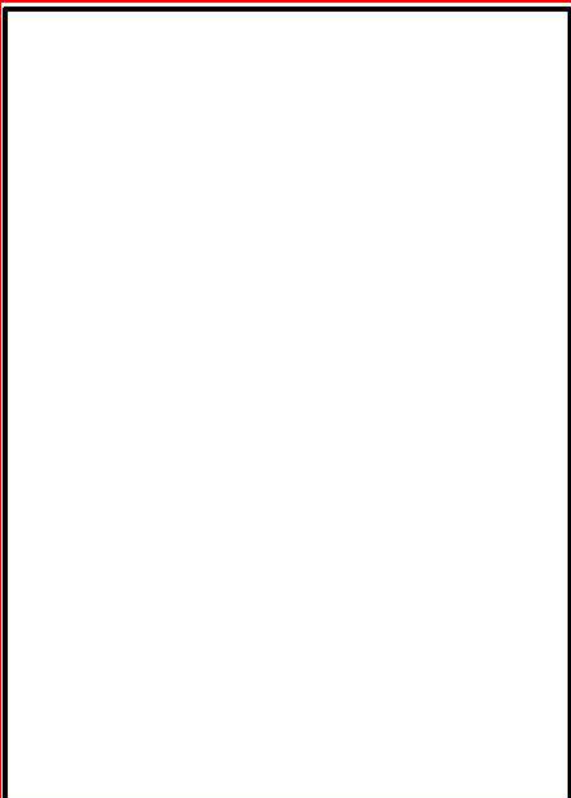

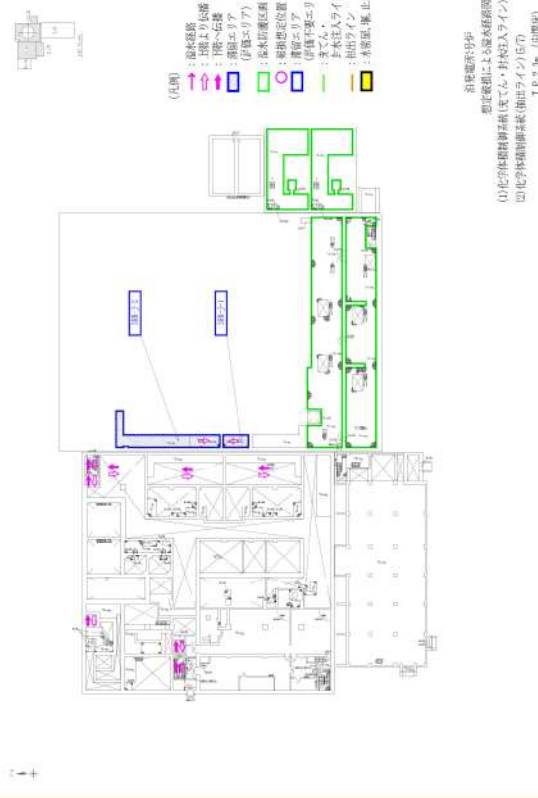
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>特記事項の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

泊発電所 3号炉 DB基準適合性 比較表

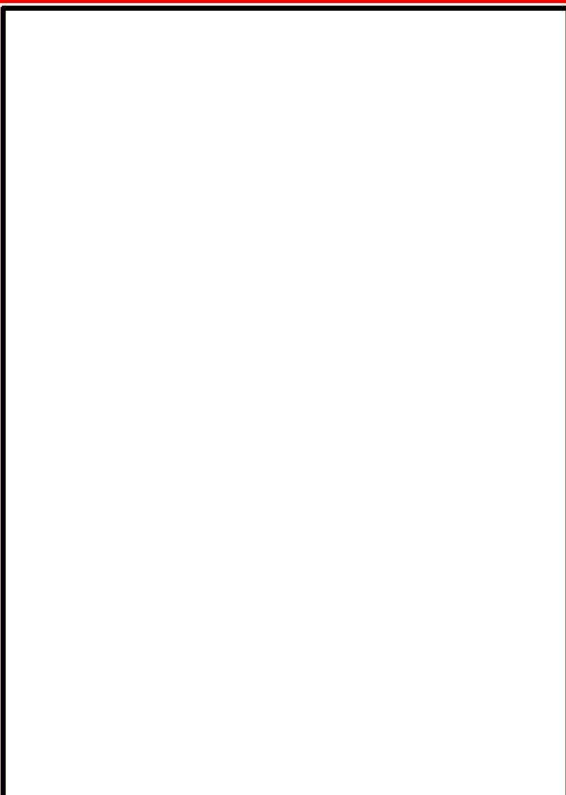

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p><b>【大飯】</b></p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

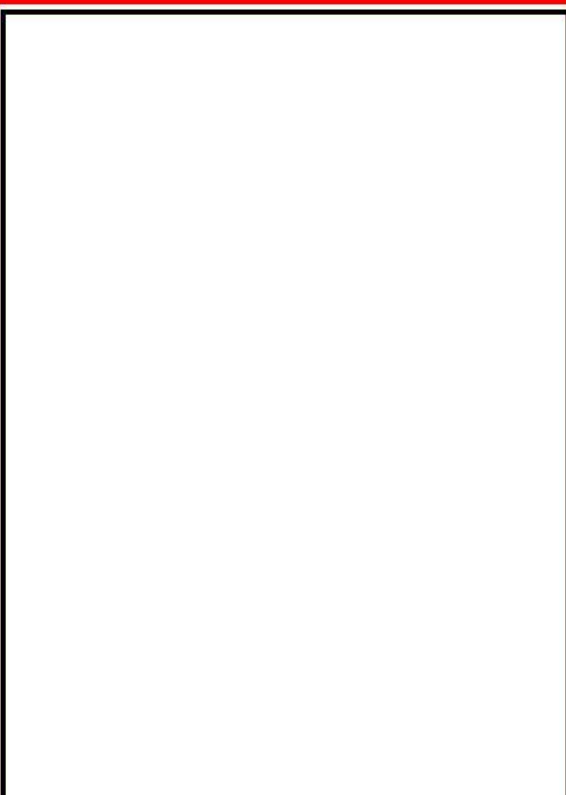

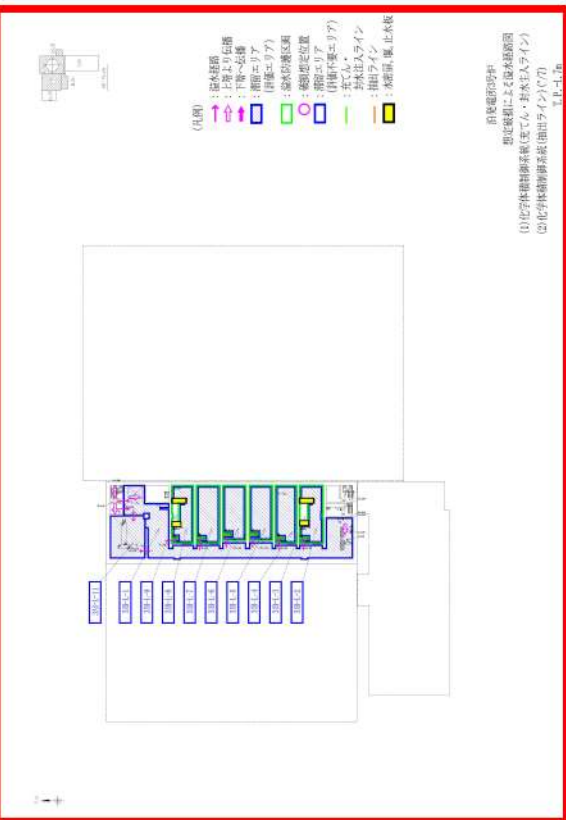


赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

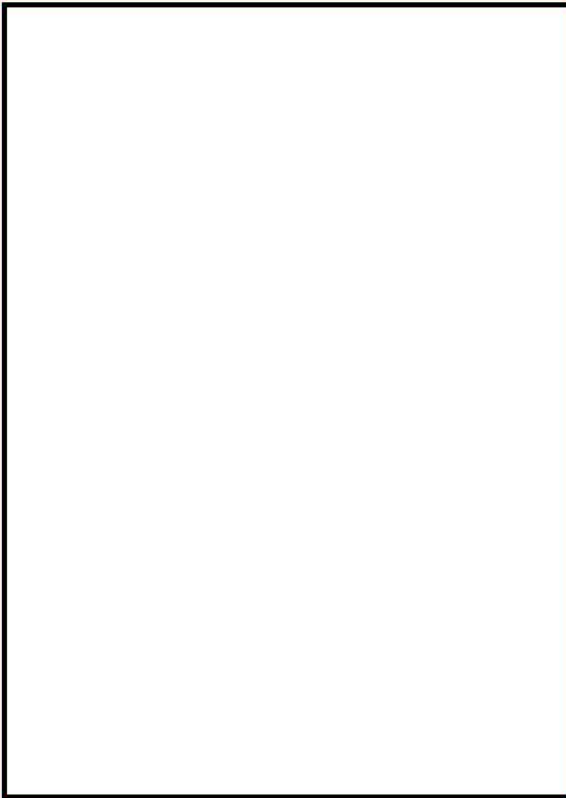

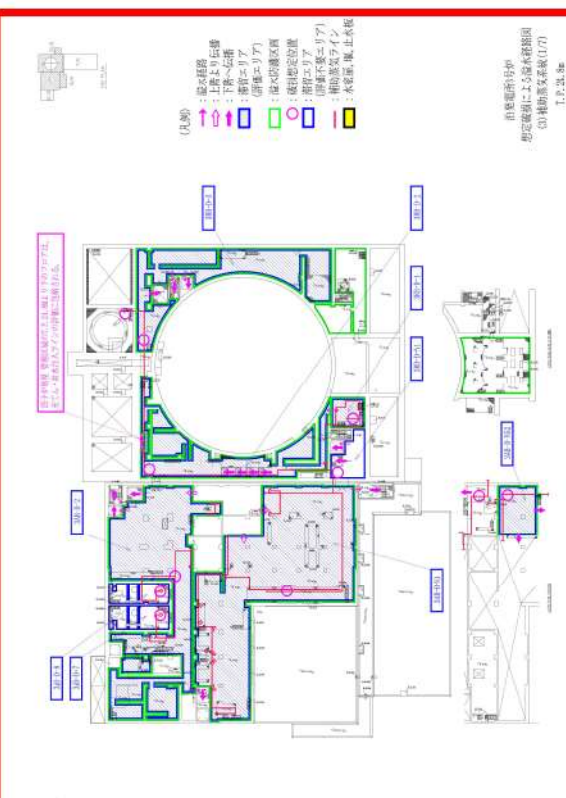
大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>泊発電所3号炉              加圧凝縮による過大蒸気発生              ① 化学体積膨張系（蒸気発生・排水ライン）              ② 化学体積膨脹系（抽出ライン）(6/7)              ③ 化学体積膨脹系（抽出ライン）(6/7)</p>	<p>【大阪】              設計方針の相違              プラント設計の相違</p>
<p>特記の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

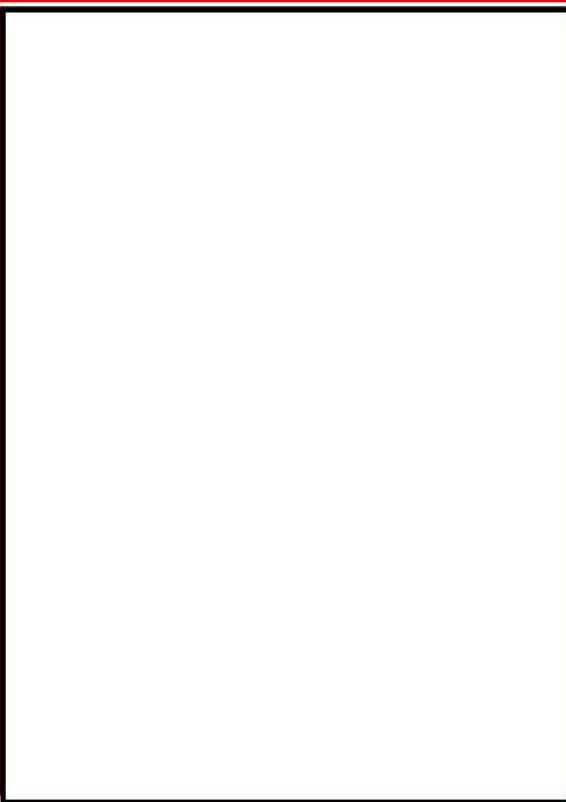
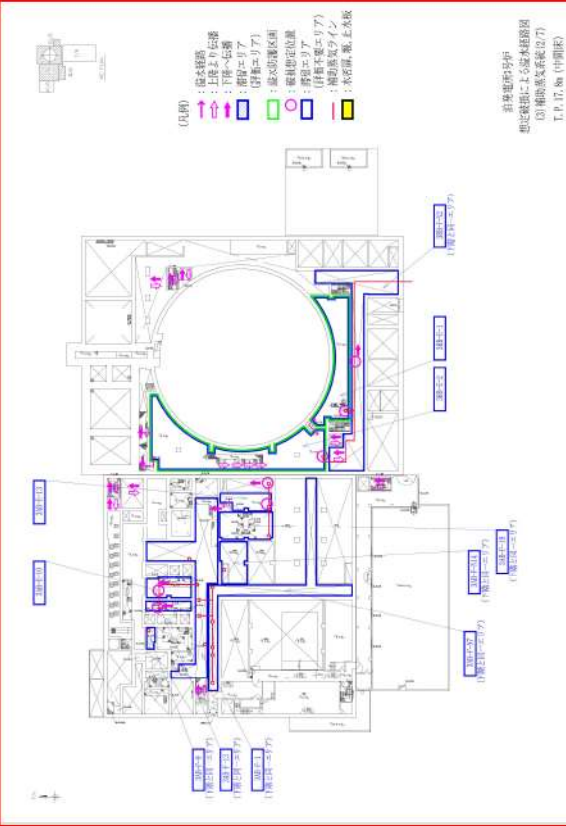
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>
<p>←+ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

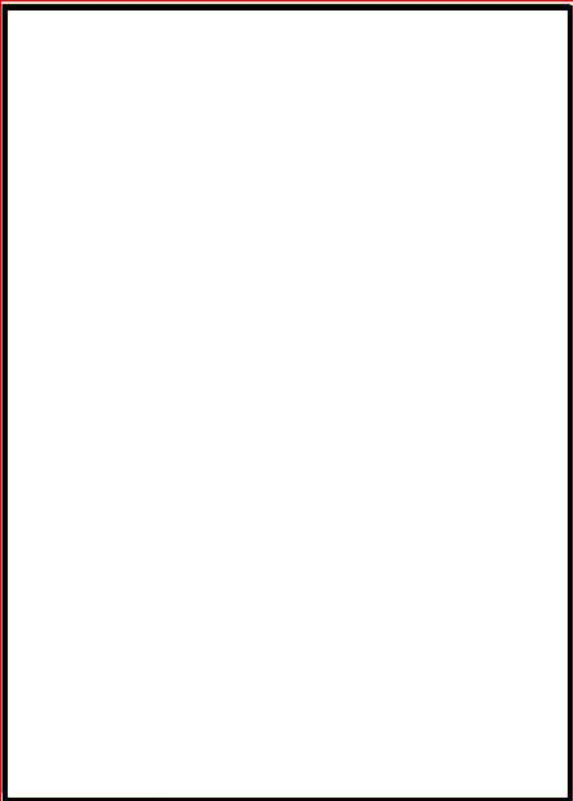
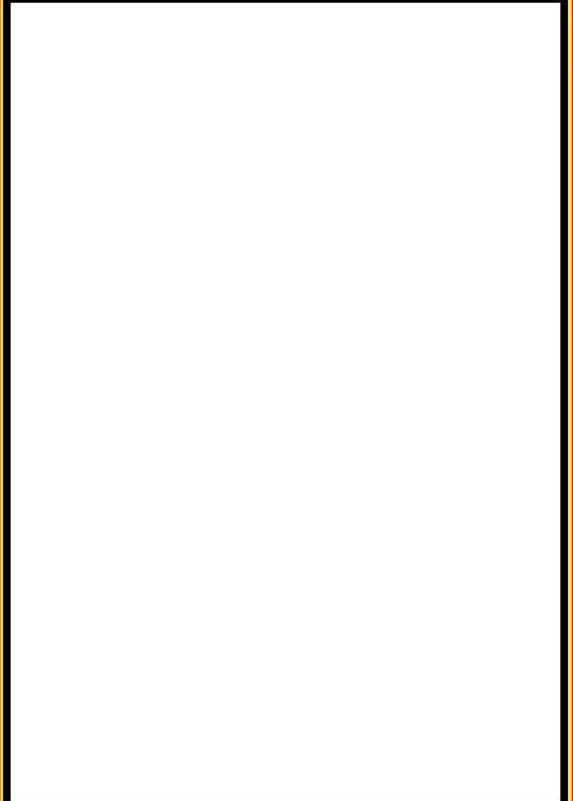
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>(2) 補助蒸気系統</p> 	<p><b>【女川】</b>                  記載方針の相違                  女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p><b>【大阪】</b>                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

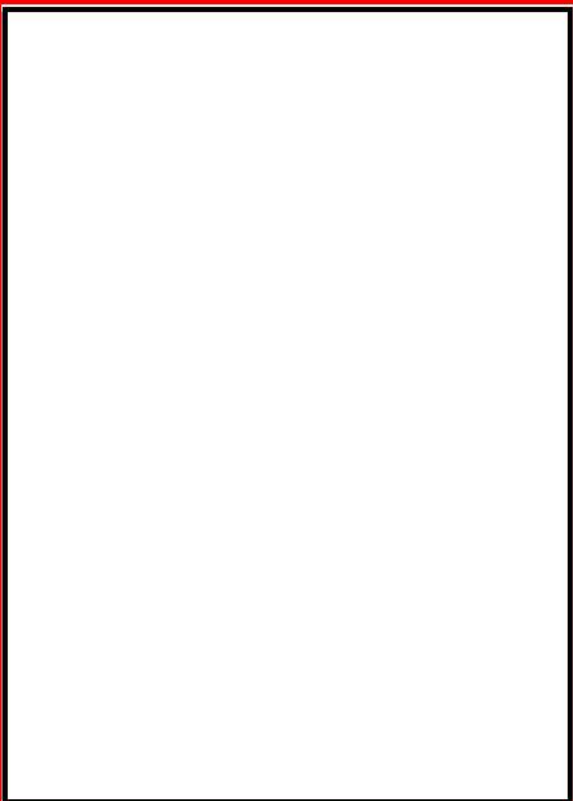
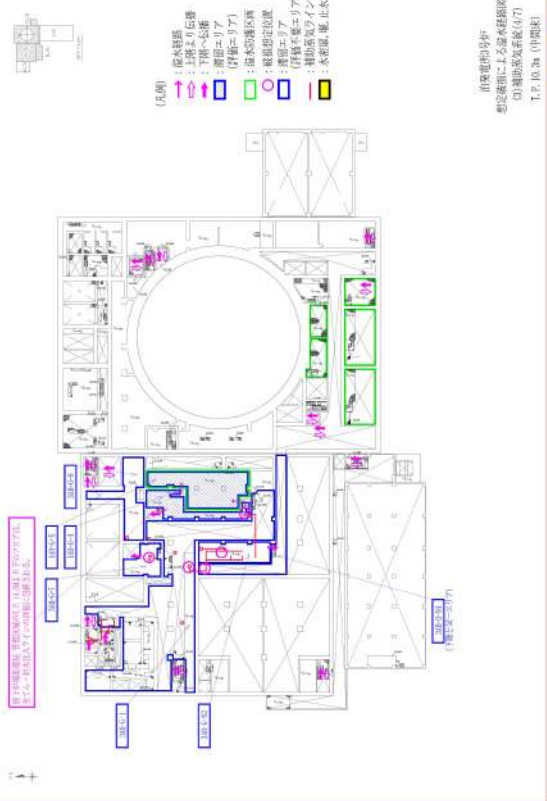

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>
<p>←+ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

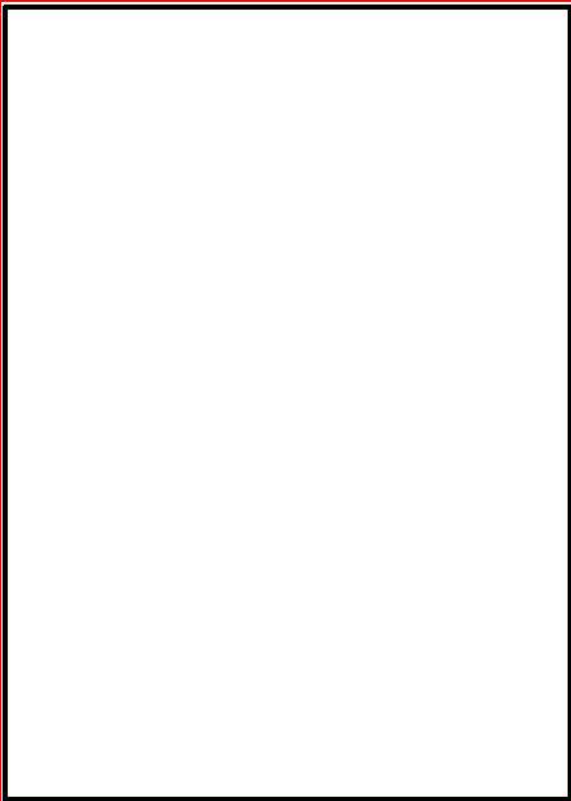
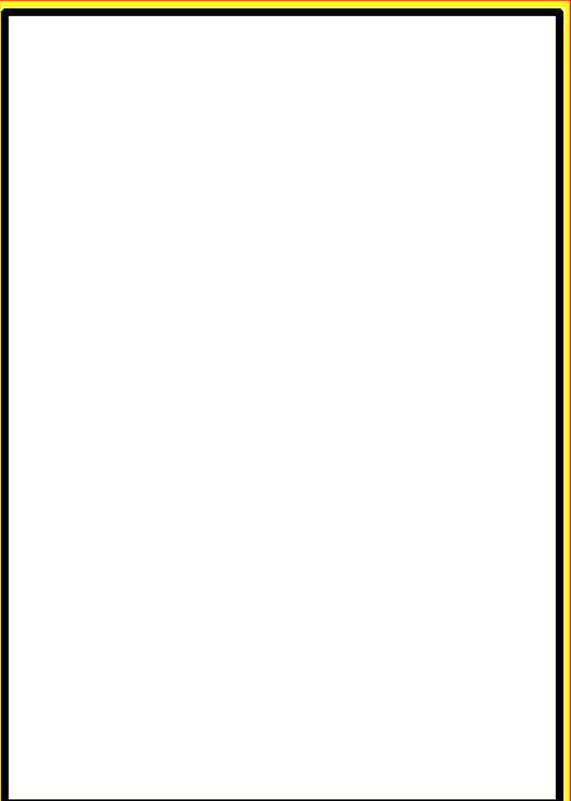
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>冷媒みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

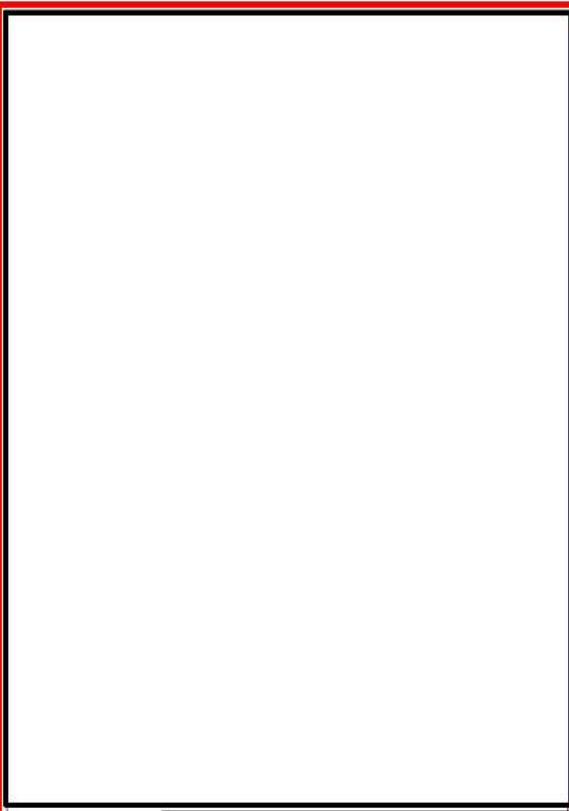
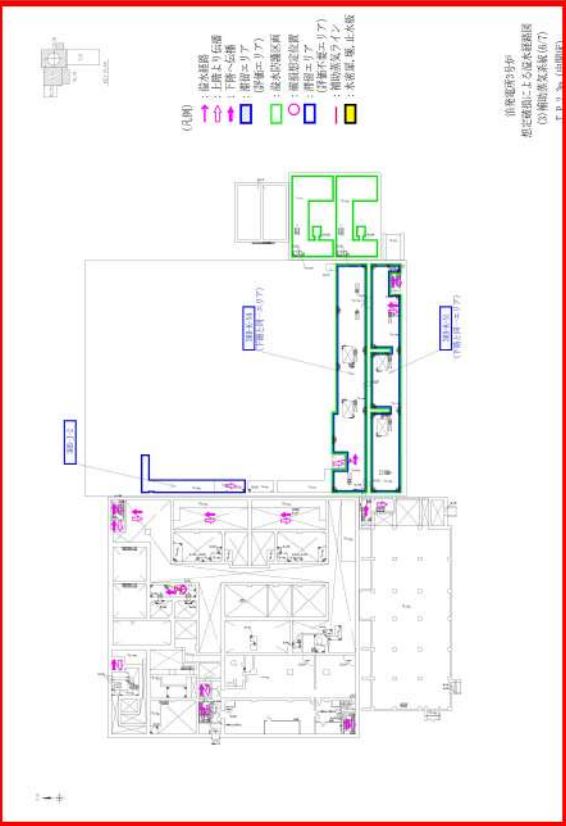
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p><b>【大阪】</b>                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
			
<p>抄録みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

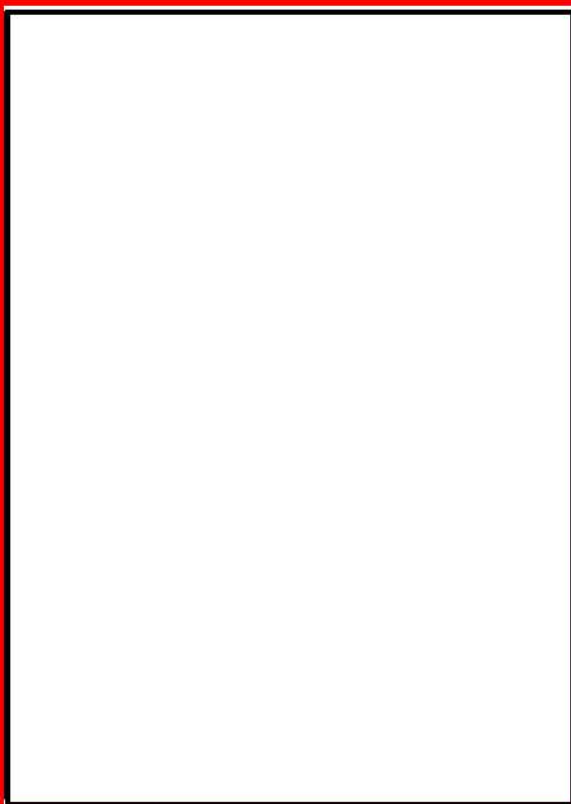
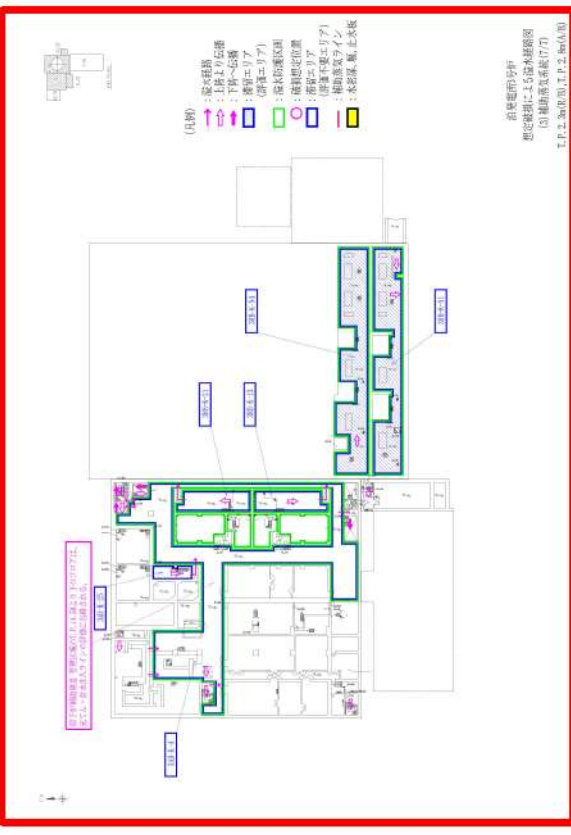
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>※ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

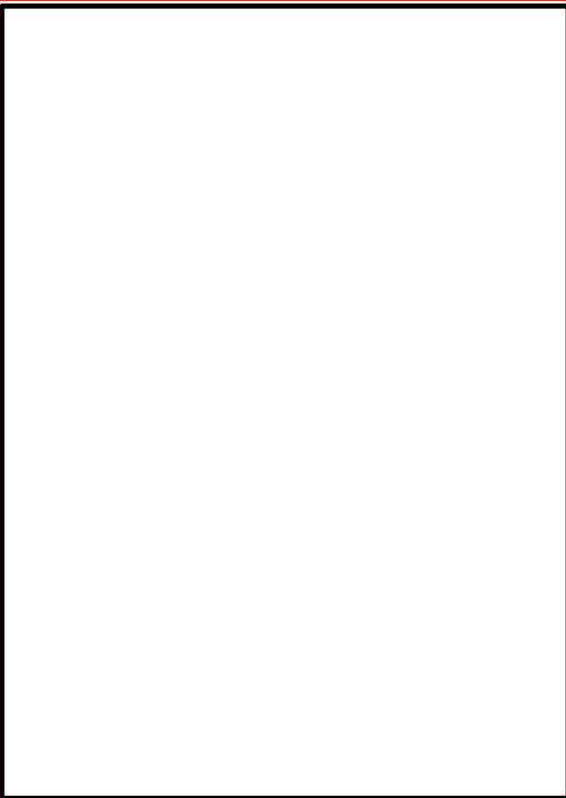

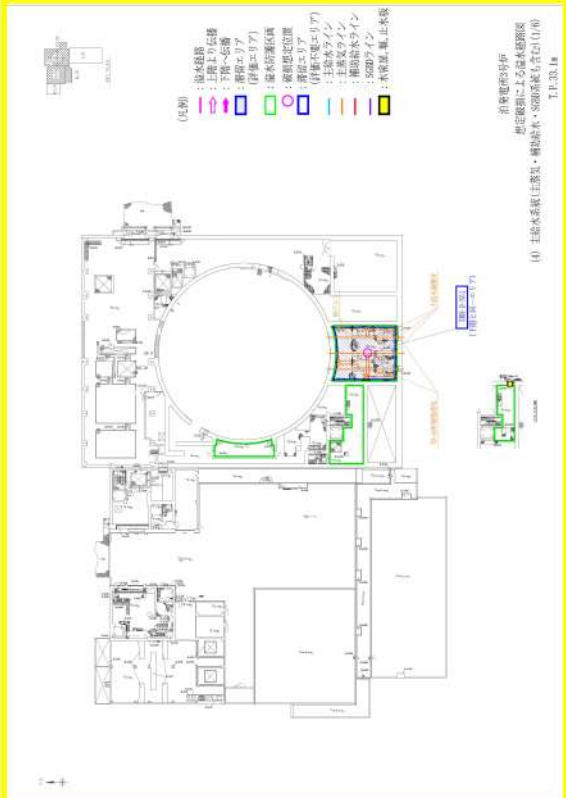
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>
<p>※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

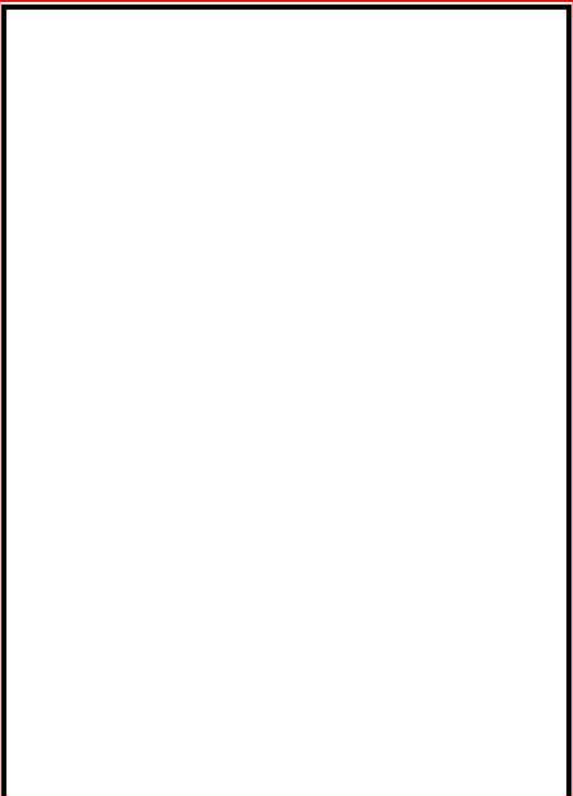
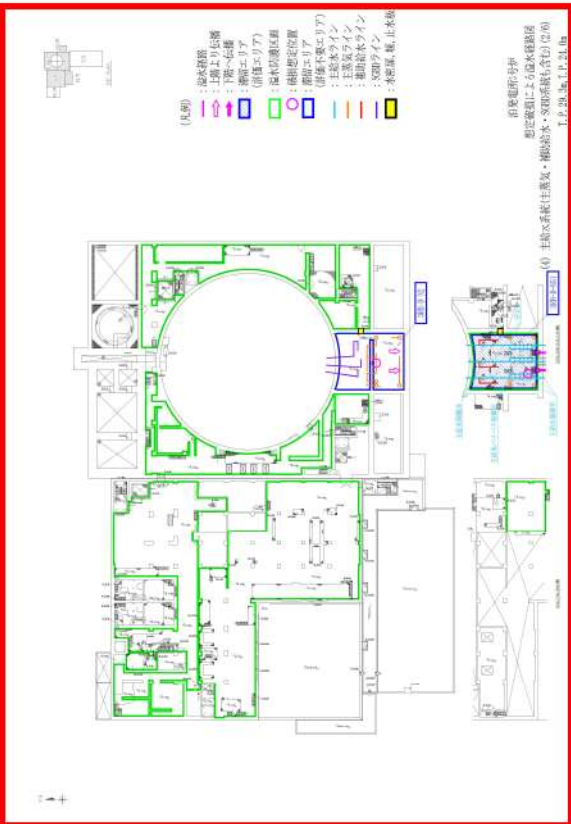
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>←+ 冷組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>(3) 主給水系統（主蒸気・補助給水・SGBD系統も含む）</p>  <p>消火水の貯留          想定破損による溢水防護区画          (1) 主給水系統(主蒸気・補助給水・SGBD系統も含む) (1/8)          TP-23.14</p>	<p><b>【女川】</b>          記載方針の相違          女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p><b>【大飯】</b>          設計方針の相違          プラント設計の相違</p>
<p>冷組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

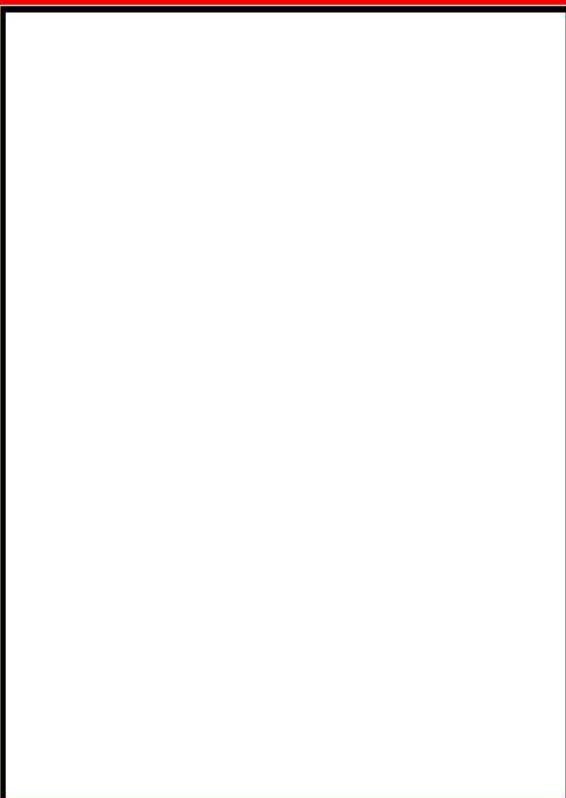
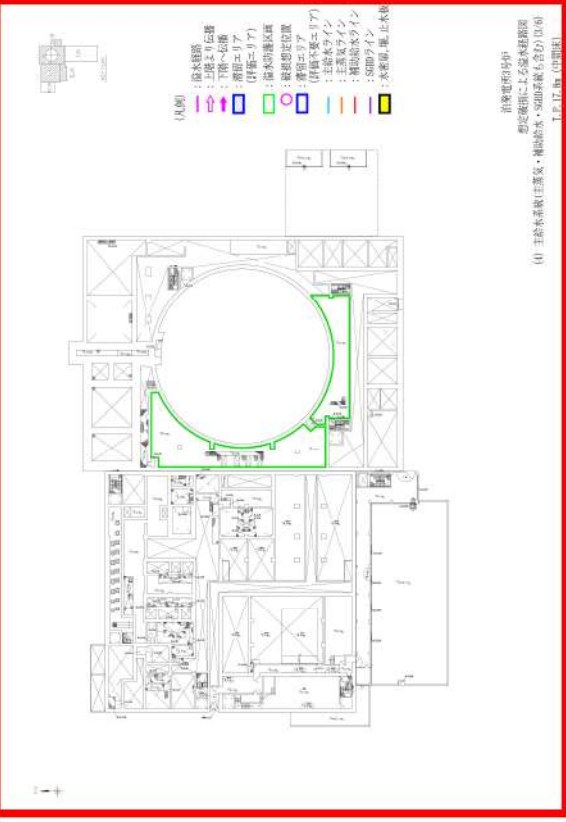
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

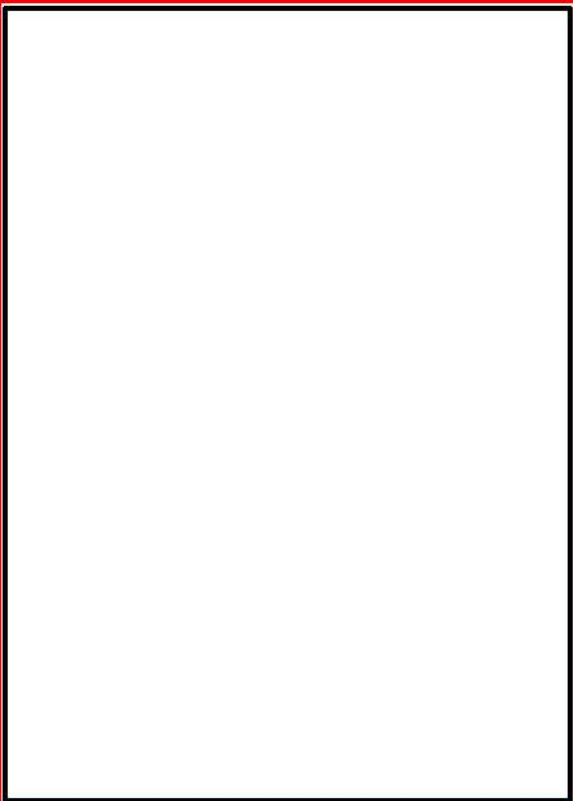
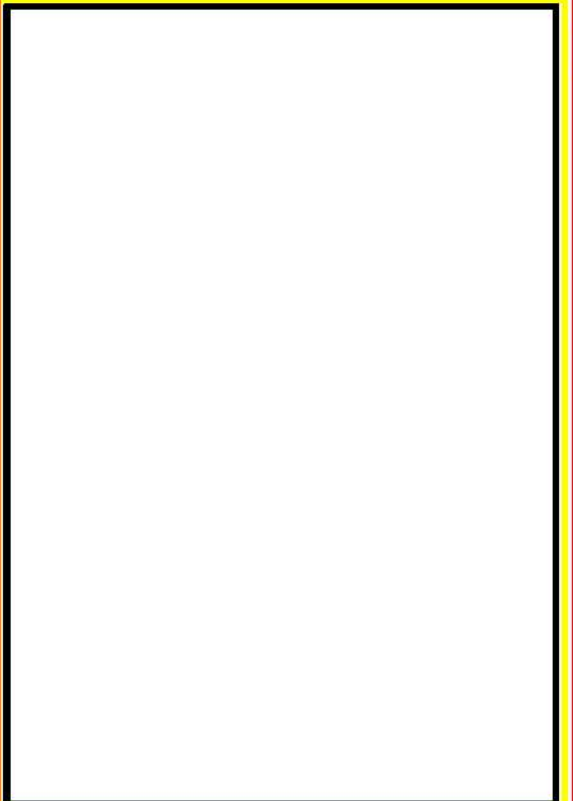
大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>
<p>冷組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

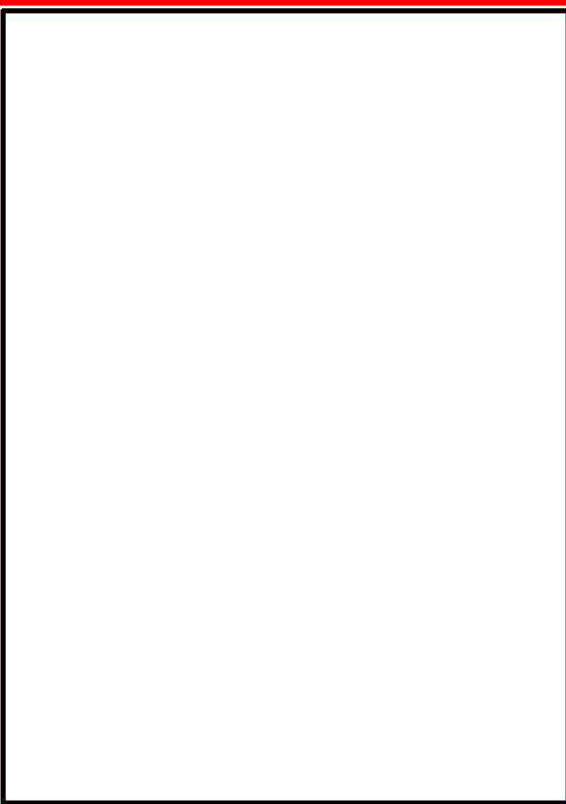

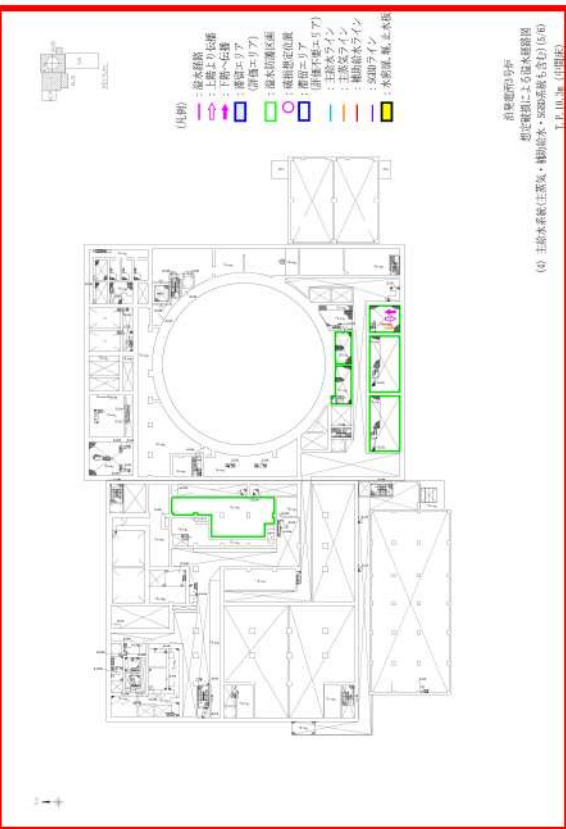
大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>泊発電所3号炉              設計範囲による設備配置図              設計範囲：階間エリア・階内エリア・SMDライン              T.P.17.15.10.0001E1              (4) 主給水系統(圧力容器・補給給水・SMD線路を含む)の図</p>	<p>【大阪】              設計方針の相違              プラント設計の相違</p>
<p>←+ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

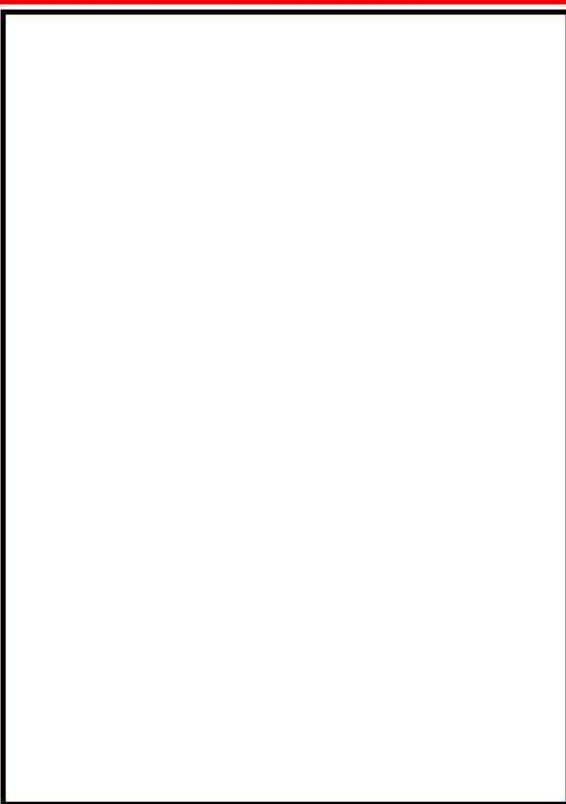
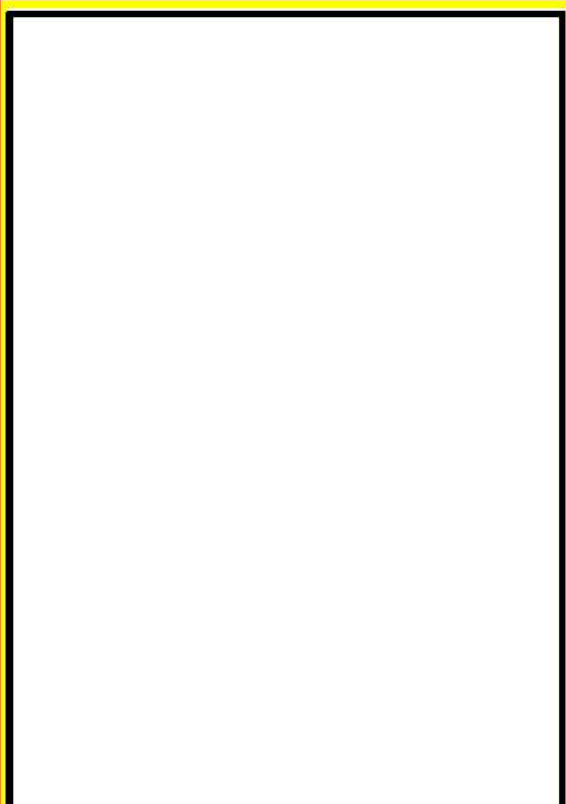
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>← 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>← 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

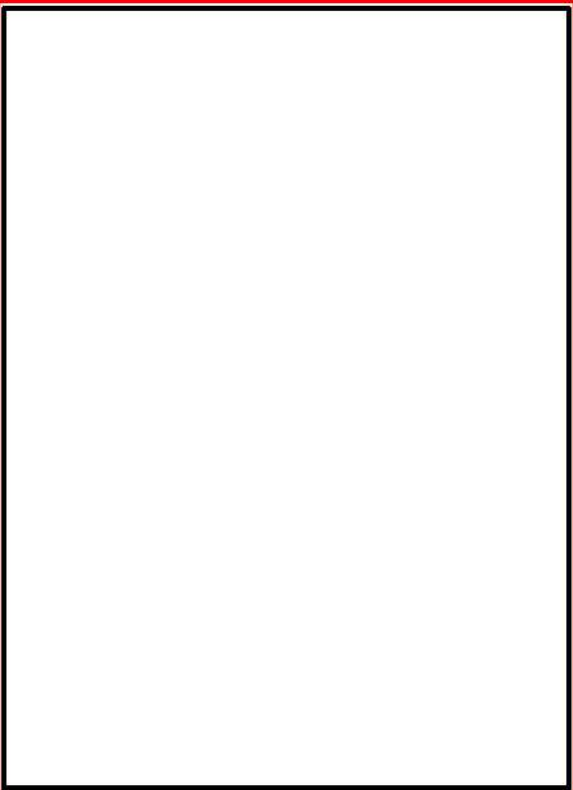
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>
<p>※組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

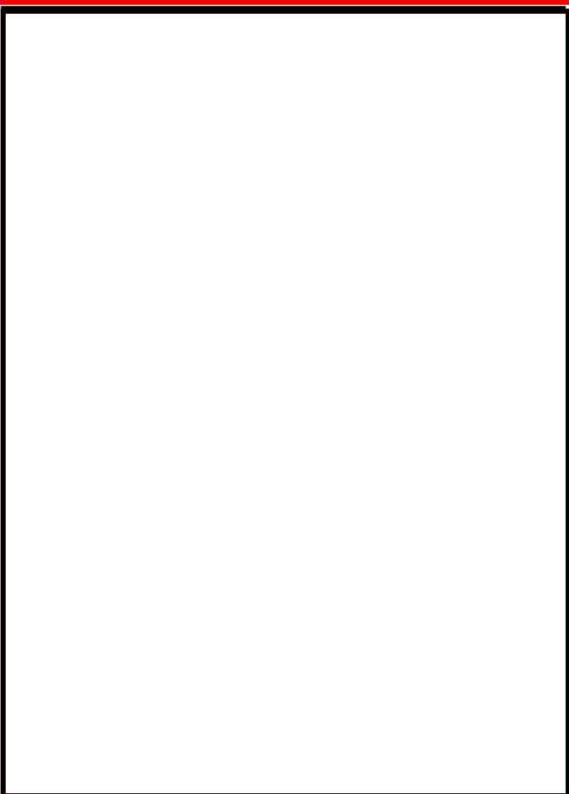
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】                      設計方針の相違                      ブランド設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>※ 持組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

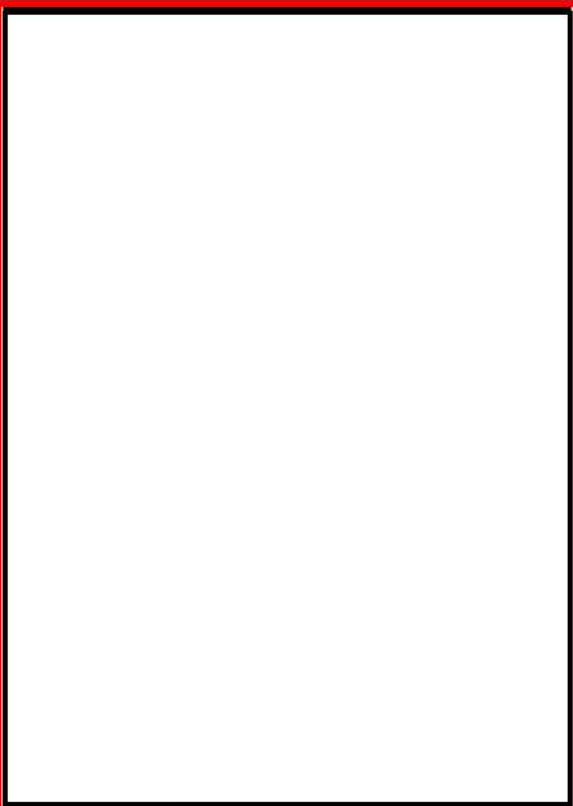
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; min-height: 500px;"> <p style="font-size: small; margin-top: 500px;">図面番号 図面名</p> </div>			<p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      ブランド設計の相違</p>
<p>図4-4</p>	<p>対応する範囲は機密に係る事項ですが公開することはできません。</p>		

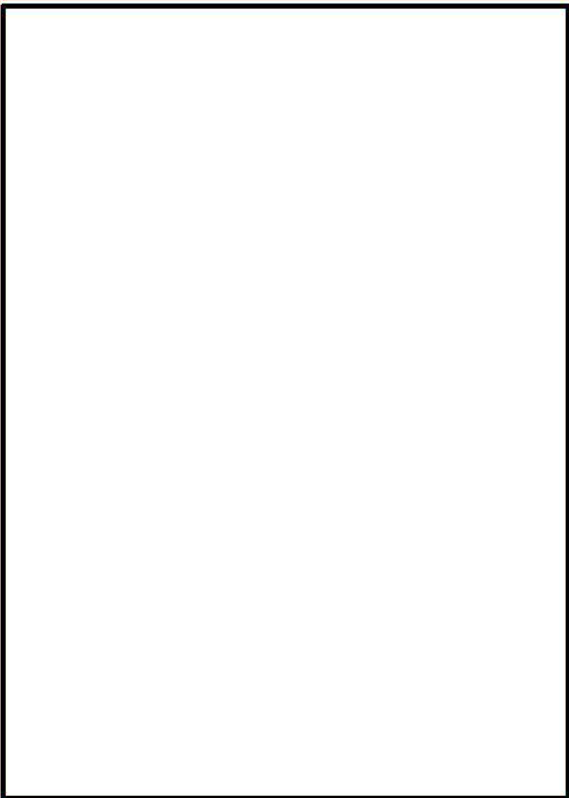
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div> <p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      ブランド設計の相違</p>

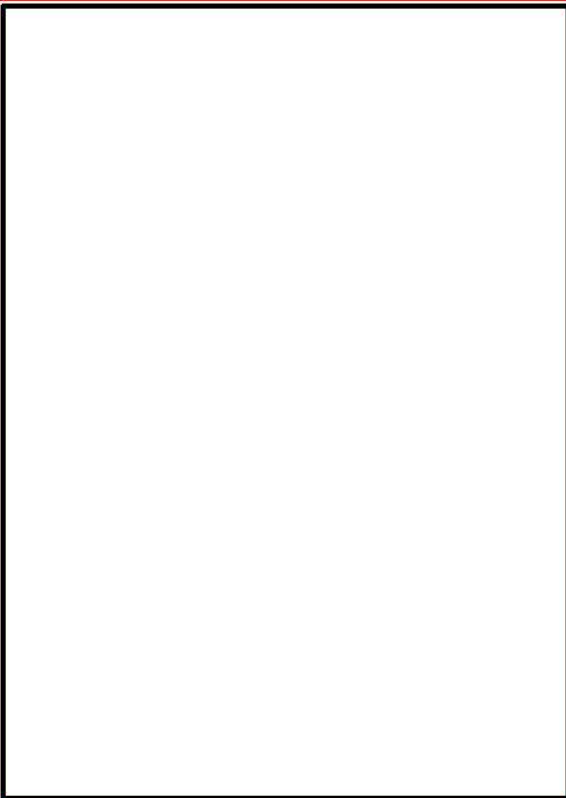
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

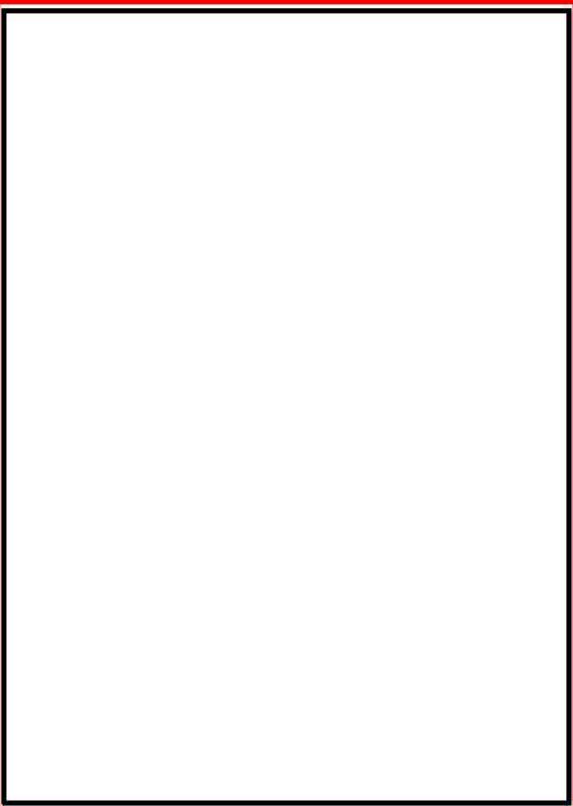
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

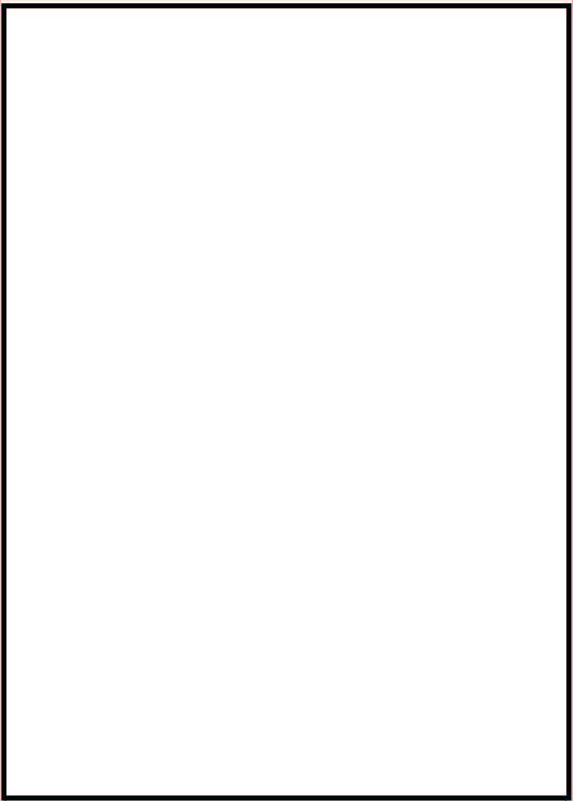
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>※ ← 特記の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      ブランド設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【大阪3/4号炉】                      まとめ資料 p.2-9-別1-60 より抜粋                      2.3 溢水防護区画及び溢水経路の設定                      (3) 溢水伝播                      上層階の溢水は階段あるいは機器ハッチを経由して下層階へ伝播する。下層階への伝播については、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が流入するものとする。</p>	<p>【女川2号炉】                      まとめ資料 p.9条-別添1-4-3 より抜粋                      4. 3 溢水経路の設定                      (3) 溢水伝播                      上層階の溢水は階段あるいは開口部を経由して下層階へ伝播する。下層階への伝播については、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が流入するものとする。</p>	<p>別紙1</p> <p>機器ハッチから溢水が流下しない場合の影響について</p> <p>1. はじめに                      機器ハッチが床面にある区画の没水影響評価では、機器ハッチからの流下に期待せず、溢水全量が区画に貯留される条件で溢水水位を算出している。また、機器ハッチの下層階にある区画の没水影響評価では、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が下層階へ流入するものとしている。                      ここでは、定期事業者検査作業に伴う機器ハッチの状態変更等により、一時的に上層階から下層階へ溢水が伝播しない機器ハッチが生じた場合を想定しても、溢水防護対象設備が必要な安全機能を損なわないことを確認する。</p> <p>2. 確認結果                      下層階への伝播経路には、機器ハッチの他、階段室やエレベータもあり、定期事業者検査作業等で機器ハッチから溢水が流下しない状況になった場合でも、上層階からの溢水が流下する区画への流下経路が複数存在しているケースでは、没水影響評価で想定する溢水伝播経路は変わらない。                      また、上層階からの溢水流下経路が機器ハッチ1箇所の区画については、流下経路が閉塞した場合に下層階へ溢水伝播しないため、下層階の没水影響評価で考慮すべき溢水量が無くなる。若しくは下層階の溢水源から生じる溢水量のみに減少することにより、溢水水位は下層階への伝播を想定した場合よりも低くなるため、溢水防護対象設備が没水により必要な安全機能を損なうことはない。</p>  <p>図1. 流下経路の例</p>	<p>【女川・大阪】                      記載方針の相違</p> <p>・女川と大阪も、上層階からの溢水伝播において、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が流入するものとしている点は泊と同じである。</p> <p>・泊では、伝播経路として特定した溢水の流下経路のうち、機器ハッチが定期事業者検査作業等によって溢水が伝播しない状況になった場合の影響を確認している。</p>

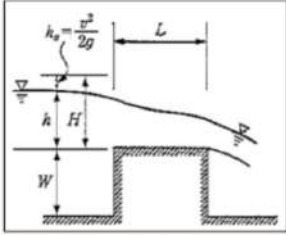
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																													
	<p style="text-align: right;">添付資料 12</p> <p>開口部等からの流出流量の評価</p> <p>1. はじめに                      没水高さが高くなるようなエリアについて、<b>扉開運用</b>などにより流下開口を設置し、ある没水高さ以上とならないよう対策を実施している。ここでは、流下開口を設置しているエリアについて、流下開口からの流出流量が想定破損による系統流量を上回ることを確認する。</p> <p>2. 流下開口設置エリア                      流下開口が設置してある区画を、表1に示す。</p> <p style="text-align: center;">表1 流下開口設置区画 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="696 997 1272 1493"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>区画番号</th> <th>流下開口</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="20">原子炉建屋原子炉棟</td><td>R-1F-5</td><td>扉（開運用）</td><td>2</td></tr> <tr><td>R-B1F-1</td><td>扉（開運用）</td><td>2</td></tr> <tr><td>R-B2F-1</td><td>扉（開運用）</td><td>2</td></tr> <tr><td>R-3F-1</td><td>ハッチ（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-3</td><td>ハッチ（大物搬入口）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-B2F-2</td><td>ハッチ（グレーチング）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-B2F-3</td><td>ハッチ（グレーチング）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-1</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-3</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-5</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-6</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-1F-8</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-1F-9</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M31F-1</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M31F-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M31F-3</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M31F-4</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-R3F-7</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>	建屋	区画番号	流下開口	数量	原子炉建屋原子炉棟	R-1F-5	扉（開運用）	2	R-B1F-1	扉（開運用）	2	R-B2F-1	扉（開運用）	2	R-3F-1	ハッチ（開運用）	1	R-2F-3	ハッチ（大物搬入口）	1	R-B2F-2	ハッチ（グレーチング）	1	R-B2F-3	ハッチ（グレーチング）	1	R-M2F-1	吹抜	1	R-M2F-2	吹抜	1	R-M2F-3	吹抜	1	R-M2F-5	吹抜	1	R-M2F-6	吹抜	1	R-1F-8	吹抜	1	R-1F-9	吹抜	1	R-M31F-1	吹抜	1	R-M31F-2	吹抜	1	R-M31F-3	吹抜	1	R-M31F-4	吹抜	1	R-R3F-7	吹抜	1	<p style="text-align: right;">添付資料 11</p> <p>開口部等からの流出流量の評価</p> <p>1. はじめに                      没水高さが高くなるようなエリアについて、<b>床開口部</b>により流下開口を設置し、ある没水高さ以上とならないよう対策を実施している。ここでは、流下開口を設置しているエリアについて、流下開口からの流出流量が想定破損による系統流量を上回ることを確認する。</p> <p>2. 流下開口設置エリア                      流下開口が設置してある区画を、表1に示す。</p> <p style="text-align: center;">表1 流下開口設置区画</p> <table border="1" data-bbox="1279 1007 1861 1109"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>区画番号</th> <th>流下開口</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>原子炉建屋</td><td>3RB-D-N51</td><td>グレーチング</td><td>2</td></tr> <tr><td rowspan="2">原子炉補助建屋</td><td>3AB-H-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>3AB-H-9</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>	建屋	区画番号	流下開口	数量	原子炉建屋	3RB-D-N51	グレーチング	2	原子炉補助建屋	3AB-H-2	吹抜	1	3AB-H-9	吹抜	1	<p>【大阪】  <u>記載方針の相違</u>                      女川審査実績の反映</p> <p>【女川】  <u>記載表現の相違</u>  <u>設計方針の相違</u>                      泊は扉から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。（先行PWRにおいても同様であることを先行PWRのまとめ資料に記載がないことをもって確認している。）</p> <p>【女川】  <u>記載表現の相違</u>  <u>設計方針の相違</u>                      ・建屋名称、区画番号の相違。                      ・泊は開運用の扉から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。（先行PWRにおいても同様であることを先行PWRのまとめ資料に記載がないことをもって確認している。）</p>
建屋	区画番号	流下開口	数量																																																																													
原子炉建屋原子炉棟	R-1F-5	扉（開運用）	2																																																																													
	R-B1F-1	扉（開運用）	2																																																																													
	R-B2F-1	扉（開運用）	2																																																																													
	R-3F-1	ハッチ（開運用）	1																																																																													
	R-2F-3	ハッチ（大物搬入口）	1																																																																													
	R-B2F-2	ハッチ（グレーチング）	1																																																																													
	R-B2F-3	ハッチ（グレーチング）	1																																																																													
	R-M2F-1	吹抜	1																																																																													
	R-M2F-2	吹抜	1																																																																													
	R-M2F-3	吹抜	1																																																																													
	R-M2F-5	吹抜	1																																																																													
	R-M2F-6	吹抜	1																																																																													
	R-1F-8	吹抜	1																																																																													
	R-1F-9	吹抜	1																																																																													
	R-M31F-1	吹抜	1																																																																													
	R-M31F-2	吹抜	1																																																																													
	R-M31F-3	吹抜	1																																																																													
	R-M31F-4	吹抜	1																																																																													
	R-R3F-7	吹抜	1																																																																													
	建屋	区画番号	流下開口	数量																																																																												
原子炉建屋	3RB-D-N51	グレーチング	2																																																																													
原子炉補助建屋	3AB-H-2	吹抜	1																																																																													
	3AB-H-9	吹抜	1																																																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																											
	<p style="text-align: center;">表1 流下開口設置区画(2/2)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">建屋</th> <th style="width: 20%;">区画番号</th> <th style="width: 40%;">流下開口</th> <th style="width: 20%;">数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="17">原子炉建屋付属棟</td><td>R-2F-5</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-7</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-8</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-1F-14</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-B1F-8</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-B1F-12</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-B2F-10</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-3F-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-3F-4</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-3F-5</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M3F-3-1</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-6-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-7-1</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-8-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-9</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td rowspan="6">制御建屋</td><td>C-3F-3</td><td>床開口</td><td>1</td></tr> <tr><td>C-3F-4</td><td>床開口</td><td>1</td></tr> <tr><td rowspan="2">C-2F-3</td><td>床開口</td><td>3</td></tr> <tr><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>C-1F-4</td><td>床開口</td><td>3</td></tr> <tr><td>C-M31F-1</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td rowspan="2">タービン建屋</td><td>T-1F-1</td><td>扉（開運用）</td><td>2</td></tr> <tr><td>T-B1F-1</td><td>扉（開運用）</td><td>2</td></tr> </tbody> </table>	建屋	区画番号	流下開口	数量	原子炉建屋付属棟	R-2F-5	扉（開運用）	1	R-2F-7	扉（開運用）	1	R-2F-8	扉（開運用）	1	R-1F-14	扉（開運用）	1	R-B1F-8	扉（開運用）	1	R-B1F-12	扉（開運用）	1	R-B2F-10	扉（開運用）	1	R-3F-2	吹抜	1	R-3F-4	吹抜	1	R-3F-5	吹抜	1	R-M3F-3-1	吹抜	1	R-2F-6-2	吹抜	1	R-2F-7-1	吹抜	1	R-2F-8-2	吹抜	1	R-M2F-9	吹抜	1	制御建屋	C-3F-3	床開口	1	C-3F-4	床開口	1	C-2F-3	床開口	3	吹抜	1	C-1F-4	床開口	3	C-M31F-1	吹抜	1	タービン建屋	T-1F-1	扉（開運用）	2	T-B1F-1	扉（開運用）	2		<p><b>【女川】</b>                  記載表現の相違                  設計方針の相違                  ・建屋名称、区画番号の相違。                  ・泊は開運用の扉から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。（先行PWRにおいても同様であることを先行PWRのまとめ資料に記載がないことをもって確認している。）</p>
建屋	区画番号	流下開口	数量																																																																											
原子炉建屋付属棟	R-2F-5	扉（開運用）	1																																																																											
	R-2F-7	扉（開運用）	1																																																																											
	R-2F-8	扉（開運用）	1																																																																											
	R-1F-14	扉（開運用）	1																																																																											
	R-B1F-8	扉（開運用）	1																																																																											
	R-B1F-12	扉（開運用）	1																																																																											
	R-B2F-10	扉（開運用）	1																																																																											
	R-3F-2	吹抜	1																																																																											
	R-3F-4	吹抜	1																																																																											
	R-3F-5	吹抜	1																																																																											
	R-M3F-3-1	吹抜	1																																																																											
	R-2F-6-2	吹抜	1																																																																											
	R-2F-7-1	吹抜	1																																																																											
	R-2F-8-2	吹抜	1																																																																											
	R-M2F-9	吹抜	1																																																																											
	制御建屋	C-3F-3	床開口	1																																																																										
		C-3F-4	床開口	1																																																																										
C-2F-3		床開口	3																																																																											
		吹抜	1																																																																											
C-1F-4		床開口	3																																																																											
C-M31F-1		吹抜	1																																																																											
タービン建屋	T-1F-1	扉（開運用）	2																																																																											
	T-B1F-1	扉（開運用）	2																																																																											
	<p>3. 流下開口（扉）からの流出量</p> <p>(1) 扉からの流出量</p> <p>常時開の扉開口を想定し、カーブを乗り越えて溢水が伝播する際の越流水深と越流量との関係式について、「第四版土木工学ハンドブックⅠ、土木学会編、技報堂出版」より、図1のような長方堰の流量算出式を参照し、以下の式を利用した。</p>		<p><b>【女川】</b>                  設計方針の相違                  泊は扉から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。（先行PWRにおいても同様であることを先行PWRのまとめ資料に記載がないことをもって確認している。）</p>																																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

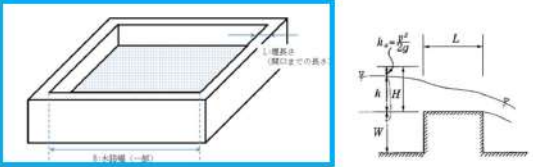
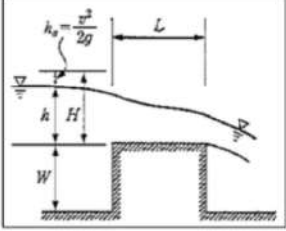
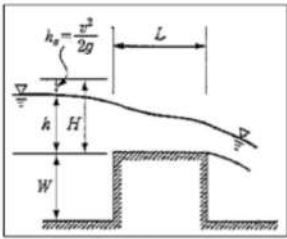
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p><math>Q=C \times B \times h^{\frac{3}{2}}</math> …… ①式</p> <p>ここで、<math>0.4 \leq h/L \leq (1.5 \sim 1.9)</math> ; <math>C=1.444+0.352(\frac{h}{L})</math></p> <p>Q：越流量(m<sup>3</sup>/s)                      B：堰の幅(m)                      h：越流水深(m)                      C：流量係数(m<sup>3</sup>/s)                      L：堰長さ(m)                      W：堰高さ(m)</p>  </div> <p style="text-align: center;">図1 長方堰の越流量</p> <p>(2) 算出結果</p> <p>前述の式から越流量を算出した結果を表2に示す。没水高さ0.3mの場合、扉（1箇所）での越流水深は0.17mとなり、越流量は331m<sup>3</sup>/hとなる。原子炉建屋について、扉からの排出を期待する系統のうち、原子炉建屋原子炉棟における最大漏えい流量は263m<sup>3</sup>/h（高圧炉心スプレイ系）、原子炉建屋付属棟における最大漏えい流量は201m<sup>3</sup>/h（原子炉補機冷却水系）であり、扉からの流出量が上回っているため、没水高さ0.3m以上に達することはない。</p> <p style="text-align: center;">表2 扉の諸元と越流量算出結果（没水高さ0.3mの場合）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>記号</th> <th>値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堰高さ【カーブ高さ】(m)</td> <td>W</td> <td>0.13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>堰長さ【カーブ奥行き】(m)</td> <td>L</td> <td>0.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>越流水深(m)</td> <td>h</td> <td>0.17</td> <td></td> </tr> <tr> <td>堰の幅【開口幅】(m)</td> <td>B</td> <td>0.8</td> <td>躯体開口は1m</td> </tr> <tr> <td>越流量(m<sup>3</sup>/h)</td> <td>Q</td> <td>331</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	記号	値	備考	堰高さ【カーブ高さ】(m)	W	0.13		堰長さ【カーブ奥行き】(m)	L	0.3		越流水深(m)	h	0.17		堰の幅【開口幅】(m)	B	0.8	躯体開口は1m	越流量(m <sup>3</sup> /h)	Q	331			<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊は扉から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。（先行PRRにおいても同様であることを資料に記載がないことをもって確認している。）</p>
項目	記号	値	備考																								
堰高さ【カーブ高さ】(m)	W	0.13																									
堰長さ【カーブ奥行き】(m)	L	0.3																									
越流水深(m)	h	0.17																									
堰の幅【開口幅】(m)	B	0.8	躯体開口は1m																								
越流量(m <sup>3</sup> /h)	Q	331																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																
	<p>4. 流下開口（床開口）からの流出量</p> <p>建屋内の床面に開口を設置する対策について、開口部からの流出流量が想定破損時による系統流量を上回ることを確認する。</p> <p>(1) 評価条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>床開口は満水流れとして評価を実施する。</li> <li>下記に示す評価式のとおり、流量は落差が大きいくほど大きくなるため、スラブ上の滞留深さは考慮せず、落差としてはスラブ厚さを考慮する。</li> <li>床開口は円形とし、φ100mmと設定する。</li> </ul> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <math display="block">Q = A \sqrt{\frac{2gH}{\lambda \frac{L}{d} + \xi + 1}} \dots\dots \text{②式}</math> <p>Q：流量(m<sup>3</sup>/s)                      A：断面積(m<sup>2</sup>)                      H：落差(m)                      d：内径(m)                      L：直管長(m)                      ξ：損失係数                      λ：摩擦係数                      g：重力加速度(m/s<sup>2</sup>)</p> </div> <p>(2) 算出結果</p> <p>表3の結果より、床開口1箇所あたりの流出流量は52.8m<sup>3</sup>/hとなった。この条件をもとに、想定破損時の系統流量が排出可能な必要開口数を表4に示す。必要開口数を設置することにより、床面からの開口から系統流量が排出可能であることを確認した。</p> <p style="text-align: center;">表3 床開口1箇所あたりの流出流量算出結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>記号</th> <th>値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内径(m)</td> <td>d</td> <td>0.10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>摩擦係数</td> <td>λ</td> <td>0.06</td> <td>最も粗度の高いコンクリート管（管壁の粗度0.03）を想定</td> </tr> <tr> <td>直管長(m)</td> <td>L</td> <td>0.3</td> <td>スラブ厚さ</td> </tr> <tr> <td>損失係数</td> <td>ξ</td> <td>0.5</td> <td>管路入口における損失は、最も損失が大きい角端を想定</td> </tr> <tr> <td>重力加速度(m/s<sup>2</sup>)</td> <td>g</td> <td>9.80665</td> <td></td> </tr> <tr> <td>落差(m)</td> <td>H</td> <td>0.3</td> <td>スラブ上の滞留深さは考慮せずスラブ厚さのみを考慮</td> </tr> <tr> <td>流量(m<sup>3</sup>/h)</td> <td>Q</td> <td>52.8</td> <td>開口部1箇所からの流出流量</td> </tr> </tbody> </table>	項目	記号	値	備考	内径(m)	d	0.10		摩擦係数	λ	0.06	最も粗度の高いコンクリート管（管壁の粗度0.03）を想定	直管長(m)	L	0.3	スラブ厚さ	損失係数	ξ	0.5	管路入口における損失は、最も損失が大きい角端を想定	重力加速度(m/s <sup>2</sup> )	g	9.80665		落差(m)	H	0.3	スラブ上の滞留深さは考慮せずスラブ厚さのみを考慮	流量(m <sup>3</sup> /h)	Q	52.8	開口部1箇所からの流出流量		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊は円形の床開口から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。(先行PWRにおいても同様であることを資料に記載がないことをもって確認している。)</p>
項目	記号	値	備考																																
内径(m)	d	0.10																																	
摩擦係数	λ	0.06	最も粗度の高いコンクリート管（管壁の粗度0.03）を想定																																
直管長(m)	L	0.3	スラブ厚さ																																
損失係数	ξ	0.5	管路入口における損失は、最も損失が大きい角端を想定																																
重力加速度(m/s <sup>2</sup> )	g	9.80665																																	
落差(m)	H	0.3	スラブ上の滞留深さは考慮せずスラブ厚さのみを考慮																																
流量(m <sup>3</sup> /h)	Q	52.8	開口部1箇所からの流出流量																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料 11）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																	
	<p>表4 想定破損時の系統流量が排出可能な必要開口数</p> <table border="1" data-bbox="703 220 1265 368"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>区画内系統漏えい流量(m³/h)*</th> <th>床開口数</th> <th>床開口からの流出流量(m³/h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C-3F-3</td> <td>20.1 (消火系)</td> <td>1</td> <td>52.8</td> </tr> <tr> <td>C-3F-4</td> <td>9.1 (所内用水)</td> <td>1</td> <td>52.8</td> </tr> <tr> <td>C-2F-3</td> <td rowspan="2">155 (BWC)</td> <td rowspan="2">3</td> <td rowspan="2">158.4</td> </tr> <tr> <td>C-1F-4</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 区画内系統漏えい流量(m³/h)の値は、保守的に当該区画内を通過する配管口径ではなく、当該系統における最大口径を用いて評価した値</p>	区画番号	区画内系統漏えい流量(m³/h)*	床開口数	床開口からの流出流量(m³/h)	C-3F-3	20.1 (消火系)	1	52.8	C-3F-4	9.1 (所内用水)	1	52.8	C-2F-3	155 (BWC)	3	158.4	C-1F-4		<p>【女川】                  設計方針の相違                  泊は円形の床開口から溢水が流出し、没水水位を抑制することによって期待していない。(先行PWRにおいても同様であることを資料に記載がないことをもって確認している。)</p>
区画番号	区画内系統漏えい流量(m³/h)*	床開口数	床開口からの流出流量(m³/h)																	
C-3F-3	20.1 (消火系)	1	52.8																	
C-3F-4	9.1 (所内用水)	1	52.8																	
C-2F-3	155 (BWC)	3	158.4																	
C-1F-4																				
<p>【島根2】                  まとめ資料 p.9条-別添1-補足 4-1 より抜粋                  1. 機器搬入ハッチ等の開口部からの排出流量                  1.1 機器搬入ハッチ等の開口部からの排出流量                  一般的な機器搬入ハッチの形状を想定し、以下の式を利用して機器搬入ハッチ等の開口部からの排出流量を算出する。                  開口部概略図を図1-1に示す。(参考文献「土木学会 水理公式集 平成11年度版」)</p> $Q_{out} = C_{out} \times B \times h^{\frac{3}{2}} \dots\dots\dots (1)$ $C_{out} = 1.642 \times \left(\frac{h}{L}\right)^{0.022} \dots\dots\dots (2)$ <p> <math>Q_{out}</math> : 排出流量 [m³/s]  <math>B</math> : 開口の幅 [m]  <math>C_{out}</math> : 排出係数 [m<sup>1/2</sup>/s]  <math>h</math> : 溢水水位 [m]  <math>L</math> : 開口までの長さ [m]  <math>W</math> : 堰高さ [m]                 </p>  <p>図1-1 開口部概略図</p>	<p>5. 流下開口（ハッチ、吹抜）からの流出量                  「3. 流下開口（扉）からの流出量」より再掲                  3. 流下開口（扉）からの流出量                  (1) 扉からの流出量                  常時開の扉開口を想定し、カーブを乗り越えて溢水が伝播する際の越流水深と越流量との関係式について、「第四版土木工学ハンドブック I、土木学会編、技報堂出版」より、図1のような長方堰の流量算出式を参照し、以下の式を利用した。</p> $Q = C \times B \times h^{\frac{3}{2}} \dots\dots\dots \text{①式}$ <p>ここで、<math>0.4 \leq h/L \leq (1.5 \sim 1.9)</math> ; <math>C = 1.444 + 0.352 \left(\frac{h}{L}\right)</math></p> <p> <math>Q</math> : 越流量 [m³/s]  <math>B</math> : 堰の幅 [m]  <math>h</math> : 越流水深 [m]  <math>C</math> : 流量係数 [m<sup>1/2</sup>/s]  <math>L</math> : 堰長さ [m]  <math>W</math> : 堰高さ [m]                 </p>  <p>図1 長方堰の越流量</p>	<p>3. 流下開口（グレーチング、吹抜）からの流出量                  (1) グレーチング、吹抜からの流出量                  グレーチング、吹抜の開口を想定し、堰を乗り越えて溢水が伝播する際の越流水深と越流量との関係式について、「土木学会 水理公式集（平成11年版）」より、図1のような長方堰の流量算出式を参照し、以下の式を利用した。</p> $Q = C \times B \times h^{\frac{3}{2}} \dots\dots\dots \text{①式}$ <p>ここで、<math>0 &lt; h/L \leq 0.1</math> ; <math>C = 1.642 \left(\frac{h}{L}\right)^{0.022}</math></p> <p> <math>Q</math> : 越流量 [m³/s]  <math>B</math> : 開口の幅 [m]  <math>h</math> : 越流水深 [m]  <math>C</math> : 流量係数 [m<sup>1/2</sup>/s]  <math>L</math> : 堰長さ [m]  <math>W</math> : 堰高さ [m]                 </p>  <p>図1 長方堰の越流量</p>	<p>【女川】                  記載表現の相違                  記載方針の相違                  ・泊は扉開口からの流出に期待しないため、本項において記載した。                  ・女川は「3. 流下開口（扉）からの流出量」で左記の評価式を記載しており、ハッチ、吹抜からの流出流量についても左記の評価式を利用することを後述している。                  また、女川でもハッチ、吹抜について、堰を考慮して評価を実施しているため、女川の「3. 流下開口（扉）からの流出量」の記載をグレーチング、ハッチに置き換えて記載する。                  ・文献は異なるが利用している式に相違はない。(泊は島根と同様の文献を参照している。)                  設計方針の相違                  ・堰長さの保守性により、島根と同様の流出係数算出式に限定される。(島根と同様)</p> <p>【島根】                  記載方針の相違                  流出量の算出における、構文については、女川を参照し記載する。                  記載表現の相違</p>																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【島根2号炉】                      まとめ資料 p.9条-別添1-補足4-2より抜粋                      なお、開口の幅については、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性も考慮し、排出を期待できる開口の幅の50%として設定する。</p>	<p>(1) 流下開口（ハッチ、吹抜）からの流出量評価の前提条件                      ハッチ、吹抜からの流出量について、①式を使用して算出する。                      一部、開口周囲にカーブがない箇所もあるが、ここでは保守的にカーブ高さ、カーブ幅を仮定した場合の流出量を算出する。                      また、ハッチについては、開口4辺のうち、2辺から流出していくこととして算出する。                      表5にハッチ、吹抜の開口条件を示す。</p>	<p>(2) 流下開口（グレーチング、吹抜）からの流出量評価の前提条件                      グレーチング、吹抜からの流出量について、①式を使用して算出する。                      一部、開口周囲に堰がない箇所もあるが、ここでは保守的に堰高さ、堰長さを仮定した場合の流出量を算出する。                      なお、開口の幅については、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性も考慮し、排出を期待できる開口の幅の50%として設定する。                      表2にグレーチング、吹抜の開口条件を示す。</p>	<p>【女川】                      記載表現の相違                      【女川】                      設計方針の相違                      開口の位置が部屋の端にあることや開口の幅が1辺のみであることを踏まえ、「開口の幅については、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性も考慮し、排出を期待できる開口の幅の50%として設定する。」（島根記載）を参考にし、泊も同様に、開口の幅については、流出を期待できる開口の幅の50%として設定する。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料11）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																					
<p>【島根2号炉】</p> <p>まとめ資料 p.9条-別添2-補足4-2より抜粋</p> <p>表1-1 開口部の各パラメータ値及び排出流量算出結果</p> <table border="1" data-bbox="136 320 656 453"> <tr><td>B: 開口の幅 [m]</td><td>12.5</td></tr> <tr><td>h: 溢水水位 [m]</td><td>0.32</td></tr> <tr><td>L: 開口までの長さ [m]</td><td>50</td></tr> <tr><td>h/L</td><td>0.0064</td></tr> <tr><td>C<sub>co</sub>: 排出係数 [m<sup>1/2</sup>/s]</td><td>1.47</td></tr> <tr><td>Q<sub>co</sub>: 排出流量 [m<sup>3</sup>/h]</td><td>11,988</td></tr> </table> <p>まとめ資料 p.9条-別添1-補足4-1より抜粋</p> <p>なお、開口までの長さLを長くするほどに排出流量が少なくなることから、保守的に原子炉建物の二次格納施設の1辺に相当する50mとし、床面を長頂堰とみなして算出する。</p>	B: 開口の幅 [m]	12.5	h: 溢水水位 [m]	0.32	L: 開口までの長さ [m]	50	h/L	0.0064	C <sub>co</sub> : 排出係数 [m <sup>1/2</sup> /s]	1.47	Q <sub>co</sub> : 排出流量 [m <sup>3</sup> /h]	11,988	<p>表5 ハッチ、吹抜の開口条件(1/2)</p> <table border="1" data-bbox="703 212 1265 635"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>開口数</th> <th>開口幅 (m)</th> <th>カーブ高さ (m)</th> <th>カーブ幅 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R-3F-1</td><td>1</td><td>6.5×5.5</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-2F-3</td><td>1</td><td>6.5×5.5</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-4F-2</td><td>1</td><td>3.0×3.0</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-4F-3</td><td>1</td><td>3.1×3.1</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-4F-1</td><td>1</td><td>11.1×2.2×2.2</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-4F-2</td><td>1</td><td>—※1</td><td>—※1</td><td>—※1</td></tr> <tr><td>R-4F-3</td><td>1</td><td>3.3×1.05×3.3</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-4F-5</td><td>1</td><td>3.9</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-4F-6</td><td>1</td><td>—※1</td><td>—※1</td><td>—※1</td></tr> <tr><td>R-1F-8</td><td>1</td><td>6.5以上</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-1F-9</td><td>1</td><td>2.7</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-4F-1</td><td>1</td><td>3.1 (4.1) ※2</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-4F-2</td><td>1</td><td>9.1以上</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-4F-3</td><td>1</td><td>2.5 (4.4) ※2</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-4F-4</td><td>1</td><td>5.6</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-4F-7</td><td>1</td><td>—※1</td><td>—※1</td><td>—※1</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 床なし区画                  ※2 開口が2辺のため、小さいほうの値で評価</p>	区画番号	開口数	開口幅 (m)	カーブ高さ (m)	カーブ幅 (m)	R-3F-1	1	6.5×5.5	0.13	0.25	R-2F-3	1	6.5×5.5	0.13	0.25	R-4F-2	1	3.0×3.0	0.13	0.25	R-4F-3	1	3.1×3.1	0.13	0.25	R-4F-1	1	11.1×2.2×2.2	0.13	0.2	R-4F-2	1	—※1	—※1	—※1	R-4F-3	1	3.3×1.05×3.3	0.13	0.25	R-4F-5	1	3.9	0.13	0.2	R-4F-6	1	—※1	—※1	—※1	R-1F-8	1	6.5以上	0.13	0.25	R-1F-9	1	2.7	0.13	0.25	R-4F-1	1	3.1 (4.1) ※2	0.13	0.2	R-4F-2	1	9.1以上	0.13	0.2	R-4F-3	1	2.5 (4.4) ※2	0.13	0.2	R-4F-4	1	5.6	0.13	0.2	R-4F-7	1	—※1	—※1	—※1	<p>表2 グレーチング、吹抜の開口条件</p> <table border="1" data-bbox="1285 252 1854 391"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>開口数</th> <th>開口の幅 (m)</th> <th>堰高さ (m)</th> <th>堰長さ (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>3RB-D-N51</td><td>2※1</td><td>2.075</td><td>0.1</td><td>76.6※2</td></tr> <tr><td>3AB-H-2</td><td>1</td><td>1.35</td><td>0.1</td><td>56.2※2</td></tr> <tr><td>3AB-H-9</td><td>1</td><td>1.35</td><td>0.1</td><td>56.2※2</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性を考慮して、評価上は開口部1箇所を想定                  ※2 開口までの長さLを長くするほどに越流量が少なくなることから、保守的に建屋の長辺に相当する値とし、床面を長頂堰とみなして算出</p>	区画番号	開口数	開口の幅 (m)	堰高さ (m)	堰長さ (m)	3RB-D-N51	2※1	2.075	0.1	76.6※2	3AB-H-2	1	1.35	0.1	56.2※2	3AB-H-9	1	1.35	0.1	56.2※2	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違                  設計方針の相違</p> <p>・区画番号の相違。開口数、開口の幅、堰高さ、堰長さについては評価条件の相違。</p> <p>・泊の※1について、開口部は2箇所あるが、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性を考慮して、保守的に開口部1箇所を想定して評価を実施している。</p> <p>・泊の※2について、島根の記載を参考にし、開口までの長さを長くするほどに排出流量が少なくなることから、保守的に建屋の長辺を堰長さとして設定している。</p> <p>・女川の※1の床なし区画は、泊の開口条件にはない。</p> <p>・女川の※2の保守性については、泊では「排出を期待できる開口の幅の50%」としている。（島根と同様）</p> <p>【島根】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・堰長さの保守性の設定について、島根では原子炉建物の二次格納施設の1辺に相当する50mを用いている。一方で、泊では原子炉建屋、原子炉補助建屋それぞれの長辺として設定しており、プラント設計違いによる評価条件の相違であり、考え方は同様である。</p>
B: 開口の幅 [m]	12.5																																																																																																																							
h: 溢水水位 [m]	0.32																																																																																																																							
L: 開口までの長さ [m]	50																																																																																																																							
h/L	0.0064																																																																																																																							
C <sub>co</sub> : 排出係数 [m <sup>1/2</sup> /s]	1.47																																																																																																																							
Q <sub>co</sub> : 排出流量 [m <sup>3</sup> /h]	11,988																																																																																																																							
区画番号	開口数	開口幅 (m)	カーブ高さ (m)	カーブ幅 (m)																																																																																																																				
R-3F-1	1	6.5×5.5	0.13	0.25																																																																																																																				
R-2F-3	1	6.5×5.5	0.13	0.25																																																																																																																				
R-4F-2	1	3.0×3.0	0.13	0.25																																																																																																																				
R-4F-3	1	3.1×3.1	0.13	0.25																																																																																																																				
R-4F-1	1	11.1×2.2×2.2	0.13	0.2																																																																																																																				
R-4F-2	1	—※1	—※1	—※1																																																																																																																				
R-4F-3	1	3.3×1.05×3.3	0.13	0.25																																																																																																																				
R-4F-5	1	3.9	0.13	0.2																																																																																																																				
R-4F-6	1	—※1	—※1	—※1																																																																																																																				
R-1F-8	1	6.5以上	0.13	0.25																																																																																																																				
R-1F-9	1	2.7	0.13	0.25																																																																																																																				
R-4F-1	1	3.1 (4.1) ※2	0.13	0.2																																																																																																																				
R-4F-2	1	9.1以上	0.13	0.2																																																																																																																				
R-4F-3	1	2.5 (4.4) ※2	0.13	0.2																																																																																																																				
R-4F-4	1	5.6	0.13	0.2																																																																																																																				
R-4F-7	1	—※1	—※1	—※1																																																																																																																				
区画番号	開口数	開口の幅 (m)	堰高さ (m)	堰長さ (m)																																																																																																																				
3RB-D-N51	2※1	2.075	0.1	76.6※2																																																																																																																				
3AB-H-2	1	1.35	0.1	56.2※2																																																																																																																				
3AB-H-9	1	1.35	0.1	56.2※2																																																																																																																				
	<p>表5 ハッチ、吹抜の開口条件(2/2)</p> <table border="1" data-bbox="703 802 1265 1114"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>開口数</th> <th>開口幅 (m)</th> <th>カーブ高さ (m)</th> <th>カーブ幅 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R-3F-2</td><td>1</td><td>2.7 (6.1) ※1</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-3F-4</td><td>1</td><td>2.7 (3.0) ※1</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-3F-5</td><td>1</td><td>6.1</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-4F-3-1</td><td>1</td><td>3.85</td><td>0.13※2</td><td>0.30※2</td></tr> <tr><td>R-2F-6-2</td><td>1</td><td>4.1×1.6×4.1</td><td>0.13</td><td>0.15</td></tr> <tr><td>R-2F-7-1</td><td>1</td><td>4.7×1.5</td><td>0.13</td><td>0.15</td></tr> <tr><td>R-2F-8-2</td><td>1</td><td>4.1×1.6×4.1</td><td>0.13</td><td>0.15</td></tr> <tr><td>R-4F-9</td><td>1</td><td>4.0以上</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>C-2F-3</td><td>1</td><td>3.9</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>C-4F-1</td><td>1</td><td>4.4×1.2</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>C-4F-1</td><td>1</td><td>6.5以上</td><td>0.13※2</td><td>0.30※2</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 開口が2辺のため、小さいほうの値で評価                  ※2 保守的に設定</p>	区画番号	開口数	開口幅 (m)	カーブ高さ (m)	カーブ幅 (m)	R-3F-2	1	2.7 (6.1) ※1	0.13	0.2	R-3F-4	1	2.7 (3.0) ※1	0.13	0.2	R-3F-5	1	6.1	0.13	0.2	R-4F-3-1	1	3.85	0.13※2	0.30※2	R-2F-6-2	1	4.1×1.6×4.1	0.13	0.15	R-2F-7-1	1	4.7×1.5	0.13	0.15	R-2F-8-2	1	4.1×1.6×4.1	0.13	0.15	R-4F-9	1	4.0以上	0.13	0.25	C-2F-3	1	3.9	0.13	0.25	C-4F-1	1	4.4×1.2	0.13	0.25	C-4F-1	1	6.5以上	0.13※2	0.30※2																																																											
区画番号	開口数	開口幅 (m)	カーブ高さ (m)	カーブ幅 (m)																																																																																																																				
R-3F-2	1	2.7 (6.1) ※1	0.13	0.2																																																																																																																				
R-3F-4	1	2.7 (3.0) ※1	0.13	0.2																																																																																																																				
R-3F-5	1	6.1	0.13	0.2																																																																																																																				
R-4F-3-1	1	3.85	0.13※2	0.30※2																																																																																																																				
R-2F-6-2	1	4.1×1.6×4.1	0.13	0.15																																																																																																																				
R-2F-7-1	1	4.7×1.5	0.13	0.15																																																																																																																				
R-2F-8-2	1	4.1×1.6×4.1	0.13	0.15																																																																																																																				
R-4F-9	1	4.0以上	0.13	0.25																																																																																																																				
C-2F-3	1	3.9	0.13	0.25																																																																																																																				
C-4F-1	1	4.4×1.2	0.13	0.25																																																																																																																				
C-4F-1	1	6.5以上	0.13※2	0.30※2																																																																																																																				



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料11）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【島根2号炉】                      まとめ資料 p.9 条-別添1-補足4-2より抜粋                      結果としては、溢水水位が0.32m（この区画の最も低い浸水防護設備の高さ）にて排出流量は11,900m<sup>3</sup>/h程度となり、これは系統からの流出に対し、機器搬入ハッチ等の開口部からの排水を期待する系統の中の最大流量337m<sup>3</sup>/h（原子炉補機冷却系）よりも上回っているため、没水高さがこの区画の最も低い浸水防護設備の高さ以上となることはない。</p>	<p>（2）算出結果                      流下開口（ハッチ、吹抜）からの流出量に関して、越流水深を0.17mと仮定（没水高さ0.3m）した場合の算出結果を表6に示す。                      越流量は十分に大きく、没水高さは0.3mを超えないことを確認した。</p>	<p>（3）算出結果                      流下開口（グレーチング、吹抜）からの流出量の算出結果を表3に示す。                      結果としては、3RB-D-N51では溢水水位が0.5m（この区画の最も低い溢水防護対象設備の機能喪失高さ）にて越流量は2,764m<sup>3</sup>/hとなり、これは系統からの流出に対し、当該開口部からの排水を期待する系統の中の最大流量2,091m<sup>3</sup>/h（主給水系統）よりも上回っている。                      また、3AB-H-2及び3AB-H-9では溢水水位が0.8m（この区画の最も低い溢水防護対象設備の機能喪失高さ）にて越流量4,243m<sup>3</sup>/hとなり、これは系統からの流出に対し、当該開口部からの排水を期待する系統の中の最大流量120m<sup>3</sup>/h（化学体積制御系統（充てん配管））よりも上回っている。                      以上より、没水高さがこれらの区画の最も低い溢水防護対象設備の機能喪失高さ以上となることはない。</p>	<p>【女川】                      記載表現の相違                      記載方針の相違                      泊では、島根の構文を参考にし、結果を文章で示した後に表を掲載する。</p> <p>【島根】                      設計方針の相違                      ・溢水水位、最大流量、系統、越流量は評価条件の相違。                      ・島根では浸水防護設備の高さに対して越流量を算出しているのに対して、泊では溢水防護対象設備の機能喪失高さに対して越流量を算出している。                      記載方針の相違                      ・2つの評価結果を示すため、区画を個別に記載する。                      ・島根の1つの評価結果の構文を2つの評価結果を示すために、2回用いることによる構文の相違。                      記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料11）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																			
<p>【島根2号炉】                      まとめ資料 p.9 条-別添1-補足4-2より抜粋                      なお、開口の幅については、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性も考慮し、排出を期待できる開口の幅の50%として設定する。</p>	<p>表6 ハッチ、吹抜からの越流量算出結果(1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>種別</th> <th>越流量 (m<sup>3</sup>/h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R-3F-1</td><td>ハッチ</td><td>4672<sup>※1</sup></td></tr> <tr><td>R-2F-3</td><td>ハッチ</td><td>4672<sup>※1</sup></td></tr> <tr><td>R-B2F-2</td><td>ハッチ</td><td>2548<sup>※1</sup></td></tr> <tr><td>R-B2F-3</td><td>ハッチ</td><td>2633<sup>※1</sup></td></tr> <tr><td>R-M2F-1</td><td>吹抜</td><td>4882</td></tr> <tr><td>R-M2F-3</td><td>吹抜</td><td>1401</td></tr> <tr><td>R-M2F-5</td><td>吹抜</td><td>1715</td></tr> <tr><td>R-1F-8</td><td>吹抜</td><td>2761</td></tr> <tr><td>R-1F-9</td><td>吹抜</td><td>1146</td></tr> <tr><td>R-MB1F-1</td><td>吹抜</td><td>1363</td></tr> <tr><td>R-MB1F-2</td><td>吹抜</td><td>4002</td></tr> <tr><td>R-MB1F-3</td><td>吹抜</td><td>1099</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 開口4辺のうち、小さい2辺からの流出を想定</p>	区画番号	種別	越流量 (m <sup>3</sup> /h)	R-3F-1	ハッチ	4672 <sup>※1</sup>	R-2F-3	ハッチ	4672 <sup>※1</sup>	R-B2F-2	ハッチ	2548 <sup>※1</sup>	R-B2F-3	ハッチ	2633 <sup>※1</sup>	R-M2F-1	吹抜	4882	R-M2F-3	吹抜	1401	R-M2F-5	吹抜	1715	R-1F-8	吹抜	2761	R-1F-9	吹抜	1146	R-MB1F-1	吹抜	1363	R-MB1F-2	吹抜	4002	R-MB1F-3	吹抜	1099	<p>表3 グレーチング、吹抜からの越流量算出結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>種別</th> <th>越流量 (m<sup>3</sup>/h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>3RB-D-N51</td><td>グレーチング</td><td>2,764</td></tr> <tr><td>3AB-II-2</td><td>吹抜</td><td>4,243</td></tr> <tr><td>3AB-II-9</td><td>吹抜</td><td>4,243</td></tr> </tbody> </table>	区画番号	種別	越流量 (m <sup>3</sup> /h)	3RB-D-N51	グレーチング	2,764	3AB-II-2	吹抜	4,243	3AB-II-9	吹抜	4,243	<p>【女川】                      設計方針の相違                      ・区画番号、種別、越流量の数値については、評価条件の相違。                      ・女川は「開口4辺のうち、小さい2辺からの流出を想定」として                      いるところに対して、泊は、開口の幅については、流出を期待できる開口の幅の50%として設定する。（島根と同様）</p>
区画番号	種別	越流量 (m <sup>3</sup> /h)																																																				
R-3F-1	ハッチ	4672 <sup>※1</sup>																																																				
R-2F-3	ハッチ	4672 <sup>※1</sup>																																																				
R-B2F-2	ハッチ	2548 <sup>※1</sup>																																																				
R-B2F-3	ハッチ	2633 <sup>※1</sup>																																																				
R-M2F-1	吹抜	4882																																																				
R-M2F-3	吹抜	1401																																																				
R-M2F-5	吹抜	1715																																																				
R-1F-8	吹抜	2761																																																				
R-1F-9	吹抜	1146																																																				
R-MB1F-1	吹抜	1363																																																				
R-MB1F-2	吹抜	4002																																																				
R-MB1F-3	吹抜	1099																																																				
区画番号	種別	越流量 (m <sup>3</sup> /h)																																																				
3RB-D-N51	グレーチング	2,764																																																				
3AB-II-2	吹抜	4,243																																																				
3AB-II-9	吹抜	4,243																																																				
<p>【島根2号炉】                      まとめ資料 p.9 条-別添1-補足4-2より抜粋                      なお、開口の幅については、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性も考慮し、排出を期待できる開口の幅の50%として設定する。</p>	<p>表6 ハッチ、吹抜からの越流量算出結果(2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>種別</th> <th>越流量 (m<sup>3</sup>/h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R-MB1F-4</td><td>吹抜</td><td>2463</td></tr> <tr><td>R-3F-2</td><td>吹抜</td><td>1187</td></tr> <tr><td>R-3F-4</td><td>吹抜</td><td>1187</td></tr> <tr><td>R-3F-5</td><td>吹抜</td><td>2683</td></tr> <tr><td>R-M3F-3-1</td><td>吹抜</td><td>1596</td></tr> <tr><td>R-2F-6-2</td><td>吹抜</td><td>1906</td></tr> <tr><td>R-2F-7-1</td><td>吹抜</td><td>1395<sup>※1</sup></td></tr> <tr><td>R-2F-8-2</td><td>吹抜</td><td>1906</td></tr> <tr><td>R-M2F-9</td><td>吹抜</td><td>1699</td></tr> <tr><td>C-2F-3</td><td>吹抜</td><td>1656</td></tr> <tr><td>C-MB1F-1</td><td>吹抜</td><td>1019<sup>※1</sup></td></tr> <tr><td>C-MB2F-1</td><td>吹抜</td><td>2695</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 開口4辺のうち、小さい2辺からの流出を想定</p>	区画番号	種別	越流量 (m <sup>3</sup> /h)	R-MB1F-4	吹抜	2463	R-3F-2	吹抜	1187	R-3F-4	吹抜	1187	R-3F-5	吹抜	2683	R-M3F-3-1	吹抜	1596	R-2F-6-2	吹抜	1906	R-2F-7-1	吹抜	1395 <sup>※1</sup>	R-2F-8-2	吹抜	1906	R-M2F-9	吹抜	1699	C-2F-3	吹抜	1656	C-MB1F-1	吹抜	1019 <sup>※1</sup>	C-MB2F-1	吹抜	2695														
区画番号	種別	越流量 (m <sup>3</sup> /h)																																																				
R-MB1F-4	吹抜	2463																																																				
R-3F-2	吹抜	1187																																																				
R-3F-4	吹抜	1187																																																				
R-3F-5	吹抜	2683																																																				
R-M3F-3-1	吹抜	1596																																																				
R-2F-6-2	吹抜	1906																																																				
R-2F-7-1	吹抜	1395 <sup>※1</sup>																																																				
R-2F-8-2	吹抜	1906																																																				
R-M2F-9	吹抜	1699																																																				
C-2F-3	吹抜	1656																																																				
C-MB1F-1	吹抜	1019 <sup>※1</sup>																																																				
C-MB2F-1	吹抜	2695																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【大阪3/4号炉】                  まとめ資料 p.2-9-14 より抜粋                  ・具体的には、溢水防護区画内で発生する溢水に対しては、床ドレン、床面開口部及び床貫通部、壁貫通部、扉から他区画への流出は想定しない条件で溢水経路を設定し、溢水防護区画内の溢水水位を算出する。</p>	<p>6. 床ドレンからの排水について                  女川2号炉内部溢水影響評価において、床ドレンからの流出を考慮する場合については以下のとおりとする。                  (1) 評価条件                  ・同一区画に目皿が複数ある場合は、床ドレン一箇所の閉塞を考慮した上で、他の床ドレン配管からの単位時間あたりの流出を考慮する。                  ・床ドレンからの流出流量は、開口の有効面積と当該区画の水位を用いて以下の式より算出する。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p><math>Q = AC\sqrt{2gH}</math> …… ③式</p> <p>Q：流量(m<sup>3</sup>/s)                      A：開口の有効面積(m<sup>2</sup>)                      H：当該区画の水位(m)                      C：流出流量損失係数 (=0.82)                      g：重力加速度 (m/s<sup>2</sup>)</p> </div> <p>7. 今後の運用管理について                  女川原子力発電所原子炉施設保安規定に基づく規定文書として制定する「内部溢水対応要領書（仮称）」に、以下の内容を明記することとする。                  なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。（別添2参照）</p> <p>(1) 内部溢水影響評価において、流下を考慮している開口部は、それがわかるように現場に表示を行うこと。</p> <p>(2) 内部溢水影響評価において、流下を考慮している開口部へ落下防止対策（ネットの設置、フェンスの設置等）を実施する場合は、カーブからの越流に影響を及ぼさないように配慮すること。</p>	<p>4. 今後の運用管理について                  泊発電所原子炉施設保安規定に基づく規定文書として制定する「内部溢水対応要領（仮称）」に、以下の内容を明記することとする。                  なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。（別添2参照）</p> <p>(1) 内部溢水影響評価において、流下を考慮している開口部は、それがわかるように現場に表示を行うこと。</p> <p>(2) 内部溢水影響評価において、流下を考慮している開口部へ落下防止対策（ネットの設置、フェンスの設置等）を実施する場合は、堰からの越流に影響を及ぼさないように配慮すること。</p>	<p>【女川】                  設計方針の相違                  泊は床ドレンからの排水に期待せず溢水水位を算出し、没水影響評価を実施している。（大阪と同様）</p> <p>【女川】                  記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料12）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">補足資料3-2</p> <p>溢水ガイド付録Aにしたがい、高エネルギー配管及び低エネルギー配管を以下のフローによって分類した。</p> <p>図1 高エネルギー配管と低エネルギー配管の分類フロー</p>	<p style="text-align: right;">添付資料13</p> <p>溢水源となる対象系統について</p> <p>1. 溢水源となる対象系統の抽出及び分類</p> <p>溢水ガイドの定義に基づき、破損を想定する系統について、図1のフローに従い分類した。分類の結果について表1に示す。</p> <p>図1 高エネルギー配管と低エネルギー配管の分類フロー</p> <p>※1 防護対象設備が設置されている建屋と接続している建屋内の水系配管（油系配管含む）については、防護対象設備が設置されている建屋への溢水伝播の有無を確認するため対象とする。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料12</p> <p>溢水源となる対象系統について</p> <p>1. 溢水源となる対象系統の抽出及び分類</p> <p>溢水ガイドの定義に基づき、破損を想定する系統について、図1のフローに従い分類した。分類の結果について表1に示す。</p> <p>図1 高エネルギー配管と低エネルギー配管の分類フロー</p> <p>※1 防護対象設備が設置されている建屋と接続している建屋内の水系配管（油系配管含む）については、防護対象設備が設置されている建屋への溢水伝播の有無を確認するため対象とする。</p>	<p>【女川・大阪】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 記載表現の相違</p> <p>・記載の表現に相違があるものの、溢水ガイドに基づきフローを作成しているという点において、相違はない。</p> <p>・大阪の表現は異なるものの、対象としている配管は泊、女川と同様である。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料12）

大飯発電所3/4号炉			
添付資料 1.4.1-1			
表1 配管破損を想定する高エネルギー配管の抽出結果			
系統名	溢水評価における対象範囲	対象範囲における使用条件	配置
化学体積制御系	封水注入配管	運転圧力：約 17MPaG 運転温度：約 50℃	E/B
	充てん配管	運転圧力：約 17MPaG 運転温度：約 50℃	E/B
	抽出配管／非再生冷却器出口	運転圧力：約 2.2MPaG 運転温度：約 50℃	E/B
	抽出配管／非再生冷却器入口	運転圧力：約 2.2MPaG 運転温度：約 140℃	E/B
主蒸気系統	主蒸気管	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃	MS室
	主蒸気逃がし弁	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃	MS室
	主蒸気隔離弁	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃	MS室
	主蒸気ドレン配管	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃	MS室
	タービン動補助給水ポンプ駆動用蒸気配管	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃	MS室
主給水系統	主給水管	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 224℃	MS室
	主給水バイパス配管	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 224℃	MS室
蒸気発生器ブローダウン系	蒸気発生器ブローダウン配管（貫通部・アングル弁）	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃	MS室、BD室
補助給水系	補助給水配管	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 224℃	MS室
補助蒸気系	補助蒸気供給配管	運転圧力：約 0.7MPaG 運転温度：約 170℃	E/B、C/B
E/B：原子炉周辺建屋 C/B：制御建屋 MS室：主蒸気・主給水管室 BD室：ブローダウンタンク室			

女川原子力発電所2号炉											
表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (1/6)											
系統	設計条件	分類		設置エリア		原子炉建屋		タービン建屋		LOIエリア	
		低エネ	高エネ	原子炉建屋	タービン建屋	原子炉建屋	タービン建屋	原子炉建屋	タービン建屋	原子炉建屋	タービン建屋
給水系	最大使用圧力 (MPa)	0.62	302	○	○	○	○	○	○	○	○
制御用冷却水圧入系	最大使用温度 (℃)	13.83	66	○	○	○	○	○	○	○	○
	最大使用圧力 (MPa)	1.72	66	○	○	○	○	○	○	○	○
ほう水注入系	最大使用温度 (℃)	10.79	66	○	○	○	○	○	○	○	○
冷却水圧入系	最大使用温度 (℃)	3.73	186	○	○	○	○	○	○	○	○
駆動用蒸気系	最大使用温度 (℃)	4.41	100	○	○	○	○	○	○	○	○
原子炉冷却水圧入系	最大使用温度 (℃)	10.79	100	○	○	○	○	○	○	○	○
原子炉冷却水圧入系	最大使用温度 (℃)	8.62	302	○	○	○	○	○	○	○	○
原子炉冷却水圧入系	最大使用温度 (℃)	10.20	302	○	○	○	○	○	○	○	○
燃料プールの冷却系	最大使用温度 (℃)	1.37	66	○	○	○	○	○	○	○	○
冷却水圧入系	最大使用温度 (℃)	1.37	66	○	○	○	○	○	○	○	○
駆動用蒸気系	最大使用温度 (℃)	0.98	66	○	○	○	○	○	○	○	○
タービン建屋	最大使用温度 (℃)	0.98	66	○	○	○	○	○	○	○	○
タービン建屋	最大使用温度 (℃)	1.94	66	○	○	○	○	○	○	○	○

※1 当該系統の運転時間が短いため、低エネルギー配管に分類する  
 ※2 廃棄物処理エリアのみ  
 ※3 復水冷却水系の溢水量で考慮する  
 ※4 体積流量であり質量流量なし  
 ※5 SSTエリア：複合評価タンクエリア  
 ※6 LOIエリア：軽油タンクエリア

泊発電所3号炉											
表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (1/3)											
系統	設計条件	分類		設置エリア		原子炉建屋		タービン建屋		LOIエリア	
		低エネ	高エネ	原子炉建屋	タービン建屋	原子炉建屋	タービン建屋	原子炉建屋	タービン建屋	原子炉建屋	タービン建屋
1次冷却系	運転圧力 (MPa)	15.4	325	○	○	○	○	○	○	○	○
	運転温度 (℃)	1.3	40	○	○	○	○	○	○	○	○
化学体積制御系 (充てん配管)	運転圧力 (MPa)	0.11	46.1	○	○	○	○	○	○	○	○
	運転温度 (℃)	15.4	190	○	○	○	○	○	○	○	○
化学体積制御系 (抽出配管)	運転圧力 (MPa)	1.8	46.1	○	○	○	○	○	○	○	○
	運転温度 (℃)	1.1	77	○	○	○	○	○	○	○	○
安全注入系統 (その他)	運転圧力 (MPa)	0.3	40	○	○	○	○	○	○	○	○
	運転温度 (℃)	0.35	40	○	○	○	○	○	○	○	○
主蒸気系統	運転圧力 (MPa)	5.6	274	○	○	○	○	○	○	○	○
	運転温度 (℃)	5.8	220	○	○	○	○	○	○	○	○
主給水系統	運転圧力 (MPa)	0.35	40	○	○	○	○	○	○	○	○
	運転温度 (℃)	1.1	43	○	○	○	○	○	○	○	○
使用燃料ピット水冷却系	運転圧力 (MPa)	1.1	65	○	○	○	○	○	○	○	○
	運転温度 (℃)	0.61	26	○	○	○	○	○	○	○	○
原子炉建屋冷却水系統	運転圧力 (MPa)	1.01	40	○	○	○	○	○	○	○	○
	運転温度 (℃)	1.01	40	○	○	○	○	○	○	○	○

相違理由

【女川】  
 記載表現の相違  
 設計方針の相違  
 ・表1において、泊は高エネルギー配管、低エネルギー配管の分類については、溢水ガイドに記載のとおり、「運転圧力」、「運転温度」を用いている。(大飯、高浜、美浜と同様)  
 ・プラントの相違による、建屋名称、系統名の相違。

【大飯】  
 記載方針の相違  
 女川審査実績を反映し、表の構成を変更し、高エネルギー配管と低エネルギー配管を建屋ごとに星表の形で抽出した。

※1 当該系統の運転時間が短いため、低エネルギー配管に分類する

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料12）

大飯発電所3／4号炉

表2 配管破損を想定する低エネルギー配管の抽出結果

系統名
原子炉補機冷却系
格納容器スプレイ系
化学体積制御系
冷水系
1次系洗浄水系
1次系放射性ドレン系(機器ドレン)
1次系放射性ドレン系(床ドレン)
消火水系
1次系補給水系
余熱除去系
燃料取替用水系
燃料ピット冷却浄化系
安全注入系
液体廃棄物処理系
固体廃棄物処理系
補助給水系（低温配管該当部分）

女川原子力発電所2号炉

表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア  
(2/6)

系統	設計条件		分類		設置エリア			
	最高使用圧力(MPa)	最高使用温度(℃)	低エネ	高エネ	原子炉建屋	原子炉建屋 管理	原子炉建屋 非管理	原子炉建屋 管理
床ドレン・化学廃液系	0.95	66	○*	○				
ステアムドレン系	0.34	145		○				
廃スラッジ系	1.37	66		○				
濃縮廃液系	1.37	66		○				
浄化系	1.37	95		○*				
排水系	0.35	66		○				
	1.94	66		○				
	0.95	66		○				
給水系	15.49	180		○				
給水加熱器ドレン系	0.62	302		○				
燃料取替用水系	1.94	66		○				
燃料取替用水系	0.95	66		○				
排水取替用水系	1.94	66		○				
排水取替用水系	0.95	66		○				

※1 当該系統の運転時間が短いため、低エネルギー配管に分類する  
 ※2 廃棄物処理エリアのみ  
 ※3 排水補給水系の排水量で考慮する  
 ※4 休止設備であり保有水なし

泊発電所3号炉

表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア  
(2/3)

系統	設計条件		分類		設置エリア						
	運転圧力(MPa)	運転温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉建屋	原子炉建屋 管理	原子炉建屋 非管理	原子炉建屋 管理	原子炉建屋 非管理	タービン	タービン
液体廃棄物処理系統	1.01	80		○							
固体廃棄物処理系統	1.01	40		○							
燃料採取系統	0.7	46.1		○							
蒸気発生器ローダウンス系統	5.6	274	○	○							
燃料取替用水系統	0.87	40		○							
原子炉補給水系(脱塩水)	1.05	40		○							
原子炉補給水系(純水)	1.01	40		○							
補助蒸気系統	0.7	170		○							
	0.1	40		○							
水洩水系	1.8	49		○							
地下水排水系統	0.47	40		○							
飲料水系	0.51	40		○							
海水電解装置海水供給・注入系統	0.61	26		○							
空調用冷水系統	1.0	10		○							

※1 当該系統の運転時間が短いため、低エネルギー配管に分類する

相違理由

【女川】  
 記載表現の相違  
 設計方針の相違  
 ・表1において、泊は高エネルギー配管、低エネルギー配管の分類については、溢水ガイドに記載のとおり、「運転圧力」、「運転温度」を用いている。(大飯、高浜、美浜と同様)  
 ・プラントの相違による、建屋名称、系統名の相違。

【大飯】  
 記載方針の相違  
 女川審査実績を反映し、表の構成を変更し、高エネルギー配管と低エネルギー配管を建屋ごとに星取表の形で抽出した。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	<p>表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (3/6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">系統</th> <th colspan="2">設計条件</th> <th colspan="2">分類</th> <th colspan="7">設置エリア</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">静水圧力 (MPa)</th> <th rowspan="2">最高使用 温度(℃)</th> <th rowspan="2">高エネ</th> <th rowspan="2">低エネ</th> <th colspan="2">原子炉建屋</th> <th colspan="2">原子炉補助建屋</th> <th rowspan="2">タービン 建屋</th> <th rowspan="2">タービン 管理</th> <th rowspan="2">タービン 非管理</th> <th rowspan="2">タービン 管理</th> <th rowspan="2">タービン 非管理</th> </tr> <tr> <th>原子炉種</th> <th>付属機</th> <th>付属機</th> <th>付属機</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉冷却水</td> <td>0.86</td> <td>74</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>循環水</td> <td>0.45</td> <td>41</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>低圧冷却水</td> <td>1.15</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>高圧冷却水</td> <td>1.37</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>燃料プール補給水</td> <td>1.15</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内用水</td> <td>1.37</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>熱交換器冷却水</td> <td>1.07</td> <td>40</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>空冷機冷却水</td> <td>1.27</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>非常用冷却水</td> <td>0.85</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>タービン冷却水</td> <td>1.15</td> <td>85</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>タービン補給冷却水</td> <td>0.96</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>タービン冷却水</td> <td>0.78</td> <td>50</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>タービン冷却水</td> <td>0.69</td> <td>41</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>高圧冷却水</td> <td>1.15</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当該系統の運転期間が短いため、低エネルギー配管に分類する          ※2 原動機冷却水のみのみ          ※3 海水冷却水の海水量で考慮する          ※4 休止設備であり保有水なし</p>	系統	設計条件		分類		設置エリア							静水圧力 (MPa)	最高使用 温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉建屋		原子炉補助建屋		タービン 建屋	タービン 管理	タービン 非管理	タービン 管理	タービン 非管理	原子炉種	付属機	付属機	付属機	原子炉冷却水	0.86	74	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	循環水	0.45	41	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	低圧冷却水	1.15	66	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	高圧冷却水	1.37	66	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	燃料プール補給水	1.15	66	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	炉内用水	1.37	66	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	熱交換器冷却水	1.07	40	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	空冷機冷却水	1.27	66	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	非常用冷却水	0.85	66	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	タービン冷却水	1.15	85	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	タービン補給冷却水	0.96	66	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	タービン冷却水	0.78	50	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	タービン冷却水	0.69	41	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	高圧冷却水	1.15	70	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (3/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">系統</th> <th colspan="2">設計条件</th> <th colspan="2">分類</th> <th colspan="7">設置エリア</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">静水圧力 (MPa)</th> <th rowspan="2">運転温度 (℃)</th> <th rowspan="2">高エネ</th> <th rowspan="2">低エネ</th> <th rowspan="2">原子炉建屋</th> <th rowspan="2">原子炉補助建屋</th> <th rowspan="2">ディーゼル 発電機 建屋</th> <th colspan="2">タービン</th> <th colspan="2">出入管理建屋</th> <th rowspan="2">タービン 管理</th> <th rowspan="2">タービン 非管理</th> </tr> <tr> <th>タービン</th> <th>タービン</th> <th>タービン</th> <th>タービン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海水系統</td> <td>5.35</td> <td>268</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>循環水系統</td> <td>1.2</td> <td>40</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却水</td> <td>0.89</td> <td>26</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却水</td> <td>0.65</td> <td>30</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>蒸気注入凝縮系統</td> <td>2.0</td> <td>30</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>冷却水系統</td> <td>0.1</td> <td>30</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>冷却水系統</td> <td>5.8</td> <td>230</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>冷却水系統</td> <td>0.3</td> <td>40</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>海水ストレーナー排水系統</td> <td>0.7</td> <td>26</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>炉内用水系統</td> <td>1.08</td> <td>20</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>海水浄化設備系統</td> <td>0.91</td> <td>25</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービン動機給水ポンプ排水系統</td> <td>0.11</td> <td>65</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>スチームコンバータ系統</td> <td>2.46</td> <td>223</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービンコンタクト高圧系統</td> <td>1.2</td> <td>40</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービンコンタクト高圧系統</td> <td>5.48</td> <td>271</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービン発電機系統</td> <td>0.65</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当該系統の運転期間が短いため、低エネルギー配管に分類する</p>	系統	設計条件		分類		設置エリア							静水圧力 (MPa)	運転温度 (℃)	高エネ	低エネ	原子炉建屋	原子炉補助建屋	ディーゼル 発電機 建屋	タービン		出入管理建屋		タービン 管理	タービン 非管理	タービン	タービン	タービン	タービン	海水系統	5.35	268	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	循環水系統	1.2	40	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	原子炉冷却水	0.89	26	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	原子炉冷却水	0.65	30	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	蒸気注入凝縮系統	2.0	30	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	冷却水系統	0.1	30	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	冷却水系統	5.8	230	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	冷却水系統	0.3	40	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	海水ストレーナー排水系統	0.7	26	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	炉内用水系統	1.08	20	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	海水浄化設備系統	0.91	25	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	タービン動機給水ポンプ排水系統	0.11	65	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	スチームコンバータ系統	2.46	223	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	タービンコンタクト高圧系統	1.2	40	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	タービンコンタクト高圧系統	5.48	271	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	タービン発電機系統	0.65	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<p>【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">設計方針の相違</a>                  ・表1において、泊は高エネルギー配管、低エネルギー配管の分類については、溢水ガイドに記載のとおり、「運転圧力」、「運転温度」を用いている。（大飯、高浜、美浜と同様）                  ・プラントの相違による、建屋名称、系統名の相違。</p>
系統	設計条件		分類		設置エリア																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	静水圧力 (MPa)		最高使用 温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉建屋		原子炉補助建屋		タービン 建屋	タービン 管理	タービン 非管理	タービン 管理	タービン 非管理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		原子炉種				付属機	付属機	付属機																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
原子炉冷却水	0.86	74	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
循環水	0.45	41	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
低圧冷却水	1.15	66	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
高圧冷却水	1.37	66	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
燃料プール補給水	1.15	66	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
炉内用水	1.37	66	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
熱交換器冷却水	1.07	40	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
空冷機冷却水	1.27	66	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
非常用冷却水	0.85	66	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
タービン冷却水	1.15	85	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
タービン補給冷却水	0.96	66	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
タービン冷却水	0.78	50	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
タービン冷却水	0.69	41	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
高圧冷却水	1.15	70	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
系統	設計条件		分類		設置エリア																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	静水圧力 (MPa)	運転温度 (℃)	高エネ	低エネ	原子炉建屋	原子炉補助建屋	ディーゼル 発電機 建屋	タービン		出入管理建屋		タービン 管理	タービン 非管理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
								タービン	タービン	タービン	タービン																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
海水系統	5.35	268	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
循環水系統	1.2	40	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却水	0.89	26	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却水	0.65	30	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
蒸気注入凝縮系統	2.0	30	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
冷却水系統	0.1	30	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
冷却水系統	5.8	230	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
冷却水系統	0.3	40	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
海水ストレーナー排水系統	0.7	26	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
炉内用水系統	1.08	20	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
海水浄化設備系統	0.91	25	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
タービン動機給水ポンプ排水系統	0.11	65	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
スチームコンバータ系統	2.46	223	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
タービンコンタクト高圧系統	1.2	40	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
タービンコンタクト高圧系統	5.48	271	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
タービン発電機系統	0.65	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																
	<p>表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (4/6)</p> <table border="1" data-bbox="698 245 1164 1152"> <thead> <tr> <th rowspan="3">系統</th> <th colspan="2">設計条件</th> <th colspan="2">分類</th> <th colspan="10">設置エリア</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">機壳体用 圧力 (MPa)</th> <th rowspan="2">最高使用 温度(℃)</th> <th rowspan="2">高エネ</th> <th rowspan="2">低エネ</th> <th colspan="2">原子炉建屋</th> <th colspan="2">原子炉建屋 付属棟</th> <th colspan="2">原子炉建屋 付属棟(遠隔地区 置エリア)</th> <th colspan="2">タービン 棟</th> <th rowspan="2">補助 ボイラ ー</th> <th rowspan="2">機水 ポン プ</th> <th rowspan="2">LOTエ リア</th> <th rowspan="2">LOTエ リア</th> </tr> <tr> <th>原子炉棟</th> <th>付属棟</th> <th>付属棟</th> <th>付属棟</th> <th>管理</th> <th>管理</th> <th>管理</th> <th>管理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東江原子スプレッド 機体冷却水</td> <td>0.78</td> <td>50</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>補助ボイラー-機水</td> <td>2.55</td> <td>204</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>補助ボイラー-循環水</td> <td>3.43</td> <td>300</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>補助ボイラー-冷却水</td> <td>0.96</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>加熱蒸気及び機水 り水</td> <td>1.57</td> <td>204</td> <td>○</td> <td>○<sup>※1</sup></td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>炉内機水</td> <td>1.15</td> <td>85</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル 発電機冷却水</td> <td>0.64</td> <td>85</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>東江原子スプレッド 炉心冷却水</td> <td>0.64</td> <td>95 (機体冷却 温度は94~ 95℃)</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル 発電機冷却水</td> <td>0.96</td> <td>85</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当該系統の運転時間が短いため、低エネルギー配管に分類する          ※2 原燃料処理エリアのみ          ※3 炉内機体冷却水の流量で考慮する          ※4 休止設備であり無存在なし</p>	系統	設計条件		分類		設置エリア										機壳体用 圧力 (MPa)	最高使用 温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉建屋		原子炉建屋 付属棟		原子炉建屋 付属棟(遠隔地区 置エリア)		タービン 棟		補助 ボイラ ー	機水 ポン プ	LOTエ リア	LOTエ リア	原子炉棟	付属棟	付属棟	付属棟	管理	管理	管理	管理	東江原子スプレッド 機体冷却水	0.78	50	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	補助ボイラー-機水	2.55	204	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	補助ボイラー-循環水	3.43	300	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	補助ボイラー-冷却水	0.96	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	加熱蒸気及び機水 り水	1.57	204	○	○ <sup>※1</sup>	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	炉内機水	1.15	85	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	非常用ディーゼル 発電機冷却水	0.64	85	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	東江原子スプレッド 炉心冷却水	0.64	95 (機体冷却 温度は94~ 95℃)	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	非常用ディーゼル 発電機冷却水	0.96	85	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・表1において、泊は高エネルギー配管、低エネルギー配管の分類については、溢水ガイドに記載のとおり、「運転圧力」、「運転温度」を用いている。(大飯、高浜、美浜と同様)</p> <p>・プラントの相違による、建屋名称、系統名の相違。</p>
系統	設計条件		分類		設置エリア																																																																																																																																																																																														
	機壳体用 圧力 (MPa)		最高使用 温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉建屋		原子炉建屋 付属棟		原子炉建屋 付属棟(遠隔地区 置エリア)		タービン 棟		補助 ボイラ ー	機水 ポン プ	LOTエ リア	LOTエ リア																																																																																																																																																																																		
		原子炉棟				付属棟	付属棟	付属棟	管理	管理	管理	管理																																																																																																																																																																																							
東江原子スプレッド 機体冷却水	0.78	50	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-																																																																																																																																																																																			
補助ボイラー-機水	2.55	204	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																			
補助ボイラー-循環水	3.43	300	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																			
補助ボイラー-冷却水	0.96	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																			
加熱蒸気及び機水 り水	1.57	204	○	○ <sup>※1</sup>	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-																																																																																																																																																																																			
炉内機水	1.15	85	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-																																																																																																																																																																																			
非常用ディーゼル 発電機冷却水	0.64	85	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																			
東江原子スプレッド 炉心冷却水	0.64	95 (機体冷却 温度は94~ 95℃)	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																			
非常用ディーゼル 発電機冷却水	0.96	85	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																			



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																					
	<p>表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (5/6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">系統</th> <th colspan="2">設計条件</th> <th colspan="2">分類</th> <th colspan="4">設置エリア</th> <th rowspan="3">補助 ボイラ ー 設置</th> <th rowspan="3">機水 ポン プ 室</th> <th rowspan="3">LOTエ リア ※6</th> <th rowspan="3">LOTエ リア ※5</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">機水使用 圧力 (MPa)</th> <th rowspan="2">機水使用 温度(℃)</th> <th rowspan="2">低エネ</th> <th rowspan="2">高エネ</th> <th colspan="2">原子炉棟内</th> <th colspan="2">機水貯蔵タンクエリア</th> </tr> <tr> <th>原子炉棟 付属棟</th> <th>原子炉棟 付属棟(発電施設 種別エリア)</th> <th>機水貯蔵 タンク</th> <th>機水貯蔵 タンク</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原任炉心スプレイス ディーゼル発電設備</td> <td>0.98</td> <td>85</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水貯蔵系</td> <td>0.59</td> <td>45</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼルス 発電機燃料送系</td> <td>0.59</td> <td>45</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>原任炉心スプレイス ディーゼル発電設備</td> <td>0.98</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>機水貯蔵系</td> <td>0.98</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼルス 発電機燃料送系</td> <td>2.16</td> <td>79</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>原任炉心スプレイス ディーゼル発電設備</td> <td>0.98</td> <td>79</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水貯蔵系</td> <td>0.62</td> <td>79</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼルス 発電機燃料送系</td> <td>0.50</td> <td>79</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>原任炉心スプレイス ディーゼル発電設備</td> <td>0.45</td> <td>79</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水貯蔵系</td> <td>13.80</td> <td>70</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>原任機水貯蔵系</td> <td>0.34</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当該系統の運転時間が短いため、低エネルギー配管に分類する          ※2 原任炉心スプレイスのみ          ※3 機水貯蔵系の水の温度は機水貯蔵タンクで考慮する          ※4 機水貯蔵系は機水貯蔵タンクにあり機水貯蔵系なし          ※5 CSTエリア：機水貯蔵タンクエリア          ※6 LOTエリア：機水貯蔵タンクエリア</p>	系統	設計条件		分類		設置エリア				補助 ボイラ ー 設置	機水 ポン プ 室	LOTエ リア ※6	LOTエ リア ※5	機水使用 圧力 (MPa)	機水使用 温度(℃)	低エネ	高エネ	原子炉棟内		機水貯蔵タンクエリア		原子炉棟 付属棟	原子炉棟 付属棟(発電施設 種別エリア)	機水貯蔵 タンク	機水貯蔵 タンク	原任炉心スプレイス ディーゼル発電設備	0.98	85	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	機水貯蔵系	0.59	45	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	非常用ディーゼルス 発電機燃料送系	0.59	45	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	原任炉心スプレイス ディーゼル発電設備	0.98	66	-	○	○	-	-	-	-	-	○	○	機水貯蔵系	0.98	66	-	○	○	-	-	-	-	-	-	○	非常用ディーゼルス 発電機燃料送系	2.16	79	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	原任炉心スプレイス ディーゼル発電設備	0.98	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	機水貯蔵系	0.62	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	非常用ディーゼルス 発電機燃料送系	0.50	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	原任炉心スプレイス ディーゼル発電設備	0.45	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	機水貯蔵系	13.80	70	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	原任機水貯蔵系	0.34	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-		<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・表1において、泊は高エネルギー配管、低エネルギー配管の分類については、溢水ガイドに記載のとおり、「運転圧力」、「運転温度」を用いている。(大飯、高浜、美浜と同様)</p> <p>・プラントの相違による、建屋名称、系統名の相違。</p>
系統	設計条件		分類		設置エリア				補助 ボイラ ー 設置	機水 ポン プ 室									LOTエ リア ※6	LOTエ リア ※5																																																																																																																																																																				
	機水使用 圧力 (MPa)		機水使用 温度(℃)	低エネ	高エネ	原子炉棟内		機水貯蔵タンクエリア																																																																																																																																																																																
		原子炉棟 付属棟				原子炉棟 付属棟(発電施設 種別エリア)	機水貯蔵 タンク	機水貯蔵 タンク																																																																																																																																																																																
原任炉心スプレイス ディーゼル発電設備	0.98	85	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																												
機水貯蔵系	0.59	45	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																												
非常用ディーゼルス 発電機燃料送系	0.59	45	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																												
原任炉心スプレイス ディーゼル発電設備	0.98	66	-	○	○	-	-	-	-	-	○	○																																																																																																																																																																												
機水貯蔵系	0.98	66	-	○	○	-	-	-	-	-	-	○																																																																																																																																																																												
非常用ディーゼルス 発電機燃料送系	2.16	79	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																												
原任炉心スプレイス ディーゼル発電設備	0.98	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																												
機水貯蔵系	0.62	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																												
非常用ディーゼルス 発電機燃料送系	0.50	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																												
原任炉心スプレイス ディーゼル発電設備	0.45	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																												
機水貯蔵系	13.80	70	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																												
原任機水貯蔵系	0.34	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
<p>補足資料3-2</p> <p>図1のフローによって低エネルギー配管を抽出した結果を表1に示す。また、通常運転時に高エネルギー状態にある運転期間が短時間であるため低エネルギー配管とした系統について、高エネルギー状態にある運転時間割合を評価した結果を表1に示す。</p>	<p>表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (6/6)</p> <table border="1" data-bbox="696 252 862 1149"> <thead> <tr> <th rowspan="3">系統</th> <th colspan="2">設計条件</th> <th colspan="2">分類</th> <th colspan="4">設置エリア</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">機軸出力 (圧力 MPa)</th> <th rowspan="2">機軸出力 温度(℃)</th> <th rowspan="2">高エネ</th> <th rowspan="2">低エネ</th> <th colspan="2">原子炉種別</th> <th colspan="2">タービン 種別</th> <th rowspan="2">補助 ボイラ 種別</th> </tr> <tr> <th>付属種 別</th> <th>付属種 別</th> <th>付属種 別</th> <th>付属種 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非放射能性ドレン移送 系</td> <td>0.39</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>原子炉種 別</td> <td>付属種 別</td> <td>付属種 別</td> <td>付属種 別</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内用水系</td> <td>0.29</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>原子炉種 別</td> <td>付属種 別</td> <td>付属種 別</td> <td>付属種 別</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当該系統の運転時間が短いため、低エネルギー配管に分類する                  ※2 廃棄物処理エリアのみ                  ※3 復水供給水系の排水量で考慮する                  ※4 休止容量であり保有水なし</p> <p>※5 CSTエリア：復水貯蔵タンクエリア                  ※6 LOTエリア：軽油タンクエリア</p> <p>2. 高エネルギー及び低エネルギー配管の分類について                  ガイド付録Aには、高エネルギー配管であっても高エネルギー状態にある運転期間が短時間（プラントの通常運転時の1%より小さい）である場合には、低エネルギー配管とすることができるものと定められている。</p>	系統	設計条件		分類		設置エリア				機軸出力 (圧力 MPa)	機軸出力 温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉種別		タービン 種別		補助 ボイラ 種別	付属種 別	付属種 別	付属種 別	付属種 別	非放射能性ドレン移送 系	0.39	66	-	○	原子炉種 別	付属種 別	付属種 別	付属種 別	○	炉内用水系	0.29	70	-	○	原子炉種 別	付属種 別	付属種 別	付属種 別	○	<p>2. 高エネルギー及び低エネルギー配管の分類について                  ガイド付録Aには、高エネルギー配管であっても高エネルギー状態にある運転期間が短時間（プラントの通常運転時の1%より小さい）である場合には、低エネルギー配管とすることができるものと定められている。</p>	<p>【女川】                  記載表現の相違                  設計方針の相違                  ・表1において、泊は高エネルギー配管、低エネルギー配管の分類については、溢水ガイドに記載のとおり、「運転圧力」、「運転温度」を用いている。（大飯、高浜、美浜と同様）                  ・プラントの相違による、建屋名称、系統名の相違。</p> <p>【大飯】                  記載方針の相違                  女川審査実績を反映し、記載内容を変更した。大飯も高エネルギー配管を低エネルギー配管とすることを確認しており、実施内容について相違はない。</p>
系統	設計条件		分類		設置エリア																																								
	機軸出力 (圧力 MPa)		機軸出力 温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉種別		タービン 種別		補助 ボイラ 種別																																			
		付属種 別				付属種 別	付属種 別	付属種 別																																					
非放射能性ドレン移送 系	0.39	66	-	○	原子炉種 別	付属種 別	付属種 別	付属種 別	○																																				
炉内用水系	0.29	70	-	○	原子炉種 別	付属種 別	付属種 別	付属種 別	○																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料12）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																													
<p>今回、運転している期間が短いことから低エネルギー配管とした6系統について、高エネルギー状態にある運転期間の条件を満足することを確認した結果を表2に示す。</p> <p>本系統については、通常、待機状態であるため、高エネルギー状態にある運転期間はサーバランス及び定期検査中の作業時の試運転を考慮した。なお、残留熱除去系については、定期検査中の停止時冷却モード運転も考慮した。</p> <p>なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。（別添2参照）</p>	<p>今回、運転している期間が短いことから低エネルギー配管とした4系統について、高エネルギー状態にある運転期間の条件を満足することを確認した結果を表2に示す。</p> <p>本系統については、通常、待機状態であるため、高エネルギー状態にある運転期間はサーバランス及び定期事業者検査中の作業時の試運転を考慮した。なお、余熱除去系統については、定期事業者検査中の冷却運転も考慮した。</p> <p>なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。（別添2参照）</p>	<p>今回、運転している期間が短いことから低エネルギー配管とした4系統について、高エネルギー状態にある運転期間の条件を満足することを確認した結果を表2に示す。</p> <p>本系統については、通常、待機状態であるため、高エネルギー状態にある運転期間はサーバランス及び定期事業者検査中の作業時の試運転を考慮した。なお、余熱除去系統については、定期事業者検査中の冷却運転も考慮した。</p> <p>なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。（別添2参照）</p>	<p>【女川】                  設計方針の相違                  ・プラント設計による相違                  記載表現の相違                  BWRは残留熱除去系の運転モードの1つとして原子炉停止後の崩壊熱を除去する「停止時冷却モード」がある。PWRではそのような運転モード名称はないため、定期事業者検査中の「冷却」とする。</p>																																																																																													
<p>表1 低エネルギー配管を有する系統の抽出結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>対象範囲における使用条件</th> <th>運転時間割合※2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉補機冷却系</td> <td>運転圧力：約 0.88～0.94MPa 運転温度：約 14～32℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイ系※1</td> <td>運転圧力：約 2.0MPa 運転温度：約 22～29℃</td> <td>&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>運転圧力：約 0.14MPa 運転温度：約 28～39℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>冷水系</td> <td>運転圧力：約 0.85MPa 運転温度：約 5℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系洗浄水系</td> <td>運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系放射性ドレン系（機器ドレン）</td> <td>運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系放射性ドレン系（床ドレン）</td> <td>運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>消火水系</td> <td>運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系補給水系</td> <td>運転圧力：約 1.1MPa 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>余熱除去系※1</td> <td>運転圧力：約 2.9MPa以下 運転温度：約 177℃以下</td> <td>&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水系</td> <td>運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料ピット冷却浄化系</td> <td>運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>安全注入系※1</td> <td>運転圧力：約 15.2MPa 運転温度：約 22～29℃</td> <td>&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>海水系</td> <td>運転圧力：約 0.45MPa 運転温度：約 10～30℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>液体廃棄物処理系</td> <td>運転圧力：約 19～47kPa 運転温度：約 105～111℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>固体廃棄物処理系</td> <td>運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>補助給水系※1</td> <td>運転圧力：約 10.7～12.1MPa 運転温度：約 21～29℃</td> <td>&lt;1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 通常運転時に高エネルギー状態にある運転期間が短時間であるため低エネルギー配管とした系統。                  ※2 運転時間割合のうち、通常運転時の運転時間については、毎月のサーバランスの運転時間実績で評価した。格納容器スプレイ系、安全注入系及び補助給水系は事故時に動作する系統であり、定検時の調整運転等を考慮しても通常運転時に比べ十分短く、また、余熱除去ポンプの定検期間の運転時間も十分短いため、サーバランスで代表しても評価に影響しない。</p>	系統	対象範囲における使用条件	運転時間割合※2	原子炉補機冷却系	運転圧力：約 0.88～0.94MPa 運転温度：約 14～32℃	—	格納容器スプレイ系※1	運転圧力：約 2.0MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%	化学体積制御系	運転圧力：約 0.14MPa 運転温度：約 28～39℃	—	冷水系	運転圧力：約 0.85MPa 運転温度：約 5℃	—	1次系洗浄水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—	1次系放射性ドレン系（機器ドレン）	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—	1次系放射性ドレン系（床ドレン）	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—	消火水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—	1次系補給水系	運転圧力：約 1.1MPa 運転温度：約 27℃	—	余熱除去系※1	運転圧力：約 2.9MPa以下 運転温度：約 177℃以下	<1%	燃料取替用水系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—	燃料ピット冷却浄化系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—	安全注入系※1	運転圧力：約 15.2MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%	海水系	運転圧力：約 0.45MPa 運転温度：約 10～30℃	—	液体廃棄物処理系	運転圧力：約 19～47kPa 運転温度：約 105～111℃	—	固体廃棄物処理系	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—	補助給水系※1	運転圧力：約 10.7～12.1MPa 運転温度：約 21～29℃	<1%	<p>表2 高エネルギー状態の運転期間割合算出結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>運転時間割合</th> <th>計算式 (X<sup>※1</sup>/Y<sup>※2</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ほう酸水注入系</td> <td>(A): 0.05 % (B): 0.05 %</td> <td>(A): (63 h)/(133921 h)=0.05 % &lt; 1% (B): (63 h)/(133921 h)=0.05 % &lt; 1%</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系</td> <td>(A): 0.03 % (B): 0.02 % (C): 0.02 %</td> <td>(A): (28 h)/(133921 h)=0.03 % &lt; 1% (B): (23 h)/(133921 h)=0.02 % &lt; 1% (C): (14 h)/(133921 h)=0.02 % &lt; 1%</td> </tr> <tr> <td>低圧炉心スプレイ系</td> <td>0.10 %</td> <td>(133 h)/(133921 h)=0.10 % &lt; 1%</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系</td> <td>0.15 %</td> <td>(189 h)/(133921 h)=0.15 % &lt; 1%</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系</td> <td>0.08 %</td> <td>(99 h)/(133921 h)=0.08 % &lt; 1%</td> </tr> <tr> <td>加熱蒸気及び復水戻り系(原子炉隔離時冷却系タービンテストライン)</td> <td>0.01 %</td> <td>(3 h)/(133921 h)=0.01 % &lt; 1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 高エネルギー状態にある運転期間（時間）                  ※2 プラント運転開始（平成7年7月）～第11回定検解除（平成22年11月）</p>	系統	運転時間割合	計算式 (X <sup>※1</sup> /Y <sup>※2</sup> )	ほう酸水注入系	(A): 0.05 % (B): 0.05 %	(A): (63 h)/(133921 h)=0.05 % < 1% (B): (63 h)/(133921 h)=0.05 % < 1%	残留熱除去系	(A): 0.03 % (B): 0.02 % (C): 0.02 %	(A): (28 h)/(133921 h)=0.03 % < 1% (B): (23 h)/(133921 h)=0.02 % < 1% (C): (14 h)/(133921 h)=0.02 % < 1%	低圧炉心スプレイ系	0.10 %	(133 h)/(133921 h)=0.10 % < 1%	高圧炉心スプレイ系	0.15 %	(189 h)/(133921 h)=0.15 % < 1%	原子炉隔離時冷却系	0.08 %	(99 h)/(133921 h)=0.08 % < 1%	加熱蒸気及び復水戻り系(原子炉隔離時冷却系タービンテストライン)	0.01 %	(3 h)/(133921 h)=0.01 % < 1%	<p>表2 高エネルギー状態の運転期間割合算出結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>運転時間割合</th> <th>計算式 (X<sup>※1</sup>/Y<sup>※2</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>余熱除去系統</td> <td>(A): 0.85 % (B): 0.85 %</td> <td>(A): (176h) / (20,760h) =0.85%&lt;1% (B): (176h) / (20,760h) =0.85%&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ系統</td> <td>(A): 0.03 % (B): 0.03 %</td> <td>(A): (4.2h) / (20,760h) =0.03%&lt;1% (B): (4.2h) / (20,760h) =0.03%&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>補助給水系 (電動補助給水ポンプ)</td> <td>(A): 0.11 % (B): 0.03 %</td> <td>(A): (22.5h) / (20,760h) =0.11%&lt;1% (B): (4.5h) / (20,760h) =0.03%&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>補助給水系 (タービン動補助給水ポンプ)</td> <td>0.05 %</td> <td>(9h) / (20,760h) =0.05%&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>安全注入系統</td> <td>(A): 0.03 % (B): 0.03 %</td> <td>(A): (4.3h) / (20,760h) =0.03%&lt;1% (B): (4.3h) / (20,760h) =0.03%&lt;1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 高エネルギー状態にある運転期間（時間）                  ※2 プラント運転開始（平成21年12月）～第2回定検解除（平成24年5月）</p>	系統	運転時間割合	計算式 (X <sup>※1</sup> /Y <sup>※2</sup> )	余熱除去系統	(A): 0.85 % (B): 0.85 %	(A): (176h) / (20,760h) =0.85%<1% (B): (176h) / (20,760h) =0.85%<1%	原子炉格納容器スプレイ系統	(A): 0.03 % (B): 0.03 %	(A): (4.2h) / (20,760h) =0.03%<1% (B): (4.2h) / (20,760h) =0.03%<1%	補助給水系 (電動補助給水ポンプ)	(A): 0.11 % (B): 0.03 %	(A): (22.5h) / (20,760h) =0.11%<1% (B): (4.5h) / (20,760h) =0.03%<1%	補助給水系 (タービン動補助給水ポンプ)	0.05 %	(9h) / (20,760h) =0.05%<1%	安全注入系統	(A): 0.03 % (B): 0.03 %	(A): (4.3h) / (20,760h) =0.03%<1% (B): (4.3h) / (20,760h) =0.03%<1%	<p>【女川】                  設計方針の相違                  ・プラント設計による系統の相違                  ・運転期間が異なることによる評価条件の相違</p> <p>【大飯】                  記載方針の相違                  女川審査実績を反映した表の記載とし、高エネルギー状態の計算に用いる時間を記載した。</p>
系統	対象範囲における使用条件	運転時間割合※2																																																																																														
原子炉補機冷却系	運転圧力：約 0.88～0.94MPa 運転温度：約 14～32℃	—																																																																																														
格納容器スプレイ系※1	運転圧力：約 2.0MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%																																																																																														
化学体積制御系	運転圧力：約 0.14MPa 運転温度：約 28～39℃	—																																																																																														
冷水系	運転圧力：約 0.85MPa 運転温度：約 5℃	—																																																																																														
1次系洗浄水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—																																																																																														
1次系放射性ドレン系（機器ドレン）	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—																																																																																														
1次系放射性ドレン系（床ドレン）	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—																																																																																														
消火水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—																																																																																														
1次系補給水系	運転圧力：約 1.1MPa 運転温度：約 27℃	—																																																																																														
余熱除去系※1	運転圧力：約 2.9MPa以下 運転温度：約 177℃以下	<1%																																																																																														
燃料取替用水系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—																																																																																														
燃料ピット冷却浄化系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—																																																																																														
安全注入系※1	運転圧力：約 15.2MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%																																																																																														
海水系	運転圧力：約 0.45MPa 運転温度：約 10～30℃	—																																																																																														
液体廃棄物処理系	運転圧力：約 19～47kPa 運転温度：約 105～111℃	—																																																																																														
固体廃棄物処理系	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—																																																																																														
補助給水系※1	運転圧力：約 10.7～12.1MPa 運転温度：約 21～29℃	<1%																																																																																														
系統	運転時間割合	計算式 (X <sup>※1</sup> /Y <sup>※2</sup> )																																																																																														
ほう酸水注入系	(A): 0.05 % (B): 0.05 %	(A): (63 h)/(133921 h)=0.05 % < 1% (B): (63 h)/(133921 h)=0.05 % < 1%																																																																																														
残留熱除去系	(A): 0.03 % (B): 0.02 % (C): 0.02 %	(A): (28 h)/(133921 h)=0.03 % < 1% (B): (23 h)/(133921 h)=0.02 % < 1% (C): (14 h)/(133921 h)=0.02 % < 1%																																																																																														
低圧炉心スプレイ系	0.10 %	(133 h)/(133921 h)=0.10 % < 1%																																																																																														
高圧炉心スプレイ系	0.15 %	(189 h)/(133921 h)=0.15 % < 1%																																																																																														
原子炉隔離時冷却系	0.08 %	(99 h)/(133921 h)=0.08 % < 1%																																																																																														
加熱蒸気及び復水戻り系(原子炉隔離時冷却系タービンテストライン)	0.01 %	(3 h)/(133921 h)=0.01 % < 1%																																																																																														
系統	運転時間割合	計算式 (X <sup>※1</sup> /Y <sup>※2</sup> )																																																																																														
余熱除去系統	(A): 0.85 % (B): 0.85 %	(A): (176h) / (20,760h) =0.85%<1% (B): (176h) / (20,760h) =0.85%<1%																																																																																														
原子炉格納容器スプレイ系統	(A): 0.03 % (B): 0.03 %	(A): (4.2h) / (20,760h) =0.03%<1% (B): (4.2h) / (20,760h) =0.03%<1%																																																																																														
補助給水系 (電動補助給水ポンプ)	(A): 0.11 % (B): 0.03 %	(A): (22.5h) / (20,760h) =0.11%<1% (B): (4.5h) / (20,760h) =0.03%<1%																																																																																														
補助給水系 (タービン動補助給水ポンプ)	0.05 %	(9h) / (20,760h) =0.05%<1%																																																																																														
安全注入系統	(A): 0.03 % (B): 0.03 %	(A): (4.3h) / (20,760h) =0.03%<1% (B): (4.3h) / (20,760h) =0.03%<1%																																																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料13）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">補足資料3-3（別紙1）</p> <p>高エネルギー配管（補助蒸気供給配管）の破損形状の設定</p> <p>1. 概要</p> <p>高エネルギー配管のうち補助蒸気供給配管について溢水ガイド附属書Aの高エネルギー配管の評価対象（25A以上）に対し、ターミナルエンドは完全全周破断、ターミナルエンド以外（一般部）は、許容応力の0.8倍又は0.4倍に応じた破損形状とする旨の記載にしたがって評価している。本資料は補助蒸気供給配管の応力評価の手法、結果についてとりまとめたものである。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料14</p> <p>高エネルギー配管の想定破損除外について</p> <p>1. 評価対象配管</p> <p>想定破損除外の適用（応力評価）を実施する対象配管を表1に示す。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料13</p> <p>高エネルギー配管の想定破損除外又は貫通クラックについて</p> <p>1. 評価対象配管</p> <p>想定破損除外又は貫通クラックの適用（応力評価）を実施する対象配管を表1に示す。</p>	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊は高エネルギー配管に対して、貫通クラックを適用している系統がある。（大阪、高浜、美浜、玄海、川内、伊方と同様）</p> <p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川の審査実績を反映し、応力評価を実施する配管を抽出した上で応力評価結果を記載する方針とする。</p> <p>記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料13）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																											
<p style="text-align: right;">補足資料3-3</p> <p>表1 想定破損の応力評価に基づく破損形状の結果（一般部）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>応力評価</th> <th>破損形状</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td rowspan="5">実施なし</td> <td rowspan="5">完全全周破断</td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td>主蒸気系</td> </tr> <tr> <td>主給水系</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器 ブローダウン系</td> </tr> <tr> <td>補助給水系</td> </tr> <tr> <td>補助蒸気系</td> <td>実施あり</td> <td>貫通クラック*</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 応力評価を実施し、評価結果は許容応力(0.8Sa)以下であった</p>	系統名	応力評価	破損形状	備考	化学体積制御系	実施なし	完全全周破断		主蒸気系	主給水系	蒸気発生器 ブローダウン系	補助給水系	補助蒸気系	実施あり	貫通クラック*		<p>表1 高エネルギー配管の想定破損除外を適用する対象配管</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置エリア</th> <th rowspan="2">溢水防護 区画番号</th> <th rowspan="2">対象系統</th> <th colspan="2">対象配管</th> </tr> <tr> <th>ライン番号</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">原子炉建屋 原子炉棟</td> <td rowspan="2">R-1F-5</td> <td rowspan="2">HS</td> <td>200A-IS-100-1</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>50A-IS-4</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-1F-12</td> <td rowspan="2">HS</td> <td>50A-IS-4</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>100A-IS-109</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B1F-1</td> <td rowspan="2">HS</td> <td>40A-IS-110</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>200A-HSCR-152-2</td> <td>STPA23</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">R-B2F-1</td> <td rowspan="6">HSCR</td> <td>25A-HSCR-220</td> <td>STPA23</td> </tr> <tr> <td>100A-IS-109</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>40A-IS-110</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>200A-HSCR-152-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>200A-HSCR-153</td> <td></td> </tr> <tr> <td>100A-HSCR-152-3</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">R-B2F-5</td> <td rowspan="4">HS</td> <td>20A-HSCR-452-1</td> <td>STPA23</td> </tr> <tr> <td>40A-HSCR-208</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>25A-HSCR-159</td> <td></td> </tr> <tr> <td>25A-HSCR-206</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-2</td> <td rowspan="2">HS</td> <td>20A-HSCR-466-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40A-IS-110</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">制御建屋</td> <td rowspan="2">C-1F-1</td> <td rowspan="2">HS</td> <td>100A-IS-109</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>20A-IS-562-1</td> <td>ST542</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">C-1F-3</td> <td rowspan="2">HS</td> <td>100A-RCIC-6-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>250A-IS-3</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">C-1F-3</td> <td rowspan="2">HS</td> <td>250A-IS-3</td> <td>STPT38</td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	溢水防護 区画番号	対象系統	対象配管		ライン番号	材質	原子炉建屋 原子炉棟	R-1F-5	HS	200A-IS-100-1	STPT38	50A-IS-4	STPT38	R-1F-12	HS	50A-IS-4	STPT38	100A-IS-109	STPT38	R-B1F-1	HS	40A-IS-110	STPT38	200A-HSCR-152-2	STPA23	R-B2F-1	HSCR	25A-HSCR-220	STPA23	100A-IS-109	STPT38	40A-IS-110	STPT38	200A-HSCR-152-2		200A-HSCR-153		100A-HSCR-152-3		R-B2F-5	HS	20A-HSCR-452-1	STPA23	40A-HSCR-208	STPT38	25A-HSCR-159		25A-HSCR-206		R-B3F-2	HS	20A-HSCR-466-1		40A-IS-110	STPT38	制御建屋	C-1F-1	HS	100A-IS-109	STPT38	20A-IS-562-1	ST542	C-1F-3	HS	100A-RCIC-6-2		250A-IS-3	STPT38	C-1F-3	HS	250A-IS-3	STPT38	<p>表1 高エネルギー配管の想定破損除外又は貫通クラックを適用する対象配管</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>対象配管</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉建屋</td> <td rowspan="2">補助蒸気系統配管<sup>※1</sup></td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>原子炉補助建屋</td> <td>STPT370</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋</td> <td rowspan="2">蒸気発生器ブローダウン系統配管<sup>※1</sup> (主蒸気管室外)</td> <td>STPT370</td> </tr> <tr> <td>原子炉補助建屋</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋</td> <td rowspan="2">主蒸気系統配管<sup>※1</sup> (主蒸気管室外)</td> <td>STPT370</td> </tr> <tr> <td>原子炉補助建屋</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 蒸気影響範囲のみ応力評価を実施。</p>	設置エリア	対象配管	材質	原子炉建屋	補助蒸気系統配管 <sup>※1</sup>	STPG370	原子炉補助建屋	STPT370	原子炉建屋	蒸気発生器ブローダウン系統配管 <sup>※1</sup> (主蒸気管室外)	STPT370	原子炉補助建屋		原子炉建屋	主蒸気系統配管 <sup>※1</sup> (主蒸気管室外)	STPT370	原子炉補助建屋		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊は高エネルギー配管に対して、貫通クラックを適用している系統がある。（大飯、高浜、美浜、玄海、川内、伊方と同様）</li> <li>・建屋名称、対象系統、材質の相違。</li> </ul> <p>・女川では、想定破損除外のために3次元はりモデル解析を実施する配管を抽出し、当該配管の溢水防護区画番号及びライン番号を記載している。</p> <p>・泊では、原則として標準支持間隔法を用いた応力評価を実施するため個別配管の溢水防護区画番号及びライン番号を特定する必要はない。（大飯と同様）</p> <p>・泊では、高エネルギー配管の蒸気影響範囲のみに絞って応力評価を実施している。</p> <p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>大飯では想定破損除外を適用している高エネルギー配管はない。</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川の審査実績を反映し、応力評価を実施する配管を抽出した上で応力評価結果を抽出する記載方針とする。</p>
系統名	応力評価	破損形状	備考																																																																																																											
化学体積制御系	実施なし	完全全周破断																																																																																																												
主蒸気系																																																																																																														
主給水系																																																																																																														
蒸気発生器 ブローダウン系																																																																																																														
補助給水系																																																																																																														
補助蒸気系	実施あり	貫通クラック*																																																																																																												
設置エリア	溢水防護 区画番号	対象系統	対象配管																																																																																																											
			ライン番号	材質																																																																																																										
原子炉建屋 原子炉棟	R-1F-5	HS	200A-IS-100-1	STPT38																																																																																																										
			50A-IS-4	STPT38																																																																																																										
	R-1F-12	HS	50A-IS-4	STPT38																																																																																																										
			100A-IS-109	STPT38																																																																																																										
	R-B1F-1	HS	40A-IS-110	STPT38																																																																																																										
			200A-HSCR-152-2	STPA23																																																																																																										
	R-B2F-1	HSCR	25A-HSCR-220	STPA23																																																																																																										
			100A-IS-109	STPT38																																																																																																										
			40A-IS-110	STPT38																																																																																																										
			200A-HSCR-152-2																																																																																																											
			200A-HSCR-153																																																																																																											
			100A-HSCR-152-3																																																																																																											
	R-B2F-5	HS	20A-HSCR-452-1	STPA23																																																																																																										
			40A-HSCR-208	STPT38																																																																																																										
			25A-HSCR-159																																																																																																											
25A-HSCR-206																																																																																																														
R-B3F-2	HS	20A-HSCR-466-1																																																																																																												
		40A-IS-110	STPT38																																																																																																											
制御建屋	C-1F-1	HS	100A-IS-109	STPT38																																																																																																										
			20A-IS-562-1	ST542																																																																																																										
C-1F-3	HS	100A-RCIC-6-2																																																																																																												
		250A-IS-3	STPT38																																																																																																											
C-1F-3	HS	250A-IS-3	STPT38																																																																																																											
		設置エリア	対象配管	材質																																																																																																										
原子炉建屋	補助蒸気系統配管 <sup>※1</sup>	STPG370																																																																																																												
原子炉補助建屋		STPT370																																																																																																												
原子炉建屋	蒸気発生器ブローダウン系統配管 <sup>※1</sup> (主蒸気管室外)	STPT370																																																																																																												
原子炉補助建屋																																																																																																														
原子炉建屋	主蒸気系統配管 <sup>※1</sup> (主蒸気管室外)	STPT370																																																																																																												
原子炉補助建屋																																																																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">補足資料3-3（別紙1）</p> <p>3.1. 評価方法</p> <p>溢水ガイド附属書Aにしたがい、供用状態A、B及び(1/3)Sd地震荷重に対して設計・建設規格 PPC-3530(1)b. の計算式により <math>S_n</math>（一次応力+二次応力）を算出し、設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式により求めた <math>S_a</math>（許容応力）との比較により破損形状を設定する。一次応力に対する支持間隔の算出については、標準支持間隔のモデルによるものとし（詳細は、「別紙3 標準支持間隔法による一次応力評価」を参照）、必要に応じて3次元はりモデル解析を行う。二次応力である熱応力は保守的な値として建設工認時における限度値の100MPaを一律に用いる。</p>	<p>2. 評価方法</p> <p>加熱蒸気及び復水戻り系は非安全系の配管であることから、溢水ガイド附属書Aのクラス2、3又は非安全系の配管に適用される計算式により応力評価を実施し、評価条件を満足することを確認する。</p> <p>供用状態A、B及び(1/3)Sd地震荷重に対して設計・建設規格 PPC-3530(1)b. の計算式により計算した（一次応力+二次応力）<math>S_n</math>が、設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式により求めた許容応力 <math>S_a</math> の0.4倍以下であることを確認する。</p>	<p>2. 評価方法</p> <p>補助蒸気系統、蒸気発生器ブローダウン系統（主蒸気管室外）及び主蒸気系統（主蒸気管室外）は非安全系の配管であることから、溢水ガイド附属書Aのクラス2、3又は非安全系の配管に適用される計算式により応力評価を実施し、評価条件を満足することを確認する。</p> <p>供用状態A、B及び(1/3)Sd地震荷重に対して設計・建設規格 PPC-3530(1)b. の計算式により計算した（一次応力+二次応力）<math>S_n</math>と、設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式により求めた許容応力 <math>S_a</math> との比較により破断形状を設定する。一次応力に対する支持間隔の算出については、標準支持間隔のモデルによるものとし（詳細は、「別紙 標準支持間隔法による一次応力評価」を参照）、必要に応じて3次元はりモデル解析を行う。二次応力である熱応力は保守的な値として建設工認時における限度値の100MPaを一律に用いる。</p>	<p>【女川】  <a href="#">設計方針の相違</a>  <a href="#">プラント設計による系統の相違</a></p> <p>【女川】  <a href="#">設計方針の相違</a>                  ・女川は<math>S_n</math>（一次応力+二次応力）が許容応力<math>S_a</math>の0.4倍以下であれば想定破損除外を適用し、それ以外は完全全周破断を想定することにしているが、泊はそれに加えて、許容応力<math>S_a</math>の0.4倍を超え0.8倍以下である場合は貫通クラックを適用することになっている。                  （大飯、高浜、美浜、玄海、川内、伊方と同様）                  ・泊では、大飯と同様に原則標準支持間隔法における応力評価を実施しており、二次応力である熱応力は保守的な値として建設工認時における限度値の100MPaを一律に用いている。（大飯、高浜、美浜、玄海、川内、伊方と同様）</p> <p>【大飯】  <a href="#">記載方針の相違</a>  <a href="#">女川審査実績の反映</a>  <a href="#">記載表現の相違</a></p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料13）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
<p>b. <math>S_n = \frac{P_m D_o}{4t} + \frac{0.75h_1(M_c + M_b) + h_2 M_c}{Z}</math></p> <p><math>S_n</math> : 一次応力と二次応力を加えて求めた応力 (MPa)  <math>h_1, h_2</math> : 応力係数  <math>M_c</math> : 管の熱による支持点の変位及び熱膨張により生ずるモーメント (N・mm)  <math>P_m</math> : 内面に受ける最高の圧力 (MPa)  <math>M_b</math> : 管の機械的荷重 (逃し弁又は安全弁の吹出し反力その他の短期的荷重に限る) により生ずるモーメント (N・mm)  <math>D_o</math> : 管の外径 (mm)  <math>t</math> : 管の厚さ (mm)  <math>M_a</math> : 管の機械的荷重 (自重その他の長期荷重に限る) により生ずるモーメント (N・mm)</p> <p>d. <math>S_s = 1.25f_s + (1.2 + 0.25f)S_c</math></p> <p><math>S_a</math> : 許容応力 (MPa)  <math>f</math> : 許容応力低減係数</p> <p><math>S_c</math> : 室温における材料の許容引張応力 (MPa)  <math>S_h</math> : 使用温度における材料の許容引張応力 (MPa)</p> <p>設計・建設規格 PPC-3530 (1) 抜粋</p>	<p>(1) <math>S_a</math> の算出                  設計・建設規格 PPC-3530 (1) d. の計算式から算出する。  <math>S_a = 1.25fS_c + (1.2 + 0.25f) Sh \cdots \textcircled{1}</math>式  <math>S_a</math> : 許容応力  <math>F</math> : 許容応力低減係数 (=1.0)</p> <p>加熱蒸気及び復水戻り系配管は、通年（運転時、定検時）において、圧力は一定に保つように設定されているため、有意な温度変化は受けず、また、補機の発停回数も有意な回数がないことから、表2より、応力低減係数を1.0に設定した。</p> <p>表2 許容応力低減係数（設計・建設規格 PPC-3530 より抜粋）</p> <table border="1" data-bbox="772 1129 1189 1289"> <thead> <tr> <th>温度変化サイクル数</th> <th>fの値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,000 未満</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>7,000 以上 14,000 未満</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>14,000 以上 22,000 未満</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>22,000 以上 45,000 未満</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>45,000 以上 100,000 未満</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>100,000 以上</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table>	温度変化サイクル数	fの値	7,000 未満	1.0	7,000 以上 14,000 未満	0.9	14,000 以上 22,000 未満	0.8	22,000 以上 45,000 未満	0.7	45,000 以上 100,000 未満	0.6	100,000 以上	0.5	<p>(1) <math>S_a</math> の算出                  設計・建設規格 PPC-3530 (1) d. の計算式から算出する。  <math>S_a = 1.25fS_c + (1.2 + 0.25f) Sh \cdots \textcircled{1}</math>式  <math>S_a</math> : 許容応力  <math>F</math> : 許容応力低減係数 (=1.0)</p> <p>補助蒸気系統配管、蒸気発生器ブローダウン系統（主蒸気管室外）及び主蒸気系統（主蒸気管室外）配管は、通年（運転時、定期事業者検査時）において、圧力は一定に保つように設定されているため、有意な温度変化は受けず、また、補機の発停回数も有意な回数がないことから、表2より、応力低減係数を1.0に設定した。</p> <p>表2 許容応力低減係数（設計・建設規格 PPC-3530 より抜粋）</p> <table border="1" data-bbox="1384 1129 1756 1289"> <thead> <tr> <th>温度変化サイクル数</th> <th>fの値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,000 未満</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>7,000 以上 14,000 未満</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>14,000 以上 22,000 未満</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>22,000 以上 45,000 未満</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>45,000 以上 100,000 未満</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>100,000 以上</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table>	温度変化サイクル数	fの値	7,000 未満	1.0	7,000 以上 14,000 未満	0.9	14,000 以上 22,000 未満	0.8	22,000 以上 45,000 未満	0.7	45,000 以上 100,000 未満	0.6	100,000 以上	0.5	<p>【大飯】                  記載方針の相違                  ・女川審査実績を反映し、<math>S_n</math>の算出については記載しない、<math>S_n</math>を算出しているという点において、泊、女川と相違はない。                  ・女川審査実績を反映し、<math>S_c</math>と<math>S_h</math>についての説明は後述する。                  記載表現の相違</p> <p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計による系統の相違                  記載表現の相違</p>
温度変化サイクル数	fの値																														
7,000 未満	1.0																														
7,000 以上 14,000 未満	0.9																														
14,000 以上 22,000 未満	0.8																														
22,000 以上 45,000 未満	0.7																														
45,000 以上 100,000 未満	0.6																														
100,000 以上	0.5																														
温度変化サイクル数	fの値																														
7,000 未満	1.0																														
7,000 以上 14,000 未満	0.9																														
14,000 以上 22,000 未満	0.8																														
22,000 以上 45,000 未満	0.7																														
45,000 以上 100,000 未満	0.6																														
100,000 以上	0.5																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>Sc：設計・建設規格付録材料図表 Part 5 に規定する材料の室温における許容引張応力（STPT38=93MPa, STPA23=103MPa, STS42=103MPa）</p> <p>Sh：設計・建設規格付録材料図表 Part 5 に規定する材料の使用温度における許容引張応力（STPT38=93MPa, STPA23=103MPa, STS42=103MPa）</p> <p>①式に上記の値を代入（STPT38の場合）し、Saを算出すると、  <math>Sa = 1.25 \times 1.0 \times 93 + (1.2 + 0.25 \times 1.0) \times 93</math>  <math>= 251.1 \rightarrow 251</math>（小数点以下を切り捨て）</p> <p>したがって、<math>0.4Sa = 0.4 \times 251 = 100.4 \rightarrow 100</math>（MPa）（小数点以下を切り捨て）となる。</p>	<p>Sc：設計・建設規格付録材料図表 Part 5 に規定する材料の室温における許容引張応力（STPG370=79MPa, STPT370=93MPa）</p> <p>Sh：設計・建設規格付録材料図表 Part 5 に規定する材料の使用温度における許容引張応力（STPG370=79MPa, STPT370=93MPa）</p> <p>①式に上記の値を代入（STPT370の場合）し、Saを算出すると、  <math>Sa = 1.25 \times 1.0 \times 93 + (1.2 + 0.25 \times 1.0) \times 93</math>  <math>= 116.25 + 134.85</math>  <math>= 116 + 134</math>（小数点以下を切り捨て）=250</p> <p>したがって、<math>0.8Sa = 0.8 \times 250 = 200</math>（MPa）、<math>0.4Sa = 0.4 \times 250 = 100</math>（MPa）となる。</p>	<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      プラント設計による材質の相違。</p> <p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      ・泊では、各項の計算結果に対して小数点以下の切り捨てを実施している。各項において切り捨てを実施するほうが、許容応力が小さくなるため保守的である。（大飯と同様）                      ・Saが許容応力Saの0.4倍を超え0.8倍以下である場合は貫通クラックを適用することになっているため、0.8Saの算出について記載している。  <u>記載方針の相違</u>                      ・0.8Sa及び0.4Saの算出における小数点以下の切り捨て処理は、STPT370の計算においては発生しないため、記載しない。                      ・泊でも小数点以下の数字がある場合は、切り捨てを実施している。</p>	



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>3. 実評価の流れ</p> <p>表1に示す高エネルギー配管の想定破損除外を適用する溢水防護区画内の配管系について3次元梁モデルを構築し、解析により発生応力を算出する。以下に解析条件を示す。</p> <p>(1) 系統条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・200A-HS-100-1, 200A-HSCR-152-2, 200A-HSCR-153</li> <li>100A-HSCR-152-3, 25A-HSCR-220, 20A-HSCR-452-1</li> <li>40A-HSCR-208, 25A-HSCR-159, 25A-HSCR-206, 25A-HSCR-466-1</li> <li>100A-RCIC-6-2（原子炉隔離時冷却水系としては最高使用温度302℃, 8.62MPa）最高使用温度：188℃</li> <li>最高使用圧力：0.96MPa</li> <li>・20A-HS-562-1, 40A-HS-110, 50A-HS-4, 100A-HS-109, 250A-HS-3,</li> <li>最高使用温度：204℃</li> <li>最高使用圧力：1.57MPa</li> </ul>	<p>3. 実評価の流れ</p> <p>表1に示す高エネルギー配管の想定破損除外又は貫通クラックを適用する溢水防護区画内の配管系について、標準支持間隔法又は3次元はりモデル解析により発生応力を算出する。以下に解析条件を示す。</p> <p>(1) 系統条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助蒸気系統</li> <li>最高使用温度：185℃</li> <li>最高使用圧力：0.93MPa</li> <li>・蒸気発生器ブローダウン系統</li> <li>最高使用温度：291℃</li> <li>最高使用圧力：7.48MPa</li> <li>・主蒸気系統</li> <li>最高使用温度：291℃</li> <li>最高使用圧力：7.48MPa</li> </ul>	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊は高エネルギー配管に対して、貫通クラックを適用している系統がある。（大阪、高浜、美浜、玄海、川内、伊方と同様）</li> <li>・泊では標準支持間隔法により発生応力が最も高くなるものを代表ブロックとして抽出し、3次元はりモデル解析を実施している。また、代表ブロック以外の系統については、標準支持間隔法による評価を実施し、許容応力を満足しない場合は、3次元はりモデル解析を実施している。（大阪、川内、玄海と同様）</li> </ul> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラント設計による系統の相違。</li> <li>・女川では、想定破損除外のために3次元はりモデル解析を実施する配管を抽出し、当該配管の溢水防護区画番号及びライン番号を記載している。</li> <li>・泊では、原則として標準支持間隔法を用いた応力評価を実施するため個別配管の溢水防護区画番号及びライン番号を特定する必要はないが、3次元はりモデル解析を実施する一部の配管については解析モデル図で対象配管を明確にしている。（後段の9-別添1-添13-8の大阪の図1を参照。）</li> <li>・系統の相違による最高使用温度、最高使用圧力の相違</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料13）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
<p style="text-align: right;">補足資料3-3（別紙1）</p> <p>6. 標準支持間隔法に用いる SPAN コード</p> <table border="1" data-bbox="123 391 678 531"> <thead> <tr> <th>対象設備</th> <th>計算機 プログラム名 (解析コード名)</th> <th>計算機 プログラム バージョン</th> <th>製造元</th> <th>解析対象 (使用目的)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配管類</td> <td>SPAN2000</td> <td>4.0</td> <td>三菱重工</td> <td>耐震最大 支持間隔算出</td> </tr> </tbody> </table> <p>【美浜3号炉】                  まとめ資料 p.1-9-補-157 より抜粋</p> <table border="1" data-bbox="138 659 663 815"> <thead> <tr> <th>対象設備</th> <th>計算機 プログラム名 (解析コード名)</th> <th>計算機 プログラム バージョン</th> <th>製造元</th> <th>解析対象 (使用目的)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配管類</td> <td>SPAN2000</td> <td>4.0 5.0 6.0</td> <td>三菱重工</td> <td>耐震最大 支持間隔算出</td> </tr> </tbody> </table>	対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)	配管類	SPAN2000	4.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出	対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)	配管類	SPAN2000	4.0 5.0 6.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出	<p>(2) 地震条件                      弾性設計用地震動 Sd の 1/3 を入力とし、水平及び鉛直地震動を考慮し、スペクトルモーダル解析にて応力を算出する。</p> <p>(3) 解析コード                       SOLVER Rev.02.05</p> <p>(4) その他                      100A-RCIC-6-2 については、運転期間が短期間（プラントの通常運転時の1%より小さい）であることから、低エネルギー配管に分類した上で、評価を実施する。</p>	<p>(2) 地震条件                      弾性設計用地震動 Sd の 1/3 を入力とし、水平及び鉛直地震動を考慮し、スペクトルモーダル解析にて応力を算出する。</p> <p>(3) 解析コード                      ・標準支持間隔法                      SPAN2000 Ver. 4.0 Ver. 5.0 Ver. 6.0                      ・3次元はりモデル解析                      MSAP PCI.0 版</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】                      設計方針の相違                      ・泊では、原則標準支持間隔法による解析を実施しており、必要に応じて3次元はりモデル解析を実施している。                      ・SPANコードについては、大飯も同様にSPAN2000を用いており、美浜においては、泊と同様のVerを用いている。                      ・泊でも女川と同様に3次元はりモデル解析を実施しており、「MSAP PCI.0 版」を用いている。本解析コードについては、先行PWRの資料には記載がなかったものの、メーカー確認の結果、先行PWRでは泊と同様のコードを使用していることを確認している。</p> <p>【大飯】                      記載表現の相違                      記載方針の相違                      女川審査実績の反映</p> <p>【女川】                      記載内容の相違                      女川は区画内のHS系統について抽出した上で、HS系統に含まれているRCIC配管の運転時間が短期間で低エネルギー配管であることを記載している。泊では、その他として記載する内容は無い。</p>
対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)																			
配管類	SPAN2000	4.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出																			
対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)																			
配管類	SPAN2000	4.0 5.0 6.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料13）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2. 破損形状の設定フロー</p> <p>図1 高エネルギー配管の破損形状の評価フロー</p>		<p>(4) 破損形状の評価フロー</p> <p>高エネルギー配管の破損形状の評価フローを図1に示す。</p> <p>図1 高エネルギー配管の破損形状の評価フロー</p>	<p>【女川】                  設計方針の相違                  泊は原則標準支持間隔法を用いており、必要に応じて3次元はりモデル解析を実施しているため、評価フローを記載した。（評価フローについては、大阪と同様）</p> <p>【大阪】                  記載表現の相違                  大阪の図の名称が評価フロー、タイトルが設定フローとなっているため、泊ではタイトルと図の名称の統一を図り、評価フローとして記載する。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3.3. 破損形状の決定</p> <p>すべての建屋、階高で配管に発生する最大応力は0.8Saを下回っていることを確認した。したがって、高エネルギー配管に想定する破損形状は貫通クラックとした。</p> <p>すべての建屋、階高で配管に発生する最大応力は0.8Saを下回っていることを確認した。したがって、高エネルギー配管に想定する破損形状は貫通クラックとした。</p>	<p>4. 高エネルギー配管（加熱蒸気系）の想定破損除外の評価結果</p> <p>評価の結果、加熱蒸気系及び復水戻り系配管の応力は、サポート追設の対応を実施することにより、<math>S_n \leq 0.4S_a</math> となり、想定破損除外を適用できることを確認した。</p> <p>なお、評価対象となる区画内には、ターミナルエンドが設置されていないことを確認している。</p> <p>対象とした加熱蒸気系配管のモデル図を図 1~3 に、最大応力発生箇所における応力評価結果を表 3 に示す。</p>	<p>4. 高エネルギー配管（補助蒸気系統、蒸気発生器ブローダウン系統、主蒸気系統）の応力評価結果</p> <p>評価の結果、補助蒸気系統配管の応力は <math>0.4S_a &lt; S_n \leq 0.8S_a</math> となり、貫通クラックを適用できることを確認した。また、蒸気発生器ブローダウン系統及び主蒸気系統配管の応力は、サポート追設の対応を実施することにより、<math>S_n \leq 0.4S_a</math> となり、想定破損除外を適用できることを確認した。</p> <p>なお、評価対象となる区画内には、ターミナルエンドが設置されていないことを確認している。</p> <p>対象とした補助蒸気系統配管、蒸気発生器ブローダウン系統配管及び主蒸気系統配管のモデル図を図 2, 3 に、最大応力発生箇所における応力評価結果を表 3, 4 に示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>追而【地震津波側審査の反映】                  以下、<span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">破線囲部分</span>は基準地震動確定後に反映する。</p> </div>	<p>【女川】                  設計方針の相違                  ・プラント設計による系統の相違                  ・泊は想定破損除外の適用に加えて貫通クラックを適用している配管もあるため、応力評価結果としている。〔大阪、高浜、美浜、玄海、川内、伊方と同様〕</p> <p>【大阪】                  記載方針の相違                  ・女川審査実績を反映し、評価結果について、一次応力+二次応力 <math>S_n</math> の数値を記載した上で許容応力を満足することを記載する。</p> <p>【女川】                  設計方針の相違                  ・プラント設計による系統の相違。                  ・泊は想定破損除外の適用に加えて貫通クラックを適用している配管がある。〔大阪、高浜、美浜、玄海、川内、伊方と同様〕</p> <p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計による系統の相違                  記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																				
<p>【玄海3/4号炉】                      まとめ資料 p.9 条-別添1-補3-1-16 より抜粋                      表-1 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）</p> <table border="1" data-bbox="152 336 663 416"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>EL. (m)</th> <th>配管仕様</th> <th>配管名</th> <th>一次+二次応力 (MPa)</th> <th>許容値※ (0.8Sa (MPa))</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A/B</td> <td>~19.25</td> <td>1-1/2B-sch40</td> <td>補助蒸気系統配管</td> <td>101</td> <td>170</td> </tr> </tbody> </table>	建屋	EL. (m)	配管仕様	配管名	一次+二次応力 (MPa)	許容値※ (0.8Sa (MPa))	A/B	~19.25	1-1/2B-sch40	補助蒸気系統配管	101	170	<p>表3 最大応力発生箇所における応力評価結果(1/3)</p> <table border="1" data-bbox="703 217 1256 991"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区画</th> <th rowspan="2">解析モデル (対象ライン)</th> <th colspan="5">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧 応力</th> <th>自重 応力</th> <th>地震 応力</th> <th>二次 応力</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">R-1F-5</td> <td>HS-002 (200A-HS-100-1)</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>10</td> <td>48</td> <td>66<sup>MPa</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HS-001 (50A-HS-4)</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>16</td> <td>27</td> <td>49<sup>MPa</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>R-1F-12</td> <td>HS-001 (50A-HS-4)</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>79</td> <td>92<sup>MPa</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">R-B1F-1</td> <td>HS-001-1 (100A-HS-121)</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>70</td> <td>85<sup>MPa</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HS-004 (40A-HS-110)</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>23</td> <td>63</td> <td>93<sup>MPa</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HSCR-003 (200A-HSCR-152-2)</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>14</td> <td>77</td> <td>100<sup>MPa</sup></td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>HSCR-003 (25A-HSCR-220)</td> <td colspan="5">評価除外 (25A以下)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">R-B2F-1</td> <td>HS-001-1 (100A-HS-121)</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>15</td> <td>68</td> <td>91<sup>MPa</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HS-001-1 (100A-HS-123)</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>18</td> <td>64</td> <td>88<sup>MPa</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HS-001-1 (100A-HS-127)</td> <td>5</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>59</td> <td>84<sup>MPa</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HS-004 (40A-HS-110)</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>14</td> <td>72</td> <td>93<sup>MPa</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HSCR-003 (200A-HSCR-152-2)</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>19</td> <td>78</td> <td>105<sup>MPa</sup></td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>HSCR-003 (200A-HSCR-153)</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>45<sup>MPa</sup></td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>HS-004 (40A-HSCR-208)</td> <td>2</td> <td>11</td> <td>30</td> <td>52</td> <td>95<sup>MPa</sup></td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 サポート追加後(対策後)の評価値であり、設計進捗により変更の可能性有り</p>	区画	解析モデル (対象ライン)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)	内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計	R-1F-5	HS-002 (200A-HS-100-1)	7	1	10	48	66 <sup>MPa</sup>	100	HS-001 (50A-HS-4)	5	1	16	27	49 <sup>MPa</sup>	100	R-1F-12	HS-001 (50A-HS-4)	5	1	7	79	92 <sup>MPa</sup>	100	R-B1F-1	HS-001-1 (100A-HS-121)	5	4	6	70	85 <sup>MPa</sup>	100	HS-004 (40A-HS-110)	3	4	23	63	93 <sup>MPa</sup>	100	HSCR-003 (200A-HSCR-152-2)	7	2	14	77	100 <sup>MPa</sup>	111	HSCR-003 (25A-HSCR-220)	評価除外 (25A以下)						R-B2F-1	HS-001-1 (100A-HS-121)	5	3	15	68	91 <sup>MPa</sup>	100	HS-001-1 (100A-HS-123)	5	1	18	64	88 <sup>MPa</sup>	100	HS-001-1 (100A-HS-127)	5	11	9	59	84 <sup>MPa</sup>	100	HS-004 (40A-HS-110)	3	4	14	72	93 <sup>MPa</sup>	100	HSCR-003 (200A-HSCR-152-2)	7	1	19	78	105 <sup>MPa</sup>	111	HSCR-003 (200A-HSCR-153)	7	4	17	17	45 <sup>MPa</sup>	111	HS-004 (40A-HSCR-208)	2	11	30	52	95 <sup>MPa</sup>	100	<p>表3 最大応力発生箇所における応力評価結果（貫通クラック）</p> <table border="1" data-bbox="1285 209 1854 336"> <thead> <tr> <th rowspan="2">配管</th> <th rowspan="2">口径 (B)</th> <th colspan="5">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.8Sa (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧 応力</th> <th>自重 応力</th> <th>地震 応力</th> <th>二次 応力</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助蒸気系統配管</td> <td>4</td> <td>4.5</td> <td>22.1</td> <td>32.3</td> <td>100</td> <td>159</td> <td>169</td> </tr> </tbody> </table>	配管	口径 (B)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.8Sa (MPa)	内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計	補助蒸気系統配管	4	4.5	22.1	32.3	100	159	169	<p>【女川】                      設計方針の相違                      ・泊は想定破損除外を適用する他に、貫通クラックを適用するパターンがあり、想定破損除外と貫通クラックで許容値が異なるため、表3（貫通クラック）と表4（想定破損除外）に分けて記載している。                      ・女川は、溢水防護区画内の応力評価が必要な配管ラインを特定した上で、3次元はりモデル解析を実施している。一方、泊でも3次元はりモデル解析を実施しているが、対象ライン名称及び区画の特定を実施していないことから、記載しない。（玄海と同様）                      ・一次+二次応力の相違はプラント系統構成による相違。許容値は材質が異なることによる相違。</p> <p>【玄海】                      表の体裁は女川を参照し記載するが、参考として補助蒸気配管に対して貫通クラックを想定する評価結果を示す。</p>
建屋	EL. (m)	配管仕様	配管名	一次+二次応力 (MPa)	許容値※ (0.8Sa (MPa))																																																																																																																																																		
A/B	~19.25	1-1/2B-sch40	補助蒸気系統配管	101	170																																																																																																																																																		
区画	解析モデル (対象ライン)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)																																																																																																																																																
		内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計																																																																																																																																																	
R-1F-5	HS-002 (200A-HS-100-1)	7	1	10	48	66 <sup>MPa</sup>	100																																																																																																																																																
	HS-001 (50A-HS-4)	5	1	16	27	49 <sup>MPa</sup>	100																																																																																																																																																
R-1F-12	HS-001 (50A-HS-4)	5	1	7	79	92 <sup>MPa</sup>	100																																																																																																																																																
R-B1F-1	HS-001-1 (100A-HS-121)	5	4	6	70	85 <sup>MPa</sup>	100																																																																																																																																																
	HS-004 (40A-HS-110)	3	4	23	63	93 <sup>MPa</sup>	100																																																																																																																																																
	HSCR-003 (200A-HSCR-152-2)	7	2	14	77	100 <sup>MPa</sup>	111																																																																																																																																																
	HSCR-003 (25A-HSCR-220)	評価除外 (25A以下)																																																																																																																																																					
R-B2F-1	HS-001-1 (100A-HS-121)	5	3	15	68	91 <sup>MPa</sup>	100																																																																																																																																																
	HS-001-1 (100A-HS-123)	5	1	18	64	88 <sup>MPa</sup>	100																																																																																																																																																
	HS-001-1 (100A-HS-127)	5	11	9	59	84 <sup>MPa</sup>	100																																																																																																																																																
	HS-004 (40A-HS-110)	3	4	14	72	93 <sup>MPa</sup>	100																																																																																																																																																
	HSCR-003 (200A-HSCR-152-2)	7	1	19	78	105 <sup>MPa</sup>	111																																																																																																																																																
	HSCR-003 (200A-HSCR-153)	7	4	17	17	45 <sup>MPa</sup>	111																																																																																																																																																
	HS-004 (40A-HSCR-208)	2	11	30	52	95 <sup>MPa</sup>	100																																																																																																																																																
配管	口径 (B)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.8Sa (MPa)																																																																																																																																																
		内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計																																																																																																																																																	
補助蒸気系統配管	4	4.5	22.1	32.3	100	159	169																																																																																																																																																

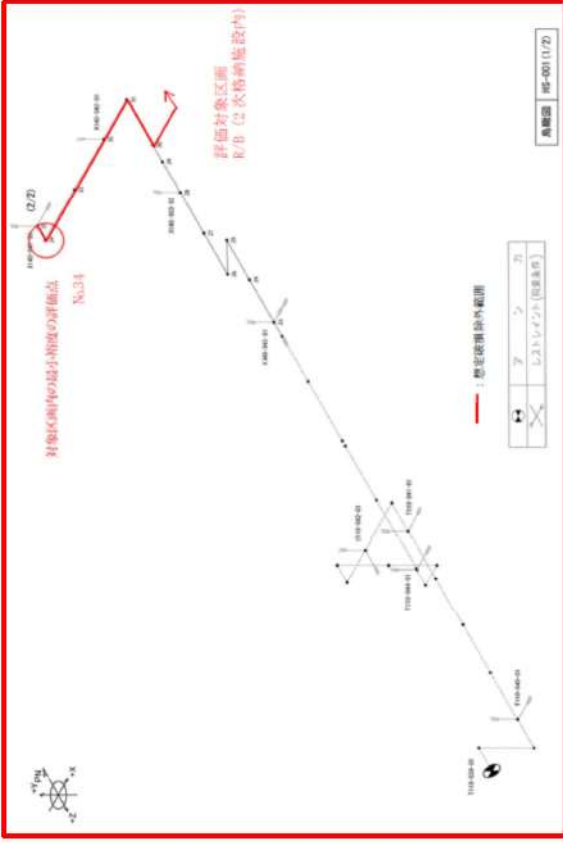
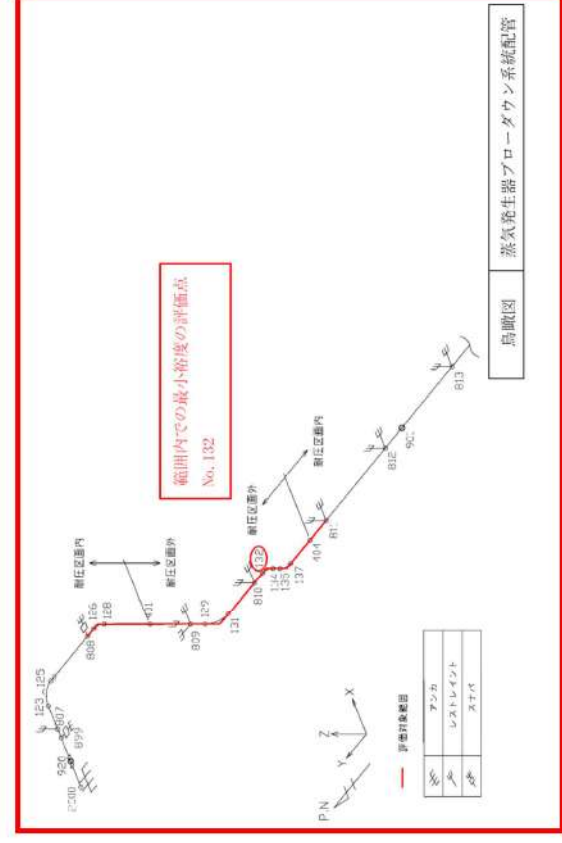
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																					
	<p>表3 最大応力発生箇所における応力評価結果(2/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区画</th> <th rowspan="2">解析モデル (対象ライン)</th> <th colspan="5">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧 応力</th> <th>自重 応力</th> <th>地震 応力</th> <th>二次 応力</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">R-B2F-1</td> <td>HS-004 (25A-HSCR-159) (25A-HSCR-206)</td> <td colspan="5" rowspan="2">評価除外 (25A 以下)</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>HSCR-003 (20A-HSCR-452-1) (20A-HSCR-452-2)</td> </tr> <tr> <td>R-B2F-5</td> <td>HS-004 (40A-HSCR-208)</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>85</td> <td>95<sup>※1</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">R-B3F-2</td> <td>HS-130 (20A-HS-129)</td> <td colspan="5" rowspan="5">評価除外 (25A 以下)</td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td>HS-104 (20A-HS-733)</td> </tr> <tr> <td>HS-105 (20A-HS-734)</td> </tr> <tr> <td>HSCR-001-1 (25A-HSCR-241) (25A-HSCR-242) (25A-HSCR-243) (25A-HSCR-244) (25A-HSCR-245) (20A-HSCR-581-1) (20A-HSCR-582-1)</td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">C-1F-1</td> <td>HS-003 (250A-HS-3)</td> <td>13</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>77</td> <td>95<sup>※1</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HSCR-001 (80A-HSCR-85)</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>87</td> <td>97<sup>※1</sup></td> <td>111</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">C-1F-3</td> <td>HS-003 (250A-HS-3)</td> <td>13</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>68</td> <td>88<sup>※1</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HSCR-001 (80A-HSCR-85)</td> <td>5</td> <td>13</td> <td>7</td> <td>22</td> <td>47<sup>※1</sup></td> <td>111</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 サポート追加後(対新機)の評価値であり、設計進捗により変更の可能性有り</p>	区画	解析モデル (対象ライン)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)	内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計	R-B2F-1	HS-004 (25A-HSCR-159) (25A-HSCR-206)	評価除外 (25A 以下)						HSCR-003 (20A-HSCR-452-1) (20A-HSCR-452-2)	R-B2F-5	HS-004 (40A-HSCR-208)	3	1	6	85	95 <sup>※1</sup>	100	R-B3F-2	HS-130 (20A-HS-129)	評価除外 (25A 以下)						HS-104 (20A-HS-733)	HS-105 (20A-HS-734)	HSCR-001-1 (25A-HSCR-241) (25A-HSCR-242) (25A-HSCR-243) (25A-HSCR-244) (25A-HSCR-245) (20A-HSCR-581-1) (20A-HSCR-582-1)		C-1F-1	HS-003 (250A-HS-3)	13	2	3	77	95 <sup>※1</sup>	100	HSCR-001 (80A-HSCR-85)	5	2	3	87	97 <sup>※1</sup>	111	C-1F-3	HS-003 (250A-HS-3)	13	1	6	68	88 <sup>※1</sup>	100	HSCR-001 (80A-HSCR-85)	5	13	7	22	47 <sup>※1</sup>	111	<p>表4 最大応力発生箇所における応力評価結果(想定破損除外)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">配管</th> <th rowspan="2">口径 (B)</th> <th colspan="5">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧 応力</th> <th>自重 応力</th> <th>地震 応力</th> <th>二次 応力</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蒸気発生器ブロー ダウン系統配管</td> <td>3</td> <td>33.3</td> <td>0.6</td> <td>32.9</td> <td>13.3</td> <td>81</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>主蒸気系統配管</td> <td>3</td> <td>32.9</td> <td>0.4</td> <td>57.7</td> <td>1.5</td> <td>93</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	配管	口径 (B)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)	内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計	蒸気発生器ブロー ダウン系統配管	3	33.3	0.6	32.9	13.3	81	100	主蒸気系統配管	3	32.9	0.4	57.7	1.5	93	100	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違          設計方針の相違</p> <p>・一次+二次応力の相違はプラン          ト系統構成による相違。許容値は          材質が異なることによる相違</p> <p>・泊でも3次元はりモデル解析を          実施しているが、対象ライン名称          及び区画の特定を実施していない          ことから、記載していない。(表          海と同様)</p>
区画	解析モデル (対象ライン)			一次+二次応力 (MPa)						許容値 0.4Sa (MPa)																																																																																														
		内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計																																																																																																		
R-B2F-1	HS-004 (25A-HSCR-159) (25A-HSCR-206)	評価除外 (25A 以下)																																																																																																						
	HSCR-003 (20A-HSCR-452-1) (20A-HSCR-452-2)																																																																																																							
R-B2F-5	HS-004 (40A-HSCR-208)	3	1	6	85	95 <sup>※1</sup>	100																																																																																																	
R-B3F-2	HS-130 (20A-HS-129)	評価除外 (25A 以下)																																																																																																						
	HS-104 (20A-HS-733)																																																																																																							
	HS-105 (20A-HS-734)																																																																																																							
	HSCR-001-1 (25A-HSCR-241) (25A-HSCR-242) (25A-HSCR-243) (25A-HSCR-244) (25A-HSCR-245) (20A-HSCR-581-1) (20A-HSCR-582-1)																																																																																																							
C-1F-1	HS-003 (250A-HS-3)	13	2	3	77	95 <sup>※1</sup>	100																																																																																																	
	HSCR-001 (80A-HSCR-85)	5	2	3	87	97 <sup>※1</sup>	111																																																																																																	
C-1F-3	HS-003 (250A-HS-3)	13	1	6	68	88 <sup>※1</sup>	100																																																																																																	
	HSCR-001 (80A-HSCR-85)	5	13	7	22	47 <sup>※1</sup>	111																																																																																																	
配管	口径 (B)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)																																																																																																	
		内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計																																																																																																		
蒸気発生器ブロー ダウン系統配管	3	33.3	0.6	32.9	13.3	81	100																																																																																																	
主蒸気系統配管	3	32.9	0.4	57.7	1.5	93	100																																																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

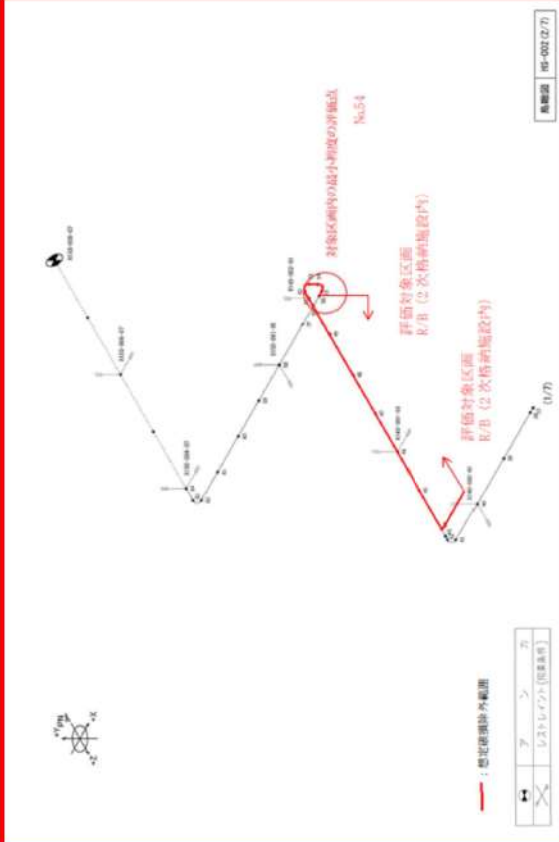
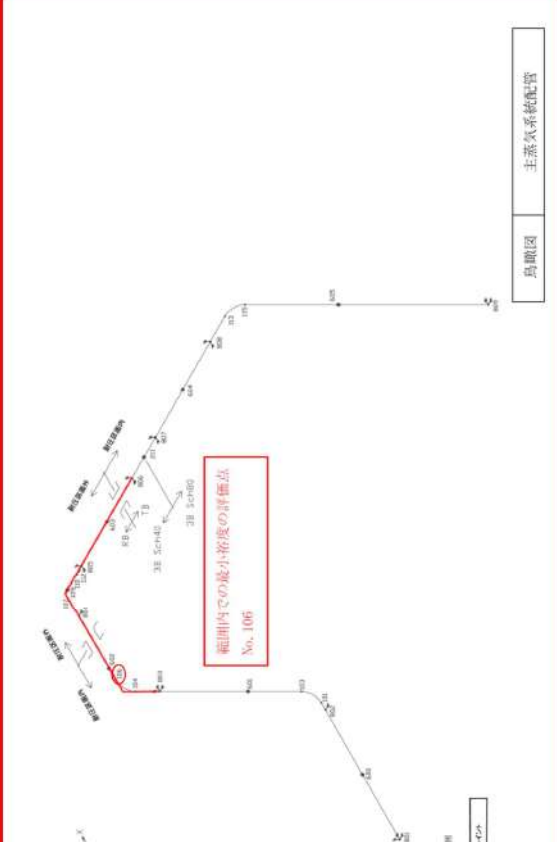
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																	
	<p>表3 最大応力発生箇所における応力評価結果(3/3)</p> <table border="1" data-bbox="707 217 1272 453"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区画</th> <th rowspan="2">解析モデル (対象ライン)</th> <th colspan="4">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧 応力</th> <th>自重 応力</th> <th>地震 応力</th> <th>二次 応力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">非管理 区域 (T/D)</td> <td>HSCR-003 (150A-HSCR-79)</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>11</td> <td>40</td> <td>60<sup>*)</sup></td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>HSCR-003 (80A-HSCR-54-3)</td> <td>5</td> <td>18</td> <td>32</td> <td>47</td> <td>102<sup>*)</sup></td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>HSCR-003 (50A-HSCR-75)</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>18</td> <td>85</td> <td>110<sup>*)</sup></td> <td>111</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 サポート追加後(対策後)の評価値であり、設計進捗により変更の可能性有り</p>	区画	解析モデル (対象ライン)	一次+二次応力 (MPa)				許容値 0.4Sa (MPa)	内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	非管理 区域 (T/D)	HSCR-003 (150A-HSCR-79)	5	4	11	40	60 <sup>*)</sup>	111	HSCR-003 (80A-HSCR-54-3)	5	18	32	47	102 <sup>*)</sup>	111	HSCR-003 (50A-HSCR-75)	3	4	18	85	110 <sup>*)</sup>	111		<p>【女川】                  記載表現の相違                  設計方針の相違                  ・一次+二次応力の相違はプラン                  ト系統構成による相違。許容値は                  材質が異なることによる相違                  ・泊でも3次元はりモデル解析を                  実施しているが、対象ライン名称                  及び区画の特定を実施していない                  ことから、記載していない。(玄                  海と同様)</p>
区画	解析モデル (対象ライン)			一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)																											
		内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力																															
非管理 区域 (T/D)	HSCR-003 (150A-HSCR-79)	5	4	11	40	60 <sup>*)</sup>	111																													
	HSCR-003 (80A-HSCR-54-3)	5	18	32	47	102 <sup>*)</sup>	111																													
	HSCR-003 (50A-HSCR-75)	3	4	18	85	110 <sup>*)</sup>	111																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

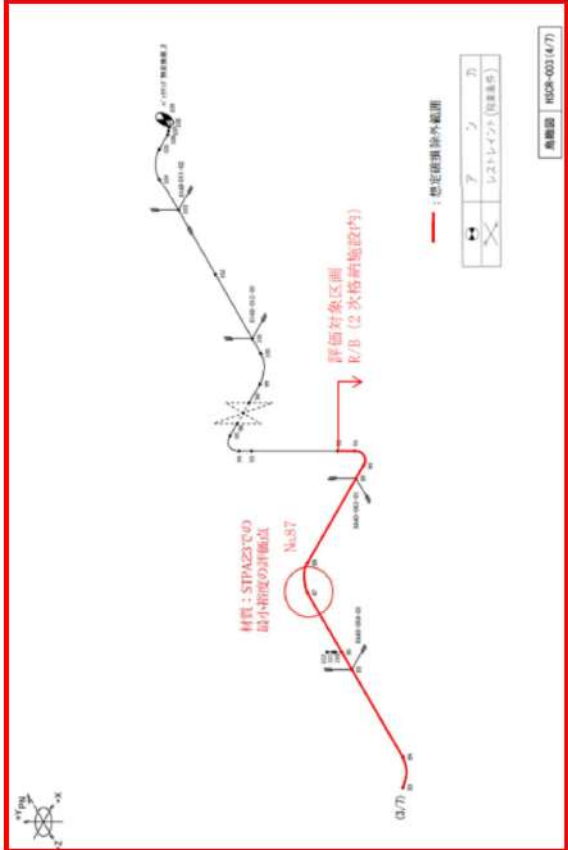
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="779 1066 1182 1093">図1 HS-001 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>	 <p data-bbox="1288 1066 1859 1125">図2 蒸気発生器ブロードダウン系統配管 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>	<p data-bbox="1877 183 1937 207">【女川】</p> <p data-bbox="1877 215 2128 271">設計方針の相違                      応力評価の対象とした系統の相違</p> <p data-bbox="1877 1066 1937 1090">【女川】</p> <p data-bbox="1877 1098 1993 1121">記載表現の相違</p>



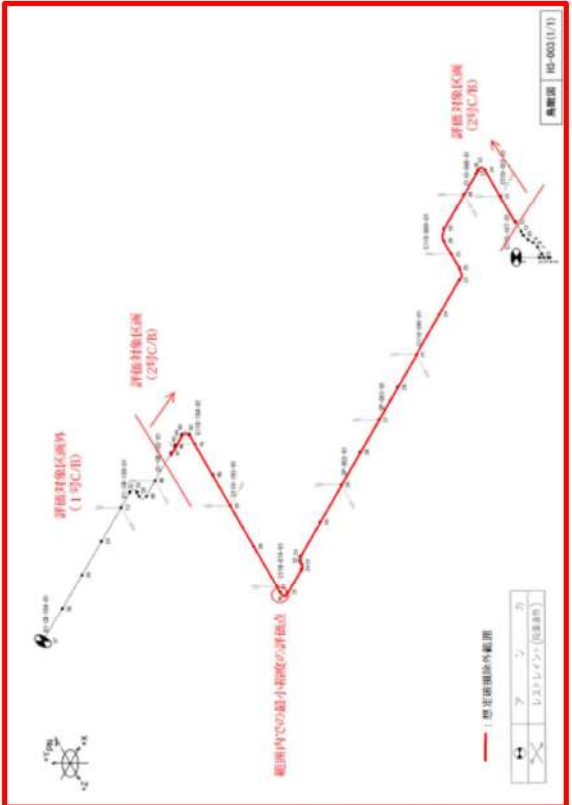
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>図2は、HS-002の解析モデル図を示しています。最小裕度の範囲は赤い線で示されています。図には、対象区域の最小裕度の評価点 No.54、評価対象区域 R/B (2次給水配管設備内)、および評価対象区域 R/B (2次給水配管設備内) の注釈があります。また、HS-002(2/F) と HS-002(1/F) のラベルも含まれています。</p>	 <p>図3は、主蒸気系統配管の解析モデル図を示しています。最小裕度の範囲は赤い線で示されています。図には、範囲内での最小裕度の評価点 No.106 の注釈があります。また、主蒸気系統配管と島嶼図のラベルも含まれています。</p>	<p><b>【女川】</b></p> <p><u>設計方針の相違</u>    応力評価の対象とした系統の相違</p> <p><b>【女川】</b></p> <p><u>記載表現の相違</u></p>
	<p>図2 HS-002 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>	<p>図3 主蒸気系統配管 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>	

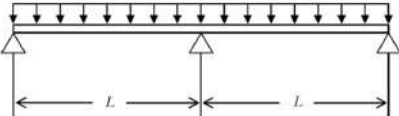
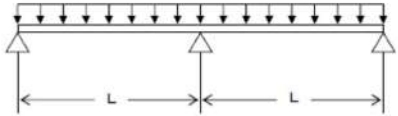
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="705 1133 1270 1157">図3 HSCR-003 解析モデル図 (STPA23 最小裕度の範囲) (1/2)</p>		<p data-bbox="1874 183 2136 271">【女川】 設計方針の相違 応力評価の対象とした系統の相違</p> <p data-bbox="1874 1029 2136 1093">【女川】 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="703 995 1272 1023">図3 HSCR-003 解析モデル図 (STPA23 最小裕度の範囲) (2/2)</p>		<p data-bbox="1874 177 2136 268">【女川】                  設計方針の相違                  応力評価の対象とした系統の相違</p> <p data-bbox="1874 962 2136 1023">【女川】                  記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">別紙3</p> <p>標準支持間隔法による一次応力評価</p> <p>1. 基本方針</p> <p>本件の想定破損の配管強度評価は、高エネルギー配管のうち補助蒸気供給配管と低エネルギー配管の一次応力に対して標準支持間隔法を用いている。標準支持間隔法では、標準支持間隔以下で配管を敷設することで、発生応力が標準支持間隔で算出した一次応力以下となる。</p> <p>標準支持間隔の算出は以下の基準及び規格に基づき実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針」（JEAG4601-1987）</li> <li>・日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針重要度分類・許容応力編」（JEAG4601・補-1984）</li> <li>・日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針」（JEAG4601-1991 追補版）</li> <li>・日本機械学会「発電用原子力設備規格設計・建設規格」（JSME S NC1-2005/2007）</li> </ul> <p>評価に用いる弾性設計用地震動 <math>S_d</math> に基づく床応答曲線は、耐震設計で用いるものと同じである。</p> <p>また、標準支持間隔の計算に用いる配管系の設計用減衰については、5. 参考文献に示す既往研究等において試験等により妥当性が確認されている値を使用する。（参考文献参照）</p> <p>2. 支持間隔算出の方法</p> <p>2.1. 概要</p> <p>標準支持間隔は、配管系の内圧、自重及び地震力に基づき、一次応力の評価基準値内になるように階高に応じて算出する。なお、地震応力の算出に当たっては、耐震設計で用いる各弾性設計用地震動 <math>S_d</math> による床応答曲線と同じものを用いる。</p> <p>2.2. 直管部の支持間隔</p> <p>2.2.1. 解析モデル</p> <p>各種配管を図5のように支持間隔Lで3点支持した等分布質量の連続はりにモデル化する。この場合、支持点の拘束方向は軸直角方向のみとし、軸方向及び回転に対しては自由とする。</p>  <p style="text-align: center;">図5 標準支持間隔法の解析モデル</p>		<p style="text-align: right;">別紙</p> <p>標準支持間隔法による一次応力評価</p> <p>1. 基本方針</p> <p>想定破損の配管強度評価は、高エネルギー配管のうち補助蒸気系統配管及び低エネルギー配管の一次応力に対して標準支持間隔法を用いている。標準支持間隔法では、標準支持間隔以下で配管を敷設することで、発生応力が標準支持間隔で算出した一次応力以下となる。</p> <p>標準支持間隔の算出は以下の基準及び規格に基づき実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針」（JEAG4601-1987）</li> <li>・日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針重要度分類・許容応力編」（JEAG4601・補-1984）</li> <li>・日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針」（JEAG4601-1991 追補版）</li> <li>・日本機械学会「発電用原子力設備規格設計・建設規格」（JSME S NC1-2005/2007）</li> </ul> <p>評価に用いる弾性設計用地震動に基づく床応答曲線は、耐震設計で用いるものと同じである。</p> <p>また、標準支持間隔の計算に用いる配管系の設計用減衰については、5. 参考文献に示す既往研究等において試験等により妥当性が確認されている値を使用する。（参考文献参照）</p> <p>2. 支持間隔算出の方法</p> <p>2.1 概要</p> <p>標準支持間隔は、配管系の内圧、自重及び地震力に基づき、一次応力の評価基準値内になるように階高に応じて算出する。なお、地震応力の算出に当たっては、耐震設計で用いる各弾性設計用地震動による床応答曲線と同じものを用いる。</p> <p>2.2 支持間隔</p> <p>2.2.1 解析モデル</p> <p>各種配管を図1のように支持間隔Lで3点支持した等分布質量の連続はりにモデル化する。この場合、支持点の拘束方向は軸直角方向のみとし、軸方向及び回転に対しては自由とする。</p>  <p style="text-align: center;">図1 標準支持間隔法の解析モデル</p>	<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊では、想定破損における一次応力を算出するために標準支持間隔法を用いている。一方、女川では溢水影響評価上必要な配管について、3次元はりモデル解析を実施しているため、別紙の内容については、大飯の資料との比較を実施する。</p> <p>【大飯】</p> <p><u>記載表現の相違</u></p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料13）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																				
<p>2.2.2.解析条件及び解析方法</p> <p>①各種配管について、内圧及び自重の影響と地震力（(1/3) Sd）による応力を算出して最大支持間隔を求める。</p> <p>②配管の自重は、配管自体の重量と内部流体の重量とを合計した値とする。さらに、保温材ありの配管についてはその重量を考慮する。また、高エネルギー配管は別途二次応力として熱応力（100MPa）を考慮する。</p> <p>3. 地震力</p> <p>解析に使用する地震力（(1/3) Sd）は表2のとおりである。なお、減衰の設定において、保温材の効果は考慮している。</p> <p style="text-align: center;">表2 地震力の種類例</p> <table border="1" data-bbox="118 560 680 715"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>床応答曲線高さ E.L.+(m)</th> <th>減衰(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉</td> <td>低:17.1、26.0、33.6、47.3</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> <tr> <td>周辺建屋</td> <td>高:33.6~17.1、33.6</td> <td>0.5、1.5、3.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">制御建屋</td> <td>低:11.5、15.8、21.3、26.1、33.6</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> <tr> <td>高:33.6~15.8、33.6</td> <td>0.5、1.5、3.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>低:低エネルギー配管、高:高エネルギー（補助蒸気）配管</p> <p>4. 具体的な評価手順</p> <p>一次応力のうち標準支持間隔法を用いた具体的な評価手順を以下の図6に示す。</p>	建屋	床応答曲線高さ E.L.+(m)	減衰(%)	原子炉	低:17.1、26.0、33.6、47.3	0.5、2.0	周辺建屋	高:33.6~17.1、33.6	0.5、1.5、3.0	制御建屋	低:11.5、15.8、21.3、26.1、33.6	0.5、2.0	高:33.6~15.8、33.6	0.5、1.5、3.0		<p>2. 2. 2 解析条件及び解析方法</p> <p>①各種配管について、内圧及び自重の影響と地震力（(1/3) Sd）による応力を算出して最大支持間隔を求める。</p> <p>②配管の自重は、配管自体の重量と内部流体の重量とを合計した値とする。さらに、保温材ありの配管についてはその重量を考慮する。また、高エネルギー配管は別途二次応力として熱応力（100MPa）を考慮する。</p> <p>3. 地震力</p> <p>解析に使用する地震力（(1/3) Sd）は表1のとおりである。なお、減衰の設定において、保温材の効果は考慮している。</p> <p style="text-align: center;">表1 地震力の種類例</p> <table border="1" data-bbox="1292 560 1854 858"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>床応答曲線高さ T.P. (m)</th> <th>減衰 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">周辺補機棟 (RE/B)</td> <td>低:17.8、24.8、33.1</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> <tr> <td>高:17.8、24.8、33.1</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>燃料取扱棟 (FH/B)</td> <td>低:41.0、47.6、55.0</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉補助建屋 (A/B)</td> <td>低:10.3、17.8、24.8、33.1、38.1、40.3、42.2、43.3、47.6</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> <tr> <td>高:10.3、17.8、24.8、33.1</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機建屋 (DG/B)</td> <td>低:10.3、18.8</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> <tr> <td>循環水ポンプ建屋 (CWF/B)</td> <td>低:10.05</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>低:低エネルギー配管、高:高エネルギー（補助蒸気）配管</p> <p>4. 具体的な評価手順</p> <p>一次応力のうち標準支持間隔法を用いた具体的な評価手順を以下の図2に示す。</p>	建屋	床応答曲線高さ T.P. (m)	減衰 (%)	周辺補機棟 (RE/B)	低:17.8、24.8、33.1	0.5、2.0	高:17.8、24.8、33.1	1.5	燃料取扱棟 (FH/B)	低:41.0、47.6、55.0	0.5、2.0	原子炉補助建屋 (A/B)	低:10.3、17.8、24.8、33.1、38.1、40.3、42.2、43.3、47.6	0.5、2.0	高:10.3、17.8、24.8、33.1	1.5	ディーゼル発電機建屋 (DG/B)	低:10.3、18.8	0.5、2.0	循環水ポンプ建屋 (CWF/B)	低:10.05	0.5、2.0	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 プラント設計による建屋名称、床応答曲線高さ、減衰の相違</p> <p>【大飯】 記載表現の相違</p>
建屋	床応答曲線高さ E.L.+(m)	減衰(%)																																					
原子炉	低:17.1、26.0、33.6、47.3	0.5、2.0																																					
周辺建屋	高:33.6~17.1、33.6	0.5、1.5、3.0																																					
制御建屋	低:11.5、15.8、21.3、26.1、33.6	0.5、2.0																																					
	高:33.6~15.8、33.6	0.5、1.5、3.0																																					
建屋	床応答曲線高さ T.P. (m)	減衰 (%)																																					
周辺補機棟 (RE/B)	低:17.8、24.8、33.1	0.5、2.0																																					
	高:17.8、24.8、33.1	1.5																																					
燃料取扱棟 (FH/B)	低:41.0、47.6、55.0	0.5、2.0																																					
原子炉補助建屋 (A/B)	低:10.3、17.8、24.8、33.1、38.1、40.3、42.2、43.3、47.6	0.5、2.0																																					
	高:10.3、17.8、24.8、33.1	1.5																																					
ディーゼル発電機建屋 (DG/B)	低:10.3、18.8	0.5、2.0																																					
循環水ポンプ建屋 (CWF/B)	低:10.05	0.5、2.0																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料13）

大飯発電所3/4号炉

設計用応答曲線

入力地震動	(1/3)Sd <sup>®</sup>
減衰	EAG等の値
応答曲線高さ	耐震設計と同じ
応答曲線容れめ	有
応答曲線ピーク保持	有
NS・EV包括	有

※スペクトル波と断層波を包括

モデル化

配管諸元

- 管径
- 管の厚さ
- 材質
- 単位長さ当たり重量(保温有無考慮)
- 最高使用圧力

INPUT

標準支持間隔算出プログラム  
解析コード「SPAN」

応力制限 0.8Sa, 0.4Sa  
(溢水ガイド 別冊書A)

OUTPUT

新標準支持間隔表  
標準支持間隔表

格高 仕様	炭素鋼, 減衰○			
	EL, Cm (○MPa)	EL, Cm (○MPa)	EL, Cm (○MPa)	EL, Cm (○MPa)
OH Sch○	○, Cm (○MPa)	○, Cm (○MPa)	○, Cm (○MPa)	○, Cm (○MPa)
...				

施工図

比較

図6 標準支持間隔法を用いた具体的な評価手順

5. 参考文献  
 原子力規制委員会ホームページ「電源開発株式会社大間原子力発電所第1号機の工事計画認可申請に係る意見聴取会（機器・配管系）（第2回）意見反映版 資料4 機器・配管系の設計用減衰定数について  
<http://www.nsr.go.jp/archive/nisa/shingikai/800/6/002/4.pdf>

女川原子力発電所2号炉

設計用応答曲線

入力地震動	(1/3) Sd
減衰	圧高等の値
応答曲線高さ	耐震設計と同じ
応答曲線容れめ	有
応答曲線ピーク保持	有
NS・EV包括	有

※スペクトル波と断層波を包括

モデル化

配管諸元

- 管径
- 管の厚さ
- 材質
- 単位長さ当たり重量(保温材無考慮)
- 最高使用圧力

INPUT

標準支持間隔算出プログラム  
解析コード「SPAN」

応力制限 0.8Sa, 0.4Sa  
(溢水ガイド 付録書A)

OUTPUT

標準支持間隔表

格高 仕様	炭素鋼, 減衰○%			
	T.P, Cm	T.P, Cm	T.P, Cm	T.P, Cm
OH Sch○	○, Cm (○MPa)	○, Cm (○MPa)	○, Cm (○MPa)	○, Cm (○MPa)
...				

施工図

比較

図2 標準支持間隔法を用いた具体的な評価手順

5. 参考文献  
 「電源開発株式会社大間原子力発電所第1号機の工事計画認可申請に係る意見聴取会（機器・配管系）（第2回）意見反映版資料4 機器・配管系の設計用減衰定数について（改2）」

泊発電所3号炉

設計用応答曲線

入力地震動	(1/3) Sd
減衰	圧高等の値
応答曲線高さ	耐震設計と同じ
応答曲線容れめ	有
応答曲線ピーク保持	有
NS・EV包括	有

※スペクトル波と断層波を包括

モデル化

配管諸元

- 管径
- 管の厚さ
- 材質
- 単位長さ当たり重量(保温材無考慮)
- 最高使用圧力

INPUT

標準支持間隔算出プログラム  
解析コード「SPAN」

応力制限 0.8Sa, 0.4Sa  
(溢水ガイド 付録書A)

OUTPUT

標準支持間隔表

格高 仕様	炭素鋼, 減衰○%			
	T.P, Cm	T.P, Cm	T.P, Cm	T.P, Cm
OH Sch○	○, Cm (○MPa)	○, Cm (○MPa)	○, Cm (○MPa)	○, Cm (○MPa)
...				

施工図

比較

図2 標準支持間隔法を用いた具体的な評価手順

5. 参考文献  
 「電源開発株式会社大間原子力発電所第1号機の工事計画認可申請に係る意見聴取会（機器・配管系）（第2回）意見反映版資料4 機器・配管系の設計用減衰定数について（改2）」

相違理由

【大飯】  
 記載表現の相違

【大飯】  
 記載方針の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料14）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">補足資料 3-3（別紙2）</p> <p>低エネルギー配管の破損形状の設定</p> <p>1. 概要</p> <p>配管破損を想定する系統の低エネルギー配管について、溢水ガイド附属書A の低エネルギー配管の評価対象（25A 以上）に対し、許容応力の0.4 倍を超える場合は貫通クラックを想定する旨の記載にしたがって評価している。</p> <p>本資料は低エネルギー配管の応力評価とその結果についてとりまとめたものである。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 15</p> <p>低エネルギー配管の想定破損除外について</p> <p>1. 評価対象配管</p> <p>想定破損除外の適用（応力評価）を実施する対象配管を表1に示す。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 14</p> <p>低エネルギー配管の想定破損除外について</p> <p>1. 評価対象配管</p> <p>想定破損除外の適用（応力評価）を実施する対象配管を表1に示す。</p>	<p>【女川・大飯】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績を反映し、応力評価を実施する配管を抽出した上で応力評価結果を記載する方針とずる。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料14）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																	
<p>補足資料3-2</p> <p>表1 低エネルギー配管を有する系統の抽出結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>対象範囲における使用条件</th> <th>運転時間割合<sup>※1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉補機冷却系</td> <td>運転圧力：約 0.88～0.94MPa 運転温度：約 14～32℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイ系<sup>※1</sup></td> <td>運転圧力：約 2.0MPa 運転温度：約 22～29℃</td> <td>&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>運転圧力：約 0.14MPa 運転温度：約 28～39℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>冷水系</td> <td>運転圧力：約 0.85MPa 運転温度：約 5℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系洗浄水系</td> <td>運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系放射性下レン系（機器ドレン）</td> <td>運転圧力：約 大気圧 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系放射性下レン系（床ドレン）</td> <td>運転圧力：約 大気圧 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>消火水系</td> <td>運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系補給水系</td> <td>運転圧力：約 1.1MPa 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>余熱除去系<sup>※1</sup></td> <td>運転圧力：約 2.9MPa以下 運転温度：約 17℃以下</td> <td>&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水系</td> <td>運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料ビット冷却浄化系</td> <td>運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>安全注入系<sup>※1</sup></td> <td>運転圧力：約 15.2MPa 運転温度：約 22～29℃</td> <td>&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>海水系</td> <td>運転圧力：約 0.45MPa 運転温度：約 10～30℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>液体廃棄物処理系</td> <td>運転圧力：約 19～47kPa 運転温度：約 105～111℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>固体廃棄物処理系</td> <td>運転圧力：約 大気圧 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>補助給水系<sup>※1</sup></td> <td>運転圧力：約 10.7～12.1MPa 運転温度：約 21～29℃</td> <td>&lt;1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 通常運転時に高エネルギー状態にある運転期間が短時間であるため低エネルギー配管とした系統</p> <p>※2 運転時間割合のうち、通常運転時の運転時間については、毎月のサーベイランスの運転時間実績で評価した。格納容器スプレイ系、安全注入系及び補助給水系は事故時に動作する系統であり、定検時の調整運転等を考慮しても通常運転時に比べ十分短く、また、余熱除去ポンプの定検期間の運転時間も十分短いため、サーベイランスで代表しても評価に影響しない。</p>	系統	対象範囲における使用条件	運転時間割合 <sup>※1</sup>	原子炉補機冷却系	運転圧力：約 0.88～0.94MPa 運転温度：約 14～32℃	—	格納容器スプレイ系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 2.0MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%	化学体積制御系	運転圧力：約 0.14MPa 運転温度：約 28～39℃	—	冷水系	運転圧力：約 0.85MPa 運転温度：約 5℃	—	1次系洗浄水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—	1次系放射性下レン系（機器ドレン）	運転圧力：約 大気圧 運転温度：約 27℃	—	1次系放射性下レン系（床ドレン）	運転圧力：約 大気圧 運転温度：約 27℃	—	消火水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—	1次系補給水系	運転圧力：約 1.1MPa 運転温度：約 27℃	—	余熱除去系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 2.9MPa以下 運転温度：約 17℃以下	<1%	燃料取替用水系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—	燃料ビット冷却浄化系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—	安全注入系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 15.2MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%	海水系	運転圧力：約 0.45MPa 運転温度：約 10～30℃	—	液体廃棄物処理系	運転圧力：約 19～47kPa 運転温度：約 105～111℃	—	固体廃棄物処理系	運転圧力：約 大気圧 運転温度：約 27℃	—	補助給水系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 10.7～12.1MPa 運転温度：約 21～29℃	<1%	<p>表1 低エネルギー配管の想定破損除外を適用する対象配管</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置エリア</th> <th rowspan="2">区画番号</th> <th rowspan="2">対象系統</th> <th colspan="2">対象配管</th> </tr> <tr> <th>ライン番号</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>R-2F-1-1</td> <td>HNCW</td> <td>50A-HNCW-41</td> <td>STPG38</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R-B3F-3</td> <td rowspan="3">RHR (A)</td> <td>350A-RHR-2-1</td> <td rowspan="3">STS42</td> </tr> <tr> <td>100A-RHR-24-1</td> </tr> <tr> <td>100A-RHR-33</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-6</td> <td rowspan="2">RHR (B)</td> <td>350A-RHR-4-1</td> <td rowspan="2">STS42</td> </tr> <tr> <td>100A-RHR-25-1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R-B3F-7</td> <td rowspan="3">RHR (C)</td> <td>100A-RHR-41</td> <td rowspan="3">STS42</td> </tr> <tr> <td>350A-RHR-6-1</td> </tr> <tr> <td>300A-RHR-6-2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-4</td> <td rowspan="2">LPCS</td> <td>100A-RHR-26-1</td> <td rowspan="2">STS42</td> </tr> <tr> <td>100A-RHR-52</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-5</td> <td rowspan="2">HPCS</td> <td>300A-LPCS-2-1</td> <td rowspan="2">STS42</td> </tr> <tr> <td>50A-LPCS-7</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-2</td> <td rowspan="2">RCIC</td> <td>100A-HPCS-2-1</td> <td rowspan="2">STS42</td> </tr> <tr> <td>100A-RCIC-2-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>50A-RCIC-5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	区画番号	対象系統	対象配管		ライン番号	材質	原子炉建屋 原子炉棟	R-2F-1-1	HNCW	50A-HNCW-41	STPG38	R-B3F-3	RHR (A)	350A-RHR-2-1	STS42	100A-RHR-24-1	100A-RHR-33	R-B3F-6	RHR (B)	350A-RHR-4-1	STS42	100A-RHR-25-1	R-B3F-7	RHR (C)	100A-RHR-41	STS42	350A-RHR-6-1	300A-RHR-6-2	R-B3F-4	LPCS	100A-RHR-26-1	STS42	100A-RHR-52	R-B3F-5	HPCS	300A-LPCS-2-1	STS42	50A-LPCS-7	R-B3F-2	RCIC	100A-HPCS-2-1	STS42	100A-RCIC-2-1				50A-RCIC-5		<p>表1 低エネルギー配管の想定破損除外を適用する対象配管 (1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象配管</th> <th colspan="4">設置エリア</th> <th rowspan="2">材質</th> </tr> <tr> <th>原子炉建屋</th> <th>原子炉補助建屋</th> <th>循環水ポンプ建屋</th> <th>ディーゼル発電機建屋</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1次冷却系統配管</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系統配管（充てん配管）</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系統配管（抽出配管）</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系統配管（その他）</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>安全注入系統配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>余熱除去系統配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ系統配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS316TP</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>STPG370 SM400A STPT370</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ビット水浄化冷却系統配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却海水系統配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>STPG370 STPY400 SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>液体廃棄物処理系統配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP SUS316LTP SUS316TP</td> </tr> <tr> <td>固体廃棄物処理系統配管</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>試料採取系統配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP SUS316TP</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水系統配管</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給水系配管（脱塩水）</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP SUS316TP</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給水系配管（海水）</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> </tbody> </table>	対象配管	設置エリア				材質	原子炉建屋	原子炉補助建屋	循環水ポンプ建屋	ディーゼル発電機建屋	1次冷却系統配管	○	—	—	—	SUS304TP	化学体積制御系統配管（充てん配管）	○	○	—	—	SUS304TP	化学体積制御系統配管（抽出配管）	○	○	—	—	SUS304TP	化学体積制御系統配管（その他）	○	○	—	—	SUS304TP	安全注入系統配管	○	○	—	—	SUS304TP	余熱除去系統配管	○	○	—	—	SUS304TP	原子炉格納容器スプレイ系統配管	○	○	—	—	SUS316TP	原子炉補機冷却水系配管	○	○	—	—	STPG370 SM400A STPT370	使用済燃料ビット水浄化冷却系統配管	○	○	—	—	SUS304TP	原子炉補機冷却海水系統配管	○	○	○	○	STPG370 STPY400 SUS304TP	液体廃棄物処理系統配管	○	○	—	—	SUS304TP SUS316LTP SUS316TP	固体廃棄物処理系統配管	—	○	—	—	SUS304TP	試料採取系統配管	○	○	—	—	SUS304TP SUS316TP	燃料取替用水系統配管	○	—	—	—	SUS304TP	原子炉補給水系配管（脱塩水）	○	○	—	—	SUS304TP SUS316TP	原子炉補給水系配管（海水）	○	○	—	—	SUS304TP	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違          設計方針の相違</p> <p>・女川では、想定破損除外のために3次元はモデル解析を実施する配管を抽出し、当該配管の溢水防護区画番号及びライン番号を記載している。</p> <p>・泊では、原則として標準支持間隔法を用いた応力評価を実施するため個別配管の溢水防護区画番号及びライン番号を特定する必要はない。（大飯と同様）</p> <p>・設置エリア名称、材質については、プラント設計による相違。</p> <p>・泊では低エネルギー配管に対しては、大飯と同様に原則として標準支持間隔法を用いて建屋内の対象系統が想定破損除外できることを確認しており、対象系統によっては、複数の建屋に配管が設置されているため、系統と建屋を星取表の形で記載する。</p> <p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川の審査実績を反映し、想定破損除外を適用する系統、設置エリア、材質を表で読み取れるように記載する。</p>
系統	対象範囲における使用条件	運転時間割合 <sup>※1</sup>																																																																																																																																																																																																																		
原子炉補機冷却系	運転圧力：約 0.88～0.94MPa 運転温度：約 14～32℃	—																																																																																																																																																																																																																		
格納容器スプレイ系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 2.0MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%																																																																																																																																																																																																																		
化学体積制御系	運転圧力：約 0.14MPa 運転温度：約 28～39℃	—																																																																																																																																																																																																																		
冷水系	運転圧力：約 0.85MPa 運転温度：約 5℃	—																																																																																																																																																																																																																		
1次系洗浄水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—																																																																																																																																																																																																																		
1次系放射性下レン系（機器ドレン）	運転圧力：約 大気圧 運転温度：約 27℃	—																																																																																																																																																																																																																		
1次系放射性下レン系（床ドレン）	運転圧力：約 大気圧 運転温度：約 27℃	—																																																																																																																																																																																																																		
消火水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—																																																																																																																																																																																																																		
1次系補給水系	運転圧力：約 1.1MPa 運転温度：約 27℃	—																																																																																																																																																																																																																		
余熱除去系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 2.9MPa以下 運転温度：約 17℃以下	<1%																																																																																																																																																																																																																		
燃料取替用水系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—																																																																																																																																																																																																																		
燃料ビット冷却浄化系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—																																																																																																																																																																																																																		
安全注入系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 15.2MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%																																																																																																																																																																																																																		
海水系	運転圧力：約 0.45MPa 運転温度：約 10～30℃	—																																																																																																																																																																																																																		
液体廃棄物処理系	運転圧力：約 19～47kPa 運転温度：約 105～111℃	—																																																																																																																																																																																																																		
固体廃棄物処理系	運転圧力：約 大気圧 運転温度：約 27℃	—																																																																																																																																																																																																																		
補助給水系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 10.7～12.1MPa 運転温度：約 21～29℃	<1%																																																																																																																																																																																																																		
設置エリア	区画番号	対象系統	対象配管																																																																																																																																																																																																																	
			ライン番号	材質																																																																																																																																																																																																																
原子炉建屋 原子炉棟	R-2F-1-1	HNCW	50A-HNCW-41	STPG38																																																																																																																																																																																																																
	R-B3F-3	RHR (A)	350A-RHR-2-1	STS42																																																																																																																																																																																																																
			100A-RHR-24-1																																																																																																																																																																																																																	
			100A-RHR-33																																																																																																																																																																																																																	
	R-B3F-6	RHR (B)	350A-RHR-4-1	STS42																																																																																																																																																																																																																
			100A-RHR-25-1																																																																																																																																																																																																																	
	R-B3F-7	RHR (C)	100A-RHR-41	STS42																																																																																																																																																																																																																
			350A-RHR-6-1																																																																																																																																																																																																																	
			300A-RHR-6-2																																																																																																																																																																																																																	
	R-B3F-4	LPCS	100A-RHR-26-1	STS42																																																																																																																																																																																																																
100A-RHR-52																																																																																																																																																																																																																				
R-B3F-5	HPCS	300A-LPCS-2-1	STS42																																																																																																																																																																																																																	
		50A-LPCS-7																																																																																																																																																																																																																		
R-B3F-2	RCIC	100A-HPCS-2-1	STS42																																																																																																																																																																																																																	
		100A-RCIC-2-1																																																																																																																																																																																																																		
			50A-RCIC-5																																																																																																																																																																																																																	
対象配管	設置エリア				材質																																																																																																																																																																																																															
	原子炉建屋	原子炉補助建屋	循環水ポンプ建屋	ディーゼル発電機建屋																																																																																																																																																																																																																
1次冷却系統配管	○	—	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																															
化学体積制御系統配管（充てん配管）	○	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																															
化学体積制御系統配管（抽出配管）	○	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																															
化学体積制御系統配管（その他）	○	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																															
安全注入系統配管	○	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																															
余熱除去系統配管	○	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																															
原子炉格納容器スプレイ系統配管	○	○	—	—	SUS316TP																																																																																																																																																																																																															
原子炉補機冷却水系配管	○	○	—	—	STPG370 SM400A STPT370																																																																																																																																																																																																															
使用済燃料ビット水浄化冷却系統配管	○	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																															
原子炉補機冷却海水系統配管	○	○	○	○	STPG370 STPY400 SUS304TP																																																																																																																																																																																																															
液体廃棄物処理系統配管	○	○	—	—	SUS304TP SUS316LTP SUS316TP																																																																																																																																																																																																															
固体廃棄物処理系統配管	—	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																															
試料採取系統配管	○	○	—	—	SUS304TP SUS316TP																																																																																																																																																																																																															
燃料取替用水系統配管	○	—	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																															
原子炉補給水系配管（脱塩水）	○	○	—	—	SUS304TP SUS316TP																																																																																																																																																																																																															
原子炉補給水系配管（海水）	○	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																															



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																						
		<p>表1 低エネルギー配管の想定破損除外を適用する対象配管 (2/2)</p> <table border="1" data-bbox="1290 256 1850 630"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象配管</th> <th colspan="4">設置エリア</th> <th rowspan="2">材質</th> </tr> <tr> <th>原子炉建屋</th> <th>原子炉補助建屋</th> <th>循環水ポンプ建屋</th> <th>ディーゼル発電機建屋</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助蒸気系統配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>STPT370 STPG370</td> </tr> <tr> <td>水消火系統配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>STPT370 STPG370</td> </tr> <tr> <td>地下水排水系統配管</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>飲料水系統配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系統配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>STPG370 STPT370</td> </tr> <tr> <td>補助給水系統配管</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>所内用水系統配管</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>海水電解装置海水供給・注入系統配管</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>SUS304TP STPG370</td> </tr> <tr> <td>海水ストレーナ排水系統配管</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>海水淡水化設備系統配管</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>SGP</td> </tr> </tbody> </table>	対象配管	設置エリア				材質	原子炉建屋	原子炉補助建屋	循環水ポンプ建屋	ディーゼル発電機建屋	補助蒸気系統配管	○	○	-	-	STPT370 STPG370	水消火系統配管	○	○	-	○	STPT370 STPG370	地下水排水系統配管	-	○	-	-	STPG370	飲料水系統配管	○	○	-	-	STPG370	空調用冷水系統配管	○	○	-	-	STPG370 STPT370	補助給水系統配管	○	-	-	-	SUS304TP	所内用水系統配管	-	-	○	-	SUS304TP	海水電解装置海水供給・注入系統配管	-	-	○	-	SUS304TP STPG370	海水ストレーナ排水系統配管	-	-	○	-	STPG370	海水淡水化設備系統配管	-	-	○	-	SGP	<p><b>【女川】</b>  <u>記載表現の相違</u>  <u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女川では、想定破損除外のために3次元はモデル解析を実施する配管を抽出し、当該配管の溢水防護区画番号及びライン番号を記載している。</li> <li>・泊では、原則として標準支持間隔法を用いた応力評価を実施するため個別配管の溢水防護区画番号及びライン番号を特定する必要はない。（大阪と同様）</li> <li>・設置エリア名称、材質については、プラント設計による相違。</li> <li>・泊では低エネルギー配管に対しては、大阪と同様に原則として標準支持間隔法を用いて建屋内の対象系統が想定破損除外できることを確認しており、対象系統によっては、複数の建屋に配管が設置されているため、系統と建屋を星取表の形で記載する。</li> </ul>
対象配管	設置エリア				材質																																																																				
	原子炉建屋	原子炉補助建屋	循環水ポンプ建屋	ディーゼル発電機建屋																																																																					
補助蒸気系統配管	○	○	-	-	STPT370 STPG370																																																																				
水消火系統配管	○	○	-	○	STPT370 STPG370																																																																				
地下水排水系統配管	-	○	-	-	STPG370																																																																				
飲料水系統配管	○	○	-	-	STPG370																																																																				
空調用冷水系統配管	○	○	-	-	STPG370 STPT370																																																																				
補助給水系統配管	○	-	-	-	SUS304TP																																																																				
所内用水系統配管	-	-	○	-	SUS304TP																																																																				
海水電解装置海水供給・注入系統配管	-	-	○	-	SUS304TP STPG370																																																																				
海水ストレーナ排水系統配管	-	-	○	-	STPG370																																																																				
海水淡水化設備系統配管	-	-	○	-	SGP																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料14）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3.1. 評価方法</p> <p>溢水ガイド附属書Aにしたがい、供用状態A、B及び(1/3)Sd地震荷重に対して設計・建設規格 PPC-3530(1)b. の計算式により <math>S_n</math>（一次応力+二次応力）を算出し、設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式により求めた <math>S_a</math>（許容応力）との比較により破損形状を設定する。</p> <p>支持間隔に対する一次応力の算出、一次応力に対する支持間隔の算出については、標準支持間隔のモデルによるものとし（詳細は、「別紙3 標準支持間隔法による一次応力評価」を参照）、必要に応じて3次元はりモデル解析を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>b. <math>S_n = \frac{P_m D_o}{4t} + \frac{0.75 I_1 (M_a + M_b) + I_2 M_c}{Z}</math></p> <p><math>S_n</math> : 一次応力と二次応力を加えて求めた応力 (MPa)</p> <p><math>I_1, I_2</math> : 応力係数</p> <p><math>M_c</math> : 管の熱による支持点の変位及び熱膨張により生ずるモーメント (N・mm)</p> <p><math>P_m</math> : 内面に受ける最高の圧力 (MPa)</p> <p><math>M_b</math> : 管の機械的荷重(逃し弁又は安全弁の吹出し反力その他の短期的荷重に限る)により生ずるモーメント (N・mm)</p> <p><math>D_o</math> : 管の外径 (mm)</p> <p><math>t</math> : 管の厚さ (mm)</p> <p><math>M_a</math> : 管の機械的荷重(自重その他の長期荷重に限る)により生ずるモーメント (N・mm)</p> <p>d. <math>S_a = 1.25 f_s + (1.2 + 0.25 f) S_c</math></p> <p><math>S_a</math> : 許容応力 (MPa)</p> <p><math>f</math> : 許容応力低減係数</p> <p><math>S_c</math> : 室温における材料の許容引張応力 (MPa)</p> <p><math>S_h</math> : 使用温度における材料の許容引張応力 (MPa)</p> <p style="text-align: right;">設計・建設規格 PPC-3530(1) 抜粋</p> </div>	<p>2. 評価方法</p> <p>表1に記載している配管はクラス2又は非安全系の配管であることから、溢水ガイド附属書Aのクラス2、3又は非安全系の配管に適用される計算式により応力評価を実施し、評価条件を満足することを確認する。</p> <p>供用状態A、B及び(1/3)Sd地震荷重に対して設計・建設規格 PPC-3530(1)b. の計算式により計算した（一次応力+二次応力）<math>S_n</math>が、設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式により求めた許容応力 <math>S_a</math> の0.4倍以下であることを確認する。</p> <p>(1) <math>S_a</math> の算出</p> <p>設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式から算出する。  <math>S_a = 1.25 f_s + (1.2 + 0.25 f) S_h \dots \text{①式}</math>  <math>S_a</math> : 許容応力  <math>f</math> : 許容応力低減係数 (=1.0)                  (設計・建設規格 2005 解説より)</p> <p>7000回は約20年間毎日温度変化サイクルがあることを意味しており、通常の系では7000回以下と考えられる。</p> <p>本系統においては毎日において有意な温度変化は受けないため、表2より、応力低減係数を1.0とした。</p>	<p>2. 評価方法</p> <p>表1に記載している配管はクラス2、3又は非安全系の配管であることから、溢水ガイド附属書Aのクラス2、3又は非安全系の配管に適用される計算式により応力評価を実施し、評価条件を満足することを確認する。</p> <p>供用状態A、B及び(1/3)Sd地震荷重に対して設計・建設規格 PPC-3530(1)b. の計算式により計算した（一次応力+二次応力）<math>S_n</math>が、設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式により求めた許容応力 <math>S_a</math> の0.4倍以下であることを確認する。</p> <p>支持間隔に対する一次応力の算出、一次応力に対する支持間隔の算出については、標準支持間隔のモデルによるものとし（詳細は、「添付資料13 高エネルギー配管の想定破損除外又は貫通クラックについて」の「別紙 標準支持間隔法による一次応力評価」を参照）、必要に応じて3次元はりモデル解析を行う。</p> <p>(1) <math>S_a</math> の算出</p> <p>設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式から算出する。  <math>S_a = 1.25 f_s + (1.2 + 0.25 f) S_h \dots \text{①式}</math>  <math>S_a</math> : 許容応力  <math>f</math> : 許容応力低減係数 (=1.0)                  (設計・建設規格 2005 解説より)</p> <p>7,000回は約20年間毎日温度変化サイクルがあることを意味しており、通常の系では7,000回以下と考えられる。</p> <p>本系統においては毎日において有意な温度変化は受けないため、表2より、応力低減係数を1.0とした。</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 泊は想定破損除外の対象となる低エネルギー配管にクラス3配管が含まれていることによる相違。</p> <p>(大飯と同様)</p> <p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 泊では、大飯と同様に原則標準支持間隔法を用いて応力評価を実施している。</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績を反映し、<math>S_n</math>の算出については記載しない。<math>S_n</math>を算出しているという点において、泊、女川と相違はない。 ・女川審査実績を反映し、<math>S_c</math>と<math>S_h</math>についての説明は後述する。</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
	<p>表2 許容応力低減係数（設計・建設規格 PPC-3530 より抜粋）</p> <table border="1" data-bbox="779 209 1189 368"> <thead> <tr> <th>温度変化サイクル数</th> <th>fの値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,000未満</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>7,000以上14,000未満</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>14,000以上22,000未満</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>22,000以上45,000未満</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>45,000以上100,000未満</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>100,000以上</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>Sc：設計・建設規格付録材料図表 Part 5 に規定する材料の室温における許容引張応力（STPG38=93MPa, STS42=103MPa）                      Sh：設計・建設規格付録材料図表 Part 5 に規定する材料の使用温度における許容引張応力（STPG38=93MPa, STS42=103MPa）</p> <p>①式に上記の値（STPG38 の場合）を代入し、Saを算出すると、  <math>Sa = 1.25 \times 1.0 \times 93 + (1.2 + 0.25 \times 1.0) \times 93</math>  <math>= 251.1 \rightarrow 251</math>（小数点以下を切り捨て）</p> <p>したがって、<math>0.4Sa = 0.4 \times 251 = 100.4 \rightarrow 100</math> (MPa)（小数点以下を切り捨て）となる。</p>	温度変化サイクル数	fの値	7,000未満	1.0	7,000以上14,000未満	0.9	14,000以上22,000未満	0.8	22,000以上45,000未満	0.7	45,000以上100,000未満	0.6	100,000以上	0.5	<p>表2 許容応力低減係数（設計・建設規格 PPC-3530 より抜粋）</p> <table border="1" data-bbox="1384 209 1749 368"> <thead> <tr> <th>温度変化サイクル数</th> <th>fの値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,000未満</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>7,000以上14,000未満</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>14,000以上22,000未満</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>22,000以上45,000未満</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>45,000以上100,000未満</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>100,000以上</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>Sc：設計・建設規格付録材料図表 Part5 に規定する材料の室温における許容引張応力（STPG370=79MPa, SUS304TP=103MPa）                      Sh：設計・建設規格付録材料図表 Part5 に規定する材料の使用温度における許容引張応力（STPG370=79MPa, SUS304TP=97MPa）</p> <p>①式に上記の値（STPG370 の場合）を代入し、Saを算出すると、  <math>Sa = 1.25 \times 1.0 \times 79 + (1.2 + 0.25 \times 1.0) \times 79</math>  <math>= 98.75 + 114.55</math>  <math>= 98 + 114</math>（小数点以下を切り捨て）=212</p> <p>したがって、<math>0.4Sa = 0.4 \times 212 = 84.8 \rightarrow 84</math> (MPa)（小数点以下を切り捨て）となる。</p>	温度変化サイクル数	fの値	7,000未満	1.0	7,000以上14,000未満	0.9	14,000以上22,000未満	0.8	22,000以上45,000未満	0.7	45,000以上100,000未満	0.6	100,000以上	0.5	<p>相違理由</p> <p>【女川】                      設計方針の相違                      ・プラント設計による材質の相違。                      ・泊では、各項の計算結果に対して小数点以下の切り捨てを実施している。各項において切り捨てを実施するほうが、許容応力が小さくなるため保守的である。（大飯と同様）</p>
温度変化サイクル数	fの値																														
7,000未満	1.0																														
7,000以上14,000未満	0.9																														
14,000以上22,000未満	0.8																														
22,000以上45,000未満	0.7																														
45,000以上100,000未満	0.6																														
100,000以上	0.5																														
温度変化サイクル数	fの値																														
7,000未満	1.0																														
7,000以上14,000未満	0.9																														
14,000以上22,000未満	0.8																														
22,000以上45,000未満	0.7																														
45,000以上100,000未満	0.6																														
100,000以上	0.5																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
	<p>3. 実評価の流れ</p> <p>表1に示す低エネルギー配管の想定破損除外を適用する溢水防護区画内の配管系について3次元梁モデルを構築し、解析により発生応力を算出する。</p> <p>表3に解析条件を示す。</p> <p>(1) 系統条件</p> <p style="text-align: center;">表3 解析条件</p> <table border="1" data-bbox="703 699 1265 853"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HNCW</td> <td>66</td> <td>1.28</td> </tr> <tr> <td>RHR</td> <td>196<sup>※1</sup></td> <td>3.73</td> </tr> <tr> <td>LPCS</td> <td>100</td> <td>4.42</td> </tr> <tr> <td>HPCS</td> <td>100</td> <td>10.79</td> </tr> <tr> <td>RCIC</td> <td>66</td> <td>11.78</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 RHR(A),(B)系については、S/C吸込弁が「閉」となっている運転モードを除いた場合のRHR(A),(B)系の最高使用温度となる100°Cで評価を実施した。</p> <p>(2) 地震条件</p> <p>弾性設計用地震動Sdの1/3を入力とし、水平及び鉛直地震動を考慮し、スペクトルモーダル解析にて応力を算出する。</p>	対象系統	最高使用温度 (°C)	最高使用圧力 (MPa)	HNCW	66	1.28	RHR	196 <sup>※1</sup>	3.73	LPCS	100	4.42	HPCS	100	10.79	RCIC	66	11.78	<p>3. 実評価の流れ</p> <p>表1に示す低エネルギー配管の想定破損除外を適用する溢水防護区画内の配管系について、標準支持間隔法又は3次元はりモデル解析により発生応力を算出する。</p> <p>表3に解析条件を示す。</p> <p>(1) 系統条件</p> <p style="text-align: center;">表3 解析条件</p> <table border="1" data-bbox="1285 742 1854 842"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>低エネルギー配管 全系統</td> <td>95<sup>※1</sup></td> <td>1.9<sup>※1</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 低エネルギー配管の上限値</p> <p>(2) 地震条件</p> <p>弾性設計用地震動Sdの1/3を入力とし、水平及び鉛直地震動を考慮し、スペクトルモーダル解析にて応力を算出する。</p>	対象系統	最高使用温度 (°C)	最高使用圧力 (MPa)	低エネルギー配管 全系統	95 <sup>※1</sup>	1.9 <sup>※1</sup>	<p>【女川】 設計方針の相違</p> <p>泊では標準支持間隔法により発生応力が最も高くなるものを代表ブロックとして抽出し、代表ブロックに対して、3次元はりモデル解析による確認を実施している。また、代表ブロック以外の系統については、標準支持間隔法により評価を実施し、許容応力を満足しない場合は、3次元はりモデル解析による確認を実施する評価フローとなっている。(大阪と同様)</p> <p>【女川】 設計方針の相違</p> <p>泊では、全ての低エネルギー配管に対して、低エネルギー配管の上限値である温度及び圧力を設定して解析を行っている。(大阪と同様)</p>
対象系統	最高使用温度 (°C)	最高使用圧力 (MPa)																									
HNCW	66	1.28																									
RHR	196 <sup>※1</sup>	3.73																									
LPCS	100	4.42																									
HPCS	100	10.79																									
RCIC	66	11.78																									
対象系統	最高使用温度 (°C)	最高使用圧力 (MPa)																									
低エネルギー配管 全系統	95 <sup>※1</sup>	1.9 <sup>※1</sup>																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料14）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
<p style="text-align: right;">補足資料3-3（別紙1）</p> <p>6. 標準支持間隔法に用いる SPAN コード</p> <table border="1" data-bbox="123 255 676 395"> <thead> <tr> <th>対象設備</th> <th>計算機 プログラム名 (解析コード名)</th> <th>計算機 プログラム バージョン</th> <th>製造元</th> <th>解析対象 (使用目的)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配管類</td> <td>SPAN2000</td> <td>4.0</td> <td>三菱重工</td> <td>耐震最大 支持間隔算出</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【美浜3号炉】</b>                      まとめ資料 p.1-9-補-157 より抜粋</p> <table border="1" data-bbox="138 523 660 679"> <thead> <tr> <th>対象設備</th> <th>計算機 プログラム名 (解析コード名)</th> <th>計算機 プログラム バージョン</th> <th>製造元</th> <th>解析対象 (使用目的)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配管類</td> <td>SPAN2000</td> <td>4.0 5.0 6.0</td> <td>三菱重工</td> <td>耐震最大 支持間隔算出</td> </tr> </tbody> </table>	対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)	配管類	SPAN2000	4.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出	対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)	配管類	SPAN2000	4.0 5.0 6.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出	<p>(3) 解析コード</p> <p>SOLVER Rev.02.05                      ISAP-III</p>	<p>(3) 解析コード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>標準支持間隔法 SPAN2000 Ver.4.0 Ver.5.0 Ver.6.0</li> <li>3次元はりモデル解析 MSAP PC1.0版</li> </ul>	<p><b>【女川】</b>                      設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>泊では、原則標準支持間隔法による解析を実施しており、必要に応じて3次元はりモデル解析を実施している。<b>（大飯と同様）</b></li> <li>SPANコードについては、大飯も同様にSPAN2000を用いており、美浜においては、泊と同様のVerを用いている。</li> <li>泊でも女川と同様に3次元はりモデル解析を実施しており、「MSAP PC1.0版」を用いている。本解析コードについては、先行の資料には記載がなかったものの、メーカー確認の結果、先行PWRでは泊と同様のコードを使用していることを確認している。</li> </ul> <p><b>【大飯】</b>                      記載表現の相違                      記載方針の相違                      女川審査実績の反映</p>
対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)																			
配管類	SPAN2000	4.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出																			
対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)																			
配管類	SPAN2000	4.0 5.0 6.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料14）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2. 破損形状の設定フロー</p> <p>低エネルギー配管の破損形状の評価フローは、別紙1図1「高エネルギー配管の破損形状の評価フロー」と同じである。</p> <p><b>【大飯3号炉】</b>                  まとめ資料 p.2-9-別1補-174 より抜粋</p> <p>図1 高エネルギー配管の破損形状の評価フロー</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>(4) 破損形状の評価フロー</p> <p>低エネルギー配管の破損形状の評価フローを図1に示す。</p> <p>図1 低エネルギー配管の破損形状の評価フロー</p>	<p><b>【女川】</b>                  設計方針の相違                  ・泊は原則標準支持間隔法を用いており、必要に応じて3次元はりモデル解析を実施しているため、評価フローを記載した。(大飯と同様)</p> <p><b>【大飯】</b>                  記載表現の相違                  記載方針の相違                  大飯では、低エネルギー配管の破損形状の評価フローについて、高エネルギー配管と同様としているが、実際には低エネルギー配管においては、許容応力0.4Saを満足することを確認しているため、記載を適正化している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3.3. 破損形状の決定</p> <p>すべての建屋、階高で配管に発生する最大応力は0.4Saを下回っていることを確認した。したがって低エネルギー配管に破損を想定する必要はないことを確認した。</p>	<p>4. 低エネルギー配管の想定破損除外の評価結果</p> <p>対象とした配管のモデル図を図1～12に、区画内における最小裕度となる箇所における応力評価結果を表4に示す。</p> <p>評価の結果、配管の応力は、<math>S_n \leq 0.4S_a</math>であり、想定破損除外を適用できることを確認した。</p>	<p>4. 低エネルギー配管の想定破損除外の評価結果</p> <p>対象とした配管のモデル図を図2に、区画内における最小裕度となる箇所における応力評価結果を表4に、低エネルギー配管を有する系統の応力評価結果を表5に示す。</p> <p>評価の結果、配管の応力は、<math>S_n \leq 0.4S_a</math>であり、想定破損除外を適用できることを確認した。</p>	<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>・女川審査実績を反映し、評価結果について、一次応力+二次応力<math>S_n</math>の数値を記載した上で許容応力を満足することを記載する。</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>代表配管ブロックについて評価を実施した上で、それ以外の評価対象配管については、標準支持間隔法により評価を満足することを確認している。その旨を説明するために表5を作成している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

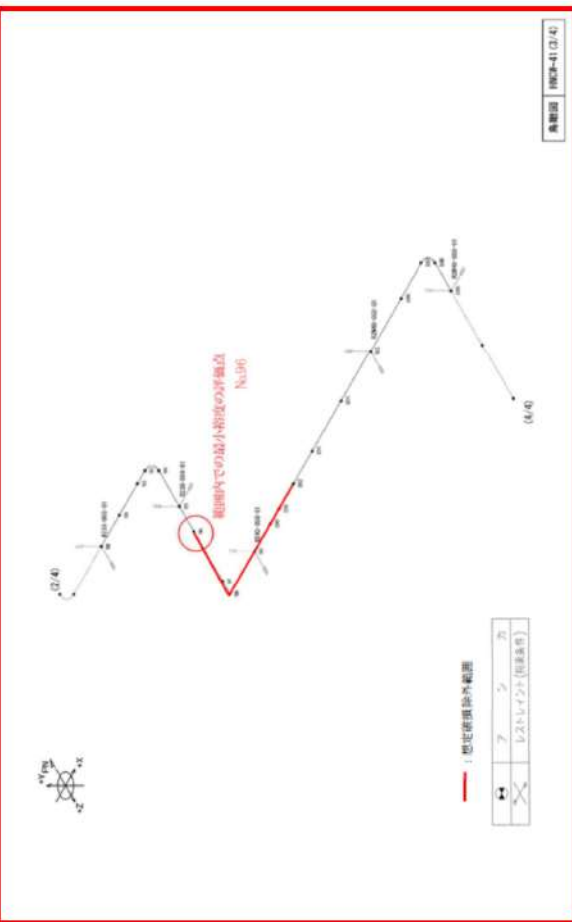
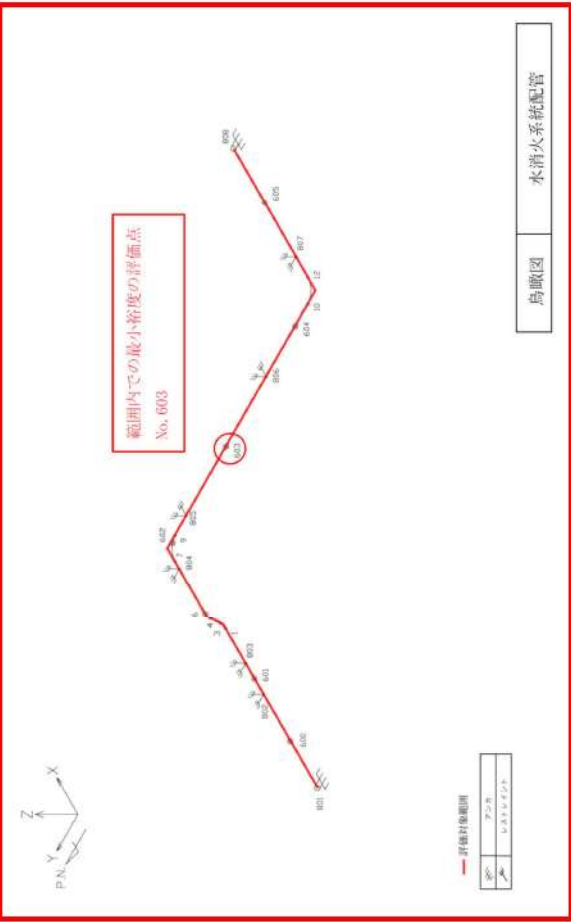
大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																							
<p>【玄海3 / 4号炉】                      まとめ資料 p.9条-別添1-補3-1-18より抜粋                      表-3 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）</p> <table border="1" data-bbox="152 327 667 391"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>高. (m)</th> <th>配管仕様</th> <th>配管名</th> <th>一次+二次応力 (MPa)</th> <th>許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A/B</td> <td>~19.25</td> <td>2B-sch40</td> <td>水消火系統配管</td> <td>80</td> <td>85</td> </tr> </tbody> </table>	建屋	高. (m)	配管仕様	配管名	一次+二次応力 (MPa)	許容値 0.4Sa (MPa)	A/B	~19.25	2B-sch40	水消火系統配管	80	85	<p>表4 最小裕度となる箇所における応力評価結果(1/2)</p> <table border="1" data-bbox="703 351 1265 1040"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区画番号</th> <th rowspan="2">解析モデル (対象ライン)</th> <th colspan="5">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧応力</th> <th>自重応力</th> <th>地震応力</th> <th>二次応力</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R-2F-1-1</td> <td>HNCW-41 (50A-HNCW-41)</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>74</td> <td>1</td> <td>80</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-33F-3</td> <td>KRBR-007 (350A-KRBR-2-1) (100A-KRBR-24-1) (100A-KRBR-33)</td> <td>30</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>28</td> <td>81</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>KRBR-116 (100A-KRBR-24-1)</td> <td>18</td> <td>4</td> <td>19</td> <td>32</td> <td>73</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-33F-6</td> <td>KRBR-012 (350A-KRBR-4-1) (100A-KRBR-25-1) (100A-KRBR-41)</td> <td>30</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>27</td> <td>77</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>KRBR-146<sup>※1</sup> (100A-KRBR-25-1)</td> <td>18</td> <td>2</td> <td>27</td> <td>38</td> <td>85</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-33F-7</td> <td>KRBR-017 (350A-KRBR-6-1) (300A-KRBR-6-2) (100A-KRBR-52) (100A-KRBR-26-1)</td> <td>30</td> <td>11</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>54</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>KRBR-146<sup>※1</sup> (100A-KRBR-26-1)</td> <td>18</td> <td>2</td> <td>27</td> <td>38</td> <td>85</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-33F-4</td> <td>LPCS-003 (300A-LPCS-2-1) (50A-LPCS-7) (100A-LPCS-4-1)</td> <td>21</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>51</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>KLPCS-117 (100A-LPCS-4-1)</td> <td>15</td> <td>1</td> <td>16</td> <td>7</td> <td>39</td> <td>102</td> </tr> </tbody> </table>	区画番号	解析モデル (対象ライン)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)	内圧応力	自重応力	地震応力	二次応力	合計	R-2F-1-1	HNCW-41 (50A-HNCW-41)	4	1	74	1	80	100	R-33F-3	KRBR-007 (350A-KRBR-2-1) (100A-KRBR-24-1) (100A-KRBR-33)	30	12	11	28	81	102	KRBR-116 (100A-KRBR-24-1)	18	4	19	32	73	102	R-33F-6	KRBR-012 (350A-KRBR-4-1) (100A-KRBR-25-1) (100A-KRBR-41)	30	11	9	27	77	102	KRBR-146 <sup>※1</sup> (100A-KRBR-25-1)	18	2	27	38	85	102	R-33F-7	KRBR-017 (350A-KRBR-6-1) (300A-KRBR-6-2) (100A-KRBR-52) (100A-KRBR-26-1)	30	11	6	7	54	102	KRBR-146 <sup>※1</sup> (100A-KRBR-26-1)	18	2	27	38	85	102	R-33F-4	LPCS-003 (300A-LPCS-2-1) (50A-LPCS-7) (100A-LPCS-4-1)	21	10	9	11	51	102	KLPCS-117 (100A-LPCS-4-1)	15	1	16	7	39	102	<p>追而【地震津波側審査の反映】                      以下、破線部部分は基準地震動確定後に反映する。</p> <p>表4 最小裕度となる箇所における応力評価結果</p> <table border="1" data-bbox="1285 351 1854 470"> <thead> <tr> <th rowspan="2">配管</th> <th rowspan="2">口径 (B)</th> <th colspan="5">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧応力</th> <th>自重応力</th> <th>地震応力</th> <th>二次応力</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水消火系統配管</td> <td>4</td> <td>8.6</td> <td>7.9</td> <td>5.9</td> <td>0.0</td> <td>23</td> <td>84</td> </tr> </tbody> </table> <p>表5 低エネルギー配管を有する系統の応力評価結果</p> <table border="1" data-bbox="1285 614 1854 769"> <thead> <tr> <th>配管名</th> <th>評価方法</th> <th>建屋</th> <th>T.P. (m)</th> <th>配管仕様</th> <th>一次応力+二次応力 (MPa)</th> <th>許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代表配管 (水消火系統)</td> <td>3次元はりモデル解析</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>40.3</td> <td>4B Sch40</td> <td>23</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>全評価対象配管</td> <td>標準支持間隔法</td> <td>建設時の標準支持間隔若しくは実施工支持間隔が0.4Saを制限とし算出した支持間隔以下であることを確認</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	配管	口径 (B)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)	内圧応力	自重応力	地震応力	二次応力	合計	水消火系統配管	4	8.6	7.9	5.9	0.0	23	84	配管名	評価方法	建屋	T.P. (m)	配管仕様	一次応力+二次応力 (MPa)	許容値 0.4Sa (MPa)	代表配管 (水消火系統)	3次元はりモデル解析	原子炉補助建屋	40.3	4B Sch40	23	84	全評価対象配管	標準支持間隔法	建設時の標準支持間隔若しくは実施工支持間隔が0.4Saを制限とし算出した支持間隔以下であることを確認					<p>【女川】                      記載表現の相違                      設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女川は、溢水防護区画内の想定破損除外の適用が必要な配管ラインを特定した上で、3次元はりモデル解析を実施している。</li> <li>・泊では、低エネルギー配管については、建設時と同様に、室温との温度差が有意でないとし、熱応力を考慮していない。(大飯と同様)</li> </ul> <p>・一次+二次応力の相違はプラント系統構成による相違。許容値は材質が異なることによる相違。</p> <p>・代表配管ブロックについて評価を実施した上で、それ以外の評価対象管については、標準支持間隔法により評価を満足することを確認している。その旨を説明するために表5を作成している。</p> <p>【玄海】                      表の体裁は女川を参照し記載するが、参考として水消火系統配管に対して貫通クラックを想定する評価結果を示す。玄海では、代表配管ブロックのみについて、評価を示している。</p>
建屋	高. (m)	配管仕様	配管名	一次+二次応力 (MPa)	許容値 0.4Sa (MPa)																																																																																																																																					
A/B	~19.25	2B-sch40	水消火系統配管	80	85																																																																																																																																					
区画番号	解析モデル (対象ライン)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)																																																																																																																																			
		内圧応力	自重応力	地震応力	二次応力	合計																																																																																																																																				
R-2F-1-1	HNCW-41 (50A-HNCW-41)	4	1	74	1	80	100																																																																																																																																			
R-33F-3	KRBR-007 (350A-KRBR-2-1) (100A-KRBR-24-1) (100A-KRBR-33)	30	12	11	28	81	102																																																																																																																																			
	KRBR-116 (100A-KRBR-24-1)	18	4	19	32	73	102																																																																																																																																			
R-33F-6	KRBR-012 (350A-KRBR-4-1) (100A-KRBR-25-1) (100A-KRBR-41)	30	11	9	27	77	102																																																																																																																																			
	KRBR-146 <sup>※1</sup> (100A-KRBR-25-1)	18	2	27	38	85	102																																																																																																																																			
R-33F-7	KRBR-017 (350A-KRBR-6-1) (300A-KRBR-6-2) (100A-KRBR-52) (100A-KRBR-26-1)	30	11	6	7	54	102																																																																																																																																			
	KRBR-146 <sup>※1</sup> (100A-KRBR-26-1)	18	2	27	38	85	102																																																																																																																																			
R-33F-4	LPCS-003 (300A-LPCS-2-1) (50A-LPCS-7) (100A-LPCS-4-1)	21	10	9	11	51	102																																																																																																																																			
	KLPCS-117 (100A-LPCS-4-1)	15	1	16	7	39	102																																																																																																																																			
配管	口径 (B)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)																																																																																																																																			
		内圧応力	自重応力	地震応力	二次応力	合計																																																																																																																																				
水消火系統配管	4	8.6	7.9	5.9	0.0	23	84																																																																																																																																			
配管名	評価方法	建屋	T.P. (m)	配管仕様	一次応力+二次応力 (MPa)	許容値 0.4Sa (MPa)																																																																																																																																				
代表配管 (水消火系統)	3次元はりモデル解析	原子炉補助建屋	40.3	4B Sch40	23	84																																																																																																																																				
全評価対象配管	標準支持間隔法	建設時の標準支持間隔若しくは実施工支持間隔が0.4Saを制限とし算出した支持間隔以下であることを確認																																																																																																																																								



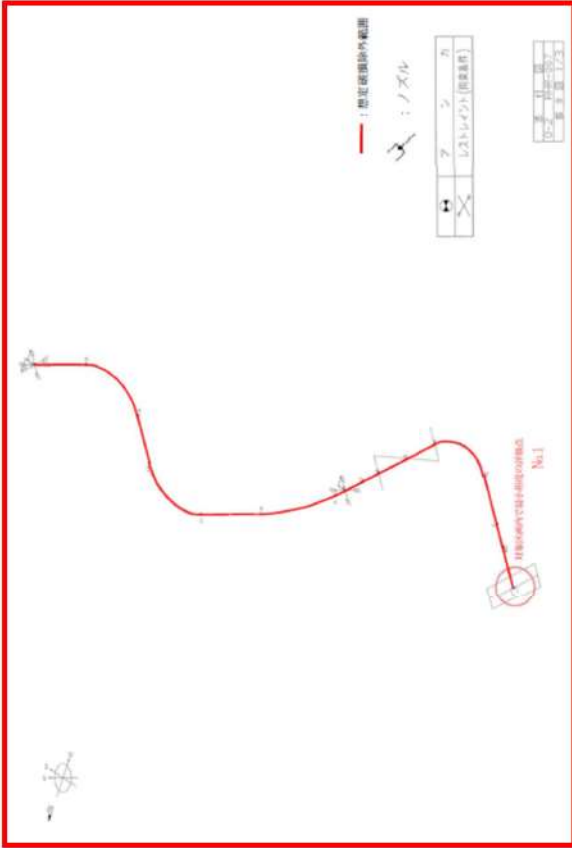
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																											
	<p>表4 最小裕度となる箇所における応力評価結果(2/2)</p> <table border="1" data-bbox="698 204 1272 539"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区画番号</th> <th rowspan="2">解析モデル (対象ライン)</th> <th colspan="5">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.4S<sub>0</sub> (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧 応力</th> <th>自重 応力</th> <th>地震 応力</th> <th>二次 応力</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-5</td> <td>HPCS-003 (300A-HPCS-2-1) (100A-HPCS-6-1)</td> <td>34</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>10</td> <td>53</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>KHPCS-001 (100A-HPCS-6-1)</td> <td>28</td> <td>1</td> <td>16</td> <td>3</td> <td>48</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R-B3F-2</td> <td>RC1C-002 (100A-RC1C-2-1) (100A-RC1C-3-1) (50A-RC1C-5)</td> <td>25</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>3</td> <td>70</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>KRC1C-121 (50A-RC1C-5)</td> <td>15</td> <td>47</td> <td>16</td> <td>12</td> <td>90</td> <td>102</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 KMR-146については、R-B3F-6及びR-B3F-7の両区画内で最小裕度となる箇所の評価結果を記載する。</p>	区画番号	解析モデル (対象ライン)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4S <sub>0</sub> (MPa)	内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計	R-B3F-5	HPCS-003 (300A-HPCS-2-1) (100A-HPCS-6-1)	34	5	4	10	53	102	KHPCS-001 (100A-HPCS-6-1)	28	1	16	3	48	102	R-B3F-2	RC1C-002 (100A-RC1C-2-1) (100A-RC1C-3-1) (50A-RC1C-5)	25	21	21	3	70	102	KRC1C-121 (50A-RC1C-5)	15	47	16	12	90	102		<p><b>【女川】</b></p> <p>記載表現の相違                  設計方針の相違</p> <p>・女川は、溢水防護区画内の想定破損除外の適用が必要な配管ラインを特定した上で、3次元はりモデル解析を実施している。</p> <p>・一次+二次応力の相違はプラント系統構成による相違。許容値は材質が異なることによる相違。</p>
区画番号	解析モデル (対象ライン)			一次+二次応力 (MPa)						許容値 0.4S <sub>0</sub> (MPa)																																				
		内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計																																								
R-B3F-5	HPCS-003 (300A-HPCS-2-1) (100A-HPCS-6-1)	34	5	4	10	53	102																																							
	KHPCS-001 (100A-HPCS-6-1)	28	1	16	3	48	102																																							
R-B3F-2	RC1C-002 (100A-RC1C-2-1) (100A-RC1C-3-1) (50A-RC1C-5)	25	21	21	3	70	102																																							
	KRC1C-121 (50A-RC1C-5)	15	47	16	12	90	102																																							

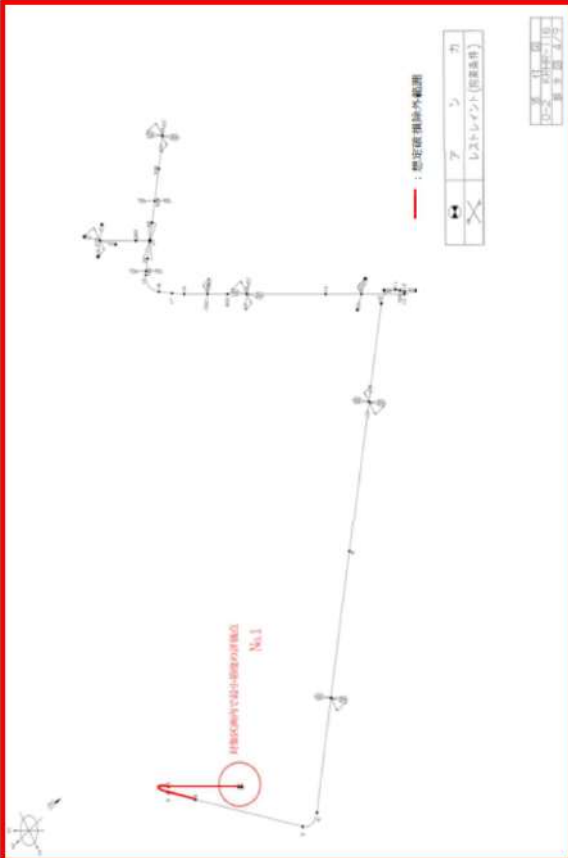
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  設計方針の相違                  応力評価の対象とした系統の相違</p>
	<p>図1 HNCW-41 解析モデル図 (最小裕度の範囲)</p>	<p>図2 水消火系統配管 解析モデル図 (最小裕度の範囲)</p>	<p>【女川】                  記載表現の相違</p>

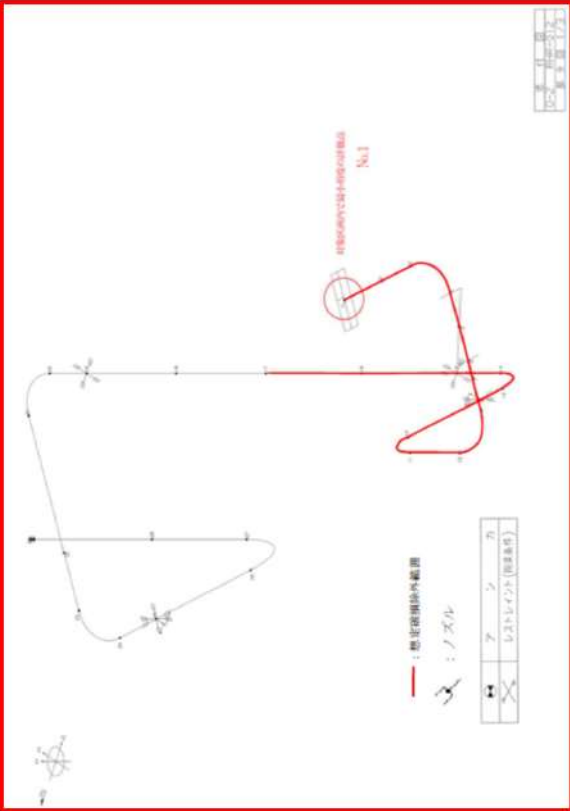
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="772 1066 1187 1093">図2 RHR-007 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p data-bbox="1874 178 1937 204">【女川】</p> <p data-bbox="1874 215 1993 240">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 247 2128 272">応力評価の対象とした系統の相違</p>

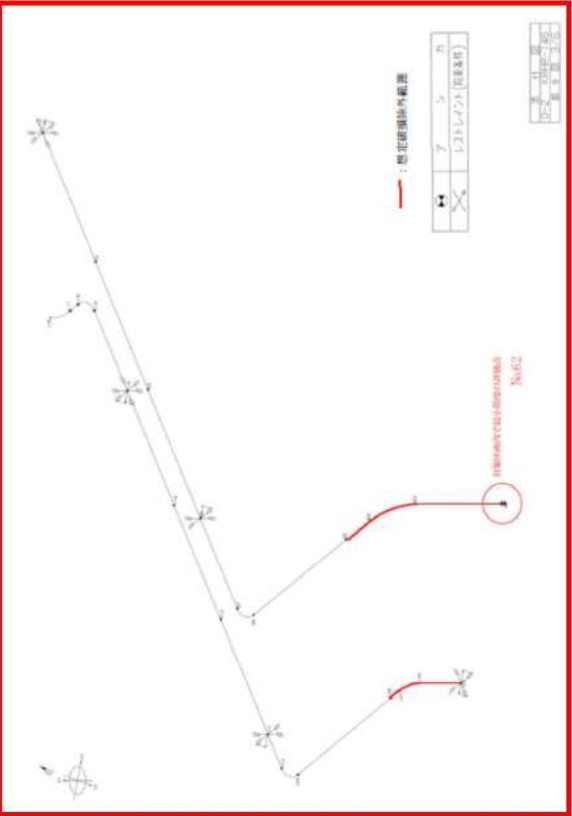
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="772 1061 1198 1093">図3 KRHR-116 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p data-bbox="1877 175 1937 199">【女川】</p> <p data-bbox="1877 215 1993 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 247 2128 271">応力評価の対象とした系統の相違</p>

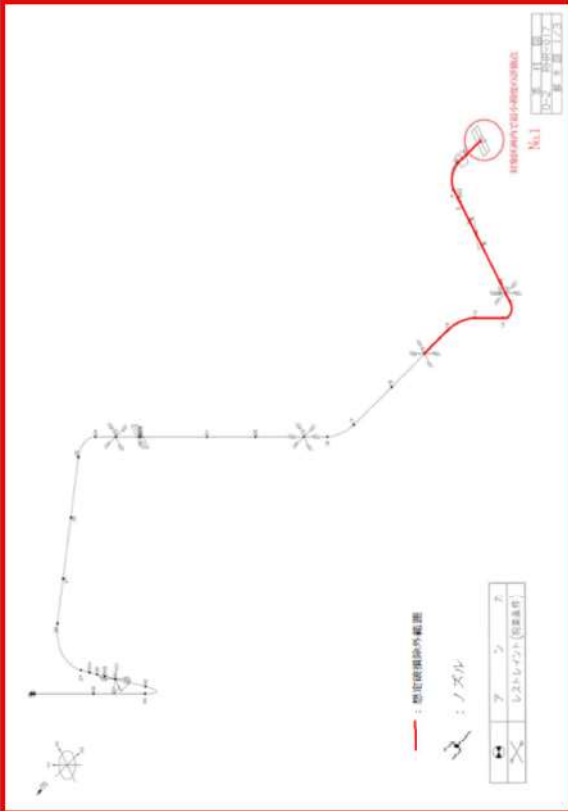
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="779 1034 1189 1054">図4 RHR-012 解析モデル図 (最小裕度の範囲)</p>		<p data-bbox="1877 180 1939 201">【女川】</p> <p data-bbox="1877 217 1995 237">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 248 2130 269">応力評価の対象とした系統の相違</p>

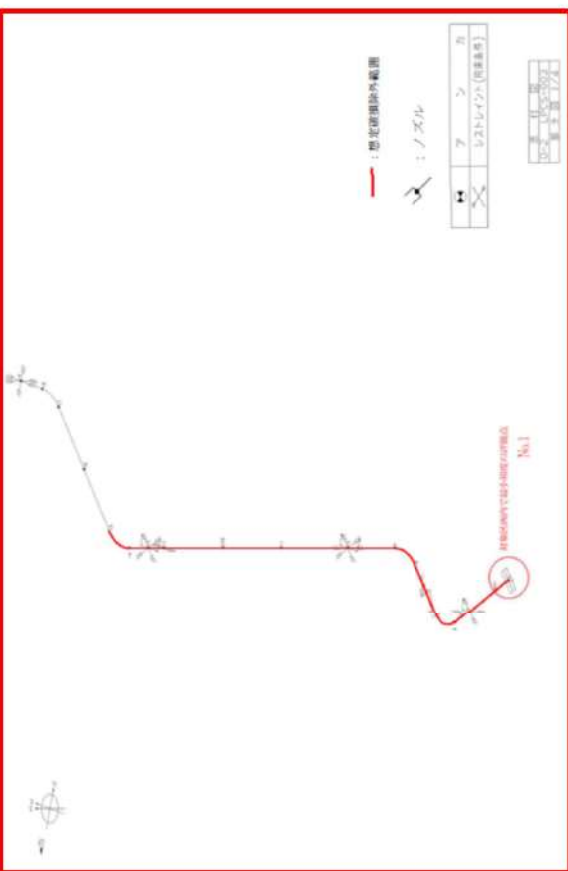
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="770 1029 1189 1054">図5 KRHR-146 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p data-bbox="1874 178 1939 201">【女川】</p> <p data-bbox="1874 215 1995 237">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 247 2136 269">応力評価の対象とした系統の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

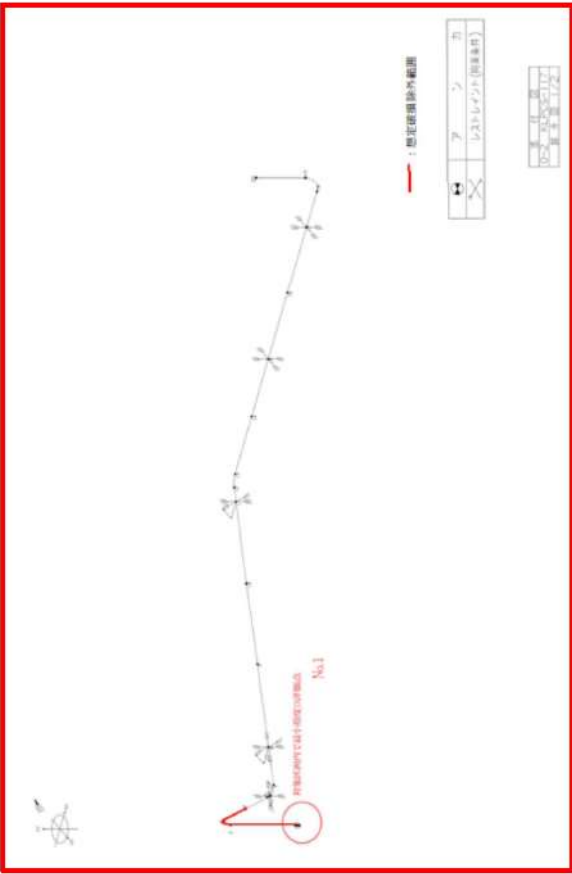
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="772 1029 1187 1053">図6 RHR-017 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p data-bbox="1877 178 1937 199">【女川】</p> <p data-bbox="1877 215 1993 236">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 247 2128 268">応力評価の対象とした系統の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

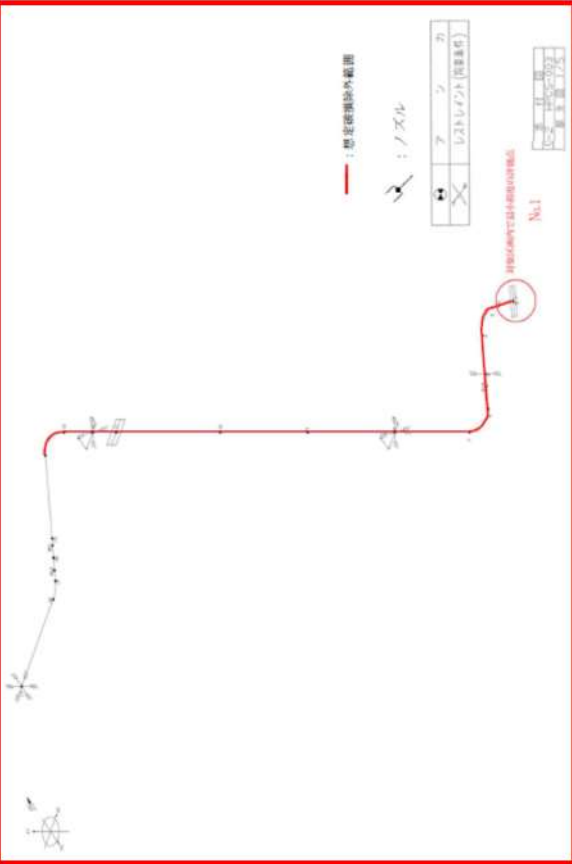
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="770 1066 1191 1088">図7 LPCS-003 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p data-bbox="1877 181 1939 204">【女川】</p> <p data-bbox="1877 217 1993 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 252 2130 274">応力評価の対象とした系統の相違</p>



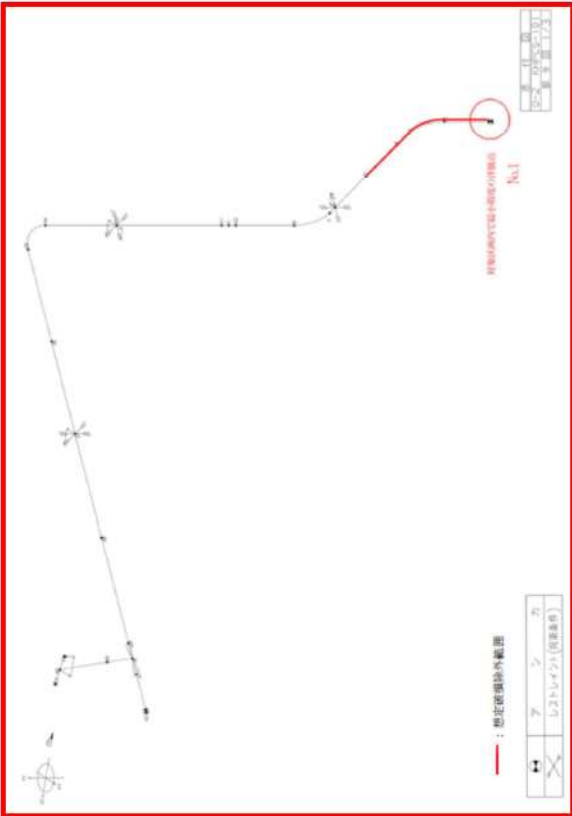
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="763 1066 1196 1090">図8 KLPCS-117 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p data-bbox="1877 178 1939 202">【女川】</p> <p data-bbox="1877 215 1995 236">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 247 2130 268">応力評価の対象とした系統の相違</p>

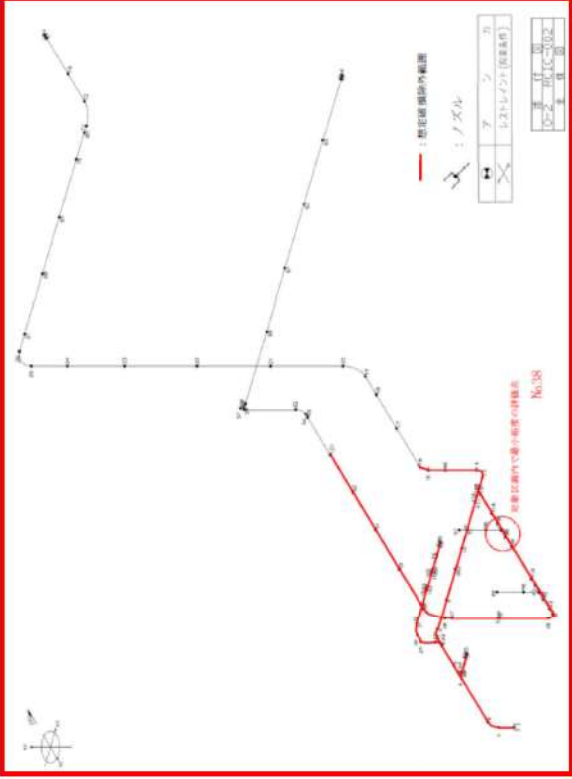
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="770 1066 1191 1088">図9 HPCS-003 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p data-bbox="1874 178 1937 201">【女川】</p> <p data-bbox="1874 213 1995 236">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 245 2136 268">応力評価の対象とした系統の相違</p>

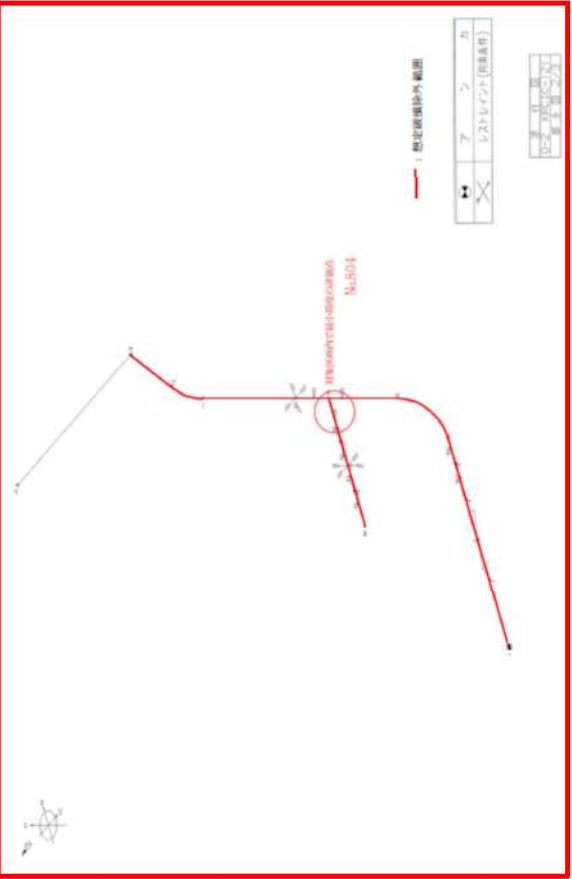
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="757 1029 1200 1054">図10 KHPCS-001 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p data-bbox="1874 177 1939 201">【女川】</p> <p data-bbox="1874 213 1995 237">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 245 2136 269">応力評価の対象とした系統の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="763 963 1196 986">図11 RCIC-002 解析モデル図 (最小裕度の範囲)</p>		<p data-bbox="1874 177 1939 199">【女川】</p> <p data-bbox="1874 213 1995 236">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 245 2136 268">応力評価の対象とした系統の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="757 1098 1205 1125">図12 KRCIC-121 解析モデル図 (最小裕度の範囲)</p>		<p data-bbox="1874 177 1944 204">【女川】</p> <p data-bbox="1874 215 1995 242">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 247 2136 274">応力評価の対象とした系統の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料15）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">補足資料 10</p> <p>1. 減肉管理の概要</p> <p>「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」では、「2.2 減肉等による破損」の想定にあたっては、「注2）設計や管理と破損の想定について」のただし書きとして、「減肉対策として当該部分の肉厚の測定を非破壊検査によって定期的に実施している等、当該部位の材料のき裂状況及び減肉状況を定期的に直接把握している場合は、破損による漏えいを確実に防止できることから、破損を想定しなくてもよい。」とあり、既に減肉状況を定期的に把握している系統配管については、減肉等による破損の想定にはあたらない。</p> <p>一方、減肉等による破損の想定を除外した系統配管については、これまでも減肉知見の拡充の観点より定期的な肉厚検査、配管の対策材への取替等を行ってきており、破損による漏えいを確実に防止できるものと判断しているが、今後も、現状検査範囲の継続的な監視を行うとともに、さらなる検査範囲の拡充を行っている。</p> <p>2. 検査範囲の拡充に伴うデータの扱い</p> <p>減肉は一定の期間内に進化した板厚の減少であるが、以下の理由から減肉かどうかの判断が容易でない場合が含まれている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製造時の板厚は公称値で調達されており、公差が含まれている。</li> <li>・そのため、最初の計測等では板厚減少の原因が加工時の公差によるもの（進行性はない）か、減肉によるものか判断できないものも含まれている。</li> <li>・そこで、現状の減肉管理では加工時の公差による板厚減少も減肉と一旦仮定し、複数回の測定を行っている。加工による板厚減少であれば評価上の減肉速度は測定により低下、余寿命はのびるため、減肉を判断することができる。</li> <li>・次頁以降に減肉等による破損の想定を除外した系統配管の保全状況の確認結果を示す。</li> </ul>	<p style="text-align: right;">添付資料 16</p> <p>減肉等による破損評価について</p> <p>添付資料 14, 15 の評価結果により想定破損除外を行う場合は、減肉、腐食、疲労による破損を別途想定し、非破壊検査、疲労評価等を定期的 to 実施し、定期的な管理を実施することにより、減肉による破損の想定を除外する。</p> <p>1. 配管の想定破損評価時の配管減肉の管理方針について</p> <p>女川2号炉において減肉の可能性のある配管について、当社は「発電用原子力設備規格 沸騰水型原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格（2006年版）（JSME S NH1-2006）」（以下「JSME規格」という。）に基づいて管理している。</p> <p>ここで、内部溢水影響評価において想定破損を除外する配管については、必ずしも上記の測定対象とならないことから、減肉の有無を確認し、今後の運用において減肉等による破損がないこととする。</p> <p>また、当該配管については、内部溢水ガイド附属書Aの「2.1 運転中に発生する応力に基づく評価法」の要求を満足させることとする。</p> <p>なお、本事項は、後段規制での対応が必要となる事項である。（別添2参照）</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 15</p> <p>減肉等による破損評価について</p> <p>添付資料 13, 14 の評価結果により想定破損除外又は高エネルギー配管の貫通クラックを適用する場合は、減肉、腐食、疲労による破損を別途想定し、非破壊検査、疲労評価等を定期的 to 実施し、定期的な管理を実施することにより、減肉による破損の想定を除外又は高エネルギー配管において貫通クラックを適用する。</p> <p>1. 配管の想定破損評価時の配管減肉の管理方針について</p> <p>泊発電所3号炉において減肉の可能性のある配管について、当社は「発電用原子力設備規格 加圧水型原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格（2006年版）（JSME S NG1-2006）」（以下「JSME規格」という。）に基づいて管理している。</p> <p>ここで、内部溢水影響評価において想定破損を除外する配管及び高エネルギー配管の貫通クラックを適用する配管については、必ずしも上記の測定対象とならないことから、減肉の有無を確認し、今後の運用において減肉等による破損がないこととする。</p> <p>また、当該配管については、内部溢水ガイド附属書Aの「2.1 運転中に発生する応力に基づく評価法」の要求を満足させることとする。</p> <p>なお、本事項は、後段規制での対応が必要となる事項である。（別添2参照）</p>	<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊では、高エネルギー配管について、貫通クラックを適用している系統がある。（大飯と同様）</p> <p>記載方針の相違</p> <p>高エネルギー配管の貫通クラックを記載したことによる記載の相違。先行プラントにおいて同様の記載がないことから、左記のとおり記載した。</p> <p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>炉型の違いによる規格の相違。</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊では、高エネルギー配管について、貫通クラックを適用している系統がある。（大飯と同様）</p> <p>記載方針の相違</p> <p>高エネルギー配管の貫通クラックを記載したことによる記載の相違。先行プラントにおいて同様の記載がないことから、左記のとおり記載した。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料15）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>4. 代表部位の選定と検査計画</p> <p>(1) 考え方</p> <p>代表系統及び部位の選定は、JSMEの減肉管理の考え方を踏まえて決定している。考え方を図1に示す。</p> <div data-bbox="114 331 683 991" data-label="Diagram"> </div> <p>図1 代表系統及び部位の考え方</p> <p>(2) 高エネルギー配管</p> <p>減肉管理対象の考え方に沿って、具体的に以下の代表系統と部位を選定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・系統 補助蒸気配管</li> <li>・部位 流れあり：直管部、エルボ部</li> </ul> <p>(3) 低エネルギー配管</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・流れのある腐食：直管部、エルボ部</li> <li>・流れのない腐食：直管部</li> </ul>	<p>2. 検討対象系統の抽出及び腐食モード等の検討</p> <p>(1) 対象系統</p> <p>想定破損を除外する系統のうち、定期事業者検査において非破壊検査による配管肉厚測定を実施しているHS及びHSCRは除外とし、これ以外の減肉量を直接かつ定期的に管理していない系統を対象とする。</p>	<p>2. 検討対象系統の抽出及び腐食モード等の検討</p> <p>(1) 対象系統</p> <p>想定破損を除外する系統及び高エネルギー配管において貫通クラックを適用する系統のうち、定期事業者検査において非破壊検査による配管肉厚測定を実施している補助蒸気系統、蒸気発生器ブローダウン系統（主蒸気管室外、主蒸気系統（主蒸気管室外）、補助給水系統、空調用冷水系統及び原子炉補機冷却水系統は除外とし、これ以外の減肉量を直接かつ定期的に管理していない系統を対象とする。</p>	<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊では、高エネルギー配管について、貫通クラックを適用している系統がある。（大阪と同様）</p> <p>・プラント設計による系統の相違</p> <p>記載方針の相違</p> <p>高エネルギー配管の貫通クラックを記載したことによる記載の相違。先行プラントにおいて同様の記載がないことから、左記の通り記載した。</p> <p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績を反映し、女川と同様の内容にて検討対象系統を抽出する。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料15）

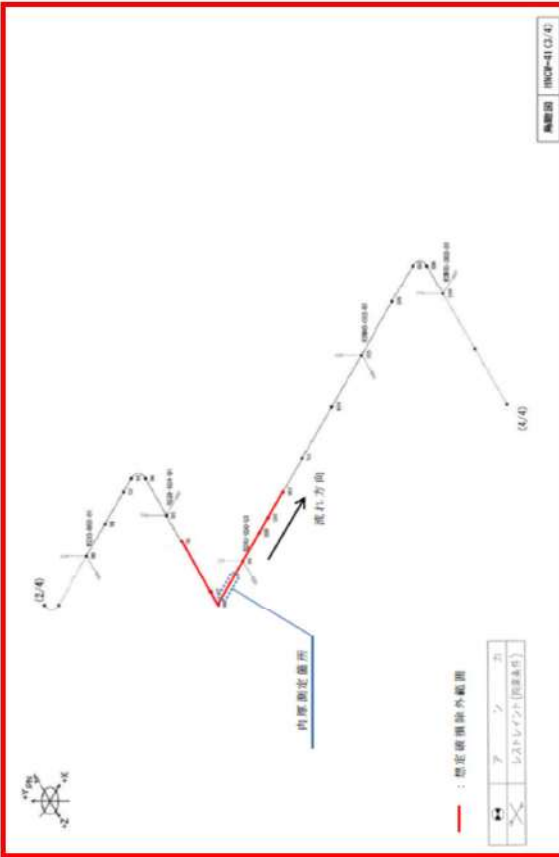
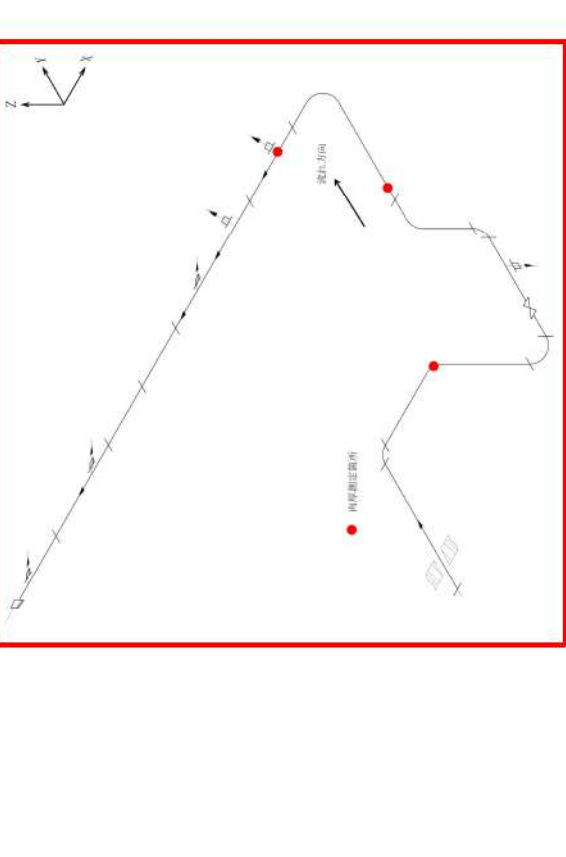
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
<p>図2 代表系統及び部位の選定</p>	<p>(2) 材料                  女川2号炉の内部溢水影響評価において想定破損を除外する配管は、すべて炭素鋼配管である。</p> <p>【柏崎刈羽6, 7号炉】                  まとめ資料9条-別添1-補足19-12より抜粋</p> <p>(2)対象材料                  柏崎刈羽原子力発電所6号炉、7号炉の低エネルギー配管材料としては、ステンレス鋼および炭素鋼が使用されているが、配管の主要な減肉事象を補足第19.2.2-1表のとおり整理し、相対的に耐食性の低い炭素鋼配管を代表として抽出する。補足第19.2.2-1表に主要な減肉事象と炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由を示す。なお、炭素鋼配管であっても、海水系統のような内面ライニング配管については、対象外とする。</p> <table border="1" data-bbox="705 726 1254 981"> <thead> <tr> <th>減肉事象</th> <th>炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全面腐食</td> <td>ステンレス鋼はCr含有量が多く、表面に形成される不動態化被膜により炭素鋼に比べ耐食性が優れている。</td> </tr> <tr> <td>流れ加速型腐食 (FAC)</td> <td>FACによる減肉速度は配管材料のCr含有量が多いほど低下することが知られており、ステンレス鋼は炭素鋼に比べ、FACが抑制される。</td> </tr> <tr> <td>液滴衝撃エロージョン (フラッシング・エロージョン含む)</td> <td>液滴衝撃エロージョンは負圧機器に接続され連続的に高速二相流が流れる系統で発生する可能性があるが、対象となる低エネルギー配管で該当する系統はない。</td> </tr> <tr> <td>キャビテーション・エロージョン</td> <td>設計段階においてキャビテーション発生防止のための評価・確認を実施し、運転条件を適切に維持していることから、問題ない。</td> </tr> <tr> <td>固体粒子エロージョン</td> <td>BWRプラントにおいて通常起こりえない事象である。</td> </tr> </tbody> </table>	減肉事象	炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由	全面腐食	ステンレス鋼はCr含有量が多く、表面に形成される不動態化被膜により炭素鋼に比べ耐食性が優れている。	流れ加速型腐食 (FAC)	FACによる減肉速度は配管材料のCr含有量が多いほど低下することが知られており、ステンレス鋼は炭素鋼に比べ、FACが抑制される。	液滴衝撃エロージョン (フラッシング・エロージョン含む)	液滴衝撃エロージョンは負圧機器に接続され連続的に高速二相流が流れる系統で発生する可能性があるが、対象となる低エネルギー配管で該当する系統はない。	キャビテーション・エロージョン	設計段階においてキャビテーション発生防止のための評価・確認を実施し、運転条件を適切に維持していることから、問題ない。	固体粒子エロージョン	BWRプラントにおいて通常起こりえない事象である。	<p>(2) 対象材料                  泊発電所3号炉の高エネルギー配管材料及び低エネルギー配管材料としては、ステンレス鋼及び炭素鋼が使用されているが、配管の主要な減肉事象を表1のとおり整理し、相対的に耐食性の低い炭素鋼配管を代表として抽出する。表1に主要な減肉事象と炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由を示す。なお、炭素鋼配管であっても、海水系統のような内面ライニング配管については、対象外とする。</p> <p>表1 主要な減肉事象と炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由</p> <table border="1" data-bbox="1288 758 1848 1013"> <thead> <tr> <th>減肉事象</th> <th>炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全面腐食</td> <td>ステンレス鋼はCr含有量が多く、表面に形成される不動態化被膜により炭素鋼に比べ耐食性が優れている。</td> </tr> <tr> <td>流れ加速型腐食 (FAC)</td> <td>FACによる減肉速度は配管材料のCr含有量が多いほど低下することが知られており、ステンレス鋼は炭素鋼に比べ、FACが抑制される。</td> </tr> <tr> <td>液滴衝撃エロージョン (フラッシング・エロージョン含む)</td> <td>液滴衝撃エロージョンは負圧機器に接続され連続的に高速二相流が流れる系統で発生する可能性があるが、対象となる低エネルギー配管で該当する系統はない。</td> </tr> <tr> <td>キャビテーション・エロージョン</td> <td>設計段階においてキャビテーション発生防止のための評価・確認を実施し、運転条件を適切に維持していることから、問題ない。</td> </tr> <tr> <td>固体粒子エロージョン</td> <td>BWRプラントにおいて通常起こりえない事象である。</td> </tr> </tbody> </table>	減肉事象	炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由	全面腐食	ステンレス鋼はCr含有量が多く、表面に形成される不動態化被膜により炭素鋼に比べ耐食性が優れている。	流れ加速型腐食 (FAC)	FACによる減肉速度は配管材料のCr含有量が多いほど低下することが知られており、ステンレス鋼は炭素鋼に比べ、FACが抑制される。	液滴衝撃エロージョン (フラッシング・エロージョン含む)	液滴衝撃エロージョンは負圧機器に接続され連続的に高速二相流が流れる系統で発生する可能性があるが、対象となる低エネルギー配管で該当する系統はない。	キャビテーション・エロージョン	設計段階においてキャビテーション発生防止のための評価・確認を実施し、運転条件を適切に維持していることから、問題ない。	固体粒子エロージョン	BWRプラントにおいて通常起こりえない事象である。	<p>【女川】                  記載表現の相違                  記載方針の相違                  相違審査実績を反映。</p> <p>【柏崎】                  設備名称の相違                  設計方針の相違                  泊については高エネルギー配管も応力評価の対象としているため、その旨を反映している。(高エネルギー配管に応力評価を実施しているという観点で、大飯、女川と同様)</p> <p>【大飯】                  記載方針の相違                  相違審査実績を反映し、女川と同様に材料、腐食モード及び水質の観点から検討対象系統を抽出する。</p>
減肉事象	炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由																										
全面腐食	ステンレス鋼はCr含有量が多く、表面に形成される不動態化被膜により炭素鋼に比べ耐食性が優れている。																										
流れ加速型腐食 (FAC)	FACによる減肉速度は配管材料のCr含有量が多いほど低下することが知られており、ステンレス鋼は炭素鋼に比べ、FACが抑制される。																										
液滴衝撃エロージョン (フラッシング・エロージョン含む)	液滴衝撃エロージョンは負圧機器に接続され連続的に高速二相流が流れる系統で発生する可能性があるが、対象となる低エネルギー配管で該当する系統はない。																										
キャビテーション・エロージョン	設計段階においてキャビテーション発生防止のための評価・確認を実施し、運転条件を適切に維持していることから、問題ない。																										
固体粒子エロージョン	BWRプラントにおいて通常起こりえない事象である。																										
減肉事象	炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由																										
全面腐食	ステンレス鋼はCr含有量が多く、表面に形成される不動態化被膜により炭素鋼に比べ耐食性が優れている。																										
流れ加速型腐食 (FAC)	FACによる減肉速度は配管材料のCr含有量が多いほど低下することが知られており、ステンレス鋼は炭素鋼に比べ、FACが抑制される。																										
液滴衝撃エロージョン (フラッシング・エロージョン含む)	液滴衝撃エロージョンは負圧機器に接続され連続的に高速二相流が流れる系統で発生する可能性があるが、対象となる低エネルギー配管で該当する系統はない。																										
キャビテーション・エロージョン	設計段階においてキャビテーション発生防止のための評価・確認を実施し、運転条件を適切に維持していることから、問題ない。																										
固体粒子エロージョン	BWRプラントにおいて通常起こりえない事象である。																										
	<p>(3) 腐食モード                  配管強度に影響をおよぼす腐食モードとしては、流れ加速型腐食 (FAC)、全面腐食が考えられるが、低温配管については、FACの感受性が低いことから、主に全面腐食を検討する。</p>	<p>(3) 腐食モード                  配管強度に影響をおよぼす腐食モードとしては、流れ加速型腐食 (FAC)、全面腐食が考えられるが、低温配管については、FACの感受性が低いことから、主に全面腐食を検討する。</p>																									



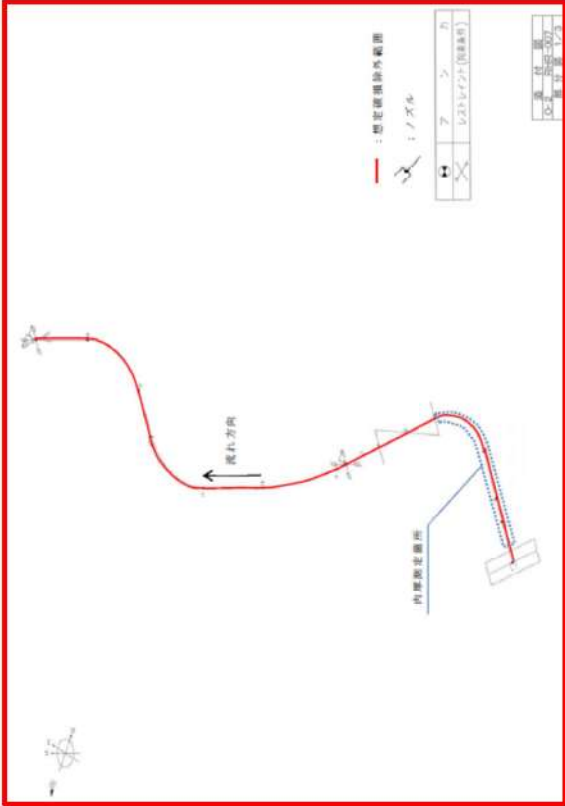
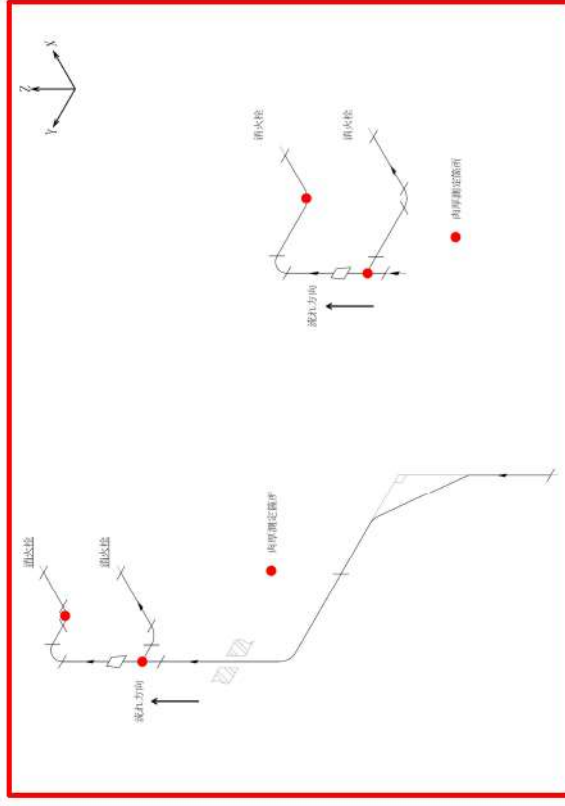
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																		
	<p>(4) 水質</p> <p>炭素鋼の全面腐食の加速因子として支配的なものは、溶存酸素、pH、塩分濃度、水質条件である。想定破損を除外する系統の水源は、<b>純水タンク、復水貯蔵タンク、サブプレッションプール</b>である。</p> <p>以上の検討結果より肉厚測定対象系統及び肉厚測定箇所の考え方を表1に示し、また肉厚測定箇所を図1～図6に示す。</p> <p>表1 肉厚測定対象系統及び肉厚測定箇所の考え方</p> <table border="1" data-bbox="696 523 1272 708"> <thead> <tr> <th>肉厚測定対象系統</th> <th>系統概要</th> <th>肉厚測定箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HNCW</td> <td>内包水は純水であり、防食剤を含む定常的な流れのある系統</td> <td rowspan="5">想定破損を除外する範囲において、減肉が想定される箇所（配管エルボ部、ポンプ吐出など）を選定</td> </tr> <tr> <td>BHR</td> <td></td> </tr> <tr> <td>LPCS</td> <td rowspan="3">内包水は復水であり、防食剤を含まず、定常的な流れがない系統（系統試験時は流れあり）。</td> </tr> <tr> <td>HPCS</td> </tr> <tr> <td>RCIC</td> </tr> </tbody> </table>	肉厚測定対象系統	系統概要	肉厚測定箇所	HNCW	内包水は純水であり、防食剤を含む定常的な流れのある系統	想定破損を除外する範囲において、減肉が想定される箇所（配管エルボ部、ポンプ吐出など）を選定	BHR		LPCS	内包水は復水であり、防食剤を含まず、定常的な流れがない系統（系統試験時は流れあり）。	HPCS	RCIC	<p>(4) 水質</p> <p>炭素鋼の全面腐食の加速因子として支配的なものは、溶存酸素、pH、塩分濃度、水質条件である。想定破損を除外する系統の水源は、<b>補助給水ビット、原子炉補機冷却水サージタンク、ろ過水タンク、空調用冷水膨張タンク</b>である。</p> <p>以上の検討結果より肉厚測定対象系統及び肉厚測定箇所の考え方を表2に示し、また肉厚測定箇所を図1に示す。</p> <p>表2 肉厚測定対象系統及び肉厚測定箇所の考え方</p> <table border="1" data-bbox="1279 523 1861 635"> <thead> <tr> <th>肉厚測定対象系統</th> <th>系統概要</th> <th>肉厚測定箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水消火系統</td> <td>内包水はろ過水であり、溶存酸素濃度が高く、定常的な流れがない系統（系統試験時は流れあり）</td> <td>想定破損を除外する範囲において、減肉が想定される箇所（配管エルボ部、ポンプ吐出など）を想定</td> </tr> </tbody> </table>	肉厚測定対象系統	系統概要	肉厚測定箇所	水消火系統	内包水はろ過水であり、溶存酸素濃度が高く、定常的な流れがない系統（系統試験時は流れあり）	想定破損を除外する範囲において、減肉が想定される箇所（配管エルボ部、ポンプ吐出など）を想定	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計による系統の相違</p>
肉厚測定対象系統	系統概要	肉厚測定箇所																			
HNCW	内包水は純水であり、防食剤を含む定常的な流れのある系統	想定破損を除外する範囲において、減肉が想定される箇所（配管エルボ部、ポンプ吐出など）を選定																			
BHR																					
LPCS	内包水は復水であり、防食剤を含まず、定常的な流れがない系統（系統試験時は流れあり）。																				
HPCS																					
RCIC																					
肉厚測定対象系統	系統概要	肉厚測定箇所																			
水消火系統	内包水はろ過水であり、溶存酸素濃度が高く、定常的な流れがない系統（系統試験時は流れあり）	想定破損を除外する範囲において、減肉が想定される箇所（配管エルボ部、ポンプ吐出など）を想定																			

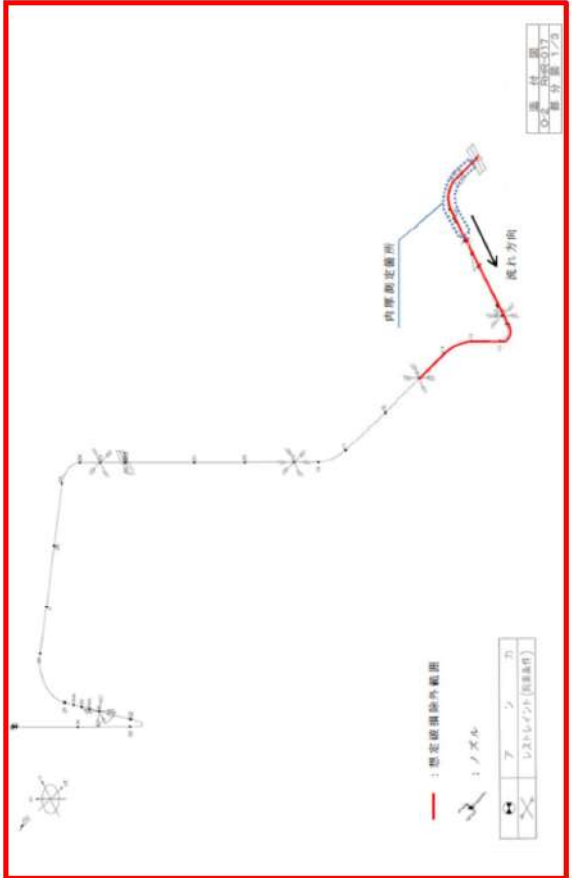
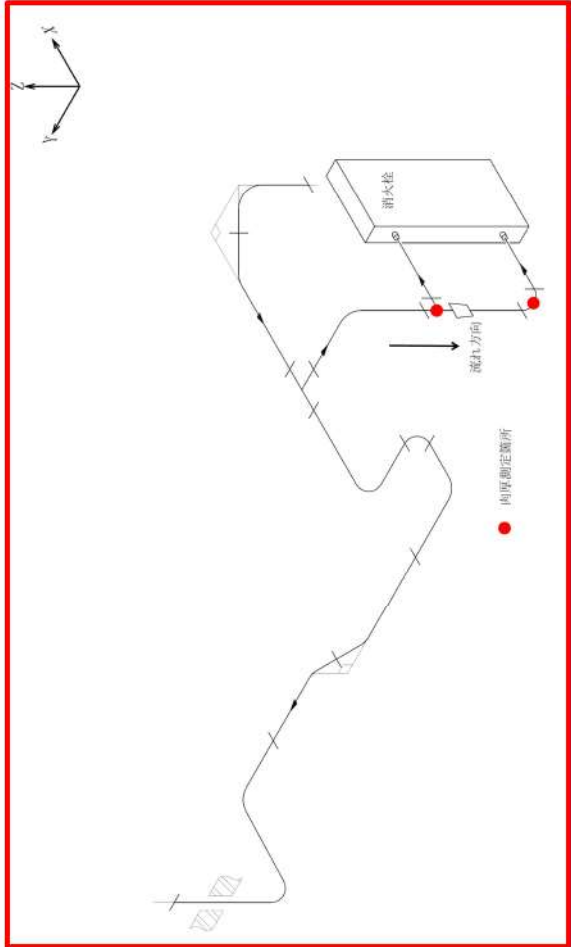
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="869 1066 1102 1088">図1 肉厚測定箇所（HNCW）</p>	 <p data-bbox="1388 1066 1747 1088">図1 肉厚測定箇所（水消火系統）（1/5）</p>	<p data-bbox="1877 178 2130 306">【女川】 設計方針の相違 プラント設計による対象系統の相違</p> <p data-bbox="1877 1034 2130 1225">【女川】 記載表現の相違 女川では別々の系統を載せているので図1~6までの図番を記載しているが、泊では同じ系統を載せているので(1/5)~(6/5)とした。</p>

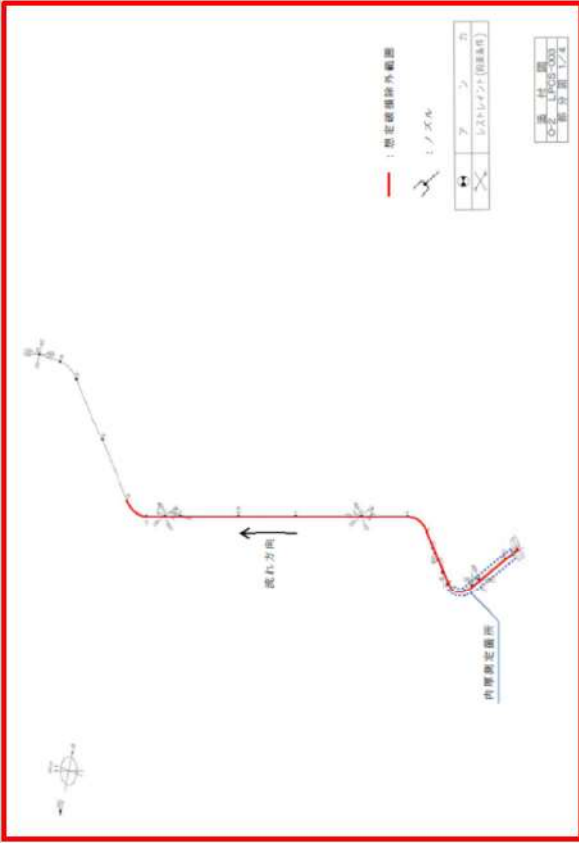
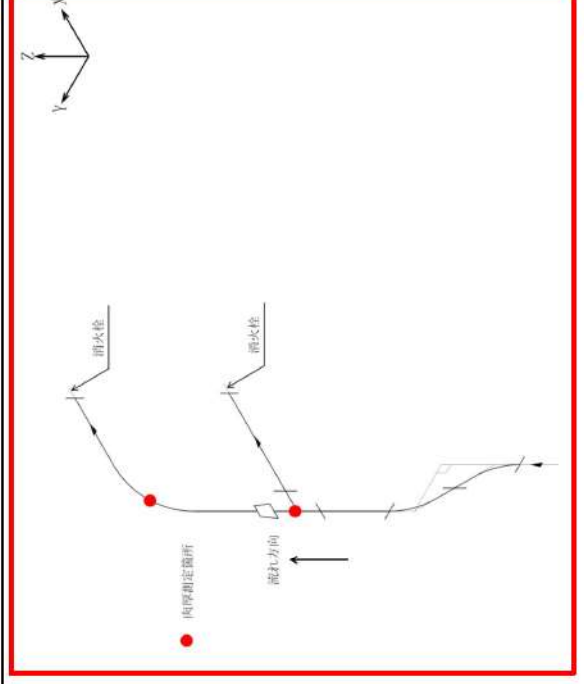
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="828 1029 1131 1061">図2 肉厚測定箇所（RHR(A), (B)）</p>	 <p data-bbox="1388 1029 1736 1061">図1 肉厚測定箇所（水消火系統）（2/5）</p>	<p data-bbox="1870 175 1937 199">【女川】</p> <p data-bbox="1870 215 1993 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1870 247 2128 303">プラント設計による対象系統の相違</p> <p data-bbox="1870 1029 1937 1053">【女川】</p> <p data-bbox="1870 1069 1993 1093">記載表現の相違</p> <p data-bbox="1870 1101 2128 1220">女川では別々の系統を載せているので図1～6までの図番を記載しているが、泊では同じ系統を載せているので(1/5)～(6/5)とした。</p>

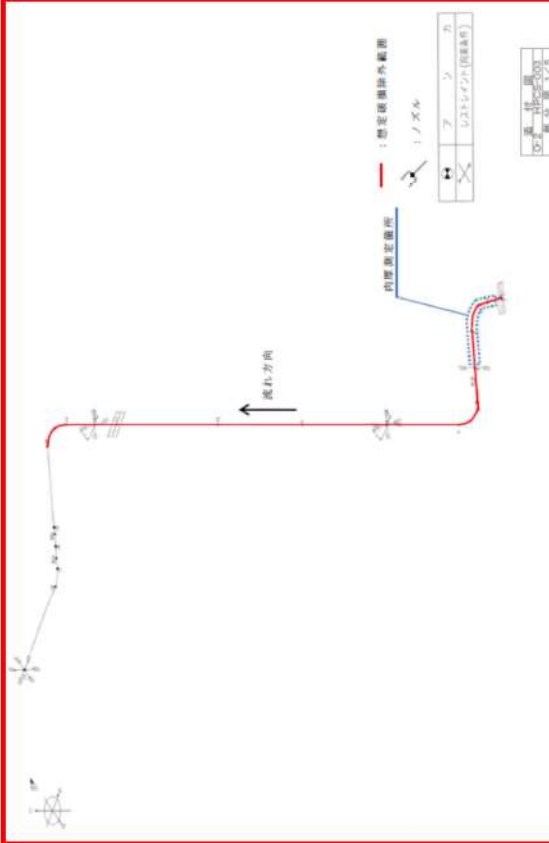
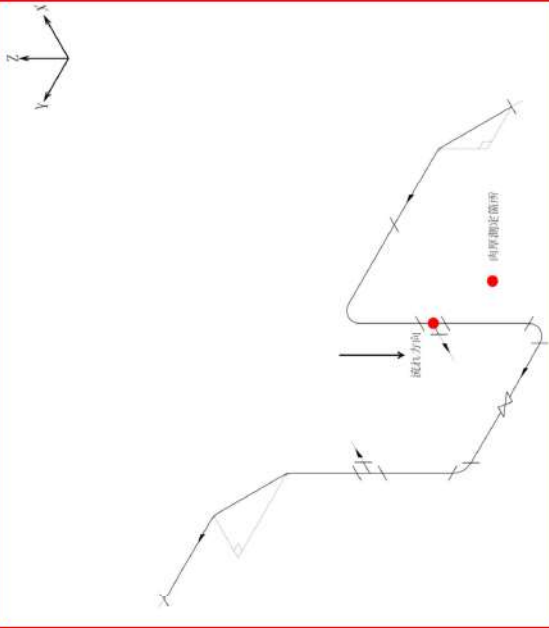
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="853 1198 1106 1225">図3 肉厚測定箇所 (RHR(C))</p>	 <p data-bbox="1391 1198 1742 1225">図1 肉厚測定箇所 (水消火系統) (3/5)</p>	<p data-bbox="1874 177 2136 304">【女川】 設計方針の相違 プラント設計による対象系統の相違</p> <p data-bbox="1874 1198 2136 1394">【女川】 記載表現の相違 女川では別々の系統を載せているので図1～6までの図番を記載しているが、泊では同じ系統を載せているので(1/5)～(5/5)とした。</p>

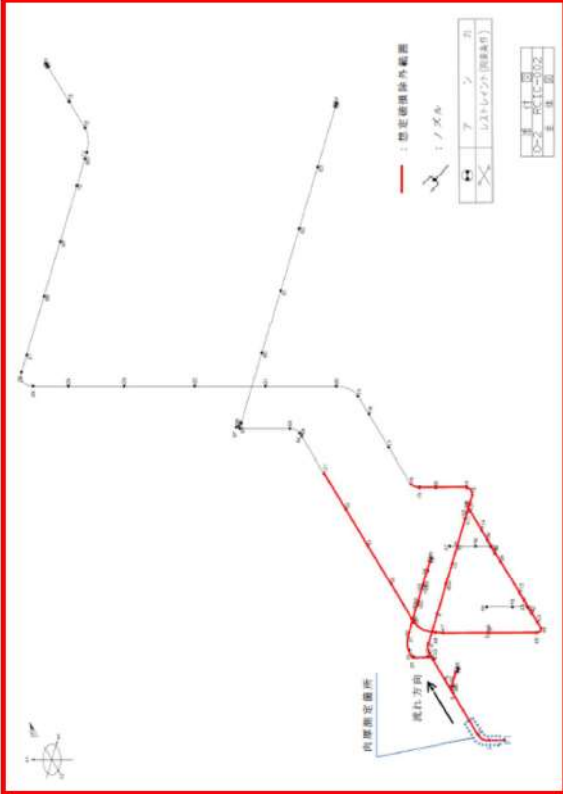
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="862 1066 1097 1093">図4 肉厚測定箇所 (LPCS)</p>	 <p data-bbox="1388 1066 1736 1093">図1 肉厚測定箇所 (水消火系統) (4/5)</p>	<p data-bbox="1868 178 1937 204">【女川】</p> <p data-bbox="1868 215 1993 240">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1868 252 2136 304">プラント設計による対象系統の相違</p> <p data-bbox="1868 1066 1937 1091">【女川】</p> <p data-bbox="1868 1102 1993 1128">記載表現の相違</p> <p data-bbox="1868 1139 2136 1257">女川では別々の系統を載せているので図1～6までの図番を記載しているが、泊では同じ系統を載せているので(1/5)～(5/5)とした。</p>

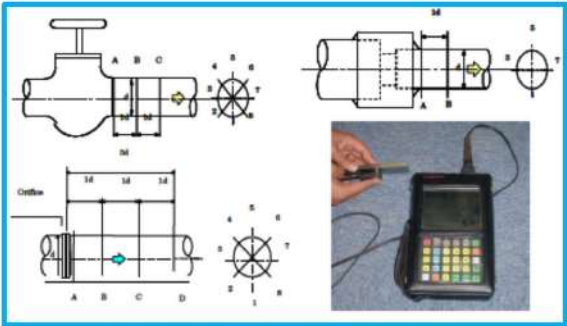
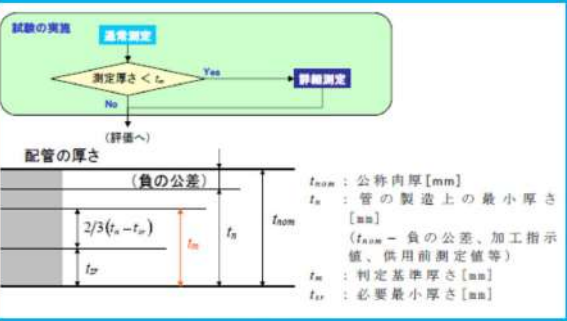
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="862 1061 1097 1093">図5 肉厚測定箇所（HPCS）</p>	 <p data-bbox="1388 1061 1736 1093">図1 肉厚測定箇所（水消火系統）（5/5）</p>	<p data-bbox="1877 183 1937 207">【女川】</p> <p data-bbox="1877 215 1993 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 247 2128 303">プラント設計による対象系統の相違</p> <p data-bbox="1877 1061 1937 1085">【女川】</p> <p data-bbox="1877 1093 1993 1117">記載表現の相違</p> <p data-bbox="1877 1125 2128 1260">女川では別々の系統を載せているので図1～6までの図番を記載しているが、泊では同じ系統を載せているので(1/5)～(5/5)とした。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="869 997 1097 1021">図6 肉厚測定箇所 (RCIC)</p>		<p data-bbox="1874 183 2136 303">【女川】 設計方針の相違 プラント設計による対象系統の相違</p> <p data-bbox="1874 997 2136 1189">【女川】 記載表現の相違 女川では別々の系統を載せているので図1～6までの図番を記載しているが、泊では同じ系統を載せているので(1/5)～(6/5)とした。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2. 肉厚測定</p> <p>(1) 通常測定</p> <p>図6に示すように、定点における肉厚を、UT測定器を用いて、有資格者が測定を実施している。</p>  <p>図6 通常測定の測定部位の例と測定器</p> <p>(2) 詳細測定</p> <p>図7に示すように測定厚さが<math>t_m</math>より小さい場合は、詳細測定（図8）を実施する。</p>  <p>図7 肉厚測定フロー</p>			<p><b>【大飯】</b></p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料15）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																														
 <p>通常測定の測定点</p> <p>詳細測定の測定点 (約20mmピッチ)</p>			<p>【大飯】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      女川審査実績の反映</p>																																																																																																																																																																																																																																																																														
<p>図8 詳細測定の方法</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																	
<p>3. 肉厚測定検査の確認結果</p> <p>(1) 高エネルギー配管</p> <p>高エネルギー配管のうち、応力評価を行い破損形状が貫通クラックとしている補助蒸気配管（許容応力は0.8Sa）については、JSME規格の対象外であるが、過去より配管の対策材への取替や、未対策材化部位の定期事業者検査における非破壊検査（肉厚測定）を実施し、減肉量を直接的かつ定期的に把握している。結果を表1に示すとおり、次回点検までの時間は十分ある。</p>	<p>3. 評価結果</p> <p>想定破損除外する箇所の肉厚測定結果を表2に示す。</p>	<p>3. 評価結果</p> <p>想定破損除外する箇所の肉厚測定結果を表3に示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>追而【地震津波側審査の反映】                      破線囲部分は基準地震動確定後に反映する。</p> </div>	<p>【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a></p> <p>【大飯】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      女川審査実績の反映</p>																																																																																																																																																																																																																																																																														
<p>表1 補助蒸気配管の定期事業者検査（非破壊検査）実績(例)</p>	<p>表2 肉厚測定結果</p>	<p>表3 肉厚測定結果</p>	<p>【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a></p>																																																																																																																																																																																																																																																																														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>プラント</th> <th>名称</th> <th>測定箇所</th> <th>口径</th> <th>公称肉厚<sup>※1</sup></th> <th>次回点検までの期間<sup>※2</sup></th> <th>点検回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>大飯3号炉</td><td>低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管</td><td>直管</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>24.5年</td><td>#11,13,14</td></tr> <tr><td>大飯3号炉</td><td>低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管</td><td>エルボ</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>23.5年</td><td>#11,13,14</td></tr> <tr><td>大飯3号炉</td><td>低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管</td><td>エルボ</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>28.7年</td><td>#11,13,14</td></tr> <tr><td>大飯3号炉</td><td>低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管</td><td>エルボ</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>26.7年</td><td>#11,13,14</td></tr> <tr><td>大飯3号炉</td><td>低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管</td><td>直管</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>27.4年</td><td>#11,13,14</td></tr> <tr><td>大飯4号炉</td><td>低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管</td><td>エルボ</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>25.0年</td><td>#11,14</td></tr> <tr><td>大飯4号炉</td><td>低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管</td><td>エルボ</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>20.0年</td><td>#11,14</td></tr> <tr><td>大飯4号炉</td><td>低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管</td><td>エルボ</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>24.2年</td><td>#11,14</td></tr> <tr><td>大飯4号炉</td><td>低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管</td><td>エルボ</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>22.4年</td><td>#11,14</td></tr> <tr><td>大飯4号炉</td><td>低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管</td><td>エルボ</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>21.6年</td><td>#11,14</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 測定結果は5.0～5.9mm                  ※2 発生応力が0.8Saを上回る最小厚さに至るまでの期間またはJSME S-N61-2006の必要最小厚さtarを下回るまでの期間のいずれか短い期間</p>	プラント	名称	測定箇所	口径	公称肉厚 <sup>※1</sup>	次回点検までの期間 <sup>※2</sup>	点検回数	大飯3号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	直管	38	5.5mm	24.5年	#11,13,14	大飯3号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	23.5年	#11,13,14	大飯3号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	28.7年	#11,13,14	大飯3号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	26.7年	#11,13,14	大飯3号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	直管	38	5.5mm	27.4年	#11,13,14	大飯4号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	25.0年	#11,14	大飯4号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	20.0年	#11,14	大飯4号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	24.2年	#11,14	大飯4号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	22.4年	#11,14	大飯4号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	21.6年	#11,14	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">管理番号 (炉内番号)</th> <th rowspan="2">公称肉厚 (mm)</th> <th rowspan="2">製造上の 最小肉厚 (mm)</th> <th rowspan="2">必要最低 肉厚 (mm)</th> <th rowspan="2">測定最 小肉厚 (mm)</th> <th colspan="2">減肉率</th> <th rowspan="2">余寿命 (年)</th> <th rowspan="2">結果 ◎◎</th> </tr> <tr> <th>減肉率 (mm/h)</th> <th>算出 方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>HNCW-P41-1</td><td>5.5</td><td>4.81</td><td>2.4</td><td>5.2</td><td><math>1.77 \times 10^{-4}</math></td><td>※1</td><td>◎◎</td><td>良</td></tr> <tr><td>RHR-2-1</td><td>11.1</td><td>9.71</td><td>6.34</td><td>11.0</td><td><math>5.90 \times 10^{-4}</math></td><td>※1</td><td>◎◎</td><td>良</td></tr> <tr><td>RHR-6-1</td><td>11.1</td><td>9.71</td><td>6.34</td><td>10.9</td><td><math>1.18 \times 10^{-4}</math></td><td>※1</td><td>◎◎</td><td>良</td></tr> <tr><td>RHR-6-2</td><td>10.3</td><td>9.01</td><td>5.68</td><td>11.3</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>良</td></tr> <tr><td>LPCS-2-1</td><td>17.4</td><td>15.22</td><td>6.71</td><td>15.5</td><td><math>1.12 \times 10^{-3}</math></td><td>※2</td><td>89.5</td><td>良</td></tr> <tr><td>HPCS-2-1</td><td>25.4</td><td>22.22</td><td>16.01</td><td>22.2</td><td><math>1.89 \times 10^{-3}</math></td><td>※2</td><td>37.4</td><td>良</td></tr> <tr><td>ECIC-2-1</td><td>13.5</td><td>11.81</td><td>6.25</td><td>12.2</td><td><math>7.67 \times 10^{-4}</math></td><td>※2</td><td>88.6</td><td>良</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 公称肉厚データと今回測定データにより算出する方法。                  ※2 残時間100万時間以上                  ※3 判定基準：配管の測定最小肉厚が必要以上確保されていること及び余寿命が1サイクル（1.2年）以上であること。（出典：「発電用原子力設備規格沸騰水型原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格（2006年版）JSME S-NH1-2006（以下JSME規格）」の「CA-5000評価」による）</p>	管理番号 (炉内番号)	公称肉厚 (mm)	製造上の 最小肉厚 (mm)	必要最低 肉厚 (mm)	測定最 小肉厚 (mm)	減肉率		余寿命 (年)	結果 ◎◎	減肉率 (mm/h)	算出 方法	HNCW-P41-1	5.5	4.81	2.4	5.2	$1.77 \times 10^{-4}$	※1	◎◎	良	RHR-2-1	11.1	9.71	6.34	11.0	$5.90 \times 10^{-4}$	※1	◎◎	良	RHR-6-1	11.1	9.71	6.34	10.9	$1.18 \times 10^{-4}$	※1	◎◎	良	RHR-6-2	10.3	9.01	5.68	11.3	-	-	-	良	LPCS-2-1	17.4	15.22	6.71	15.5	$1.12 \times 10^{-3}$	※2	89.5	良	HPCS-2-1	25.4	22.22	16.01	22.2	$1.89 \times 10^{-3}$	※2	37.4	良	ECIC-2-1	13.5	11.81	6.25	12.2	$7.67 \times 10^{-4}$	※2	88.6	良	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">管理 番号</th> <th rowspan="2">公称 肉厚 (mm)</th> <th rowspan="2">製造上の 最小肉厚 (mm)</th> <th rowspan="2">必要最低 肉厚 (mm)</th> <th rowspan="2">測定最小 肉厚 (mm)</th> <th colspan="2">減肉率</th> <th rowspan="2">余寿命 (年)</th> <th rowspan="2">結果</th> </tr> <tr> <th>減肉率 (mm/h)</th> <th>算出 方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	管理 番号	公称 肉厚 (mm)	製造上の 最小肉厚 (mm)	必要最低 肉厚 (mm)	測定最小 肉厚 (mm)	減肉率		余寿命 (年)	結果	減肉率 (mm/h)	算出 方法	1									2									3									4									5									6									7									8									9									10									11									12									<p>【大飯】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      女川審査実績の反映</p>
プラント	名称	測定箇所	口径	公称肉厚 <sup>※1</sup>	次回点検までの期間 <sup>※2</sup>	点検回数																																																																																																																																																																																																																																																																											
大飯3号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	直管	38	5.5mm	24.5年	#11,13,14																																																																																																																																																																																																																																																																											
大飯3号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	23.5年	#11,13,14																																																																																																																																																																																																																																																																											
大飯3号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	28.7年	#11,13,14																																																																																																																																																																																																																																																																											
大飯3号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	26.7年	#11,13,14																																																																																																																																																																																																																																																																											
大飯3号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	直管	38	5.5mm	27.4年	#11,13,14																																																																																																																																																																																																																																																																											
大飯4号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	25.0年	#11,14																																																																																																																																																																																																																																																																											
大飯4号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	20.0年	#11,14																																																																																																																																																																																																																																																																											
大飯4号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	24.2年	#11,14																																																																																																																																																																																																																																																																											
大飯4号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	22.4年	#11,14																																																																																																																																																																																																																																																																											
大飯4号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	21.6年	#11,14																																																																																																																																																																																																																																																																											
管理番号 (炉内番号)	公称肉厚 (mm)	製造上の 最小肉厚 (mm)	必要最低 肉厚 (mm)	測定最 小肉厚 (mm)	減肉率		余寿命 (年)	結果 ◎◎																																																																																																																																																																																																																																																																									
					減肉率 (mm/h)	算出 方法																																																																																																																																																																																																																																																																											
HNCW-P41-1	5.5	4.81	2.4	5.2	$1.77 \times 10^{-4}$	※1	◎◎	良																																																																																																																																																																																																																																																																									
RHR-2-1	11.1	9.71	6.34	11.0	$5.90 \times 10^{-4}$	※1	◎◎	良																																																																																																																																																																																																																																																																									
RHR-6-1	11.1	9.71	6.34	10.9	$1.18 \times 10^{-4}$	※1	◎◎	良																																																																																																																																																																																																																																																																									
RHR-6-2	10.3	9.01	5.68	11.3	-	-	-	良																																																																																																																																																																																																																																																																									
LPCS-2-1	17.4	15.22	6.71	15.5	$1.12 \times 10^{-3}$	※2	89.5	良																																																																																																																																																																																																																																																																									
HPCS-2-1	25.4	22.22	16.01	22.2	$1.89 \times 10^{-3}$	※2	37.4	良																																																																																																																																																																																																																																																																									
ECIC-2-1	13.5	11.81	6.25	12.2	$7.67 \times 10^{-4}$	※2	88.6	良																																																																																																																																																																																																																																																																									
管理 番号	公称 肉厚 (mm)	製造上の 最小肉厚 (mm)	必要最低 肉厚 (mm)	測定最小 肉厚 (mm)	減肉率		余寿命 (年)	結果																																																																																																																																																																																																																																																																									
					減肉率 (mm/h)	算出 方法																																																																																																																																																																																																																																																																											
1																																																																																																																																																																																																																																																																																	
2																																																																																																																																																																																																																																																																																	
3																																																																																																																																																																																																																																																																																	
4																																																																																																																																																																																																																																																																																	
5																																																																																																																																																																																																																																																																																	
6																																																																																																																																																																																																																																																																																	
7																																																																																																																																																																																																																																																																																	
8																																																																																																																																																																																																																																																																																	
9																																																																																																																																																																																																																																																																																	
10																																																																																																																																																																																																																																																																																	
11																																																																																																																																																																																																																																																																																	
12																																																																																																																																																																																																																																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料15）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																														
<p>(2)低エネルギー配管</p> <p>低エネルギー配管（破損なし：応力の上限は0.4Sa）のうち、炭素鋼配管は内部流体による全面腐食の可能性が考えられるが、低温域においては、酸素飽和の条件においてもその腐食量は軽微である。また、補助給水系統他について非破壊検査による肉厚測定を実施しており、腐食量を直接的に把握している。結果を表2、3に示すとおり、次回点検までの時間は十分ある。</p> <p>表2 大飯3号炉 低エネルギー配管の非破壊検査実績（例）</p> <table border="1" data-bbox="114 491 685 671"> <thead> <tr> <th>プラント</th> <th>名称</th> <th>測定箇所</th> <th>口径</th> <th>公称肉厚<sup>※1</sup></th> <th>次回定検までの期間<sup>※2</sup></th> <th>定検回次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>大飯3号炉</td><td>補助給水配管ポンプ出口配管</td><td>直管</td><td>3B</td><td>7.6mm</td><td>50.7年</td><td>#16</td></tr> <tr><td>大飯3号炉</td><td>補助給水流量オリフィス下流配管</td><td>直管</td><td>3B</td><td>7.6mm</td><td>50.7年</td><td>#16</td></tr> <tr><td>大飯3号炉</td><td>消火水系</td><td>直管</td><td>3B</td><td>7.1mm</td><td>63.1年</td><td>#16</td></tr> <tr><td>大飯3号炉</td><td>消火水系</td><td>直管</td><td>3B</td><td>5.5mm</td><td>80.3年</td><td>#16</td></tr> <tr><td>大飯3号炉</td><td>冷水系</td><td>直管</td><td>6B</td><td>7.1mm</td><td>100年以上</td><td>#16</td></tr> <tr><td>大飯3号炉</td><td>冷水系</td><td>エルボ</td><td>4B</td><td>6.0mm</td><td>100年以上</td><td>#16</td></tr> <tr><td>大飯3号炉</td><td>原子炉補機冷却系</td><td>直管</td><td>3B</td><td>5.5mm</td><td>100年以上</td><td>#16</td></tr> <tr><td>大飯3号炉</td><td>原子炉補機冷却系</td><td>エルボ</td><td>3B</td><td>5.5mm</td><td>100年以上</td><td>#16</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 測定結果は5.1～7.2mm                  ※2 発生応力が0.4Saを上回る最小厚さに至るまでの期間またはJSME S NG1-2006の必要最小厚さtarを下回るまでの期間のいずれか短い期間</p> <p>表3 大飯4号炉 低エネルギー配管の非破壊検査実績（例）</p> <table border="1" data-bbox="114 871 685 1051"> <thead> <tr> <th>プラント</th> <th>名称</th> <th>測定箇所</th> <th>口径</th> <th>公称肉厚<sup>※1</sup></th> <th>次回定検までの期間<sup>※2</sup></th> <th>定検回次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>大飯4号炉</td><td>補助給水配管ポンプ出口配管</td><td>直管</td><td>3B</td><td>7.6mm</td><td>38.0年</td><td>#15</td></tr> <tr><td>大飯4号炉</td><td>補助給水流量オリフィス下流配管</td><td>直管</td><td>3B</td><td>7.6mm</td><td>74.2年</td><td>#15</td></tr> <tr><td>大飯4号炉</td><td>消火水系</td><td>直管</td><td>3B</td><td>5.5mm</td><td>80.3年</td><td>#15</td></tr> <tr><td>大飯4号炉</td><td>消火水系</td><td>直管</td><td>3B</td><td>5.5mm</td><td>88.7年</td><td>#15</td></tr> <tr><td>大飯4号炉</td><td>冷水系</td><td>直管</td><td>6B</td><td>7.1mm</td><td>77.0年</td><td>#15</td></tr> <tr><td>大飯4号炉</td><td>冷水系</td><td>エルボ</td><td>4B</td><td>7.1mm</td><td>100年以上</td><td>#15</td></tr> <tr><td>大飯4号炉</td><td>原子炉補機冷却系</td><td>直管</td><td>3B</td><td>5.5mm</td><td>100年以上</td><td>#15</td></tr> <tr><td>大飯4号炉</td><td>原子炉補機冷却系</td><td>エルボ</td><td>3B</td><td>5.5mm</td><td>100年以上</td><td>#15</td></tr> </tbody> </table> <p>※3 測定結果は5.1～7.3mm                  ※4 発生応力が0.4Saを上回る最小厚さに至るまでの期間またはJSME S NG1-2006の必要最小厚さtarを下回るまでの期間のいずれか短い期間</p>	プラント	名称	測定箇所	口径	公称肉厚 <sup>※1</sup>	次回定検までの期間 <sup>※2</sup>	定検回次	大飯3号炉	補助給水配管ポンプ出口配管	直管	3B	7.6mm	50.7年	#16	大飯3号炉	補助給水流量オリフィス下流配管	直管	3B	7.6mm	50.7年	#16	大飯3号炉	消火水系	直管	3B	7.1mm	63.1年	#16	大飯3号炉	消火水系	直管	3B	5.5mm	80.3年	#16	大飯3号炉	冷水系	直管	6B	7.1mm	100年以上	#16	大飯3号炉	冷水系	エルボ	4B	6.0mm	100年以上	#16	大飯3号炉	原子炉補機冷却系	直管	3B	5.5mm	100年以上	#16	大飯3号炉	原子炉補機冷却系	エルボ	3B	5.5mm	100年以上	#16	プラント	名称	測定箇所	口径	公称肉厚 <sup>※1</sup>	次回定検までの期間 <sup>※2</sup>	定検回次	大飯4号炉	補助給水配管ポンプ出口配管	直管	3B	7.6mm	38.0年	#15	大飯4号炉	補助給水流量オリフィス下流配管	直管	3B	7.6mm	74.2年	#15	大飯4号炉	消火水系	直管	3B	5.5mm	80.3年	#15	大飯4号炉	消火水系	直管	3B	5.5mm	88.7年	#15	大飯4号炉	冷水系	直管	6B	7.1mm	77.0年	#15	大飯4号炉	冷水系	エルボ	4B	7.1mm	100年以上	#15	大飯4号炉	原子炉補機冷却系	直管	3B	5.5mm	100年以上	#15	大飯4号炉	原子炉補機冷却系	エルボ	3B	5.5mm	100年以上	#15			<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p>
プラント	名称	測定箇所	口径	公称肉厚 <sup>※1</sup>	次回定検までの期間 <sup>※2</sup>	定検回次																																																																																																																											
大飯3号炉	補助給水配管ポンプ出口配管	直管	3B	7.6mm	50.7年	#16																																																																																																																											
大飯3号炉	補助給水流量オリフィス下流配管	直管	3B	7.6mm	50.7年	#16																																																																																																																											
大飯3号炉	消火水系	直管	3B	7.1mm	63.1年	#16																																																																																																																											
大飯3号炉	消火水系	直管	3B	5.5mm	80.3年	#16																																																																																																																											
大飯3号炉	冷水系	直管	6B	7.1mm	100年以上	#16																																																																																																																											
大飯3号炉	冷水系	エルボ	4B	6.0mm	100年以上	#16																																																																																																																											
大飯3号炉	原子炉補機冷却系	直管	3B	5.5mm	100年以上	#16																																																																																																																											
大飯3号炉	原子炉補機冷却系	エルボ	3B	5.5mm	100年以上	#16																																																																																																																											
プラント	名称	測定箇所	口径	公称肉厚 <sup>※1</sup>	次回定検までの期間 <sup>※2</sup>	定検回次																																																																																																																											
大飯4号炉	補助給水配管ポンプ出口配管	直管	3B	7.6mm	38.0年	#15																																																																																																																											
大飯4号炉	補助給水流量オリフィス下流配管	直管	3B	7.6mm	74.2年	#15																																																																																																																											
大飯4号炉	消火水系	直管	3B	5.5mm	80.3年	#15																																																																																																																											
大飯4号炉	消火水系	直管	3B	5.5mm	88.7年	#15																																																																																																																											
大飯4号炉	冷水系	直管	6B	7.1mm	77.0年	#15																																																																																																																											
大飯4号炉	冷水系	エルボ	4B	7.1mm	100年以上	#15																																																																																																																											
大飯4号炉	原子炉補機冷却系	直管	3B	5.5mm	100年以上	#15																																																																																																																											
大飯4号炉	原子炉補機冷却系	エルボ	3B	5.5mm	100年以上	#15																																																																																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: right;">添付資料 17</p> <p>系統別溢水量算出結果</p> <p>各建屋・エリアの系統別溢水量算出結果を表1～9に示す。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 16</p> <p>系統別溢水量算出結果</p> <p>各建屋の系統別溢水量算出結果を表1～10に示す。</p>	<p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>女川は「海水ポンプ室及び復水貯蔵タンクエリア」、「軽油タンクエリア」があり、泊ではエリアとして記載している箇所はないため左記の記載とする。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料16）

大阪発電所3 / 4号炉

表1 漏えい停止までの時間の設定及び漏えい量（化学体積制御系） その1

想定範囲	①異常の検知 <システム検知> 配管破損により、破損側封水注入流量が増加するため、健全側封水注入流量が低下し、封水注入流量低警報が発信する。 (定格流量 1.5m <sup>3</sup> /h に対して低警報が1.5m <sup>3</sup> /hであるため、速やかに警報が発信する) また、封水注入合計流量の増加により、封水注入パイロット差圧高警報発信 <システム検知> 配管破損により、封水注入流量が低下し、封水注入流量低警報が発信する。 (定格流量 1.5m <sup>3</sup> /h に対して低警報が1.5m <sup>3</sup> /hであるため、速やかに警報が発信する)	②事象の判断及び漏えい箇所の特 以下のパラメータから封水注入流量計上流配管からの漏えいと判断 10分 封水戻り流量、原子炉周辺建屋サンプ水位、RMS測定値(R-21A/B)、封水注入パイロット差圧、漏水注意等 以下のパラメータから封水注入流量計下流配管からの漏えいと判断 10分 封水戻り流量、原子炉周辺建屋サンプ水位、RMS測定値(R-21A/B)、封水注入パイロット差圧、漏水注意等	③漏えい箇所の隔離等 中央制御室において、封水注入ライン流量制御弁を遠隔手動閉止 1分	合計時間 (①+②+③) 11分	漏えい量 漏えい量 21.8m <sup>3</sup> 封水注入流量 7.2m <sup>3</sup> /h (1ループ当たり 1.8m <sup>3</sup> /h) 11分/60分×7.2m <sup>3</sup> /h = 1.4m <sup>3</sup> 配管保有水量 20.4m <sup>3</sup> 1.4m <sup>3</sup> +20.4m <sup>3</sup> =21.8m <sup>3</sup>
------	--	---	---	------------------------	---

女川原子力発電所2号炉

表1 原子炉建屋原子炉棟及び付属棟 系統別溢水量

対象系統		系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W(W1+W2)	手動隔離を期待 (他系統との接続補給ラインあり)
B21	FDW	44	432	476	— (自動隔離)
C12	CEB	22	31	53	○
C41	SLC	44	21	65	○
E11	RHR	46	191	237	○
E21	LPSC	11	255	266	○
E22	HPSC	44	351	395	○
E51	RCIC	11	179	190	○
G31	CUW	36	103	139	— (自動隔離)
G41	FPC	90	70	160	○
K11	RD	55	0	55	—
K12	LCW	33	0	33	—
K13	RCW	33	0	33	—
P11	MUP	11	30	41	○
P13	MUPC	28	120	148	○
P14	FW	11	54	65	○
P15	FFMW	12	23	35	○
P24	HNCW	55	8	63	○
P25	HECW	33	8	41	○
P42	RCW	233	32	265	○
P45	RSW	176	182	358	○
P47	HPCW	22	32	54	○
P48	HPSW	22	64	86	○
P64	HWH	22	32	54	○
U43	FP	180	27	207	○
U63	MSC	33	0	33	—
R43, R44	DGCW	22	9	31	○
R43, R44	DGLO	22	0	22	—
R43, R44	DGDO	11	12	23	○

泊発電所3号炉

表1 原子炉建屋 系統別溢水量

対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W(W1+W2)	手動隔離を期待
化学体積制御系統 (充てん配管)	5.6	32	37.6	○ (中央制御室内での手動隔離)
化学体積制御系統 (抽出配管)	11.9	8.6	20.5	○ (中央制御室内での手動隔離)
主蒸気系統 (主蒸気管内)	81	393.1	474.1	○ (中央制御室内での手動隔離)
主給水系統 補助給水系統 (主蒸気管内)	15	627.3	642.3	○ (中央制御室内での手動隔離)
蒸気発生器ブローダウン系統 (主蒸気管内)	81	216.8	297.8	○ (中央制御室内での手動隔離)
補助蒸気系統	1	2.7	3.7	— (自動隔離)

相違理由

【女川】  
設計方針の相違  
 ・プラント設計による建屋名称、対象系統、保有水量、漏えい量、溢水量、隔離手段の相違  
 ・女川では、「手動隔離を期待 (他系統との接続補給ラインあり)」としているが、泊では、他系統との接続補給ラインがなくとも、手動隔離に期待した隔離時間にて系統漏えい量を算出していることから、「手動隔離を期待」のみとした。  
 ・また、中央制御室での手動隔離に期待している系統について、「○ (中央制御室内での手動隔離)」と記載した。

【大阪】  
記載方針の相違  
 大阪では系統の破断範囲ごとに隔離までの漏えい量を算出している。泊でも同様の算出を実施しているが、本資料内では、女川と同様の形でまとめる。別途、補足説明資料2「保有水量・系統別溢水量算出要領」にて、大阪と同様に算出した結果を記載する。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料16）

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由																																																																										
表2 漏えい停止までの時間の設定及び漏えい量（化学体積制御系）その2		表2 制御建屋 系統別溢水量		表2 原子炉補助建屋 系統別溢水量		【女川】 設計方針の相違																																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>漏えい量</th> <th>漏えい量3L/分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>充てんポンプのランナウト 流量 56.8m<sup>3</sup>/h 12分/60分×56.8m<sup>3</sup>/h =11.4m<sup>3</sup> 配管保有水量20.4m<sup>3</sup> 11.4m<sup>3</sup>+20.4m<sup>3</sup>=31.8m<sup>3</sup></td> <td>漏えい量44.7m<sup>3</sup> 充てんポンプのミニマムフローライン流量 13.6m<sup>3</sup>/h 107分/60分×13.6m<sup>3</sup>/h =24.3m<sup>3</sup> 配管保有水量20.4m<sup>3</sup> 24.3m<sup>3</sup>+20.4m<sup>3</sup>=44.7m<sup>3</sup></td> </tr> </tbody> </table>	漏えい量	漏えい量3L/分	充てんポンプのランナウト 流量 56.8m <sup>3</sup> /h 12分/60分×56.8m <sup>3</sup> /h =11.4m <sup>3</sup> 配管保有水量20.4m <sup>3</sup> 11.4m <sup>3</sup> +20.4m <sup>3</sup> =31.8m <sup>3</sup>	漏えい量44.7m <sup>3</sup> 充てんポンプのミニマムフローライン流量 13.6m <sup>3</sup> /h 107分/60分×13.6m <sup>3</sup> /h =24.3m <sup>3</sup> 配管保有水量20.4m <sup>3</sup> 24.3m <sup>3</sup> +20.4m <sup>3</sup> =44.7m <sup>3</sup>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量 (m<sup>3</sup>) W2</th> <th>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>) W1</th> <th>系統溢水量 (m<sup>3</sup>) W(W1+W2)</th> <th>手動隔離を期待 (他系統との接続補給ラインあり)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>P11</td><td>M/WP</td><td>11</td><td>30</td><td>41</td><td>○</td></tr> <tr><td>P24</td><td>HSCW</td><td>22</td><td>8</td><td>30</td><td>○</td></tr> <tr><td>P25</td><td>HSCW</td><td>33</td><td>8</td><td>41</td><td>○</td></tr> <tr><td>P62</td><td>HS/HSCP</td><td>11</td><td>0</td><td>11</td><td>-</td></tr> <tr><td>P64</td><td>HWH</td><td>22</td><td>32</td><td>54</td><td>○</td></tr> <tr><td>U43</td><td>FP</td><td>180</td><td>27</td><td>207</td><td>○</td></tr> <tr><td>U63</td><td>MSC</td><td>22</td><td>0</td><td>22</td><td>-</td></tr> <tr><td>-</td><td>所内用水</td><td>55</td><td>13</td><td>68</td><td>○</td></tr> </tbody> </table>	対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W(W1+W2)	手動隔離を期待 (他系統との接続補給ラインあり)	P11	M/WP	11	30	41	○	P24	HSCW	22	8	30	○	P25	HSCW	33	8	41	○	P62	HS/HSCP	11	0	11	-	P64	HWH	22	32	54	○	U43	FP	180	27	207	○	U63	MSC	22	0	22	-	-	所内用水	55	13	68	○	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量 (m<sup>3</sup>) W2</th> <th>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>) W1</th> <th>系統溢水量 (m<sup>3</sup>) W(W1+W2)</th> <th>手動隔離を期待</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>化学体積制御系統 (充てん配管)</td><td>5.6</td><td>32</td><td>37.6</td><td>○ (中央制御室内での手動隔離)</td></tr> <tr><td>化学体積制御系統 (抽出配管)</td><td>11.9</td><td>8.6</td><td>20.5</td><td>○ (中央制御室内での手動隔離)</td></tr> <tr><td>補助蒸気系統</td><td>1</td><td>2.7</td><td>3.7</td><td>- (自動隔離)</td></tr> </tbody> </table>	対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W(W1+W2)	手動隔離を期待	化学体積制御系統 (充てん配管)	5.6	32	37.6	○ (中央制御室内での手動隔離)	化学体積制御系統 (抽出配管)	11.9	8.6	20.5	○ (中央制御室内での手動隔離)	補助蒸気系統	1	2.7	3.7	- (自動隔離)	<p>・プラント設計による建屋名称、対象系統、保有水量、漏えい量、溢水量、隔離手段の相違</p> <p>・女川では、「手動隔離を期待 (他系統との接続補給ラインあり)」としているが、泊では、他系統との接続補給ラインがなくても、手動隔離に期待した隔離時間にて系統漏えい量を算出していることから、「手動隔離を期待」のみとした。</p> <p>・また、中央制御室での手動隔離に期待している系統について、「○ (中央制御室内での手動隔離)」と記載した。</p> <p>【大飯】 記載方針の相違</p> <p>大飯では系統の破断範囲ごとに隔離までの漏えい量を算出しているが、本資料内では、女川と同様の形でまとめる。別途、補足説明資料2「保有水量・系統別溢水量算出要領」にて、大飯と同様に算出した結果を記載する。</p>
漏えい量	漏えい量3L/分																																																																															
充てんポンプのランナウト 流量 56.8m <sup>3</sup> /h 12分/60分×56.8m <sup>3</sup> /h =11.4m <sup>3</sup> 配管保有水量20.4m <sup>3</sup> 11.4m <sup>3</sup> +20.4m <sup>3</sup> =31.8m <sup>3</sup>	漏えい量44.7m <sup>3</sup> 充てんポンプのミニマムフローライン流量 13.6m <sup>3</sup> /h 107分/60分×13.6m <sup>3</sup> /h =24.3m <sup>3</sup> 配管保有水量20.4m <sup>3</sup> 24.3m <sup>3</sup> +20.4m <sup>3</sup> =44.7m <sup>3</sup>																																																																															
対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W(W1+W2)	手動隔離を期待 (他系統との接続補給ラインあり)																																																																												
P11	M/WP	11	30	41	○																																																																											
P24	HSCW	22	8	30	○																																																																											
P25	HSCW	33	8	41	○																																																																											
P62	HS/HSCP	11	0	11	-																																																																											
P64	HWH	22	32	54	○																																																																											
U43	FP	180	27	207	○																																																																											
U63	MSC	22	0	22	-																																																																											
-	所内用水	55	13	68	○																																																																											
対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W(W1+W2)	手動隔離を期待																																																																												
化学体積制御系統 (充てん配管)	5.6	32	37.6	○ (中央制御室内での手動隔離)																																																																												
化学体積制御系統 (抽出配管)	11.9	8.6	20.5	○ (中央制御室内での手動隔離)																																																																												
補助蒸気系統	1	2.7	3.7	- (自動隔離)																																																																												
<p>①異常の検知</p> <p>&lt;システム検知&gt; 配管破損により、充てん流量が上昇し、充てん流量高警報が発信。0.5分 通常の充てん流量 25m<sup>3</sup>/h に対して高警報 28m<sup>3</sup>/h であるため、速やかに警報が発信する。</p> <p>&lt;システム検知&gt; 配管破損により、充てん流量が低下し、充てん流量低警報が発信。0.5分 通常の充てん流量 25m<sup>3</sup>/h に対して低警報 8m<sup>3</sup>/h であるため、速やかに警報が発信する。</p> <p>&lt;サンプル検知&gt; 配管破損により床ドレン異常発出して原子炉周辺建屋サンプタンク(10m<sup>3</sup>)に流入 サンプ水位低(20%±1.5%)からポンプ起動水位(90%±1.5%)まで水位が上昇し、その後ポンプによる排水を伴ってサンプ水位高警報水位(90%±1.5%)まで水位が上昇し、サンプ水位高警報が発信 10m<sup>3</sup>×(91.5%-18.5%)/100%±13.6m<sup>3</sup>/h×60分/10m<sup>3</sup>×(96.5%-68.5%)/100%±(13.6m<sup>3</sup>/h+11.4m<sup>3</sup>/h)×60分/h=54.1±55.5分</p>	<p>②事故の相対及び漏えい箇所の特定</p> <p>以下のパラメータから充てん配管からの漏えいと判断。0.5分 W1 水位、充てん流量、原子炉周辺建屋サンプ水位、RCS 測定値(0-21A/B)等</p> <p>現場パトロールによる現場確認を行い、ミニマムフローラインからの漏えいと判断。0.5分</p>	<p>③漏えい箇所の隔離等</p> <p>中央制御室において、充てんポンプ流量制御弁を遠隔手動閉止。1分 又は、充てんポンプ1台を遠隔手動停止。2分 合わせて2分</p> <p>中央制御室において、充てんポンプ1台を遠隔手動停止。2分 合わせて2分</p>	<p>合計時間</p> <p>12分</p> <p>107分</p>																																																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料16）

大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																	
<p>表3 漏えい停止までの時間の設定及び漏えい量（化学体積制御系） その3</p> <table border="1" data-bbox="257 252 533 1428"> <thead> <tr> <th>想定範囲</th> <th>①異常の検知</th> <th>②事象の判断及び漏えい箇所の特定</th> <th>③漏えい箇所の隔離等</th> <th>合計時間 (①+②+③)</th> <th>漏えい量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>                     抽出配管／非再生冷却器入口                      （貫通部～非再生冷却器）                 </td> <td>                     &lt;システム検知&gt;                      配管破損によりVCT（11.3m<sup>3</sup>）の保有水が減少しVCT水位が低下する。                      VCT水位高警報（55%±1.5%）から原子炉補給開始水位（24%±1.5%）まで水位が低下し原子炉補給水間始音が現信                      11.3m<sup>3</sup>×（55.5%-22.5%）/100%÷32.0m<sup>3</sup>/h×60分=7.2分                 </td> <td>                     以下のパラメータからの抽出ラインからの漏えいと判断                      10分                      温度センサ高警報、充てんポンプトリップ、加圧器水位、VCT水位、原子炉周辺建屋サンプ水位、RMS測定値（R-21A/B）、溜水注意等                 </td> <td>                     中央制御室において、抽出オリフィス出口格納容器第1隔離弁を遠隔手動閉止                      1分                 </td> <td>19分</td> <td>                     漏えい量21.0m<sup>3</sup>                      オリフィスによる制限流量32.0m<sup>3</sup>/h                      19分/60分×32.0m<sup>3</sup>/h=10.2m<sup>3</sup>                      配管保有水量10.8m<sup>3</sup>                      10.2m<sup>3</sup>+10.8m<sup>3</sup>=21.0m<sup>3</sup> </td> </tr> </tbody> </table>	想定範囲	①異常の検知	②事象の判断及び漏えい箇所の特定	③漏えい箇所の隔離等	合計時間 (①+②+③)	漏えい量	抽出配管／非再生冷却器入口 （貫通部～非再生冷却器）	<システム検知> 配管破損によりVCT（11.3m <sup>3</sup> ）の保有水が減少しVCT水位が低下する。 VCT水位高警報（55%±1.5%）から原子炉補給開始水位（24%±1.5%）まで水位が低下し原子炉補給水間始音が現信 11.3m <sup>3</sup> ×（55.5%-22.5%）/100%÷32.0m <sup>3</sup> /h×60分=7.2分	以下のパラメータからの抽出ラインからの漏えいと判断 10分 温度センサ高警報、充てんポンプトリップ、加圧器水位、VCT水位、原子炉周辺建屋サンプ水位、RMS測定値（R-21A/B）、溜水注意等	中央制御室において、抽出オリフィス出口格納容器第1隔離弁を遠隔手動閉止 1分	19分	漏えい量21.0m <sup>3</sup> オリフィスによる制限流量32.0m <sup>3</sup> /h 19分/60分×32.0m <sup>3</sup> /h=10.2m <sup>3</sup> 配管保有水量10.8m <sup>3</sup> 10.2m <sup>3</sup> +10.8m <sup>3</sup> =21.0m <sup>3</sup>		<p>表3 タービン建屋 系統別溢水量</p> <table border="1" data-bbox="1288 210 1852 710"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>系統溢水量 (m<sup>3</sup>) W（=W1+W2）</th> <th>手動隔離を期待</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主蒸気及び給水系統</td> <td>126.98</td> <td>0</td> <td>126.98</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器</td> <td>6.71</td> <td>0</td> <td>6.71</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ブローダウン系統</td> <td>10.436</td> <td>0</td> <td>10.436</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給水系統 （脱塩水）</td> <td>0.65</td> <td>0</td> <td>0.65</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>補助蒸気系統</td> <td>2442.28</td> <td>0</td> <td>2442.28</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>復水系統</td> <td>77.434</td> <td>2101.7</td> <td>2179.134</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>循環水系統</td> <td>150.67</td> <td>0</td> <td>150.67</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>軸受冷却系統</td> <td>30.15</td> <td>0</td> <td>30.15</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>葉状注入装置系統</td> <td>9.64</td> <td>0</td> <td>9.64</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>排水処理設備系統</td> <td>130.12</td> <td>0</td> <td>130.12</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービン主給水ポンプ油系統</td> <td>19.19</td> <td>0</td> <td>19.19</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>スチームコンバータ系統</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>高圧ドレンバント系統</td> <td>4.01</td> <td>0</td> <td>4.01</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービン</td> <td>126.98</td> <td>0</td> <td>126.98</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>グラウンド蒸気系統</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>タービン発電機系統</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> )	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> )	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W（=W1+W2）	手動隔離を期待	主蒸気及び給水系統	126.98	0	126.98	-	蒸気発生器	6.71	0	6.71	-	ブローダウン系統	10.436	0	10.436	-	原子炉補給水系統 （脱塩水）	0.65	0	0.65	-	補助蒸気系統	2442.28	0	2442.28	-	復水系統	77.434	2101.7	2179.134	○	循環水系統	150.67	0	150.67	-	軸受冷却系統	30.15	0	30.15	-	葉状注入装置系統	9.64	0	9.64	-	排水処理設備系統	130.12	0	130.12	-	タービン主給水ポンプ油系統	19.19	0	19.19	-	スチームコンバータ系統	4	0	4	-	高圧ドレンバント系統	4.01	0	4.01	-	タービン	126.98	0	126.98	-	グラウンド蒸気系統					タービン発電機系統					<p>女川は補足説明資料11「タービン建屋からの溢水影響評価に用いる溢水量について」にタービン建屋における想定破損の溢水量を掲載しているが、本資料においては記載がないため、比較対象なしとする。</p> <p>【大飯】                      記載方針の相違                      大飯では系統の破断範囲ごとに隔離までの漏えい量を算出している。泊でも同様の算出を実施しているが、本資料内では、女川と同様の形でまとめる。別途、補足説明資料2「保有水量・系統別溢水量算出要領」にて、大飯と同様に算出した結果を記載する。</p>
想定範囲	①異常の検知	②事象の判断及び漏えい箇所の特定	③漏えい箇所の隔離等	合計時間 (①+②+③)	漏えい量																																																																																															
抽出配管／非再生冷却器入口 （貫通部～非再生冷却器）	<システム検知> 配管破損によりVCT（11.3m <sup>3</sup> ）の保有水が減少しVCT水位が低下する。 VCT水位高警報（55%±1.5%）から原子炉補給開始水位（24%±1.5%）まで水位が低下し原子炉補給水間始音が現信 11.3m <sup>3</sup> ×（55.5%-22.5%）/100%÷32.0m <sup>3</sup> /h×60分=7.2分	以下のパラメータからの抽出ラインからの漏えいと判断 10分 温度センサ高警報、充てんポンプトリップ、加圧器水位、VCT水位、原子炉周辺建屋サンプ水位、RMS測定値（R-21A/B）、溜水注意等	中央制御室において、抽出オリフィス出口格納容器第1隔離弁を遠隔手動閉止 1分	19分	漏えい量21.0m <sup>3</sup> オリフィスによる制限流量32.0m <sup>3</sup> /h 19分/60分×32.0m <sup>3</sup> /h=10.2m <sup>3</sup> 配管保有水量10.8m <sup>3</sup> 10.2m <sup>3</sup> +10.8m <sup>3</sup> =21.0m <sup>3</sup>																																																																																															
対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> )	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> )	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W（=W1+W2）	手動隔離を期待																																																																																																
主蒸気及び給水系統	126.98	0	126.98	-																																																																																																
蒸気発生器	6.71	0	6.71	-																																																																																																
ブローダウン系統	10.436	0	10.436	-																																																																																																
原子炉補給水系統 （脱塩水）	0.65	0	0.65	-																																																																																																
補助蒸気系統	2442.28	0	2442.28	-																																																																																																
復水系統	77.434	2101.7	2179.134	○																																																																																																
循環水系統	150.67	0	150.67	-																																																																																																
軸受冷却系統	30.15	0	30.15	-																																																																																																
葉状注入装置系統	9.64	0	9.64	-																																																																																																
排水処理設備系統	130.12	0	130.12	-																																																																																																
タービン主給水ポンプ油系統	19.19	0	19.19	-																																																																																																
スチームコンバータ系統	4	0	4	-																																																																																																
高圧ドレンバント系統	4.01	0	4.01	-																																																																																																
タービン	126.98	0	126.98	-																																																																																																
グラウンド蒸気系統																																																																																																				
タービン発電機系統																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料16）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																								
<p>表4 漏えい停止までの時間の設定及び漏えい量（主蒸気系）</p>		<p>表4 出入管理建屋 系統別溢水量</p>																																									
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="107 212 347 391"> <p>漏えい量 漏えい量172.7m<sup>3</sup> 主給水流量 200m<sup>3</sup>/h 補助給水流量 430m<sup>3</sup>/h 10秒/3600秒×200m<sup>3</sup>/h +12分/60分×430m<sup>3</sup>/h =91.7m<sup>3</sup> 配管保有水量 15m<sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量66m<sup>3</sup> 91.7+15+66=172.7m<sup>3</sup></p> </td> <td data-bbox="353 212 481 391"> <p>漏えい量280.1m<sup>3</sup> 添付「蒸気負荷の異常な増加」(2020m<sup>3</sup>/h×4.4ループ×10% =812m<sup>3</sup>/h)では2次系弁（主蒸気速がし弁、タービンバイパス弁）の1弁の開閉を包括しているので812m<sup>3</sup>/hを保守的に使用 補助給水流量 430m<sup>3</sup>/h 11分*/60分×812m<sup>3</sup>/h +7分/60分×430m<sup>3</sup>/h =199.1m<sup>3</sup> 配管保有水量 15m<sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量66m<sup>3</sup> 199.1+15+66=280.1m<sup>3</sup> ※全系統漏量(0.044倍)約</p> </td> <td data-bbox="488 212 593 391"> <p>合計時間 (①+②)×③ 12分2秒</p> </td> <td data-bbox="600 212 689 391"> <p>17分</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="107 395 347 478"> <p>①漏えい箇所の種類等 により漏えい停止 中央制御室において 電動補助給水ライン流 量調節弁、タービン動 補助給水ライン流量調 節弁を遠隔手動閉止す る。 2分(1分/個)</p> </td> <td data-bbox="353 395 593 478"> <p>中央制御室において原 子炉トリップ操作を行 い、トリップ後の状況 を確認。その後、電動 補助給水ライン流量調 節弁、タービン動補助 給水ライン流量調節弁 を遠隔手動閉止 1分 (トリップ後の状況確 認5分、操作2分(1分 /個)合わせて7分)</p> </td> <td data-bbox="488 395 593 478"></td> <td data-bbox="600 395 689 478"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="107 483 347 566"> <p>②事故の原因及び 漏えい箇所の特定 以下のパラメータから 隔離する蒸気発生器を 特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏 差、主蒸気ライン圧力 低、主蒸気・主給水配 管温度等</p> </td> <td data-bbox="353 483 593 566"> <p>以下のパラメータから 隔離する蒸気発生器を 特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏 差、主蒸気・主給水配 管温度高警報等</p> </td> <td data-bbox="488 483 593 566"></td> <td data-bbox="600 483 689 566"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="107 571 347 654"> <p>①異常の検知 &lt;システム検知&gt; 主蒸気ライン圧力低により中央制 御室に警報が受信 2秒 また、主給水閉鎖弁が自動閉止 により、主給水閉鎖弁が自動閉止 10秒</p> </td> <td data-bbox="353 571 593 654"> <p>&lt;システム検知&gt; 主給水流量と主蒸気流量の不一致 警報が中央制御室に受信 0分</p> </td> <td data-bbox="488 571 593 654"></td> <td data-bbox="600 571 689 654"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="107 659 347 742"> <p>想定範囲 主蒸気管</p> </td> <td data-bbox="353 659 593 742"> <p>主蒸気速がし弁、 主蒸気隔離弁バ イパス配管 (主蒸気管分岐～ 隔離弁)、 主蒸気ドレン配 管（一般動）、 タービン動補助 給水ポンプ駆動 用蒸気配管 (主蒸気管分岐 ～隔離弁へTE)</p> </td> <td data-bbox="488 659 593 742"></td> <td data-bbox="600 659 689 742"></td> </tr> </table>	<p>漏えい量 漏えい量172.7m<sup>3</sup> 主給水流量 200m<sup>3</sup>/h 補助給水流量 430m<sup>3</sup>/h 10秒/3600秒×200m<sup>3</sup>/h +12分/60分×430m<sup>3</sup>/h =91.7m<sup>3</sup> 配管保有水量 15m<sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量66m<sup>3</sup> 91.7+15+66=172.7m<sup>3</sup></p>	<p>漏えい量280.1m<sup>3</sup> 添付「蒸気負荷の異常な増加」(2020m<sup>3</sup>/h×4.4ループ×10% =812m<sup>3</sup>/h)では2次系弁（主蒸気速がし弁、タービンバイパス弁）の1弁の開閉を包括しているので812m<sup>3</sup>/hを保守的に使用 補助給水流量 430m<sup>3</sup>/h 11分*/60分×812m<sup>3</sup>/h +7分/60分×430m<sup>3</sup>/h =199.1m<sup>3</sup> 配管保有水量 15m<sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量66m<sup>3</sup> 199.1+15+66=280.1m<sup>3</sup> ※全系統漏量(0.044倍)約</p>	<p>合計時間 (①+②)×③ 12分2秒</p>	<p>17分</p>	<p>①漏えい箇所の種類等 により漏えい停止 中央制御室において 電動補助給水ライン流 量調節弁、タービン動 補助給水ライン流量調 節弁を遠隔手動閉止す る。 2分(1分/個)</p>	<p>中央制御室において原 子炉トリップ操作を行 い、トリップ後の状況 を確認。その後、電動 補助給水ライン流量調 節弁、タービン動補助 給水ライン流量調節弁 を遠隔手動閉止 1分 (トリップ後の状況確 認5分、操作2分(1分 /個)合わせて7分)</p>			<p>②事故の原因及び 漏えい箇所の特定 以下のパラメータから 隔離する蒸気発生器を 特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏 差、主蒸気ライン圧力 低、主蒸気・主給水配 管温度等</p>	<p>以下のパラメータから 隔離する蒸気発生器を 特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏 差、主蒸気・主給水配 管温度高警報等</p>			<p>①異常の検知 &lt;システム検知&gt; 主蒸気ライン圧力低により中央制 御室に警報が受信 2秒 また、主給水閉鎖弁が自動閉止 により、主給水閉鎖弁が自動閉止 10秒</p>	<p>&lt;システム検知&gt; 主給水流量と主蒸気流量の不一致 警報が中央制御室に受信 0分</p>			<p>想定範囲 主蒸気管</p>	<p>主蒸気速がし弁、 主蒸気隔離弁バ イパス配管 (主蒸気管分岐～ 隔離弁)、 主蒸気ドレン配 管（一般動）、 タービン動補助 給水ポンプ駆動 用蒸気配管 (主蒸気管分岐 ～隔離弁へTE)</p>				<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>系統溢水量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>手動隔離を要す</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水消火系統</td> <td>W2</td> <td>W1</td> <td>W (=W1+W2)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給水系統 (脱塩水)</td> <td>5.0</td> <td>242.4</td> <td>247.2</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>飲料水系統</td> <td>17.0</td> <td>235.2</td> <td>252.2</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> )	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> )	系統溢水量 (m <sup>3</sup> )	手動隔離を要す	水消火系統	W2	W1	W (=W1+W2)	○	原子炉補給水系統 (脱塩水)	5.0	242.4	247.2	○	飲料水系統	17.0	235.2	252.2	○	<p>【女川】 設計方針の相違 炉型の違いにより比較対象なし。</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 大飯では系統の破断範囲ごとに隔 離までの漏えい量を算出して いるが、本資料内では、女川と同 様の形でまとめる。別途、補足説 明資料2「保有水量・系統別溢水 量算出要領」にて、大飯と同様に 算出した結果を記載する。</p>
<p>漏えい量 漏えい量172.7m<sup>3</sup> 主給水流量 200m<sup>3</sup>/h 補助給水流量 430m<sup>3</sup>/h 10秒/3600秒×200m<sup>3</sup>/h +12分/60分×430m<sup>3</sup>/h =91.7m<sup>3</sup> 配管保有水量 15m<sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量66m<sup>3</sup> 91.7+15+66=172.7m<sup>3</sup></p>	<p>漏えい量280.1m<sup>3</sup> 添付「蒸気負荷の異常な増加」(2020m<sup>3</sup>/h×4.4ループ×10% =812m<sup>3</sup>/h)では2次系弁（主蒸気速がし弁、タービンバイパス弁）の1弁の開閉を包括しているので812m<sup>3</sup>/hを保守的に使用 補助給水流量 430m<sup>3</sup>/h 11分*/60分×812m<sup>3</sup>/h +7分/60分×430m<sup>3</sup>/h =199.1m<sup>3</sup> 配管保有水量 15m<sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量66m<sup>3</sup> 199.1+15+66=280.1m<sup>3</sup> ※全系統漏量(0.044倍)約</p>	<p>合計時間 (①+②)×③ 12分2秒</p>	<p>17分</p>																																								
<p>①漏えい箇所の種類等 により漏えい停止 中央制御室において 電動補助給水ライン流 量調節弁、タービン動 補助給水ライン流量調 節弁を遠隔手動閉止す る。 2分(1分/個)</p>	<p>中央制御室において原 子炉トリップ操作を行 い、トリップ後の状況 を確認。その後、電動 補助給水ライン流量調 節弁、タービン動補助 給水ライン流量調節弁 を遠隔手動閉止 1分 (トリップ後の状況確 認5分、操作2分(1分 /個)合わせて7分)</p>																																										
<p>②事故の原因及び 漏えい箇所の特定 以下のパラメータから 隔離する蒸気発生器を 特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏 差、主蒸気ライン圧力 低、主蒸気・主給水配 管温度等</p>	<p>以下のパラメータから 隔離する蒸気発生器を 特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏 差、主蒸気・主給水配 管温度高警報等</p>																																										
<p>①異常の検知 &lt;システム検知&gt; 主蒸気ライン圧力低により中央制 御室に警報が受信 2秒 また、主給水閉鎖弁が自動閉止 により、主給水閉鎖弁が自動閉止 10秒</p>	<p>&lt;システム検知&gt; 主給水流量と主蒸気流量の不一致 警報が中央制御室に受信 0分</p>																																										
<p>想定範囲 主蒸気管</p>	<p>主蒸気速がし弁、 主蒸気隔離弁バ イパス配管 (主蒸気管分岐～ 隔離弁)、 主蒸気ドレン配 管（一般動）、 タービン動補助 給水ポンプ駆動 用蒸気配管 (主蒸気管分岐 ～隔離弁へTE)</p>																																										
対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> )	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> )	系統溢水量 (m <sup>3</sup> )	手動隔離を要す																																							
水消火系統	W2	W1	W (=W1+W2)	○																																							
原子炉補給水系統 (脱塩水)	5.0	242.4	247.2	○																																							
飲料水系統	17.0	235.2	252.2	○																																							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料16）

大飯発電所3 / 4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由										
表5 漏えい停止までの時間の設定及び漏えい量（主給水系） (1/2)				表5 電気建屋 系統別溢水量												
想定範囲	①異常の検知	②事象の判断及び漏えい箇所の特定	③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止	合計時間 (①+②+③)	漏えい量											
主給水管 (貫通部～ 逆止弁)	<システム検知> 主蒸気ライン圧力低により中央制御室に警報発信 8秒 また、主蒸気ライン圧力低(S+RT)により主給水制御弁自動閉止 15秒	以下のパラメータから漏えい箇所を特定 隔離する蒸気発生器を10分 SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気ライン圧力低、主蒸気・主給水配管室温度等	中央制御室において、電動補助給水ライン流量調節弁、タービン動補助給水ライン流量調節弁を遠隔手動閉止 2分(1分/個)	12分8秒	漏えい量175.5m <sup>3</sup> 主給水流量 2030m <sup>3</sup> /h 補助給水流量 430m <sup>3</sup> /h 15秒/3600秒×2030m <sup>3</sup> /h + 12分/60分×430m <sup>3</sup> /h = 94.5m <sup>3</sup> 配管保有水量 15m <sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量 66m <sup>3</sup> 94.5+15+66=175.5m <sup>3</sup>											
主給水管 (逆止弁～上流)	<システム検知> SG 水位低による原子炉トリップ 50秒 また、Tavg 低による主給水制御弁の自動閉止 110秒	自動隔離のため判断時間なし 0分	自動隔離のため操作時間なし 0分	110秒	漏えい量77.1m <sup>3</sup> 主給水流量 2030m <sup>3</sup> /h 110秒/3600秒×2030m <sup>3</sup> /h = 62.1m <sup>3</sup> 配管保有水 15m <sup>3</sup> 62.1+15=77.1m <sup>3</sup>											
						【女川】 設計方針の相違 炉型の違いにより比較対象なし。  【大飯】 記載方針の相違 大飯では系統の破断範囲ごとに隔離までの漏えい量を算出していているが、本資料内では、女川と同様の形でまとめる。別途、補足説明資料2「保有水量・系統別溢水量算出要領」にて、大飯と同様に算出した結果を記載する。										
						<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>系統溢水量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>手動隔離を期待</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水泊火系統</td> <td>25.0</td> <td>22.0</td> <td>47.0</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> )	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> )	系統溢水量 (m <sup>3</sup> )	手動隔離を期待	水泊火系統	25.0	22.0	47.0	○
対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> )	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> )	系統溢水量 (m <sup>3</sup> )	手動隔離を期待												
水泊火系統	25.0	22.0	47.0	○												



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料16）

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由																																																
表5 漏えい停止までの時間の設定及び漏えい量（主給水系） (2/2)		表3 海水ポンプ室及び復水貯蔵タンクエリア 系統別溢水量																																																				
想定範囲 主給水バイパス 配管 (下流分岐～ 制御弁)	①異常の検知 <システム検知> 主給水流量と主蒸気流量の不一致 警報が中央制御室に発信 0分	②事象の判断及び 漏えい箇所の特定 以下のパラメータから 隔離する蒸気発生器を 特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏 差、主蒸気・主給水配管 室温度等	③漏えい箇所の隔離等 により漏えい停止 中央制御室において、 原子炉トリップ操作を 行いトリップ後の状況 を確認 5分 また、原子炉手動トリ ップ操作後約60秒で原 子炉トリップシヤ断器 開+Tavg 低により主給 水制御弁は自動閉止 60秒	合計時間 (①+②+③)  11分	漏えい量 漏えい量387.2m <sup>3</sup> 主給水流量 2030m <sup>3</sup> /h 11分/60分×2030m <sup>3</sup> /h =372.2m <sup>3</sup> 配管保有水15m <sup>3</sup> 372.2m <sup>3</sup> +15m <sup>3</sup> =387.2m <sup>3</sup>																																																	
主給水バイパス 配管 (制御弁～ 上流分岐)	<システム検知> SG 水位低による原子炉トリップ 50秒 また、Tavg 低による主給水制御弁 の自動閉止 110秒	以下のパラメータから 隔離する蒸気発生器を 特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏 差、SG 水位低による原子 炉トリップ、主蒸気・主 給水配管室温度等	中央制御室において、 主給水ポンプ2台を遠 隔手動停止 7分 (操作2分(1分/台)、 停止5分、合わせて7 分)	17分50秒	漏えい量618.4m <sup>3</sup> 主給水流量 2030m <sup>3</sup> /h 1070秒/3600秒× 2030m <sup>3</sup> /h=603.4m <sup>3</sup> 配管保有水15m <sup>3</sup> 603.4m <sup>3</sup> +15m <sup>3</sup> =618.4m <sup>3</sup>																																																	
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th></th> <th>系統保有水量 (m<sup>3</sup>) W2</th> <th>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>) W1</th> <th>系統溢水量 (m<sup>3</sup>) V(=W1+W2)</th> <th>手動隔離を期待 (他系統との接続 補給ラインあり)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>N71</td> <td>CW</td> <td>660</td> <td>1,394</td> <td>2,054</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>P14</td> <td>FW</td> <td>11</td> <td>77</td> <td>88</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>P43</td> <td>TCW</td> <td>11</td> <td>19</td> <td>30</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>P45</td> <td>RSW</td> <td>55</td> <td>146</td> <td>201</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>P46</td> <td>TSW</td> <td>33</td> <td>222</td> <td>255</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>P48</td> <td>HP-SW</td> <td>11</td> <td>40</td> <td>51</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>P13</td> <td>MSW</td> <td>33</td> <td>120</td> <td>153</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>		対象系統		系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) V(=W1+W2)	手動隔離を期待 (他系統との接続 補給ラインあり)	N71	CW	660	1,394	2,054	○	P14	FW	11	77	88	○	P43	TCW	11	19	30	○	P45	RSW	55	146	201	○	P46	TSW	33	222	255	○	P48	HP-SW	11	40	51	○	P13	MSW	33	120	153	○	
対象系統		系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) V(=W1+W2)	手動隔離を期待 (他系統との接続 補給ラインあり)																																																	
N71	CW	660	1,394	2,054	○																																																	
P14	FW	11	77	88	○																																																	
P43	TCW	11	19	30	○																																																	
P45	RSW	55	146	201	○																																																	
P46	TSW	33	222	255	○																																																	
P48	HP-SW	11	40	51	○																																																	
P13	MSW	33	120	153	○																																																	
						<p>【女川】 設計方針の相違 炉型の違いにより比較対象なし。</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 大飯では系統の破断範囲ごとに隔 離までの漏えい量を算出して いるが、本資料内では、女川と同 様の形でまとめる。別途、補足説 明資料「保有水量・系統別溢水 量算出要領」にて、大飯と同様に 算出した結果を記載する。</p>																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料16）

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由		
表6 漏えい停止までの時間の設定及び漏えい量（蒸気発生器ブローダウン系）		表4 軽油タンクエリア 系統別溢水量						
想定範囲 蒸気発生器ブローダウン配管（貫通部～隔離弁）	①異常の検知 <システム検知> 主給水流量と主蒸気流量の不一致警報が中央制御室に発信 0分	②事象の判断及び漏えい箇所の特 以下のパラメータから判断する蒸気発生器を特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気・主給水配管室温度等	③漏えい箇所の隔離等 により漏えい停止 中央制御室において原子炉トリップ操作を行い、トリップ後の状況を確認 その後、電動補助給水ライン流量調節弁、タービン流量調節弁を逐次手動閉止 7分	④漏えい量 漏えい量247.8m <sup>3</sup> 境界流量707m <sup>3</sup> /h（口径38、SG圧力61.5kg/cm <sup>2</sup> より） 補助給水流量430m <sup>3</sup> /h 11分*60分×707m <sup>3</sup> /h+7分*60分×430m <sup>3</sup> /h=179.8m <sup>3</sup> 配管保有水量2.0m <sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量66m <sup>3</sup> 179.8m <sup>3</sup> +2.0m <sup>3</sup> +66m <sup>3</sup> =247.8m <sup>3</sup> ※合計時間(10分+60秒) 漏えい量231.6m <sup>3</sup>	合計時間 (①+②+③) 17分	【女川】 設計方針の相違 炉型の違いにより比較対象なし。  【大飯】 記載方針の相違 大飯では系統の破断範囲ごとに隔離までの漏えい量を算出しているが、本資料内では、女川と同様の形でまとめる。別途、補足説明資料2「保有水量・系統別溢水量算出要領」にて、大飯と同様に算出した結果を記載する。		
蒸気発生器ブローダウン配管（隔離弁～アングル弁）	<システム検知> SG 水位低による原子炉トリップ 100秒 また、SG 水位低によるブローダウンライン格納容器隔離弁自動閉止 107秒	自動隔離のため判断時間なし 0分	自動隔離のため操作時間なし 0分	境界流量707m <sup>3</sup> /h（口径38、SG圧力61.5kg/cm <sup>2</sup> より） 107秒/2600秒×707m <sup>3</sup> /h=21.1m <sup>3</sup> 配管保有水量2.5m <sup>3</sup> 21.1m <sup>3</sup> +2.5m <sup>3</sup> =23.6m <sup>3</sup>	107秒			
		対象系統		系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)	手動隔離を期待 (他系統との接続補給ラインあり)	
		R43、R44		DGDO	11	12	23	○